3-1 制御システム例
■制御:1リンク配線系統(室内外操作線)の仕様 3-1-1

3-2 主要制御機能と制御部品特徴
■主要制御機能 3-2-1
■制御部品特徴 3-2-4

3-3 リモコン
■多機能ワイヤードリモコン／CZ-10RT5C 3-3-1
■ワイヤードリモコン／CZ-10RT3 3-3-47
■ワイヤレスリモコン受信部(4方向天井カセット形(U5U))／CZ-10RWRU7(-T,-H,-K) 3-3-98
■ワイヤレスリモコン受信部(4方向天井カセット形(U4DU))／CZ-10RWRU2A (-T, -H, -K) 3-3-103
■ワイヤレスリモコン受信部(2方向天井カセット形)／CZ-10RWRL2 3-3-108
■ワイヤレスリモコン受信部(1方向天井カセット形(スリム形を除く)
(高天井用1方向カセット形)／CZ-10RWRD1A 3-3-113
■ワイヤレスリモコン受信部(天井吊形)／CZ-10RWRT1A 3-3-118
■ワイヤレスリモコン受信部(別置受信部)／CZ-10RWRC1A 3-3-122
■ワイヤレスリモコン送信部／CZ-10RWP2 3-3-128
■多言語対応ワイヤードリモコン／CZ-10RTF4 3-3-133
■簡単リモコン／CZ-02RE4 3-3-138
■昇降操作専用リモコン／CZ-10RWU3G 3-3-145

3-4 集中制御
■スケジュールタイマー／CZ-10ESW3 3-4-1
■e-CUT機能付システムコントローラー／CZ-10ESM4 3-4-10
■システムコントローラーPLUS／CZ-10ESM5 3-4-34
■ON／OFF集中コントローラー／CZ-10AN4 3-4-67
■インテリジェントコントローラー／CZ-10EST4B 3-4-71
■通信アダプター／CZ-10APB3B 3-4-129

3-5 制御関連機器
■オン／オフ制御用ローカルアダプター　汎用／CZ-CAPA1 3-5-1
■オン／オフ制御用ローカルアダプター　照明・換気扇用／CZ-CAPL1 3-5-5
■室内用リレー中継基板　CZ-01APC3 3-5-9
■室外シリパラI/Oユニット／ACC-XSP4U1 3-5-13
■ミニシリパラI/Oユニット／ACC-SP1A 3-5-27
■電磁弁出力基板／ACC-3WAY-B1 3-5-32
■電磁弁出力基板／ACC-3WAY-B2 3-5-33
■電磁弁出力基板／ACC-3WAY-B3 3-5-37
■電磁弁出力基板／ACC-3WAY-EK 3-5-38
■電磁弁出力基板／ACC-3WAY-EQ2 3-5-40
■信号出力基板／ACC-SG-E 3-5-41
■BACnetアダプター／CZ-10ESB4 3-5-48
■RACローカルアダプター／CZ-CAPR1 3-5-58
■WLANアダプター／CZ-10APWF1 3-5-61
■HVACクラウドアダプター／CZ-10FUSCQ1 3-5-69

3-6 その他
■エコナビセンサー(壁設置形)／CZ-CSEN1 3-6-1
■遠隔操作(T10端子) 3-6-9
■遠隔操作(切り忘れ防止・デマンドコントロール) 3-6-10
■遠隔操作(換気扇・JEMA) 3-6-11
■リモートセンサー／CZ-RSB4・ART-K43K 3-6-12
■高調波抑制フィルター
(UXPR5R, UXPR5YR, UXR5, UXKR5用)本体／CZ-450AF5, CZ-450AF5J 3-6-16
■高調波抑制フィルター(汎用)本体／CZ-AF4, AF4J 3-6-37
■高調波抑制フィルター(汎用)自立金具／CZ-AFX4AJ 3-6-39

1） 通信仕様の統一
オフィス・店舗用ならびにビル用システムマルチの通信仕様を統一し、また通信の高速化を図り、制御性の向上を行っております。これにより集中制御機器の共通化が行え、オフィス・店舗用とビル用マルチの系統それぞれに通信アダプターを使用することで共通の集中制御機器（インテリジェントコントローラー）が使用可能になります。

2） リンクの配線方式
配管系統の異なる店舗用（S-LINKアダプターを使用）やマルチ機種の室内外ユニットを１つの室内外操作線（無極性２芯）で接続でき、集中制御機器の通信を行う配線方式（以下リンク配線と呼ぶ）を採用し、大幅な配線作業の簡略化が実現しております。
１系統のリンク配線方式は、室外ユニットを最多３０台、室内ユニットを最多６４台、集中制御機器を最多１０台まで接続可能な方式です。（但し、リンク配線内の各機器数の合計は１００台迄です。）

3） 各種アドレス
室内外ユニットの通信による自動アドレス方式を採用しています。
また、各種設定はリモコンから変更や入力ができます。
各種アドレスや各種設定内容は、室内基板上の不揮発性メモリー（ＥＥＰＲＯＭ）に書き込まれます。このメモリーは電源を切った場合や停電の場合でも、書き込まれた内容は消えません。
・系統（室外ユニット）アドレス、室内ユニットアドレス、グループアドレス
自動アドレスにより室内ユニットの不揮発性メモリー（ＥＥＰＲＯＭ）に自動的に書き込まれます。
（配線方式により、設定操作が必要になります。）
・集中アドレス
集中制御を行う場合はリンク配線を行い、室内・室外ユニットアドレスを設定してから、リモコンまたは集中制御機器から設定します。

●集中制御機器
集中制御機器の制御対象は、１系統のリンク配線【室内外操作線上の室外ユニット：最多３０台、室内ユニット：最多６４台、集中制御機器：最多１０台】が対象になります。
（複数の冷媒配管系統にまたがって集中制御機器を使用する場合は、必ずリンク配線方式となります。）
※ローカルアダプターを取り付けることにより、旧形の集中制御機器に接続できます。

<主な制御機器>
・ワイヤードリモコン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・CZ-10RT5C , CZ-10RT3
・ワイヤレスリモコン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・CZ-10RWP2
・ｅ－ＣＵＴ機能付システムコントローラー・・・・・・・・・・・・・CZ-10ESM4 , CZ-10ESM5
・ＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・CZ-10AN4
・インテリジェントコントローラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・CZ-10EST4B
・オン／オフ制御用ローカルアダプター・・・・・・・・・・・・・・・CZ-CAPA1 , CZ-CAPL1

■親機：１リンク配線系統（室内外操作線）の仕様
室内外操作線・・・・・・・・無極性２芯
配線総延長距離・・・・・・・0.5mm²～2mm²(総延長1000mまで) 2mm²(総延長2000mまで)
分岐配線・・・・・・・・・・最多１６箇所 （１m以内の分岐は含みません。分岐後の分岐はできません。）
接続可能室外ユニット・・・・最多３０台
接続可能室内ユニット・・・・最多６４台
接続可能集中制御機器・・・・最多１０台
（但し、１リンク配線内の各機器数の合計は、１００台迄です。また、オフィス・店舗用エアコンの室内外接続線にある台数を含みます。）

1） ツインの場合にリモコン渡り配線が必要です。
2） １リンク配線系統の室内ユニットは、ツインやグループ制御を行っている子機も含めた室内ユニットの合計接続台数が最多６４台となります。
3） 室内ユニットや室外ユニットの台数が上記の台数制限より多い場合は、複数系統のリンク配線方式となります。
4） 集中制御機器を使用する場合は、必ずリンク配線方式にて配線を行ってください。
5） 室内外操作線は、下記の電線を使用してください。

エコ電線記号	従来記号	名称（従来名称）	適用規格
ＥＣＯ１２０	ＶＣＴ	耐燃性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型ケーブル（ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル）	JIS C 4501
EM-CEE	ＣＶＶ	制御用耐燃性ポリエチレンシースケーブル（制御用ブニル絶縁ビニルシースケーブル）	JIS C 3401
EM-ECTF	ＶＣＴＦ	耐燃性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型コード（ビニルキャブタイヤ丸型コード）	JIS C 3306
EM-MEE-S	ＭＶＶＳ	しゃへい付きマイクロホン用耐熱性ポリエチレンコード（しゃへい付きマイクロホン用ビニルコード）	JIS C 3271
EM-EEF	ＶＶＦ	６００Ｖ耐燃性ポリエチレンシース平型ケーブル（６００Ｖビニル絶縁ビニルシース平型ケーブル）	JIS C 3342
EM-CPEES	ＣＰＥＶＳ	通信用シールド付き市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（シールド付き市内対ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル）	
EM−K-CPEE	ＫＰＥＶＳ	計装用シールド付き市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（シールド付き市内対ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル）	JIS C 5402

※エコ電線について：紫外線（日光、照明など）の影響を受ける場合は、遮光をするか耐紫外線用をご使用ください。

6） 線の太さ　　0.5～2.0mm²

主要制御機能 ・・・室内ユニットは4方向天井カセット形(U5U)の例

室温制御

下記△Tにより、サーモON/OFFします。

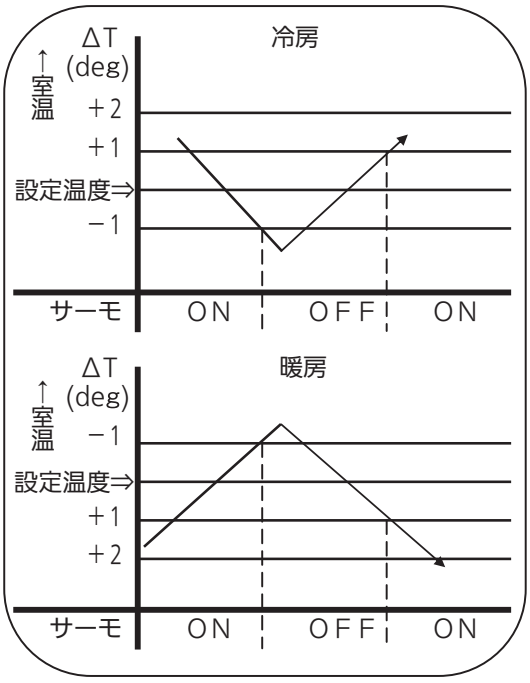
△T＝室温　ー　設定温度	
リモコンセンサー使用時	室温＝リモコンセンサー検出温度
ボディーセンサー使用時	室温＝ボディーセンサー検出温度 ー※吸込シフト温度

※吸込シフト温度（暖房時のみ有効）

暖房時、部屋の上部と下部では温度差が生じます。上部にあるボディーセンサーでの検出温度と下部との温度差を考慮した値を設定します。

〈出荷時吸込シフト温度設定値〉：4deg

ボディーセンサー使用時



①一旦サーモONすると、３分間は△Tによるサーモ OFFはしません。

②一旦サーモOFFすると、１～３分間はONしません。

③“試運転”に設定すると６０分間は△Tによるサーモ ＯＦＦはしません。（強制サーモＯＮ）

暖房準備

●暖房運転時、冷風防止のために室内風速を下記のように制御します。

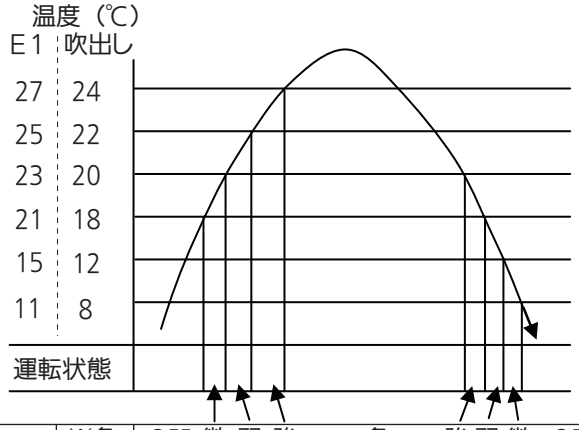
①風速が微風または無風の時にリモコンに“暖房準備”（暖房準備中）を表示します。

・除霜運転時

・暖房開始後、室内熱交Ｅ１温度２３℃以下または吹出温度２０℃以下（最長６分間）

②暖房開始後、室内熱交Ｅ１温度または吹出温度の上昇にしたがって設定風速に近づけます。

※Ｅ１温度と吹出温度でそれぞれの制御ゾーンを判定し、高いほうのゾーンを採用します。



設定風速								
	※急	OFF	微	弱	強	急	強	弱	微	OFF
	強	OFF	微	弱	強	強	強	弱	微	OFF
	弱	OFF	微	弱	弱	弱	弱	弱	微	OFF

※風速自動設定も同じ

：急、：強、：弱

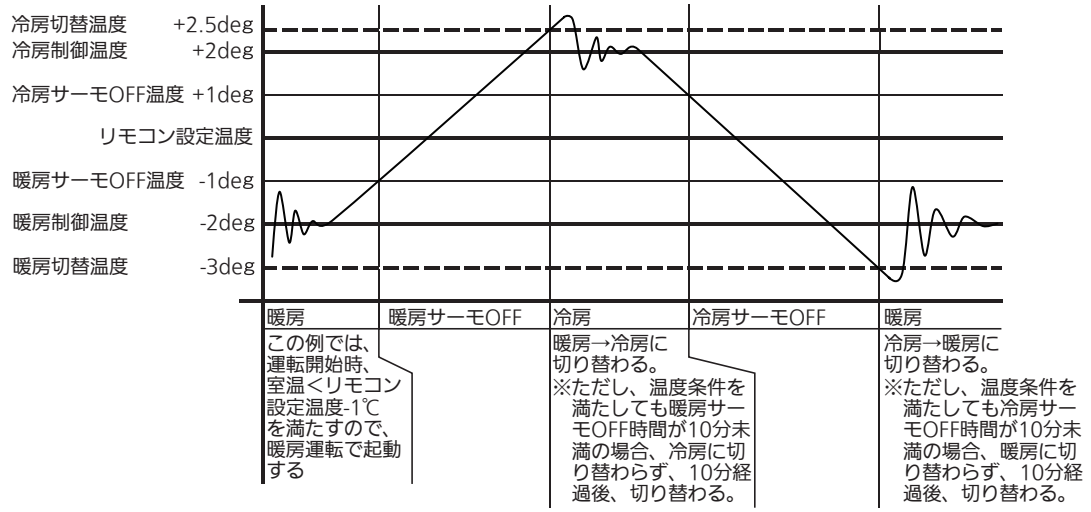
主要制御機能 ・・・室内ユニットは4方向天井カセット形(U5U)の例

冷暖自動制御

※2Wayシステムについては、同一冷媒内系統内の全室内ユニットが1つのグループ制御になっているとき行えます。
①運転開始時、設定温度と室温により冷房・暖房が選択されます。
室温≧リモコン設定温度 -1℃　→　冷房　：　室温＜リモコン設定温度 -1℃　→　暖房
②選択された運転モードで運転開始後、設定温度は自動的に冷房運転では+2deg、暖房運転では−2deg シフトします。
これらの温度をそれぞれ冷房制御温度、暖房制御温度と定義します。
例）リモコン設定が、冷房自動２０℃の場合

冷房制御温度	22℃
リモコン設定温度	20℃
暖房制御温度	18℃

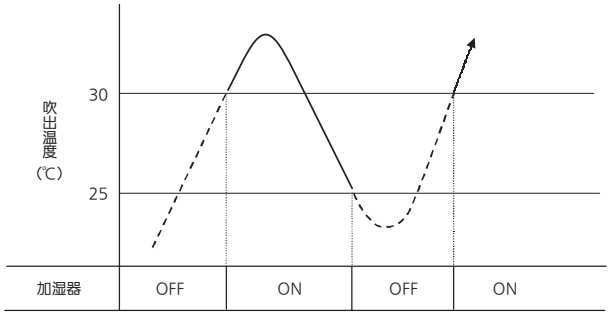
③冷房⇔暖房モード切替条件
暖房⇒冷房　室温≧冷房制御温度＋０.５deg　：　冷房⇒暖房　室温≦暖房制御温度－１.０deg
例）リモコンセンサー使用時の冷暖モード切換例



※ボディーセンサー使用時は、暖房吸込温度がシフトします。
（出荷時吸込シフト温度設定値）：4deg

加湿器制御（別売）

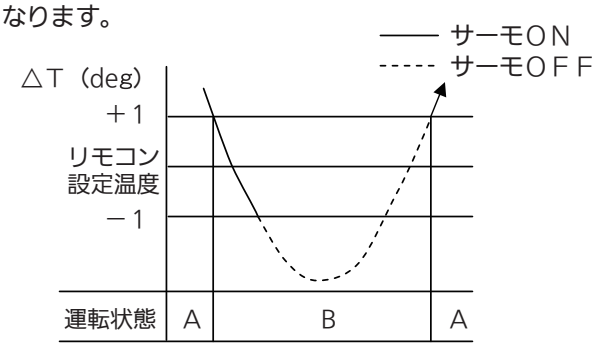
急風、強風または弱風で暖房運転（サーモON）時に吹出温度によりON・OFFします。



主要制御機能 ・・・室内ユニットは4方向天井カセット形(U5U)の例

ドライファン制御

運転モード「ドライ」時の室内ファン制御は以下となります。

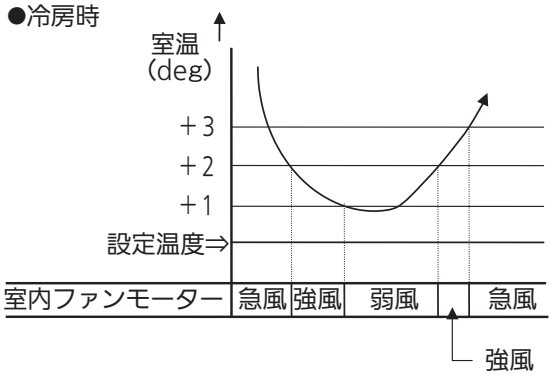


A：室内風速は設定風速
B：室内風速は弱風運転（サーモON時）または
　　微風運転（サーモOFF時）
※ △Tは室温制御の項目を参照

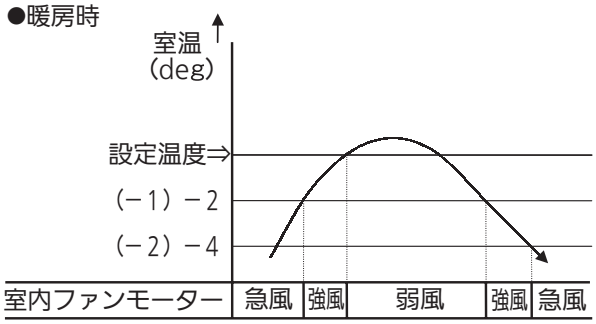
風速自動制御

①リモコンで、風速自動を選択した場合、室内ファンモーターを下記のように制御します。
②風速は、運転開始後、冷房時３分以内、暖房時１分以内では切換わりません。
③（　）内は、リモコンセンサー使用時です。

●冷房時



●暖房時

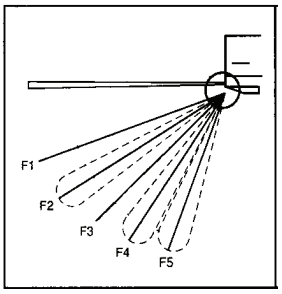


ドレンポンプ制御

①冷房運転の圧縮機ON時、ONします。
②凍結防止制御により圧縮機がOFFした時、20分間ONします。
③フロートスイッチが動作した時ONします。その後、フロートスイッチが復帰してから20分後にOFFします。
④冷房運転停止、サーモOFF後、10分間遅延運転します。

オートフラップ制御

フラップのスイングおよび、５段階の位置設定ができます



運転モード	フラップ位置
	任意設定
冷房・ドライ	F1･F2･F3･スイング・スイング停止 一部の機種は、F4･F5も可
送　　風	F1･F2･F3･F4･F5･ スイング・スイング停止
暖　　房	F1･F2･F3･F4･F5･ スイング・スイング停止
暖房準備	F1 または F2　（解除後は元の位置）

①電源イニシャル時、停止時に、位置出し運転をします。（機種により停止位置が異なります）
②オートフラップの設定はメモリーされます。

制御部品特徴

名　称	特　徴	適用機種
ワイヤードリモコン CZ-10RT5C	●ナノイーX対応。 ●メニュー画面からきめ細やかな設定。 ●換気連動運転。 ●メンテナンス機能。 ●省エネを実現する6つの機能。(e-CUT機能) ・設定温度自動リターンモード　・消し忘れ防止モード ・設定温度範囲制限モード　・省エネモード ・運転自動停止機能　・パスワード管理機能 ●空調機・ジアイーノ・熱交換気ユニットをひとつのリモコンで操作 ●空気質(室温・湿度・CO2濃度)を見える化 (IAQセンサー接続時) ●換気風量のCO2連動設定に対応 (IAQセンサー/熱交換気ユニット接続時) ●Bluetooth®通信でユニット情報の取得しdatanaviの操作性とサービス性を向上	室内ユニット 全機種
ワイヤードリモコン CZ-10RT3	●大きな液晶画面を搭載。 ●グループ制御が可能。 ●最多2台のリモコンを設置可能。 ●設定温度自動リターン機能搭載。 ●快適オートフラップ制御。 ●昇降グリルや換気扇操作もこれ1台でOK。	室内ユニット 全機種
多言語対応 ワイヤードリモコン CZ-10RTF4	● 最大9言語に対応 日本語(日英併記)/英語/中国語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/ ロシア語/ポーランド語 ● 初めての人でも直感的で簡単に操作が可能。 ● 使用頻度の高い機能のみを搭載。 ● 外国人客が多いホテルや施設に最適。	室内ユニット 全機種
ワイヤレスリモコン受信部 CZ-10RWRU2A(*1) CZ-10RWRL2(*2) CZ-10RWRD1A(*3) CZ-10RWRT1A(*4) CZ-10RWRC1A(*5) ワイヤレスリモコン送信部 CZ-10RWP2(*6)	●送信部と受信部は、それぞれ購入いただけます。 ●現在時刻表示機能により、24時間タイマー設定が可能。 ●ワイヤレスリモコンの設定を現地で変更できます。 ●昇降グリルや換気扇操作もこれ1台でOK。 ●4方向天井カセット形受信部は、天井パネルのコーナー部付け替えだけの簡単設置。 ●親・子リモコン制御が可能。 ●その他、温度設定、運転切換、風向/風速設定等の機能付き。	4方向天井カセット形(*1) 2方向天井カセット形(*2) 1方向天井カセット形 (スリム形を除く)(*3) 天井吊形(*4) 別置受信部(*5) 送信部(*6)
簡単リモコン CZ-02RE4	●大きなボタンと見やすい液晶パネルで、誰でも簡単に操作できます。 ●基本機能に特化しているので、不特定の方が利用するホテルや会議室などに最適。 ●省エネボタンを押すだけで、省エネ効果の高い運転状態になり、ガス消費を抑制します。 ●リモコンセンサーで快適な室温にコントロールします。	室内ユニット 全機種
スケジュールタイマー CZ-10ESW3	●最多64グループ<室内ユニット最多64台>を、最多8つのタイマーグループに分けて制御が可能。 ●1日6回のプログラム運転(運転/停止/手元許可/手元禁止)、1週間分全機種のプログラムをセット可能。 ●臨時の休日に対応してタイマーを休止させる機能に加え、長期間タイマー運転を停止させることも可能。	室内ユニット 全機種 (ワイヤードリモコン 使用機種のみ)
e-CUT機能付 システムコントローラー CZ-10ESM4	●室内ユニット最多64グループ、64台の個別制御が可能。 ●リモコン操作禁止・許可設定可能。 ●10パターンの中から使用状況に応じた制御モードを選択できます。 ●ウィークリータイマー機能。 ●省エネを実現する機能。(e-CUT機能) ○設定温度自動リターンモード　○設定温度範囲制限モード ○デマンド機能　○消し忘れ防止モード、運転自動停止 ○省エネモード　○パスワード管理機能	室内ユニット 全機種
システムコントローラーPLUS CZ-10ESM5	●室内ユニット最多128グループ、128台の個別制御が可能。 ●カラータッチパネル液晶で操作性と視認性向上による簡単操作。 ●リモコン操作禁止・許可設定可能。 ●ウィークリータイマー機能。 ●室内ユニットで警報が発生したときはブザーでお知らせ ●省エネを実現する機能。(e-CUT機能) ○設定温度自動リターンモード　○設定温度範囲制限モード ○デマンド機能　○消し忘れ防止モード ○省エネモード　○パスワード管理機能 ●その他 ○警報履歴/点検履歴　○SDカードのデータ入出力機能	室内ユニット 全種
ON／OFF 集中コントローラー CZ-10AN4	●1リンク配線(室内外操作線)内に親子合計8台(親4台、子4台)の接続が可能。 ●室内ユニット最多16グループ、最多64台を接続でき、発停のみ制御。 ●運転、異常表示もひと目で確認。(LEDの点灯・点滅でお知らせ)	室内ユニット 全機種

制御部品特徴

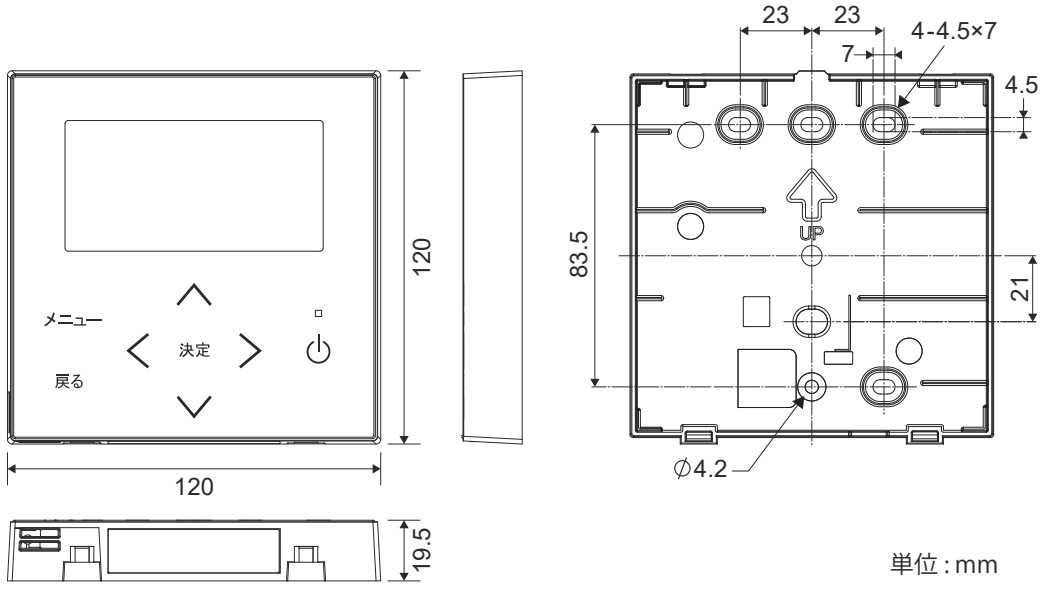
名　称	特　徴	適用機種
インテリジェント コントローラー CZ-10EST4B	●最多256台の室内ユニット集中制御が可能。(最多16※1系統) ※1 系統は1リンク配線の制限(室内機最多64台、室外機最多30台、集中制御機器最多10台、ただし合計最大100台) を満たす室内機が制御対象。3系統以上の場合は通信アダプター(CZ-10APB3B)を設置する必要があります。 ●省エネ機能 ○e-CUT機能　○現場に合わせた選べるデマンド機能 ○その他の省エネ機能 ●エネルギー使用量の按分計算・空調料金計算を行い、料金請求業務をサポート。 ●エネルギー量や温度変化等の各種データを分かりやすくグラフ表示。 ●日々の運転スケジュールで年間を通し設定して、毎日省エネ自動運転を実現。 ●イベント(状況の変化)発生時、連動制御が可能です。最多50件まで登録が可能です。 ●お手元のパソコンから複数の建物の空調機を一括管理。 ●室内ユニットで警報が発生したときはブザー音でお知らせ ●その他 ○換気装置の制御　○外部入出力 ○公共建築仕様対応　○制御履歴、状態変化履歴 ○サービス連絡先表示　○警報履歴/点検履歴	室内ユニット 全機種
通信アダプター CZ-10APB3B	●インテリジェントコントローラーに3系統以上のリンク配線(室内外操作線)を接続する場合や、P-AIMSシステムで使用。 ●通信アダプター1台で室内ユニット128台(64台×2系統)まで増設。 ●接続するインテリジェントコントローラーやP-AIMSを冷媒漏えいの警報器として使用する場合、本モデル(CZ-10APB3B)が必要。 ※防滴仕様ではありませんので、必ず室内か制御盤の中などに設置してください。	—
室外シリパラ I／O ユニット ACC-XSP4U1	●室内ユニット一斉ON/OFF、冷暖モード切替ができます。 ●中央制御盤などの接点入力で制御可能です。 ●1台で最多4台の室外ユニット(冷媒系統)の制御ができます。	室外全機種
ミニシリパラ I／Oユニット ACC-SP1A	●ビル管理システムとの接続が簡単に行えるインターフェースで、室内ユニット1グループの制御、および状態監視が可能。	—
オン／オフ制御用 ローカルアダプター CZ-CAPL1 (照明、換気扇用)	●接点信号でオン／オフできる照明や換気扇などの機器を集中制御機器からオン/オフ制御や状態監視する場合に使用するアダプターです。 ●オン／オフ制御用ローカルアダプター1台に対し、機器ならびに接続回路が最大2台までオン/オフ制御が可能。	—
オン／オフ制御用 ローカルアダプター CZ-CAPA1 (汎用)	●JEMA標準HA端子を備えた機器を集中制御機器からオン/オフ制御や状態監視する場合に使用するアダプターです。 ●室内ユニット1台に対して、オン／オフ制御用ローカルアダプター1台が必要。	—
HVACクラウドアダプター CZ-10FUSCQ1	●業務用空調クラウドサービス(HVACクラウド)の利用に必要なアダプターです。 ●HVACクラウドの機能: 遠隔管理、警報通知、省エネ制御、スケジュール管理、エネルギーの見える化 ●接続可能台数　室外ユニット60台、室内ユニット128台	室内ユニット 全機種
信号出力基板 ACC-SG-E	●各種信号(除霜、暖房、冷房(ドライ)、サーモON、送風)を外部出力可能。	室内ユニット 全機種
電磁弁出力基板 ACC-3WAY-B1/2/3 EK/EQ2	●ガス管弁キット、電磁弁キットに使用。	室内ユニット
リレー中継基板/室内用 CZ-01APC3	入力: ●発停については3方式の選択可能。 ●リモコン側発停禁止(無電圧ｽﾀﾃｨｯｸ) 出力: ●運転信号(無電圧A接点) ●室内外警報信号(無電圧A接点)	室内ユニット 全機種
リモートセンサー CZ-RSB4	●室内ユニットに使用可能なリモートセンサー。リモコンセンサー・ボディセンサーを使用しない場合の室内の温度検知にご使用ください。 (リモコンレスシステムに対応できます。) ●リモコンを併用する場合には、リモコンを親リモコンとしてご使用ください(本センサーは室内機のリモコン配線端子に接続)。マンセル記号 (2.5GY 9.0/0.5)	室内ユニット 全機種
リモートセンサー ART-K43K	●天井埋込形・ビルトインオールダクト形で、加湿器等によりボディセンサーでの温度検知に支障が考えられる場合等の延長用別付けセンサーです。	ビルトイン オールダクト形
高調波抑制フィルター CZ-450AF5	●室外ユニットに接続して、高調波を大幅に低減します。 ●室外ユニット1台につき1台使用。 ●取り付け前に配管工事が必要です。	室外ユニット (UXPR5R,UXPR5YR, UXR5,UXKR5用)
高調波抑制フィルター CZ-AF4	●室外ユニットに接続して、高調波を大幅に低減します。 ●室外ユニット1台につき1台使用。 ●電源配線、防水チューブは同梱されていません。(現地調達) ●冷暖フリー(UXE3)に取り付ける場合は、別売部品の取付金具が必要です。	室内ユニット (汎用)
BACnetアダプター CZ-10ESB4	BACnetはオープンプロトコルのため、ビルシステムの「オープンシステム化」が可能。 ● 最大2リンク、1リンクあたり最大室外機30台/室内機64台を接続可能。 ● 国際的な通信規格BACnet (IPV6)に対応することで、中央監視システムとの接続性を大幅に向上。	—
HA JEM-A規格対応 コネクタ CZ-C1CE	●サービスパーツ扱い 有償 ●室内ユニットをHA規格で制御する際に、室内ユニットコントロール基板(T10端子)からHA端子へ変換するためのコネクタです。	—
IAQセンサー FY-SDGL1	●3つのセンサー(温度・湿度・CO2)で、空気質情報を測定、多機能リモコンCZ-10RT5Cで表示が可能。 ●熱交換気ユニットと連携して、CO2濃度に応じた換気風量の自動切り替えが可能。 (設定には多機能リモコンCZ-10RT5Cが必要)	—

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　仕様

仕様

品番		CZ-10RT5C
外形寸法		(高さ) 120 mm×(幅) 120 mm×(奥行き) 19.5 mm
質量		190 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20 %～80 %(屋内設置専用)
電源		DC16 V(室内ユニットより供給)
リモコン配線の接続可能台数(室内ユニット)		8台まで(グループ制御時。熱交換気ユニット、天井埋込形ジアイーノ、天吊カセット形ジアイーノ、安全しゃ断弁キットの台数を含む) ジアイーノはリモコン配線に1台のみ接続可能
Bluetoothバージョン		4.2以降
時計	精度	±30秒/月(常温25 ℃) 定期的に合わせてください。
	停電時の動作時間	72時間(満充電時) 満充電に約24時間かかります。

外形寸法図

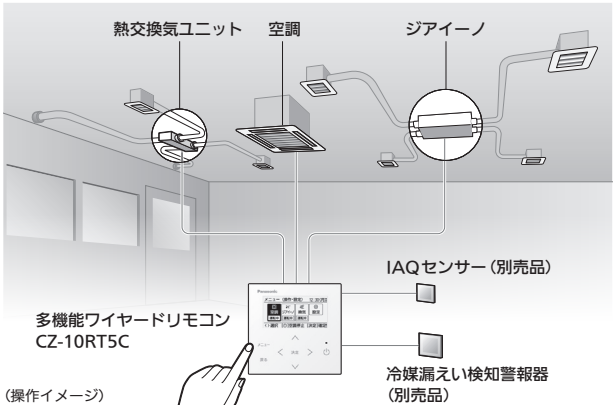


単位 : mm

配線を埋め込まれる場合は、JIS-C8340 1個用スイッチボックス（カバーなし）
または、 2個用スイッチボックス（カバーなし）を現地調達し、埋め込んでください。

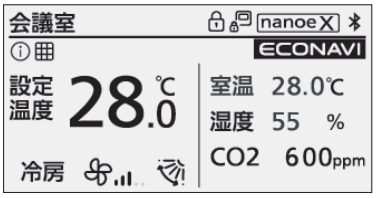
多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

空調・ジアイーノ※1・換気をひとつのリモコンで操作



（操作イメージ）

空気質（室温・湿度・CO2濃度）を見える化※2



※1 「ジアイーノ」は、次亜塩素酸のチカラで空間の除菌・脱臭を行う空間浄化機器です。
次亜塩素酸を用いた、独自の空間浄化技術で、身の回りの菌やニオイを抑制します。
※2 湿度またはCO2濃度は、別売のIAQセンサー接続時に表示できます。

datanavi

スマートフォンのアプリを使用して空調機の情報をクラウドに保存し、円滑なサポートを提供します。



空調機の情報
- 消費電力量（対応機種のみ）
- 機種名
- 点検時期のお知らせ
- 警報情報 など

● Bluetooth®通信でdatanaviの操作性向上

● フロン抑制　簡易点検サポート
点検時期のお知らせ

● 困ったときのかんたん解決サポート
- 故障かな？と感じたときのQAリストや取扱説明書閲覧
- エラー発生時の迅速対応サービス

この機能の取扱いの詳細は
https://datanavi.ac.smartcloud.panasonic.com/

お知らせ

●スマートフォンの機種によっては、datanaviをお使いいただけない場合があります。スマートフォンの対応機種は、上記ウェブサイトでご確認ください。（対応機種でも、使用環境によってはご使用いただけない場合があります）

もくじ

安全上のご注意 6
使用上のお願い 8
Bluetooth使用上の注意とお願い ... 9
各部の名前 11
画面の見かた 12
トップ画面 12
メニュー画面 15
インフォメーション画面 16
冷媒漏えい検知状態について 17
基本の使いかた 18
設定温度を変えるとき 18
運転モードを変えるとき 19
風速を変えるとき 19
風向を変えるとき 20
空調運転の操作 21
運転する／停止する 21
設定温度／運転モード／風速／風向を変えるとき 22
ジアイーノ運転の操作 25
運転する／停止する 25
運転モードを変えるとき 26
除菌脱臭の強度を変えるとき 27
加湿量を変えるとき 27
換気運転の操作 30
運転する／停止する 31
換気モードを変えるとき 32
換気風量を変えるとき 32
メニュー一覧への操作 35
メニュー一覧 36

空調設定

タイマー設定 39
切／入タイマー設定 39
ウィークリータイマー設定 41
新規登録する 41
ウイークリータイマーの登録を削除する 44
設定内容を他の曜日にコピーする ... 45
曜日全削除 46
曜日無効設定 47
消し忘れ防止タイマー設定 48
消し忘れ防止時間 49
消し忘れ防止タイマー 50
運転自動停止タイマー設定 51
室内機個別設定 53
風向設定 54
個別風向固定設定 56
風あて・風よけ 58
サーキュレート運転（エコナビパネル使用時のみ） 60
ナノイーX 62
内部クリーン 63
内部乾燥 64
省エネ設定 65
省エネ運転設定 65
設定温度自動リターン 67
設定温度範囲制限 68
手動デマンド 69
時間帯デマンド 70
エコナビ設定 72
エコナビ 72
不在運転モード 74
不在運転開始時間 76
モニター表示 77
省エネモニター 77
CO2排出量モニター 79
現在発電量表示 81
ローテーション設定 82
ローテーション 82
バックアップ 84
室外静音設定 86
静音運転切替／静音運転時間 86
外部機器連動設定 88
外部機器連動／外部機器連動モード／不在検知時間設定 88
換気出力 91
室温測定温度センサー 92
空調機器情報 93
ユーザーメンテナンス 94

もくじ

フィルター情報 94
昇降グリル 96
銀イオン抗菌剤 97

ジアイーノ設定

タイマー設定 98
切／入タイマー設定 98
ウィークリータイマー設定 100
新規登録する 100
ウイークリータイマーの登録を削除する 102
設定内容を他の曜日にコピーする ... 103
曜日全削除 104
曜日無効設定 105
集中クリーン終了後動作設定 ... 106
ジアイーノ機器情報 107
ジアイーノについて 108
ユーザーメンテナンス 109
塩水パック 109
電極 111
HEPAフィルター 113

換気設定

タイマー設定 115
切／入タイマー設定 115
ウィークリータイマー設定 117
新規登録する 117
ウイークリータイマーの登録を削除する 119
設定内容を他の曜日にコピーする ... 120
曜日全削除 121
曜日無効設定 122
24時間換気 123
ナイトパージ 124
予熱時外気取り入れ停止 125
動作設定 125
停止時間設定 126
人不在時省エネ設定 127
動作設定 127
人不在判定時間 128
ナノイーX 129
CO2連動設定 130
ユーザーメンテナンス 131
フィルターサインリセット 131

リモコン設定

取扱説明書 132
時計設定 133
時刻表示設定 134
リモコン名称設定 135
操作ロック設定 137
操作音設定 139
コントラスト設定 140
バックライト設定 141
表示モード 142
トップ画面表示情報 144
言語切替 146
管理者パスワード 147
リモコン親子設定 149
ワイヤレス設定 150
Bluetooth 150
Bluetooth機能 150
Bluetooth初期化 151
サービス連絡先表示 152
表示アイコン一覧 153
故障かな？ 157
ご相談窓口 159
お手入れ 159
仕様 160
著作権など 160
ソフトウェアライセンスについて 161

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

必ず守る

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
（水漏れや感電・火災の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切る
（感電や火災の原因）
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする
- ブレーカーがたびたび切れる
- 本体が変形したり、異常に熱い

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください

アプリ利用時は事前に他の人が設定したタイマー予約などをスマートフォンで確認し、設定状況を十分に把握する
（思わぬ運転や停止により、体調をくずす原因。動植物に悪影響をおよぼす原因）

心臓ペースメーカーを装着している方は、装着部を本機から15 cm以上離す
（本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

禁止

本機に医療機器や自動制御機器（自動ドア、火災警報器など）を近づけない
（本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在を判定し、空調機の運転が停止することがあります。

リモコンを分解しない
（感電や故障の原因）

水洗いしない
（感電・火災の原因）

冷媒が漏れている恐れがあるときは
（感電や故障の原因）
- ファンヒーターやストーブ・コンロなどの燃焼器具を使用しない
  （冷媒が火気に触れると有毒ガス発生や火災の原因）

部屋の換気を行い、販売店またはサービス会社に点検を依頼してください。

⚠ 注意

禁止

ぬれた手で操作しない
（感電や故障の原因）

使用上のお願い

●警報音が発報したら速やかにお買い上げの販売店またはご相談窓口に連絡してください。
●本機器が警報を発報し、その連絡を受けた管理者は、警報が発報したことをお買い上げの販売店またはご相談窓口に連絡し、冷媒漏えいの点検・修理を依頼してください。
●本機器の冷媒漏えい警報機能を有効にして設置する場合は、1年に1回以上の定期点検が必要です。警報機能の設定や点検時期に関する不明点は、速やかにお買い上げの販売店またはご相談窓口にご連絡ください。
●次のような場所に設置しないでください。
- 湿気・油分・振動が多い／直射日光があたる／熱源の近く／結露する（故障の原因）
- ノイズが発生する（誤動作の原因）

●本機器を覆ったり、すぐ前に物を置いたりしないでください。
（冷媒の漏えいを検知したとき、警報音が聞こえなくなる原因）

【設備施工業者の方、管理者の方へ】
●本製品は、冷媒漏えいを検知したことを警報音などでお知らせします。本製品の設置場所により、空調設備の管理者が冷媒漏えいを把握できない場合には、管理者が冷媒漏えいを把握可能なシステムを別途用意してください。管理者が冷媒漏えいを把握可能なシステムとは、遠隔監視システムまたは使用者から管理者へ連絡する体制でも構いません。使用者から管理者へ連絡する体制を採用する場合は、冷媒漏えい検知警報器の近くに管理者の連絡先を必ず表示などしてください。
●冷媒漏えい対策で安全装置（冷媒漏えい検知警報器、安全しゃ断弁、機械換気装置）を設置している場合、その保守点検／交換方法は対象の据付（電気）工事説明書または交換手順書をご覧ください。
●冷媒漏えい対策で安全装置（冷媒漏えい検知警報器、安全しゃ断弁、機械換気装置）を設置している場合、異常・故障時や短時間のお手入れ時以外は電源を切らないでください。（電源を切ると機器が作動せず、冷媒漏れが発報できません）
●警報音発報の発見者は、ただちに管理者へ連絡することを、周知してください。

Bluetooth使用上の注意とお願い

■ 他機器からの影響

●磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。
次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
- 電子レンジ、デジタルコードレス電話機
- その他2.4 GHz帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
- 電波が反射しやすい金属物などの近く

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止したうえ下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：パナソニック株式会社
商品相談窓口　空調・換気・給湯の相談窓口（P.159）

■ 使用制限

●日本国内でのみ使用できます。
●Bluetooth標準規格に準じたセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境及び設定内容によってはセキュリティが十分でない場合がございます。無線通信時はご注意ください。
●無線通信時に発生したデータおよび情報漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
●放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

Bluetooth使用上の注意とお願い

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を内蔵しているので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為は電波法で禁止されています。

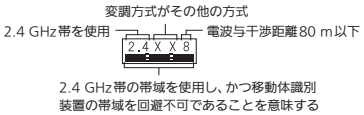
- 分解/改造する
- 本機記載の定格銘板を消す（本機に貼ってある証明ラベルをはがす）

■ 使用可能距離

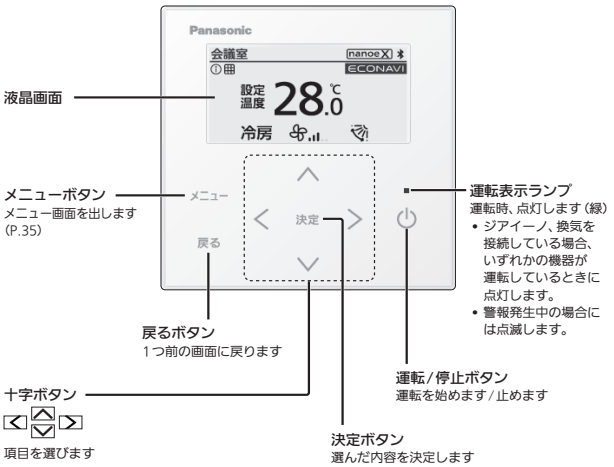
リモコンからの見通し距離10 m以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ Bluetooth®仕様

バージョン：Bluetooth 4.2（Bluetooth Low Energy）
接続周波数：2.4 GHz帯



各部の名前



お知らせ

- ●操作は、ボタンの中央付近を押してください。
- ●手袋を着けた状態では、操作できません。
- ●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

画面の見かた

トップ画面

トップ画面は、「標準モード」（出荷時設定）（下記）、「簡易モード」（P.13）、「詳細モード」（P.14）の3つの表示モードから選べます。
下記の画面は標準モードにおけるトップ画面です。

＜標準モード＞



①**リモコン名称**（P.135）

②**設定情報アイコン**（P.153）
- 設定状況によりアイコンの数と表示位置は変わります。
- トップ画面では、一部の設定状態しか表示されません。すべてのアイコン情報は、インフォメーション画面（P.16）で確認できます。

③**除霜中**
- 暖房運転を一時的に止めて霜を融かす霜取り運転を行うときに表示されます。

④**暖房準備中**：室内ユニットがすぐに温風を吹き出せないとき
運転準備中：室内ユニットがすぐに冷風・温風を吹き出せないとき（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）
- ガスヒートポンプエアコン使用時は、エアコンの状態により暖房準備中/運転準備中のいずれかが表示されることがあります。

⑤**操作ロック設定中**（P.137）

⑥**集中管理中**
- 集中制御機器からリモコン操作を制限中です。

⑦**ナノイーX設定中**（P.62、P.129）

⑧**Bluetooth®無線接続中**（P.150）

⑨**エコナビ設定中**（P.72）
- エコナビパネル/エコナビセンサーを取付時にのみエコナビ設定が可能です。

⑩**空気質情報**（P.144）
- 室温、湿度またはCO_2の空気質情報を表示します。

⑪**運転モード**（P.19）

⑫**設定温度**（P.18）

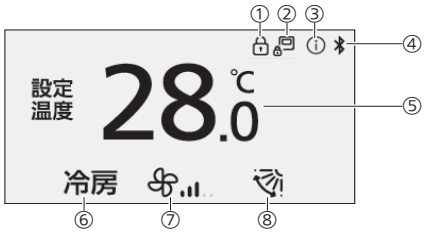
⑬**風速**（P.19）

⑭**風向**（P.20）

画面の見かた

下記の画面は簡易モードにおけるトップ画面です。

＜簡易モード＞



①**操作ロック設定中**（P.137）

②**集中管理中**
- 集中制御機器からリモコン操作を制限中です。

③**設定情報アイコン**（P.153）
- アイコンの情報は、インフォメーション画面（P.16）で確認できます。

④**Bluetooth®無線接続中**（P.150）

⑤**設定温度**（P.18）

⑥**運転モード**（P.19）

⑦**風速**（P.19）

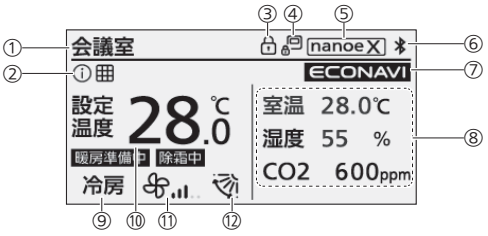
⑧**風向**（P.20）

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

画面の見かた

下記の画面は詳細モードにおけるトップ画面です。

＜詳細モード＞



①リモコン名称 (P.135)

②設定情報アイコン (P.153)
- 設定状況によりアイコンの数と表示位置は変わります。
- トップ画面では、一部の設定状態しか表示されません。すべてのアイコン情報は、インフォメーション画面 (P.16) で確認できます。

③操作ロック設定中 (P.137)

④集中管理中
- 集中制御機器からリモコン操作を制限中です。

⑤ナノイーX設定中 (P.62、P.129)

⑥Bluetooth®無線接続中 (P.150)

⑦エコナビ設定中 (P.72)
- エコナビパネル／エコナビセンサーを取付時にのみエコナビ設定が可能です。

⑧空気質情報 (P.144)
- 室温、湿度またはCO_2の空気質情報を表示します。

⑨運転モード (P.19)

⑩設定温度 (P.18)

⑪風速 (P.19)

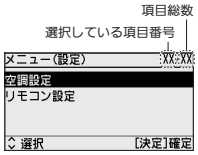
⑫風向 (P.20)

画面の見かた

メニュー画面

■空調機のみが接続されている場合

各機器を設定するためのメニュー (設定) 画面です。



1 トップ画面から メニュー を押す
- メニュー (設定) 画面に移動します。

2 ＜＞ を押して設定したい項目を選び 決定 を押す

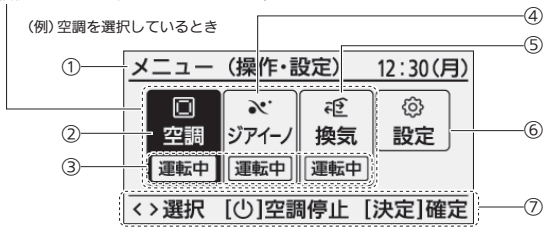
■空調機とジアイーノまたは換気機器、もしくは両方接続されている場合

各機器の運転／停止操作と、機器を設定するためのメニュー (操作・設定) 画面です。

1 トップ画面から メニュー を押す
- メニュー (操作・設定) 画面に移動します。

接続されていない機器は表示されません。

(例) 空調を選択しているとき



①画面名

②空調 (P.21)
- 空調機の運転／停止を設定します。

③機器の状態表示
- 運転中／停止中／警報中 (⚠／▲)、点検中 (ⓘ／❗) のいずれかが表示されます。

④ジアイーノ (P.25)
- ジアイーノの運転／停止を設定します。

⑤換気 (P.30)
- 換気の運転／停止を設定します。

⑥設定
- 接続されている機器を設定するメニュー (設定) 画面に移動します。

⑦リモコン操作ガイド
- 現在操作できる内容が表示されます。

＜＞選択：接続されている機器、設定を選びます。
[⏻] 空調停止：選んだ機器を運転／停止します。
[決定] 確定：接続機器の運転操作の画面や設定内容の画面に移動します。

画面の見かた

インフォメーション画面

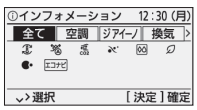
トップ画面で＜を押すと、インフォメーション画面が表示され、設定情報アイコンを確認することができます。

●警報／点検が発生している場合は、＜または 決定 を押すと、インフォメーション画面よりも先に警報／点検の画面が表示されます。

1 インフォメーション画面を表示する
＜を押す
- 現在設定しているアイコンが表示されます。



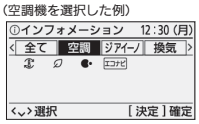
2 機器を選ぶ
＜＞を押す
- 接続されていない機器は、表示されません。



(例) 空調機の設定情報アイコンを確認するとき

3 空調機のアイコン情報にカーソルを移動させる
∨ または 決定 を押す

(空調機を選択した例)

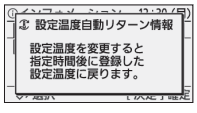


4 アイコンを選ぶ
∧∨＜＞で選び、決定 を押す



5 アイコンの説明を確認する
- トップ画面に戻るには、戻る を3回押してください。

(アイコンの説明例)



お知らせ

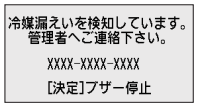
●すべての設定情報アイコンと詳細について (P.153)
●表示する情報がないときは、「設定情報なし」が表示されます。

冷媒漏えい検知状態について

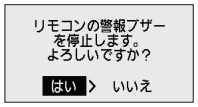
冷媒漏えい検知警報器が設置してある場合、冷媒漏えいを検知すると本機と冷媒漏えい検知警報器から警報音を発報します。冷媒漏えい検知警報器の警報音の止め方は対象の取扱説明書を参照してください。

1 冷媒漏えいを検知する
- 警報音が発報し、右の画面が表示されます。

(警報音発報時の画面例)

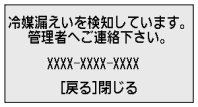


2 警報音を止める
決定 を押したあと、＜＞で「はい」を選び、決定 を押す
- 警報音が止まります。



- 警報音を停止後、継続して冷媒漏えいを検知すると右の画面が表示されます。管理者へご連絡ください。
(一度停止したら警報音は発報されません)

(一度ブザー停止した後の画面例)



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

基本の使いかた

手順1、2は各項目で共通の操作です。

1 運転を始める

[⏻]を押す

（運転表示ランプ点灯）

■ 止めるとき

[⏻]を押す

（運転表示ランプ消灯）



2 設定する項目を選ぶ

[∧][∨][>]または[決定]を押す

- 最初に運転モードを選択したい場合は、[>]を2回押してください。
- [<]を押すとインフォメーション画面に移動します。（P.16）



設定温度を変えるとき

3 設定温度を選ぶ（0.5 ℃単位）

[∧][∨]を押す

- 冷房、ドライ：18 ℃～30 ℃
- 暖房：16 ℃～30 ℃
- 冷暖自動：17 ℃～27 ℃

● [決定]または[戻る]を押すと、上記の手順2に戻ります。



お知らせ

●機器によっては設定できる温度範囲が異なります。

（次ページへ続く）

基本の使いかた

運転モードを変えるとき

3 運転モードを選ぶ

[>]→[∧][∨]を押す

暖房
ドライ
冷房
送風
冷暖自動※



※ 冷暖自動：設定温度と室温の差を感知し、自動で冷房／暖房を切り替えます。運転モードにカーソルがないときは「自動」と表示されます。

● [決定]または[戻る]を押すと、P.18の手順2に戻ります。

お知らせ

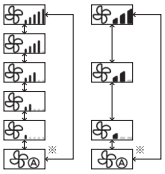
●設定できない運転モードは表示されません。
●冷暖自動は室温を一定に保つ機能ではありません。冷房／暖房の切り替えで吹出温度が大きく変化する場合があります。

風速を変えるとき

3 風速を選ぶ

[>]（2回押す）→[∧][∨]を押す

● 機種によって下記のどちらかの表示になります。





● [決定]または[戻る]を押すと、P.18の手順2に戻ります。

※ [A]（自動）：送風時は選べません。

お知らせ

●機種によって選択可能な風速が異なる場合があります。

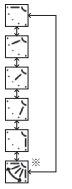
（次ページへ続く）

基本の使いかた

風向を変えるとき

3 風向を選ぶ

[>]（3回押す）→[∧][∨]を押す



[]：スイング、[]：停止



● [決定]または[戻る]を押すと、P.18の手順2に戻ります。

※ スイング中に[∧]か[∨]を押すと、お好みの位置でフラップを止められます。

※ スイング停止中に[∧]か[∨]を押すと、所定の位置にフラップが設定されます。

お知らせ

●リモコンのスイング・風向の表示は、フラップの動きと同調していません。
●風向を変えられない機種では、風向が表示されません。
●機種によって、仕様が異なる場合があります。
（冷房・ドライ時、冷暖自動の冷房時の風向設定が3段階）

■ 室内ユニットごとに風向を設定するとき
（P.56）

お知らせ

●停電の後、通電後に[⏻]を押すと、停電前の内容で運転を再開します。
●しばらくするとバックライトが消えます。（節電のため）
何かのボタンを押すとバックライトが点灯します。
●風速や冷房・ドライ時の風向が3段階の室内ユニットを親ユニット、4方向天井カセット形を子ユニットにしてグループ制御を行うと、設定できる風速および冷房・ドライ時の風向は3段階になります。

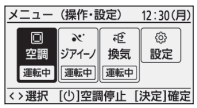
空調運転の操作

メニュー画面から「空調」を選んで操作できる空調機能について説明します。
手順1、2は各項目で共通の操作です。
基本的な操作については、「基本の使いかた」（P.18）を参照してください。

1 トップ画面からメニュー画面を出す

[メニュー]を押す

● 「空調」を選択しているときに、[⏻]を押すと、運転／停止を切り替えます。（P.21）
「設定」を選択しているときも空調機の運転／停止を行います。



■ 1つ前の画面に戻るとき

[戻る]を押す

■ 各設定画面で数分間操作をしないとき

トップ画面に戻ります

2 「空調」を選ぶ

[<][>]を押す



運転する／停止する

3 「空調」選択時、
運転／停止を切り替える

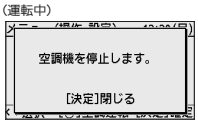
[⏻]を押す

（「運転中」または「停止中」が表示される）

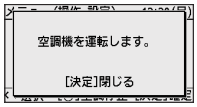


● 「設定」を選択しているときも空調機の運転／停止を行います。

（運転中）



（停止中）



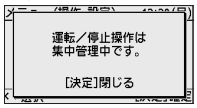
（次ページへ続く）

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

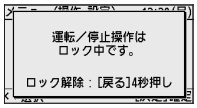
空調運転の操作

■「集中管理中」または「ロック中」と表示されたときは操作ができません

(空調の運転／停止集中管理中)



(運転／停止操作ロック中)



設定温度 / 運転モード / 風速 / 風向を変えるとき

3 「空調」を選ぶ
決定 を押す



■ 設定温度を変えるとき
「設定温度を変えるとき」(P.18) を参照してください。

運転操作対象



■ 運転モードを変えるとき
「運転モードを変えるとき」(P.19) を参照してください。



■ 風速を変えるとき
「風速を変えるとき」(P.19) を参照してください。



(次ページへ続く)

空調運転の操作

■ 風向を変えるとき
「風向を変えるとき」(P.20) を参照してください。



■「警報中」または「点検中」と表示されたときは

① 決定 を押す
- 「設定温度を変えるとき」(P.22) の画画に移動します。



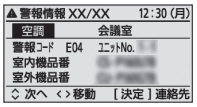
警報中(▲)／点検中(❗)

② ‹ を押す
- 発生している警報や点検情報の内容が表示されます。

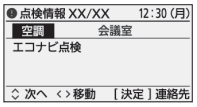


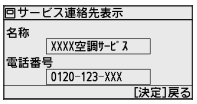
③ 決定 を押して、連絡先を確認する

(警報中の例)



(点検中の例)





(次ページへ続く)

空調運転の操作

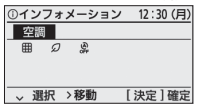
■ インフォメーション画面を表示するには
① 決定 を押す



② ‹ を押す
- 空調のインフォメーション画面が表示されます。
- インフォメーション画面の操作については、「インフォメーション画面」(P.16) を参照してください。



(インフォメーション画面の例)



＜警報または点検が発生している場合＞
手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報または点検の画面 (P.23) へ移動します。

③ ‹ を押す
- インフォメーション画面に移動します。

＜警報および点検の両方が発生している場合＞
手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報画面 (P.23) へ移動します。

③ ‹ を押す
- 点検画面に移動します。

④ ‹ を押す
- インフォメーション画面に移動します。

ジアイーノ運転の操作

メニュー画面から「ジアイーノ」を選んで操作できるジアイーノ運転の操作について説明します。
ジアイーノユニットを接続しているときのみ、操作できます。

手順1、2は各項目で共通の操作です。

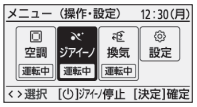
1 トップ画面からメニュー画面を出す
メニュー を押す



■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

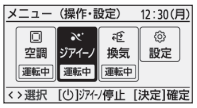
■ 各設定画面で数分間操作をしないとき
トップ画面に戻ります

2 「ジアイーノ」を選ぶ
‹ › を押す

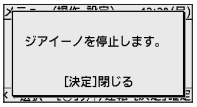


運転する / 停止する

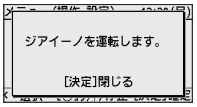
3 「ジアイーノ」選択時、
運転／停止を切り替える
⏻ を押す
(「運転中」または「停止中」が表示される)



(運転中)



(停止中)



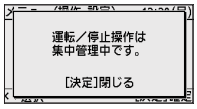
(次ページへ続く)

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

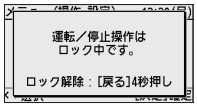
ジアイーノ運転の操作

■「集中管理中」または「ロック中」と表示されたときは操作ができません

(ジアイーノの運転／停止集中管理中)



(運転／停止操作ロック中)



運転モードを変えるとき

3 運転モードを選ぶ

決定 → ∧ ∨ を押す

通常：下記の除菌脱臭の強度、加湿量で設定した内容で運転します
集中クリーン：除菌脱臭の強度を一時的に上げて運転します

- 集中クリーンは、除菌脱臭の強度、加湿量を選べません。また表示もされません。
- 集中クリーン終了後は、「集中クリーン終了後動作設定」(P.106)により、停止、運転（通常運転を引き続き始める）します。

(運転モードが「通常」のとき)



(運転モードが「集中クリーン」のとき)



(次ページへ続く)

ジアイーノ運転の操作

除菌脱臭の強度を変えるとき

3 除菌脱臭する強度を選ぶ

決定 → → ∧ ∨ を押す

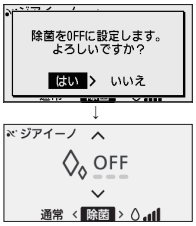
- : 弱
- : 中
- : 強
- : 切



■ 除菌脱臭をOFFにするには

右の画面が表示されたら、「はい」を選ぶ

← → → 決定



加湿量を変えるとき

3 加湿量を選ぶ

決定 → (2回押す) → ∧ ∨ を押す

- : 微弱
- : 弱
- : 中
- : 強



(次ページへ続く)

ジアイーノ運転の操作

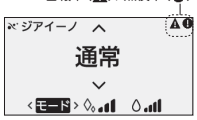
■「警報中」または「点検中」と表示されたときは

① 決定 を押す
- 「運転モードを変えるとき」(P.26)の画面に移動します。



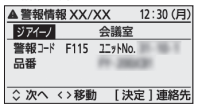
警報中（▲）/ 点検中（●）

② < を押す
- 発生している警報や点検情報の内容が表示されます。

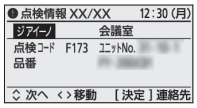


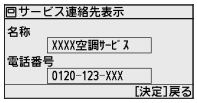
③ 決定 を押して、連絡先を確認する

(警報中の例)



(点検中の例)





(次ページへ続く)

ジアイーノ運転の操作

■ インフォメーション画面を表示するには

① 決定 を押す



② < を押す
- ジアイーノのインフォメーション画面が表示されます。
- インフォメーション画面の操作については、「インフォメーション画面」(P.16)を参照してください。



(インフォメーション画面の例)



＜警報または点検が発生している場合＞

手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報または点検の画面 (P.28) へ移動します。

③ < を押す
- インフォメーション画面に移動します。

＜警報および点検の両方が発生している場合＞

手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報画面 (P.28) へ移動します。

③ < を押す
- 点検画面に移動します。

④ < を押す
- インフォメーション画面に移動します。

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

換気運転の操作

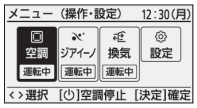
メニュー画面から「換気」を選んで操作できる換気運転の操作について説明します。
熱交換換気ユニットまたは換気扇（外部機器連動の換気出力（P.91））を接続しているときのみ、操作できます。

手順1、2は各項目で共通の操作です。

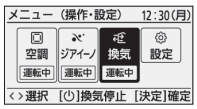
1 トップ画面からメニュー画面を出す
[メニュー]を押す

■ 1つ前の画面に戻るとき
[戻る]を押す

■ 各設定画面で数分間操作をしないとき
トップ画面に戻ります



2 「換気」を選ぶ
[‹][›]を押す



（次ページへ続く）

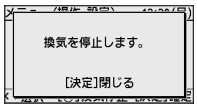
換気運転の操作

運転する / 停止する

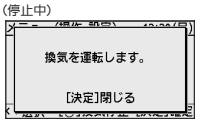
3 「換気」選択時、
運転/停止を切り替える
[⏻]を押す
（「運転中」または「停止中」が表示される）



（運転中）

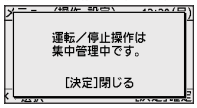


（停止中）

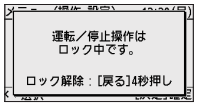


■「集中管理中」または「ロック中」と表示されたときは操作ができません

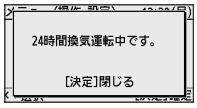
（換気の運転/停止集中管理中）



（運転/停止操作ロック中）



■ 右の画面が表示されたときは操作ができません



（次ページへ続く）

換気運転の操作

■ 熱交換換気ユニットを接続しているとき

熱交換換気ユニット、換気扇の両方が接続されているときは、熱交換換気ユニットの運転操作画面に移動します。

換気モードを変えるとき

3 換気モードを選ぶ
[決定]→[∧][∨]を押す

自動換気：室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換換気を自動で切り替えます
熱交換換気：外気を室温に近づけて室内に取り入れます
普通換気：外気をそのまま室内に取り入れます



換気風量を変えるとき

3 換気風量を選ぶ
[決定]→[›]→[∧][∨]を押す

弱（弱）
強（強）
CO2（CO2連動）※
センサーで検知した濃度と設定したCO2濃度（出荷時設定は800ppm）に応じて、換気風量を自動で制御します。(P.130)
CO2連動設定で設定したppmを超えた場合は、換気風量を強、設定したppm以下の場合、弱にして運転します。

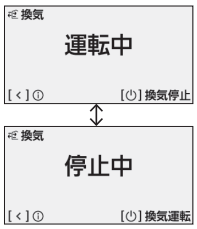
※ CO2連動機能のある機種とIAQセンサー（別売）が接続されている場合に設定できます。



■ 換気出力（P.91）をONにした場合

運転/停止のみ可能です。

3 [決定]→[⏻]を押す
（「運転中」または「停止中」が切り替わる）



（次ページへ続く）

換気運転の操作

■「警報中」または「点検中」と表示されたときは

① [決定]を押す
• 「換気モードを変えるとき」（P.32）の画面の手順3に移動します。

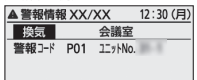


警報中（▲）/点検中（❗）

② [‹]を押す
• 発生している警報や点検情報の内容が表示されます。

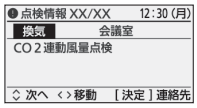


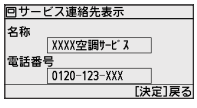
（警報中の例）



③ [決定]を押して、連絡先を確認する

（点検中の例）





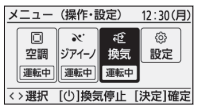
（次ページへ続く）

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

換気運転の操作

■ インフォメーション画面を表示するには

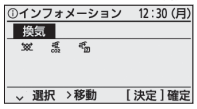
① 決定 を押す



② ＜ を押す
- 換気のインフォメーション画面が表示されます。
- インフォメーション画面の操作については、「インフォメーション画面」(P.16) を参照してください。



（インフォメーション画面の例）



＜警報または点検が発生している場合＞
手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報または点検の画面 (P.33) へ移動します。

③ ＜ を押す
- インフォメーション画面に移動します。

＜警報および点検の両方が発生している場合＞
手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報画面 (P.33) へ移動します。

③ ＜ を押す
- 点検画面に移動します。

④ ＜ を押す
- インフォメーション画面に移動します。

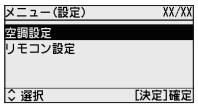
メニュー一覧への操作

■ 空調機のみが接続されているとき

1 トップ画面からメニュー画面を出す

メニュー

- メニュー（操作・設定）画面をスキップして、右記のメニュー（設定）画面へ移動します。



2 設定したい機器を選ぶ

△▽ → 決定

- 各機器の設定メニューが表示されます。

■ 空調機とジアイーノまたは換気機器、もしくは両方接続されているとき

1 トップ画面からメニュー画面を出す

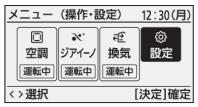
メニュー

- メニュー（操作・設定）画面に移動します。



2 「設定」を選ぶ

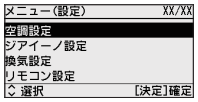
◁▷ → 決定



3 設定したい機器を選ぶ

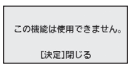
△▽ → 決定

- 各機器の設定メニューが表示されます。



お知らせ

●機能が付いていない場合は、使用できないメニューがあります。使用できないメニューを選ぶと、次のような表示が出ます。



メニュー一覧

★印付きのメニューの設定には、管理者パスワードが必要です。(P.147)

■ 空調設定

空調機に関する設定をします。

タイマー設定		
切/入タイマー設定	切/入タイマーを設定します。	P.39
ウィークリータイマー設定	曜日単位で運転スケジュールを設定します。	P.41
消し忘れ防止タイマー設定	消し忘れ防止タイマーを設定します。	P.48
運転自動停止タイマー設定	運転するたび、一定時間後に自動停止させます。	P.51
室内機個別設定		
風向設定	室内ユニットごとに、風向を設定します。	P.54
個別風向固定設定	特定の吹出口の風向を固定します。	P.56
風あて・風よけ	風あて・風よけの設定をします。	P.58
サーキュレート運転	サーキュレート運転の設定をします。	P.60
ナノイーX	ナノイーXの設定をします。	P.62
内部クリーン	内部クリーンの設定をします。	P.63
内部乾燥	内部乾燥の設定をします。	P.64
省エネ設定		
省エネ運転設定	省エネ運転をする/しないを設定します。	P.65
設定温度自動リターン	温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。	P.67
設定温度範囲制限	設定できる温度の範囲を制限します。	P.68
デマンド設定★	時間帯を決めて、省エネ運転します。	P.69
エコナビ設定		
エコナビ	エコナビ機能のオン/オフを設定します。	P.72
不在運転モード	不在時モードを設定します。	P.74
不在運転開始時間	不在運転を開始するまでの時間を設定します。	P.76
モニター表示		
省エネモニター	空調機の消費電力量を表示します。	P.77
CO2排出量モニター	空調機のCO2排出量を表示します。	P.79
現在発電量表示	現在の発電量を表示します。	P.81

メニュー一覧

ローテーション設定★		
ローテーション	ローテーション運転の設定を行います。	P.82
バックアップ	バックアップ運転の設定を行います。	P.84
室外静音設定★		
静音運転切替	室外ユニットを静音運転のオン/オフを設定します。	P.86
静音運転時間	静音運転する時間を設定します。	P.87
外部機器連動設定★		
外部機器連動	外部機器連動のオン/オフを設定します。	P.88
外部機器連動モード	外部機器が連動する室内ユニットの動作モードを設定します。	P.89
不在検知時間設定	不在検知後の運転を続ける時間を設定します。	P.89
換気出力	換気扇の連動運転をオン/オフします。	P.91
室温測定温度センサー★	室内温度を検知する温度センサーを設定します。	P.92
空調機器情報	空調機の情報を表示します。	P.93
ユーザーメンテナンス		
フィルター情報	フィルター清掃までの時間を確認およびリセットします。	P.94
昇降グリル	昇降グリルを操作します。	P.96
銀イオン抗菌剤	銀イオン抗菌剤の交換時期を表示します。	P.97

■ ジアイーノ設定

ジアイーノの設定をします。

タイマー設定		
切/入タイマー設定	切/入タイマーを設定します。	P.98
ウィークリータイマー設定	曜日単位で運転スケジュールを設定します。	P.100
集中クリーン終了後動作設定	運転モードを集中クリーンに設定 (P.26) した場合、集中クリーン終了後の動作を設定します。	P.106
ジアイーノ機器情報	ジアイーノ機器情報を表示します。	P.107
ジアイーノについて	ジアイーノに関する注意喚起を表示します。	P.108
ユーザーメンテナンス		
塩水パック	ユニット毎の塩水パックの交換時期を表示します。	P.109
電極	ユニット毎の電極の交換時期を表示します。	P.111
HEPAフィルター	ユニット毎のHEPAフィルターの交換時期を表示します。	P.113

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

メニュー一覧

■換気設定

熱交換気ユニットを含む換気運転の設定をします。

タイマー設定		
切/入タイマー設定	切/入タイマーを設定します。	P.115
ウィークリータイマー設定	曜日単位で運転スケジュールを設定します。	P.117
24時間換気	24時間換気をオン/オフします。	P.123
ナイトパージ	エアコン停止後室内にこもる熱を感知して、換気する設定(オン/オフ)をします。	P.124
予熱時外気取り入れ停止	外気の取り入れを一時停止します。	P.125
人不在時省エネ設定	人不在時に熱交換器の運転を制御します。	P.127
ナノイーX	ナノイーXの設定をします。	P.129
CO2連動設定	CO2連動の時に、換気風量を切り替えるCO2濃度を設定します。	P.130
ユーザーメンテナンス		
フィルターサインリセット	熱交換気ユニットのフィルターサインをリセットします。	P.131

■リモコン設定

リモコンに関する設定をします。

取扱説明書	取扱説明書をダウンロードするためのQRコードを表示します。	P.132
時計設定	現在日時を設定します。	P.133
時刻表示設定	時刻表示の種類を設定します。	P.134
リモコン名称設定	リモコンに名前を付けます。	P.135
操作ロック設定	ボタン操作をロックします。	P.137
操作音設定	操作音量を変更します。(切/小/中/大)	P.139
コントラスト設定	画面のコントラスト(5段階)を設定します。	P.140
バックライト設定	画面のバックライトの明るさ(3段階)を設定します。	P.141
表示モード	トップ画面の表示モード(簡易/標準/詳細)を設定します。	P.142
トップ画面表示情報	トップ画面に表示する空気質情報の設定をします。	P.144
言語切替	トップ画面の表示言語(日本語/English)を設定します。	P.146
管理者パスワード★	管理者パスワードを設定します。	P.147
リモコン親子設定★	リモコンを2つ接続しているときに、設定します。	P.149
ワイヤレス設定		
Bluetooth	Bluetoothの有効/無効の設定、ペアリング情報の初期化を行います。	P.150
サービス連絡先表示	サービスの連絡先を確認します。	P.152

タイマー設定

空調設定

切 / 入タイマー設定

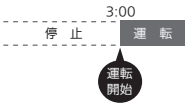
設定した時刻になったら、運転を切/入します。



■切タイマーの使用例
朝までつけっぱなし…を防いで、ムダをカット！



■入タイマーの使用例
会議開始のタイミングに合わせて、エアコンを運転！



1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

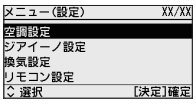


■1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

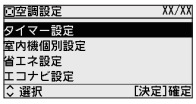
■トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「タイマー設定」を選ぶ
△▽ → 決定

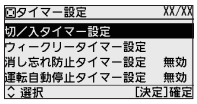


（次ページへ続く）

タイマー設定

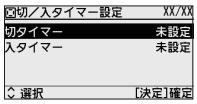
空調設定

4 「切/入タイマー設定」を選ぶ
△▽ → 決定



5 タイマーの種類を選ぶ
△▽ → 決定

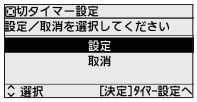
- 切タイマー：設定した時刻になったら、運転を停止します。(手順7で時刻を設定)
- 入タイマー：設定した時刻になったら、運転を開始します。(手順7で時刻を設定)



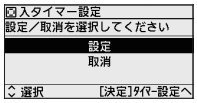
6 「設定」を選ぶ
△▽ → 決定

■タイマーをオフにするとき
「取消」を選び、未設定にする

(切タイマーを選んだとき)

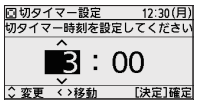


(入タイマーを選んだとき)



7 時刻を設定する
△▽(時) → ▷ → △▽(分) → 決定

- 時 (0～23) : 1時間単位
- 分 (00～55) : 5分単位



お知らせ

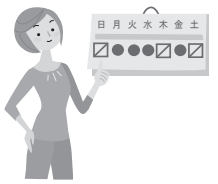
●切／入タイマーを同じ時間に設定すると、切タイマーが優先され、入タイマーは使用できません。
●運転中に入タイマーを設定すると、運転は停止します。

タイマー設定

空調設定

ウィークリータイマー設定

曜日単位で運転スケジュールを設定します。



新規登録する

1日8件まで設定できます。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

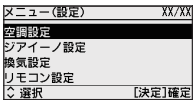


■1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

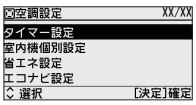
■トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「タイマー設定」を選ぶ
△▽ → 決定



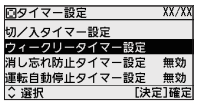
（次ページへ続く）

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

タイマー設定

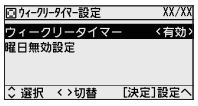
空調設定

4 「ウィークリータイマー設定」を選ぶ
△▽→ 決定



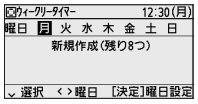
5 「ウィークリータイマー」を「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定

- △▽で項目を選び、◁▷で有効／無効を選ぶ
- 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。
- 設定の登録（手順12）を完了することで機能を利用できます。

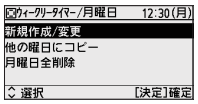


■ タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ

6 タイマーを使う曜日を選ぶ
◁▷→ 決定

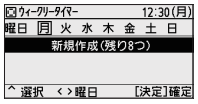


7 「新規作成／変更」を選ぶ
△▽→ 決定



8 新規作成する
△▽→ 決定

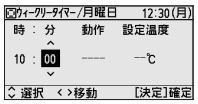
- 新規作成の行に選択が移ります。



■ 変更するとき
登録されているスケジュールを選び、決定を押す

9 時刻を設定する
△▽(時)→▷→△▽(分)→▷

- 時（0～23）：1時間単位
- 分（00～59）：1分単位



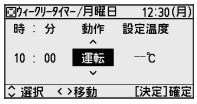
（次ページへ続く）

タイマー設定

空調設定

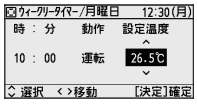
10 動作を設定する
△▽→▷

- オフィス・店舗用エアコンの場合、動作を運転／送風／ドライ／冷房／暖房／自動（冷暖自動）／停止から選べます。
（複数の系統をグループ制御しているとき、運転／停止のみとなる場合があります。）
  - 運転：設定した時刻に、設定されている運転状態で運転したい場合に「運転」の動作設定をしてください。
  - 停止：設定した時刻に、運転を停止したい場合に「停止」の動作設定をしてください。
- ビル用マルチエアコン・ガスヒートポンプエアコンの場合、動作を運転／停止から選べます。

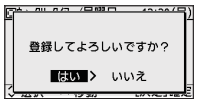


11 温度を設定する
△▽→ 決定

- 0.5 ℃単位で選べます。
- 動作が送風または停止のときは温度は設定できません。
- 動作が、運転／ドライ／冷房／暖房／自動（冷暖自動）のとき、設定温度を設定しないこともできます。



12 設定内容を登録する
◁▷→ 決定



■ 続けて追加登録するとき
手順6～12を繰り返し、他の曜日を設定する

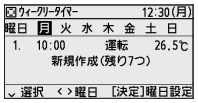
■ 設定内容を他の曜日にコピーするとき
(P.45)

タイマー設定

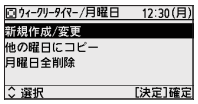
空調設定

ウイークリータイマーの登録を削除する

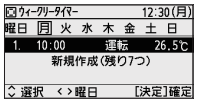
1 P.41の手順1～5のあと
ウイークリータイマーの登録を削除したい曜日を選ぶ
◁▷→ 決定



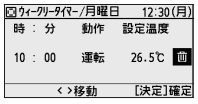
2 「新規作成／変更」を選ぶ
△▽→ 決定



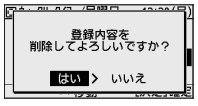
3 ウイークリータイマーの登録を削除したい項目を選ぶ
△▽→ 決定



4 ゴミ箱アイコンを選ぶ
◁▷→ 決定



5 「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定



タイマー設定

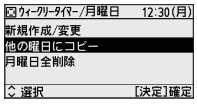
空調設定

設定内容を他の曜日にコピーする

登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。
複数の曜日を同じスケジュールにするときに便利です。

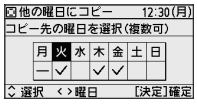


1 P.41の手順1～5のあと
手順6で設定済みのコピーしたい曜日を選び、「他の曜日にコピー」を選ぶ
△▽→ 決定

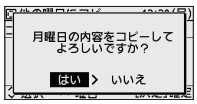


2 コピー先の曜日を選ぶ
◁▷→△▽→ 決定

- ◁▷でコピーしたい曜日を選び、△▽で「✓」にする
「－」：コピー元
「✓」：コピー先
空白：未設定



3 「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

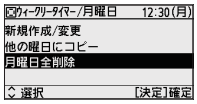
タイマー設定

空調設定

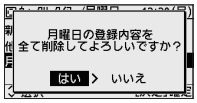
曜日全削除

選んだ曜日のスケジュールをすべて削除します。

1 P.41の手順1～6のあと
「○曜日全削除」を選ぶ
△▽→ 決定
● 「○」には選んだ曜日が表示されます。



2 「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定



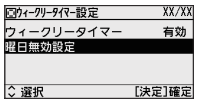
タイマー設定

空調設定

曜日無効設定

祝日などの特定の曜日だけのスケジュールを無効にしたいときに使用します。

1 P.41の手順1～4のあと
「曜日無効設定」を選ぶ
△▽→ 決定



2 無効にしたい曜日を選ぶ
◁▷→△▽→ 決定
● ◁▷で無効にしたい曜日を選び、
△▽で「●」(有効)/「/」(無効)に切り替える
- 有効：ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作します
- 無効：ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作しません

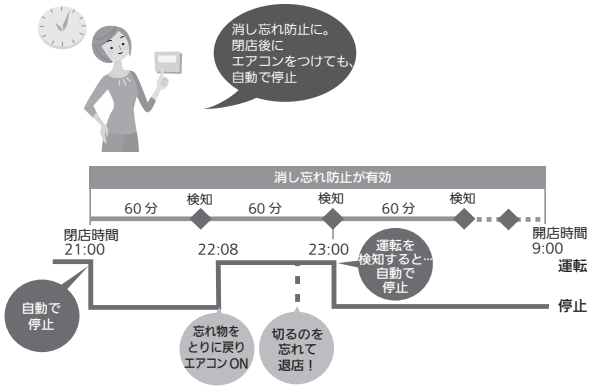


タイマー設定

空調設定

消し忘れ防止タイマー設定

決めた時刻に運転を止め、そのあと運転させても、一定時間ごとに検知して自動で止めます。



（次ページへ続く）

タイマー設定

空調設定

消し忘れ防止時間

消し忘れ防止機能が働く時間を設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

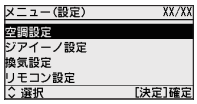


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

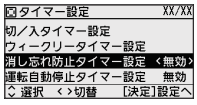
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定

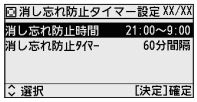


3 「消し忘れ防止タイマー設定」を「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定
● △▽で項目を選び、◁▷で有効/無効を選ぶ
● 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。

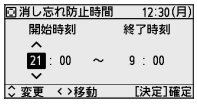


■ タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ

4 「消し忘れ防止時間」を選ぶ
△▽→ 決定



5 消し忘れ防止時間（開始時刻/終了時刻）を設定する
△▽(時)→▷→△▽(分)→ 決定
- 時（0～23）：1時間単位
- 分（00～59）：1分単位



（次ページへ続く）

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

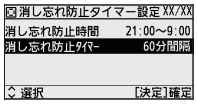
タイマー設定

空調設定

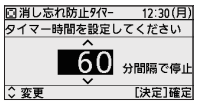
消し忘れ防止タイマー

「消し忘れ防止時間」後、運転していないか一定時間ごとに検知するときの、時間間隔を設定します。

1 P.49の手順1～3のあと、
「消し忘れ防止タイマー」を選ぶ
△▽→ 決定



2 タイマー時間を設定する
△▽→ 決定
- 10分～180分（10分単位）

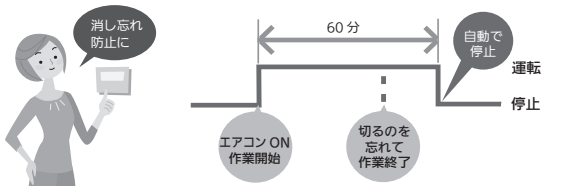


タイマー設定

空調設定

運転自動停止タイマー設定

運転するたび、一定時間後に自動停止させたいときに設定します。



1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

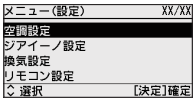


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定

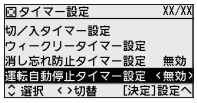


（次ページへ続く）

タイマー設定

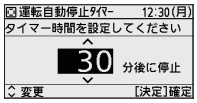
空調設定

3 「運転自動停止タイマー設定」を「有効」にする
△▽→ ◁▷ → 決定
- △▽で項目を選び、◁▷で有効／無効を選ぶ
- 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。



■ タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ

4 時刻を設定する
△▽→ 決定
- 10分～180分（10分単位）



室内機個別設定

空調設定

室内ユニットの各種設定をします。各種設定をする前に室内ユニットを選んでください。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

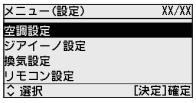


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

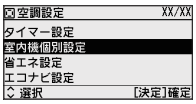
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

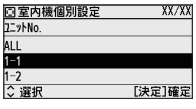
2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「室内機個別設定」を選ぶ
△▽→ 決定
- リモコングループ内のエアコンのユニットNoの一覧を表示します。



4 設定する室内ユニットを選ぶ
△▽→ 決定
- ALL：リモコンに接続されている、すべての室内ユニット



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

室内機個別設定

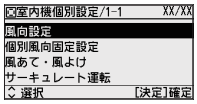
空調設定

風向設定

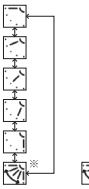
室内ユニットごとに風向を設定します。
1つの室内ユニット内の吹出口の風向は、すべて同じになります。

1 P.53の手順1～4のあと、
「風向設定」を選ぶ
△▽→ 決定

● P.53の手順4で「ALL」を選んだときは設定できません。



2 風向を選ぶ
△▽→ 決定



※ : スイング、 : 停止



● スイング中に△か▽を押すと、お好みの位置でフラップを止められます。
● スイング停止中に△か▽を押すと、所定の位置にフラップが設定されます。
● 機種によって、仕様が異なる場合があります。
（冷房・ドライ時、冷暖自動の冷房時の風向設定が3段階）

（次ページへ続く）

室内機個別設定

空調設定

お知らせ

●次のようなときは、表示が出て使用できません。
• 機能が付いていないとき



• 風向切替操作ロック中

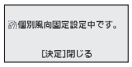


（戻る を4秒押してロックを解除できます。）

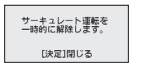
• 風向切替操作集中管理中



• 個別風向固定設定中



●サーキュレート運転動作中のときは、以下の画面が表示された後に設定変更可能です。



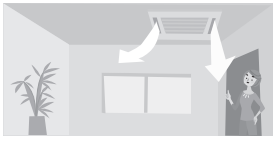
室内機個別設定

空調設定

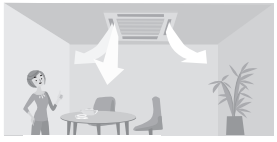
個別風向固定設定

室内の状況に合わせて吹出口ごとの風向を個別に設定します。
全室内ユニットの風向を変えたり（P.20）、室内ユニットごとに風向を変えたりしても（P.54）、ここで設定した風向は変更されません。

■ 設定例



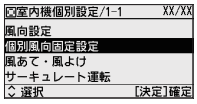
出入口の吹出口だけ下向きに。



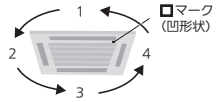
人の集まる側の吹出口をスイングに。

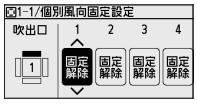
1 P.53の手順1～4のあと、
「個別風向固定設定」を選ぶ
△▽→ 決定

● P.53の手順4で「ALL」を選んだときは設定できません。



2 吹出口を選ぶ
◁▷





● 室内ユニットのパネルにある□マーク（凹形状）が、吹出口の1番の目印になります。機種によっては、□マーク（凹形状）がないものがあります。
● 吹出口の番号は、取り付け方向によって変わります。実際に動作させて確認してください。

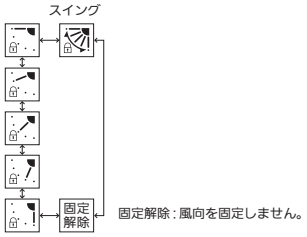
（次ページへ続く）

室内機個別設定

空調設定

3 風向を選ぶ
△▽→ 決定

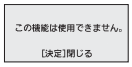




固定解除：風向を固定しません。

お知らせ

●次のようなときは、表示が出て使用できません。
• 機能が付いていないとき



• 風向切替操作ロック中

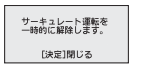


（戻る を4秒押してロックを解除できます。）

• 風向切替操作集中管理中



●サーキュレート運転動作中のときは、以下の画面が表示された後に設定変更可能です。



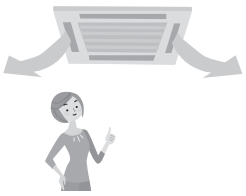
多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

室内機個別設定

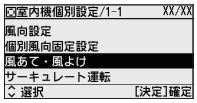
空調設定

風あて・風よけ

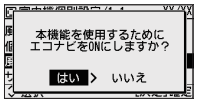
エコナビセンサーが人を検知したときに、人のいる周辺に風を上下にスイングさせたり（風あて）、風を直接当てないようにしたり（風よけ）できます。
別売品のエコナビパネル、または、壁設置形のエコナビセンサーを接続し、風あて・風よけ機能のある室内ユニットのみ可能です。



1 P.53の手順1～4のあと、
「風あて・風よけ」を選ぶ
△▽→ 決定

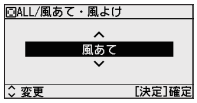


■ エコナビがオフのとき
右の画面が表示されたら、「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定
- 「エコナビ」もONになります。(P.72)



2 設定する

■ ALL選択時
△▽→ 決定
- **設定なし**：風あて・風よけは行わず、設定した風向で運転します。
- **風あて**：人のいる周辺に風を上下にスイングさせます。
- **風よけ**：人に風があたらないようにします。

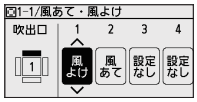


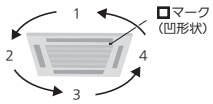
（次ページへ続く）

室内機個別設定

空調設定

■ ユニットNo選択時
△▽→◁▷→ 決定
- △▽で設定を選び、◁▷で吹出口を選ぶ
- 選択した吹出口が風向固定されている場合は、設定、変更ができません。

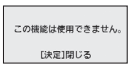




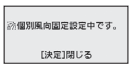
- 室内ユニットのパネルにある□マーク（凹形状）が、吹出口の1番の目印になります。機種によっては、□マーク（凹形状）がないものがあります。
- 吹出口の番号は、取り付け方向によって変わります。実際に動作させて確認してください。

お知らせ

●風あて・風よけ機能は、室内ユニットの吹出口ごとにリモコンで設定可能です。(エコナビ対応の風あて・風よけ機能のある室内ユニットのみ)
●次のようなときは、表示が出て使用できません。
- 室内ユニット非対応・エコナビパネル（人感センサー）またはエコナビセンサー（人感センサー）が接続されてないとき



- 吹出口が風向固定されているとき



- 風向切替操作ロック中



- 風向切替操作集中管理中



（ 戻る を4秒押してロックを解除できます。）

●サーキュレート運転動作中のときは、以下の画面が表示された後に設定変更可能です。

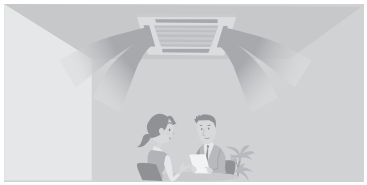


室内機個別設定

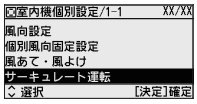
空調設定

サーキュレート運転（エコナビパネル使用時のみ）

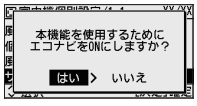
暖房中、エコナビセンサーで床温度が低いことを検知した場合に、天井付近と床付近の温度ムラを低減するサーキュレート運転（空気循環）を行います。
冷房中、グループ制御の場合にエコナビセンサーで床温度が高いことを検知した場合に、天井付近と床付近の温度ムラを低減するサーキュレート運転（空気循環）を行います。



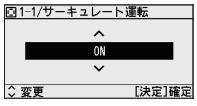
1 P.53の手順1～4のあと、
「サーキュレート運転」を選ぶ
△▽→ 決定



■ エコナビがオフのとき
右の画面が表示されたら、「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定
- 「エコナビ」もONになります。(P.72)



2 設定する
△▽→ 決定
- ONを選びます。



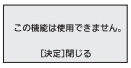
（次ページへ続く）

室内機個別設定

空調設定

お知らせ

●次のようなときは、表示が出て使用できません。
- 室内ユニット非対応・エコナビパネル（人感センサー、床温センサー）が接続されてないとき

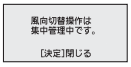


- 風向切替操作ロック中



（ 戻る を4秒押してロックを解除できます。）

- 風向切替操作集中管理中

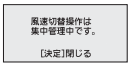


- 風速切替操作ロック中



（ 戻る を4秒押してロックを解除できます。）

- 風速切替操作集中管理中



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

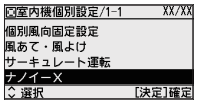
室内機個別設定

空調設定

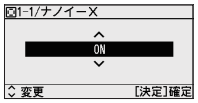
ナノイー X

ナノイーX設定をオンにすることにより、室内ユニット運転中に、「ナノイー」(水に含まれた微粒子イオン)が室内ユニットから放出されます。

1 P.53の手順1～4のあと、
「ナノイーX」を選ぶ
△▽→ 決定

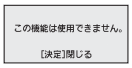


2 設定する
△▽→ 決定
● ONを選びます。



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



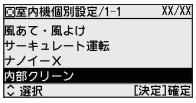
室内機個別設定

空調設定

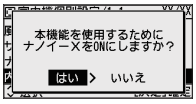
内部クリーン

自動で室内ユニット内部を清潔に保つ運転を行います。
「ナノイーX」をオフにすると、内部クリーン機能は働きません。

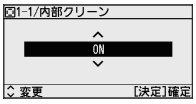
1 P.53の手順1～4のあと、
「内部クリーン」を選ぶ
△▽→ 決定



■ ナノイーXがオフのとき
右の画面が表示されたら、「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定
• 「ナノイーX」もONになります。(P.62)

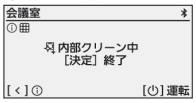


2 設定する
△▽→ 決定
● ONを選びます。



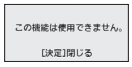
■ 内部クリーンをやめたいとき
決定
• 内部クリーン運転中に、再び室内ユニットを運転させたい場合は、⏻を押してください。

(標準モードの例)



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



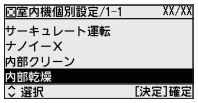
室内機個別設定

空調設定

内部乾燥

自動で室内ユニット内部を清潔に保つ運転を行います。

1 P.53の手順1～4のあと、
「内部乾燥」を選ぶ
△▽→ 決定

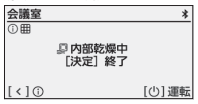


2 設定する
△▽→ 決定



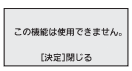
■ 内部乾燥をやめたいとき
決定
• 内部乾燥運転中に、再び室内ユニットを運転させたい場合は、⏻を押してください。

(標準モードの例)



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



省エネ設定

空調設定

省エネ運転のための各種設定を行います。

省エネ運転設定

省エネ運転のオン／オフを設定します。オンに設定すると、定格消費電力比を100 %以下にして省エネ運転をします。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー→◁▷→ 決定

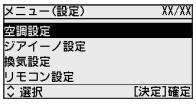


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

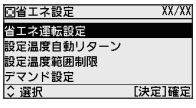
2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「省エネ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「省エネ運転設定」を選ぶ
△▽→ 決定



(次ページへ続く)

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

省エネ設定

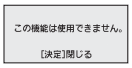
空調設定

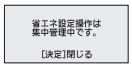
5 「ON」を選ぶ
△▽→ 決定



お知らせ

●次のようなときは、表示が出て使用できません。
- 機能が付いていないとき
- 省エネ設定集中管理中





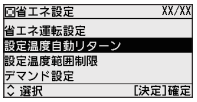
省エネ設定

空調設定

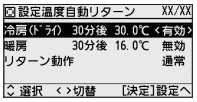
設定温度自動リターン

温度を変更しても、一定時間後に設定した温度に戻します。

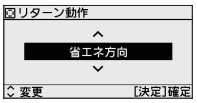
1 P.65の手順1～3のあと、
「設定温度自動リターン」を選ぶ
△▽→ 決定



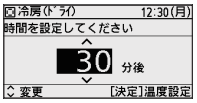
2 設定する項目を選び、「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定
● 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。



■ 省エネになる場合のみ動作させたいとき
△▽で「リターン動作」を選び、決定を押したあと、
△▽で「省エネ方向」を選ぶ



3 決めた温度に戻るまでの時間を設定する
△▽→ 決定
● 10～240分（10分単位）



4 温度を設定する（0.5 ℃単位）
△▽→ 決定
● 冷房（ドライ）：18.0 ℃～30.0 ℃
● 暖房：16.0 ℃～30.0 ℃

■ 続けて設定するとき
決定を押して、上記手順2からくり返す



お知らせ

●「リターン動作」を「省エネ方向」にすると、変更された温度より手順4の温度の方が省エネになる場合のみ、動作します。
例）冷房26 ℃設定時、28 ℃に変更された場合
- 「省エネ方向」のとき：28 ℃のまま。
- 「通常」のとき：26 ℃に戻る。

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

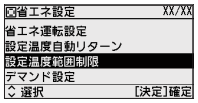
省エネ設定

空調設定

設定温度範囲制限

設定できる温度の範囲を制限します。

1 P.65の手順1～3のあと、
「設定温度範囲制限」を選ぶ
△▽→ 決定



2 設定する項目を選び、「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定
● 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。



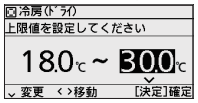
3 温度を設定する（0.5 ℃単位）
△▽→◁▷→△▽→ 決定
● 冷房（ドライ）：18.0 ℃～30.0 ℃
● 暖房：16.0 ℃～30.0 ℃

■ 続けて設定するとき
決定を押して、手順2からくり返す

（下限値を設定するとき）



（上限値を設定するとき）



お知らせ

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

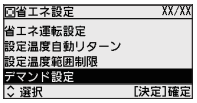
省エネ設定

空調設定

手動デマンド

運転量を手動で制限します。

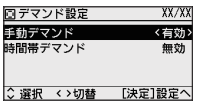
1 P.65の手順1～3のあと、
「デマンド設定」を選ぶ
△▽→ 決定



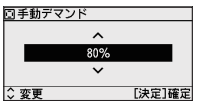
2 パスワード（4桁）を入力する
△▽→▷→ 決定
（くり返す）
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● パスワードの設定のしかた（P.147）



3 「手動デマンド」を「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定
● △▽で項目を選び、◁▷で有効／無効を選ぶ
● 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。

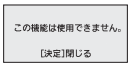


4 運転量を設定する
△▽→ 決定



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



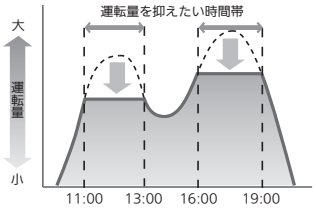
多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

省エネ設定

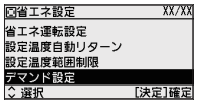
空調設定

時間帯デマンド

指定した時間帯ごとに、指定した運転量に抑えます。
4件まで登録できます。



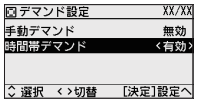
1 P.65の手順1～3のあと、「デマンド設定」を選ぶ
△▽→ 決定



2 パスワード（4桁）を入力する
△▽→▷→ 決定
（くり返す）
- △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
- パスワードの設定のしかた（P.147）



3 「時間帯デマンド」を「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定
- △▽で項目を選び、◁▷で有効／無効を選ぶ
- 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。
- 設定の登録（手順6）を完了することで機能を利用できます。

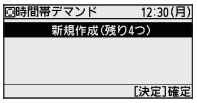


（次ページへ続く）

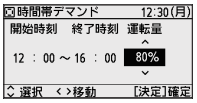
省エネ設定

空調設定

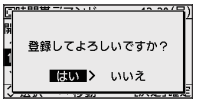
4 新規作成する
△▽→ 決定



5 時間帯デマンドの時刻、運転量を設定する
△▽→▷→△▽（運転量）→ 決定
（くり返す）
- 時（0～23）：1時間単位
- 分（00～59）：1分単位

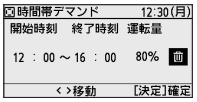


6 「はい」を選び、登録する
◁▷→ 決定

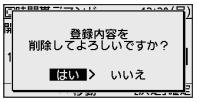


■ 変更するとき
手順5～6を繰り返す

■ 削除するとき
① 削除する欄を選び、決定を押す



② ◁▷ でごみ箱アイコンを選んだ後、「はい」を選び、決定を押す



エコナビ設定

空調設定

エコナビセンサーなどでリアルタイムに室内を監視、人を検知して、人の活動量に合わせた運転を行います。

エコナビ

エコナビ機能のオン／オフを設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

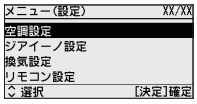


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

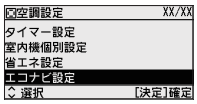
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」（P.15）を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

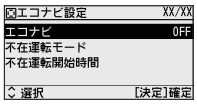
2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「エコナビ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「エコナビ」を選ぶ
△▽→ 決定

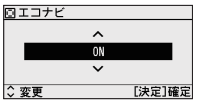


（次ページへ続く）

エコナビ設定

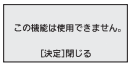
空調設定

5 「ON」を選ぶ
△▽→ 決定
- トップ画面に「ECONAVI」が表示されます。（P.12）



お知らせ

- 機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



- エコナビ設定は、別売品のエコナビパネル、または、壁設置形のエコナビセンサー等を接続することにより可能になります。

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

エコナビ設定

空調設定

不在運転モード

人の在・不在を検知し、設定温度を抑制した節電運転を継続します。

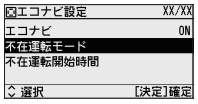
■冷房・ドライでは

●人の活動量が多い場合、設定温度で運転します。
●人の活動量が少ない場合、設定温度より温度を高くして運転します。
●不在が約20分継続したとき、人の在室時より、更に温度を高くして運転します。
●不在が約１時間継続したとき、指定した不在運転モードで運転します。
出荷時の設定（「設定なし」）では、設定温度を抑制した省エネ運転を継続します。

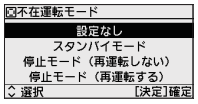
■暖房では

●人の活動量が多い場合、設定温度より温度を低くして運転します。
●人の活動量が少ない場合、設定温度で運転します。
●不在が約20分継続したとき、人の在室時より、更に温度を低くして運転します。
●不在が約１時間継続したとき、指定した不在運転モードで運転します。
出荷時の設定（「設定なし」）では、設定温度を抑制した省エネ運転を継続します。

1 P.72の手順1～3のあと、
「不在運転モード」を選ぶ
△▽→ 決定



2 不在時の運転モードを選ぶ
△▽→ 決定



- 設定なし：人を検知すると人の活動量に応じた運転に戻ります。（出荷時設定）
- スタンバイモード：冷房・ドライ／暖房運転を休止し、送風（微風）のみの運転を行います。人を検知すると人の活動量に応じた運転に戻ります。
- 停止モード（再運転しない）：運転を停止します。停止後は人を検知しても運転を再開しません。
- 停止モード（再運転する）：運転を停止します。停止後も人を検知すると運転を再開し、人の活動量に応じた運転に戻ります。

（次ページへ続く）

エコナビ設定

空調設定

お知らせ

●エコナビ設定は、別売品のエコナビパネル、または、壁設置形のエコナビセンサー等を接続することにより可能になります。
●エコナビ機能によって目標温度が変更されても、リモコンに表示される設定温度は変化しません。
●スタンバイモードにより送風運転に切り替わっても、リモコンに表示される運転モードは変化しません。
●室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。

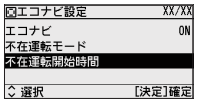
エコナビ設定

空調設定

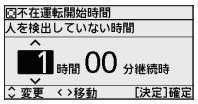
不在運転開始時間

不在運転（P.74）を開始するまでの時間を設定します。

1 P.72の手順1～3のあと、
「不在運転開始時間」を選ぶ
△▽→ 決定



2 時間を設定する
△▽→ 決定



- 30分～3時間（180分）（30分単位）
出荷時設定は、1時間です。

モニター表示

空調設定

省エネモニター

1日、1週間、1年単位の消費電力量を確認します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

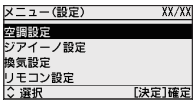


■1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

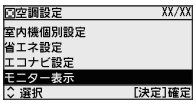
■トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」（P.15）を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

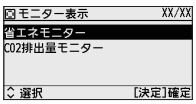
2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「モニター表示」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「省エネモニター」を選ぶ
△▽→ 決定



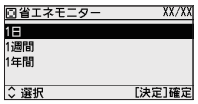
（次ページへ続く）

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

モニター表示

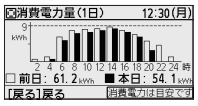
空調設定

5 表示する期間を選ぶ
△▽→ 決定
- **1日**：1日の消費電力量（目安）を表示します。
- **1週間**：1週間の消費電力量（目安）を表示します。
- **1年間**：1年間の消費電力量（目安）を表示します。



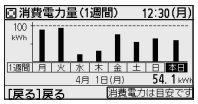
6 確認する

（1日の例）



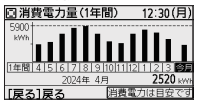
- **1週間**：◁▷で1週間の合計／曜日ごとのデータを切り替えられます。

（1週間の例）



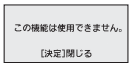
- **1年間**：◁▷で1年間の合計／月ごとのデータを切り替えられます。

（1年間の例）



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



●消費電力は、簡易的な算出のため、電力計などによる計測結果とは異なる場合があります。

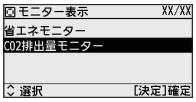
モニター表示

空調設定

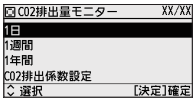
CO2 排出量モニター

1日、1週間、1年単位のCO2の排出量を確認します。

1 P.77の手順1～3のあと、
「CO2排出量モニター」を選ぶ
△▽→ 決定



2 表示する期間を選ぶ
△▽→ 決定
- **1日**：1日のCO2排出量（目安）を表示します。
- **1週間**：1週間のCO2排出量（目安）を表示します。
- **1年間**：1年間のCO2排出量（目安）を表示します。
- **CO2排出係数設定**：
CO2の排出量を計算するための係数を設定します。
CO2排出量[kg-co2] = 消費電力量[kWh]×CO2排出係数[kg-co2/kWh]



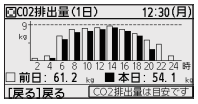
（次ページへ続く）

モニター表示

空調設定

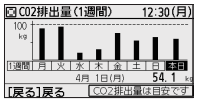
3 確認する

（1日の例）



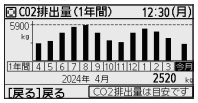
- **1週間**：◁▷で1週間の合計／曜日ごとのデータを切り替えられます。

（1週間の例）



- **1年間**：◁▷で1年間の合計／月ごとのデータを切り替えられます。

（1年間の例）



- **CO2排出係数設定**：
△▽◁▷で変更し、決定を押す

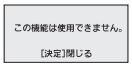
お知らせ
- CO2排出係数は契約している電気事業者によって異なりますので、契約している電気事業者にお問い合わせください。

（CO2排出係数設定）



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



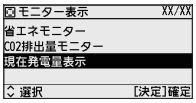
モニター表示

空調設定

現在発電量表示

発電機能付きのガスヒートポンプエアコン（GHP）の現在の発電量を表示します。

1 P.77の手順1～3のあと、
「現在発電量表示」を選ぶ
△▽→ 決定

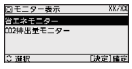


2 現在の発電量が表示される
決定



お知らせ

●機能が付いていない場合は、モニター表示で「現在発電量表示」が表示されません。



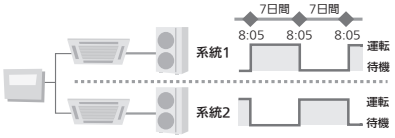
多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

ローテーション設定　空調設定

ローテーション

ローテーション運転する周期と切替時刻を設定し、系統ごとの運転時間の均一化を図ります。

例：設定周期7日、切替時刻8:05のとき



お知らせ

●オフィス・店舗用エアコンのシングル（室外ユニット1台に対して室内ユニット1台の組み合わせ）2系統をグループ制御したときのみ設定可能です。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー → ◁▷ → 決定



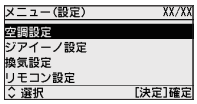
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

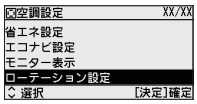
2 「空調設定」を選ぶ

△▽ → 決定



3 「ローテーション設定」を選ぶ

△▽ → 決定



（次ページへ続く）

ローテーション設定　空調設定

4 パスワード（4桁）を入力する

△▽ → ▷ → 決定

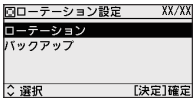
（くり返す）

● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● パスワードの設定のしかた(P.147)



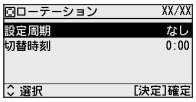
5 「ローテーション」を選ぶ

△▽ → 決定



6 「設定周期」を選ぶ

△▽ → 決定



7 設定周期を設定する

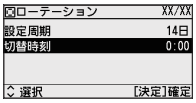
△▽ → 決定

● 1～7日(1日単位)/14日/21日/28日/なし(ローテーション運転しない)
● 設定した当日も1日にカウントします。



8 「切替時刻」を選ぶ

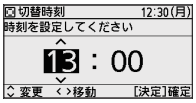
△▽ → 決定



9 切替時刻を設定する

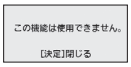
△▽(時) → ▷ → △▽(分) → 決定

● 0:00～23:59



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。

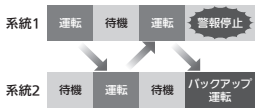


ローテーション設定　空調設定

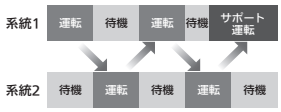
バックアップ

警報発生時や、能力不足などで室温が設定温度にならないときに、待機中の系統がサポート運転を行います。

下記の設定を行います。
●エラーサポート：ONにすると警報発生時に待機中の系統がサポート運転を行います。



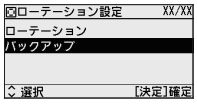
●温度サポート：冷房時は、室温が「設定温度＋設定値」以上になると、サポート運転し、暖房時は、室温が「設定温度－設定値」以下になると、サポート運転します。
運転直後は、最大1時間はサポート運転しません。



●メイン系統設定：設定周期(P.83)設定時は、先に運転する系統、設定周期なしのときは、常時運転する系統を設定します。(もう一方はバックアップ系統となります)

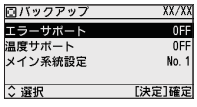
1 P.82の手順1～4のあと、「バックアップ」を選ぶ

△▽ → 決定



2 「エラーサポート」を選ぶ

△▽ → 決定



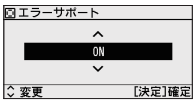
（次ページへ続く）

ローテーション設定　空調設定

3 「ON」/「OFF」を選ぶ

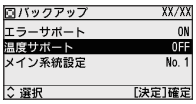
△▽ → 決定

● ON：警報発生時に待機中の系統がサポート運転を行います。
● OFF：サポート運転しません。



4 「温度サポート」を選ぶ

△▽ → 決定



5 温度を設定する

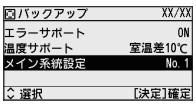
△▽ → 決定

● 室温差4℃～室温差10℃ /OFF



6 「メイン系統設定」を選ぶ

△▽ → 決定



7 メイン系統とする室外機No.を選ぶ

△▽ → 決定



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

室外静音設定

空調設定

室外ユニットを静音運転します。

静音運転切替 / 静音運転時間

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

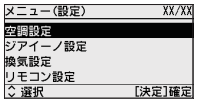


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

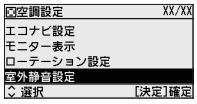
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

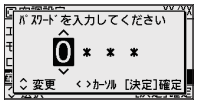
2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「室外静音設定」を選ぶ
△▽→ 決定

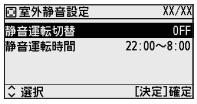


4 パスワード (4桁) を入力する
△▽→▷→ 決定
（くり返す）



- △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
- パスワードの設定のしかた (P.147)

5 「静音運転切替」を選ぶ
△▽→ 決定

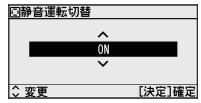


（次ページへ続く）

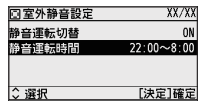
室外静音設定

空調設定

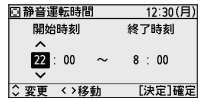
6 「ON」を選ぶ
△▽→ 決定



7 「静音運転時間」を選ぶ
△▽→ 決定



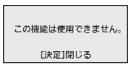
8 静音運転の開始時刻と終了時刻を設定する
△▽→▷→ 決定
（くり返す）



- 時 (0～23) : 1時間単位
- 分 (00～59) : 1分単位

お知らせ

- 機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



- 静音運転は、運転音軽減のため、能力が低下することがあります。

外部機器連動設定

空調設定

エコナビセンサーの在/不在などの外部機器連動を設定します。

下記の設定を行います。
- 外部機器連動 : ONにすると外部機器連動を行います。
- 外部機器連動モード : 外部機器が連動する室内機の動作モードを設定します。
- 不在検知時間設定 : 不在検知後、運転をオフにする時間を設定します。
- 換気出力 : エアコンの運転/停止と換気扇の運転/停止を連動させます。(P.91)

外部機器連動 / 外部機器連動モード / 不在検知時間設定

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

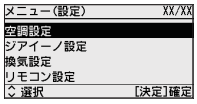


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

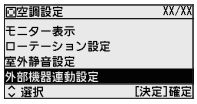
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「外部機器連動設定」を選ぶ
△▽→ 決定



4 パスワード (4桁) を入力する
△▽→▷→ 決定
（くり返す）



- △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
- パスワードの設定のしかた (P.147)

（次ページへ続く）

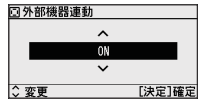
外部機器連動設定

空調設定

5 「外部機器連動」を選ぶ
△▽→ 決定



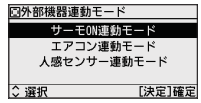
6 「ON」を選ぶ
△▽→ 決定



7 「外部機器連動モード」を選ぶ
△▽→ 決定



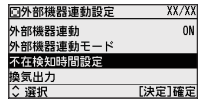
8 モードを選ぶ
△▽→ 決定



- サーモON連動モード :
  エアコンのサーモON/OFF出力に連動します。
- エアコン連動モード :
  エアコンの運転/停止出力に連動します。
- 人感センサー連動モード :
  人感センサーの在・不在出力に連動します。
  続いて「不在検知時間設定」の手順9～10を行ってください。

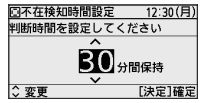
■「人感センサー連動モード」を選んだとき

9 「不在検知時間設定」を選ぶ
△▽→ 決定



10 運転をオフにする時間を設定する
△▽→ 決定

- 0分～60分 (1分単位)



（次ページへ続く）

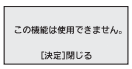
多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

外部機器連動設定

空調設定

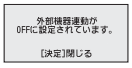
お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。

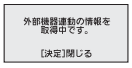


●外部機器連動の設定は、別売品のエコナビパネル、または、壁設置形のエコナビセンサー等を接続することにより可能になります。

●外部機器連動がOFFに設定されているときは次のような表示が出ます。



●外部機器連動の情報を取得しているときは次のような表示が出ます。



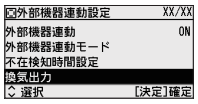
外部機器連動設定

空調設定

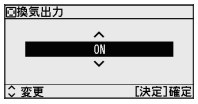
換気出力

エアコンの運転／停止と換気扇の運転／停止を連動させます。
「ON」に設定すると、エアコンを運転／停止すると、接続している換気扇も運転／停止されます。

1 P.88の手順1～4のあと、
「換気出力」を選ぶ
△▽ → 決定

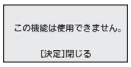


2 「ON」を選ぶ
△▽ → 決定



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



●エアコンと換気扇を連動させるには、別途工事が必要です。

室温測定温度センサー

空調設定

室内温度を検知する温度センサーを設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

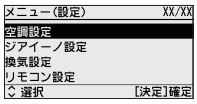


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

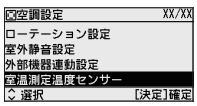
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽ → 決定



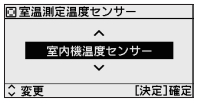
3 「室温測定温度センサー」を選ぶ
△▽ → 決定



4 パスワード (4桁) を入力する
△▽ → ▷ → 決定
（くり返す）
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● パスワードの設定のしかた (P.147)



5 センサーを選ぶ
△▽ → 決定
● 室内機温度センサー (出荷時設定) :
室内ユニットの温度センサーで検知
● リモコン温度センサー : リモコンの温度センサーで検知
● IAQ温度センサー : IAQセンサーの温度センサーで検知



お知らせ

●IAQ温度センサーは、IAQセンサー対応機種とIAQセンサー (別売) が接続される環境でのみ設定できます。

空調機器情報

空調設定

リモコングループに接続される空調(室外機/室内機)の種別、ユニットNo、品番を表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

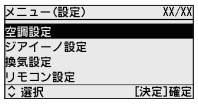


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

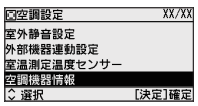
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

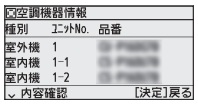
2 「空調設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「空調機器情報」を選ぶ
△▽ → 決定



4 表示内容を確認する
△▽
● 室外機と室内機のユニットNoと品番を表示します。



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

ユーザーメンテナンス　空調設定

フィルター情報

フィルター清掃までの時間を確認およびリセットします。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

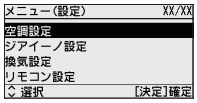


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

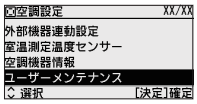
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

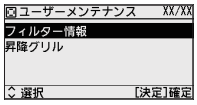
2 「空調設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ
△▽ → 決定



4 「フィルター情報」を選ぶ
△▽ → 決定

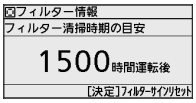


（次ページへ続く）

ユーザーメンテナンス　空調設定

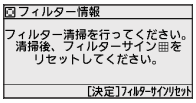
5 清掃までの運転時間を確認する

■ 掃除時期まで時間があるとき
右記の画面が表示され、フィルター掃除時期まで目安時間を確認します。

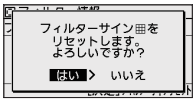


■ フィルターサインをリセットしないとき
戻る を押す

■ すぐに清掃が必要なとき
右記の画面が表示されます。
- 室内ユニットの取扱説明書を参照して、フィルターを清掃してから手順6に進んでください。

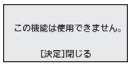


6 フィルターサインをリセットする
決定 → ◁▷ で「はい」を選ぶ → 決定
● フィルター清掃からの時間のカウントが、リセットされます。



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



●フィルターの清掃時期になると、トップ画面にアイコンが表示されます。



⊞ :フィルターサイン

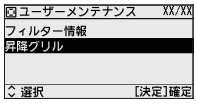
●機種によってはフィルターサイン情報を取得できない機種があります。

ユーザーメンテナンス　空調設定

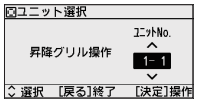
昇降グリル

昇降グリルを操作します。

1 P.94の手順1～3のあと、「昇降グリル」を選ぶ
△▽ → 決定



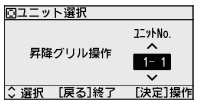
2 操作する室内ユニットを選ぶ
△▽ → 決定



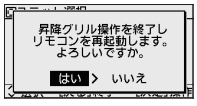
3 昇降グリルを上下させる
△▽ → 決定
● 上げるとき：△
● 下げるとき：▽
● 止めるとき：決定
● 室内ユニットの取扱説明書を参照して、フィルターを清掃してください。清掃終了後は、フィルターサインをリセットしてください。(P.95)



4 ユニット選択画面に戻る
戻る

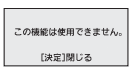


5 リモコンを再起動する
戻る → ◁ → 決定
● 右記の画面が表示されるので、「はい」を選び、再起動します。
● 再起動後、操作ができるまで1分程度かかります。



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。

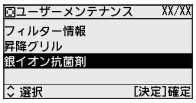


ユーザーメンテナンス　空調設定

銀イオン抗菌剤

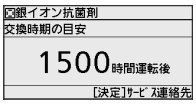
銀イオン抗菌剤の交換時期を確認します。

1 P.94の手順1～3のあと、「銀イオン抗菌剤」を選ぶ
△▽ → 決定

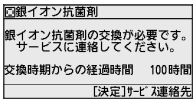


2 交換までの運転時間を確認する

■ 交換時期まで時間があるとき
右記の画面が表示され、交換時期まで目安時間を確認します。

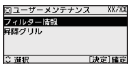


■ すぐに交換が必要なとき
右記の画面が表示されます。
- 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



お知らせ

●機能が付いていない場合は、ユーザーメンテナンスで「銀イオン抗菌剤」が表示されません。



●銀イオン抗菌剤の交換時期になると、トップ画面にアイコンが表示されます。



Ag :銀イオン抗菌剤の交換が必要です

●サービス連絡先が表示されない場合は、室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

タイマー設定　ジアイーノ設定

切 / 入タイマー設定

設定した時刻になったら、運転を切/入します。

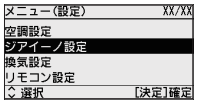
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定



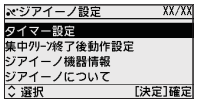
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

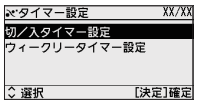
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



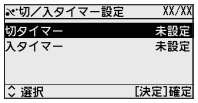
3 「タイマー設定」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「切/入タイマー設定」を選ぶ
△▽→ 決定



5 タイマーの種類を選ぶ
△▽→ 決定



● 切タイマー：設定した時刻になったら、運転を停止します。
（手順7（P.99）で時刻を設定）
● 入タイマー：設定した時刻になったら、運転を開始します。
（手順7（P.99）で時刻を設定）

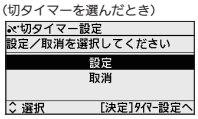
（次ページへ続く）

タイマー設定　ジアイーノ設定

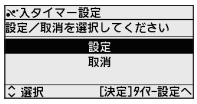
6 「設定」を選ぶ
△▽→ 決定

■ タイマーをオフにするとき
「取消」を選び、未設定にする

（切タイマーを選んだとき）

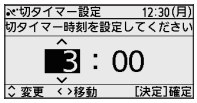


（入タイマーを選んだとき）



7 時刻を設定する
△▽(時) →▷→ △▽(分) → 決定

● 時 (0～23)：1時間単位
● 分 (00～55)：5分単位



お知らせ

●切／入タイマーを同じ時間に設定すると、切タイマーが優先され、入タイマーは使用できません。
●運転中に入タイマーを設定すると、運転は停止します。

タイマー設定　ジアイーノ設定

ウィークリータイマー設定

曜日単位で運転スケジュールを設定します。

新規登録する

1日4件まで設定できます。

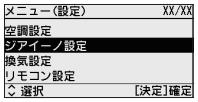
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定



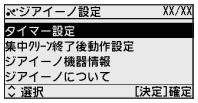
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

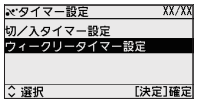
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



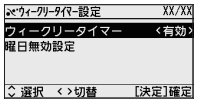
3 「タイマー設定」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「ウィークリータイマー設定」を選ぶ
△▽→ 決定



5 「ウィークリータイマー設定」を「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定



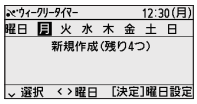
● △▽で項目を選び、[◁][▷]で有効／無効を選ぶ
● 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。
● 設定の登録（手順11）を完了することで機能を利用できます。

■ タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ

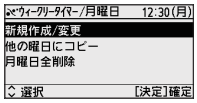
（次ページへ続く）

タイマー設定　ジアイーノ設定

6 タイマーを使う曜日を選ぶ
◁▷→ 決定

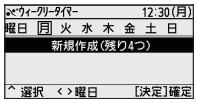


7 「新規作成／変更」を選ぶ
△▽→ 決定



8 新規作成する
△▽→ 決定

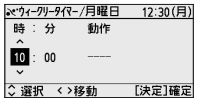
● 新規作成の行に選択が移ります。



■ 変更するとき
登録されているスケジュールを選び、決定 を押す

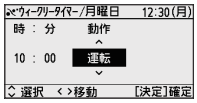
9 時間を設定する
△▽(時) →▷→ △▽(分) →▷

● 時 (0～23)：1時間単位
● 分 (00～59)：1分単位

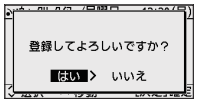


10 動作を設定する
△▽→ 決定

● 運転モードを運転／停止／集中クリーンから選びます。



11 設定内容を登録する
◁▷→ 決定



■ 続けて追加登録するとき
手順6～11を繰り返し、他の曜日を設定する

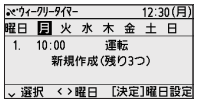
■ 設定内容を他の曜日にコピーするとき
(P.103)

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

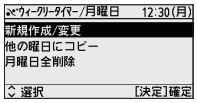
タイマー設定　（ジアイーノ設定）

ウイークリータイマーの登録を削除する

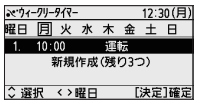
1 P.100の手順1～5のあと
ウイークリータイマーの登録を
削除したい曜日を選ぶ
◇◇→ 決定



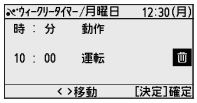
2 「新規作成/変更」を選ぶ
◇◇→ 決定



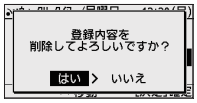
3 ウイークリータイマーの登録を
削除したい項目を選ぶ
◇◇→ 決定



4 ゴミ箱アイコンを選ぶ
◇◇→ 決定



5 「はい」を選ぶ
◇◇→ 決定

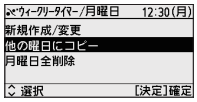


タイマー設定　（ジアイーノ設定）

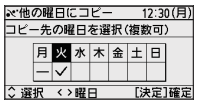
設定内容を他の曜日にコピーする

登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。
複数の曜日を同じスケジュールにするときに便利です。

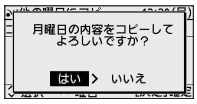
1 P.100の手順1～5のあと
手順6で設定済みのコピーしたい曜日を選び、
「他の曜日にコピー」を選ぶ
◇◇→ 決定



2 コピー先の曜日を選ぶ
◇◇→◇◇→ 決定
● ◇◇でコピーしたい曜日を選び、
◇◇で「✓」にする
「–」: コピー元
「✓」: コピー先
空白: 未設定



3 「はい」を選ぶ
◇◇→ 決定

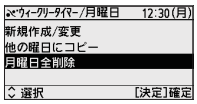


タイマー設定　（ジアイーノ設定）

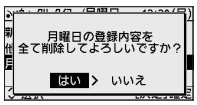
曜日全削除

選んだ曜日のスケジュールをすべて削除します。

1 P.100の手順1～6のあと
「○曜日全削除」を選ぶ
◇◇→ 決定
● 「○」には選んだ曜日が表示されます。



2 「はい」を選ぶ
◇◇→ 決定

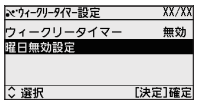


タイマー設定　（ジアイーノ設定）

曜日無効設定

特定の曜日だけのスケジュールを無効にしたいときに使用します。

1 P.100の手順1～4のあと
「曜日無効設定」を選ぶ
◇◇→ 決定



2 無効にしたい曜日を選ぶ
◇◇→◇◇→ 決定
● ◇◇で無効にしたい曜日を選び、
◇◇で「●」(有効)/「/」(無効)に切り替える
- 有効: ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作します
- 無効: ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作しません



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

集中クリーン終了後動作設定　ジアイーノ設定

集中クリーン終了後の動作（運転/停止）を設定します。

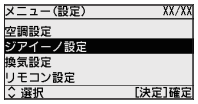
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定



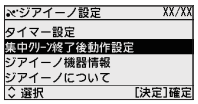
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

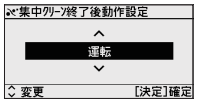
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「集中クリーン終了後動作設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 「運転」/「停止」を選ぶ
△▽ → 決定
- 運転：集中クリーン終了後、通常運転で運転継続します。
- 停止：集中クリーン終了後、運転を停止します。



106

ジアイーノ機器情報　ジアイーノ設定

ジアイーノ機器情報を表示します。
最大8台まで表示されます。

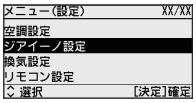
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定



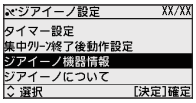
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

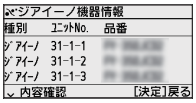
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「ジアイーノ機器情報」を選ぶ
△▽ → 決定



4 確認する
△▽



107

ジアイーノについて　ジアイーノ設定

ジアイーノに関する注意喚起を表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定



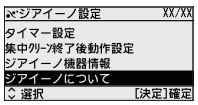
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

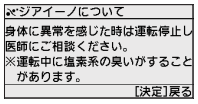
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「ジアイーノについて」を選ぶ
△▽ → 決定



4 確認する



108

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

塩水パック

ジアイーノユニットの次亜塩素酸の生成に必要な塩水の補充（塩水パックの交換）時期を表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定



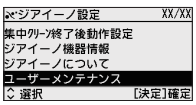
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

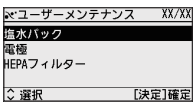
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ
△▽ → 決定



4 「塩水パック」を選ぶ
△▽ → 決定



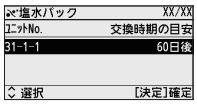
（次ページへ続く）

109

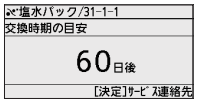
多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

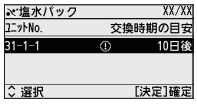
5 交換時期を確認する
△▽→ 決定
● 残日数が0以外は日数を表示します（最大9999日）



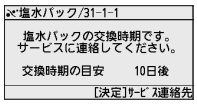
• 決定を押す
（サービス連絡先が表示されます）



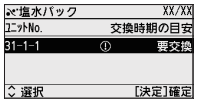
● 交換時期になったときは「ⓘ」が表示されます



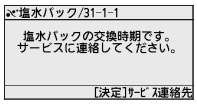
• 決定を押す
（サービス連絡先が表示されます）



● 残日数が0のときは「要交換」が表示されます



• 決定を押す
（サービス連絡先が表示されます）



お知らせ
●残日数情報取得中のときは「--」が表示されます。

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

電極

ジアイーノユニットの電極の交換時期を表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

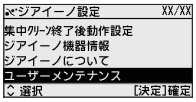


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

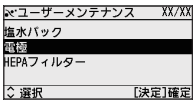
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ
△▽→ 決定



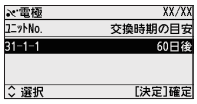
4 「電極」を選ぶ
△▽→ 決定



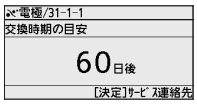
（次ページへ続く）

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

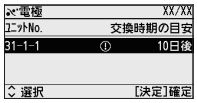
5 交換時期を確認する
△▽→ 決定
● 残日数が0以外は日数を表示します（最大9999日）



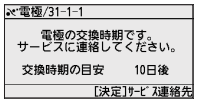
• 決定を押す
（サービス連絡先が表示されます）



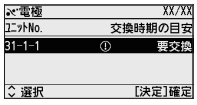
● 交換時期になったときは「ⓘ」が表示されます



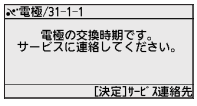
• 決定を押す
（サービス連絡先が表示されます）



● 残日数が0のときは「要交換」が表示されます



• 決定を押す
（サービス連絡先が表示されます）



お知らせ
●残日数情報取得中のときは「--」が表示されます。

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

HEPA フィルター

ジアイーノユニットのHEPAフィルターの交換時期を表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

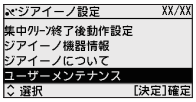


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

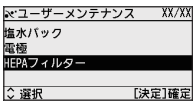
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「HEPAフィルター」を選ぶ
△▽→ 決定

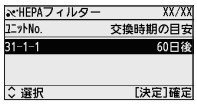


（次ページへ続く）

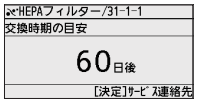
多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

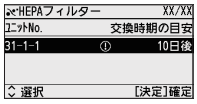
5 交換時期を確認する
△▽→ 決定
● 残日数が0以外は日数を表示します（最大9999日）



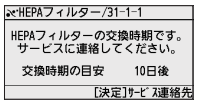
• 決定を押す
（サービス連絡先が表示されます）



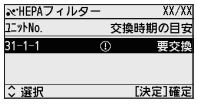
● 交換時期になったときは「ⓘ」が表示されます



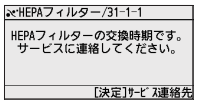
• 決定を押す
（サービス連絡先が表示されます）



● 残日数が0のときは「要交換」が表示されます



• 決定を押す
（サービス連絡先が表示されます）



お知らせ
●残日数情報取得中のときは「--」が表示されます。

タイマー設定　換気設定

切 / 入タイマー設定

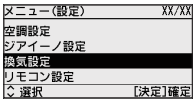
設定した時刻になったら、運転を切/入します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

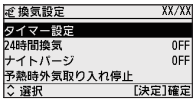


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

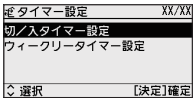
2 「換気設定」を選ぶ
△▽ → 決定



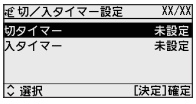
3 「タイマー設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 「切/入タイマー設定」を選ぶ
△▽ → 決定



5 タイマーの種類を選ぶ
△▽ → 決定
● 切タイマー：設定した時刻になったら、運転を停止します。
（手順7（P.116）で時刻を設定）
● 入タイマー：設定した時刻になったら、運転を開始します。
（手順7（P.116）で時刻を設定）



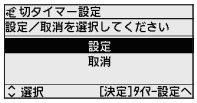
（次ページへ続く）

タイマー設定　換気設定

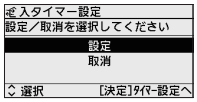
6 「設定」を選ぶ
△▽ → 決定

■ タイマーをオフにするとき
「取消」を選び、未設定にする

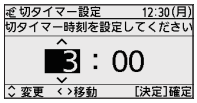
（切タイマーを選んだとき）



（入タイマーを選んだとき）



7 時刻を設定する
△▽(時) → ▷ → △▽(分) → 決定
● 時（0～23）：1時間単位
● 分（00～55）：5分単位



お知らせ
●換気設定は、当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセ ット形・マイコンタイプのうち対応した機器のみ表示されます。
●切／入タイマーを同じ時間に設定すると、切タイマーが優先され、入タイマーは使用できません。
●運転中に入タイマーを設定すると、運転は停止します。

タイマー設定　換気設定

ウィークリータイマー設定

曜日単位で運転スケジュールを設定します。

新規登録する

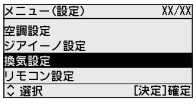
1日4件まで設定できます。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

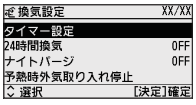


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

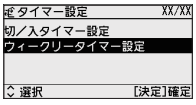
2 「換気設定」を選ぶ
△▽ → 決定



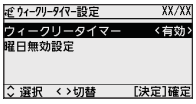
3 「タイマー設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 「ウィークリータイマー設定」を選ぶ
△▽ → 決定



5 「ウィークリータイマー」を「有効」にする
△▽ → ◁▷ → 決定
● △▽で項目を選び、[◁][▷]で有効/無効を選ぶ
● 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。
● 設定の登録（手順11）を完了することで機能を利用できます。



■ タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ

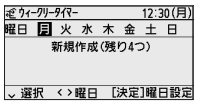
（次ページへ続く）

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

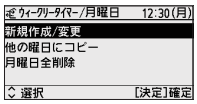
タイマー設定

換気設定

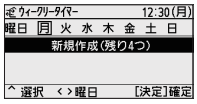
6 タイマーを使う曜日を選ぶ
◁▷→ 決定



7 「新規作成/変更」を選ぶ
△▽→ 決定

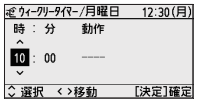


8 新規作成する
△▽→ 決定
● 新規作成の行に選択が移ります。

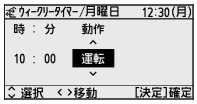


■ 変更するとき
登録されているスケジュールを選び、決定を押す

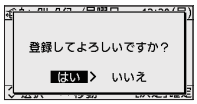
9 時間を設定する
△▽(時)→▷→△▽(分)→▷
● 時(0～23):1時間単位
● 分(00～59):1分単位



10 動作を設定する
△▽→ 決定
● 動作を運転/停止から選びます。



11 設定内容を登録する
◁▷→ 決定



■ 続けて追加登録するとき
手順6～11を繰り返し、他の曜日を設定する

■ 設定内容を他の曜日にコピーするとき
(P.120)

お知らせ

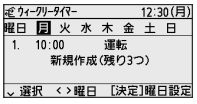
●換気設定は、当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセ ット形・マイコンタイプのうち対応した機器のみ表示されます。

タイマー設定

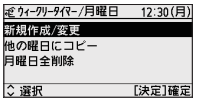
換気設定

ウイークリータイマーの登録を削除する

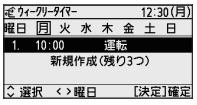
1 P.117の手順1～5のあと
ウイークリータイマーの登録を
削除したい曜日を選ぶ
◁▷→ 決定



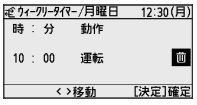
2 「新規作成/変更」を選ぶ
△▽→ 決定



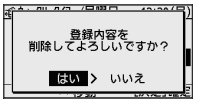
3 ウイークリータイマーの登録を
削除したい項目を選ぶ
△▽→ 決定



4 ゴミ箱アイコンを選ぶ
◁▷→ 決定



5 「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定



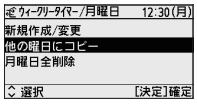
タイマー設定

換気設定

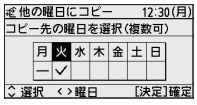
設定内容を他の曜日にコピーする

登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。
複数の曜日を同じスケジュールにするときに便利です。

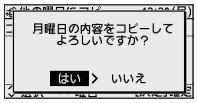
1 P.117の手順1～5のあと
手順6で設定済みのコピーしたい曜日を選び、
「他の曜日にコピー」を選ぶ
△▽→ 決定



2 コピー先の曜日を選ぶ
◁▷→△▽→ 決定
● ◁▷でコピーしたい曜日を選び、
△▽で「✓」にする
「−」:コピー元
「✓」:コピー先
空白:未設定



3 「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定



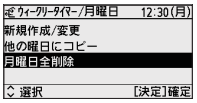
タイマー設定

換気設定

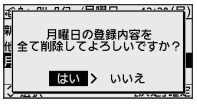
曜日全削除

選んだ曜日のスケジュールをすべて削除します。

1 P.117の手順1～6のあと
「○曜日全削除」を選ぶ
△▽→ 決定
● 「○」には選んだ曜日が表示されます。



2 「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

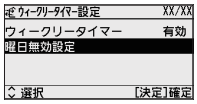
タイマー設定

換気設定

曜日無効設定

特定の曜日だけのスケジュールを無効にしたいときに使用します。

1 P.117の手順1～4のあと
「曜日無効設定」を選ぶ
△▽→ 決定



2 無効にしたい曜日を選ぶ
◁▷→△▽→ 決定

- [◁][▷]で無効にしたい曜日を選び、△▽で「●」(有効)/「／」(無効)に切り替える
  - 有効：ウィークリータイマーで設定した設定内容で動作します
  - 無効：ウィークリータイマーで設定した設定内容で動作しません



24時間換気

換気設定

24時間換気をオン/オフします。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定



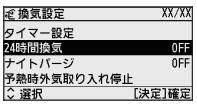
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

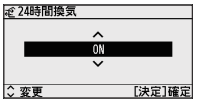
2 「換気設定」を選ぶ
△▽→ 決定



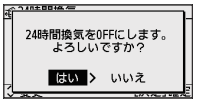
3 「24時間換気」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「ON」/「OFF」を選ぶ
△▽→ 決定
● ON：24時間換気します。



■「OFF」を選んだとき
◁▷で「はい」を選び、決定を押す



お知らせ

- 換気設定は、当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセ ット形・マイコンタイプのうち対応した機器のみ表示されます。
- 24時間換気中は、停止操作ができません。切/入タイマー設定やウィークリータイマーでタイマーが設定されても停止できません。

ナイトパージ

換気設定

ナイトパージを設定します。

■ ナイトパージとは
夏の夜、エアコン停止後室内にこもる熱を感知して、換気します。
(翌朝の冷房開始時の負荷を低減します)

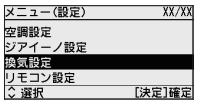
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定



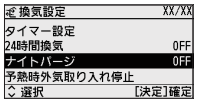
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

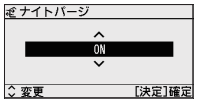
2 「換気設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「ナイトパージ」を選ぶ
△▽→ 決定

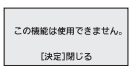


4 「ON」/「OFF」を選ぶ
△▽→ 決定



お知らせ

- 機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



予熱時外気取り入れ停止

換気設定

空調機が冷房/暖房/自動で運転を開始するときに、外気の取り入れを一時停止して、空調負荷を軽減します。

動作設定

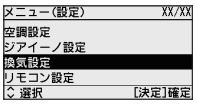
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定



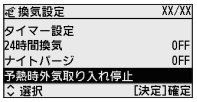
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

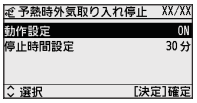
2 「換気設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「予熱時外気取り入れ停止」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「動作設定」を選ぶ
△▽→ 決定

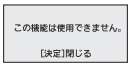


5 設定する
△▽→ 決定



お知らせ

- 機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



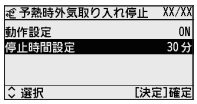
多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

予熱時外気取り入れ停止

換気設定

停止時間設定

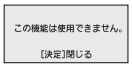
1 P.125の手順1～4のあと、
「停止時間設定」を選ぶ
△▽→ 決定



2 運転をオフにする時間を設定する
△▽→ 決定
● 「15分」または「30分」を選びます。



お知らせ
●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



人不在時省エネ設定

換気設定

一定時間、人を検知しないときに、換気を省エネ運転します。

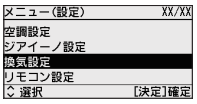
動作設定

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

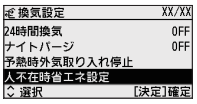


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

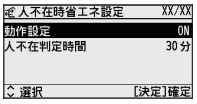
2 「換気設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「人不在時省エネ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



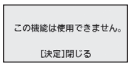
4 「動作設定」を選ぶ
△▽→ 決定



5 設定する
△▽→ 決定



お知らせ
●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。

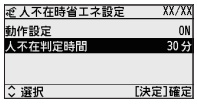


人不在時省エネ設定

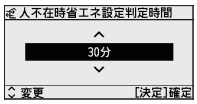
換気設定

人不在判定時間

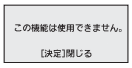
1 P.127の手順1～4のあと、
「人不在判定時間」を選ぶ
△▽→ 決定



2 不在と判定する時間を設定する
△▽→ 決定
● 10分～60分（10分単位）



お知らせ
●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



ナノイーX

換気設定

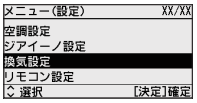
ナノイーX設定をオンにすることにより、熱交換気ユニット運転中に、「ナノイー」（水に含まれた微粒子イオン）が熱交換気ユニットから放出されます。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

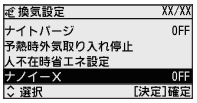


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

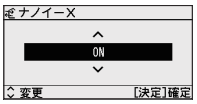
2 「換気設定」を選ぶ
△▽→ 決定



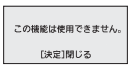
3 「ナノイーX」を選ぶ
△▽→ 決定



4 設定する
△▽→ 決定
● ONを選びます。



お知らせ
●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

CO2連動設定

換気設定

換気風量設定（P.32）がCO2連動の時に、換気風量を切り替えるCO2濃度を設定します。

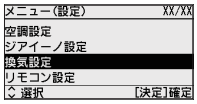
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定



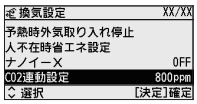
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

2 「換気設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「CO2連動設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 「800ppm」/「1000ppm」を選ぶ
△▽ → 決定

● 設定したppmを超えた場合は風量強に、設定したppm以下の場合は風量弱になります。



お知らせ

●CO2連動設定の表示は、当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセット形・マイコンタイプのうち対応した機器と、IAQセンサーが接続される環境でのみ表示されます。

ユーザーメンテナンス

換気設定

フィルターサインリセット

熱交換気ユニットのフィルターの掃除時期を知らせるサインをリセットします。
フィルターを掃除したあとでリセットしてください。

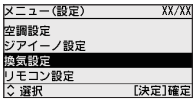
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定



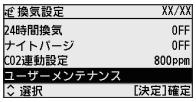
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

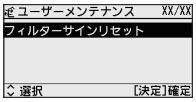
2 「換気設定」を選ぶ
△▽ → 決定



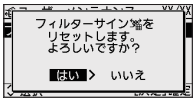
3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ
△▽ → 決定



4 「フィルターサインリセット」を選ぶ
△▽ → 決定



5 「はい」を選ぶ
◁▷ → 決定



お知らせ

●当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセ ット形・マイコンタイプのうち対応した機器のみ表示されます。

取扱説明書

リモコン設定

取扱説明書（本書）をダウンロードするためのQRコードを表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

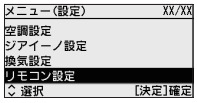


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

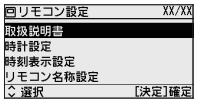
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」（P.15）を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「取扱説明書」を選ぶ
△▽ → 決定



4 QRコードを読み取る

● QRコードを読み取れる端末で画面に表示されているQRコードを読み取ってください。取扱説明書（本書）がダウンロードできます。



時計設定

リモコン設定

現在日時を設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

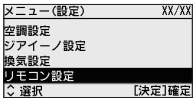


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

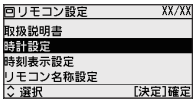
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」（P.15）を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

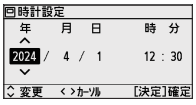
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「時計設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 日時を設定する
△▽ → ▷ → 決定
（くり返す）



● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● 設定可能範囲は下記のとおりです。
- 年：2000～2099
- 月：1～12
- 日：1～31
- 時：00～23
- 分：00～59

● 時計設定が無効のときは、「--」を表示します。

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

時刻表示設定

リモコン設定

時刻表示の種類を設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

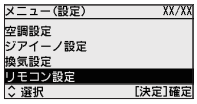


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

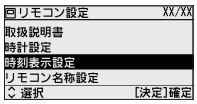
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

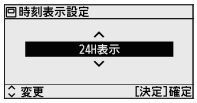
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「時刻表示設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 表示の種類を選ぶ
△▽ → 決定
● 「24H表示」または「AM・PM表示」を選びます。



お知らせ

●「時刻表示設定」で「AM・PM表示」を選んでも、タイマー設定や省エネ設定などの設定時刻は、24時間表示のままです。

リモコン名称設定

リモコン設定

リモコンに名前を付けます。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

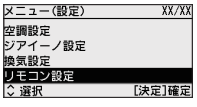


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

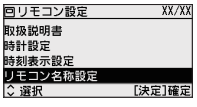
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

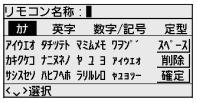
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



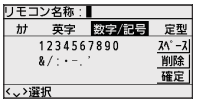
3 「リモコン名称設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 名称を入力する
△▽◁▷ → 決定
（全文字分くり返す）
● 全角8字／半角16字まで（スペースも文字数に含む）



■ 文字種を変更するとき
△▽◁▷ で文字種を選び、決定 を押す

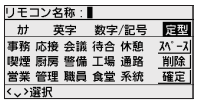


（次ページへ続く）

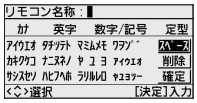
リモコン名称設定

リモコン設定

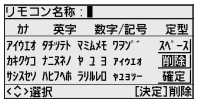
■ 既定の名称から選ぶとき
△▽◁▷ で「定型」を選び、決定 を押す



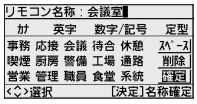
■ スペースを入力するとき
△▽◁▷ で「スペース」を選び、決定 を押す



■ 1字消すとき
△▽◁▷ で「削除」を選び、決定 を押す



5 入力が終わったら、「確定」を選ぶ
△▽◁▷ → 決定



操作ロック設定

リモコン設定

ボタン操作をロックします。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

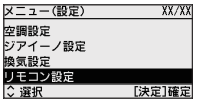


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

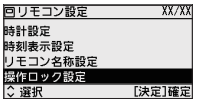
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「操作ロック設定」を選ぶ
△▽ → 決定



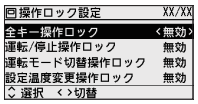
（次ページへ続く）

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

操作ロック設定

リモコン設定

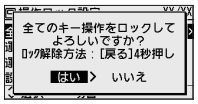
4 ロックの種類を選び、「有効」にする
△▽→◁▷



- △▽で項目を選び、◁▷で有効／無効を選ぶ
  - 全キー操作ロック
  - 運転／停止操作ロック
  - 運転モード切替操作ロック
  - 設定温度変更操作ロック
  - 風速変更操作ロック
  - 風向変更操作ロック
  - メニュー操作ロック
- 「有効」に設定した場合、インフォメーション画面にアイコンを表示します。

■ ロックを解除するとき
「無効」を選ぶ

■「全キー操作ロック」および「メニュー操作ロック」のときのみ
◁▷で「はい」を選び、決定を押す



操作音設定

リモコン設定

操作音量を変更します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー→◁▷→決定

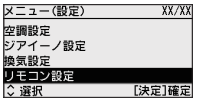


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

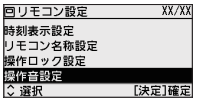
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽→決定



3 「操作音設定」を選ぶ
△▽→決定



4 設定を変える
△▽→決定

- 切／小／中／大（出荷時設定）から選びます。
- △▽で操作音を選び、決定を押すと、設定した操作音になります。
（警報音(P.17)の音量は「大」で固定です）



コントラスト設定

リモコン設定

画面のコントラストを設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー→◁▷→決定

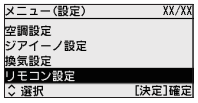


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

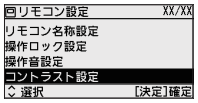
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽→決定

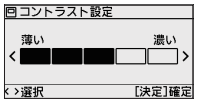


3 「コントラスト設定」を選ぶ
△▽→決定



4 設定を変える
◁▷→決定

- 出荷時設定：レベル3（■■■□□）
- ◁▷でレベルを選び、決定を押すと、設定したコントラストになります。



バックライト設定

リモコン設定

画面のバックライトの明るさを設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー→◁▷→決定

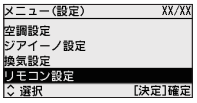


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

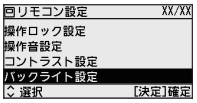
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽→決定

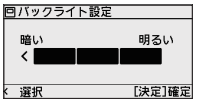


3 「バックライト設定」を選ぶ
△▽→決定



4 設定を変える
◁▷→決定

- 出荷時設定：レベル3（■■■）
- ◁▷でレベルを選び、決定を押すと、設定したバックライトになります。



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

表示モード

リモコン設定

トップ画面の表示モードを設定します。
簡易、標準（出荷時設定）、詳細の表示モードの中から選んでください。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

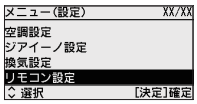


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

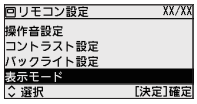
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

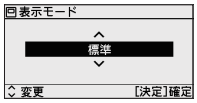
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「表示モード」を選ぶ
△▽ → 決定



4 表示モードを選ぶ
△▽ → 決定
● 出荷時設定：標準モード



（次ページへ続く）

表示モード

リモコン設定

■「標準」モード（出荷時設定）の画面例
画面の表示説明についてはP.12をご覧ください。



■「簡易」モードの画面例
画面の表示説明についてはP.13をご覧ください。



■「詳細」モードの画面例
画面の表示説明についてはP.14をご覧ください。



トップ画面表示情報

リモコン設定

トップ画面に表示する空気質情報の設定をします。
「表示モード」(P.142)で「標準」または「詳細」を選んだときに、設定した項目が表示されます。
表示できる項目は、室温／湿度／CO2濃度です。(湿度またはCO2濃度は、別売のIAQセンサー接続時に表示できます。)
出荷時設定では、すべて「表示なし」です。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

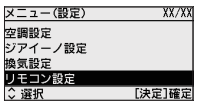


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

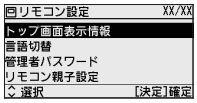
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「トップ画面表示情報」を選ぶ
△▽ → 決定



4 表示情報を選ぶ
△▽ → 決定
● 表示情報1（標準／詳細）：室温、湿度、CO2濃度、表示なし（出荷時設定）
● 表示情報2（詳細）：室温、湿度、CO2濃度、表示なし（出荷時設定）
● 表示情報3（詳細）：室温、湿度、CO2濃度、表示なし（出荷時設定）



（次ページへ続く）

トップ画面表示情報

リモコン設定

5 変更する
△▽ → 決定
● 表示なし
● 室温
● 湿度
● CO2濃度



お知らせ
●室温はIAQセンサーが接続されているとき、「室温*」と表示されます。
●「室温」と表示されているときは、リモコンで検知した室温をトップ画面に表示します。
●「室温*」と表示されているときは、IAQセンサーで検知した室温をトップ画面に表示します。

■出荷時設定のとき

手順4の画面

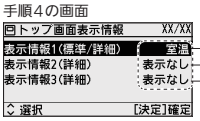


トップ画面



■標準モード画面で室温を表示させたいとき

手順4の画面

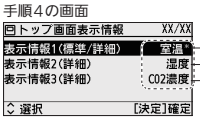


トップ画面

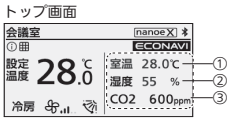


■詳細モード画面（IAQセンサー接続時）で室温、湿度、CO2濃度を表示させたいとき

手順4の画面



トップ画面



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

言語切替

リモコン設定

トップ画面の表示言語を設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

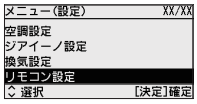


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

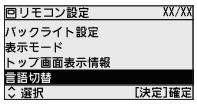
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「言語切替」を選ぶ
△▽ → 決定

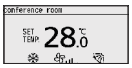


4 言語を選ぶ
△▽ → 決定
● 「日本語」(出荷時設定) または「English」から選びます。



お知らせ

●「言語切替」で変更できるのは、トップ画面の表示だけです。
●「English」を選んだときは、次のような表示になります。
例)



管理者パスワード

リモコン設定

管理者パスワードを設定します。
セキュリティー強化のため、出荷時設定のパスワード変更をお願いいたします。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

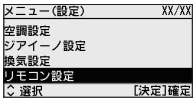


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

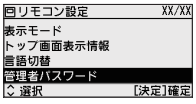
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



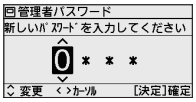
3 「管理者パスワード」を選ぶ
△▽ → 決定



4 パスワード (4桁) を入入力する
△▽ → ▷ → 決定
(くり返す)
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● 出荷時設定 : 0000



5 変更するパスワード (4桁) を入力する
△▽ → ▷ → 決定
(くり返す)
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する

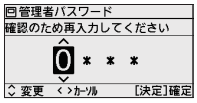


(次ページへ続く)

管理者パスワード

リモコン設定

6 確認のため、パスワード (4桁) を再入力する
△▽ → ▷ → 決定
(くり返す)
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する



お知らせ

●パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口 (P.159) にご連絡ください。

リモコン親子設定

リモコン設定

同じ室内ユニットにリモコンを2つ接続しているときに、一方を「親リモコン」、一方を「子リモコン」として登録します。
(親子間での機能の違いはありませんが、温度センサー設定でリモコンのセンサーを選んだときは、「親リモコン」のセンサーで運転を制御します)

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

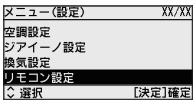


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

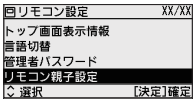
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



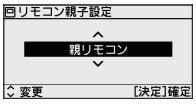
3 「リモコン親子設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 パスワード (4桁) を入入力する
△▽ → ▷ → 決定
(くり返す)
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● パスワードの設定のしかた (P.147)



5 設定する
△▽ → 決定



多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

ワイヤレス設定

リモコン設定

Bluetooth

Bluetooth 機能

Bluetoothの有効/無効の設定を行います。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

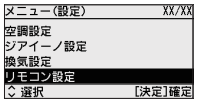


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

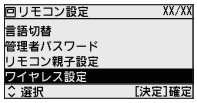
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



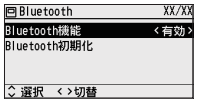
3 「ワイヤレス設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 「Bluetooth」を選ぶ
△▽ → 決定



5 「Bluetooth機能」を選び、「有効」にする
△▽ → ◁▷
● △▽で項目を選び、◁ ▷で有効/無効を選ぶ



ワイヤレス設定

リモコン設定

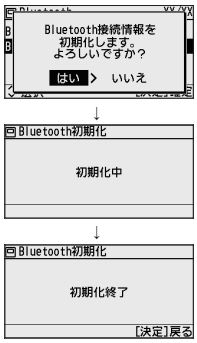
Bluetooth 初期化

ペアリング情報の初期化を行います。

1 P.150の手順1～4のあと
「Bluetooth初期化」を選ぶ
△▽ → 決定



2 「はい」を選ぶ
◁▷ → 決定



お知らせ

●初期化中は、メニュー、⏻などのすべてのボタン操作が無効になります。
●Bluetooth®接続方法については「datanavi操作マニュアル」を参照してください。

サービス連絡先表示

リモコン設定

サービスの連絡先を確認します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

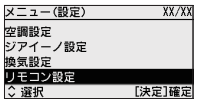


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

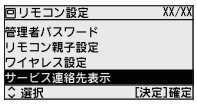
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.15)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

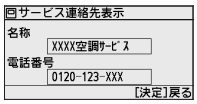
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「サービス連絡先表示」を選ぶ
△▽ → 決定



4 確認する



お知らせ

●連絡先の表示がない場合は、ご相談窓口 (P.159)にご連絡ください。

表示アイコン一覧

■ 共通

アイコン	内　容	ページ
ⓘ	インフォメーションあり	16
⚠	Bluetoothモジュールとの接続異常	—
ᛒ	Bluetoothの無線接続済	150
⚠	時計未設定	—
🔒	操作ロック設定中	137
🔒	集中制御機器からリモコン操作を制限中	—
⚠ / ⚠	警報発生中	—
ⓘ / ⓘ	点検情報発生中	—

■ 空調設定

アイコン	内　容	ページ
	個別風向固定設定中	56
	暖房⇔冷房・ドライの切り替えを禁止中（冷暖自動への切り替えも禁止）	—
	エンジンオイル交換が必要（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）	—
	室内ユニットのフィルター清掃が必要	94
	暖房準備中	—
	運転準備中（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）	—
	除霜中	—
	ナノイーX設定中（トップ画面にはnanoe Xと表示されます）	62
エコナビ	エコナビ動作中（トップ画面にはECONAVIと表示されます）	72

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

表示アイコン一覧

アイコン	内　容	ページ
	内部クリーン動作中	63
	内部乾燥動作中	64
	切/入タイマー設定中（空調）	39
	ウィークリータイマー設定中（空調）	41
	省エネ運転中	65
	手動デマンド設定中	69
	時間帯デマンド設定中	70
	設定温度自動リターン設定中	67
	設定温度範囲制限設定中	68
	消し忘れ防止タイマー設定中	48
	運転自動停止タイマー設定中	51
	室外静音設定中	86
	室温をリモコンの温度センサーで検知中	92
	室温をIAQセンサーの温度センサーで検知中	92
	風あて設定中	58
	風よけ設定中	58
	サーキュレート運転動作中	60
	ローテーション運転設定中	82
	かくはん運転中	—
	銀イオンの交換が必要	97
	室外ユニットの運転量を制限中	—

表示アイコン一覧

■ジアイーノ設定

アイコン	内　容	ページ
	ジアイーノ運転中	25
	塩水パックの交換が必要	109
	電極の交換が必要	111
	HEPAフィルターの交換が必要	113
	切/入タイマー設定中（ジアイーノ）	98
	ウィークリータイマー設定中（ジアイーノ）	100
	集中クリーン運転中（ジアイーノ）	106

■換気設定

アイコン	内　容	ページ
	普通換気：外気をそのまま取り入れ換気中 （熱交換気ユニット接続時、市販の換気扇等の接続時のみ）	32
	熱交換気：外気を室温に近づけて取り入れ換気中 （熱交換気ユニット接続時のみ）	32
	自動換気：室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り替え換気中 （熱交換気ユニット接続時のみ）	32
	24時間換気設定中	123
	ナイトパージ設定中	124
	熱交換気ユニットのフィルター清掃が必要 （熱交換気ユニット接続時のみ）	131
	切/入タイマー設定中（換気）	115
	ウィークリータイマー設定中（換気）	117
	CO2連動換気運転中	130

表示アイコン一覧

アイコン	内　容	ページ
	予熱時外気取り入れ停止機能設定中	125
	人不在時省エネ設定中	127
	ナノイーX設定中（トップ画面にはnanoeXと表示されます）	129

故障かな？

修理ご依頼の前に、ご確認を！

症　状	原因と対応
運転・操作できない	●「集中管理中」のアイコン（）が表示されていませんか？ →表示が消えてから、再度⏻を押してください。
	●停電していませんか？ →停電から復帰したら、再度⏻を押してください。 ●配線用しゃ断器（ブレーカー）が切れていませんか？ →管理責任者に確認後、配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れてから、再度⏻を押してください。 ●「構成確認中」が点滅していませんか？ →点滅が消えてから、再度⏻を押してください。 上記を行っても運転が始まらないときは、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切り、サービスまたはお買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
操作をしていないのにピー音がする 操作ボタンとは違う動作になる	●操作ボタンの表面が濡れていませんか？ 表面が濡れているとセンサーが押しているというような誤検知する場合があります。 →乾いた布でふきとり、再度操作してください。 ●冷媒漏えいの恐れがあります。(P.17) →ファンヒーターやストーブ・コンロなどの燃焼器具を使用しないでください。（冷媒が火気に触れると有毒ガス発生や火災の原因） 部屋の換気を行い、販売店またはサービス会社に点検を依頼してください。

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

故障かな？

症　状	原因と対応
「警報」が表示される 	●異常が発生したときに表示されます。 [<]または[決定]を押して警報画面で「警報コード」「品番」を確認し、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。 （品番が表示されない機種があります。） 警報表示が「E04」「E06」「P10」「P20」「H06」のいずれかの場合は、一度運転を停止し、約1分後に再運転してください。 →警報表示が再表示されなければ、そのまま使えます。 上記を行っても警報表示が再表示されるときや、上記以外の警報表示（「E/H/L/P」いずれかの文字と数字の組み合わせ）が表示されたときは、運転を停止してから配線用しゃ断器（ブレーカー）を切り、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。
「点検」が表示される 	●点検が必要なときに表示されます。 [<]または[決定]を押して点検画面で点検情報を確認し、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。 点検情報によっては、一部の機能が動作しない可能性があります。
時計未設定アイコンが表示される （🕘⇔⚠） 	●72時間以上、停電が継続していませんか？ 72時間以内の停電の場合、内蔵のバックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。 72時間を超える停電の場合、再設定が必要です。 →時計設定（P.133）を行ってください。

●連絡先の表示がない場合は、ご相談窓口（P.159）にご連絡ください。

ご相談窓口

機器に関する使い方・お手入れなどのご相談・お問い合わせは…

商品の情報はホームページでご確認ください。　パナソニック　空調換気　検索　https://hvac.panasonic.com/jp/

商品・修理に関するお問い合わせはこちらまで

■ 空調・換気・給湯の相談窓口 ■
（パナは いい室気・給湯）

フリーダイヤル 0120-870-199
携帯OK
音声ガイダンスに従って商品を選択してください

フリーダイヤルがご利用いただけない場合
050-3158-1222（有料）
月～金 9:00-12:00 13:00-18:00

FAXでのお問い合わせ
FAX 050-3606-7370
※有人対応：月～土 9:00~18:00（日・祝日・年末年始は留守電受付）

24時間 365日受付

Webフォームでのお問い合わせ
※技術相談(PAC/VRFのみ)

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お手入れ

●柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがひどい場合は、布に水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。

お願い

●40 ℃以上のお湯を使わないでください。
（変形や変色の原因）

●揮発性のものなどは使わないでください。
アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、磨き粉などでふいたり、市販の液状殺虫剤、消毒スプレーなどをかけない（変形や変色の原因）

●次のようなもので乾かさないでください。
ドライヤー、ストーブ、直射日光（変形や変色の原因）

仕様

品番		CZ-10RT5C
外形寸法		（高さ）120 mm×（幅）120 mm×（奥行き）19.5 mm
質量		190 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（屋内設置専用）
電源		DC16 V（室内ユニットより供給）
リモコン配線の接続可能台数（室内ユニット）		8台まで（グループ制御時。熱交換気ユニット、天井埋込形ジアイーノ、天吊カセット形ジアイーノの台数を含む） ジアイーノはリモコン配線に1台のみ接続可能
Bluetoothバージョン		4.2以降
時計	精度	±30秒/月（常温25 ℃） 定期的に合わせてください。
	停電時の動作時間	72時間（満充電時） 満充電に約24時間かかります。

著作権など

●QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。パナソニック株式会社は、使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
●その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは一部記載していません。

ソフトウェアライセンスについて

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
（1）パナソニック株式会社（以下パナソニック）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
（2）第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
（3）ソースコード公開が必須とされない条件にてライセンスされたオープンソースソフトウェア
上記（3）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

mbedTLS

Copyright (C) 2006-2015, ARM Limited, All Rights Reserved

Apache License
Version 2.0, January 2004
http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.
"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.
"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.
"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.
"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.
"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.
"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.
"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work.
"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship.
For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.
"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner.
For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."
"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted.
If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License.
You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.
You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

多機能ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C…別売品　機能と操作

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.
Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and/ on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

micro-ecc

Copyright (c) 2014, Kenneth MacKay
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Free RTOS

Copyright (C) 2017 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.

The FreeRTOS kernel is released under the MIT open source license, the text of which is provided below.

This license covers the FreeRTOS kernel source files, which are located in the /FreeRTOS/ Source directory of the official FreeRTOS kernel download. It also covers most of the source files in the demo application projects, which are located in the /FreeRTOS/Demo directory of the official FreeRTOS download. The demo projects may also include third party software that is not part of FreeRTOS and is licensed separately to FreeRTOS. Examples of third party software includes header files provided by chip or tools vendors, linker scripts, peripheral drivers, etc. All the software in subdirectories of the /FreeRTOS directory is either open source or distributed with permission, and is free for use. For the avoidance of doubt, refer to the comments at the top of each source file.

License text:

Copyright (C) 2017 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software. If you wish to use our Amazon FreeRTOS name, please do so in a fair use way that does not cause confusion.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

F1224-0
WEB-ACXF55-40640-00

Panasonic

据付(電気)工事説明書

多機能ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RT5C**



据付工事説明書をダウンロードできます。
QR コードから多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5C）のページにアクセスします。
https://hvac.panasonic.com/search/link.do?pid=
「品番検索」欄に「CZ-10RT5C」と入力し据付工事説明書をダウンロードしてください。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- 「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。**
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。

- 「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。**
- 移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 冷媒漏えい対策で安全対策装置（冷媒漏えい検知警報器、安全しゃ断弁キット、機械換気装置）を設置している場合、安全装置に付属の説明書もあわせてご覧ください。

1. 安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

- ❗ **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**（感電、火災の原因）
  - **電気設備に関する技術基準**
  - **内線規程**
  - **据付（電気）工事説明書**

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- ⃠ **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- ⃠ **配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子に 接続しない**（感電、故障の原因）
- ⃠ **医療機器や自動制御機器（自動ドア、火災警報器など）の近くには据え付けない**
  （本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）

- ❗ **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器（ブレーカー）を 切ってから行う**（感電の原因）
- ❗ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**（製品の落下、感電、火災などの原因）

⚠警告

本体を据え付けるときに

- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブル の外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- ❗ **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠注意

- ⃠ **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - **結露するところ**
  - **可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ**
  - **酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **有機溶剤の飛沫するところ**
  - **電圧変動の多いところ**
  - **ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
- ⃠ **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）
- ❗ **配線引込口をパテなどで塞ぐ**（露や虫が入り感電や故障の原因）
  （結露による基板故障の原因）

パナソニック株式会社　設備ソリューションズ事業部
〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田１丁目１番１号
© Panasonic Corporation 2024

Printed in China
O1024-0
ACXF60-56870

2. 仕様

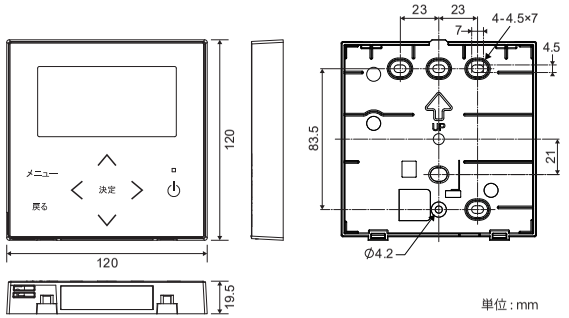
品番		CZ-10RT5C
外形寸法		（高さ）120 mm ×（幅）120 mm ×（奥行き）19.5 mm
質 量		190 g
使用温度・湿度範囲		0 ° C ～ 40 ° C・20 % ～ 80 % ※ 屋内設置専用
電源		DC16 V（室内ユニットより供給）
時計	精度	± 30 秒 / 月（常温 25 ℃） ※ 定期的に合わせてください。
	停電時の動作時間	72 時間（満充電時）※満充電に約 24 時間かかります。
リモコン配線の接続可能台数（室内ユニット）		8台まで （グループ制御時。熱交換気ユニット、天井埋込形ジアイーノ、天吊カセット形ジアイーノの台数を含む） ※ジアイーノはリモコン配線に 1 台のみ接続可能

3. 付属品　< > : 個数

小ネジ（M4 × 25）（JIS ボックス据え付け用） < 2 >	木ネジ（M 3.8 × 16）（壁面据え付け用） < 2 >	結束バンド < 1 >
取扱説明書（簡易版） < 1 >	据付（電気）工事説明書 < 1 >	断熱シート（ポリエチレン）（17 × 23 厚さ 2 mm） < 1 >

※ リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

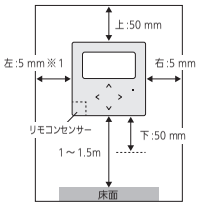
4. 外形寸法図



単位 : mm

5. 据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
  - 熱源の近くなど
- 床面から1 ～ 1.5mの高さに床面に対して垂直に据え付ける（室内の平均温度を感じる場所）
- 複数並べて据え付けるときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す。
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。（「2.仕様」(P.2)）
- 高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。（映像の乱れ、雑音の原因）
- 配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）
- 配線は、地中に埋設しない。（落雷などにより、感電や火災、故障の原因）



※1 リモコンセンサーを使用する場合は、左を 50 mm 以上離す

お願い

本機は、冷媒漏えいを検知したことを警報音などでお知らせします。本機の設置場所により、空調設備の管理者が冷媒漏えいを把握できない場合には、管理者が冷媒漏えいを把握可能なシステムを別途用意してください。管理者が冷媒漏えいを把握可能なシステムとは、遠隔監視システムまたは使用者から管理者へ連絡する体制でも構いません。使用者から管理者へ連絡する体制を採用する場合は、冷媒漏えい検知警報器の近くに管理者の連絡先を必ず表示などしてください。冷媒漏えい検知時、本機に管理者連絡先を表示する場合は、P.8 の「11. 回路検査をする」より管理者連絡先登録をしてください。

6. リモコンセンサーを使用する場合

- 次のような場所に据え付けない。（検知温度と実際の室温に差が出るおそれがあるため）
  - 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側
  - 設置壁面と室温に温度差があるところ
  - 室内ユニットの吹出し部からの冷風や温風が直接当たるところ
- 本機から左50 mm、上下50 mm以上の空間を設ける。
- 適切な位置にリモコンを設置できない場合は、リモートセンサーまたはIAQセンサーを使用する。

お知らせ

- リモコンセンサーはリモコン正面の左下にあります。
  検知温度を安定させるため、上記の内容を守り据え付け場所を決めてください。
  据え付け場所や使用環境により、検知温度が安定するまでに時間がかかる場合があります。

7. 配線のしかた

配線の仕様と接続可能台数

■**配線の種類**
柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm² のケーブル（単線は使わない）
- シース部を含む絶縁物の厚みが 1 mm以上あるケーブル
- 推奨品：VCTF（EM-ECTF ※ 1）/ VCT（EM-OOCT ※ 1）

■**総配線長**
500m 以内
- グループ内にワイヤレスリモコンがある場合は、400m 以内

■**室内ユニットわたり総配線長**
200m 以内

■**接続可能台数**
- リモコン　：最多 2 個
- ユニット※2　：8 台まで

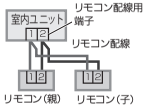
※ 1（ ）内はエコ電線記号。紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。
※ 2 ユニットは室内ユニットのほか、熱交換気ユニット、天井埋込形ジアイーノまたは天吊カセット形ジアイーノを含む。
熱交換気ユニット、ジアイーノを接続する場合でも室内ユニットが 1 台以上必要。

お願い
- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）

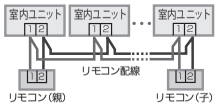
親・子リモコン制御について

1 台もしくは複数台の室内ユニットを 2 個のリモコンで操作することができます。
設置後、「9. 設定する」の「⑥ リモコン設定モード」（項目コード 01:「リモコン親子設定」）（P.6）を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
CZ-10RT4C などの他リモコンと併用の場合は、本機を「親リモコン」に設定してください。

■ **室内ユニットが 1 台のとき**

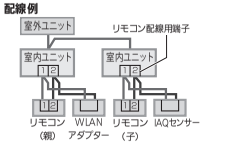


■ **室内ユニットが複数台のとき**

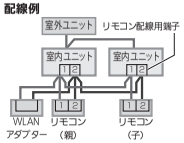


制御機器を 3 個以上接続する場合

■**オフィス・店舗用エアコン 7B シリーズの配線例**



■**ビル用マルチ、ガスヒートポンプの配線例**



■**対象の室内ユニット**
- オフィス・店舗用：7 シリーズ以降の室内ユニット
- ビル用マルチ：5 シリーズ以降の室外ユニットに接続できる室内ユニット
- ガスヒートポンプ：U 形以降の室外ユニットに接続できる室内ユニット

■**配線の種類**
柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm² のケーブル（単線は使わない）
- シース部を含む絶縁物の厚みが 1 mm以上あるケーブル
- 推奨品：VCTF（EM-ECTF ）/ VCT（EM-OOCT ）

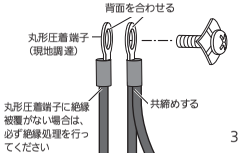
■**総配線長**
- 制御機器の接続台数
  3 個の場合　：300 m 以内
  4 個の場合　：200 m 以内

■**室内ユニットわたり総配線長**
200m 以内

■**接続可能台数**
- 制御機器　：最多 4 個
  WLAN アダプター：1 個まで
  IAQ センサー　：1 個まで
  リモコン　：最多 2 個
- ユニット　：8 台まで

リモコン配線用端子への配線方法

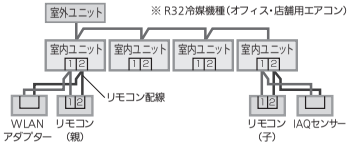
- リモコン配線用端子板に配線を 3 本接続する場合は、丸形圧着端子（現地調達）を使用し、1 つの丸形圧着端子に配線を 2 本共締めしてください。
- 共締めする配線は、同じ種類の配線を使用してください。
- リモコン配線用端子板のネジ径は室内ユニットによって異なるため、室内ユニットの工事説明書もあわせてご覧ください。



グループ制御（リモコンわたり配線）について

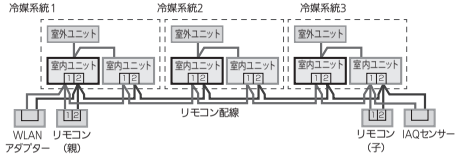
- R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- 冷媒種にかかわらず冷媒系統が異なる場合、熱交換気ユニットや天井埋込形ジアイーノと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
「同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合」は下へスライド。
- グループ制御については、室内ユニットおよび接続する制御機器に付属の据付工事説明書もあわせてご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ
- 制御機器を 3 個以上接続しても、動作します。
- どの室内ユニットに制御機器を接続しても、動作します。

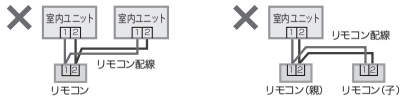
複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



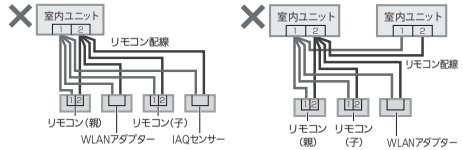
お知らせ
- どの室内ユニットに制御機器を接続しても、動作します。
- エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い
- 手動で室内ユニットの親子設定を変更する場合、設置後、「9. 設定する」の「⑦ 詳細設定」（項目コード 14 :「室内ユニットの親子設定」）（P.7）を行ってください。

お願い
- 以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。

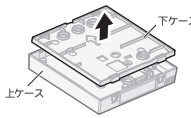


- 室内ユニットのリモコン配線用端子に、4 本以上接続する配線方法は禁止です。

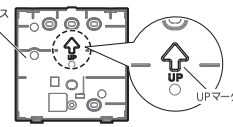


8. 据え付ける

1 下ケースをはずす



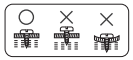
お願い
- 下ケースは、UP マークが見えるように JIS ボックス、または壁に取り付けてください。



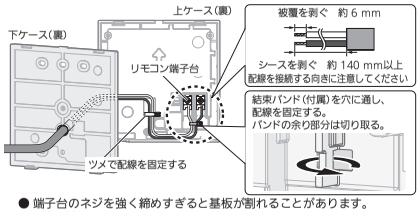
2 壁に取り付ける

配線埋め込み据え付けの場合

❶ 下ケースを JIS ボックスに取り付ける
- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締める。（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎない。（下ケースの変形による、落下の原因）

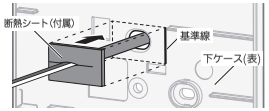


❷ リモコン配線を接続する
- 上ケースの溝に配線を通し、配線をツメにはめ込む。



- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
・締め付トルク：0.23 ～ 0.33 Nm

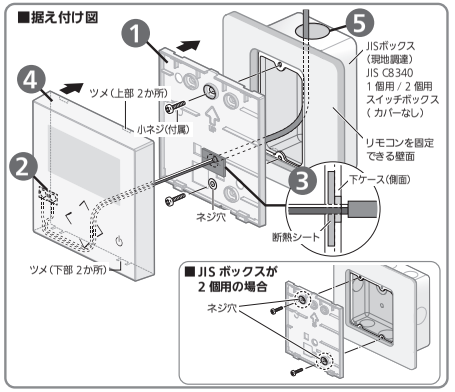
❸ 断熱シートを下ケースに貼りつける
- 断熱シート（付属）の切り込みに配線をはさむ。
- 下ケース（表）の基準線に合わせて断熱シートを貼り付け、下ケース中央の穴を塞ぐ。



❹ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメ（上部）を合わせてから、ツメ（下部）を合わせる。
- シースをリモコン内部に引き込んだまま、取り付けないでください。（上ケースが取り付けられない原因）
- 余分な配線をリモコンケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

❺ 配線引込口の根本部分をパテなど（現地調達）で塞ぐ

■**据え付け図**

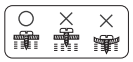


■**JIS ボックスが 2 個用の場合**

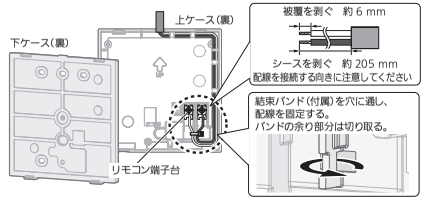
配線露出据え付けの場合

準備：上ケースの上部を切り取り、配線引き出し口を用意しておく（「据え付け図」参照）

❶ 下ケースを壁に取り付ける
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締める。（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎない。（下ケースの変形による、落下の原因）



❷ リモコン配線を接続する
- 上ケースの溝に配線を通し、配線をツメにはめ込む。

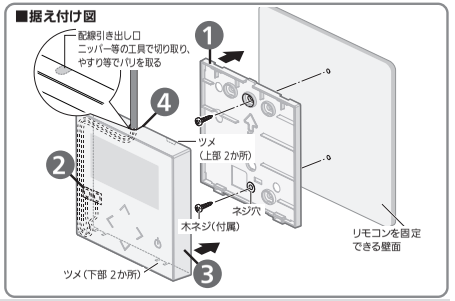


- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
・締め付トルク：0.23 ～ 0.33 Nm

❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメ（上部）を合わせてから、ツメ（下部）を合わせる。
- 余分な配線をリモコンケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

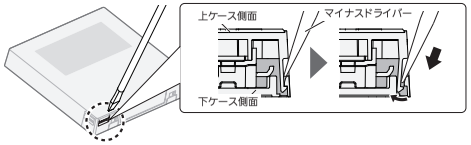
❹ 配線引き出し口の根本部分をパテなど（現地調達）で塞ぐ

■**据え付け図**



据え付け後に下ケースを取りはずす場合

- マイナスドライバーを下ケースのツメの傾斜に沿って軽く押してください。



9. 設定する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れてください。リモコンが起動し、「構成確認中」の表示が消えるまでお待ちください。
※ 10 分以上「構成確認中」が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください。
目的に応じて「リモコン設定」（P.5）、「リモコンメンテナンス設定」（P.6 ～ 7）の項目①～⑨を参照してください。

「リモコン設定」（P.5）			
現在日時を設定するとき	▶	① 時計設定	P.5（下記）
リモコンの名称を設定するとき	▶	② リモコン名称設定	
トップ画面の表示モードを切り替えるとき	▶	③ 表示モード	
トップ画面に表示する空気質情報の設定をするとき	▶	④ トップ画面表示情報	

「リモコンメンテナンス設定」（P.6 ～ 7）			
サービスの連絡先を登録/変更するとき	▶	⑤ サービス連絡先登録	P.6
リモコンの設定をするとき	▶	⑥ リモコン設定モード	
室内ユニットと熱交換気ユニットの設定をするとき	▶	⑦ 詳細設定	P.7
リモコンから室内ユニット/室外ユニットのアドレスを設定するとき	▶	⑧ 自動アドレス設定	
集中制御アドレスの設定をするとき（集中制御機器を接続をする場合）	▶	⑨ 簡単設定	

リモコン設定

1 「メニュー」を押す

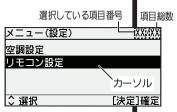


お知らせ
- ●手袋を着けた状態では、操作できません。
- ●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
- ●接続する室内ユニットによっては、液晶画面の表示が異なる場合があります。

2 「リモコン設定」を選ぶ

[△][▽]→[決定]

※ 空調機のみ接続の場合、メニュー（操作・設定）画面が表示されません。

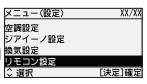


ジアイーノまたは換気、もしくは両方接続されている場合

2-1 メニュー画面から設定画面に切り替える
- トップ画面からメニューを押す
- [◁][▷]で「設定」選び、[決定]を押す

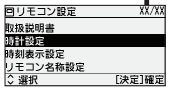


2-2 リモコン設定画面に切り替える
- [△][▽]で「リモコン設定」を選び、[決定]を押す



3 設定する項目を選ぶ

[△][▽]→[決定]



4 設定を変更する

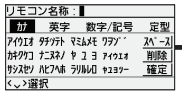
① 時計設定

[△][▽][◁][▷]→[決定]

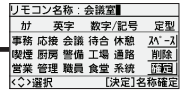


② リモコン名称設定

[△][▽][◁][▷]で選び、[決定]で入力する



[△][▽][◁][▷]で「確定」を選び、[決定]を押す



③ 表示モード

- 3 つのモード（簡易、標準、詳細）の中から選んでください

[△][▽]→[決定]





（出荷時設定）

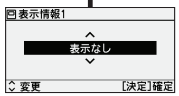
④ トップ画面表示情報

- トップ画面に表示する空気質情報の設定をします。
- 「③表示モード」で「標準」または「詳細」を選んだときに、設定した項目が表示されます。
- 表示できる項目は、室温 / 湿度 /CO2 濃度です。
- 出荷時設定は、すべて「表示なし」です。

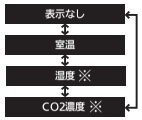
[△][▽]→[決定]



- 表示情報 1（標準 / 詳細）：室温 / 湿度 /CO2 濃度 / 表示なし
- 表示情報 2（詳細）：室温 / 湿度 /CO2 濃度 / 表示なし
- 表示情報 3（詳細）：室温 / 湿度 /CO2 濃度 / 表示なし



[△][▽]→[決定]



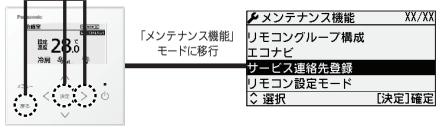
※湿度と CO2 濃度の数値は、IAQ センサーと接続されている場合に表示されます。

リモコンメンテナンス設定

1 3 つのボタンを同時に 4 秒以上を押す

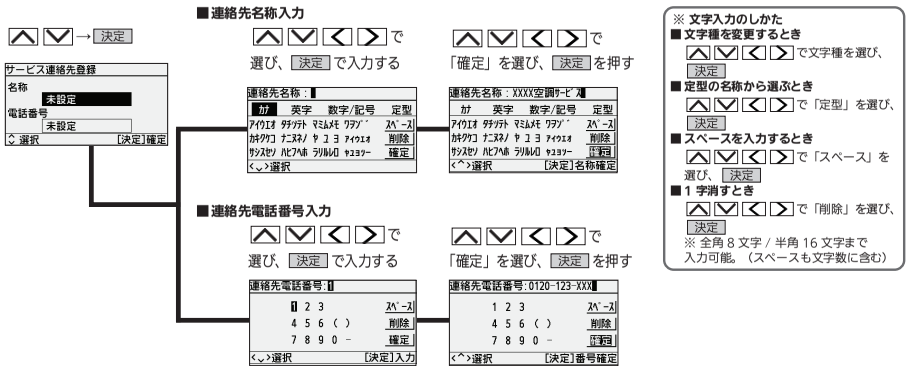
2 選択する項目を選ぶ

[△][▽]→[決定]



3 設定を変更する

⑤ サービス連絡先登録



⑥ リモコン設定モード

項目コード / 設定データを選択する

[△][▽][◁][▷]→[決定]



お知らせ
- ●リモコン設定は、設定終了後に再起動を行います。

項目コード（リモコン設定モード）			設定データ
01	リモコン親子設定	リモコンを 2 個設置するとき	・0000：子 ・0001：親（出荷時設定）
2F	パスワード設定	管理者パスワードを設定するとき ※管理者パスワードを変更した場合は、管理者にご連絡ください。	・0000 ～ 9999 ・0000（出荷時設定）
2B	ジアイーノ・熱交換気連動設定	空調機の運転 / 停止によって、接続しているジアイーノまたは熱交換気ユニットの運転 / 停止を連動させるとき	・0000：連動なし（出荷時設定） ・0001：熱交換気ユニット連動あり ・0003：ジアイーノ連動あり ・0004：熱交換気ユニット・ジアイーノ連動あり
21	発電表示切替	発電機能付きのガスヒートポンプエアコン（GHP）と接続するとき	・0000：表示機能無効（出荷時設定） ・0001：表示機能有効

次ページに続く

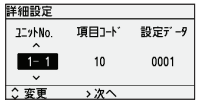
9. 設定する （つづき）

リモコンメンテナンス設定

⑦ 詳細設定

ユニット No.・項目コード・設定データを選択する

△▽◁▷→決定



■項目コードが 6 桁表示の場合

桁ごとにコード選択が行える画面に切り替えることができます。



- リモコン画面に「[メニュー] 切替」が表示されている状態で、メニューを押す
- 桁移動 ◁▷
- コード選択 △▽

メニューを押すと詳細設定画面に戻る

お知らせ

●熱交換気ユニットのユニット No. は「31－XX」になります。
●詳細設定は、設定終了後に再起動を行います。
●室内ユニットの機種によっては、項目コードが 6 桁で表示される場合があります。（右記参照）

項目コード（詳細設定）			設定データ
14	室内ユニットの親子設定	グループ制御時に室内ユニットの親子設定をするとき	・0001：親機 ・0002：子機
31	換気扇との接続	室内コントロール基板上の換気扇出力『FAN DRIVE：2P（白）』に市販の換気扇等を接続するとき ※ 専用配線（別売品）が必要	・0000：接続なし ・0001：接続あり
32	室温センサー設定	室内温度を検知する温度センサーを設定するとき ※ 親・子リモコン制御時に、「リモコン側」に設定している場合は、親リモコンのセンサーが有効になります。 ※ リモートセンサー併用時は、設定データにかかわらず、リモートセンサーが有効になります ※ ビル用マルチのグループ制御時は、「室内ユニット側」で使用することを推奨します。	・0000：室内ユニット側 ・0001：リモコン側 ・0002：IAQ センサー（IAQ センサー対応機種のみ設定可）
D7	熱交換気連動設定 ※ 熱交換気ユニットの設定項目になります。	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えるとき （「換気モード」が「自動換気」のときのみ）	・0000：オフ ・0001：オン
2E5	銀イオン交換サイン表示設定 ※対応可能機種のみ	銀イオン抗菌剤の交換サインを表示するとき （表示にすると、「ユーザーメンテナンス」画面に「銀イオン抗菌剤」の項目が表示されます。 また、銀イオン抗菌剤の交換時期になると、トップ画面にアイコンが表示されます）	・0000：非表示 ・0001：表示

お願い

●銀イオン交換作業はサービス専門業者様への依頼となり、有料となる旨説明を行ってください。

⑧ 自動アドレス設定

お願い

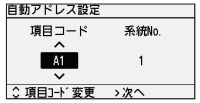
●室外ユニットの 電源を入れ、90 秒以上たってから行ってください。
●自動アドレス設定を行ったあとは、90 秒以上 たってから運転してください。

項目コード「A1」/ 系統 No. を選択する

△▽◁▷→決定

お知らせ

●自動アドレス設定は、設定終了後に再起動を行います。



項目コード（自動アドレス設定）			系統 No.
A1	自動アドレス設定	自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットの間を系統アドレス毎に自動で関連付けする操作です。 自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号を選んでください。	・室外ユニットの系統番号

⑨ 簡単設定

お願い

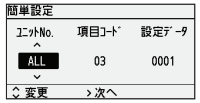
●集中制御アドレス設定は自動アドレス設定終了後に行ってください。
●接続する集中制御機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

ユニット No.「ALL」/ 項目コード「03」/ 設定データを選択する

△▽◁▷→決定

お知らせ

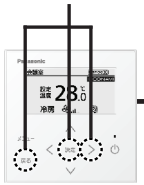
●簡単設定は、設定終了後に再起動を行います。



項目コード（簡単設定）			設定データ
03	集中制御アドレス設定	集中制御機器を使用するとき	・0001 ～ 0064

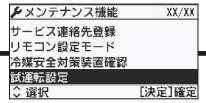
10. 試運転を開始する

1 3 つのボタンを同時に 4 秒以上押す



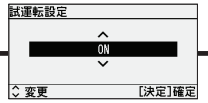
2「試運転設定」を選ぶ

△▽→決定



3「ON」を選ぶ（試運転モードになる）

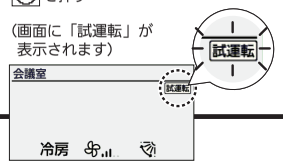
△▽で「ON」を選び、決定を押した後、戻るを押す



4 試運転する

を押す

（画面に「試運転」が表示されます）



5 試運転を終了する

手順 1・2 を行い、手順 3 で「OFF」を選ぶ。

（「試運転」表示消灯）



お願い

●試運転以外の目的には使わないでください。（室内・室外ユニットに無理がかかるため）

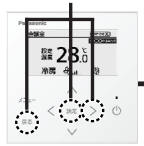
お知らせ

●暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
●連続試運転を防止するため 60 分後自動で「オフ」になります。
●電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

11. 回路検査をする

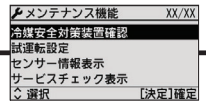
R32 冷媒システムで安全対策装置を使用する場合、安全対策装置が正常に動作することを確認します。
室内ユニット付属の据付工事説明書 (別紙編) もあわせてご覧ください。

1 3 つのボタンを同時に 4 秒以上押す



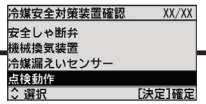
2「冷媒安全対策装置確認」を選ぶ

△▽→決定



3「点検動作」を選ぶ

△▽→決定



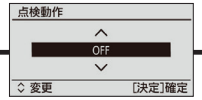
4「ON」を選ぶ

△▽で「ON」を選び安全対策装置の動作確認を行う



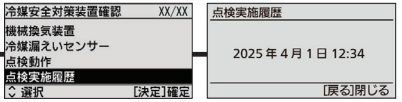
5 点検動作を終了する

手順 1・2・3 を行い、手順 4 で「OFF」を選ぶ



6 点検記録を確認する

手順 1・2 を行い、「点検実施履歴」を選び点検を実施した日付が記録されていることを確認する

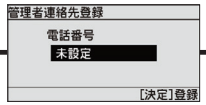


お願い　本機は、冷媒漏えいを検知したことを警報音などでお知らせします。下記の手順で冷媒漏えい検知時の管理者連絡先を登録してください。

1 「回路検査の手順 1・2 を行い、「管理者連絡先登録」を選ぶ



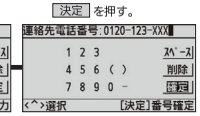
2 決定



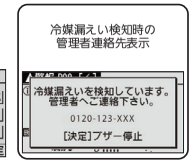
3 △▽◁▷で選び、決定で入力する

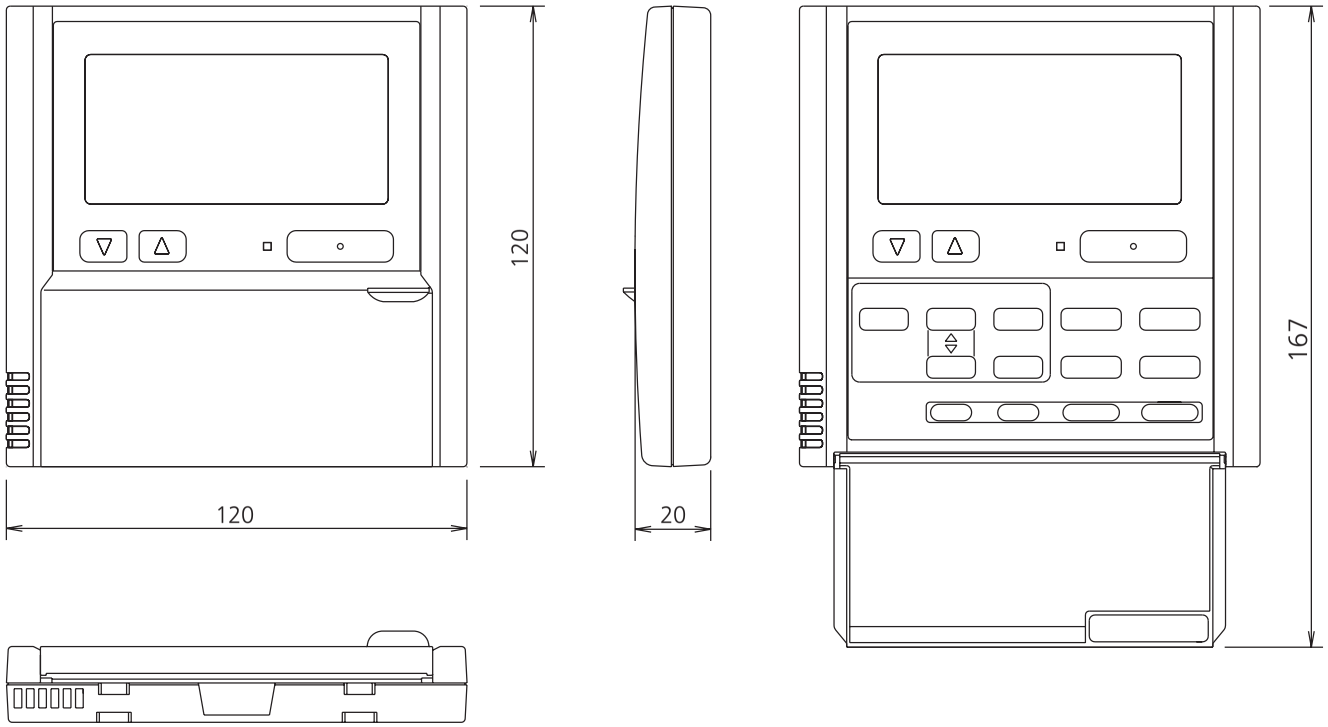


△▽◁▷で「確定」を選び、決定を押す。



冷媒漏えい検知時の管理者連絡先表示

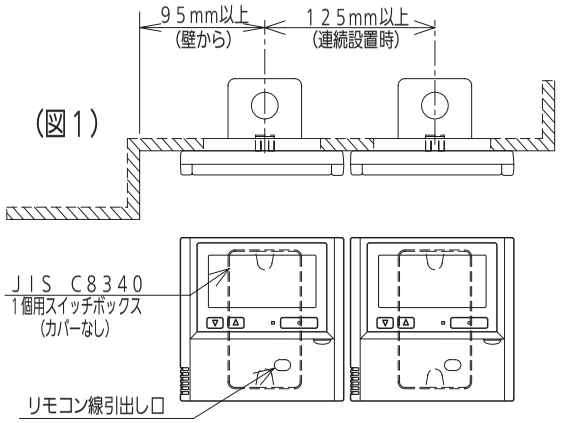




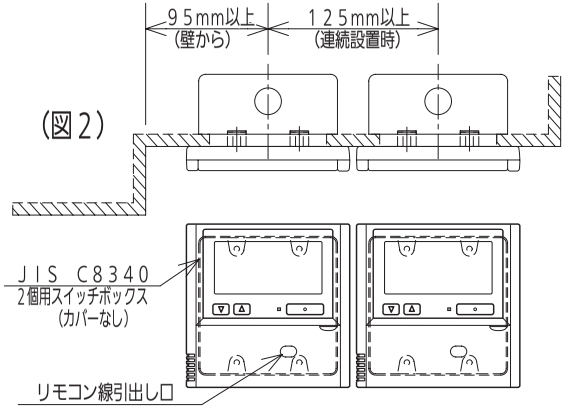
連続設置の場合の取付寸法

＊リモコンスイッチを壁面に連続して取り付ける場合、
図１・図２の取付寸法を守ってください。

（図１）

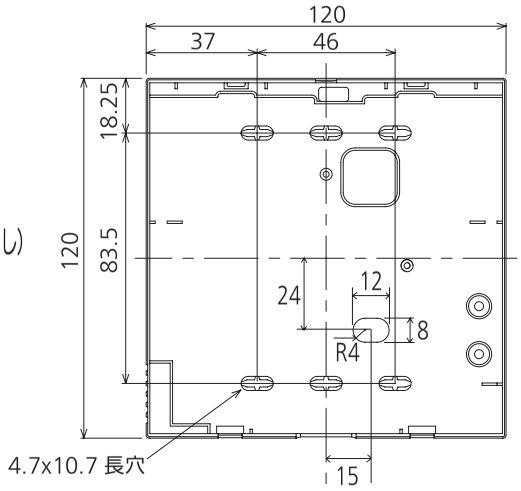


（図２）



＊リモコンスイッチを上下に連続設置する場合、隙間は
５０mm以上としてください。
＊リモコン上部の隙間は１０mm以上確保してください。

＜リモコン取付け寸法＞



お願い）　配線を埋込まれる場合は、ＪＩＳ−Ｃ８３４０　１個用スイッチボックス（カバーなし）
または、２個用スイッチボックス（カバーなし）を現地手配し、埋込んでください。

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT3…別売品　機能と操作

操作のしかた　ワイヤードリモコン

各部の名称とはたらき

工場出荷時、保護シートを付けております。

温度設定
▽ 設定温度を1℃ずつ下げます。
△ 設定温度を1℃ずつ上げます。
※送風時は温度設定ができません。
※別売の昇降グリルを接続し、操作するときは、下降上昇に使用します。

タイマー設定
タイマー設定時に使用します。

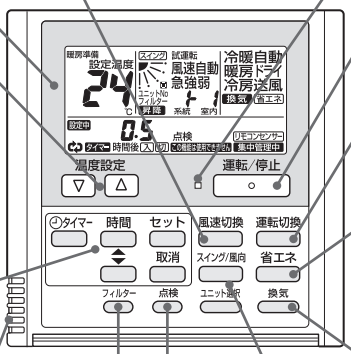
リモコンセンサー
通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコンの周辺の温度を感知させることもできます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

フィルター（単発押し）
フィルターサインを消灯させるときに使用します。
フィルターが表示されたときにはフィルター掃除後、ボタンを押してください。

フィルター（4秒以上の長押し）
別売の昇降グリルを接続したときに使用します。

風速切換
お好みの風速にします。
送風時は自動になりません。

点検ボタン
サービス時に使用します。
通常は使用しないでください。



運転ランプ
運転中は点灯します。異常時、保護装置動作中は点滅します。

運転／停止
運転／停止させるときに使用します。

運転切換
運転モードを切り換えるときに押します。

省エネ　（省エネボタンのあるリモコンのみ）
運転中にボタンを押すとリモコンの表示部に 省エネ が表示され、省エネ運転を開始します。もう一度ボタンを押すと表示は消え、通常の運転になります。

換気
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したとき、リモコンの表示部に **この機能は使用できません** が表示された場合は換気扇が接続されていません。

オートフラップ
スイング/風向　自動スイングやフラップの角度を設定します。
ユニット選択　1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時や昇降グリルを操作時にユニットを選択します。



試運転中に表示します。
フラップの上下動作中に表示します。
フラップの位置を表示します。
個別フラップ機種をご使用の場合フラップを個別設定している場合に ▣ を表示します。
表示中は室内送風機が停止、または微風運転になります。
設定温度を表示します。
設定中を表す表示です。
タイマーの時間を表示します。（異常時には警報を表示します。）

タイマー ボタンを押すと、
切　切タイマー
切　くり返し切タイマー
入　入タイマー
表示なし
の順に切り換わります。

風速自動、急、強、弱のいずれかを表示します。
ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内ユニットNoを表示します。

運転の状態を表示します。
市販の換気扇等を接続したとき換気扇運転中に表示します。
省エネ運転中に表示します。
リモコンセンサー使用時に表示します。
遠隔運転時に表示します。遠隔側でリモコン操作禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき集中管理中が点滅し、変更を受け付けません。
ボタンを押しても操作できないときに表示します。
保護装置動作時および異常時に表示します。
フィルターの掃除時期をお知らせします。
別売の昇降グリルを接続したとき、フィルター昇降状態になると表示します。

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT3…別売品　機能と操作

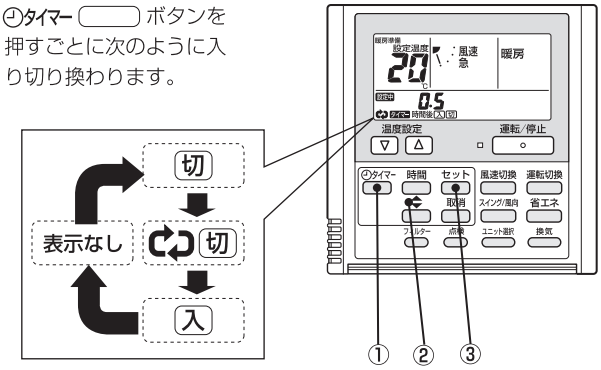
タイマー運転のしかた

• 運転中にタイマー設定を行ってください。

こんなときにお使いください。		表示部
設定した時間にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、設定した時間にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	↻ 切
設定した時間にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

タイマー時間について	
時間 ▲ ▼	設定時間を0.5時間（30分）ずつふやします。上限は72.0時間です。
	設定時間を0.5時間（30分）ずつへらします。下限は0.5時間です。

タイマー ボタンを押すごとに次のように入り切り換わります。



〈使用例〉

切タイマー設定

（例）30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー を１回押すとリモコンに 切 が表示されます。設定中 と時間データが点滅します。

②時間 ◆ を押して、時間を 0.5 に合わせます。

③セット を押します。設定中 が消えて時間が点灯します。

くり返し切タイマー設定

（例）毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー を2回押すとリモコンに ↻ と 切 が表示されます。設定中 と時間データが点滅します。

②時間 ◆ を押して、時間を 2.5 に合わせます。※1

③セット を押します。設定中 が消えて時間が点灯します。

入タイマー設定

（例）8時間後に運転をさせたいとき

① タイマー を3回押すとリモコンに 入 が表示されます。設定中 と時間データが点滅します。

②時間 ◆ を押して、時間を 8.0 に合わせます。

③セット を押します。設定中 が消えて時間が点灯します。※3

※1　切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。
再び、運転／停止ボタンを押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

※2　タイマー運転を中止させるときは、取消 ボタンを押します。
タイマー表示が消えます。

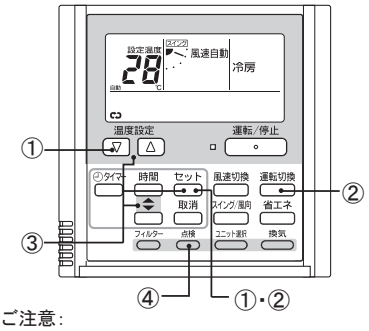
※3　入タイマー設定直後、エアコンは停止します。

設定温度自動リターン機能のつかいかた

● 設定した時間経過後、設定温度に戻す機能です。

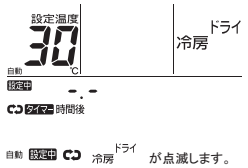
運転モード	設定時間範囲	設定温度範囲
冷房 ドライ	0. 5時間(30分) ～2. 0時間(120分)	18～30℃
暖房	0. 5時間(30分) ～2. 0時間(120分)	16～26℃
冷暖自動	0. 5時間(30分) ～2. 0時間(120分)	17～27℃

※設定時間は、0. 5時間(30分)単位です。
設定温度は、1℃単位です。
※冷房とドライは同じ設定になります。
※設定できる運転モードと設定温度範囲は室内機種によって異なります。



■ご注意：
・他の機器から設定温度を変更された場合、設定した時間経過しても、設定した温度には戻りません。
・停電が発生した場合、復電後、設定した時間経過後に、設定した温度に戻ります。

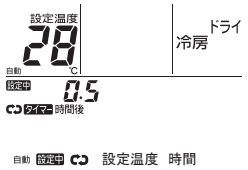
（例1）0. 5時間(30分)後に冷房(ドライ)の設定温度を28℃に戻したい



自動 設定中 ↻ 冷房ドライ が点滅します。

① 設定画面への切替え
セット と 温度設定 ▽ を同時に4秒以上長押します。

② 運転モード(冷房・ドライ/暖房/冷暖自動)選択
運転切換 で運転モードを設定します。
セット で確定します。
※室内機種によっては選択できない運転モードがあります。



自動 設定中 ↻ 設定温度 時間 が点滅します。
確定時にすべて点灯します。

③ 設定温度と時間の設定
温度設定 ▽ △ で 28 ℃に設定します。
時間 ◆ で 0.5 時間に設定します。
セット で確定します。

④ 設定画面の終了
点検 で設定画面を終了します。
設定終了後、自動 と ↻ が点灯します。

（例2）冷房(ドライ)の設定温度自動リターン機能を解除したい

上記(例1)と同様に、①設定画面に切替え、②運転モード 冷房・ドライを選択します。



自動 設定中 ↻ 冷房ドライ が点滅します。
確定時にすべて点灯します。

③ 設定温度と時間の設定
時間 ◆ で －.－ に設定します。
セット で確定します。

④ 設定画面の終了
点検 で設定画面を終了します。
設定終了後、自動 と ↻ が点灯します。
（すべての運転モードの設定が解除されたときのみ消灯します。）

Printed in China
W0419-20823
ACXF60-19053
85464369416002

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT3…別売品　施工

据付 (電気) 工事担当およびサービス担当のかたへ (CZ-10RT3)

リモコン付属品

番号	付　属　部　品	個数
①	リモコン 	1
②	小ネジ M4×25 	2

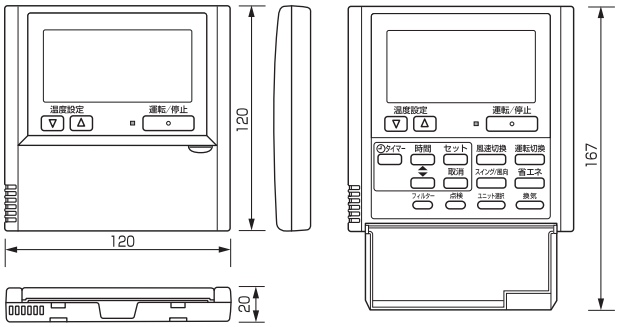
番号	付　属　部　品	個数
③	木ネジ 	2
④	据付工事説明書 	1

リモコンの設置方法のお願い

設置場所

- リモコンの取付け高さは、床面より1～1.5mの範囲内にして、室内の平均的温度を感じる場所に設置してください。
- 直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
- 室内の空気の流れから外れた物かげや物の裏側等に設置しないでください。
- このリモコンは防湿･防滴仕様ではありませんので､冷凍･冷蔵庫内には設置しないでください。
- リモコンは、必ず壁面等に垂直に設置してください。
- リモコンを並列設置するときは5㎜以上離してください。

外形寸法図

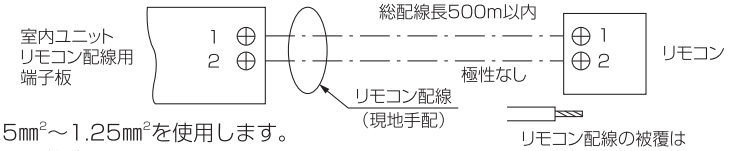


単位：㎜

リモコンの取り付けかた

〈注１〉リモコン配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉リモコンは、ノイズの発生源から離して据付けてください。
〈注３〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

●接続図



- 配線は0.5㎟～1.25㎟を使用します。
- 誤配線すると故障の原因になります。
- リモコン配線には、柔軟性のあるケーブルをご使用ください。
- 単線は使用しないでください。

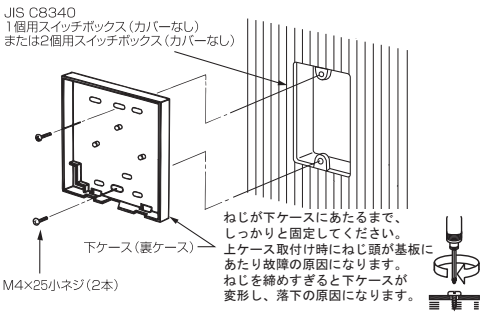
推奨　電線（エコ電線）　VCTF　(EM-ECTF)
VCT　(ECO120)
MVV-S　(EM-MEE-S)

①リモコン本体下側の溝にマイナスドライバー等を押しこんであけ、下ケースを外してください。



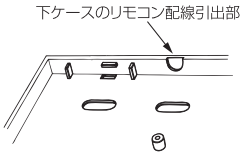
②下ケースの取り付けかた

●**リモコンを埋込型としてご使用の場合は、**あらかじめ現地で壁内に埋込まれた図に示すJISボックス（現地手配）に取り付けてください。
下ケースを付属のM4小ネジ（2本）を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。

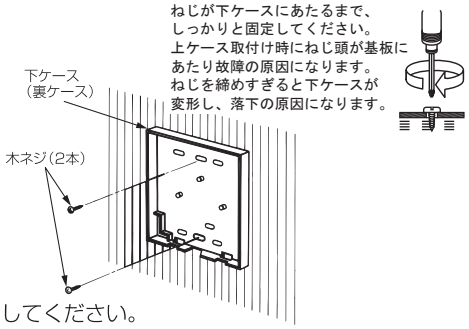


ワイヤードリモコン／ CZ-10RT3…別売品　施工

●**露出型としてご使用の場合は、**リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。
リモコン配線は、下ケースリモコン配線引出部（中央上部の肉薄部）をニッパ等で切り欠き、この部分より出してください。（図A）
下ケースを木ネジ（2本）を使用して壁面に固定してください。

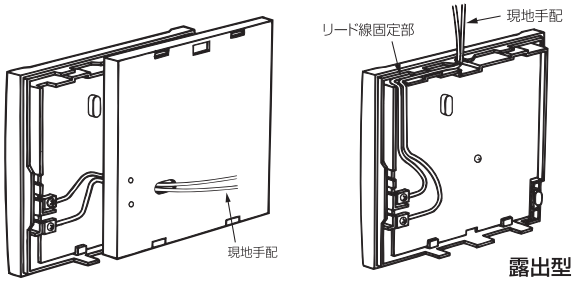


（図A）



③リモコン端子台に、リモコン配線を接続してください。
リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。（誤配線するとこわれます。）

●図のような経路で配線し、余分なリモコン配線はリモコンケース内に収納しないでください。
●基板から出ている金属の突起物にリモコン配線が触れないようにご注意ください。



埋込型　　**露出型**

④リモコン本体を下ケースのツメに合わせ、はめ込み取り付けてください。

リモコンを複数個設置される場合のお願い

この親子リモコン制御は、１台もしくは複数台のユニットを、複数個のリモコンで操作するものです。（最大2個まで設置可能です。）

●設定の方法

この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。
①複数個設置した中の１個は親リモコンとしてください。（工場出荷状態）
②もう一個のリモコンは子リモコンにしてください。

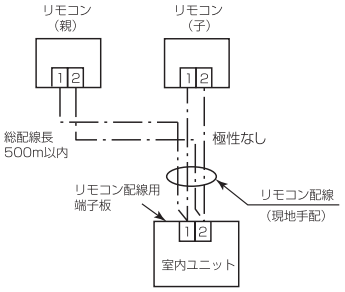
リモコン親子設定のしかた

①［セット］＋［運転切換］ボタンを4秒以上押します。
②温度設定［▼］／［▲］ボタンで、項目コード 01 を指定します。
③時間［▼］／［▲］ボタンで、設定データを 0001（親）から 0000（子）に変更します。
④［セット］ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤［点検］ボタンを押します。
設定した情報は、リモコンの電源が切れても保持されます。

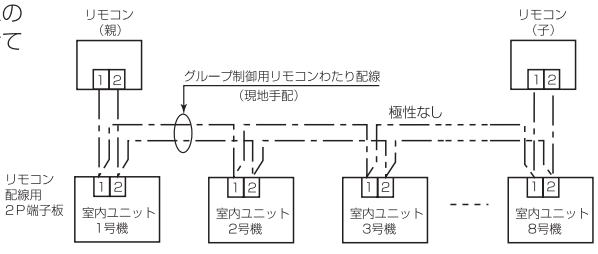
●基本配線図

注：配線は誤配線のないように接続してください。
（誤配線するとこわれます。）

●室内ユニット１台を、リモコン2ヶ所設置にて操作する場合。



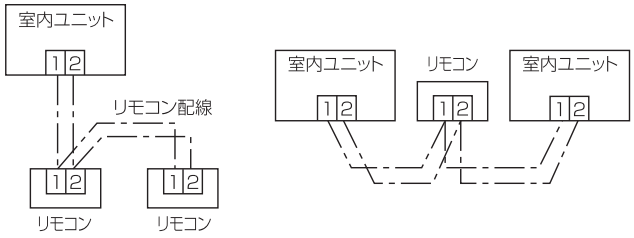
●複数台グループ制御を、リモコン2ヶ所にて操作する場合。
※親、子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。



総配線長500m以内。
ただし室内ユニット間のわたりは200m以内。

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT3…別売品　施工

※以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。



リモコン試運転設定

①リモコンの 点検 ボタンを４秒以上押して液晶表示部に“試運転”と表示されてから、
運転／停止 ボタンを押してください。
- 試運転中は液晶表示部に“試運転”と表示されます。
- 「試運転」の位置では温度調節はできません。

機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。

②**「試運転」は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。**
（注）電源投入後、および運転停止後約3分間は室外ユニットは運転しません。

③試運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の“試運転”消灯を確認してください。
（このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマ解除機能付となっています。）

室温センサーの切換え方法

室温センサーは、室内ユニットとリモコンに内蔵されています。
室温センサーは、どちらか一方で操作します。通常は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切り替えるには以下の手順で設定します。

① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを４秒以上押します。
注）最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
注） ユニット選択 ボタンを押さないでください。

②温度設定▼／▲ボタンで、項目コード 32 を指定します。

③時間▼／▲ボタンで、設定データを 0000（室内ユニット側）から 0001（リモコン側）に変更します。

④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK)

⑤ 点検 ボタンを押します。
通常の停止状態になります。この時、液晶表示部には“ リモコンセンサー ”と表示されます。

注１）親子リモコン制御の時は、親リモコン／子リモコンのどちらからでも設定できますが、リモコンセンサーになるのは親リモコンです。
注２）グループ制御時はグループアドレスが親機の室内ユニットに設定しないとリモコンセンサーが働きません。
注３）リモートセンサーとリモコンを併用する場合はリモコンのリモコンセンサーは使用しないでください。

換気扇との接続について

室内コントロール基板上の換気扇出力（FAN DRIVE：2P（白）,DC12V）（注）で市販の換気扇等を運転する場合は、 換気 ボタンによって操作可能にする、設定変更を行ってください。

① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを4秒以上押します。
注）最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
注） ユニット選択 ボタンを押さないでください。

②温度設定 ▼ ／ ▲ ボタンで、項目コード 31 を指定します。

③時間 ▼ ／ ▲ ボタンで、設定データを 0000 から 0001 に変更します。

④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK)

⑤ 点検 ボタンを押します。
通常の停止状態になります。 換気 ボタンを押して、液晶表示部に“ 換気 ”と表示されることを確認してください。
（注）室内コントロール基板に接続する専用配線（別売品）が必要になります。

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT3…別売品　簡単設定機能

簡単設定機能

◎簡単設定操作をするリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットのフィルター寿命、運転モード優先切換、集中制御アドレス等の設定を行います。
簡単設定モードを行うと、簡単設定操作を行っているリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットが停止します。

〈操作手順〉

① 点検 ＋ 換気 ボタンを同時に４秒以上押しつづけます。

②リモコンの液晶表示部に、設定中 とユニットNo. X-X 、項目コード 01 、設定データ 00 XXが点滅表示されます。
(図－4)この時、室内ユニットのファン(グループ制御の場合は全ての室内ユニット)が回転します。

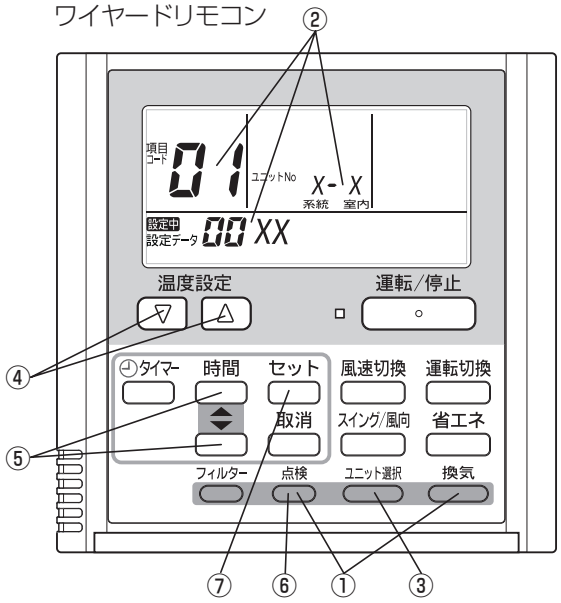
③ ユニット選択 ボタンを押して設定しようとする室内ユニットのアドレス(ユニットNo.)を選択します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
※ユニットNo. ALL の場合は全ての室内ユニットに同一の設定を行います。

④温度設定 △ ／ ▽ ボタンを押して、設定変更する項目コードに切り換えます。

⑤タイマー時間 ▲ ／ ▼ ボタンを押して、希望する設定データに切り換えます。
※項目コード、設定データは次ページ参照

⑥ セット ボタンを押す。（点滅表示が点灯に変わって設定完了）

⑦ 点検 ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。



（図－4）

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　簡単設定機能

簡単設定項目一覧

項目コード	項　　目	設定データ		
		番　号	内　　容	
01（項目コード72も参照してください）	フィルターサイン点灯時間（フィルター寿命）	0000	表示なし	
		0001	150時間	
		0002	2,500時間	
		0003	5,000時間	
		0004	10,000時間	
		0005	目詰まりセンサーを使用(項目コード2A:0000も設定必要)	
02	フィルター汚れ程度	0000	標準	
		0001	汚れが多い場合 （フィルターサインの点灯時間を設定値の1／2にします）	
03	集中制御アドレス	0001	集中制御アドレス1	
		0002	集中制御アドレス2	
		0003	集中制御アドレス3	
		≀	≀	
		0064	集中制御アドレス64	
		0099	集中制御アドレス未定（出荷時設定）	
04	運転モード優先切換	0000	通常	
		0001	優先	
05	暖房サーモOFF時風速		圧縮機ON時	圧縮機OFF時
		0000	弱風1分、微風3分	微風
		0001	弱風	微風
		0002	微風（出荷時設定）	微風（出荷時設定）
		0004	弱風1分、微風3分	弱風
		0005	弱風	弱風
		0006	微風	弱風
06	暖房時吸込温度シフト	0000	シフト無し	
		0001	吸込温度1deg低くシフト	
		0002	吸込温度2deg低くシフト	
		0003	吸込温度3deg低くシフト	
		0004	吸込温度4deg低くシフト（出荷時設定）	
		0005	吸込温度5deg低くシフト	
		0006	吸込温度6deg低くシフト	
07	電気ヒーター取付有無の切換	0000	ヒーターなし（出荷時設定）	
		0001	ヒーターあり	
08	暖房サーモOFF時加湿	0000	なし（出荷時設定）	
		0001	あり	
0A	リモコンセンサー用サーモディファレンシャル変更	0000	サーモOFF差温－1.0deg（出荷時設定）	
		0001	サーモOFF差温－0.5deg	
0C	暖房準備表示	0000	表示あり（出荷時設定）	
		0001	表示なし	
0D（CZ-10RT5） 0d（CZ-10RT3）	冷暖自動不可	0000	許可（出荷時設定）	
		0001	不可	
0E	モード従属	0000	通常（出荷時設定）	
		0001	親室内ユニットの運転モードに従う	
0F	冷専	0000	通常（出荷時設定）	
		0001	冷専	

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

・簡単設定項目の内容説明

項目コード	項　　目	内　　容
０１	フィルターサイン点灯時間の設定（フィルター寿命）	高性能フィルター等の別売品をつけた時、室内ユニットのフィルター寿命時間の変更をします。
０２	フィルター汚れ程度	フィルターの汚れが通常に比較して、はげしい場合は、フィルターサインの点灯時間を標準時間（出荷時設定）の1/2に短縮する事ができます。

・各機種のフィルターサイン点灯時間

形式データ	形　　式	フィルターサイン点灯時間										
		標　準		ロングライフ		超ロングライフ		高性能 65%		高性能 90%		差圧
		標準	汚大	標準	汚大	標準	汚大	標準	汚大	標準	汚大	スイッチ
0000	1方向天井カセット(スリム形も含む)	×	×	**2500**	1250	×	×	×	×	×	×	×
0001	4方向天井カセット	×	×	**2500**	1250	5000	2500	2500	1250	×	×	×
0002	2方向天井カセット	×	×	**2500**	1250	1万	5000	2500	1250	2500	1250	×
0003	高天井用1方向カセット	×	×	**2500**	1250	×	×	×	×	×	×	×
0004	天井ビルトインカセット	×	×	**2500**	1250	5000	2500	2500	1250	2500	1250	×
0005	ビルトインオールダクト	×	×	2500	1250	5000	2500	2500	1250	2500	1250	×
0006	天井埋込高静圧	×	×	2500	1250	×	×	2500	1250	2500	1250	×
	天井埋込8,10馬力	×	×	2500	1250	×	×	2500	1250	2500	1250	×
0008	天吊形厨房用エアコン	**150**	**75**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
0009	ペリメーター床置	**150**	**75**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
0010	ペリメーター床置埋込	**150**	**75**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
0011	床置形ハイフレッシュ	×	×	×	×	×	×	5000	2500	5000	2500	○
	天井埋込形ハイフレッシュ	×	×	5000	2500	×	×	5000	2500	**5000**	2500	×
0012	床置ダクト	**150**	**75**	2500	1250	×	×	2500	1250	2500	1250	×

・×は対応するフィルターが無いことを示します。
・ **150** は、出荷時のフィルターサイン点灯時間を示します。
・汚大：「フィルター汚れ程度」の機能（項目コード：02）で、0001 を選択した時に設定されます。

項目コード	項　　目	内　　容
０３	集中制御アドレス	集中制御機器を使用する場合に設定します。 リモコンから手動で集中制御アドレスを設定する場合に使用します。
０４	運転モード優先切換	注（1）

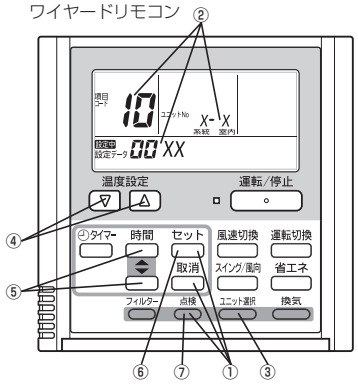
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

詳細設定機能 (CZ-10RT3)

◎詳細設定操作をするリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットの系統アドレス、室内ユニットアドレス等の設定を行います。
詳細設定モードを行うと、詳細設定操作を行っているリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットが停止します。 簡単設定の項目も設定できます。

〈操作手順〉

① 点検 + セット + 取消 ボタンを同時に4秒以上押しつづけます。
②リモコンの液晶表示部に、 設定中 とユニットNo. X-X、項目コード 10 、設定データ 00 XXが点滅表示されます。（図－ 5）
③グループ制御を行っている場合は、 ユニット選択 ボタンを押して設定しようとする室内ユニットのアドレス(ユニットNo.)を選択します。この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
④温度設定 △ ／ ▽ ボタンを押して、設定変更する項目コードに切り換えます。
⑤タイマー時間 ▲ ／ ▼ ボタンを押して、希望する設定データに切り換えます。
※項目コード、設定データは次ページ参照
⑥ セット ボタンを押す。（点滅表示が点灯に変わって設定完了）
⑦ 点検 ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。

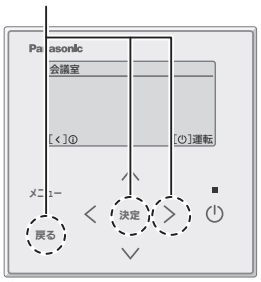


（図－5）

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

詳細設定方法（ユニットが停止中に行ってください。）

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 「詳細設定」を選ぶ

∧ / ∨ ➡ **決定**

メンテナンス機能 XX/XX
詳細設定
自動アドレス設定
タッチキー感度設定
タッチキー感度確認
◇ 選択　[決定]確定

詳細設定		
ユニットNo.	項目ｺｰﾄﾞ	設定ﾃﾞｰﾀ
∧		
1 - 1	10	0001
∨		
◇ 変更	>次へ	

3 ユニットNo.を選ぶ

∧ / ∨ でユニットNo.を選択し、
> を押してください。

詳細設定		
ユニットNo.	項目ｺｰﾄﾞ	設定ﾃﾞｰﾀ
∧		
1 - 2	10	0001
∨		
◇ 変更	>次へ	

※選択した室内ユニットから送風します。

4 項目コードを選ぶ

∧ / ∨ で項目コードを選択し、
> を押してください。

詳細設定		
ユニットNo.	項目ｺｰﾄﾞ	設定ﾃﾞｰﾀ
	∧	
1 - 2	13	0002
	∨	
◇ 変更	>次へ	

4 項目コードを選ぶ

（項目コードが6桁表示の場合、桁ごとにコード選択が行えます。）

リモコン画面に「[メニュー] 切替」が表示されている状態で、**メニュー** を押してください。

詳細設定		
ユニットNo.	項目ｺｰﾄﾞ	設定ﾃﾞｰﾀ
	∧	
1 - 1	000010	0001
	∨	
[ﾒﾆｭｰ]切替	>次へ	

< / > で桁を移動し、∧ / ∨ でコードの値を選択します。
メニュー を押してください。

詳細設定/1-1	
項目ｺｰﾄﾞ (000001 — 000048)	設定ﾃﾞｰﾀ
∧	
000010	0099
∨	
[ﾒﾆｭｰ]切替	>桁移動

> を押してください。

詳細設定/1-1	
項目ｺｰﾄﾞ (000001 — 000048)	設定ﾃﾞｰﾀ
∧	
000003	0099
∨	
[ﾒﾆｭｰ]切替	>桁移動

5 設定データを選ぶ

∧ / ∨ で設定データを選択後、
決定 を押してください。

詳細設定		
ユニットNo.	項目ｺｰﾄﾞ	設定ﾃﾞｰﾀ
		∧
1 - 2	13	0003
		∨
◇ 変更		[決定]確定

※続けて別のユニットNo.、項目コードを設定する場合は手順3～5を繰り返してください。

6 設定を反映する

設定が完了したら、
戻る を押してください。

詳細設定を終了し
再起動します。
よろしいですか？
はい > いいえ

再起動：「はい」を選択し、
決定 を押してください。

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

詳細設定項目一覧
（特に室内ユニットの記載のない場合は、４方向天井カセット形（U5U）の設定です。）

項目コード	項　　目	設　定　デ　ー　タ	
		番　号	内　容
12	系統アドレス	0001	1号機
		0002	2号機
		0003	3号機
		〜	〜
		0030	30号機
		0099	未定
13	室内ユニットアドレス	0001	1号機
		0002	2号機
		0003	3号機
		〜	〜
		0064	64号機
		0099	未定
14	グループ制御アドレス	0000	個別（1対1：グループ配線をしていない室内ユニット）
		0001	親機（グループ制御をしている室内ユニットの内一台）
		0002	子機（グループ制御をしている室内ユニットの内親機以外）
		0099	未定
17	冷房吸込み温度シフト	−010	冷房吸込温度を10deg低くシフト
		−009	冷房吸込温度を9deg低くシフト
		〜	〜
		−001	冷房吸込温度を1deg低くシフト
		0000	シフト無し
		0001	冷房吸込温度を1deg高くシフト
		〜	〜
		0009	冷房吸込温度を9deg高くシフト
		0010	冷房吸込温度を10deg高くシフト
18	運転開始からの自動停止時間 ※５分単位で設定可能	0000	機能無効
		0001	運転開始から5分後に自動停止
		0002	運転開始から10分後に自動停止
		〜	〜
		0123	運転開始から615分後に自動停止
		0124	運転開始から620分後に自動停止
		0125	運転開始から625分後に自動停止

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

項目コード	項目		設定データ 番号	設定データ 内容
1C	冷房吹出温度シフト（ビル用マルチの一部機種のみ対応）		−010	冷房吹出温度を10deg低くシフト
			−009	冷房吹出温度を9deg低くシフト
			−008	冷房吹出温度を8deg低くシフト
			≀	≀
			0010	冷房吹出温度を10deg高くシフト
1D (CZ-10RT5) 1d (CZ-10RT3)	暖房吹出温度シフト（ビル用マルチの一部機種のみ対応）		−010	暖房吹出温度を10deg低くシフト
			−009	暖房吹出温度を9deg低くシフト
			−008	暖房吹出温度を8deg低くシフト
			≀	≀
			0010	暖房吹出温度を10deg高くシフト
1E	「冷暖自動」モード時の冷暖切換温度シフト		0000	シフトなし
			0001	冷暖切換温度±1degシフト
			0002	冷暖切換温度±2degシフト
			≀	≀
			0010	冷暖切換温度±10degシフト
1F (上限値) 20 (下限値)	リモコン設定温度範囲の変更	冷房	0018	18℃
			0019	19℃
			≀	≀
			0030	30℃
21 (上限値) 22 (下限値)		暖房	0016	16℃
			0017	17℃
			≀	≀
			0030	30℃
23 (上限値) 24 (下限値)		ドライ	0018	18℃
			0019	19℃
			≀	≀
			0030	30℃
25 (上限値) 26 (下限値)		冷暖自動	0017	17℃
			0018	18℃
			≀	≀
			0027	27℃
29	加湿器運転		0000	通常（出荷設定）
			0001	熱交換器温度条件無視
2A	FILTER入力切換 CN066(HUプラグ)		0000	フィルター入力（差圧スイッチ入力）
			0001	警報入力（空気清浄機等の異常入力用）
			0002	加湿器入力（加湿器ON時にドレンポンプと連動します。）
2C	室内電子制御弁		0000	膨張弁 有（出荷設定）
			0002	膨張弁 無
2E	T10端子切換		0000	通常(別売のリレー中継基板またはJEMA標準 HA端子として使用)
			0001	切り忘れ防止用として使用
			0002	火災防止入力

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

項目コード	項　　目	設　定　デ　ー　タ	
		番　号	内　　容
2F	ドレンポンプ自動運転	0000	強制運転しない
		0001	1分間強制運転
		≀	≀
		0060	連続運転
30	昇降グリル操作	0000	無
		0001	リモコンから昇降グリル操作
31	換気扇操作	0000	無
		0001	リモコンから換気扇操作
32	ワイヤードリモコンセンサー	0000	使用せず（ボディーセンサー使用）
		0001	リモコンセンサー使用
34	「運転切換管理中」表示	0000	通常（表示あり）
		0001	表示せず
3A	吹き出し温度設定	0000	吹き出し温度制御しない
		0001	吹き出し温度制御する
3b	ガス管弁設定	0000	ガス管弁なし
		0001	ガス管弁あり
3C	冷風吹出し熱交温度（冷風防止制御の熱交温度制御点）	0008	制御温度8℃（出荷設定）
		0009	制御温度9℃
		≀	≀
		0025	制御温度25℃
		0026	制御温度26℃
3D (CZ-10RT5) 3d (CZ-10RT3)	送風出力切替	0000	ファン連動出力（室内ファン動作中にON）
		0000	送風モード運転出力
		0002	ファン連動出力2（内部クリーン/内部乾燥中は出力しません）
3E	ドレンポンプ遅延運転時間	0000	遅延運転なし
		0001	★：1分遅延運転／左記以外の機種：1秒遅延運転
		0002	★：2分遅延運転／左記以外の機種：2秒遅延運転
		≀	≀
		0058	★：58分遅延運転／左記以外の機種：58秒遅延運転
		0059	★：59分遅延運転／左記以外の機種：59秒遅延運転
		0060	★：60分遅延運転／左記以外の機種：60秒遅延運転
40	加湿器設定	0000	加湿器出力OFF/ドレンポンプ停止
		0001	加湿器出力ON/ドレンポンプ運転
		0002	加湿器出力ON/加湿器運転積算時間が60分でドレンポンプを1分間運転
		0003	加湿器出力ON/ドレンポンプ停止
45	フラップ動作モード	0000	標準設定
		0001	ドラフト軽減モード（フラップ固定の下限位置を上方に変更）
		0002	スマッジング軽減モード
46	フラップスイングモード	0000	スマッジング軽減モード（フラップスイングの上限位置を下方に変更）
		0001	通常モード
		0002	フラップスイングのドラフト軽減モード（下限位置を上方に変更）

★：４方向天井カセット形、２方向天井カセット形、天井ビルトインカセット形、ビルトインオールダクト形、壁掛形

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

項目コード	項　　目	番　号	設　定　デ　ー　タ 内　　容
5D (CZ-10RT5) 5d (CZ-10RT3(A))	ファンタップ設定 （フィルター等の取り付けによる風量低下防止の為のファンタップ変更）		DCファンタップ運転モード ／ 使用用途
		0000	標準（出荷設定）
			ロングライフフィルター
		0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
			オイルガードパネル
			超ロングライフフィルター
			オイルミストフィルター
			高性能フィルター（比色法65%）
			重量法60%フィルター
			昇降グリル付きオイルガードパネル
			しゃ風材（3方向吹出時）
			しゃ風材（吹出ダクト接続時）
		0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
			高性能フィルター（比色法90%）
		0006	しゃ風材（2方向吹出時）
5E	加湿器ON時間 （60秒毎のON時間） (DC ファンモーター機種のみ設定可能)	0000	加湿器出力なし
		0001	1秒間
		0002	2秒間
		〜	〜
		0058	58秒間
		0059	59秒間
		0060	連続
5F	繰返しタイマー時間の再設定	0000	残時間：残時間が無い場合は設定時間
		0001	設定時間
60	タイマー機能変更禁止	0000	機能無効
		0001	機能有効
62	スマッジング制御	0000	スマッジング制御なし
72	フィルターサイン点灯時間任意設定	0000	項目コード「01」「02」で設定する
		0001	100時間：項目コード「01」「02」の設定は無効
		0002	200時間：項目コード「01」「02」の設定は無効
		〜	〜
		0125	12,500時間：項目コード「01」「02」の設定は無効
73※1	ボタン操作の禁止設定	0000	省エネ禁止（省エネボタンを押してもリモコン画面に「この操作はできません」と表示されます。）
		0001	省エネ許可（出荷設定）
74※1	省エネ表示の消灯	0000	省エネの表示なし（リモコンに「省エネ」表示しません。）
		0001	省エネの表示あり（出荷設定）
75※1	省エネ固定の設定	0000	省エネモード固定なし（リモコン操作可能）　（出荷設定）
		0001	省エネ運転するに固定（リモコン操作不可）　※2
		0002	省エネ運転なしに固定（リモコン操作不可）　※2

※1 ： 省エネ設定の優先順位は項目コード75→73→74になります。
※2 ： 省エネボタンを操作すると、“この操作はできません”と表示されます。
注）：設定項目には、機種により対応しない項目があります。
注）：表記項目コード以外の設定データを変更しないでください。

■優先リモコンの設定
省エネボタン操作に優先権をもたせたい場合
操作を優先したいリモコンのみ「省エネ」許可にして、それ以外のリモコンを「省エネ」禁止に変更します。

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

・詳細設定項目の内容説明

項目コード	項　　目	内　　容
12	系統（室外ユニット）アドレス	工場出荷時は、未定です。 据付け工事後、自動でアドレスセットを行わない場合、 必ずセットしてください。
13	室内ユニットアドレス	
14	グループアドレス	
17	冷房時吸込み温度シフト	冷房・ドライ時の吸込み温度をシフトすることが できます（ボディサーモ使用時に有効です）。 サーモONしづらい時は、値を大きくします。
18	運転開始からの自動停止時間	室内ユニット運転開始から、自動停止を行う時間を5分単位で 設定することができます。
1b	強制サーモ ON 時間	据付時、もしくはサービス時に強制運転時間の通常5分を4分に したい場合に設定します。
1C	冷房吹出し温度シフト	吹出し温度制御を行っている機種で、設定値をシフトすることが できます（吹出温度制御機：床吹出し、壁ビルトイン、 直膨コイル付外気処理ユニット、ハイフレッシュ）。（下記参照）
1d	暖房吹出し温度シフト	
1E	冷暖自動モード時の冷暖 切換、温度の変更	「冷暖自動」は室温とリモコン設定温度との差により、自動的に運転 モードを選択します。暖房、冷房設定温度は、リモコン設定温度に対 してシフト温度を設けています。（下記参照）

・出荷時吹出し温度設定値

		冷房℃	暖房℃
天埋 8.10 馬力		12	50
床置 8.10 馬力			
ハイフレッシュ	床置	18	22
	天埋 5		26
	天埋 8		23
	天埋 10		24

・機種別吹出し温度（出荷時）に対するシフト幅の制限

（冷房）

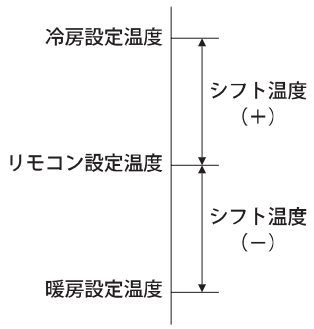
	上限	下限
天埋 8.10 馬力	6	－3
床置 8.10 馬力		
ハイフレッシュ（床置，天埋）	6	－3

（暖房）

	上限	下限
天埋 8.10 馬力	6	－5
床置 8.10 馬力		
ハイフレッシュ（床置，天埋）	6	－5

この範囲内で設定してください。

・冷暖自動モード時のシフト温度



	変更可能なシフト温度
標準室内ユニット	±1～2

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

項目コード	項目			内容
1F	(上限値)	冷　房	リモコン設定 温度範囲の変更	モード毎に、リモコンや集中機器から設定する温度範囲(上限、下限)を変更できます。 上限値≧下限値で設定してください。 設定温度を一点で使用する場合は、上限値＝下限値としてください。
20	(下限値)			
21	(上限値)	暖　房		
22	(下限値)			
23	(上限値)	ドライ		
24	(下限値)			
25	(上限値)	冷　暖 自　動		
26	(下限値)			
29	熱交換器温度を 無視した加湿器運転			暖房運転時の加湿器は、加湿に適した熱交換器温度で運転していますが、加湿器を多く運転したい場合の方法として、この条件を無視した運転をする時に設定します。
2A	FILTER入力切換			FILTER入力を使用用途によって切り換えることができます。 設定データ“0000”フィルター入力時、リモコンに【フィルター】が点灯表示されます。 設定データ“0001”警報入力時、リモコンに【点検】が点滅表示されます。
2C	室内電子膨張弁有無			室内ユニットの電子膨張弁の有無を設定します。 出荷時は、室内ユニットに合わせた設定になっています。
2E	T10端子の入力切換			通常は、T10端子は出荷時HA端子として使用するようになっていますが、切り忘れ防止用や防火入力用として使用する場合に設定します。
30	昇降			ワイヤードリモコンによって、別売の昇降グリルの操作を可能にします。 グループ制御の場合は一括または個別に操作できます。
31	リモコンから換気扇操作			システム内に全熱交換器や換気扇をつけ、ワイヤードリモコンで運転、停止ができます。室内ユニットの運転、停止と連動して換気扇が運転するほか、室内ユニットを運転しない場合でも、換気扇の運転が可能です。 無電圧A接点を外部入力信号として受けられる換気扇を使用してください。 グループ制御の場合は、一括での操作になり、個別には操作できません。
32	リモコンセンサーへの切換			ボディセンサーからリモコンセンサーに変更する時、設定します。 【リモコンセンサー】が表示されたことを確認してください。 リモコンセンサーのない機種は使用しないでください。 また、リモートセンサーを併用する場合も使用しないでください。
34	運転切換管理中表示の点灯			マルチで複数のリモコンを使用する時、冷暖の切換が制限され、【運転切換管理中】の表示が出ます。 この表示を出さないようにする時に使用します。 運転モード優先切換の項を参照してください。
3C	冷風吹出し 熱交温度			暖房準備に入る温度を変更できます。
3d	送風出力切換			室内基板OPTION出力の送風取り出しを、使用用途により切り換えることができます。
3E	ドレンポンプ遅延運転時間			冷房停止時から、ドレンポンプを設定時間遅延運転します。
40	加湿器ドレンポンプ有無設定			加湿器とドレンポンプの設定を指定できます。
45	DCフラップ動作モード			フラップ動作を、ドラフト軽減モードに切り換えることができます。
46	DCフラップスイングモード			フラップ動作のスイング動作を指定できます。
5d	DCファンタップ設定			DCファンの使用用途によりタップ設定を行います。 この時、設定データの変更も合わせて行います。
5E	加湿器ON時間 (DCファンモーター搭載機種のみ有効)			加湿器運転中の、加湿器出力ON時間を設定できます。 加湿器運転中はON／OFF制御をしていますので、60秒インターバル中のON時間の設定が可能です。
5F	繰返しタイマー時間の 再設定			タイマー運転中に停止した後、運転した時、繰返しタイマーの時間設定を選択します。
60	タイマー機能変更禁止			現在のリモコン設定値に固定し、タイマー設定の変更を禁止します。
62	スマッジング制御			設定データ“0000”をセットするとスマッジング制御をやめます。

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

■Ｔ１０端子の１番２番の入力（運転／停止信号）の切換について

項目コード‘２Ｅ’の設定と室内コントロール基板上のジャンパ（ＪＰ１）により機能が切換えられます。

機能説明　項目コード‘２Ｅ’の設定

①‘0000’設定（出荷時）

運転／停止入力　室内ユニット毎の制御システム 1-2.遠隔操作を参照してください。

②‘0001’設定

Ａ、ジャンパ（ＪＰ１）あり出荷時

室内ユニット毎の制御システム 1-3.切り忘れ防止制御も併せて参照してください。

ホテルなどの入退出時の切り忘れ防止として使用できます。

Ｂ、ジャンパ（ＪＰ１）なし

連続運転時に設定温度を変え、省エネ効果が期待できる設定となります。

設定温度を動作時に、冷房は上限、暖房は下限に変更します。

③‘0002’設定

火防入力として使用します。

②について（‘0001’設定）

通常ジャンパ（ＪＰ１）は、パルススタティック設定に使用しますが、ここでは、動作内容を変えるための入力として使用します。

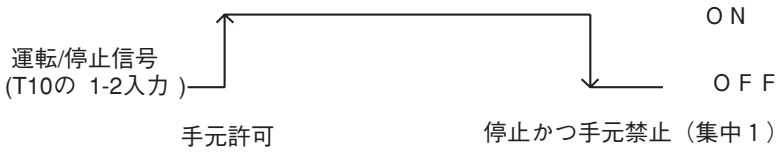
工場出荷時は、ジャンパありになっています。

ジャンパなしにする場合は、室内コントロール基板上のＪＰ１をニッパ等でカットしてください。

Ａ、切り忘れ防止として使用するジャンパ（ＪＰ１）ありの動作

動作内容　運転 停止信号がＯＮした時は手元を許可にします。

ＯＦＦした時は停止かつ集中１手元の運転停止が禁止となります。



Ｂ、省エネ効果が期待できるジャンパ（ＪＰ１）なしの動作

動作内容　運転/停止信号がＯＮした時は、何も動作しません。

ＯＦＦした時は、設定温度を冷房時は上限に、暖房時は下限に設定します。

送風、冷暖自動の場合は、何も動作しません。



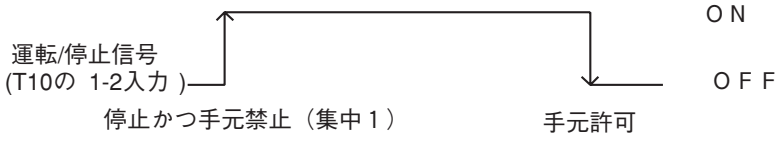
注意　必ず親機、子機ともに上下限温度を合わせてください。

③について（‘0002’設定）

ジャンパ（ＪＰ１）設定は不要（無効）です。

動作内容　運転/停止信号がＯＮした時は停止かつ集中１手元の運転停止が禁止となります。

ＯＦＦした時は手元を許可にします。



ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

■ DCファンモータータップの選択（リモコンで設定する場合）

CZ-10RT3

＜手順＞停止中に行なってください。

①［点検］＋［セット］＋［取消］ボタンを同時に４秒間以上 押します。

②［ユニット選択］ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③温度設定［▽］／［△］ボタンで 項目コード「５ｄ」 を指定します。

④タイマー時間［▼］／［▲］ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。

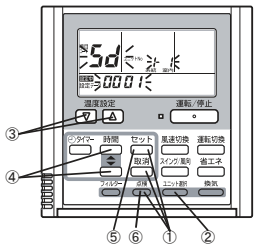
⑤［セット］ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）

※ しゃ風材をご使用の場合は、③～⑤と同様の手順で、 項目コード「６２」 の設定データを「００００」 に変更してください。
選択している室内ユニットを変更したい場合は② へ

⑥［点検］ボタンを押します。通常の停止状態になります。

※設定を行なわない場合、風量減少、露付の原因となります。

ワイヤードリモコン



ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CZ-10RT5C

メンテナンス機能画面の表示（ユニットが停止中に行ってください。）

① 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に４秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

② ∧ / ∨ ボタンで必要な機能のメニューを表示し、選択してください。

1
メンテナンス機能 XX/XX
リモコングループ構成
エコナビ
サービス連絡先登録
リモコン設定モード
◇ 選択 [決定]確定

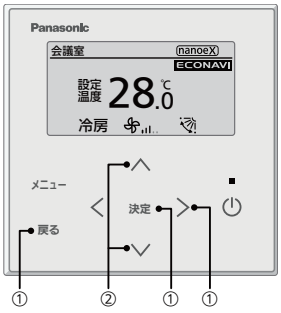
2
メンテナンス機能 XX/XX
試運転設定
センサー情報表示
サービスチェック表示
簡単設定
◇ 選択 [決定]確定

3
メンテナンス機能 XX/XX
詳細設定
自動アドレス設定
タッチキー感度設定
タッチキー感度確認
◇ 選択 [決定]確定

4
メンテナンス機能 XX/XX
ナノイーX
銀イオン抗菌剤交換サイン
ｼﾞｱｲｰﾉﾒﾝﾃﾅﾝｽﾓｰﾄﾞ
ｼﾞｱｲｰﾉ施工ﾓｰﾄﾞ
◇ 選択 [決定]確定

5
メンテナンス機能 XX/XX
ｼﾞｱｲｰﾉﾒﾝﾃﾅﾝｽﾓｰﾄﾞ
ｼﾞｱｲｰﾉ施工ﾓｰﾄﾞ
ソフトウェア情報
コントローラー初期化
◇ 選択 [決定]確定

メンテナンス機能画面



多機能ワイヤードリモコン

ファン風速設定方法

① 戻る + 決定 + ＞ 決定 ボタンを同時に４秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

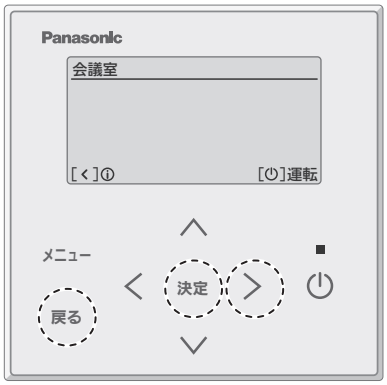
② ∧ / ∨ ボタンで［詳細設定］を選択し、決定 ボタンを押してください。
詳細設定画面が表示されます。

③ ∧ / ∨ ボタンで変更するユニットNo. を選択してください。

④ ＞ ボタンで項目コードにして、∧ / ∨ ボタンで項目コード［00005D］を選択してください。

⑤ ＞ ボタンで設定データにして、∧ / ∨ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。

⑥ 戻る ボタンを押してください。
詳細設定終了画面が表示されます。
再起動［はい］を選択し、決定 ボタンを押してください。



メンテナンス機能 XX/XX
詳細設定
自動アドレス設定
タッチキー感度設定
タッチキー感度確認
◇ 選択 [決定]確定

メンテナンス機能画面

詳細設定
ﾕﾆｯﾄNo. 項目ｺｰﾄﾞ 設定ﾃﾞｰﾀ
1-1 00005D 0001
[ﾒﾆｭｰ] 切替 ＞次へ

詳細設定画面

詳細設定を終了し
再起動します。
よろしいですか？
はい いいえ

詳細設定終了画面

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

表1 D Cファンモータータップ設定表〈4方向天井カセット形〉

設定No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法 65%）
		重量法 60% フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3 方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定 2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 90%）
(6)	0006	しゃ風材（2 方向吹出時）　※3

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料「5章別売部品編」等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。
※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。
※3. しゃ風材とそれ以外の左表内の設定変更が必要な別売品を併用する場合、
3方向吹出時　　設定N o.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　　設定 No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　　設定N o.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

表2　DCファンモータータップ設定表〈2方向天井カセット形〉

設定No.	項目コード5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称 ※4
(出荷設定)	0000	標準
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法65%）
		高性能フィルター（比色法90%）
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※5

※4. 必ず、カタログ・設備設計資料「5章別売部品編」等の別売品組合表にて、組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。
※5. しゃ風材使用時は、吹出ダクトが別途必要になります。

表3　DCファンモータータップ設定表〈1方向天井カセット形（スリム形を除く）〉

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード　5d	使用用途／別売品名称
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	・光再生脱臭フィルター
（3）	0003	・アンモニア脱臭フィルター(比色法65%)

表4　DCファンモータータップ設定表〈高天井用1方向カセット形〉

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード　5d	使用用途／別売品名称
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	高天設定
（3）	0003	・吹出口グリル取り付け時　　・2方向下がり天井方式

表5　DCファンモータータップ設定表〈天井吊形〉

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード　5d	使用用途／別売品名称
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	・高天井設定　　・超ロングライフフィルター
（3）	0003	・高性能フィルター（比色法65%）

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

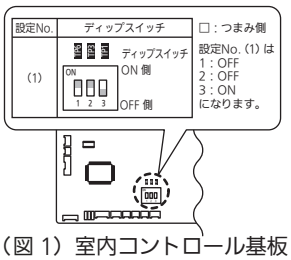
■ DCファンモータータップの選択（基板から設定する場合）

● 4方向天井カセット形（基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合）

＜手順＞必ず（電源配線用しゃ断器（ブレーカー））を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図1)
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

□つまみ側

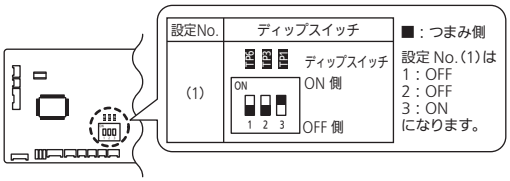
設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ
(1)	TP6 TP3 TP1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(3)	TP6 TP3 TP1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(6)	TP6 TP3 TP1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側



（図 1）室内コントロール基板

● 2方向天井カセット形、1方向天井カセット形（スリム形除く）、天井吊形

＜手順＞必ず配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってください。
① ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 2 で確認してください。
② 電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図 2)
③ 表 2 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。



（図 2）室内コントロール基板

●高天井用1方向カセット形

＜手順＞以下の作業は必ず元電源をおとした状態で行なってください。
① 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。(図 3)
② 表4のDCファンモータータップ設定表で確認していただいた設定 Noに応じて、天井パネルに付属の短絡コネクタ （2 P :黄色) を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

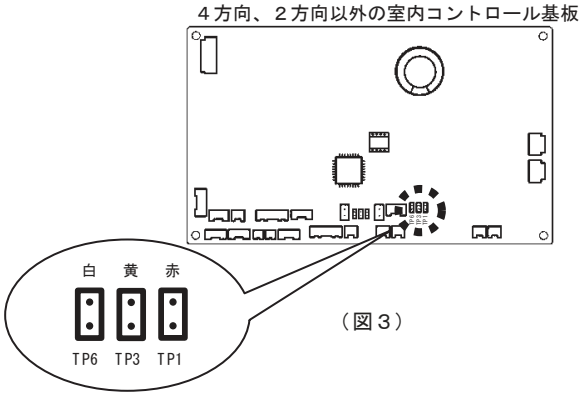
高天井設定でご使用になる場合

短絡コネクタを室内コントロール基板の 短絡ピン TP1（2 P : 赤色） に接続してください。

（別売品）吹出口グリル取り付け（2方向下がり天井方式）でご使用になる場合

短絡コネクタを室内コントロール基板の 短絡ピン　TP3（2 P : 黄色）　に接続してください。

４方向、２方向以外の室内コントロール基板



（図３）

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

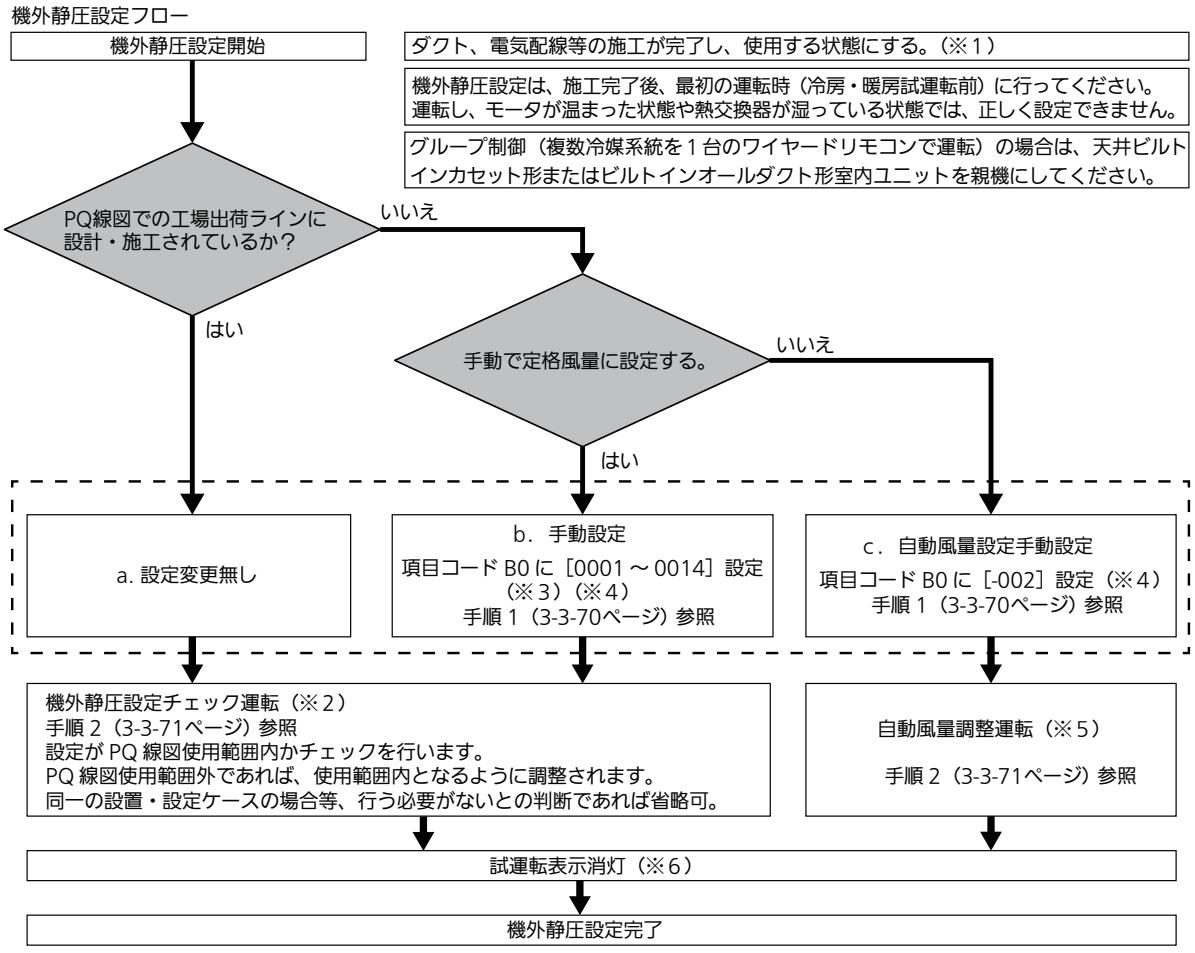
機外静圧の設定①

●天井ビルトインカセット形・ビルトインオールダクト形室内機では、接続したダクトの長さや形状、吹出口個数、フィルター種類などにより、通風抵抗（これを”機外静圧”といいます）が大きく異なります。そのため、本機の据付の際は、定格風量で動作するように、試運転の前に必ず機外静圧設定を行ってください。下記フローに従って、a，b，cのいずれかの方法（フロー内の破線枠内）で設定を行ってください。

a. 設定変更なし：出荷時のままで使用する場合
（一度機外静圧を設定後に再設定する時は出荷設定と異なっている場合があります）＊機外静圧設定チェック運転は必要です。

b. 手動設定（ワイヤードリモコンで設定）：低静圧～高静圧までの設定用です。

c. 自動風量設定（ワイヤードリモコンで設定）：自動風量調整運転により、吹出し風量を自動で定格風量に調整します。



※1） 設定チェック運転または自動風量調整運転を行う前に、以下の項目について確認してください。

(1) 電気配線、ダクト施工が完了していることを確認し、使用する状態にしてください。特にダクト途中に閉鎖ダンパが設置されている際は必ず開いていることを確認してください。また、吸込側空気通路内にエアフィルター使用時、確実に取り付けられていることを確認してください。接続部等、空気漏れがないことを確認してください。

(2) 複数の吹出口、吸込口がある場合は、各吹出口、吸込口の風量比が設計風量比とあうように調整しておいてください。調整する際は、運転モードを「送風」に設定して運転してください。

(3) アドレス設定を完了してください。

※2） 正しく設定してあれば、約3分の運転でチェックが完了します。使用範囲からはずれている設定の場合は設定が修正されます（最長42分）。43分以上経過しても完了しない場合は、風速が「急」風になっているかを確認してください。

※3） 項目コードB0の設定値と機外静圧との関係は表-b, 図-bを参照してください。

※4） グループ制御場合は、各室内ユニットの項目コードB0を設定してください。（通風経路変更等による）

※5） 8分以上経過しても完了しない場合は、運転モード、風速、吸込温度を確認してください。

※6） グループ制御の場合は、親機が機外静圧設定チェック運転完了または自動風量調整運転完了時に試運転表示を消灯します。子機の完了判断は出来ません。機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転が完了しなくても1時間経過後に試運転表示は消灯します。

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

機外静圧の設定②

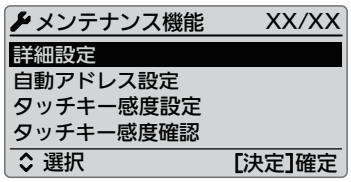
- 必ず、機外静圧は仕様範囲内であることを確認し、設定を行ってください。範囲外の場合、騒音の発生、風量不足や水漏れの原因となります。
  機外静圧設定範囲は 静圧設定表を参照してください。
- 自動可変ダンパー等搭載により、機外静圧が変化するようなシステムは、機外静圧が高い状態で自動風量調整運転または機外静圧設定チェック運転を行いますと、機外静圧が低くなった場合に P12 警報が出ることがあります。その場合は、ダンパー等の位置を機外静圧が一番低くなる状態にして、自動風量調整運転または機外静圧設定チェック運転を行ってください。
- 機外静圧設定後にダクト、吹出口など通風経路を変更した際は、必ずもう一度「機外静圧の設定」を実施してください。
- 吸込温度は使用範囲内で行ってください。吸込温度 45℃以上の場合や送風モード以外の場合は自動風量調整を行えません。

■ 手順 1：手動設定または自動風量設定方法

- メンテナンス機能画面を表示してください。
- 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで[詳細設定]を選択し、
  決定 ボタンを押してください。
  詳細設定画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで変更するユニット No. を
  選択してください。
- ＜ / ＞ ボタンで項目コード / 設定データの選択を
  切り換えてください。
- ∧ / ∨ ボタンで項目コード[B0]としてください。
- ＜ / ＞ ボタンで設定データの選択を切り替えてください。
- ∧ / ∨ ボタンで設定データを変更します。
  手動設定の場合は、設定データを［0001～0014］のいずれかに変更し、決定 ボタンを押してください。
  自動風量設定の場合は設定データを「－002」に変更します。
- 戻る ボタンを押して、再起動[はい]を選択し、
  決定 ボタンを押してください。
  設定終了後、次の手順 2 を実施してください。



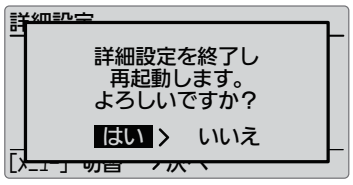
多機能ワイヤードリモコン
（CZ-10RT5 シリーズ）



メンテナンス機能画面



詳細設定画面

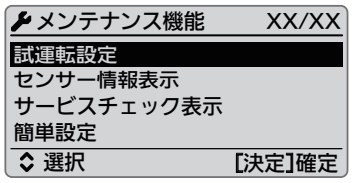


詳細設定終了画面

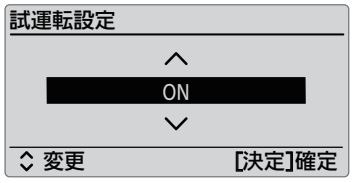
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

■ 手順 2：機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転

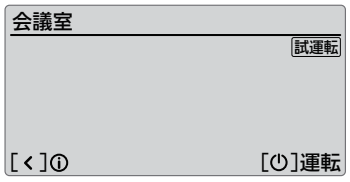
- メンテナンス機能画面を表示してください。
- 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで[試運転設定]を選択し、決定 ボタンを押してください。
  試運転画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで試運転設定、[ON]を選択し、決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンを押し、リモコンに 試運転 と表示していることを確認してください。
- ⏻ ボタンを押すと試運転を開始します。
- ＜ / ＞ ボタン ＜ / ＞ ボタンで運転モードを「送風」、風速を「急 」に設定し、 決定 ボタンを押してください。
  （この設定以外では自動風量調整運転（機外静圧設定チェック運転）を行いません）
- ファンモーターが起動し、自動風量調整運転（約3～30分）を開始します。
  この運転中は風速が変化します。
- 完了すると液晶部の 試運転 表示が消灯します。
- ⏻ ボタンを押します。通常の停止状態となります。



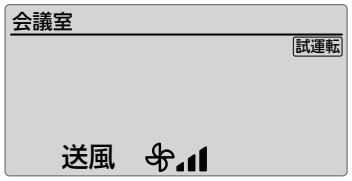
メンテナンス機能画面



試運転設定画面



試運転画面



運転モード画面

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

機外静圧の設定③

■送風機特性（ビルトインカセット形）

CS-P22 ～ 160F6U

●静圧設定

- 「機外静圧の設定」（3-3-69～71ページ）に従い設定してください。

機外静圧の設定（ビルトインカセット形）		
室内ユニット		項目コード
22 ～ 56 形	71 ～ 160 形	B0
急風の機外静圧（Pa）		
-	80	0014
60	60	0013
50	50	0007
34	39	0005
20	20	0003
10	10	0001
自動風量設定無し※		-001
自動風量設定		-002

※工場出荷時

●フィルター初期圧力損失

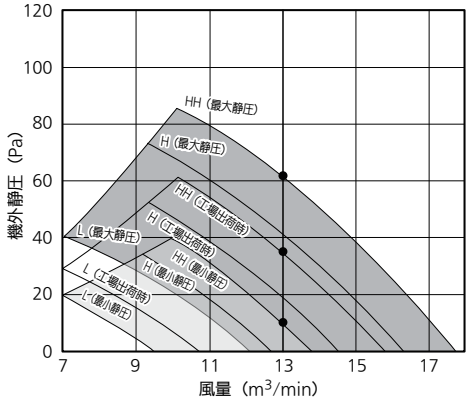
HH（急風）定格風量時の各フィルターの初期圧力損失は以下となります。

各フィルター初期圧力損失（単位 : Pa）	22 ～ 45	56	71 ～ 80	90	112	140	160
高性能フィルター（比色法 65%）	16.7	18.8	21.4	25.1	21.4	26.5	32
高性能フィルター（比色法 90%）	21.4	24.1	26.7	30.9	26.2	31.2	36.2
ロングライフフィルター	5.7	6.3	6.7	7.6	6.6	7.8	9.0

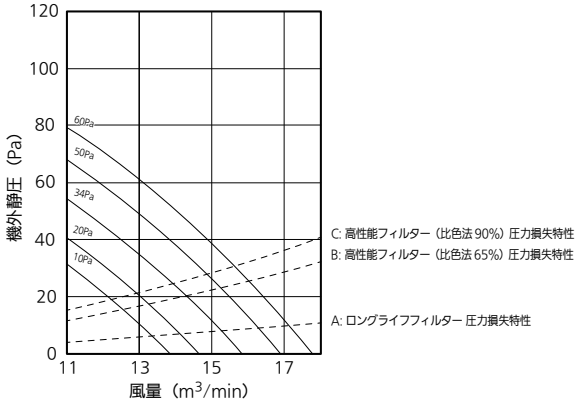
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P22 ～ 45F5U

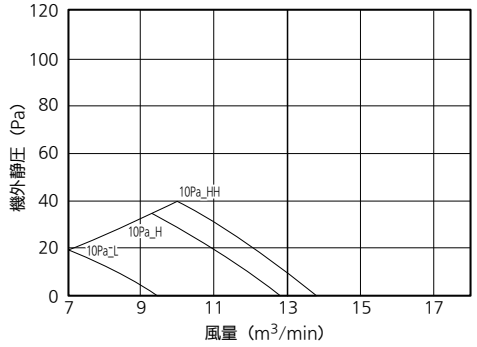
最大静圧 / 工場出荷時 / 最小静圧 設定時の PQ 線図



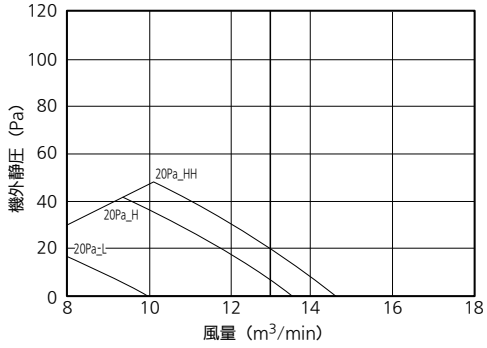
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



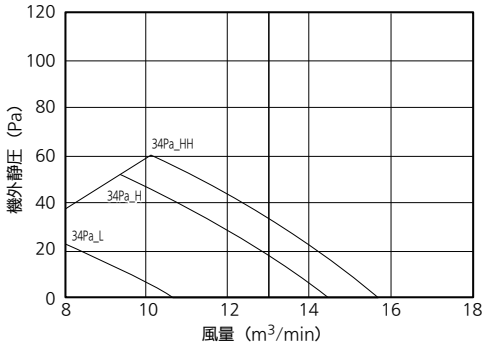
10Pa



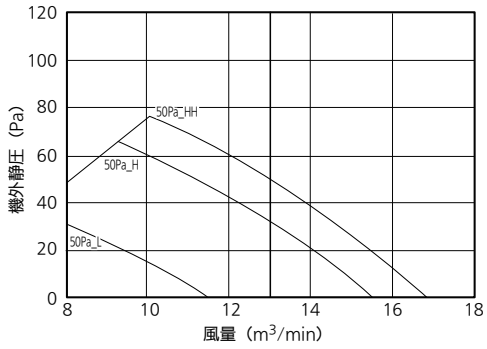
20Pa



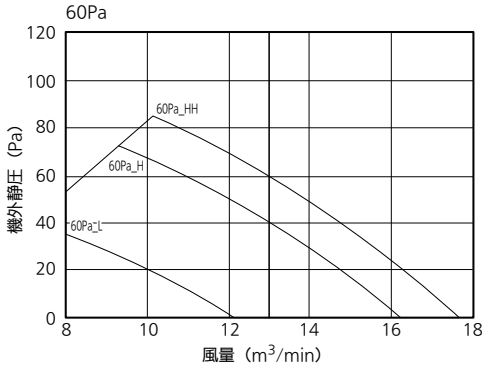
34Pa



50Pa



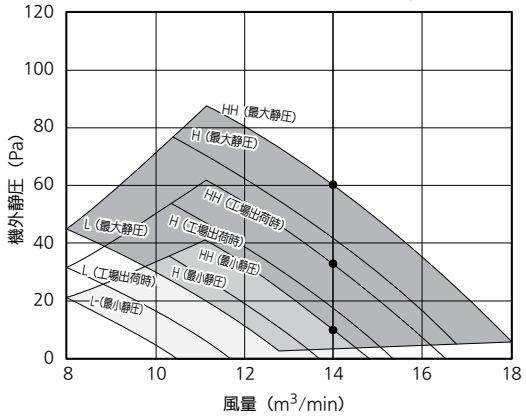
60Pa



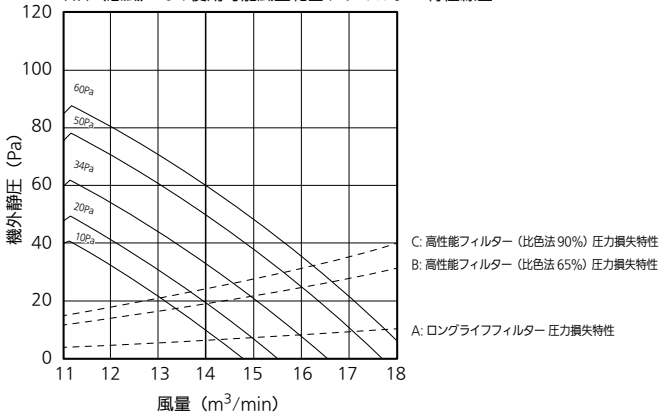
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS−P56F5U

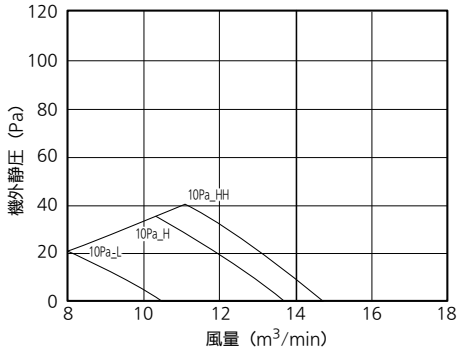
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



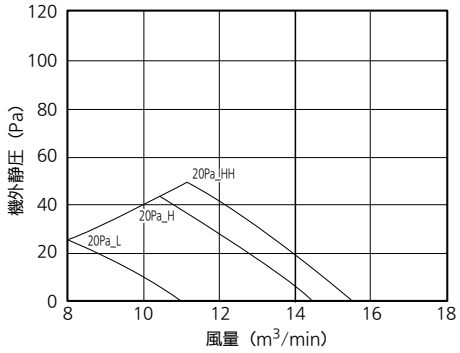
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



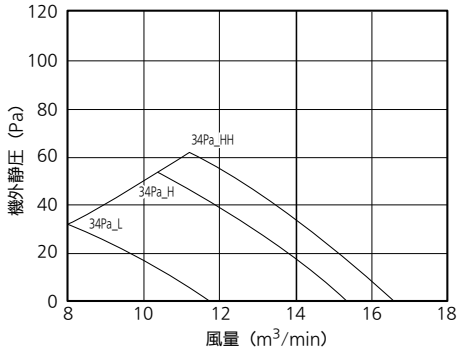
10Pa



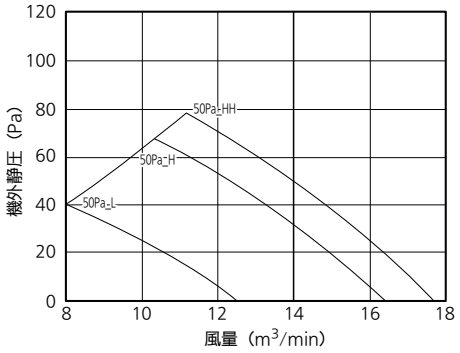
20Pa



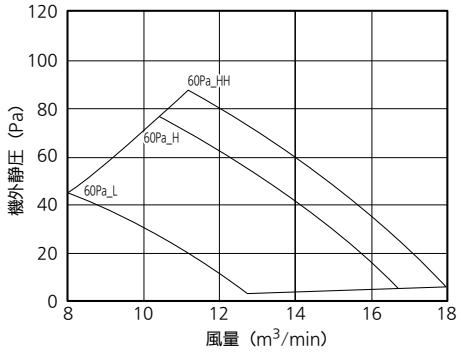
34Pa



50Pa



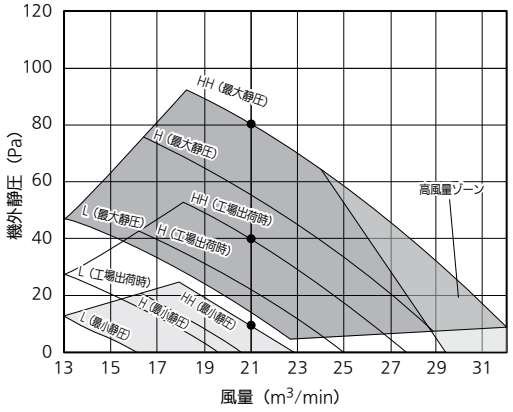
60Pa



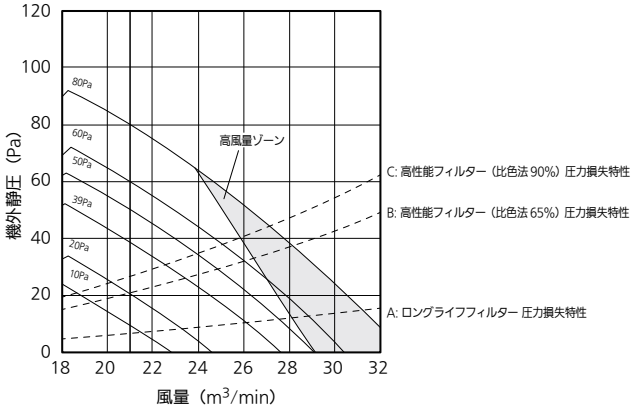
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P71F5U/CS-P80F5U

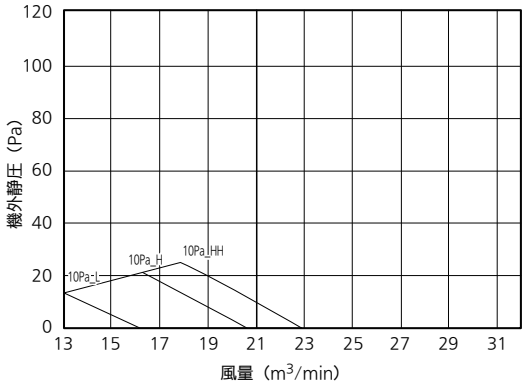
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



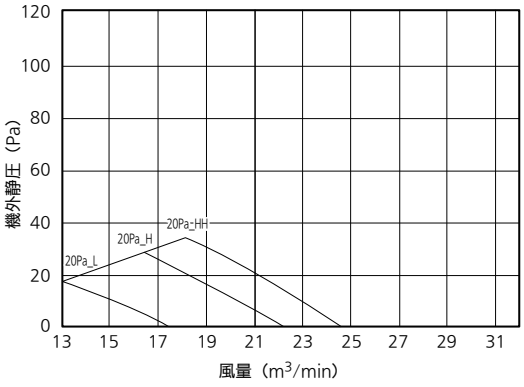
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



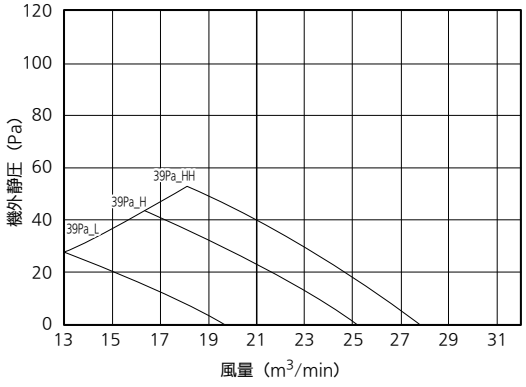
10Pa



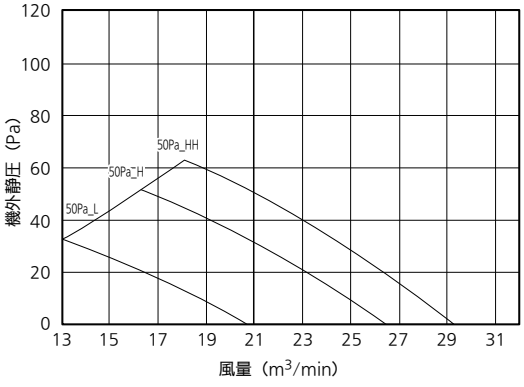
20Pa



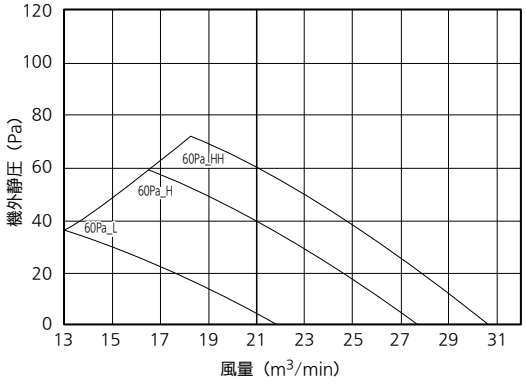
39Pa



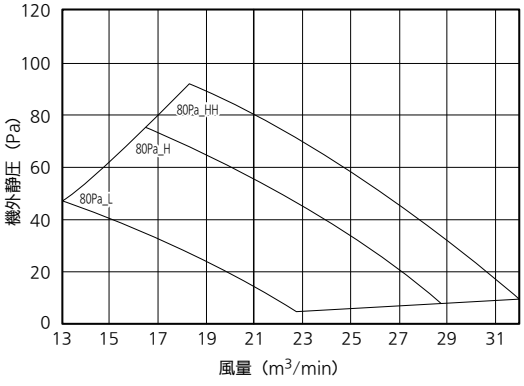
50Pa



60Pa



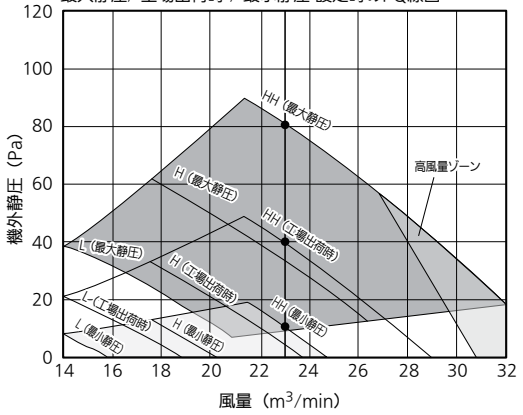
80Pa



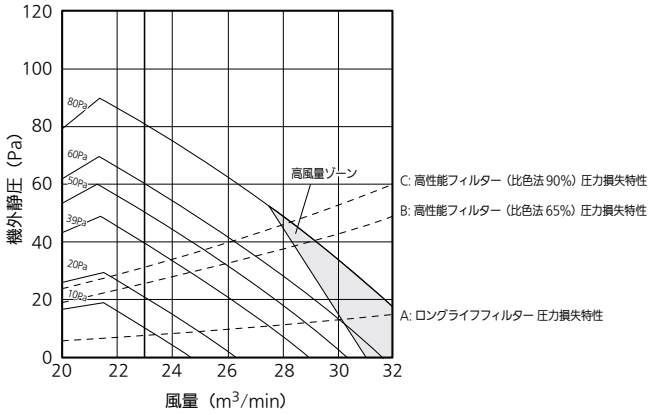
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P90F5U

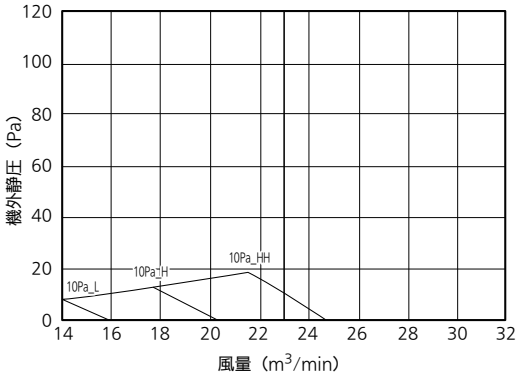
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



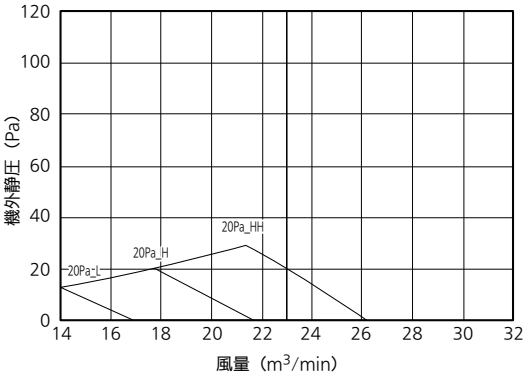
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



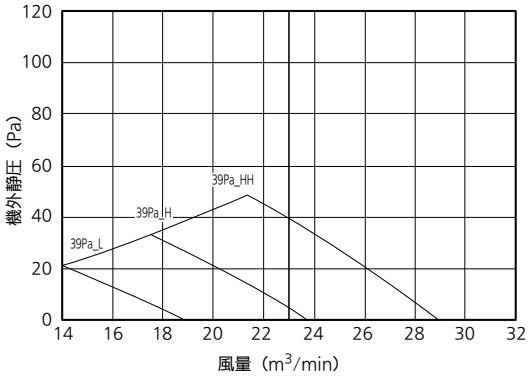
10Pa



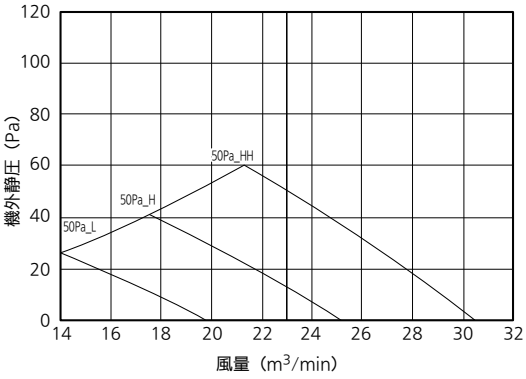
20Pa



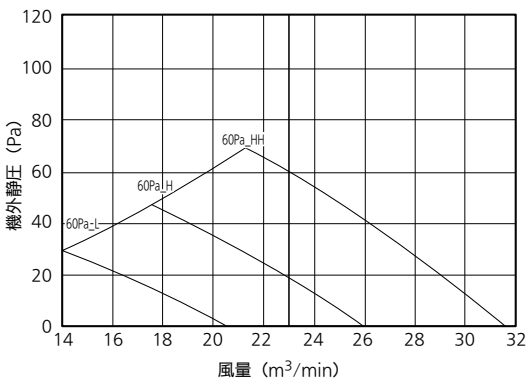
39Pa



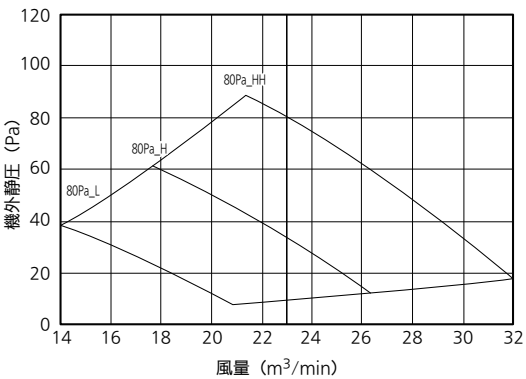
50Pa



39Pa



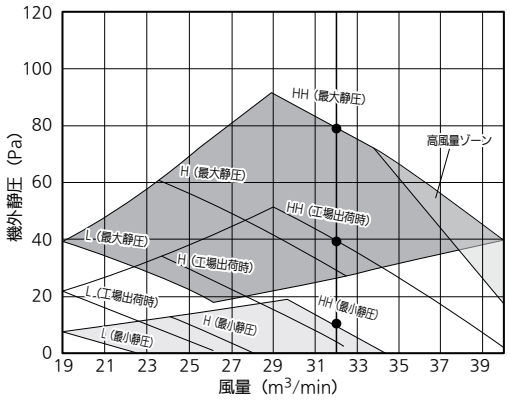
80Pa



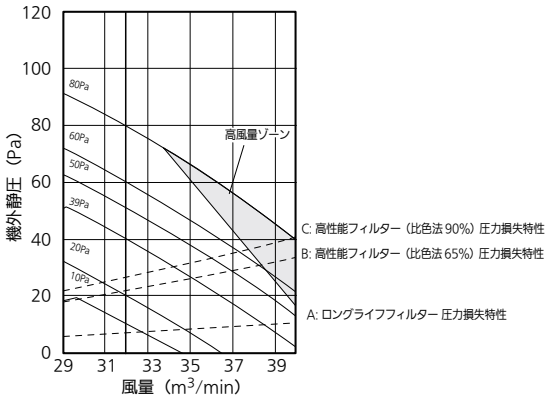
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P112F5U

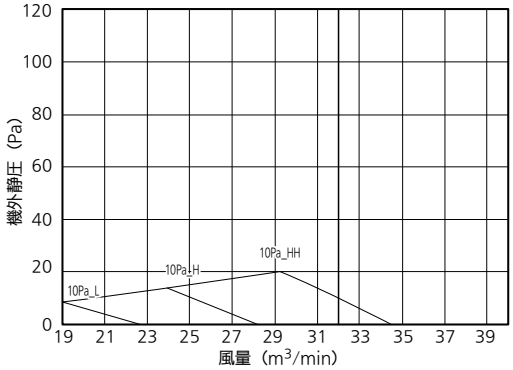
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



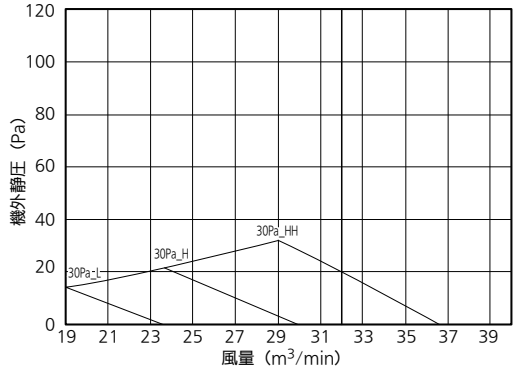
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



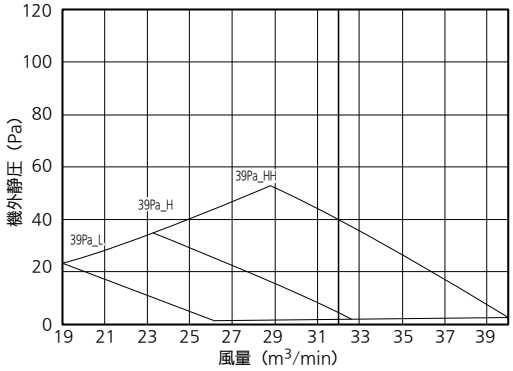
10Pa



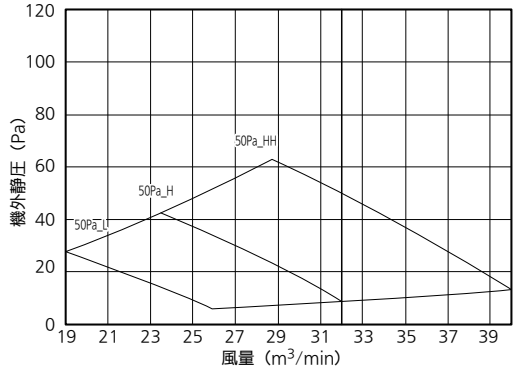
30Pa



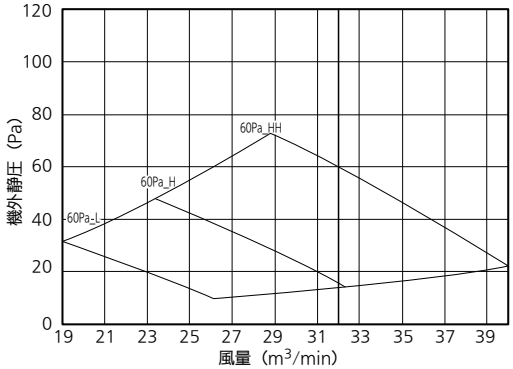
39Pa



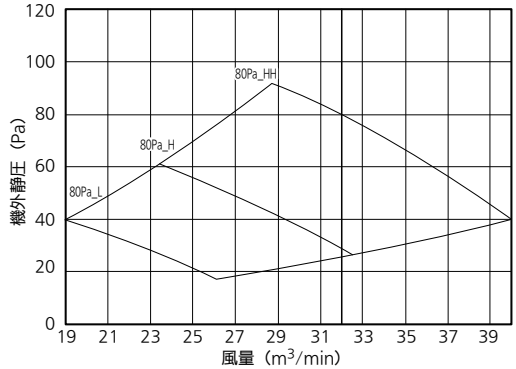
50Pa



60Pa



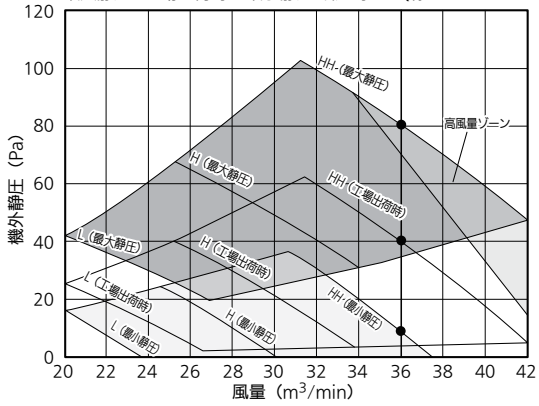
80Pa



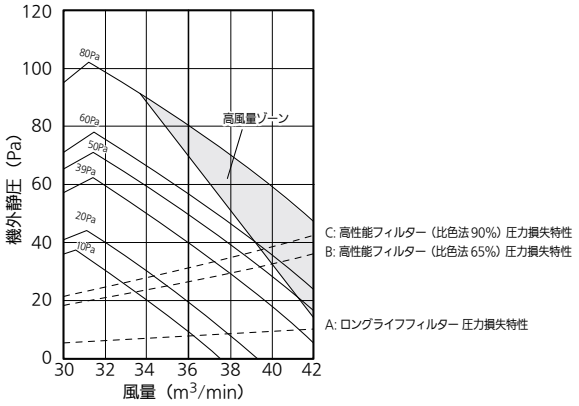
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P140F5U

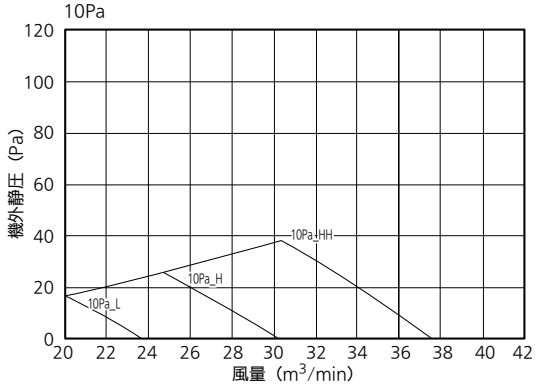
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



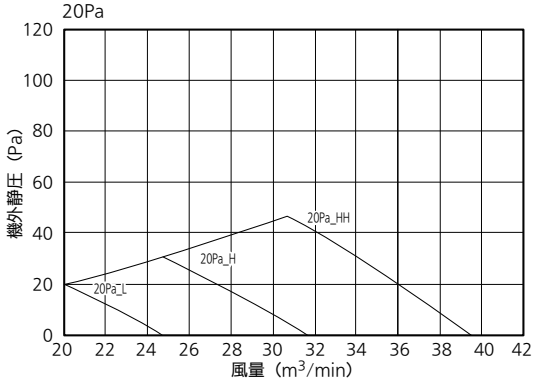
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



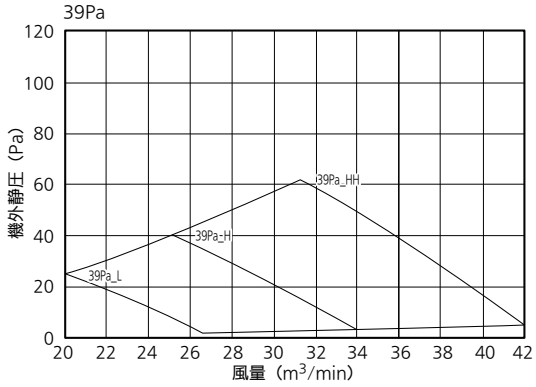
10Pa



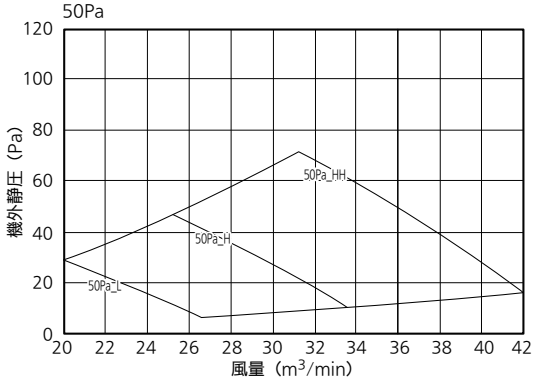
20Pa



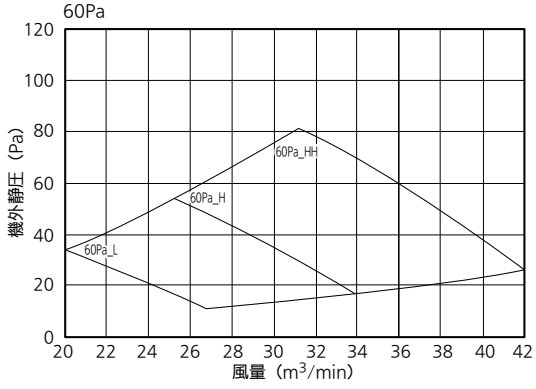
39Pa



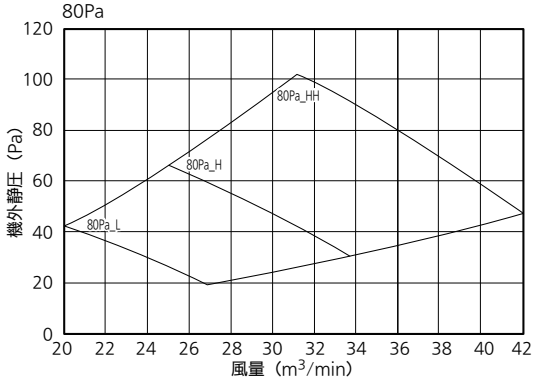
50Pa



60Pa



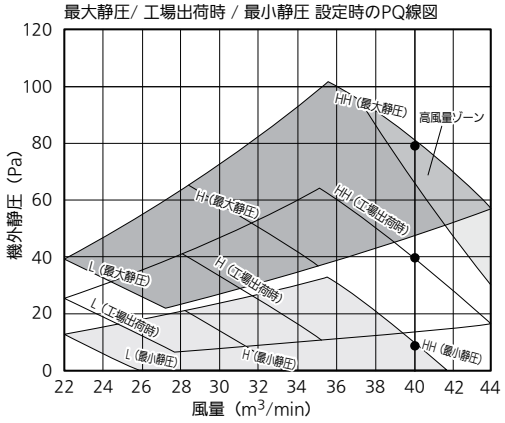
80Pa



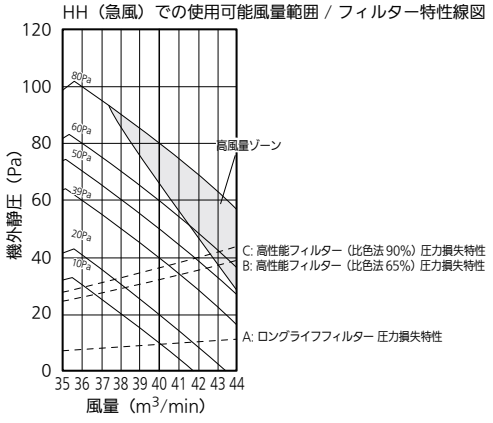
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P160F5U

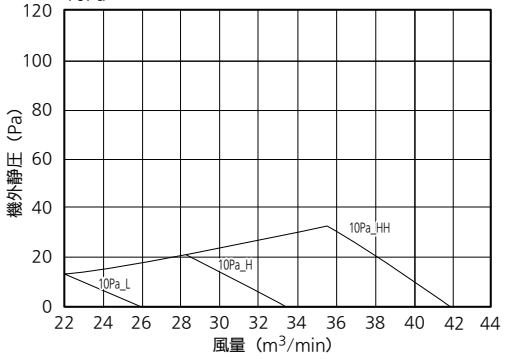
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



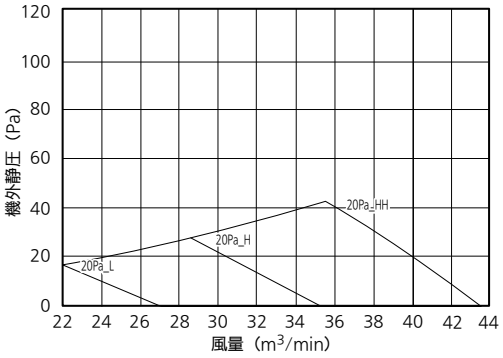
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



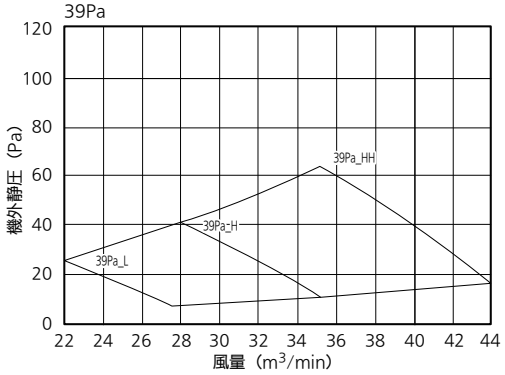
10Pa



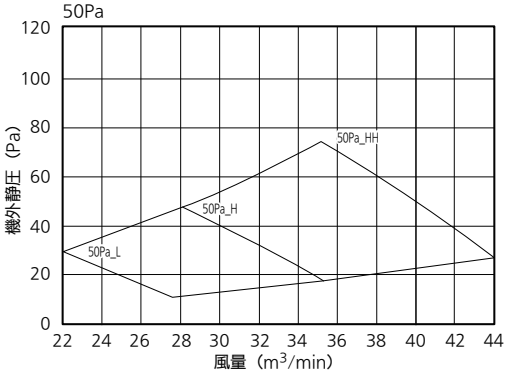
20Pa



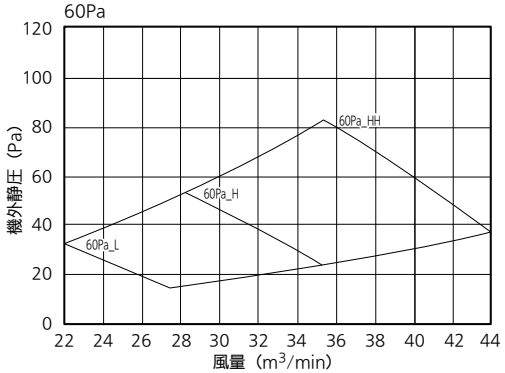
39Pa



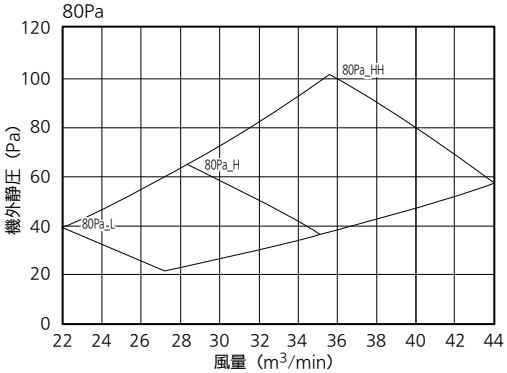
50Pa



60Pa



80Pa



ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

機外静圧の設定④

■送風機特性（ビルトインオールダクト形）
CS-P28 ～ 160FE6U / CS-P28 ～ 56FE6UL

●静圧設定
- 「機外静圧の設定」（3-3-69～71ページ）に従い設定してください。

機外静圧の設定（ビルトインオールダクト形）					
室内ユニット					項目コード
28 ～ 56 形	71 ～ 80 形	90 形	112～140形	160 形	
急風の機外静圧（Pa）					B 0
-	210	-	210	-	0014
200	200	200	200	200	0013
180	180	180	180	180	0012
160	160	160	160	160	0011
150	150	150	150	150	0010
140	140	140	140	140	0009
130	130	130	130	130	0008
120	120	120	120	120	0007
100	100	100	110	110	0006
70	70	70	100	100	0005
60	60	60	70	70	0004
50	50	50	50	50	0003
30	30	30	30	30	0002
10	10	10	10	10	0001
自動風量設定無し※					-001
自動風量設定					-002

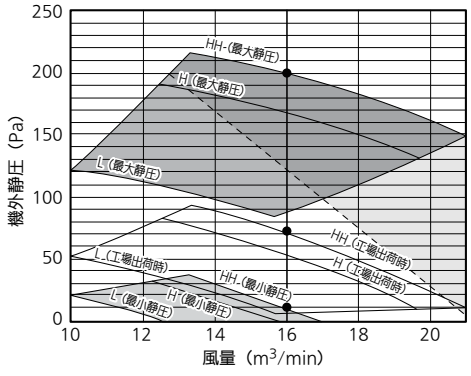
※工場出荷時

●フィルター初期圧力損失
HH（急風）定格風量時の各フィルターの初期圧力損失は以下となります。

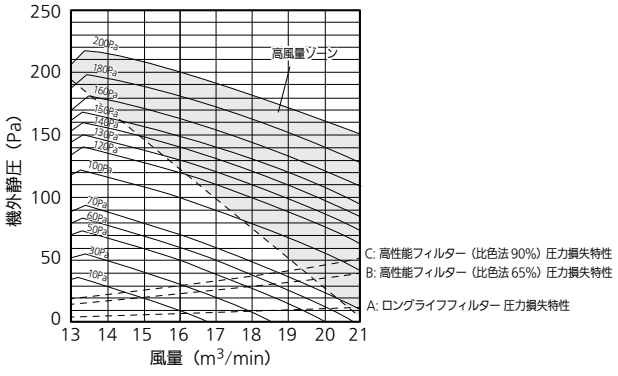
各フィルター初期圧力損失（単位 : Pa）	28 ～ 56	71 ～ 80	90	112	140	160
高性能フィルター（比色法 65%）	23.3	21.4	31.1	21.4	26.5	32.0
高性能フィルター（比色法 90%）	29.8	26.7	37.6	26.2	31.2	36.2
ロングライフフィルター	7.5	6.7	9.1	6.6	7.8	9.0

CS-P28 ～ P56FE6U / CS-P28 ～ P56FE6UL

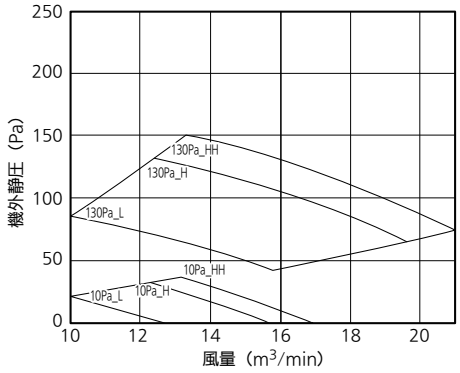
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



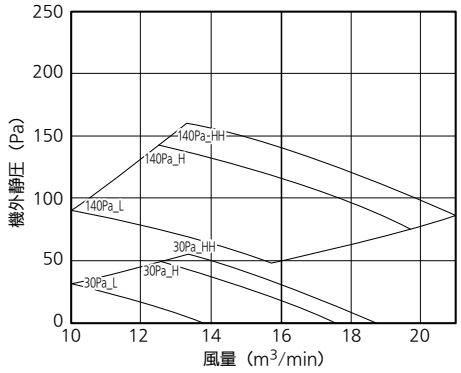
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



10Pa / 130Pa



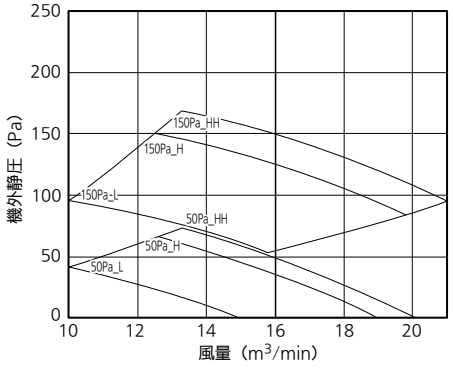
30Pa / 140Pa



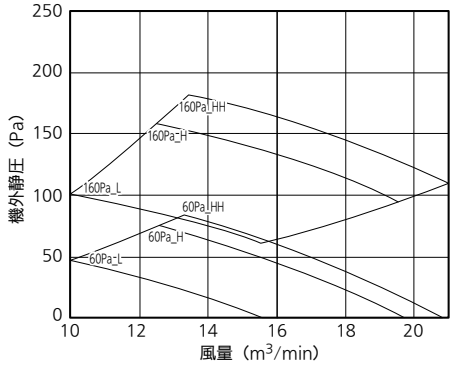
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P28 ～ P56FE5U/CS-P28 ～ P56FE5UL

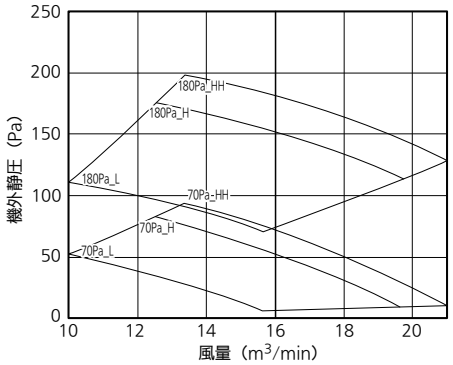
50Pa / 150Pa



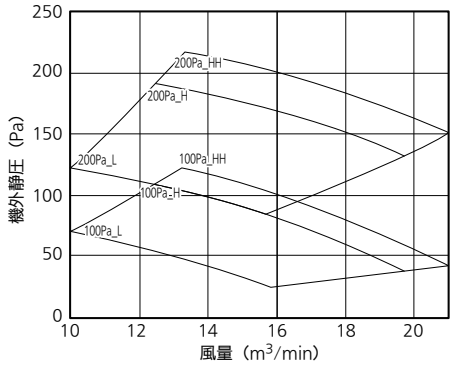
60Pa / 160Pa



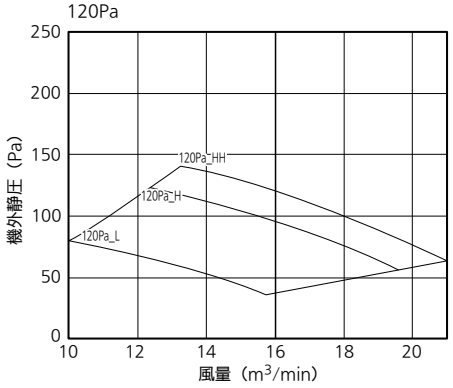
70Pa / 180Pa



100Pa / 200Pa

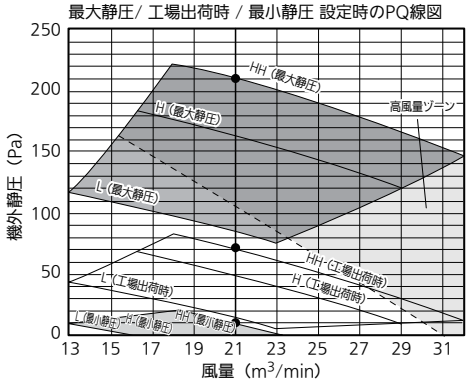


120Pa

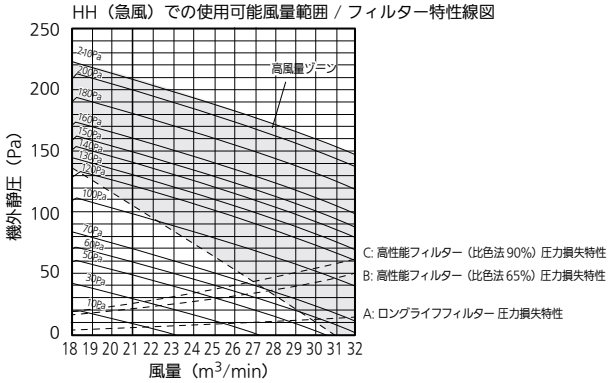


CS-P71FE5U/CS-P80FE5U

最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



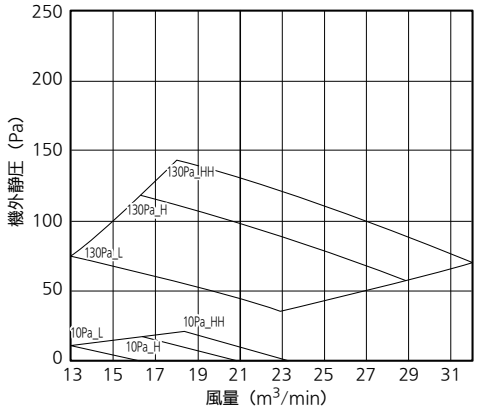
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



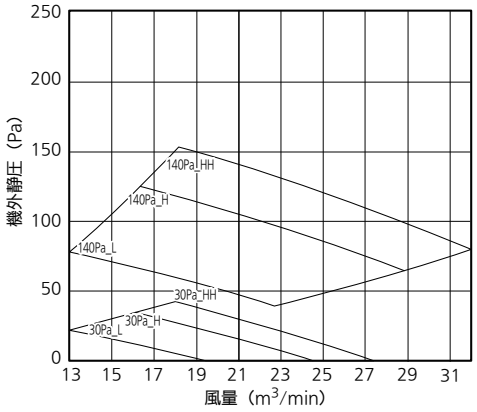
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P71FE5U/CS-P80FE5U

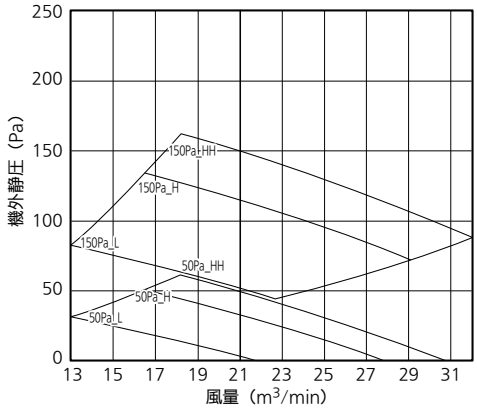
10Pa / 130Pa



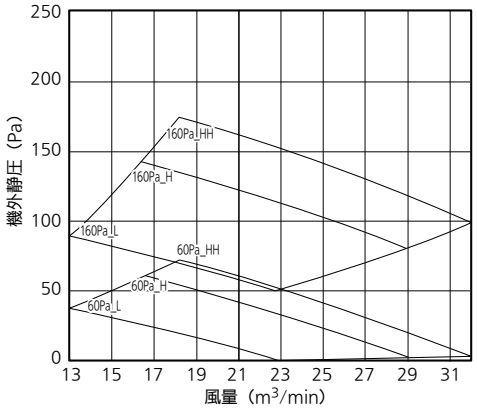
30Pa / 140Pa



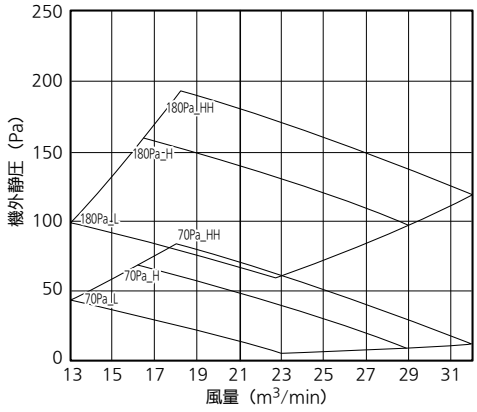
50Pa / 150Pa



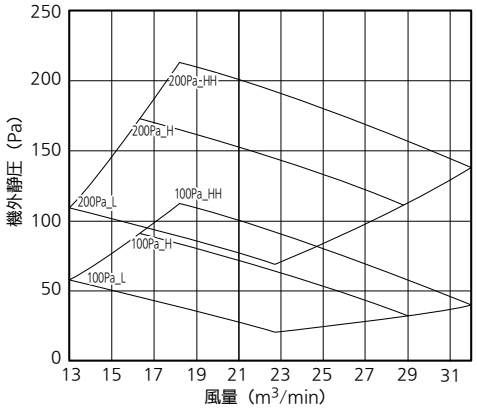
60Pa / 160Pa



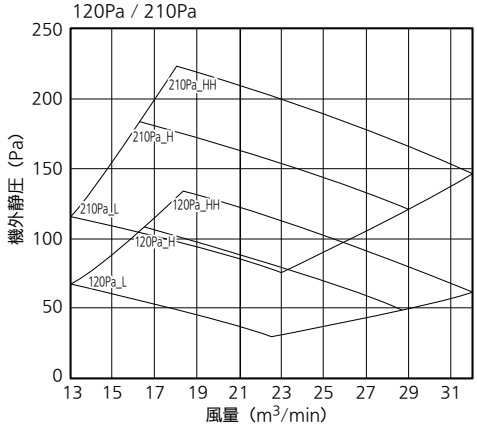
70Pa / 180Pa



100Pa / 200Pa



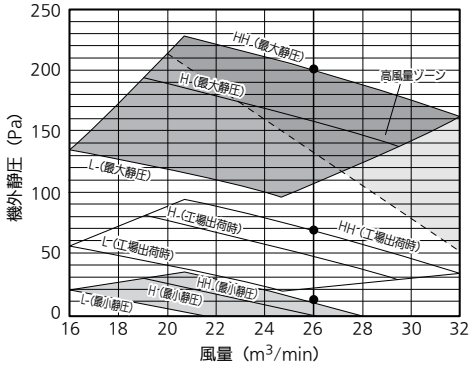
120Pa / 210Pa



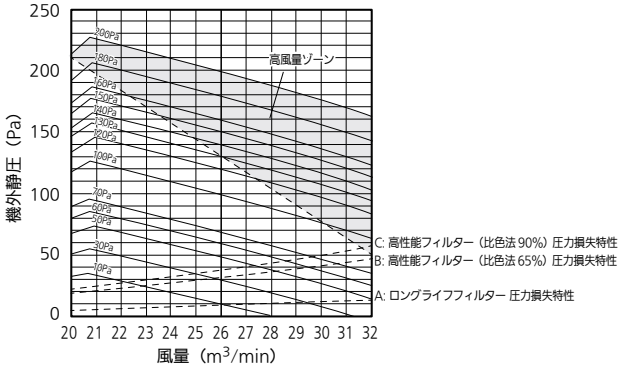
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS−P90FE5U

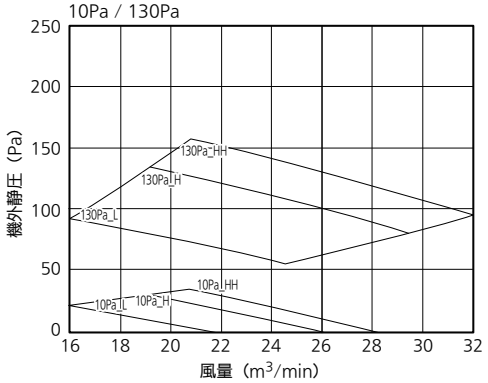
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



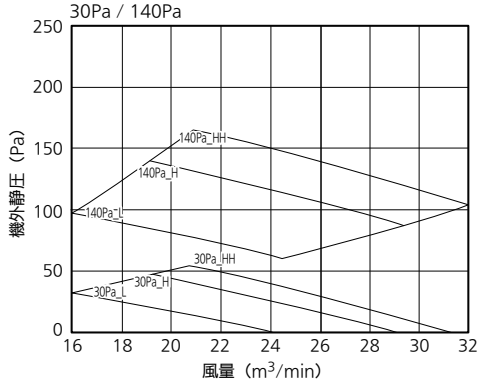
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



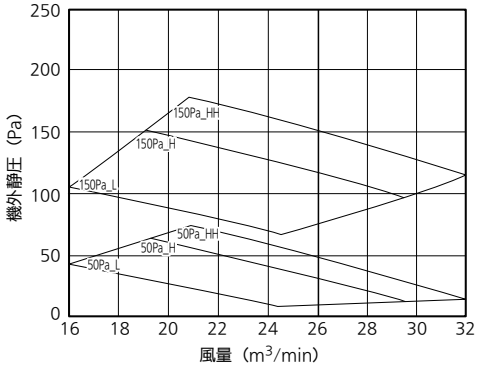
10Pa / 130Pa



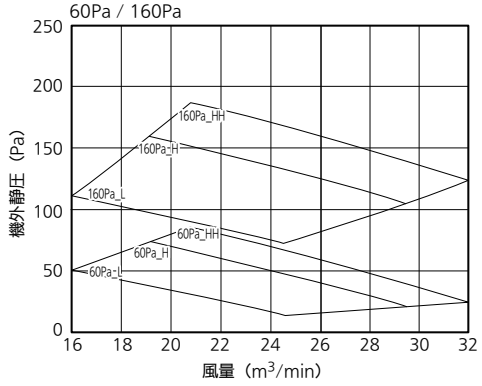
30Pa / 140Pa



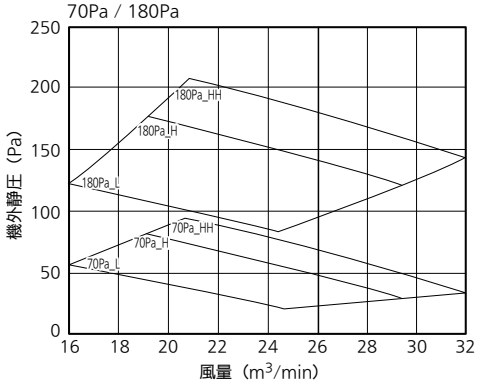
50Pa / 150Pa



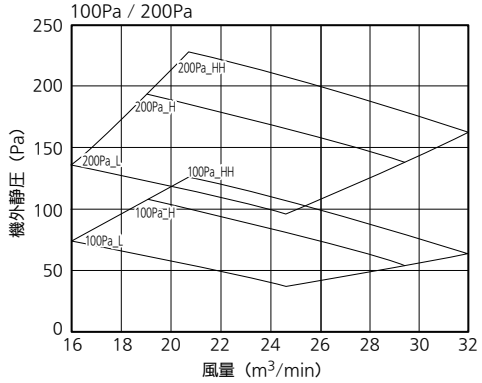
60Pa / 160Pa



70Pa / 180Pa

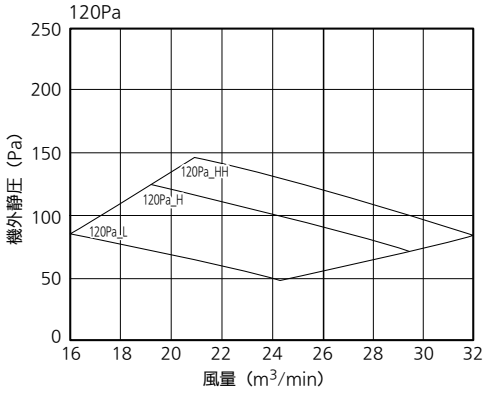


100Pa / 200Pa

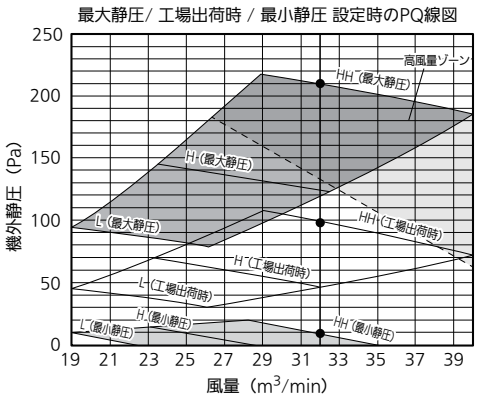


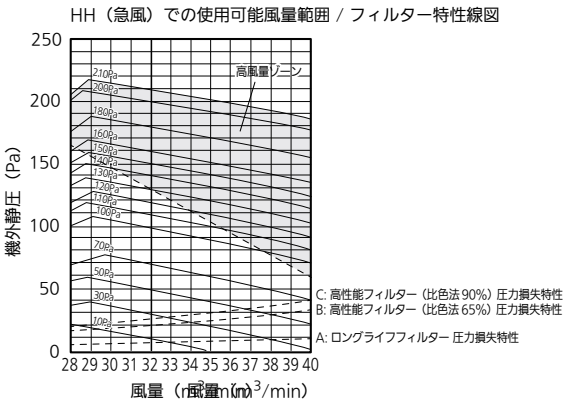
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

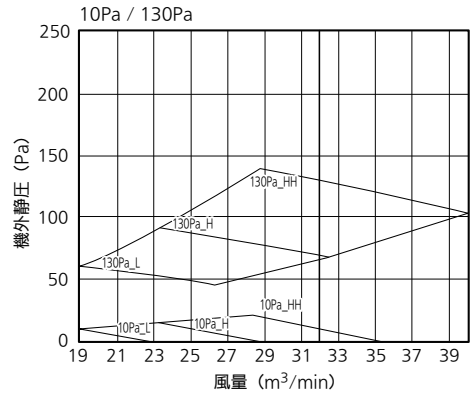
CS−P90FE5U

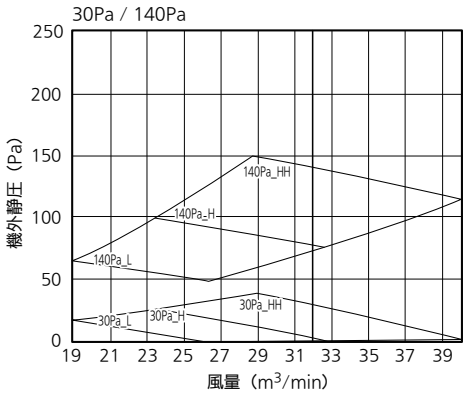


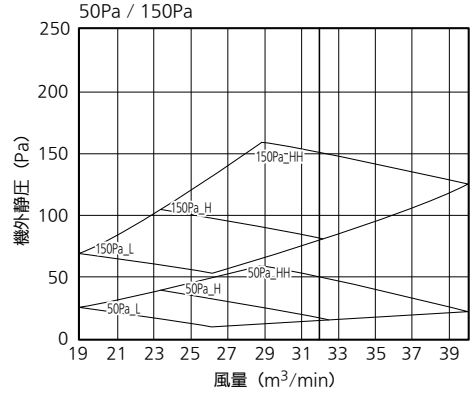
CS-P112FE6U

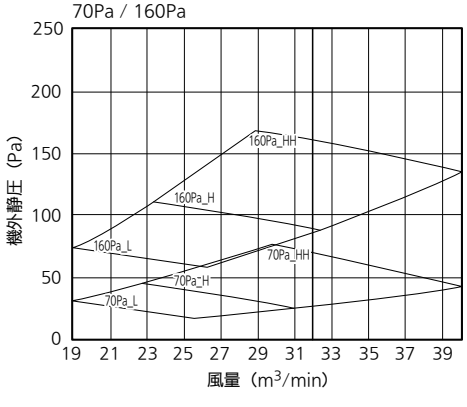








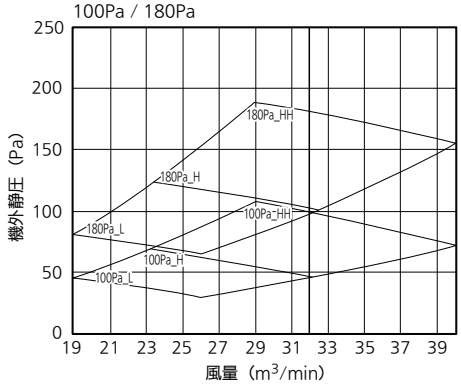




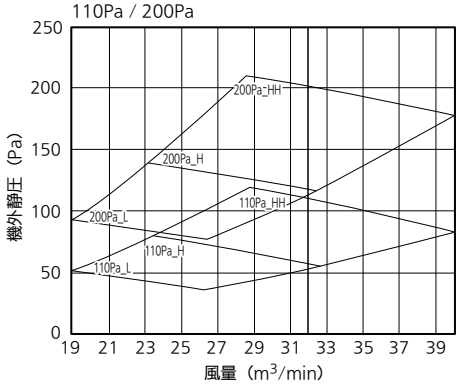
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P112FE5U

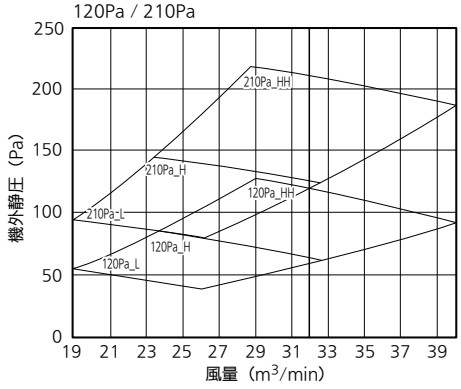
100Pa / 180Pa



110Pa / 200Pa

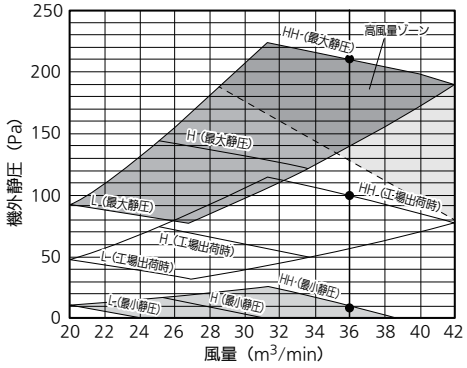


120Pa / 210Pa

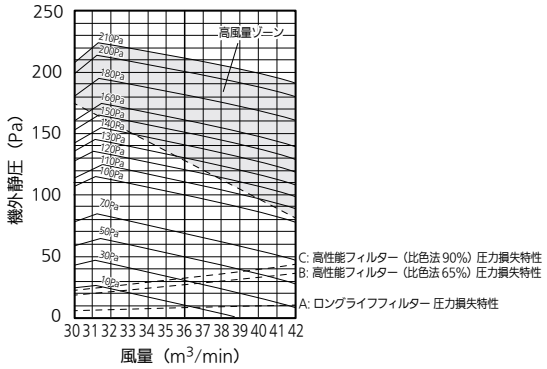


CS-P140FE5U

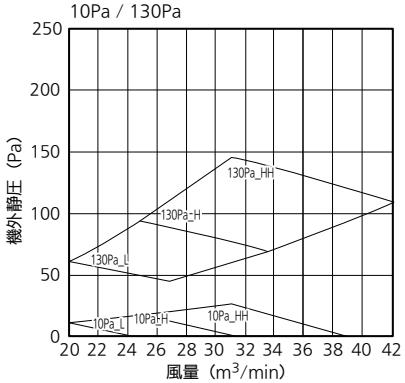
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



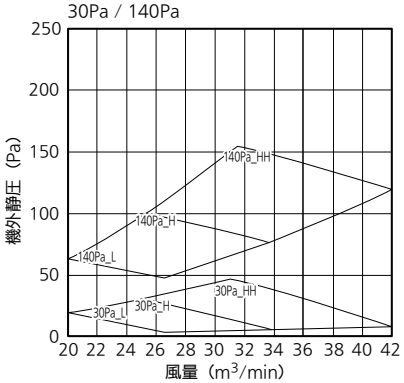
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



10Pa / 130Pa



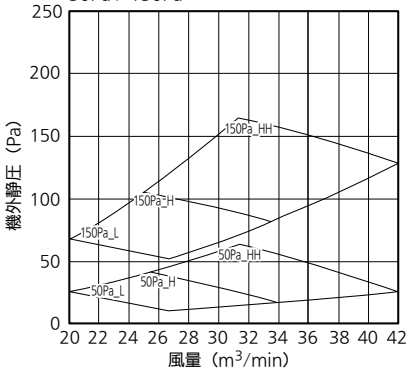
30Pa / 140Pa



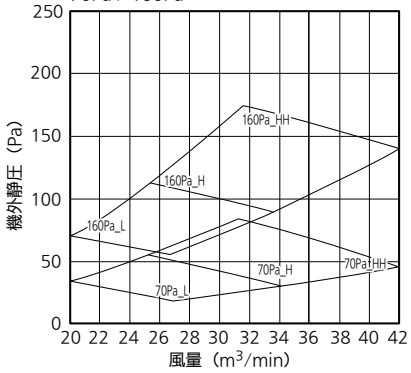
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS−P140FE5U

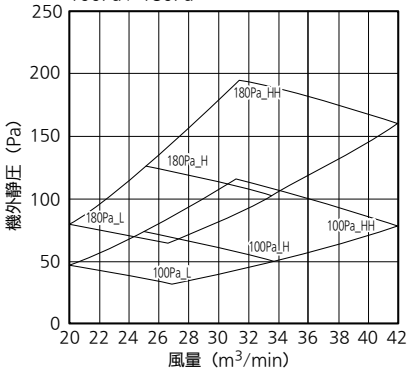
50Pa / 150Pa



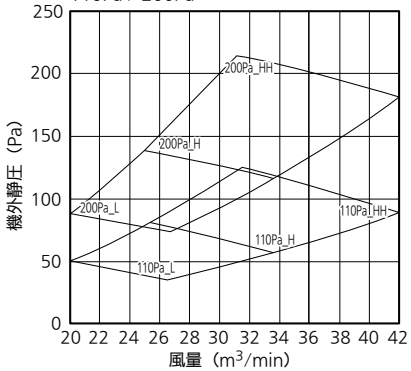
70Pa / 160Pa



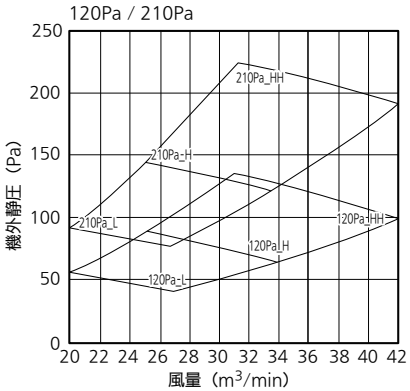
100Pa / 180Pa



110Pa / 200Pa



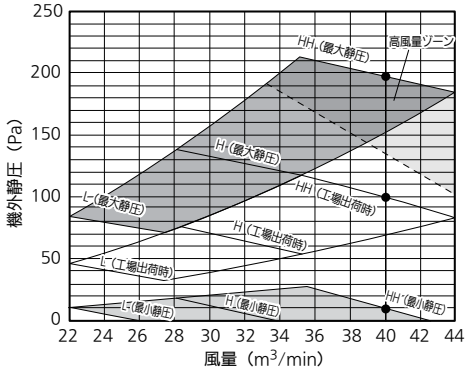
120Pa / 210Pa



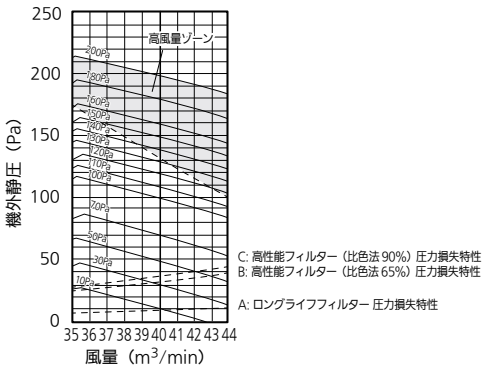
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P160FE5U

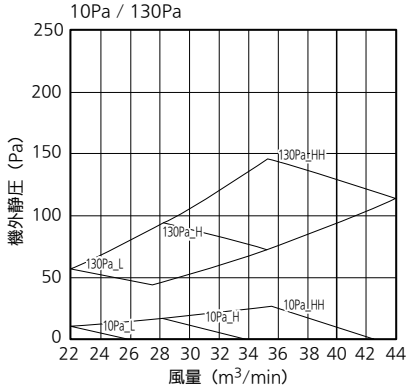
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



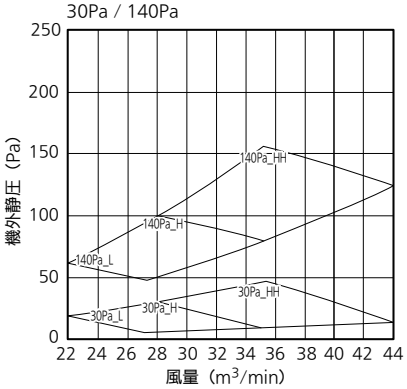
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



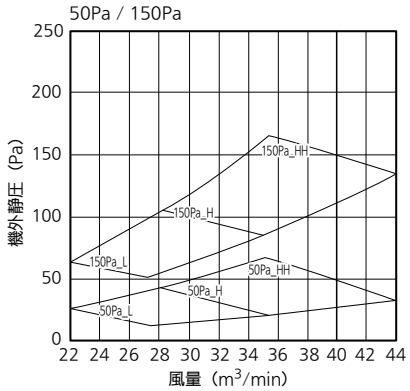
10Pa / 130Pa



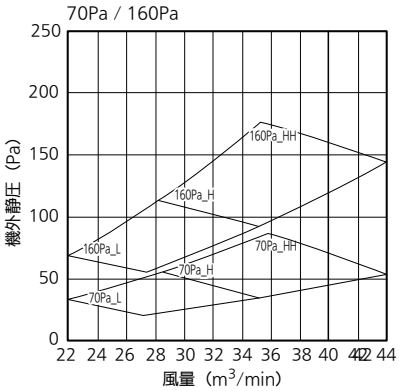
30Pa / 140Pa



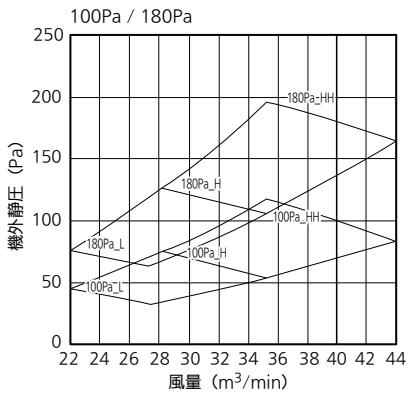
50Pa / 150Pa



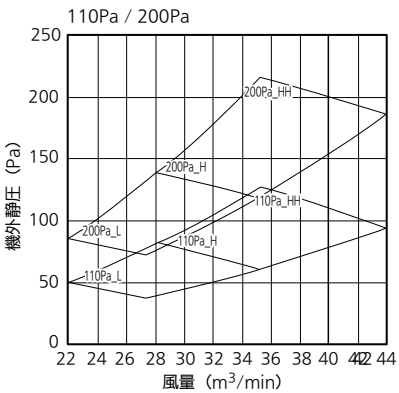
70Pa / 160Pa



100Pa / 180Pa

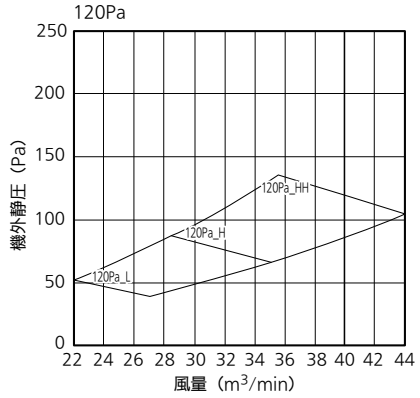


110Pa / 200Pa



ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CS-P160FE5U

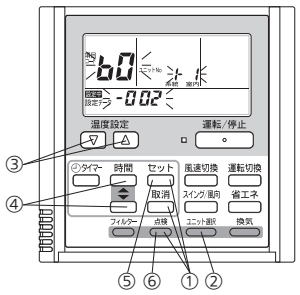


ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CZ-10RT3

手順1	機外静圧設定

●ワイヤードリモコンから、手動で機外静圧を設定する場合



①（点検）+（取消）+（セット）ボタンを同時に4秒間以上押します。
②（ユニット選択）ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
　このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③温度設定（▽）／（△）ボタンで項目コード「b0」を指定します。
④時間（▲）／（▼）ボタンで設定したい機外静圧にあわせて、設定データ「0003」～「0015」（ビルトインオールダクト形は「0001」～）のいずれかを選択します。
⑤（セット）ボタンを押します（表示が点滅から点灯に変わればOK）。
⑥（点検）ボタンを押すと、通常の停止状態になります。

<静圧設定表>

天井ビルトインカセット形

機外静圧（Pa）		項目コードb0
P22～P56	P71～P160	設定データ
60	80	0015
ー	60	0012
50	50	0011
34	39	0008
20	20	0006
10	10	0003
自動風量設定なし※		-001
自動風量設定		-002

ビルトインオールダクト形

機外静圧（Pa）		項目コードb0
P28～P90	P112～P160	設定データ
150	150	0015
140	140	0014
130	130	0013
120	120	0012
100	110	0011
70	100	0008
60	70	0006
50	50	0005
30	30	0003
10	10	0001
自動風量設定なし※		-001
自動風量設定		-002

（※出荷設定時）

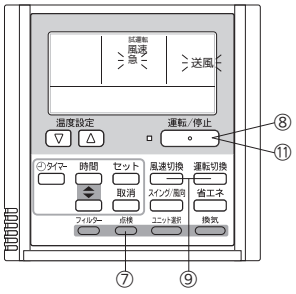
●自動風量設定

手順1 ④で、設定データを変更します（時間（▲）／（▼）ボタン）。
自動風量設定は設定データ「-002」を選択します（出荷設定は「-001」）。

●出荷時のまま機外静圧を変更しない場合

手順2 機外静圧設定チェック運転を実施してください。

手順2	自動風量調整運転（機外静圧設定チェック運転）



⑦（点検）ボタンを4秒以上押します。液晶表示部に「試運転」と表示されます。
⑧（運転/停止）ボタンを押し、試運転を開始します。試運転中は液晶部に「試運転」と表示されます。
⑨（運転切換）で「送風」を選択し、（風速切換）で「急」に設定します。（この設定以外では自動風量調整運転（機外静圧設定チェック運転）を行いません。）
⑩ファンモーターが起動し、自動風量調整運転（約3～30分）を開始します。この運転中は風速が変化します。完了すると液晶部の「試運転」表示が消灯します。
⑪（運転/停止）ボタンを押し、試運転を停止します。（終了）

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

■ 昇降グリルをワイヤードリモコンから操作するための設定方法

●CZ-10RT3

ワイヤードリモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行なってください。この設定をしないと フィルター ボタンを押しても“この操作はできません”または“⃠”が表示されます。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。

※ 昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。

② 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「３０」を指定します。

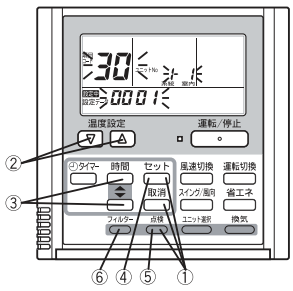
③ タイマー時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを「００００」から「０００１」に変更します。

④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）

⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

⑥ フィルター ボタンを 4 秒 間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降”と表示されることを確認してください。再度 フィルター ボタンを 4 秒間以上 押すと通常の停止状態に戻ります。

ワイヤードリモコン

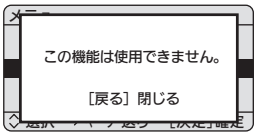


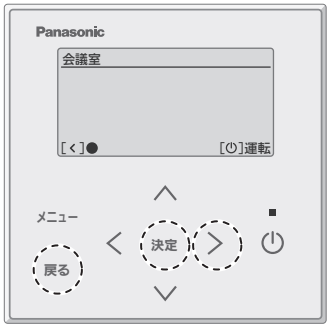
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CZ-10RT5C

■ 多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。

この設定をしないと、昇降グリル操作時に
“この機能は使用できません。” が表示されます。





多機能ワイヤードリモコン

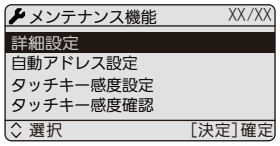
① 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ∧ / ∨ ボタンで「詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
[詳細設定画面]が表示されます。
∧ / ∨ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
このとき、選択された室内ユニットから送風します。

③ ＞ ボタンで項目コードを選択してください。
∧ / ∨ ボタンで項目コードを「000030」に変更してください。

④ ＞ ボタンで設定データを選択してください。
∧ / ∨ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、決定 ボタンを押してください。

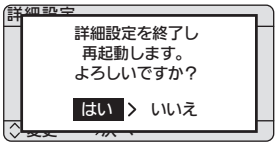
⑤ 戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面]が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



[メンテナンス機能画面]



[詳細設定画面]



[詳細設定終了画面]

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

■ リモコンのサービス機能について

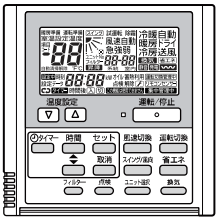
●リモコンには、各種サービス機能があります。試運転、点検時等、必要に応じてご利用ください。

CZ-10RT3

サービス機能一覧表

機　能	機 能 概 略	ボ　タ　ン　操　作	復帰操作	ユニットの状態
試運転	強制サーモONで運転	点検 ボタンを4秒以上押す	点検ボタンを押す	運転状態を維持
センサー温度表示	各種センサーの温度表示	点検 ＋ 取消 ボタンを同時に4秒以上押す		
サービスチェック表示	警報履歴の表示	点検 ＋ セット ボタンを同時に4秒以上押す（履歴の削除は 取消 ボタンを押す）		
簡単設定	フィルター寿命 、運転モード優先、集中制御アドレス等の設定	点検 ＋ 換気 ボタンを同時に4秒以上押す		設定中のリモコンが接続されている室内ユニットが停止
詳細設定	系統アドレス、室内ユニットアドレス、集中制御アドレス等の設定	点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に4秒以上押す		
自動アドレス	ワイヤードリモコンからの指示による自動アドレス	点検 ＋タイマー時間 ▲ ボタンを同時に4秒以上押す	自動復帰	全システムが停止
アドレス変更	室内ユニットアドレスの変更	点検 ＋タイマー時間 ▼ ボタンを同時に4秒以上押す	点検ボタンを押す	
個別フラップの設定	４方向天井カセットの各吹出口フラップ動作を個別に設定	セット ＋ スイング/風向 ボタンを同時に4秒以上押す（CZ-10RT3のみ対応）		運転状態を維持
リモコンチェック	リモコン検査	運転切換 ＋電源ON	点検ボタンを４秒以上押す	

ワイヤードリモコン



ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

CZ-10RT5C

メンテナンス機能画面の表示（ユニットが停止中に行ってください。）

① 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に4秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

② ∧ / ∨ ボタンで必要な機能のメニューを表示し、選択してください。

1
メンテナンス機能 XX/XX
リモコングループ構成
エコナビ
サービス連絡先登録
リモコン設定モード
◇ 選択 [決定]確定

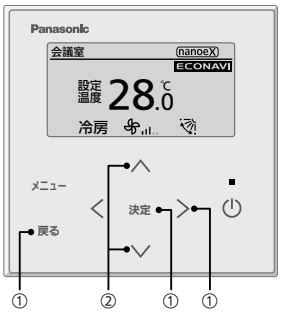
2
メンテナンス機能 XX/XX
試運転設定
センサー情報表示
サービスチェック表示
簡単設定
◇ 選択 [決定]確定

3
メンテナンス機能 XX/XX
詳細設定
自動アドレス設定
タッチキー感度設定
タッチキー感度確認
◇ 選択 [決定]確定

4
メンテナンス機能 XX/XX
ナノイーX
銀イオン抗菌剤交換サイン
ｼﾞｱｲｰﾉﾒﾝﾃﾅﾝｽﾓｰﾄﾞ
ｼﾞｱｲｰﾉ施工ﾓｰﾄﾞ
◇ 選択 [決定]確定

5
メンテナンス機能 XX/XX
ｼﾞｱｲｰﾉﾒﾝﾃﾅﾝｽﾓｰﾄﾞ
ｼﾞｱｲｰﾉ施工ﾓｰﾄﾞ
ソフトウェア情報
コントローラー初期化
◇ 選択 [決定]確定

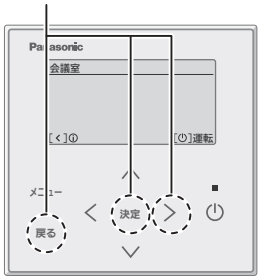
メンテナンス機能画面



多機能ワイヤードリモコン

サービスチェック表示

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 「サービスチェック表示」を選ぶ

∧ / ∨ ➡ 決定

メンテナンス機能 XX/XX
試運転設定
センサー情報表示
サービスチェック表示
簡単設定
◇ 選択 [決定]確定

3 警報履歴を参照

∧ / ∨ で警報履歴を参照します。

ｻｰﾋﾞｽﾁｪｯｸ表示		12:30(月)
	ﾕﾆｯﾄNo.	警報
1	1-1	L07
2	1-1	L18
3	1-1	L07
∨ 内容確認		[決定]履歴削除

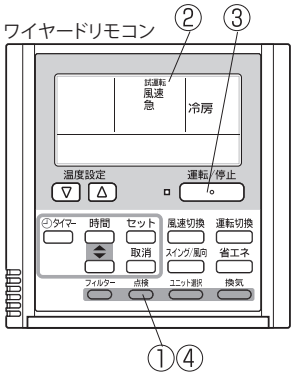
警報履歴を削除する場合は 決定 を押してください。
警報は最大で10件まで記録されます。
（最新の履歴は1で、1から順に更新されます。）

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　詳細設定機能

試運転機能 CZ-10RT3

◎強制サーモON状態にて運転させます。

〈操作手順〉
① 点検 ボタンを4秒以上押し続けます。
②リモコンの液晶表示部に「試運転」が表示されます。（図－１）
③運転操作を行います。
④ 点検 ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。



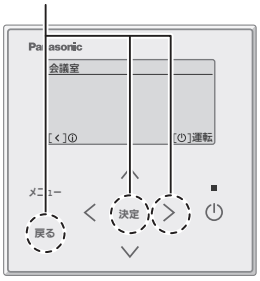
（図－１）

試運転機能 CZ-10RT5C

準備：ユニットの漏電しゃ断器/配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れ、電源を投入してください。
（運転開始前の電源投入時間は各ユニット付属の据付工事説明書を参照ください。）
リモコンが起動し、“設定中”または“構成確認中”の表示が消えるまでお待ちください。
（10分以上“設定中”または“構成確認中”が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください。

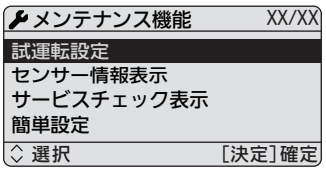
お願い
●試運転以外の目的には使わないでください。
（ユニットに無理がかかるため）

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 「試運転設定」を選ぶ

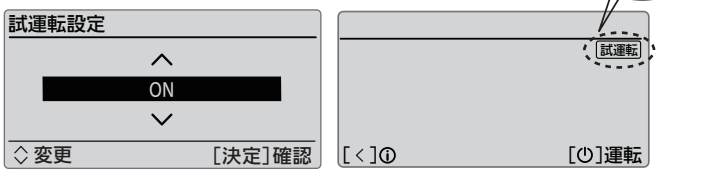
∧ / ∨ ➡ 決定



3 「ON」を選ぶ（試運転モードになる）

“試運転”表示点灯

∧ / ∨ ➡ 決定　　戻る を押す



4 試運転する
⏻ を押す



5 試運転を終了する
手順１・２を行い、手順３で「OFF」を選ぶ。
（“試運転”表示消灯）

●温度変更はできません。
●試運転設定は、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
●電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　センサー温度表示機能

センサ ー温度表示機能（運転・停止に関係なく表示します。）

CZ-10RT3

◎ 下記の確認方法により、リモコン、室内ユニット、室外ユニットの各センサー温度をリモコンに表示します。

〈確認方法の手順〉

① 点検 ＋ 取消 ボタンを同時に4秒以上押しつづけます。

②リモコンの液晶表示部に、ユニットNo.X-X(親機 No.)、項目コードXX(センサーアドレス)、サービスモニター 00 XX (センサー温度)が表示されます。

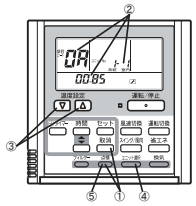
③ 温度設定 △ ／ ▽ ボタンを押して項目コードをモニターしたいセンサーアドレスに変更します。
(センサーアドレスとセンサーの種類の関連については下記のセンサー温度対照表を参照してください。)

④グループ制御の時は ユニット選択 ボタンを押してモニターしたいユニットに変更します。

⑤ 点検 ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。

〈注意〉 ・接続されていないユニットの温度表示は、“ ———— ”となります。
※ 通常運転中に、モ ニターモードに切替えた場合 、液晶表示が変わるのは（図−2）に示す部分のみです。
他の表示は通常運転中の表示のまま変わりません 。

ワイヤードリモコン



（図−2）：No. 1 − 1 ユニットの吐出温度
85℃の場合の表示例

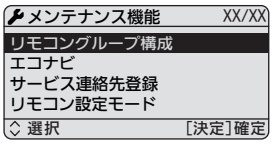
ワイヤードリモコン／ CZ-10RT5C, 10RT3…別売品　センサー温度表示機能

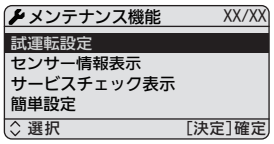
CZ-10RT5C

メンテナンス機能画面の表示（ユニットが停止中に行ってください。）

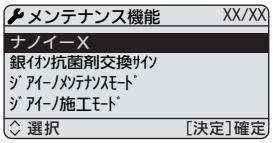
① 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に4秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

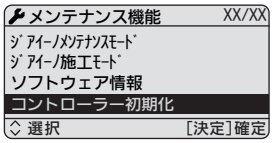
② ∧ / ∨ ボタンで必要な機能のメニューを表示し、選択してください。

1


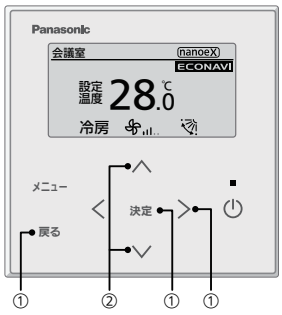
2


3


4


5


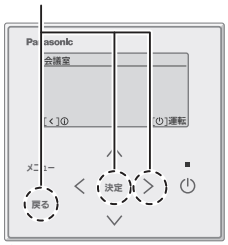
メンテナンス機能画面



多機能ワイヤードリモコン

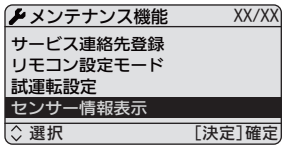
センサー温度（湿度）表示

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



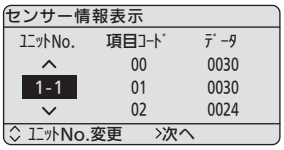
2 「センサー情報表示」を選ぶ

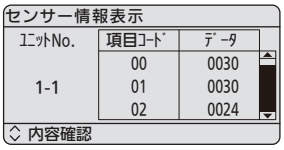
∧ / ∨ ➡ 決定



3 ユニットを選ぶ

∧ / ∨ ➡ユニットNo.を選択し、＞ を押してください。





4 センサー情報を参照

∧ / ∨ で確認したいセンサーアドレス（項目コード）を参照します。

選択したユニットのセンサー情報が表示されます。
表示内容は下表「センサー温度（湿度）対照表」をご参照ください。

センサー温度（湿度）対照表

センサー取付場所	センサーアドレス	センサーの種類	センサーアドレス	センサーの種類
室内ユニット側	01	リモコン温度	06	吹出温度センサー
	02	室内吸込温度	07	—
	03	室内熱交温度（E1）	08	—
	04	—	09	—
	05	室内熱交温度（E3）	100	湿度センサー
室外ユニット側	（室外ユニットについて記載されたTechnical Guide参照）			

ワイヤードリモコン／ CZ-10RT3…別売品　リモコンチェック機能

リモコンチェック機能

検査手順

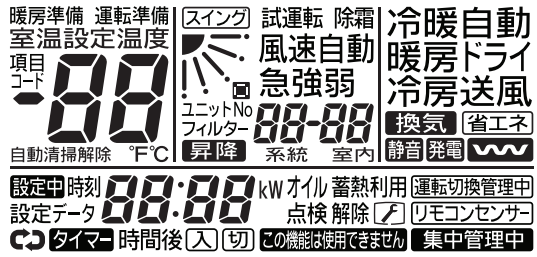
手順①：「運転切換」ボタンを押して、電源を投入(ＯＮ)してください。

リモコンチェックモードで起動します。
・液晶の全キャラクタが点灯します。
・LED（緑）が点灯します。

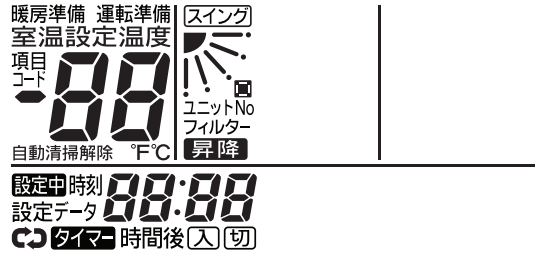
※リモコン線の電源を切れない(外せない)とき下記の方法で行ってください。

①「セット」＋「運転切換」ボタンを４秒以上押してください。
②「温度設定▽△」ボタンで、項目コード０８を選択してください。
③タイマー時間「▼▲」ボタンで、設定データ０００００を選択してください。
④「セット」ボタンを押してください。(点滅から点灯表示に変わります。)
⑤「点検」ボタンを押してください。
・液晶の全キャラクタが点灯します。
・LED(緑)が点灯します。

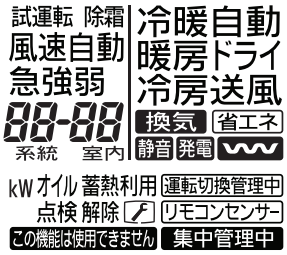
手順①



手順②



手順③



手順②：「温度設定▽」を押してください。

液晶が左半点灯になることを確認してください。
LEDが消灯することを確認してください。

手順③：「温度設定△」を押してください。

液晶が右半点灯になることを確認してください。

手順④：「運転/停止」ボタンを押してください。

液晶が消灯になることを確認してください。

手順⑤：キー入力の確認を行なってください。

下記ボタンを押したときにキー入力番号が表示することを確認してください。

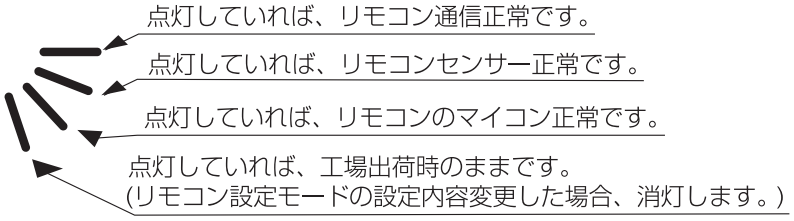
手順⑤



ﾀｲﾏｰ: CC	時間▲: bb	セット: 66	風速切換 : 55	運転切換: 00
	時間▼: AA	取消 : 77	ｽｲﾝｸﾞ/風向: 44	省エネ※: 11
	ﾌｨﾙﾀｰ : 99	点検 : 88	ﾕﾆｯﾄ選択 : 33	換気 : 22

手順⑥：下記項目を液晶表示にて確認してください。

・リモコン通信確認
・リモコンセンサー確認
・リモコンのROM確認
・工場出荷時設定確認



手順⑦：「点検」ボタンを４秒以上長押ししてください。

リモコンチェックを終了します。(リモコンのみ再起動します。)

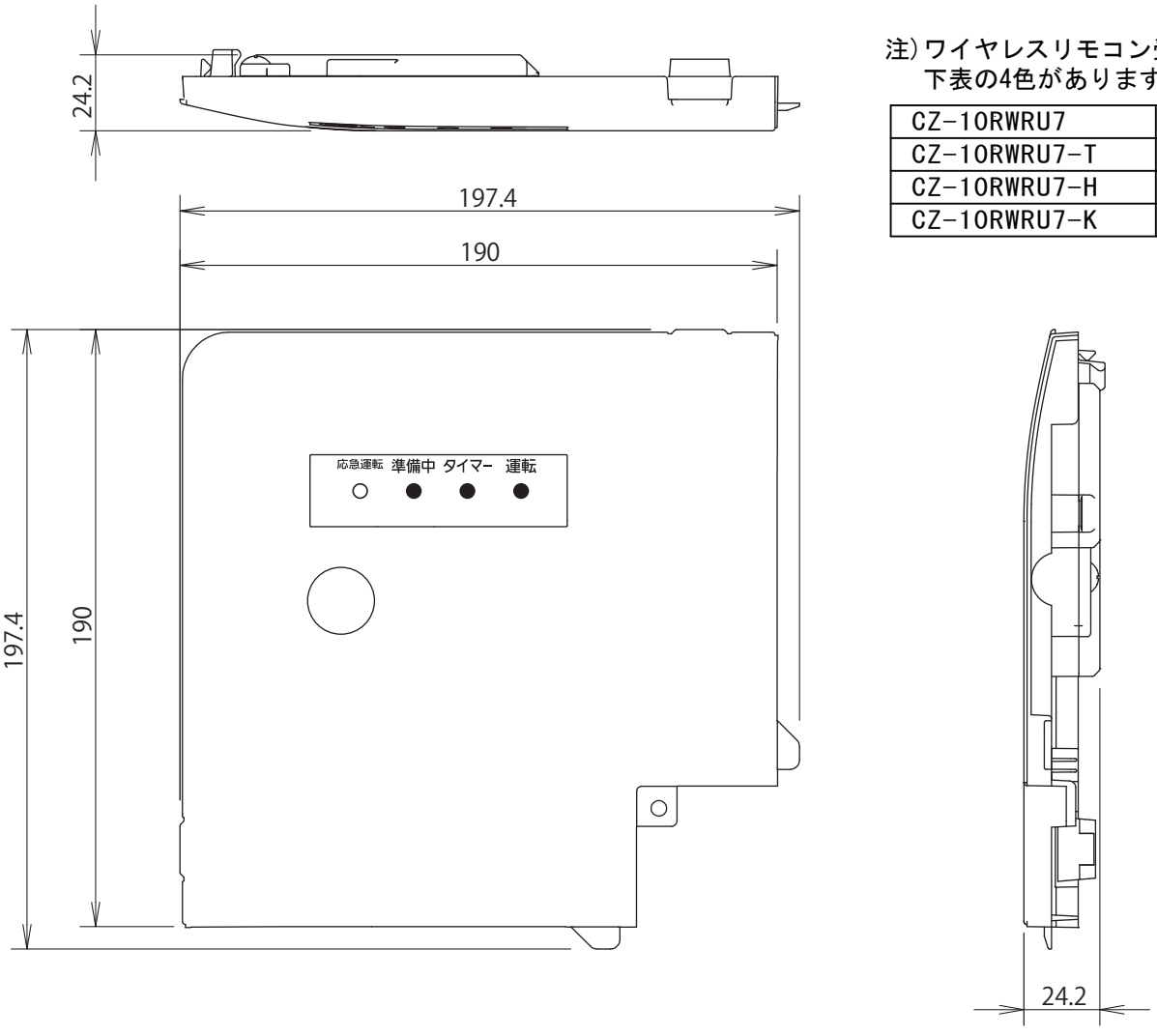
ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U5U））／CZ-10RWRU7(-T,-H,-K)…別売品　仕様

仕様

品　　番	CZ-10RWRU7 CZ-10RWRU7-T　/ CZ-10RWRU7-H / CZ-10RWRU7-K
外 形 寸 法	(高さ)24.2 mm ×(幅)197.4 mm ×(奥行)197.4 mm
質　　量	0.2kg
使用温度・湿度範囲	0℃ ～ 40℃ ・ 20% ～ 80% (屋内設置専用)
電　　源	DC12 V（室内ユニットより供給）

注)送信部は、この章(3.制御部品編)に記載の「CZ-10RWP2」をご覧ください。

●外形寸法図



注)ワイヤレスリモコン受信部の色は下表の4色があります。

CZ-10RWRU7	ホワイト
CZ-10RWRU7-T	ブラウン
CZ-10RWRU7-H	グレー
CZ-10RWRU7-K	ブラック

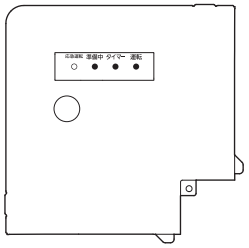
単位：mm

ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U5U））／ CZ-10RWRU7(-T,-H,-K)…別売品　施工

据付（電気）工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（４方向天井カセット形）

品番 **CZ-10RWRU7 / CZ-10RWRU7-T**
CZ-10RWRU7-H / CZ-10RWRU7-K



●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●お客さまへ：移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据付（電気）工事をする前に

❗
- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - **・電気設備に関する技術基準**
  - **・内線規程**
  - **・据付（電気）工事説明書**

（感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **ぬれた手で据付（電気）工事をしない**
（感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
（製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - **・結露するところ**
  - **・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **・水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ**
  - **・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **・有機溶剤の飛沫するところ**
  - **・電磁波が出る機械のあるところ**
  - **・電圧変動の多いところ**
  - **・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

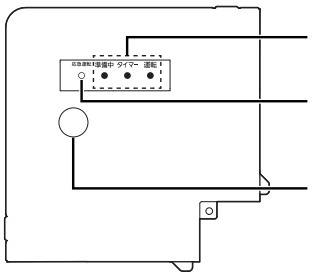
据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない。
・直射日光や直接外気が当たる、窓際など
・過度な衝撃や振動のあるところ
・熱源の近くなど
●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。
（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。
（映像の乱れ、雑音の原因）
●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）
●配線は、地中に埋設しない。
（落雷などにより、感電や火災、故障の原因）

Printed in Japan
ACXF60-45932
W1021-20923

ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U5U））／ CZ-10RWRU7(-T,-H,-K)…別売品　施工

各部の名前



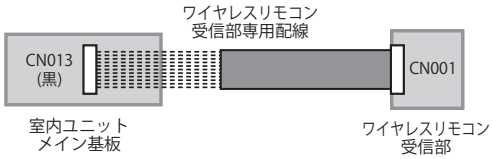
お知らせ

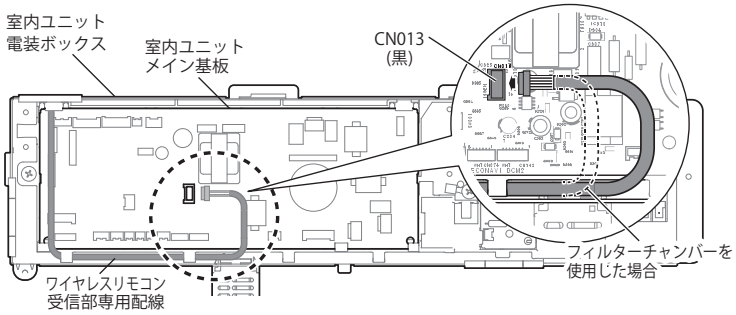
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので、取り付け位置についてはご注意ください。
・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯
（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

1 配線のしかた

● グループ制御時の接続可能台数
・室内ユニット：8台まで

■ 基本配線図

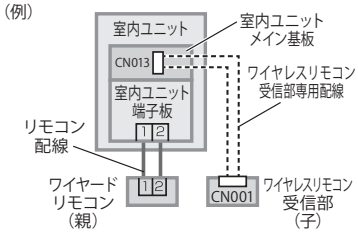




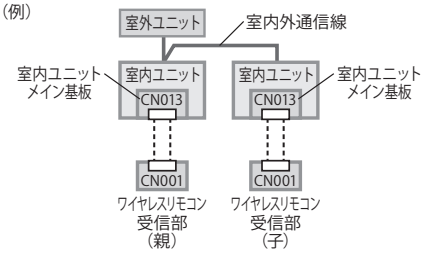
親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



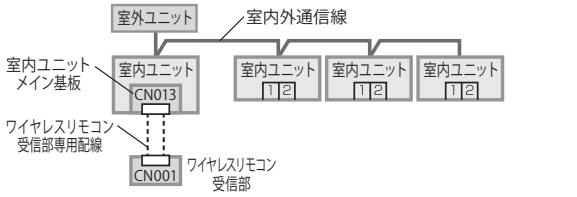
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。(図A)
● 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。(図B)
● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

図A　同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



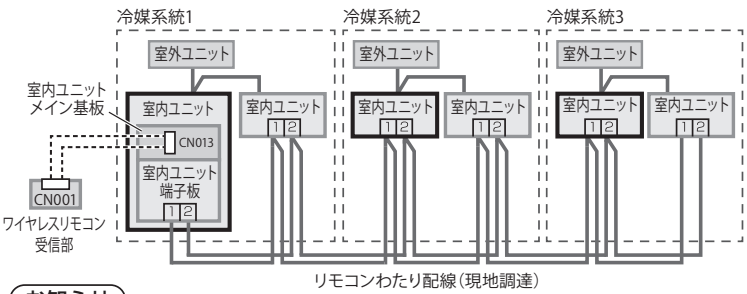
お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

お願い

● 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

図B　冷媒系統をまたぐ室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

● どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U5U)）／ CZ-10RWRU7(-T,-H,-K)…別売品　施工

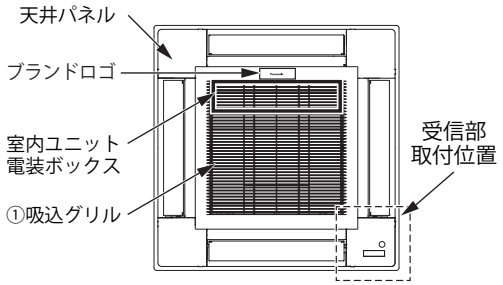
2 据え付ける

お願い リモコン親子設定、アドレス設定を行う場合は、「3 設定する」(P.4)を事前にご確認ください。

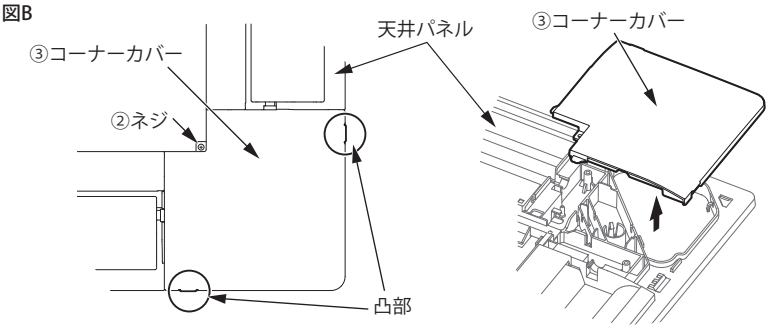
※ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）を取り付けられるコーナー部は、図Aの受信部取付位置のみとなります。
天井パネルを室内ユニットに取り付けたときの向きを考慮してください。

① 吸込グリルをはずします。（図A）
② コーナーカバーを固定しているネジをはずします。（図B）
③コーナーカバーの左右凸部を手前に引いてはずします。（図B）

図A

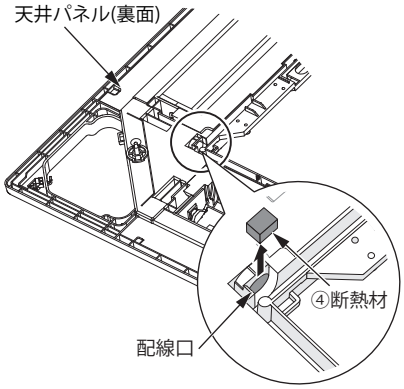


図B

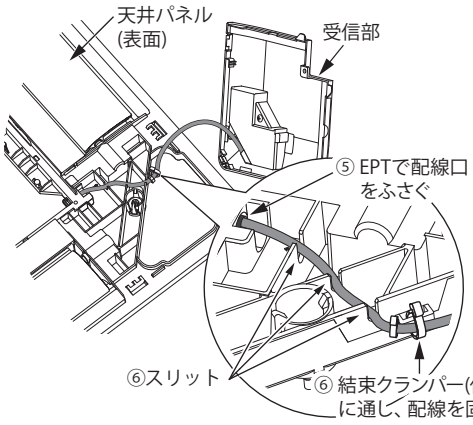


④ 天井パネルの裏側の配線口部分に取り付けてある断熱材をドライバー等で取り外します。(図C)
⑤ 受信部から出ている配線を天井パネルの配線口に通し、配線に巻かれているEPTで配線口をふさぎます。(図D)
⑥ 受信部から出ている配線をスリットにはめ込み、配線に取り付けてあるクランパーを目印に図のように結束クランパー(付属)で固定します。（図D）
配線の接続については、「1 配線のしかた」(P.2)を参照してください。
⑦ 受信部を天井パネルに、ツメが5か所収まるようにして嵌合し、②ではずしたネジで固定します。（図E）
※配線をはさまないようにご注意ください。

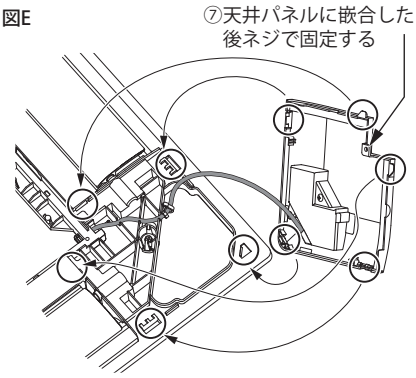
図C



図D

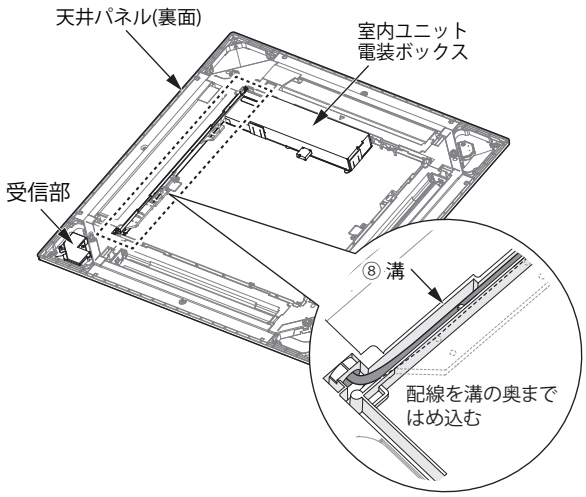


図E

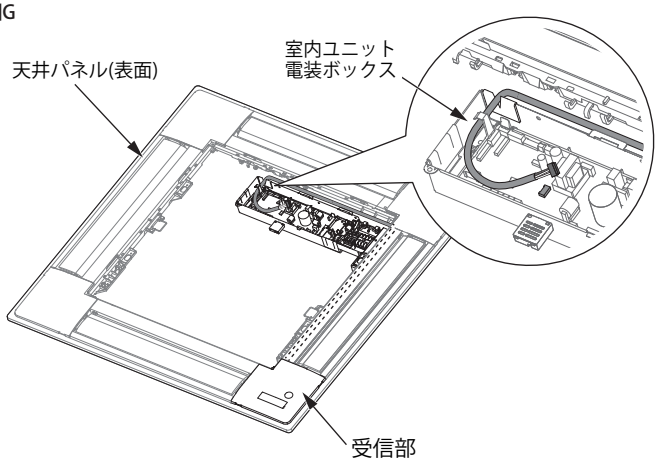


⑧ 図のように天井パネルの裏にある溝に配線をはめ込みます。（図F）
⑨ 配線を室内ユニット電装ボックスの中へ通します。（図G） 室内ユニット電装ボックスの接続方法は「1 配線のしかた」(P.2)を参照してください。
※天井パネルに付属の説明書もあわせてご覧ください。

図F



図G

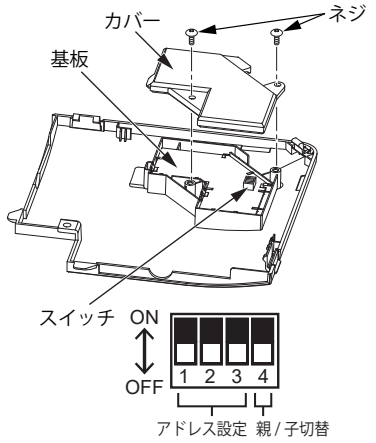


ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U5U））／ CZ-10RWRU7(-T,-H,-K)…別売品　施工

3 設定する

■ リモコン親子設定　　■ アドレス設定

これらの設定を行う場合は、受信部のカバーを取りはずす必要があります。



リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン 受信部の親子スイッチの位置	1 2 3 4	1 2 3 4

スイッチ（つまみ）をON側にすると子機の設定になります。

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- アドレス設定は基板のアドレススイッチで設定可能です。
- アドレス設定は応急運転ボタンを使用しても設定可能です。応急運転ボタンを4秒長押しするとアドレス設定モードになります(各ランプが1秒間隔で点灯します)。この状態で、アドレス設定したワイヤレス送信機を操作(運転ボタンを押す等)すると、アドレススイッチでの設定にかかわらず、送信機と同じアドレスが設定されます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

4 試運転する

準備：室内ユニットの据付工事説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を入れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンを4秒長押しで、アドレス設定モード(各ランプが1秒間隔で点灯)、さらに4秒長押しで試運転モード(各ランプが0.5秒周期で同時点滅)に設定されます。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを押します。表示ランプが消灯することを確認してください。

お願い
- 試運転以外の目的には長押ししないでください。（正常に使用できなくなる場合があります。）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

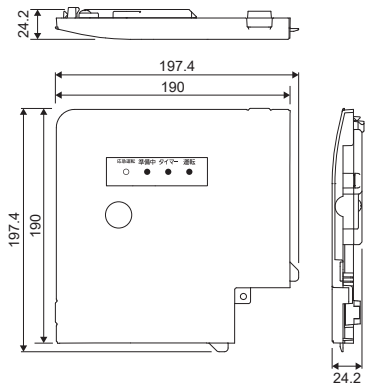
自己診断機能表と検出内容

右の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外ユニットサブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致(冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む)		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ →	◎ →	◎	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

外形寸法図



付属品

＜＞：個数

- 結束クランパー　＜1＞
- 据付（電気）工事説明書　＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWRU7 / CZ-10RWRU7-T CZ-10RWRU7-H / CZ-10RWRU7-K
外形寸法	（高さ）24.2 mm ×（幅）197.4 mm ×（奥行）197.4 mm
質量	0.2 kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　　※ 屋内設置専用
電源	DC 12 V（室内ユニットより供給）

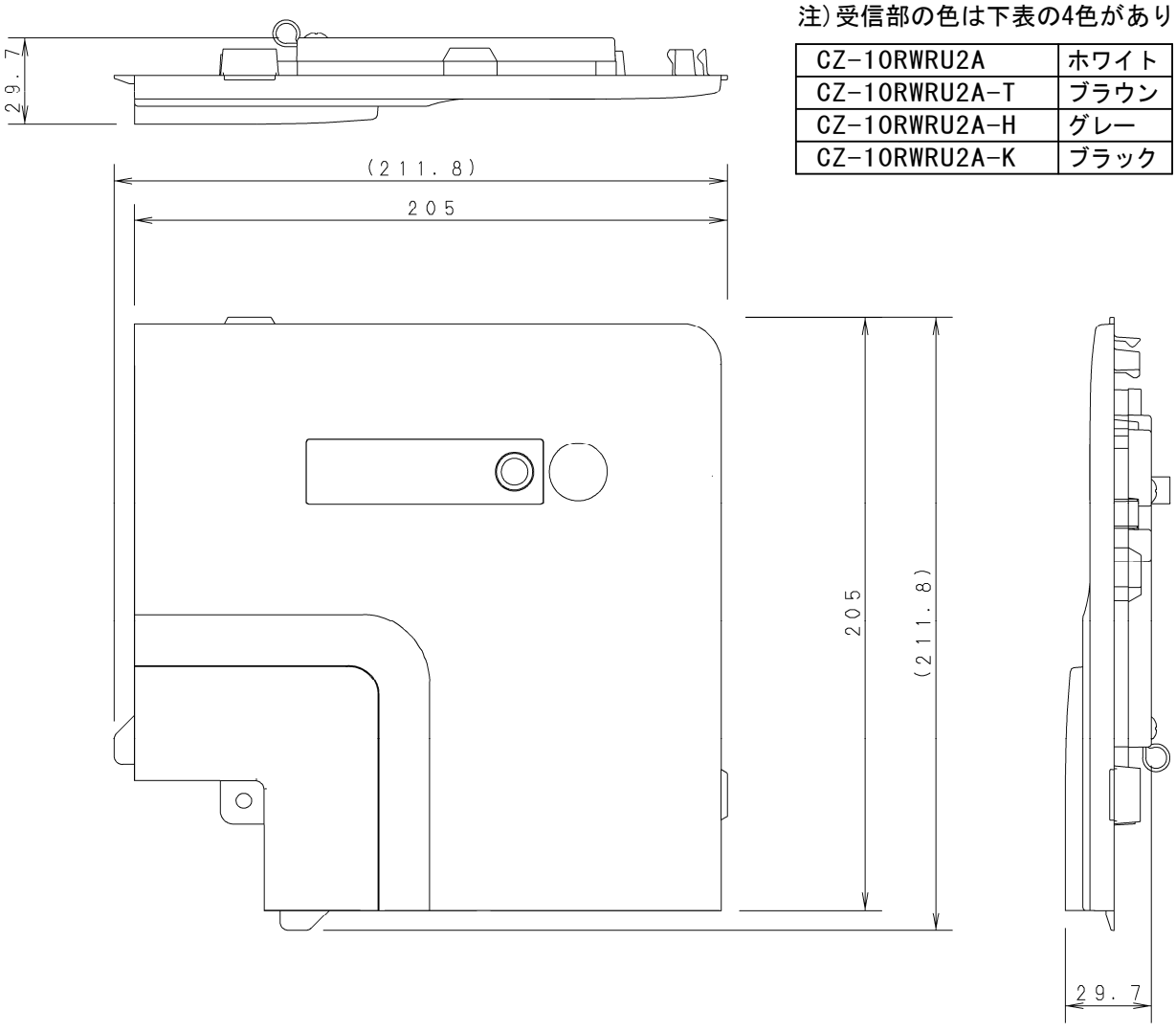
ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U4DU)）／ CZ-10RWRU2A (-T, -H, -K)…別売品　仕様

仕様

品　　番	CZ-10RWRU2A CZ-10RWRU2A-T / CZ-10RWRU2A-H / CZ-10RWRU2A-K
外 形 寸 法	(高さ)29.7 mm ×(幅)211.8 mm ×(奥行)211.8 mm
質　　量	160g
使用温度・湿度範囲	0℃ ～ 40℃ ・ 20% ～ 80% (屋内設置専用)
電　　源	DC16 V（室内ユニットより供給）

注)送信部は、この章(3. 制御部品編)に記載の「CZ-10RWP2」をご覧ください。

●外形寸法図



注)受信部の色は下表の4色があります。

CZ-10RWRU2A	ホワイト
CZ-10RWRU2A-T	ブラウン
CZ-10RWRU2A-H	グレー
CZ-10RWRU2A-K	ブラック

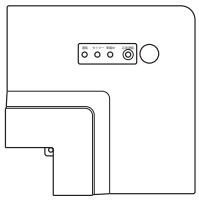
単位：mm

ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U4DU））／ CZ-10RWRU2A(-T,-H,-K)…別売品　仕様

据付（電気）工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（４方向天井カセット形）

品番 **CZ-10RWRU2A / CZ-10RWRU2A-T**
CZ-10RWRU2A-H / CZ-10RWRU2A-K



●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据付（電気）工事をする前に

❗
- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付（電気）工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付（電気）工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

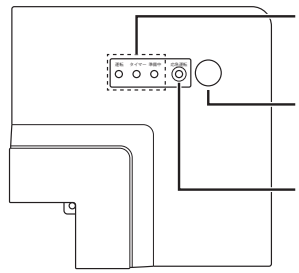
●次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 熱源の近くなど

●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。
（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。
（映像の乱れ、雑音の原因）
●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）
●配線は、地中に埋設しない。
（落雷などにより、感電や火災、故障の原因）

Printed in Japan
ACXF60-32604
W0918-40823

ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U4DU））／ CZ-10RWRU2A(-T,-H,-K)…別売品　施工

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

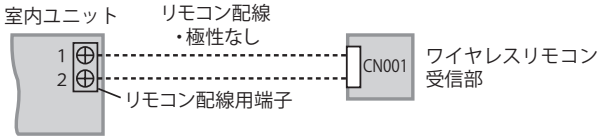
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

1 配線のしかた

● リモコン配線の総配線長：400 m以内
・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
● グループ制御時の接続可能台数
・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
● ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

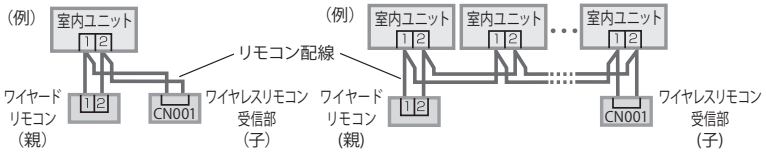
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　■ 室内ユニットが複数台のとき



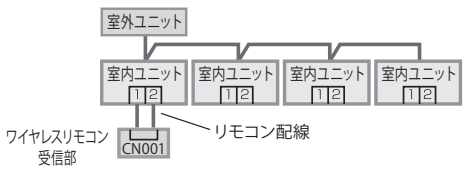
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
● 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
● リモコン側で渡る配線は禁止です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

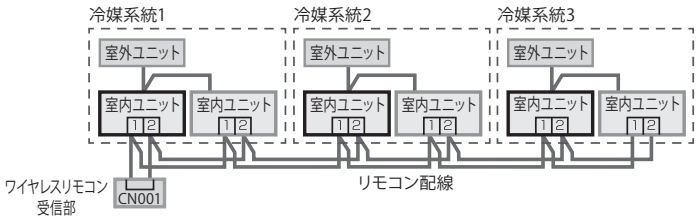
※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

● どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

● 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

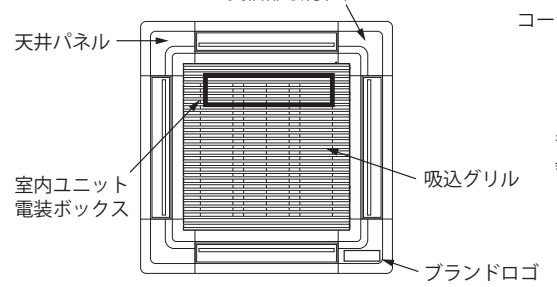
ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U4DU））／ CZ-10RWRU2A(-T,-H,-K)…別売品　施工

2 据え付ける

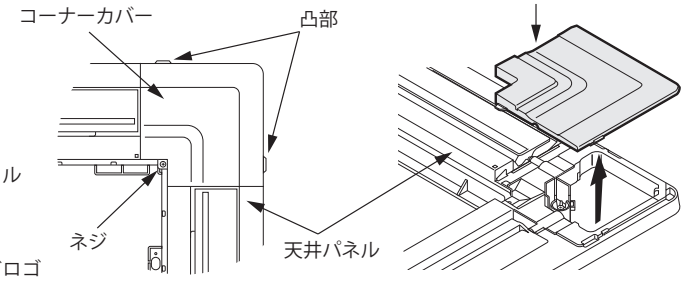
お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

※ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）を取り付けられるコーナー部は、図Aの受信部取付位置のみとなります。
　天井パネルを室内ユニットに取り付けたときの向きを考慮してください。
① 吸込グリルをはずします。（図A）
② コーナーカバーを固定しているネジをはずし、コーナーカバーの左右凸部を手前に引いてはずします。（図B）

図A

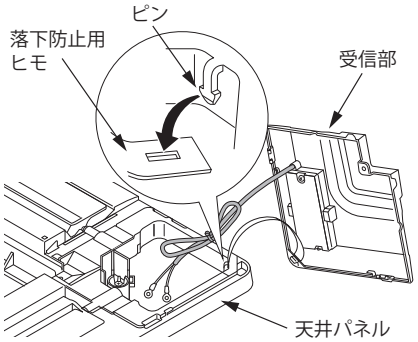


図B

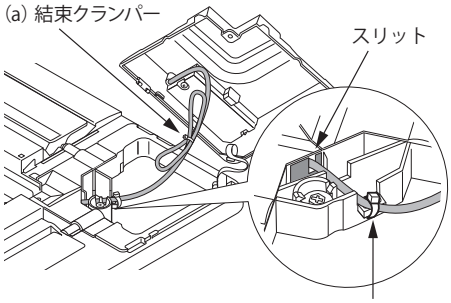


③ 受信部の落下防止用ヒモを天井パネルのピンに引っかけてください。（図C）
④ 受信部から出ている配線をスリットの中に通します。（図D）
　配線の接続については、表面の「1 配線のしかた」を参照してください。
⑤ 受信部がはずせる長さの配線をのこし、結束クランパー（付属）で固定します。（図D）
　※フィルターチャンバーを併用される場合は、図D (a) の結束クランパーを切ってください。
⑥ 受信部を天井パネルに、ツメが5か所収まるようにして嵌合し、②ではずしたネジで固定します。（図E）
※配線をはさまないようにご注意ください。
※天井パネルに付属の説明書もあわせてご覧ください。

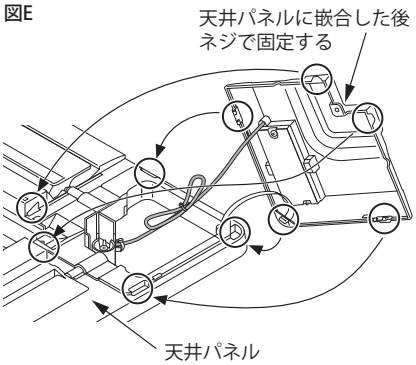
図C



図D



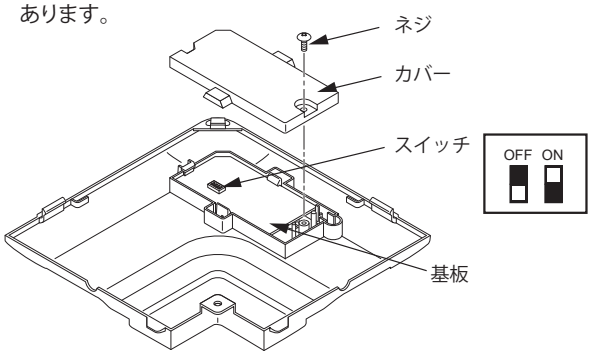
図E



3 設定する

■ リモコン親子設定　　■ アドレス設定

設定を行う場合は、受信部のカバーを取りはずす必要があります。



リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	1 2 3 4	1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

ワイヤレスリモコン受信部（4 方向天井カセット形（U4DU））／ CZ-10RWRU2A(-T,-H,-K)…別売品　施工

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致(冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む)		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		↳◎ →	◎ →	◎↲	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- **結束クランパー**　＜1＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWRU2A / CZ-10RWRU2A-T CZ-10RWRU2A-H / CZ-10RWRU2A-K
外形寸法	（高さ）29.7 mm ×（幅）211.8 mm ×（奥行）211.8 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

ワイヤレスリモコン受信部（2 方向天井カセット形）／ CZ-10RWRL2…別売品　仕様

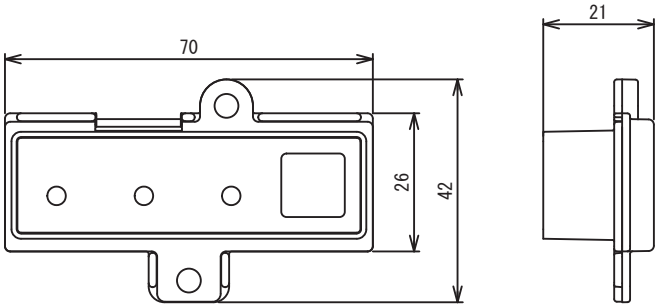
仕様

品　　番	CZ-10RWRL2
外 形 寸 法	受信部:(高さ)42 mm × (幅)70 mm × (奥行)21 mm 操作部:(高さ)55 mm × (幅)120 mm × (奥行)16 mm
質　　量	受信部:15g　　操作部:75g
使用温度・湿度範囲	0℃ ～ 40℃ ・ 20% ～ 80% (屋内設置専用)
電　　源	DC16 V (室内ユニットより供給)

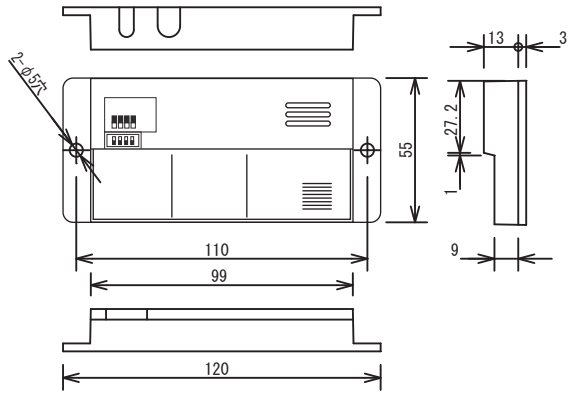
注)送信部は、この章(3.制御部品編)に記載の「CZ-10RWP2」をご覧ください。

●外形寸法図

受信部寸法

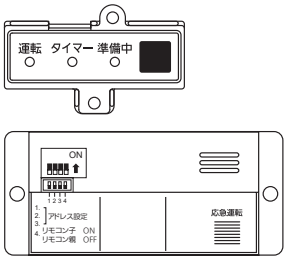


操作部寸法



単位：mm

ワイヤレスリモコン受信部（2 方向天井カセット形）／ CZ-10RWRL2…別売品　施工



据付（電気）工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（２方向天井カセット形）

品番 **CZ-10RWRL2**

●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据付（電気）工事をする前に

❗
- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付（電気）工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付（電気）工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

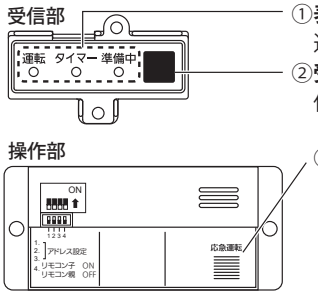
●次のような場所に据え付けない。
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
- 過度な衝撃や振動のあるところ
- 熱源の近くなど

●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。
（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。
（映像の乱れ、雑音の原因）
●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）
●配線は、地中に埋設しない。
（落雷などにより、感電や火災、故障の原因）

Printed in Japan
ACXF60-30084
W0318-40823

ワイヤレスリモコン受信部（2 方向天井カセット形）／ CZ-10RWRL2…別売品　施工

各部の名前



①**表示ランプ**
運転状態をお知らせします

②**受光部**
信号を受信します

③**応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

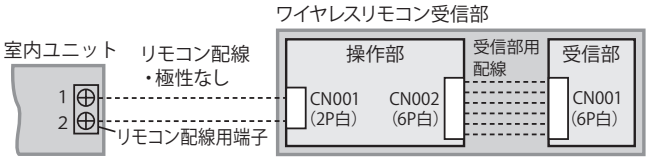
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

- インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
- プラズマディスプレイや液晶テレビ
- その他、出力の大きい照明や直射日光

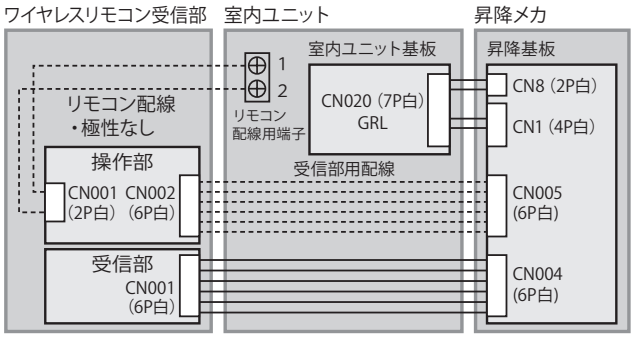
1 配線のしかた

- リモコン配線の総配線長：400 m以内
  - 室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
- グループ制御時の接続可能台数
  - 室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
- ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

■ 基本配線図



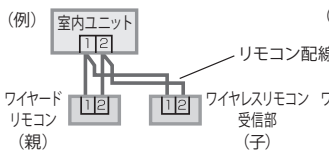
■ 配線図（昇降グリル付パネルの場合）



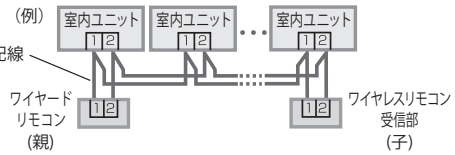
親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

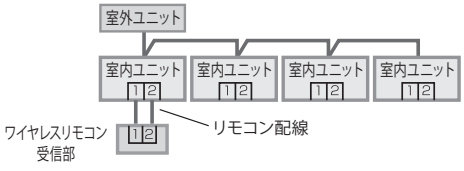
グループ制御（リモコンわたり配線）について

- R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
- リモコン側で渡る配線は禁止です。

※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

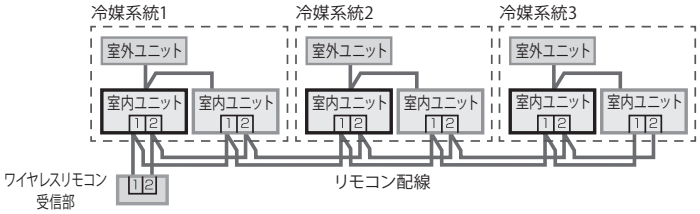
※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

- どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
- エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

- 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

ワイヤレスリモコン受信部（2 方向天井カセット形）／ CZ-10RWRL2…別売品　施工

2 据え付ける

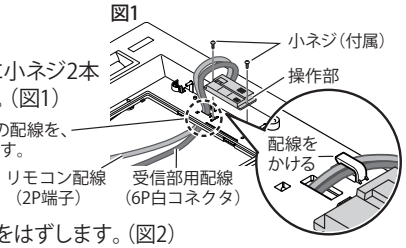
昇降グリルなしの場合

樹脂製天井パネルの場合

作業：天井パネル表面

①操作部を右図の位置に小ネジ2本（付属）で取り付けます。（図1）

図1



作業：天井パネル裏面

②パネルカバー（ネジ2本）をはずします。（図2）
受信部の取り付け位置にあるカバー（ネジ2本）をはずします。（図3）

③操作部から出ている受信部用配線を、受信部にしっかりと接続し、受信部（ネジ2本）を天井パネルに取り付けます。（図3）

図3

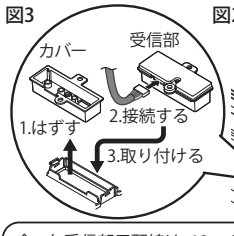
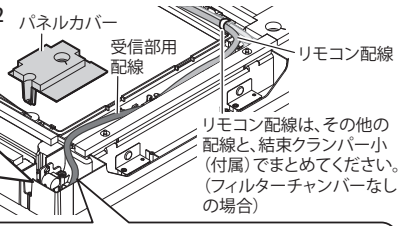
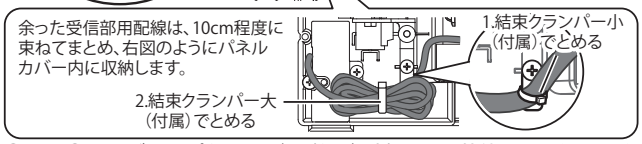


図2



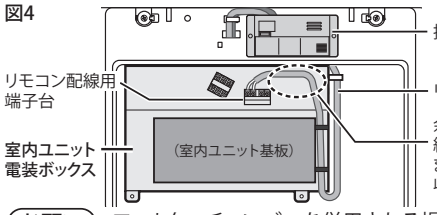


④手順②ではずしたパネルカバー（ネジ2本）を元の状態に取り付けます。
※ 配線の挟み込みにご注意ください。

作業：天井パネル表面

⑤下図を参考にして、リモコン配線を室内ユニットのリモコン配線用端子台に接続します。（図4）

図4

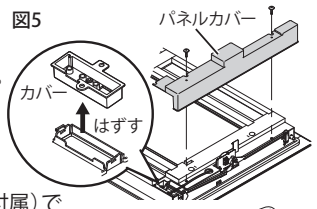


金属製天井パネルの場合

作業：天井パネル裏面

①パネルカバー（ネジ2本）をはずします。
受信部の取り付け位置にあるカバー（ネジ2本）をはずします。（図5）

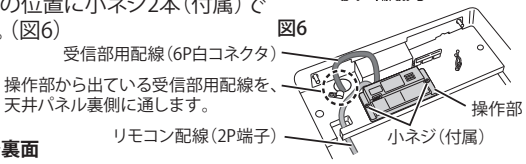
図5



作業：天井パネル表面

②操作部を右図の位置に小ネジ2本（付属）で取り付けます。（図6）

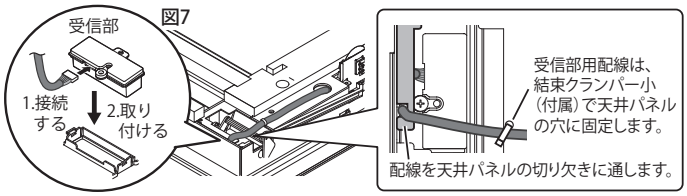
図6



作業：天井パネル裏面

③操作部から出ている受信部用配線を、受信部にしっかりと接続し、受信部（ネジ2本）を天井パネルに取り付けます。（図7）

図7

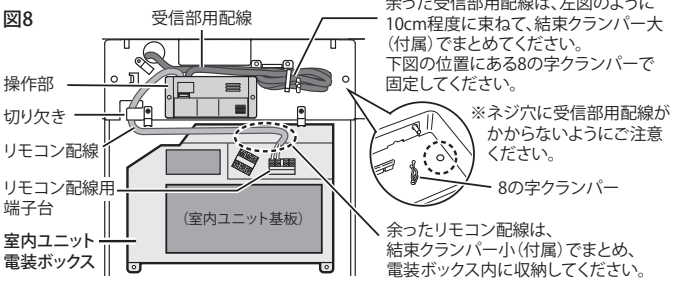


④手順①ではずしたパネルカバー（ネジ2本）を元の状態に取り付けます。
※ 配線の挟み込みにご注意ください。

作業：天井パネル表面

⑤下図を参考にして、リモコン配線を室内ユニットのリモコン配線用端子台に接続します。（図8）

図8



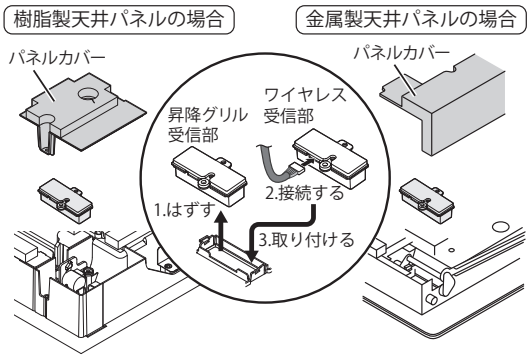
お願い　フィルターチャンバーを併用される場合は、フィルターチャンバーに付属の説明書もあわせてご覧ください。

昇降グリルありの場合

作業：天井パネル裏面

1. 昇降グリル受信部をワイヤレス受信部（IND-10RWRL）に付け換えます。（図9）
※受信部の付け換えは、天井パネルの取り付け作業前に行ってください。
①パネルカバー（ネジ2本）をはずします。
②昇降グリル受信部（ネジ2本）を取りはずし、配線（6P白コネクタ）をはずします。
③手順②ではずした配線を、ワイヤレス受信部にしっかりと接続し、ワイヤレス受信部を天井パネルに取り付けます。
④手順①ではずしたパネルカバー（ネジ2本）を元の状態に取り付けます。

図9



作業：天井パネル表面

2. ワイヤレス操作部を取り付けます。
①操作部を、図の位置に小ネジ2 本（付属）で取り付けます。（図10）
操作部から出ている2本の配線は、図のようにして天井パネル裏側に通します。（図10）
②操作部のリモコン配線（2P端子）は、図4または図8を参考にして、室内ユニットのリモコン配線用端子台に接続します。
③操作部の受信部用配線（6P白コネクタ）は、昇降基板に接続します。
昇降メカふた（ネジ3本）をはずし、配線通し穴を通して昇降基板のCN005コネクタ（6P白）に接続します。（図11）

3. その他の電気配線のしかたは、昇降グリル付パネルの説明書をご覧ください。

図10

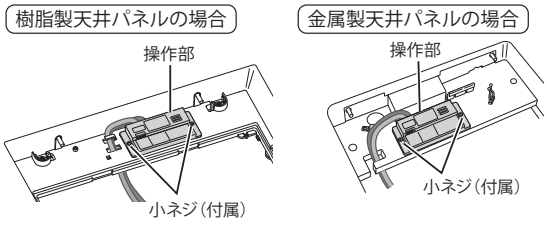
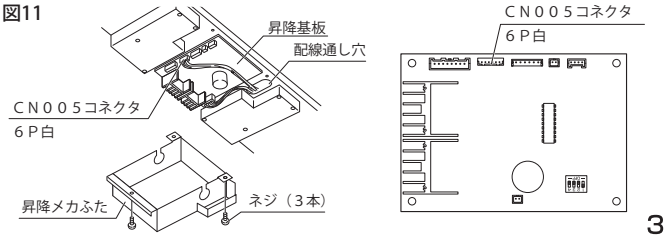
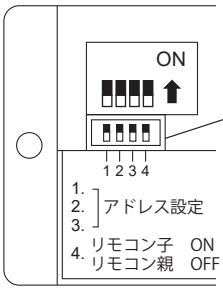


図11

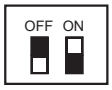


ワイヤレスリモコン受信部（2 方向天井カセット形）／ CZ-10RWRL2…別売品　施工

3 設定する



■ リモコン親子設定
■ アドレス設定



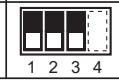
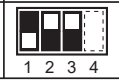
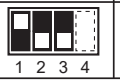
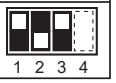
リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
受信部の親子スイッチの位置		

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレス送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能						

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

（お願い）

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容	警報表示	ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ 運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致(冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む)		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ →	◎ →	◎	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- **小ネジ**　M４×10　＜４＞
- **結束クランパー小**　＜３＞
- **結束クランパー大**　＜１＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜１＞

仕様

品番	CZ-10RWRL2
外形寸法	受信部：（高さ）42 mm ×（幅）70 mm ×（奥行）21 mm 操作部：（高さ）55 mm ×（幅）120 mm ×（奥行）16 mm
質量	受信部：15 g　　操作部：75 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　　※ 屋内設置専用
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）

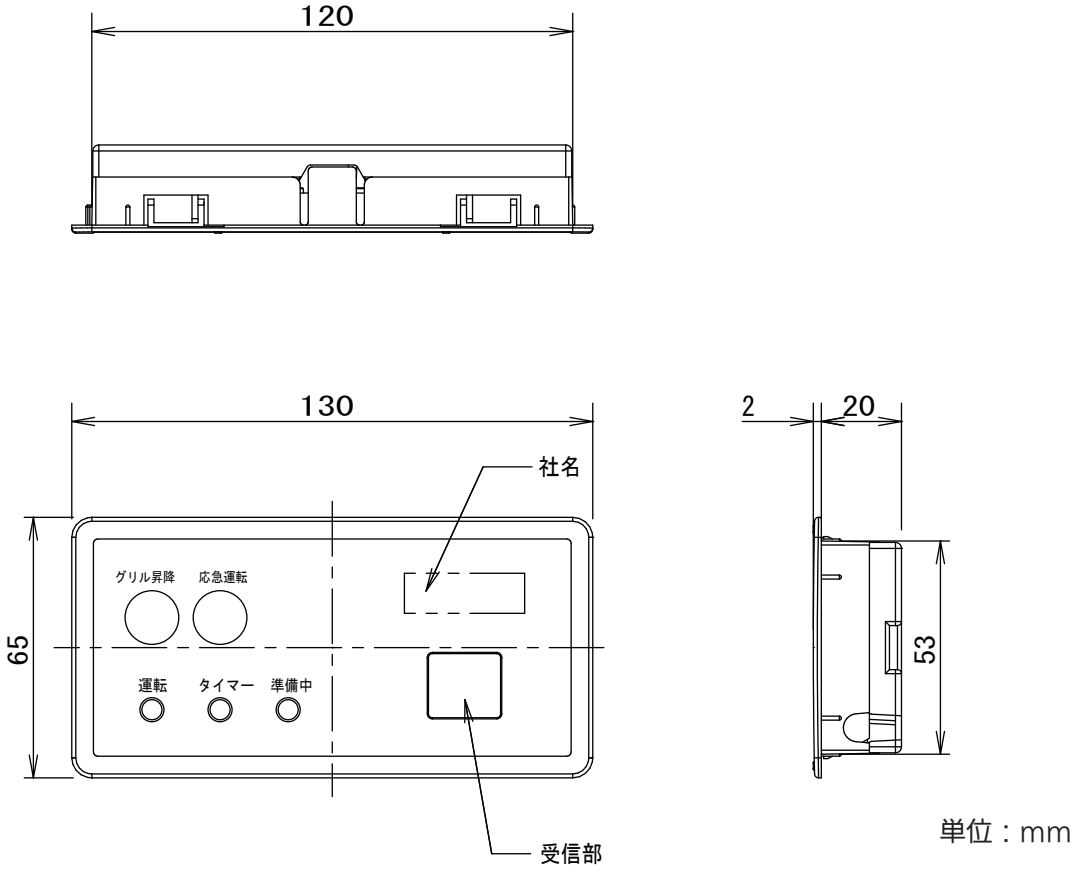
ワイヤレスリモコン受信部（1 方向天井カセット形 (スリム形を除く),
高天井用 1 方向カセット形）／ CZ-10RWRD1A…別売品　施工

仕様

品　　番	CZ-10RWRD1A
外 形 寸 法	(高さ)65 mm × (幅)130 mm × (奥行)22 mm
質　　量	82g
使用温度・湿度範囲	0℃ ～ 40℃ ・ 20% ～ 80% (屋内設置専用)
電　　源	DC16 V (室内ユニットより供給)

注)送信部は、この章(3. 制御部品編)に記載の「CZ-10RWP2」をご覧ください。

●外形寸法図



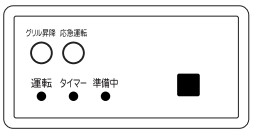
単位：mm

ワイヤレスリモコン受信部
（1 方向天井カセット形，高天井用 1 方向カセット形）／ CZ-10RWRD1A…別売品　施工

据付（電気）工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部
（1方向天井カセット形／高天井用1方向カセット形／天井吊形）

品番 **CZ-10RWRD1A**



- ●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- ●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
- ●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- ●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- ●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据付（電気）工事をする前に

❗
- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付（電気）工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付（電気）工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

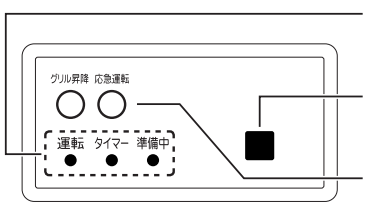
据え付け時のご注意

- ●次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 熱源の近くなど
- ●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- ●高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。
  （本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
- ●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から 1 m以上離す。
  （映像の乱れ、雑音の原因）
- ●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）
- ●配線は、地中に埋設しない。
  （落雷などにより、感電や火災、故障の原因）

Printed in Japan
ACXF60-32614
W0918-40823

ワイヤレスリモコン受信部
（1 方向天井カセット形，高天井用 1 方向カセット形）／ CZ-10RWRD1A…別売品　施工

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

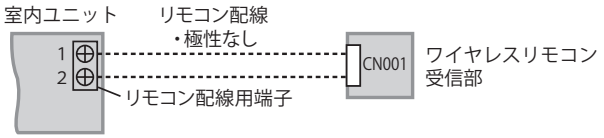
③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

（お知らせ）
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。
- インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
- プラズマディスプレイや液晶テレビ
- その他、出力の大きい照明や直射日光

1 配線のしかた

- リモコン配線の総配線長：400 m以内
  - 室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
- グループ制御時の接続可能台数
  - 室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
- ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

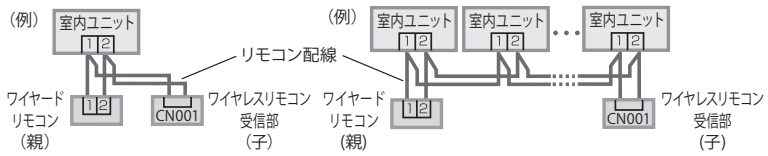
■ **基本配線図**



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ **室内ユニットが1台のとき**　■ **室内ユニットが複数台のとき**



（お知らせ）　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

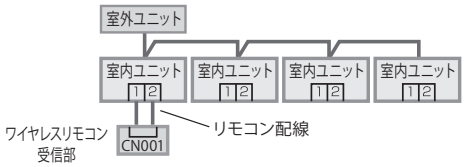
グループ制御（リモコンわたり配線）について

- R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
- リモコン側で渡る配線は禁止です。

※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

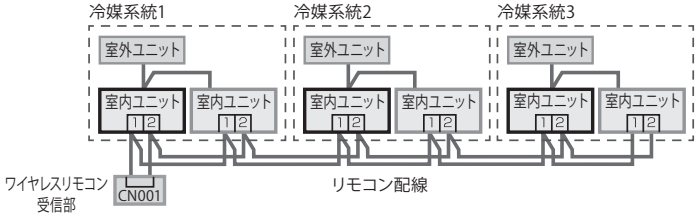
同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



（お知らせ）
どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



（お知らせ）
- どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
- エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

（お願い）
- 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

ワイヤレスリモコン受信部
（1 方向天井カセット形，高天井用 1 方向カセット形）／ CZ-10RWRD1A…別売品　施工

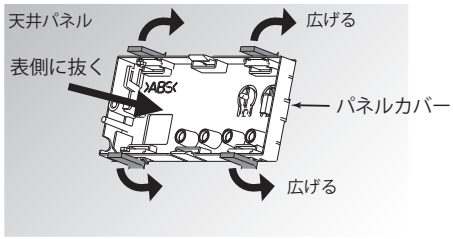
2 据え付ける

お願い　「3 設定する」を事前にご確認ください。

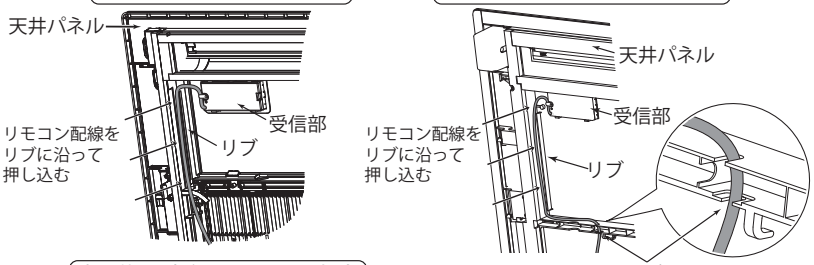
1方向天井カセット形／高天井用1方向カセット形の場合

① ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）の取り付け位置にあるパネルカバーをはずします。（図A）
② 天井パネルにリモコン配線を通し、受信部をパネル穴に取り付けます。
③ リモコン配線をリブに沿って押し込みます。高天井用1方向カセットの場合は、さらに切り欠きに通します。（図B）
④ 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
⑤ リモコン配線は室内ユニット内部の結束バンドで固定します。（図C）
高天井用1方向カセットに取り付ける場合は、結束クランパー（付属）でファンケーシングのラッチ部に固定してください。（図D）
※リモコン配線がファンに巻き込まれないように、確実に固定してください。
⑥ リモコン配線を室内ユニット電装ボックスの下側の穴から引き込んでリモコン配線用端子に接続します。

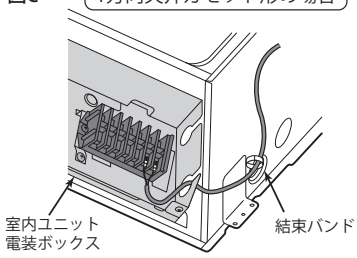
図A
（天井パネル裏側）



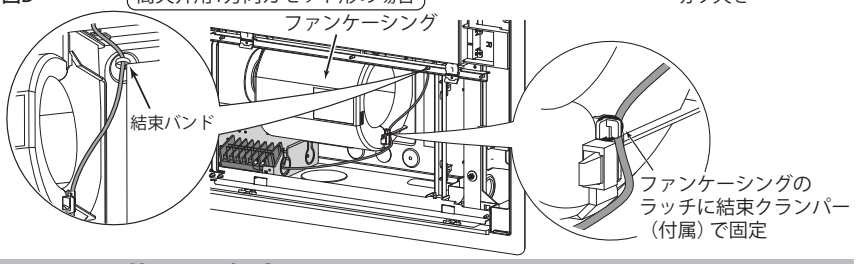
図B
（天井パネル裏側）　1方向天井カセット形の場合　　高天井用1方向カセット形の場合



図C　1方向天井カセット形の場合



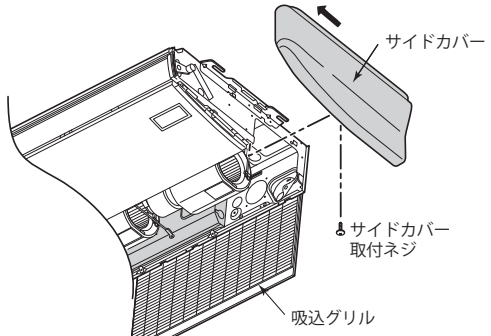
図D　高天井用1方向カセット形の場合



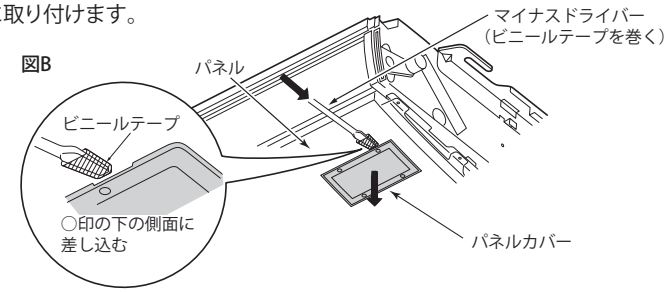
天井吊形の場合

① 吸込グリルを開きます。（図A）
② サイドカバー取付ネジをはずし、サイドカバーを前面へスライドさせてはずします。（図A）
③ 図Bのようにして、ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）の取り付け位置にあるパネルカバーをはずします。（図B）
※力を加えすぎるとパネルにキズをつける恐れがあります。
④ パネルにリモコン配線を通し、受信部をパネル穴に取り付けます。（図C）
⑤ リモコン配線は室内ユニット内部の結束バンドで固定します。（図C）
⑥ リモコン配線を室内ユニット電装ボックスの上側の穴から引き込んでリモコン配線用端子に接続します。
ルーバーモーター等の配線に沿わせて結束バンドで固定します。（図D）
※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。
⑦ 手順①、②ではずしたサイドカバーと吸込グリルを元の状態に取り付けます。

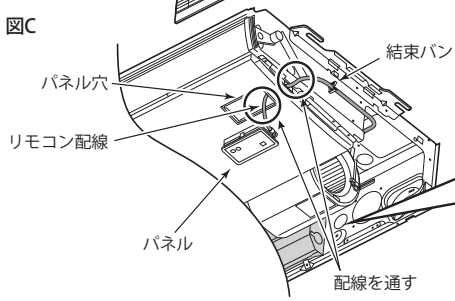
図A



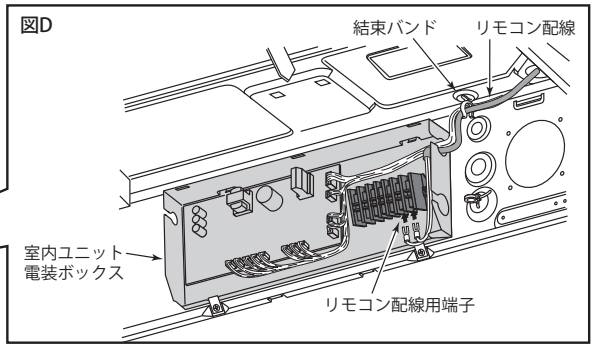
図B



図C



図D

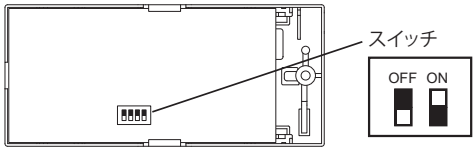


ワイヤレスリモコン受信部
(1 方向天井カセット形，高天井用 1 方向カセット形) ／ CZ-10RWRD1A…別売品　施工

3 設定する

■ リモコン親子設定　■ アドレス設定

設定を行う場合は、受信部のカバーを
取りはずす必要があります。



リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	1 2 3 4	1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ → ◎ → ◎			順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- **結束クランパー**　＜1＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWRD1A
外形寸法	(高さ) 65 mm × (幅) 130 mm × (奥行き) 22 mm
質量	82 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

ワイヤレスリモコン受信部（天井吊形）／CZ-10RWRT1A…別売品　仕様、施工

仕様

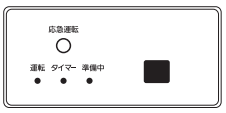
品番	CZ-10RWRT1A
外形寸法	(高さ) 65 mm × (幅) 141 mm × (奥行き) 22.5 mm
質量	85 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

注) 送信部は、この章 (3. 制御部品編) に記載の「CZ-10RWP2」をご覧ください。

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（天井吊形）

品番 CZ-10RWRT1A



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットの他の端子(電源配線用端子など)に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

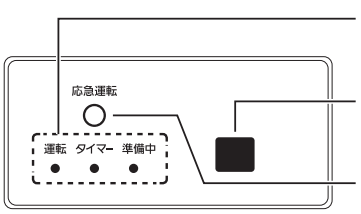
●次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 熱源の近くなど

●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から 1 m以上離す。
(映像の乱れ、雑音の原因)
●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
●配線は、地中に埋設しない。
(落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

Printed in Japan
ACXF60-32624
W0918-40823

ワイヤレスリモコン受信部（天井吊形）／ CZ-10RWRT1A…別売品　施工

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

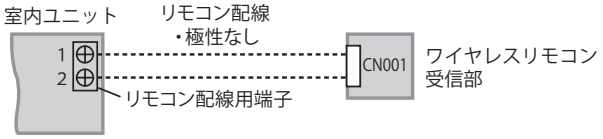
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

1 配線のしかた

● リモコン配線の総配線長：400 m以内
　・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
● グループ制御時の接続可能台数
　・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
● ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

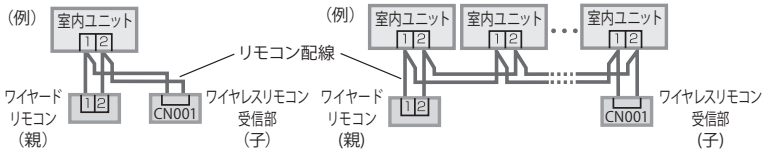
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　■ 室内ユニットが複数台のとき



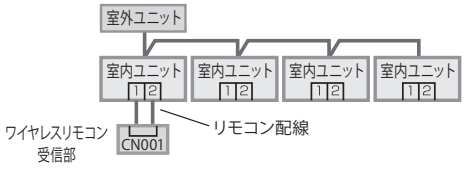
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
● 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
● リモコン側で渡る配線は禁止です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

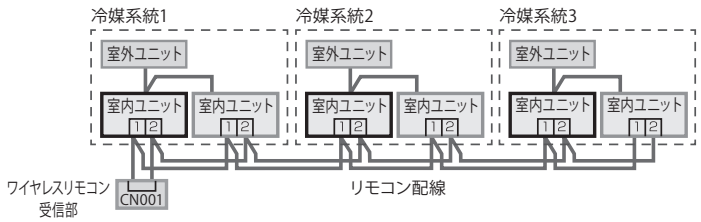
※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

● どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

● 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

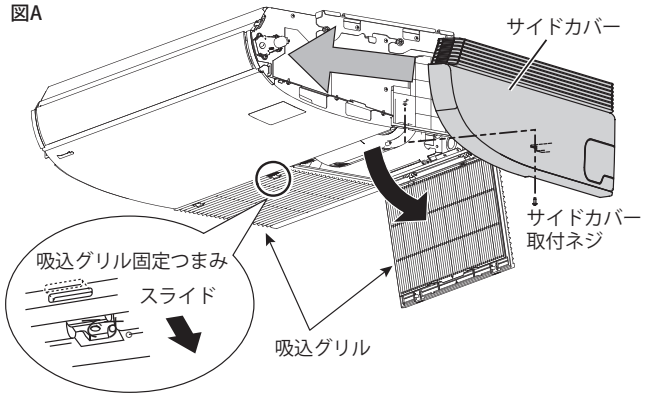
ワイヤレスリモコン受信部（天井吊形）／ CZ-10RWRT1A…別売品　施工

2 据え付ける

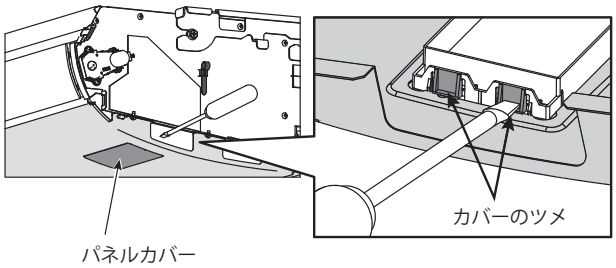
お願い　「3 設定する」を事前にご確認ください。

① 吸込グリル固定つまみをスライドし、吸込グリルを開きます。(図A)
② サイドカバー取付ネジをはずし、サイドカバーを前面へスライドさせてはずします。(図A)
③ 側面からマイナスドライバーを差し込み、ワイヤレスリモコン受信部(以降、受信部)の取り付け位置にあるパネルカバーのツメ(2か所)を押しながらカバーをはずします。(図B)
④ パネルにリモコン配線を通し、受信部をパネル穴に取り付けます。(図C)
※リモコン配線を通したあと、再生クランパーを締めてください。
⑤ 再生クランパーへリモコン配線を通し、リモコン配線入り口から室内ユニット内部へ引き込みます。(図C)
⑥ サドル(3か所)へリモコン配線を通し、室内ユニット電装ボックスへ引き込みます。(図D)
※電源線とリモコン線は分けて引き込んでください。
※ドレンアップキットを取り付けた状態でも配線の引き回しは変わりません。
⑦ リモコン配線をリモコン配線用端子へ接続し、配線固定具へ結束クランパー(付属)を通してリモコン配線を固定します。(図E)
※2線・4線式の場合は室内外信号線と共締めしてください。
※ワイヤードリモコンを併用される場合は、2本のリモコン配線を共締めしてください。
⑧ 手順①、②ではずしたサイドカバーと吸込グリルを元の状態に取り付けます。

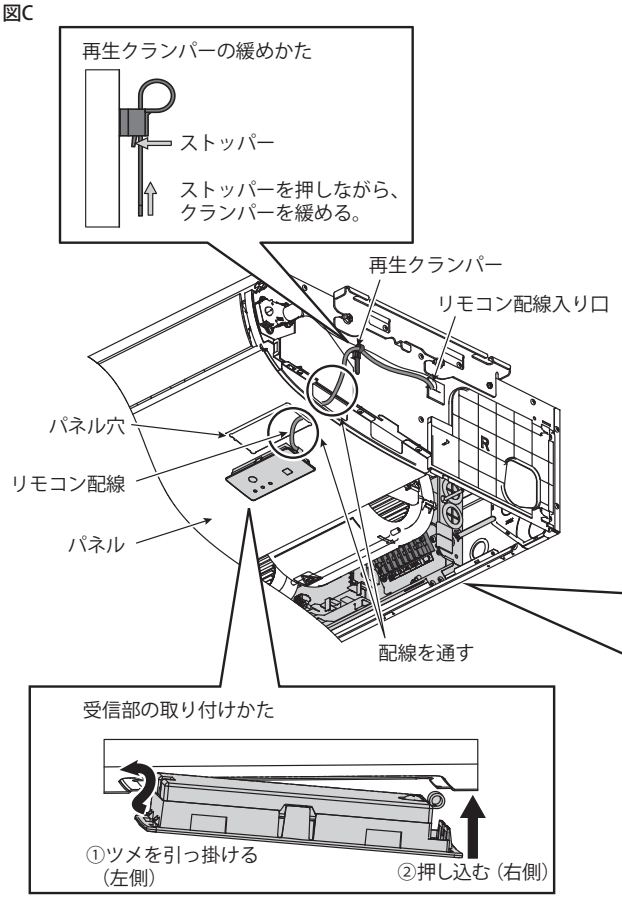
図A



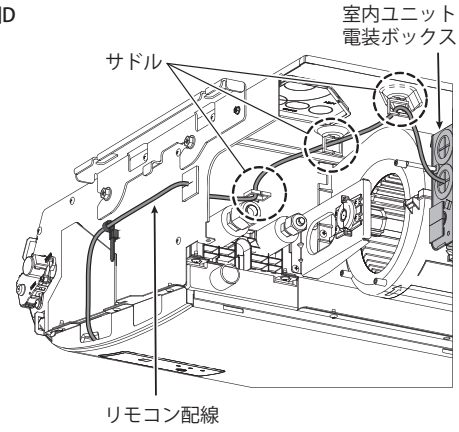
図B



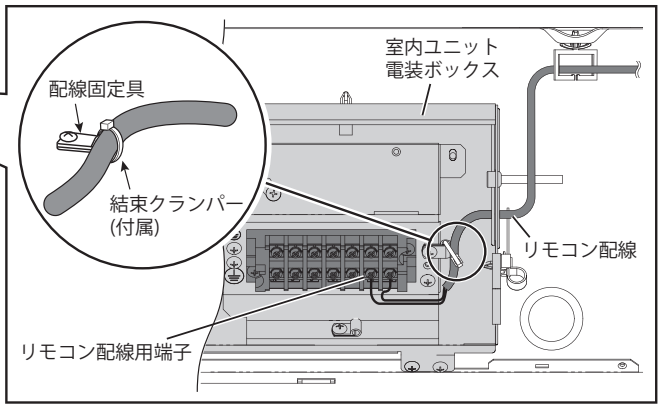
図C



図D



図E

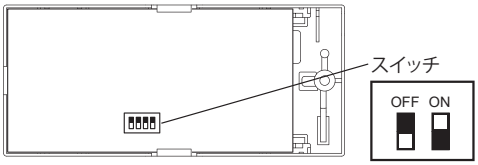


ワイヤレスリモコン受信部（天井吊形）／ CZ-10RWRT1A…別売品　施工

3 設定する

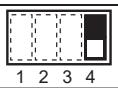
■ リモコン親子設定　■ アドレス設定

設定を行う場合は、受信部のカバーを
取りはずす必要があります。



リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	 1 2 3 4	 1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ → ◎ → ◎			順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- **結束クランパー**　＜1＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWRT1A
外形寸法	(高さ) 65 mm × (幅) 141 mm × (奥行き) 22.5 mm
質量	85 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

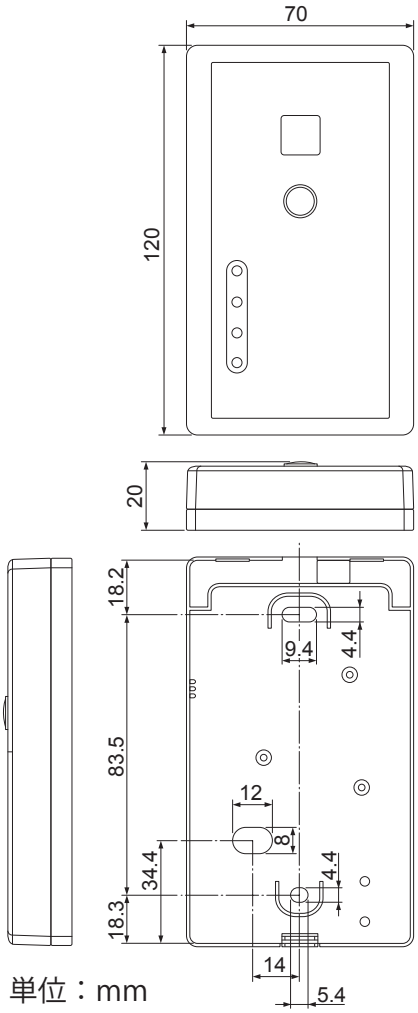
ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）／ CZ-10RWRC1A…別売品　仕様

仕様

品　　番	CZ-10RWRC1A
外 形 寸 法	(高さ)120 mm × (幅)70 mm × (奥行)20 mm
質　　量	75g
使 用 温 度・湿 度 範 囲	0℃ ～ 40℃ ・ 20% ～ 80% (屋内設置専用)
電　　源	DC16 V (室内ユニットより供給)

注)送信部は、この章(3. 制御部品編)に記載の「CZ-10RWP2」をご覧ください。

●外形寸法図



単位：mm

ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）／ CZ-10RWRC1A…別売品　施工



据付（電気）工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）

品番 **CZ-10RWRC1A**

●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据付（電気）工事をする前に

❗
- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付（電気）工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付（電気）工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （製品の落下による、けがの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

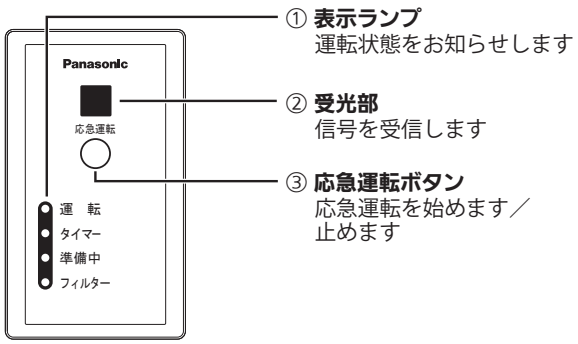
●次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
  - 熱源の近くなど

●床面から1 ～ 1.5mの高さに床面に対して垂直に据え付ける。
●複数並べて据え付けるときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す。
●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。
（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から 1 m以上離す。
（映像の乱れ、雑音の原因）
●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）
●配線は、地中に埋設しない。
（落雷などにより、感電や火災、故障の原因）

Printed in China
ACXF60-32784
W0918-40823

ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）／ CZ-10RWRC1A…別売品　施工

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

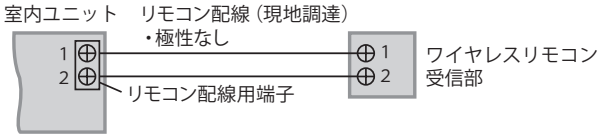
1 配線のしかた

● ケーブルの種類
・柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm²のケーブル（単線は使わない）
・シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上あるケーブル
・推奨品：VCTF（EM-ECTF *）/ VCT（ECO120 *）
* エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

● リモコン配線の総配線長：400 m以内
・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで

● グループ制御時の接続可能台数
・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）

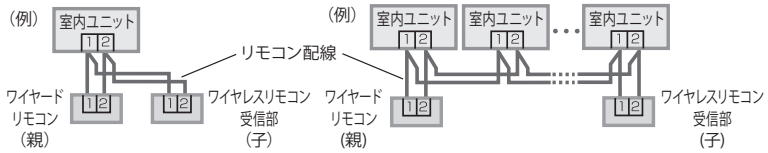
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　■ 室内ユニットが複数台のとき



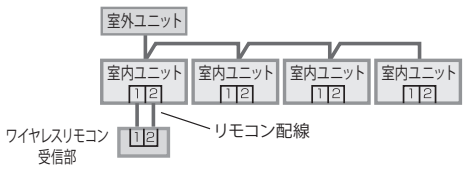
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
● 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
● リモコン側で渡る配線は禁止です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

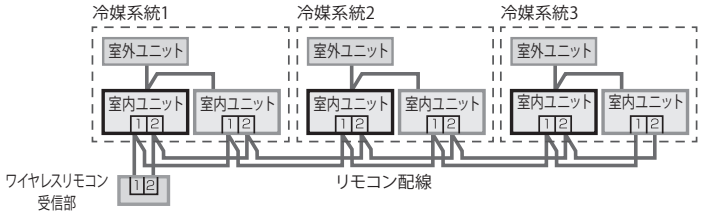
※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

● どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

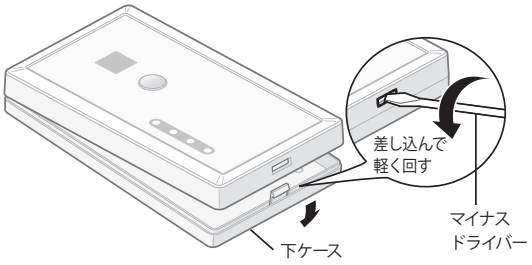
● 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）／ CZ-10RWRC1A…別売品　施工

2 据え付ける

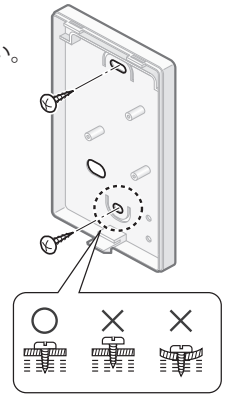
お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

手順 1 下ケースをはずす



■ 下ケースを取り付けるとき（手順2 ❶）
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。（下ケースの変形による、落下の原因）
- ドライバーを差し込む際は、ツメを折らないよう注意してください。

■ 上ケースを取り付けるとき（手順2 ❸）
- 手順2❷の図の経路で配線し、余分な配線をケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線が基板とケースにはさみ込まれ、故障の原因）

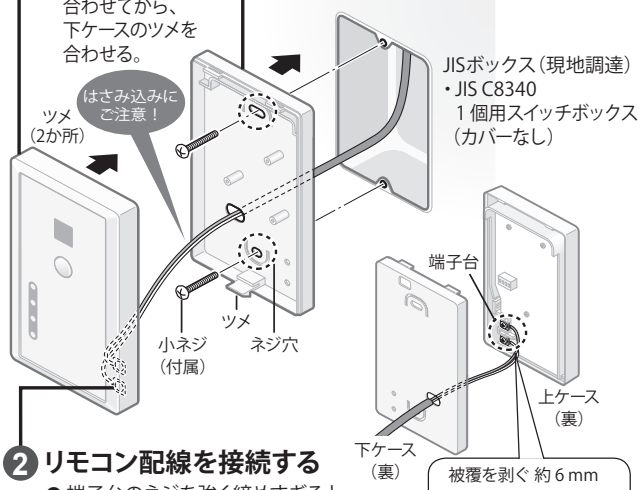


手順 2 壁に取り付ける

埋込型の場合

❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースをJISボックスに取り付ける
- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。



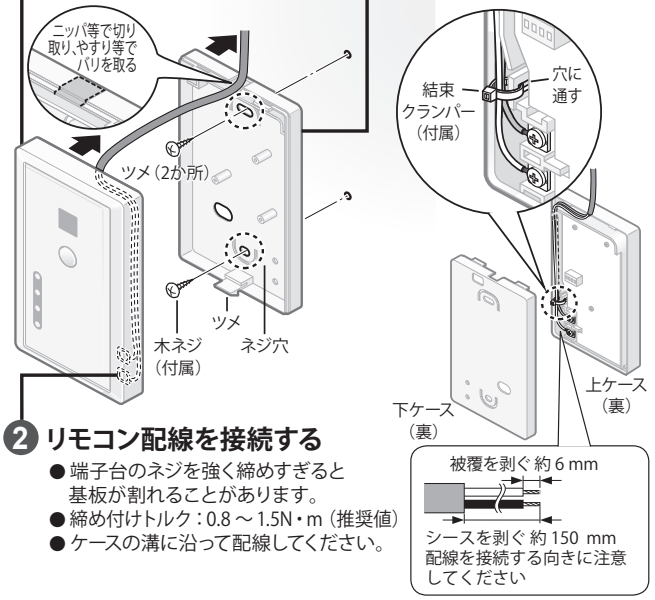
❷ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
- 締め付けトルク：0.8 ～ 1.5N・m（推奨値）



露出型の場合

❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

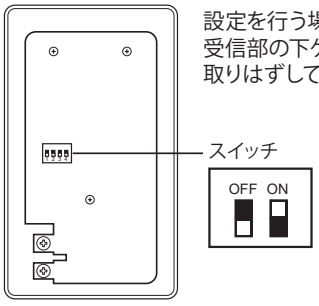
❶ 下ケースを壁に取り付ける



❷ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
- 締め付けトルク：0.8 ～ 1.5N・m（推奨値）
- ケースの溝に沿って配線してください。

3 設定する

■ リモコン親子設定　■ アドレス設定



設定を行う場合は、受信部の下ケースを取りはずしてください。

リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	 1 2 3 4	 1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）／ CZ-10RWRC1A…別売品　施工

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

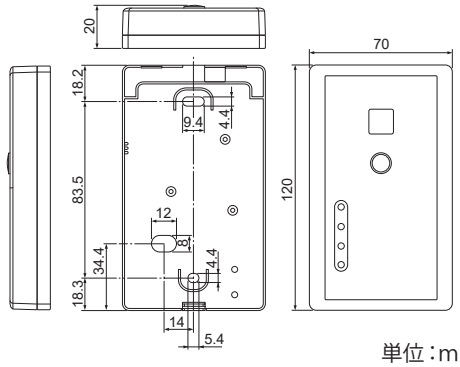
自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ →	◎ →	◎	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

外形寸法図



単位：mm

付属品

＜＞：個数

- **小ネジ**　M 4 × 25　（埋込型 JISボックス用）　＜2＞
- **木ネジ**　M 4 × 15. 5（露出型 壁面用）　＜2＞
- **結束クランパー**　＜1＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜1＞

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

仕様

品番	CZ-10RWRC1A
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 70 mm × (奥行き) 20 mm
質量	75 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

ワイヤレスリモコン送信部／ CZ-10RWP2…別売品　仕様

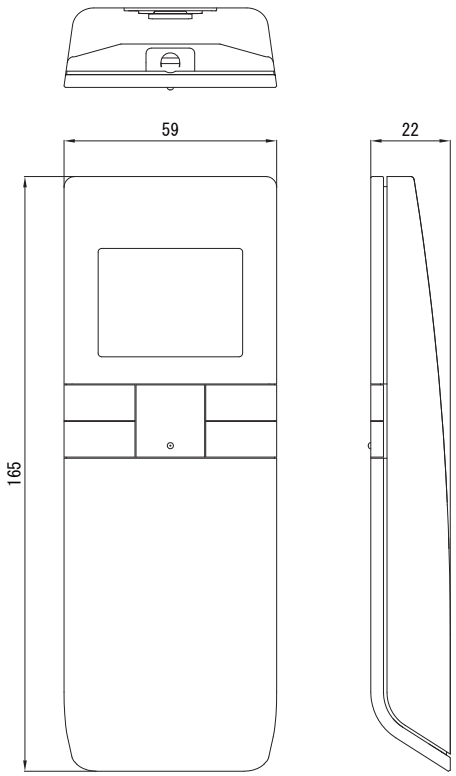
仕様

品　　番	CZ-10RWP2
外 形 寸 法	(高さ)165 mm × (幅)59 mm × (奥行)22 mm
重　　量	100g(乾電池、リモコンホルダーを含みません)
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80%　※屋内設置専用
電　　源	単4形乾電池×2本

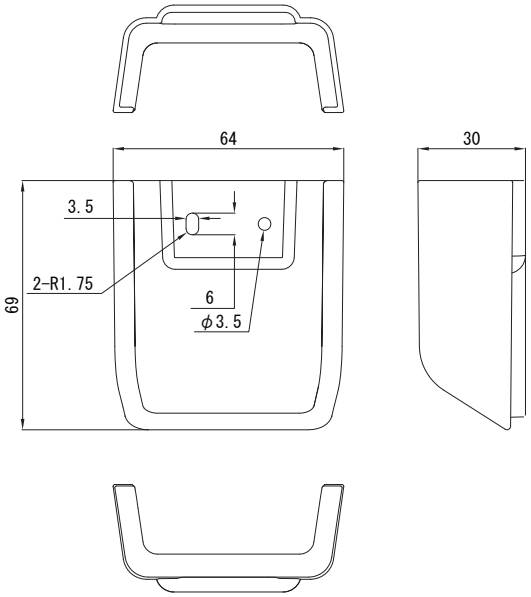
注)受信部は、この章(3. 制御部品編)に記載の各機種をご覧ください。

●外形寸法図

ワイヤレスリモコン寸法図



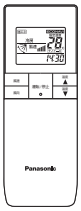
リモコンホルダー(付属)寸法図



単位：mm

ワイヤレスリモコン送信部／ CZ-10RWP2…別売品　機能と操作

ワイヤレスリモコン送信部

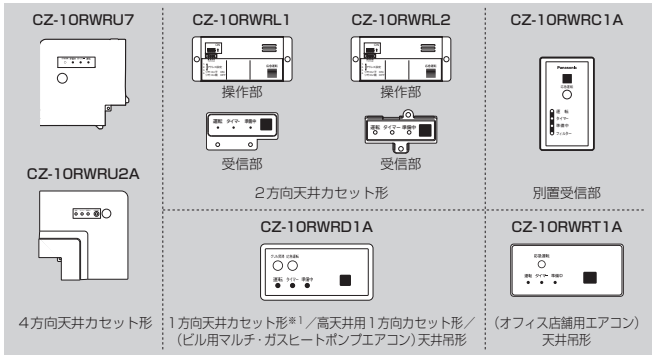


取扱説明書

ワイヤレスリモコン送信部

品番 **CZ-10RWP2**

ワイヤレスリモコン受信部



※1　1方向天井カセット　スリム形を除く。

据付(電気)工事説明書 別添付

このたびは、ワイヤレスリモコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。本書はワイヤレスリモコンの取扱説明書です。室内ユニットなどに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」、「使用上のお願い」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は室内ユニットなどに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

※ 別売のワイヤレスリモコン受信部とセットで、お使いください。

Printed in China
F0518-30423
ACXF55-21303

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容(禁止事項)です。	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る（水漏れや感電・火災の原因）

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
必ず守る
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）
必ず守る
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

ぬれた手で操作しない
禁止（感電や故障の原因）

⚠ 注意

リモコンを分解しない
禁止（感電や故障の原因）

水洗いしない
禁止（感電・火災の原因）

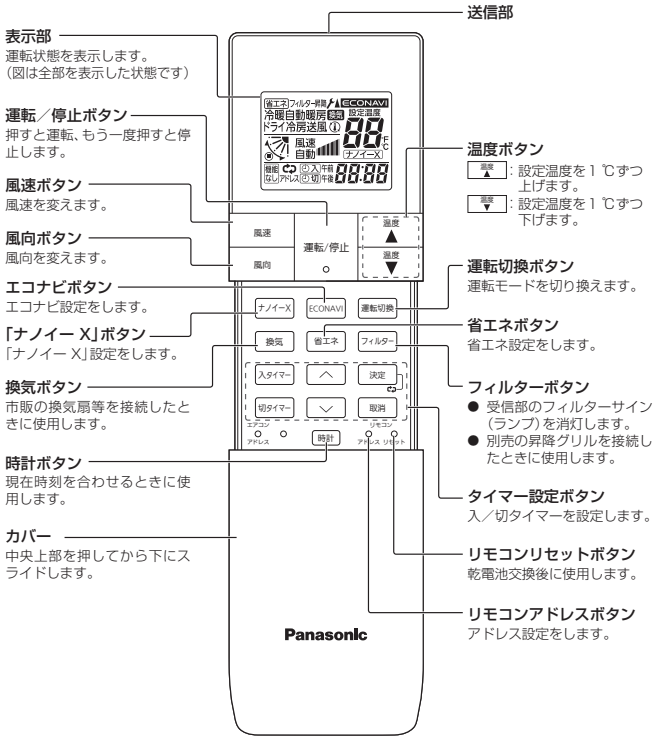
使用上のお願い

- **次のような場所に設置しない**
  - 湿気・油分・振動が多い／直射日光があたる／ 熱源の近く／結露する(故障の原因)
  - 受信部の近くに電子式瞬時点灯方式(ラピッドスタート方式)またはインバーター方式の蛍光灯がある(誤動作の原因)
- **スプレーを吹きかけない(誤動作や故障の原因)**
  - 液体(洗剤、アルコール、有機溶剤など)がかからないようにしてください。
- **アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない(液晶画面のくもり・変色や故障の原因)**
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

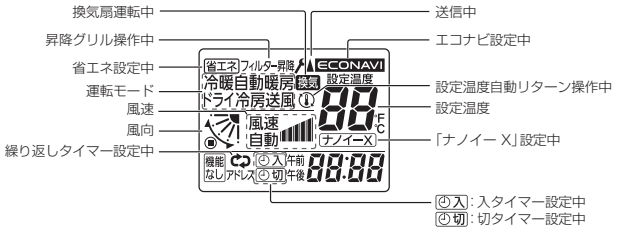
1. 各部の名前

1-1 ワイヤレスリモコン送信部

● 1台のリモコンで室内ユニット最多8台までグループ制御できます。

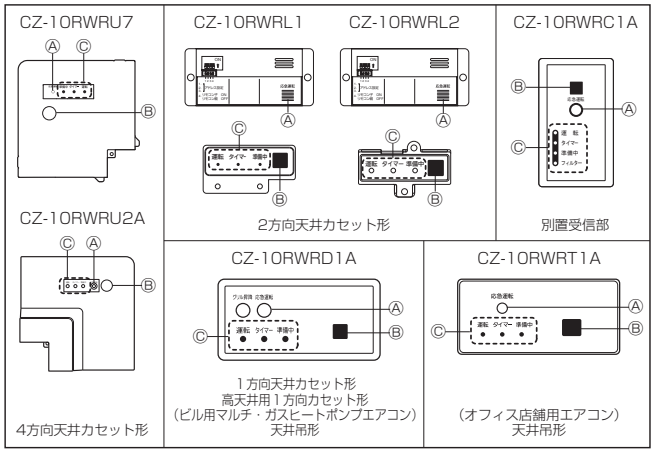


液晶画面



1-2 ワイヤレスリモコン受信部

● 室内ユニットに取り付けてあります。(別置受信部を除く)



● 壁掛形は、室内ユニットに付属の説明書をご確認ください。

Ⓐ **応急運転ボタン**(⇒「1-3 応急運転のしかた」)

Ⓑ **受信部**
送信部からの信号を受信します。

Ⓒ **表示ランプ**
異常発生中はいずれかが点滅します。表示ランプが点滅したときはお買い上げの販売店にご相談ください。

運転ランプ(緑)	運転中に点灯します。
タイマーランプ(緑)	タイマー予約中に点灯します。
準備中ランプ(橙)	暖房運転時、次のようなときに点灯します。 運転開始時／温度調節器がはたらいたとき／霜取運転中
フィルターランプ(赤) 別置受信部のみ	フィルターの掃除時期をお知らせします。

ワイヤレスリモコン送信部／ CZ-10RWP2…別売品　機能と操作

1-3 応急運転のしかた

次のようなとき、ワイヤレスリモコン受信部の応急運転ボタンを使って応急的に運転してください。
- ワイヤレスリモコン送信部の乾電池の容量がなくなった。
- ワイヤレスリモコン送信部が故障した。
- ワイヤレスリモコン送信部を紛失した。

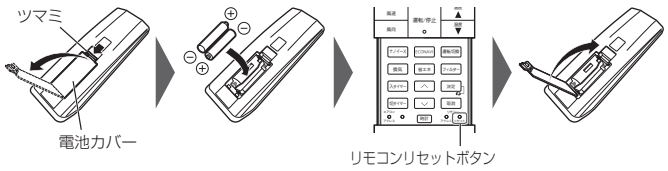
■ 壁掛形以外の場合

応急運転ボタン を押す
- 運転ランプが点灯します。
- 冷暖自動運転になります。冷暖自動不可の場合、運転を開始するときの室温が24 ℃以上のときは冷房運転、室温が24 ℃未満のときは暖房運転になります。
- 再度 応急運転ボタン を押すと停止します。

■ 壁掛形の場合
- 室内ユニットに付属の取扱説明書をご確認ください。

お知らせ
- 冷暖フリータイプ（3WAY）以外をお使いの場合「ピッピー」という音がして、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら冷房モードまたは暖房モードが不一致ですので、希望するモードでの運転はできません。（冷暖自動の機能がない機種で冷暖自動を選択しても同じ動作になります）
- 集中制御機器等で手元禁止の設定がされている場合、運転/停止 風速 風向 温度▲ 温度▼ 運転切換 省エネ を操作したとき、「ピッ」という音が5回して、変更を受け付けません。

2. 乾電池の入れかた



- ツマミをつまんで▽マーク方向へ押しながら開きます。
- 表示にしたがって⊕⊖極の向きを正しく入れてください。
- 現在時刻表示が「0:00」または「午前 12:00」にならないときは、電池を入れ直してください。

■ 乾電池は
- 寿命は約1年です。
- 消耗すると、受信しにくくなったり、リモコンの表示が薄くなったりします。
- 長時間使わないときは、取り出してください。（液漏れ防止のため）
- 乾電池が切れたときは、本体で応急運転ができます。（⇒「1-3 応急運転のしかた」）

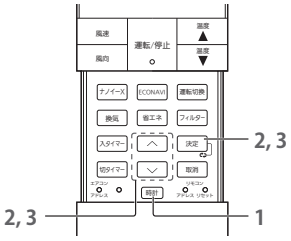
■ 乾電池を交換するときは
- 単4形アルカリ乾電池を2本同時に交換してください。
- 充電式電池（Ni-Cd、ニッケル水素など）は使わないでください（サイズ、形、性能の一部が異なるため）
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。
- 電池を取り外すと出荷設定に戻ります。
- 乾電池交換後は、現在時刻を合わせてください。（⇒「3. 現在時刻の合わせかた」）

3. 現在時刻の合わせかた

1 時計 **を2秒以上押す**
- 時刻表示が点滅します。（「：」（コロン）は点灯）

2 ＜ ＞ **で「時」を合わせ、** 決定 **を押す**

3 ＜ ＞ **で「分」を合わせ、** 決定 **を押す**

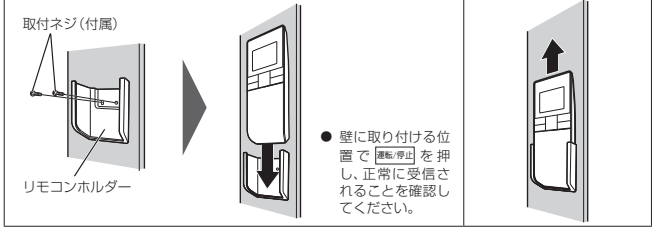


お知らせ
- 現在時刻の設定中に一定時間ボタン操作がない場合、表示している時刻に設定します。
- 時刻は定期的に合わせてください。

4. リモコンの取り扱いかた
- ワイヤレスリモコン送信部は手で持ち受信部に向けて操作をしてください。正常に受信されるとブザーが鳴ります。
- 送信できる距離は直線で6 m以内です。この距離は目安です。使用条件により短くなることがあります。
- 受信部（本体または別置受信部）との間に信号をさえぎる物がないようにしてください。
- 直射日光や本体からの風が直接当たる場所、ストーブの近く等に置かないでください。
- 落としたり、投げたり、水洗い等しないでください。
- 電子式瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）、またはインバーター方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。

壁等に取り付けてご使用になる場合

取り付ける		取り外す
付属のリモコンホルダーを取付ネジで止める	ワイヤレスリモコン送信部を上からスライドさせて取り付ける	ワイヤレスリモコン送信部を上へ引き抜く



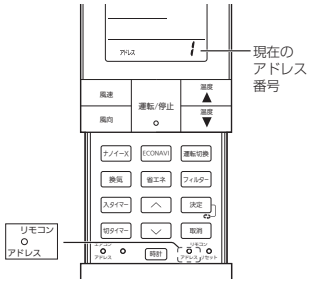
- ワイヤレスリモコン送信部が、受信部の受信できる範囲にない場合は、操作ができません。

5. ペアリングアドレス設定について

同じ部屋にワイヤレスリモコン対応の室内ユニットが複数台設置されているときに混信を防ぐためにアドレスを設定してください。
ワイヤレスリモコン送信部のアドレスと受信部のアドレススイッチの数字を合わせることにより、6台までの室内ユニットを対応するリモコンで個別に制御することができます。
ワイヤレスリモコン送信部には送信用のアドレス、受信部には受信用のアドレス設定があります。設定が異なるとリモコン操作を受け付けません。

アドレスの確認方法

先の細い物で リモコン アドレス を押す
- 現在のアドレス番号を5秒間表示します。
- このアドレスが受信部のアドレスと一致していれば、受信部からブザーが鳴ります。（ALLになっていれば必ずブザーが鳴ります）
- ALLになっていれば、受信部のアドレスに関わらずに操作できます。操作したい受信部にリモコンを向けて送信してください。



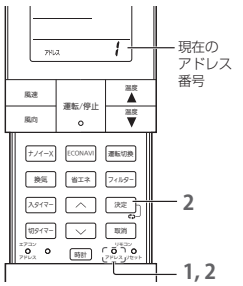
アドレスの合わせかた

■ 壁掛形以外の場合

＜リモコンの設定＞

1 **先の細い物で リモコン アドレス を4秒以上押す**
- 現在のアドレス番号が点滅表示します。

2 **リモコン アドレス で操作したい受信部のアドレスを選び、** 決定 **を押す**
- リモコン アドレス を押すたびに「ALL（すべてのアドレス）→1→2→3→4→5→6」の順で切り換わります。
- 受信部のアドレス設定と一致していれば受信部からブザーが鳴ります。



お知らせ
- 受信部のアドレスは、ご使用のワイヤレスリモコン受信部の説明書に従って設定してください。設定はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

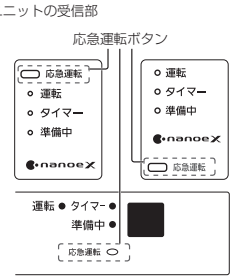
■ 壁掛形の場合

＜室内ユニットの設定＞

1 **受信部の 応急運転ボタン を4秒以上押す**
- 運転ランプ → タイマーランプ → 準備中ランプの順で点灯を1秒周期で繰り返し、アドレス設定の準備状態となります。

＜リモコンの設定＞

2 **「■ 壁掛形以外の場合」（⇒上記）の手順1～2を行う**
- 設定を続けて行うには、「■ 壁掛形以外の場合」の手順**2**を繰り返します。
- 3分間リモコンからのデータ送信がない場合、室内ユニットのアドレス設定準備は終了します。
- 室内ユニットのアドレス設定準備を終了する場合、受信部の 応急運転ボタン を押してください。



6. 対応機能について

お使いのワイヤレスリモコン受信部の機種によっては、一部の機能が使用できません。

受信部の機能の有無については、リモコン アドレス を押したときのブザー音で確認できます。

機能	リモコン アドレス を押したときのワイヤレス受信部のブザー音	
	「ピピッ」の場合	「ピッ」の場合
風速設定	5段階設定 ※1	3段階設定 ※1 ※2
「ナノイー X」設定 エコナビ設定 省エネ設定 個別風向固定設定	機能あり ※1	この機能は使用できません ※3
設定温度自動リターン	機能あり	

※1　室内ユニットの機種やオプション機器の組み合わせによって使用できる機能が異なります。室内ユニットタイプが同じでも能力や年式により機能が異なる場合があります。室内ユニットの設定できる機能については室内ユニットの取扱説明書を参照してください。

※2　、、の3段階の風速設定が可能です。（を選択時は 、を選択時は と同じ風速で動作します）

※3　ナノイー X ECONAVI 省エネ ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）

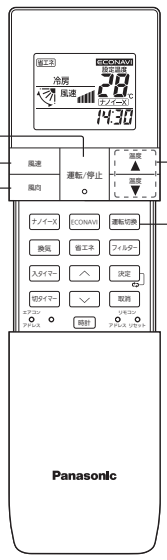
7. 仕様

品　　番	CZ-10RWP2
寸　　法	（高さ）165 mm×（幅）59 mm×（奥行）22 mm
質　　量	100 g（乾電池、リモコンホルダーを含みません）
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20%～80%（屋内設置専用）
時 計 精 度	±90秒／月（常温25 ℃）
電　　源	単4形アルカリ乾電池×2本

ワイヤレスリモコン送信部／ CZ-10RWP2…別売品　機能と操作

8. 基本の使いかた

- 漏電しゃ断器は、ユニットの説明書を参照し、事前に入れてください。
- ワイヤレスリモコン送信部は手で持ち受信部に向けて操作をしてください。



運転／停止する

運転/停止 を押す

- 運転/停止 を押しても停止できないときは、漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店へお知らせください。
- 運転を停止しても、室外ユニットはしばらく運転するときがあります。

設定温度を変える

温度 ▲ ▼ を押す

- 冷暖自動　：17 ℃～27 ℃
  暖房　　：16 ℃～30 ℃
  ドライ・冷房：18 ℃～30 ℃
- 送風時は温度設定ができません。
- 機器によって設定できる温度範囲が異なります。
- 上限温度はシステムや使用条件により異なります。上限温度を変更するには（⇒「17. 各種設定について」）

風速を変える

風速 を押す

- 押すたびに「 → → → → 風速自動」の順で切り換わります。
- 送風時は風速自動になりません。
- 暖房時、風速「 」で運転して暖まりが良くない場合は、風速を「 」や「 」に切り換えてみてください。
- 機種によって選択可能な風速が異なります。
- 機能が付いていない場合は、機能なし と表示され、使用できません。

運転モード（冷暖自動／暖房／ドライ／冷房／送風）を変える

運転切換 を押す

- 押すたびに「冷暖自動→暖房→ドライ→冷房→送風」の順で切り換わります。
- 冷暖自動について（⇒下記）
- 冷房専用タイプは、冷暖自動、暖房運転ができません。
- 機種によって選択可能な運転モードが異なります。運転モードの表示を変更するには（⇒「17. 各種設定について」）

風向を変える

風向 を押す

- 押すたびに「 → → → → → → (スイング) → (スイング停止)」の順で切り換わります。
- スイング中に 風向 を押すと、お好みの位置でフラップを止められます。
- 暖房準備時は、スイングや風向設定にかかわらず、フラップが上向きになります。
- 機種によって選択可能な風向が異なります。
- 機能が付いていない場合は、機能なし と表示され、使用できません。

● リモコンで操作するフラップは絶対に手や棒で動かさないでください。故障の原因になります。

冷暖自動について

設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。
冷暖自動は、冷暖フリータイプ（3WAY）や同一冷媒系統内の全室内ユニットが１つのグループ制御になっている場合のみ可能です。ガスヒートポンプエアコンをお使いの方は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

9. 吹出口ごとに風向を設定する　個別風向固定設定

（対応機種：4方向天井カセット形）

室内の状況に合わせて吹出口ごとの風向を個別に設定できます。
風向 で操作しても（⇒「風向を変える」）、ここで設定した風向は変更されません。

1　風向 決定 を同時に4秒以上押す

- 「 」が点滅し、設定画面に切り換わります。

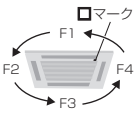
2　温度 ▲ ▼ で設定する室内ユニットの番号を選び、決定 を押す

- 温度 ▲ ▼ を押すと、「U1↔U2↔ …↔U8↔AL（リモコンに接続されているすべての室内ユニット）」の順で切り換わり、受信部からブザーが鳴ります。
  - 設定可能なとき　：「ピッ」
  - 設定不可のとき※：「ピッピー」

  ※ 室内ユニットが未接続や本機能に非対応のとき

3　∧ ∨ で吹出口の番号を選ぶ

- ∧ ∨ を押すと、「F1↔F2↔F3↔F4↔AL（すべての吹出口）」の順で切り換わります。
- 室内ユニットのパネルにある□マーク（凹形状）が、吹出口の1番の目印になります。機種によっては、□マーク（凹形状）がないものがあります。



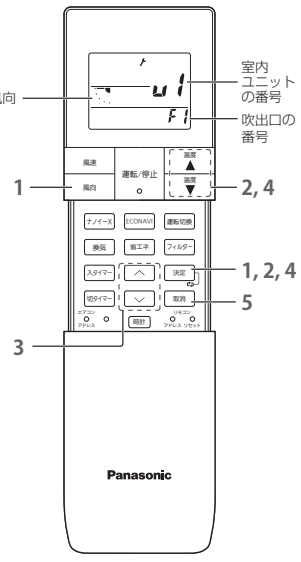
- 吹出口の番号は、取り付け方向によって変わります。実際に動作させて確認してください。

4　温度 ▲ ▼ で風向を選び、決定 を押す

- 温度 ▲ ▼ を押すと、「 (固定解除)↔ (スイング)↔ ↔ ↔ ↔ ↔ 」の順で切り換わります。

5　取消 を押す

- 取消 の代わりに 決定 を押すと、手順**2**に戻り、続けて設定できます。



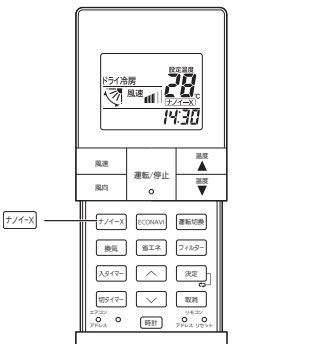
お知らせ

- 途中で操作をやめるときは、取消 を押してください。

10.「ナノイー X」設定をする

運転中に ナノイーX を押す

- 押すたびに「オン／オフ」を切り換えます。
- 「オン」にすると、「 ナノイーX 」が表示されます。
- 「ナノイー X」設定を「オン」にすることにより、室内ユニットが運転中に（冷房、ドライ、暖房、送風、冷暖自動）、「ナノイー」（水に含まれた微粒子イオン）が室内ユニットから放出されます。
- ナノイーX を押したときに受信部が「ピッピー」と鳴る場合は、室内ユニットが本機能に非対応です。ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）
- 「ナノイー X」機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。



11. エコナビ設定をする

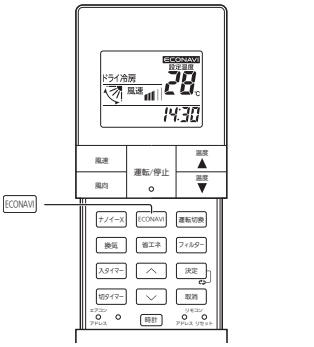
（別売品のエコナビパネル（CZ-160KPEU※）・壁設置形のエコナビセンサー等を接続時）

※ シリーズ番号が入ります。

運転中に ECONAVI を押す

- 押すたびに「オン／オフ」を切り換えます。
- 「オン」にすると、「 ECONAVI 」が表示されます。※
- 高精度なエコナビセンサーがリアルタイムに室内を監視、人を検知して、ムダな運転を抑えます。
- エコナビ機能によって目標温度が変更されても、リモコンに表示される設定温度は変化しません。
- 室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。
- ECONAVI を押したときに受信部が「ピッピー」と鳴る場合は、室内ユニットが本機能に非対応です。ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）
- エコナビ機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。

※ 運転モードが送風時は表示されません。



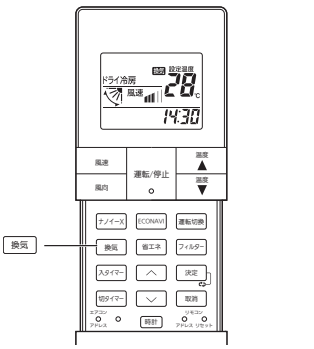
12. 換気扇を運転／停止する

（市販の換気扇等を接続時）

換気 ボタンは、出荷時は「無効」に設定されています。換気扇を接続したときは、換気 ボタンを「有効」にしてください。（⇒「18. ボタン制御について」）

換気 を押す

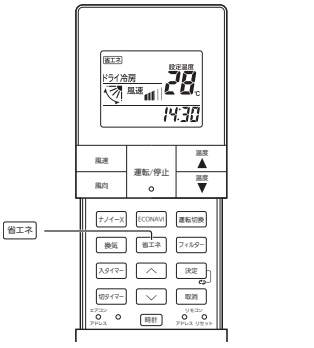
- 押すたびに換気扇が運転／停止します。
- 換気扇運転中は、「 換気 」が表示されます。
- エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転／停止します。
- 換気機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。



13. 省エネ設定をする

運転中に 省エネ を押す

- 押すたびに「オン／オフ」を切り換えます。
- 「オン」にすると、「 省エネ 」が表示されます。
- 省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房／暖房などの能力は低下します。（室外ユニットの運転が制限値以下の場合は、制限されません）
- 省エネ を押したときに受信部が「ピッピー」と鳴る場合は、室内ユニットが本機能に非対応です。ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）
- 省エネ機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。



ワイヤレスリモコン送信部／ CZ-10RWP2…別売品　機能と操作

14. 温度を変更しても設定時間後に元に戻す（設定温度自動リターン）

温度を変えても、決めた時間がたったら自動で決めた温度に戻すように設定できます。
- 運転モードごとに時間と温度を設定します。

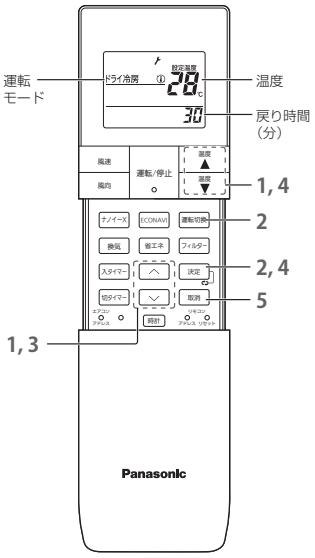
1 温度▲ ▽ **を同時に4秒以上押す**
- 「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。

2 運転切換 **で運転モードを選び、**決定 **を押す**
- 運転切換を押すたびに、「ドライ・冷房→暖房→冷暖自動」の順で切り換わり、受信部からブザーが鳴ります。
  - 未設定のとき　：「ピッ」
  - 設定済みのとき：「ピピッ」

3 ∧ ∨ **で、決めた温度に戻るまでの時間（戻り時間）を設定する**
- 設定範囲：10～240分（10分単位）

4 温度▲ 温度▼ **で温度を設定し、**決定 **を押す**
- 冷暖自動　：17 ℃～27 ℃
  暖房　　：16 ℃～30 ℃
  ドライ・冷房：18 ℃～30 ℃
- 機器によって設定できる温度範囲が異なります。

5 取消 **を押す**
- 取消の代わりに決定を押すと、手順**2**に戻り、続けて設定できます。



設定を変更する

設定のときと同様、上記の手順1～5を行う

設定を解除する

1 温度▲ ▽ **を同時に4秒以上押す**

2 運転切換 **で運転モードを選び、**取消 **を4秒以上押す**
- 受信部が「ピッ」と鳴ります。
- 取消を10秒以上押すと、すべての運転モードの設定を解除します。

お知らせ
- 途中で操作をやめるときは、取消を押してください。

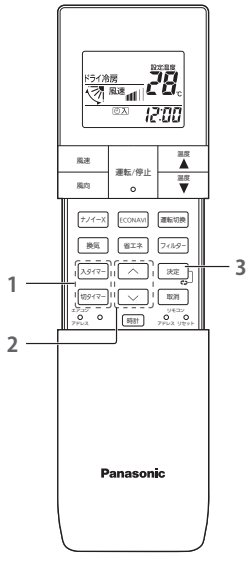
15. タイマー運転のしかた

- 予約の前に、現在時刻が合っていることを確認してください。
- タイマーの設定は運転中のみ可能です。
- タイマー設定後、ワイヤレスリモコン送信部をワイヤレスリモコン受信部の近く（信号受信可能な場所）に置いてください。

1 入タイマー **または** 切タイマー **を2回押す**
- 前回設定したタイマー時刻が点滅します。（タイマー設定がないときや乾電池交換時は「- -:- -」が点滅）

2 ∧ ∨ **でタイマー時刻を設定する**
- 10分単位で変更できます。
- ∧ ∨ を押し続けると早送りができます。

3 決定 **を押す**
- タイマー時刻が点灯表示に変わり、3秒後に現在時刻表示に戻ります。
- 設定すると、「⏲入」または「⏲切」が表示されます。



入／切タイマーを組み合わせる

入／切タイマー時刻をそれぞれ設定する

タイマー時刻を確認する

入タイマー **または** 切タイマー **を押す**
- タイマー時刻を4秒間表示します。
- タイマー設定がないときや乾電池交換時は「- -:- -」が表示されます。（初期状態）

タイマー時刻を変更する

設定のときと同様、上記の手順1～3を行う

タイマー時刻を取り消す

取消 **を押す**
- 入／切タイマーのどちらかを取り消したい場合は、入タイマー または 切タイマー を押し、タイマー時刻が表示されている状態で 取消 を押します。

タイマーを毎日同じ時刻に使う

決定 **を2秒以上押す**
- 設定すると、「🔁」が表示されます。
- 再度 決定 を2秒以上押すと、「🔁」の表示が消えて、1回だけの動作となります。

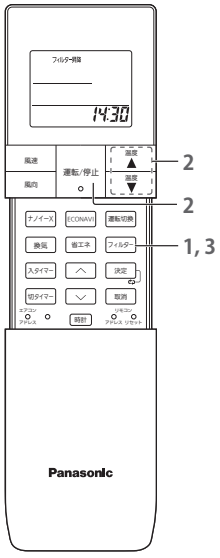
16. 昇降グリルの操作方法

（別売の昇降グリルが接続されている場合）
- ワイヤレスリモコン送信部は、操作を行いたい室内ユニットの受信部に向けてください。
- 昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒かかります。

1 フィルター **を4秒以上押す**
- 「フィルター昇降」が表示されます。
- 室内ユニットの運転は停止します。

2 温度▲ 温度▼ **で昇降グリルを上下させ、**運転/停止 **で停止させる**
- 運転/停止を押さなくても、昇降グリルが下降しおえる、または収まると自動的に停止します。
- 昇降グリルが収まると、数秒後にモーターが停止します。運転/停止で止めず、自動的にモーターが停止したことを確認してください。
- 下降中または上昇中に他の操作を行うときは、必ず、一度停止をしてから行ってください。

3 フィルター **を4秒以上押す**
- 「フィルター昇降」の表示が消えます。
- 昇降グリルの動作中にフィルターを押すと、昇降グリルが停止して、「フィルター昇降」の表示が消えます。再度昇降グリルを動かしたいときは、手順**1**に戻ってください。



フィルターランプを消す

（フィルターランプは別置受信部のみ搭載）

フィルター **を押す**
- 受信部からブザーが鳴ります。

17. 各種設定について

お使いの室内ユニットによって各種設定変更が可能です。
運転モード表示、時計表示（24時間、午前／午後）、暖房上限温度
- この設定はリモコン内部の不揮発性メモリーに保存されますので、乾電池を交換しても再設定は必要ありません。
- リモコンの表示が停止中（現在時刻のみ表示）になっているのを確認してから設定してください。

<操作方法>
- 各項目の下記のボタンを押しながら ∧ を押すごとにリモコン表示が変わります。
- ∧ を離した時点で、表示されている内容に設定されます。

設定項目	操作ボタン	設定内容	リモコンの表示
運転切換を押したときのリモコンの運転モード表示設定	運転切換を押しながら ∧	標準の室内ユニット（冷暖自動あり）	冷暖自動暖房 ドライ冷房送風
		標準の室内ユニット（冷暖自動なし）	暖房 ドライ冷房送風
		冷房専用の室内ユニット	ドライ冷房送風
時刻表示設定	時計を押しながら ∧	24時間	23:59
		午前／午後	午後 11:59
暖房運転で設定できる温度範囲の上限値	温度▲を押しながら ∧	暖房温度範囲の上限 26 ℃～30 ℃	26-27-28 30-29

18. ボタン制御について

お使いの室内ユニットによって以下のボタンの有効／無効を変更できます。
ナノイー X、エコナビ、換気、省エネ

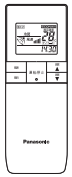
変更したい設定内容のリモコンボタンを4秒以上押す
- 4秒以上押すごとに有効／無効が切り換わります。
- 無効にすると、ボタンを押したときに機能なしと表示され、使用できません。

リモコンボタン	設定内容
ナノイーX	ナノイー Xボタンの有効／無効設定
ECONAVI	エコナビボタンの有効／無効設定
換気	換気ボタンの有効／無効設定
省エネ	省エネボタンの有効／無効設定

据付（電気）工事説明書

ワイヤレスリモコン送信部

品番 **CZ-10RWP2**



- 「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 室内ユニットなどに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据付（電気）工事をする前に

- ❗ **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付（電気）工事説明書
  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- ⃠ **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- ⃠ **ぬれた手で据付（電気）工事をしない**
（感電、故障の原因）
- ❗ **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- ❗ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（製品の落下による、けがの原因）
- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（製品の落下、感電、火災などの原因）

⚠ 注意

- ⃠ **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ

⚠ 注意

- ⃠ **落としたり、投げたりしない**（故障の原因）
- ⃠ **乾電池は⊕⊖を逆に入れない**（発火や液漏れの原因）
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 据付面に凹凸のあるところ
  - 熱源の近くなど
  - 子供の手の届くところ
  - 油煙や湯気の多いところ（調理場や機械工場など）
  - カーテンなど、信号をさえぎるものがあるところ
  - 強い光源やインバーター蛍光灯などがあるところ
- 高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。
（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。
（映像の乱れ、雑音の原因）
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 操作する上で支障がないところに据え付ける。
  - ワイヤレスリモコン送信部が、受信部の受信できる範囲にない場合は、操作ができません。
  - 据え付ける位置で正常に操作できることを確認してください。
  - リモコンホルダーで壁などに固定して操作する場合は、部屋の照明を点灯させたり電気器具等を動作させた状態で取り付ける位置からリモコンを操作し、エアコンが作動することを確認してから取り付けてください。

Printed in China
ACXF60-32883
W0918-30823

はじめに

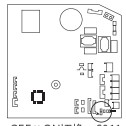
「取扱説明書」を参照して本機を据え付けます。

1. 乾電池を入れる
2. 現在時刻を合わせる
3. リモコンホルダーを取り付ける
4. ペアリングアドレス設定をする
（必要に応じて）

壁掛形室内ユニットをご使用になる場合

お願い 壁掛形室内ユニットに付属の説明書をあわせてご覧ください。

- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
- ワイヤレスリモコンのみでご使用になる場合は、室内ユニット基板の切換スイッチ（S011またはSW502）を「OFF→ON」に設定する必要があります。
複数の壁掛形室内ユニットをグループ制御する場合は、1台のみを「OFF→ON」に設定してください。

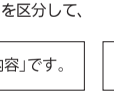


現地設定のしかた

この設定はリモコン内部の不揮発性メモリーに保存されますので、乾電池を交換しても再設定は必要ありません。
※ 本設定を行うことによって実際の動作が「取扱説明書」に記載されている内容から変更になりますので、お客様に十分に説明をしてください。
※ 下記項目コード以外は、正常な動作をしなくなる可能性があるため、設定を変更しないでください。

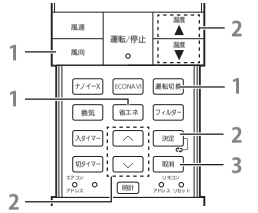
（　）：出荷設定

1 リモコンの表示が停止中（現在時刻のみ表示）に、風向 省エネ 運転切換 を同時に4秒以上押す
「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。



2 温度▲ 温度▼ で項目コードを、
∧ ∨ で設定データを選び、
決定 を押す

3 取消 を押す



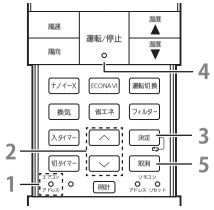
項目コード	設定項目	設定データ	チェック欄
1	運転モード（※1）	（00：冷暖自動/ドライ/暖房/冷房/送風）　03：冷房/送風 01：ドライ/暖房/冷房/送風　04：冷暖自動/暖房/冷房/送風 02：ドライ/冷房/送風　05：暖房/冷房/送風	
2	フラップ表示	（00：5段階（冷房5段階）＋スイング＋停止）　03：スイングのみ 01：5段階（冷房3段階）＋スイング＋停止　04：切換機能なし 02：5段階（冷房3段階）＋スイング	
3	風速選択	（00：5速（1～5・自動））　03：弱（1）・強（3） 01：3速（弱（1）・強（3）・急（5）・自動）　04：切換機能なし 02：3速（弱（1）・強（3）・急（5））	
5	時刻表示	（00：24時間（表示なし））　01：午前/午後	
6	換気扇 機能切換（※2）	（00：無効）　01：有効	
7	冷房 上限温度	5～35℃（出荷設定 30℃）	
8	冷房 下限温度	5～35℃（出荷設定 18℃）	
9	暖房 上限温度	5～35℃（出荷設定 30℃）	
10	暖房 下限温度	5～35℃（出荷設定 16℃）	
11	ドライ 上限温度	5～35℃（出荷設定 30℃）	
12	ドライ 下限温度	5～35℃（出荷設定 18℃）	
13	冷暖自動 上限温度	5～35℃（出荷設定 27℃）	
14	冷暖自動 下限温度	5～35℃（出荷設定 17℃）	
18	省エネ 機能切換（※2）	00：無効　（01：有効）	
19	エコナビ 機能切換（※2）	00：無効　（01：有効）	
20	ナノイーX機能切換（※2）	00：無効　（01：有効）	

※1 本機を冷房専用としてご使用になる場合、「02：ドライ/冷房/送風」か「03：冷房/送風」に設定してください。
※2 時刻表示画面において、各機能の設定ボタンを4秒以上押すことで、機能の有効/無効を切り換えることもできます。

お願い 設定を変更した場合は、設定内容をチェック欄に記入してください。

自動アドレス設定

自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットのアドレスを自動で設定する機能です。
自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号をご確認のうえ、以下の手順で自動アドレス設定を行ってください。



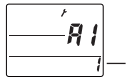
1 エアコン アドレス を4秒以上押す
「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。

2 ∧ ∨ で系統番号1～30
（室外ユニットの系統アドレス）を選択

3 決定 を押し、自動アドレス開始

4 運転/停止 を押し、自動アドレス状態を確認
（自動アドレスの状態については、右表を参照してください）
- 完了/異常中となった場合、手順5へ進んでください。
- 10分以上実行中が継続する場合、系統番号の指定に誤りがないか確認してください。

5 取消 を4秒以上押し、自動アドレス終了
- 実行中/異常中の場合は、自動アドレス設定が中断されます。異常がある場合は、異常の原因を解決してから自動アドレスを再実行してください。



自動アドレス状態	受信部のブザー音	受信部の表示ランプ 運転	タイマー	準備中
実行中	ピピッ	◎→◎→◎		
完了	ピッ	-	-	-
異常中	ピピピピッ	●	●	◎

●：消灯 /○：点灯 /◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- リモコンホルダー　＜1＞
- リモコンホルダー取付ネジ M4 × 15.5　＜2＞
- 単4形アルカリ乾電池（動作確認用）　＜2＞
- 取扱説明書　＜1＞
- 据付（電気）工事説明書　＜1＞

仕様

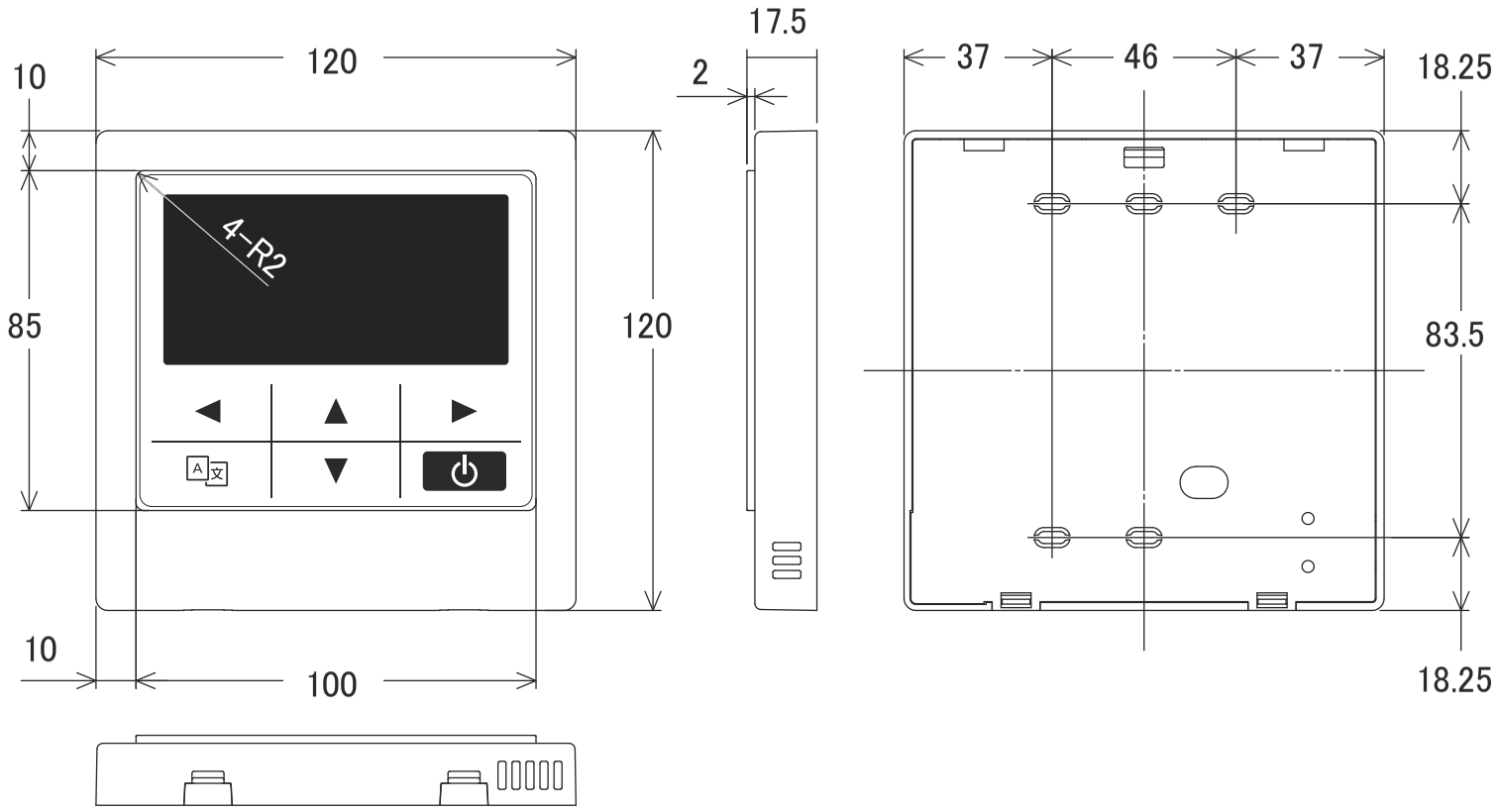
品番	CZ-10RWP2
寸法	（高さ）165 mm ×（幅）59 mm ×（奥行）22 mm
質量	100 g （乾電池、リモコンホルダーを含みません）
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃ ・ 20 %～80 %　※ 屋内設置専用
電源	単4形アルカリ乾電池×2本

仕様

品番	CZ-10RTF4
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 17.5 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 % ～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続可能台数	室内ユニット：最多 8 台

外形寸法

(mm)



取扱説明書 (日本語)

多言語対応ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RTF4**
CZ-10RTF4-K
CZ-10RTF4-KN



CZ-10RTF4



CZ-10RTF4-K
CZ-10RTF4-KN

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

してはいけない内容 (禁止事項) です。	実行しなければならない内容 (強制事項) です。

⚠ 警告

必ず守る
据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
(水漏れや感電・火災の原因)

必ず守る
当社指定のエアコンと接続して使う
(水漏れや感電・火災の原因)

禁止
体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
(体調の悪化・健康障害の原因)
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

⚠ 警告

必ず守る
異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
(感電や火災の原因)
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

禁止
ぬれた手で操作しない
(感電や故障の原因)

⚠ 注意

禁止
リモコンを分解しない
(感電や故障の原因)

禁止
水洗いしない
(感電や火災の原因)

使用上のお願い

- 次のような場所に設置しない
  - 湿気・油分・振動が多い/ 直射日光があたる/熱源の近く/結露する(故障の原因)
  - ノイズが発生する(誤動作の原因)
- スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
  - 液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない(液晶画面のくもり・変色や故障の原因)
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

仕様

品番	CZ-10RTF4 / CZ-10RTF4-K / CZ-10RTF4-KN
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 17.5 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 % (屋内設置専用)
電源	DC16 V (室内ユニットより供給)

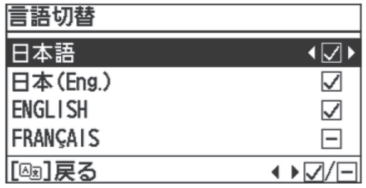
Printed in China
H0517-50423
ACXF55-16624

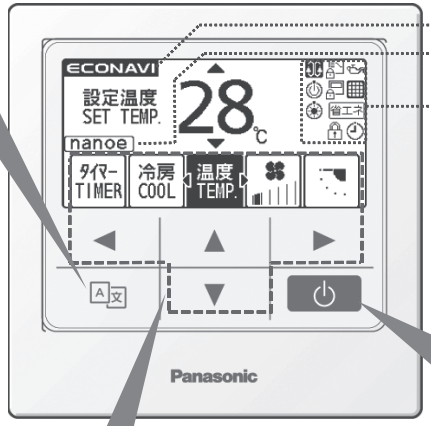
押すたびに画面表示の言語が切り替わります
(日本(Eng.)/ENGLISH/中文)

上記以外の言語にも切り替えることができます。

(フランス語/スペイン語/ドイツ語/イタリア語/ポーランド語/ロシア語)

① [A文]ボタンを押したままにする（約4秒）
② ▲▼を押して、言語を選ぶ
③ ◀▶を押して、切り替えを有効にする





エコナビが設定中です※
ナノイーが運転中です※

表示されるアイコン※

- サーキュレート運転中です
- 運転準備中です
- 暖房準備中です
- 運転の種類の切り換えが制限されています
- 集中制御機器で制限されています
- エンジンオイルの交換が必要です
- 室内ユニットのフィルター清掃が必要です
- 省エネ 省エネ運転中です
- 操作ロック設定中です
- 切/入タイマー設定中です

運転を始める/止める

※：据え付け時設定または機種によって異なります。切り換え方法は、据付（電気）工事説明書を参照してください。

◀ ▶ を押して操作項目※を選び、▼▲ を押して設定します

タイマー TIMER 入タイマー 切タイマー を設定する

「切タイマー」
3時間 → 2時間 → 1時間
設定した時間が経過すると、自動的に運転が止まります。

未設定

「入タイマー」
8時間 → 7時間 → 6時間
設定した時間が経過すると、自動的に運転が始まります。

● 入タイマーを設定すると、運転が停止します。

冷房 COOL 運転の種類 を切り換える

冷暖自動(AUTO) → 暖房(HEAT) → ドライ(DRY) → 冷房(COOL) → 送風(FAN) → 冷暖自動(AUTO)

● 機種によって選択可能な運転の種類が異なる場合があります。

温度 TEMP. 温度 を調節する

設定できる範囲

冷房・ドライ: 18～30 ℃
暖房: 16～30 ℃
冷暖自動: 17～27 ℃

● 「送風」時には設定できません。
● 機種によって設定できる温度範囲が異なります。

風速 FAN 風の強さ を変える

自動 → (急) → (強) → (弱) → 自動

● 「自動」は、室温に合わせて、自動調節されます。
● 運転の種類が「送風」時には自動は設定できません。
● 機種によって選択可能な風速が異なる場合があります。

風向 FLAP 風の向き を変える

スイング → 停止(STOP) スイング停止

● スイング中に、お好みの向きになったところで▼を押すと、そこで止められます。
● 機種によって選択可能な風向が異なる場合があります。

困ったときは

⏻ を押しても運転が始まらない

● 停電していませんか？
→停電から復帰後、再度 ⏻ を押す。
● 暖房開始時は、温かい風が出るまで少し時間がかかります。（しばらくお待ちください）

画面が暗い、暗くなった

● 一定時間何も操作しない状態が続くと、バックライトが消えます。(節電のため)
→いずれかのボタンを押す。
(バックライトが点灯します)

警報表示について

表示例



● 警報表示が[E04]、[E06]、[P10]、[P20]、[H06]のいずれかの場合は、一度運転を停止し、約１分後　に再運転してください。
→ 警報表示が再表示されなければ、そのまま使う。

上記を行っても警報表示が再表示されるときや、上記以外の警報表示（[E/H/L/P] いずれかの文字と数字の組み合わせ）が表示されたときは、運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番・警報表示・室内ユニットNo. をご連絡ください。

据付（電気）工事説明書

多言語対応ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RTF4 / CZ-10RTF4-K / CZ-10RTF4-KN**


CZ-10RTF4


CZ-10RTF4-K
CZ-10RTF4-KN

- 「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据付（電気）工事をする前に

❗
- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準　・内線規程
  - 据付（電気）工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**（製品の落下による、けがの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

  （感電、火災などの原因）

❗
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
  - 過度な衝撃や振動のある場所（本機の取り付けネジが緩み、落下の原因）　・熱源の近くなど
- 床面に対して垂直に据え付ける
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける
- 高周波が発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離してください。（映像の乱れ、雑音の原因）
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）を据え付ける
- 配線は、地中に埋設しない

Printed in China
W0417-40823
ACXF60-24734

仕様

品番	CZ-10RTF4 / CZ-10RTF4-K / CZ-10RTF4-KN
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 17.5 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続可能台数	室内ユニット：最多８台

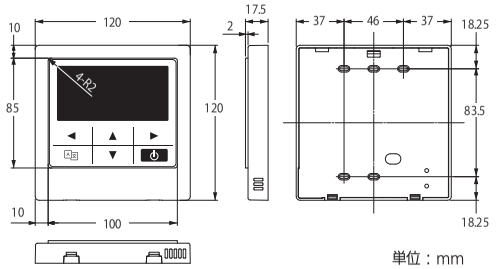
付属品

＜＞：個数

小ネジ ＜2＞ M4×25（JISボックス用）	木ネジ ＜2＞ M3.8×16（壁面用）
取扱説明書、据付（電気）工事説明書 各＜1＞	

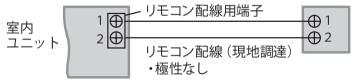
※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

外形寸法図



単位：mm

１配線のしかた



- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある0.5～1.25 mm²のケーブル
  - 単線は使わない。
  - シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上あるケーブル
  - 推奨品：VCTF（EM-ECTF）/VCT（ECO120）

    ※（　）内：エコ電線

    ※ エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の 影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。
- 総配線長：500 m以内

  （グループ内にワイヤレスリモコンがある場合は400 m以内）

  （室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）
- 接続可能台数

  リモコンは、最多２個。

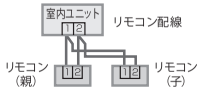
  室内ユニットは、最多８台。

お願い
- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）

リモコンを親子で設置するとき

設置後、「３設定する」（裏面）の「リモコン親子設定」を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。本機には、リモコンセンサーがありません。リモコンセンサーを搭載しているリモコン（CZ-10RT3、CZ-10RT4Cなど）と併用する場合は、本機を「子リモコン」に設定してください。

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



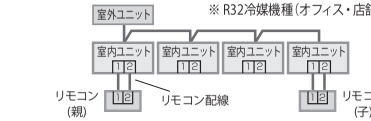
お知らせ
- どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

- R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。

※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

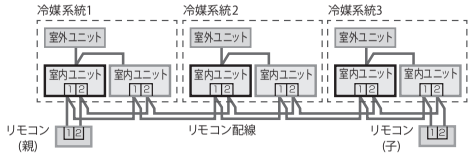
同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

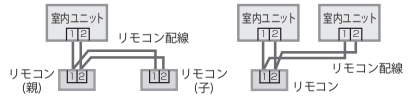
どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



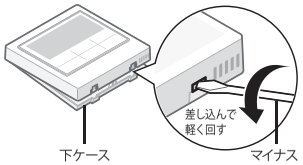
お知らせ
- どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。
- エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い 以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。



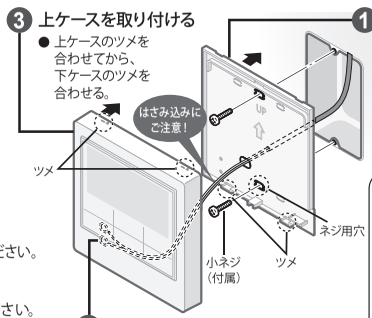
2 据え付ける

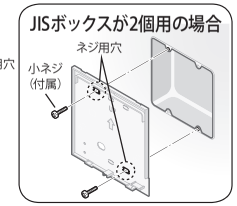
1 下ケースをはずす



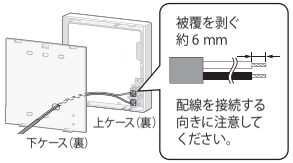
2 壁に取り付ける

準備：ネジ用穴（2か所）をドライバー等で開けておく。





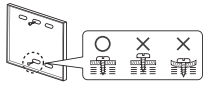




お願い

■ **下ケースをはずすとき**
- マイナスドライバーを強く差し込んで回さないでください。（ケース損傷の原因）

■ **下ケースを取り付けるとき（手順 2 ❶）**
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。（下ケースの変形による、落下の原因）



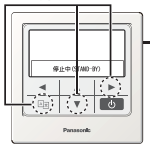
■ **上ケースを取り付けるとき（手順 2 ❸）**
- 余分な配線をリモコンケースに収納しないでください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

3 設定する

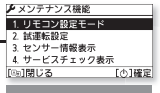
準備：ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を入れてください。リモコンが起動し、「設定中」の表示が消えるまでお待ちください。
（10 分以上「設定中」が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください）

リモコン親子設定 / 自動アドレス設定 / 集中制御アドレス設定

1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2 設定する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定



3 設定する

お知らせ
- 操作は、ボタンの中央付近を押してください。
- 手袋を着けた状態では、操作できません。
- スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

リモコン設定モード

項目コード「01」・設定データを選択 ▲▼ ボタンで選択 ▶ ボタンで次へ ⏻ ボタンで決定 → 項目コード選択位置で 🔒 ボタンを押し ◀▶ ボタンで「はい」を選択して ⏻ ボタンで終了



項目コード			設定データ
01	リモコン親子設定	リモコンを 2 個設置するとき設定します。	0000：子 0001：親（出荷設定）

自動アドレス設定

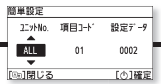
項目コード「A1」・系統Noを選択 ▲▼ ボタンで選択 ▶ ボタンで次へ ⏻ ボタンで決定 → 項目コード選択位置で 🔒 ボタンを押し ◀▶ ボタンで「はい」を選択して ⏻ ボタンで終了



項目コード	
A1	自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットの間を系統アドレス毎に自動で関連付ける操作です。 自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号を選んでください。

簡単設定

ユニットNo.は初期位置から変更しない。



項目コード「03」・設定データを選択 ▲▼ ボタンで選択 ▶ ボタンで次へ ⏻ ボタンで決定 ユニットNo.選択位置で 🔒 ボタンを押し ◀▶ ボタンで「はい」を選択して ⏻ ボタンで終了



項目コード			設定データ
03	集中制御アドレス設定	システムコントローラーなどの集中制御機器を接続する場合設定します。	0001 ～ 0064 0099（未定）

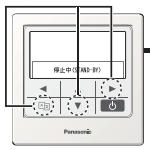
お願い
- 自動アドレス設定は、全ユニットの電源を入れ、90 秒以上たってから行ってください。
- 自動アドレス設定を行ったあとは、90秒以上たってから運転してください。
- 集中制御アドレス設定は自動アドレス設定終了後に行ってください。
接続する集中制御機器に付属の説明書も合わせてご覧ください。

お知らせ
- メンテナンス機能は 🔒 ボタンで設定を終了します。
- リモコン設定モード・自動アドレス設定・簡単設定は、終了時に再起動を 行います。

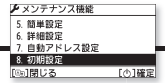
3 設定する（つづき）

言語切替 / 操作項目 / 操作音設定 / コントラスト調整 / バックライト設定

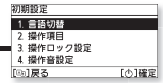
1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2 「初期設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定



3 設定する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定



4 設定を変える

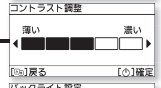
初期設定

- **言語切替**
  - **言語選択**
    

    ● 使用する言語を変更します。
    ▲▼ ボタンで言語を選択
    ⏻ ボタンで決定
  - **言語切替有効無効**
    

    ● トップ画面で切替できる言語を変更します。
    ▲▼ボタンで言語を選択
    ◀▶ボタンで有効☑/無効☐を切替
    ※ 使用中の言語は無効にすることはできません。
- **操作項目**
  

  ● トップ画面で操作できる項目を変更します。
  ▲▼ボタンで項目を選択
  ◀▶ボタンで有効☑/無効☐を切替
- **操作音設定**
  

  ▲▼ ボタンでオン・オフを選択
  ⏻ ボタンで決定
- **コントラスト調整**
  

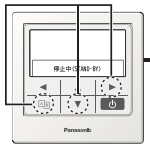
  ◀ ボタンで薄い、▶ボタンで濃いを選択
  ⏻ ボタンで決定
- **バックライト設定**
  

  ◀ ボタンで暗い、▶ボタンで明るいを選択
  ⏻ ボタンで決定

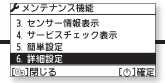
お知らせ
- 🔒 ボタンで設定を終了します。

詳細設定

1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2 「詳細設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定



3 設定する



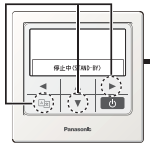
① ▲▼ ボタンでユニットNo.を選択します。
② ▶ ボタンで項目コードへ切換え、▲▼ ボタンで項目コードを選択します。
③ ▶ ボタンで設定データへ切換え、▲▼ ボタンで設定データを選択します。
④ 設定データの位置で ⏻ ボタンで決定してください。
⑤ 別の室内ユニットを設定する場合は①～④の操作を繰り返してください。
⑥ ユニットNo. の位置で 🔒 ボタンを押し、◀▶ ボタンで再起動："はい"を選択し、⏻ ボタンを押して設定を終了します。

※ 設定する項目コード、設定データの値は室内ユニットや別売部品に付属の「据付（電気）工事説明書」等でご確認ください。

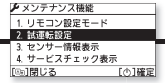
お知らせ
- 🔒 ボタンで設定を終了します。
- 詳細設定は、終了時に再起動を行います。

4 試運転する

1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2 「試運転設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定

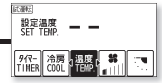


3 「オン」を選ぶ（試運転モードになる）
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定





4 試運転する
⏻ ボタンを押す



■ **試運転を終了する**
手順 1・2 を行い、手順 3 で「オフ」を選ぶ。
（「試運転」表示消灯）

お知らせ
- 温度変更はできません。
- 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
- 電源投入後および運転停止後、約3 分間は室外ユニットの運転はしません。

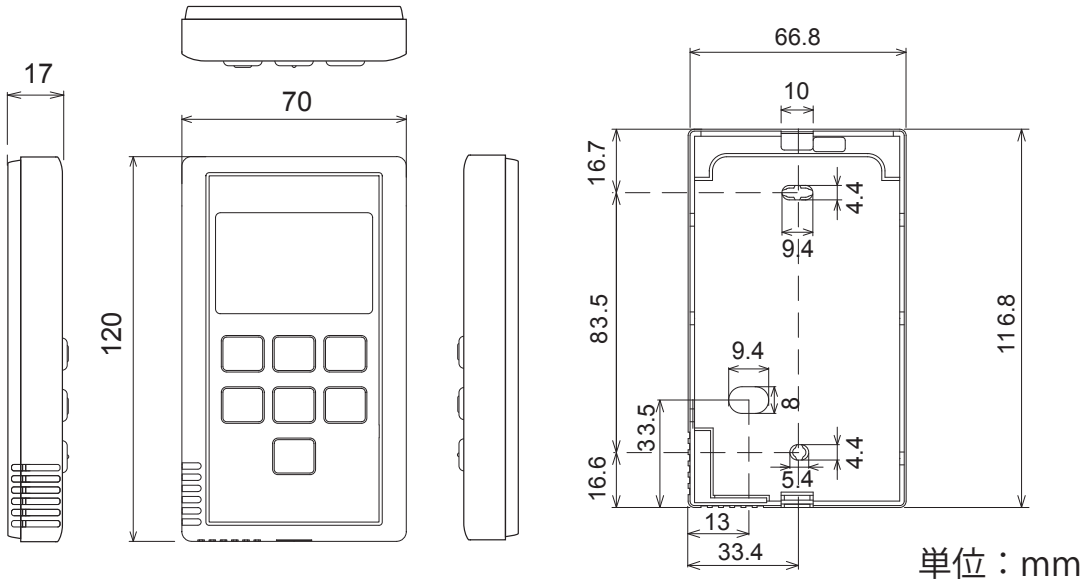
お願い
- 試運転以外の目的には使わないでください。（ユニットに無理がかかるため）

簡単リモコン／ CZ-02RE4…別売品　仕様

仕様

品　　番	CZ-02RE4
外 形 寸 法	(高さ)120 mm ×(幅)70 mm ×(奥行)17 mm
質　　量	90g
使用温度・湿度範囲	0℃ ～ 40℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
電　　源	DC16 V (室内ユニットより供給)
接 続 台 数	室内ユニット　最多8台

●外形寸法図



単位：mm

簡単リモコン／ CZ-02RE4…別売品　機能と操作

このたびは簡単リモコンをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
  本書は簡単リモコンの取扱説明書です。室内ユニットなどに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は室内ユニットなどに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。



取扱説明書

簡単リモコン

品番 CZ-02RE4

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る （水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る （水漏れや感電・火災の原因）

ぬれた手で操作しない
禁止 （感電や故障の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）

必ず守る
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- 漏電しゃ断器がたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

リモコンを分解しない
禁止 （感電や故障の原因）

水洗いしない
禁止 （感電・火災の原因）

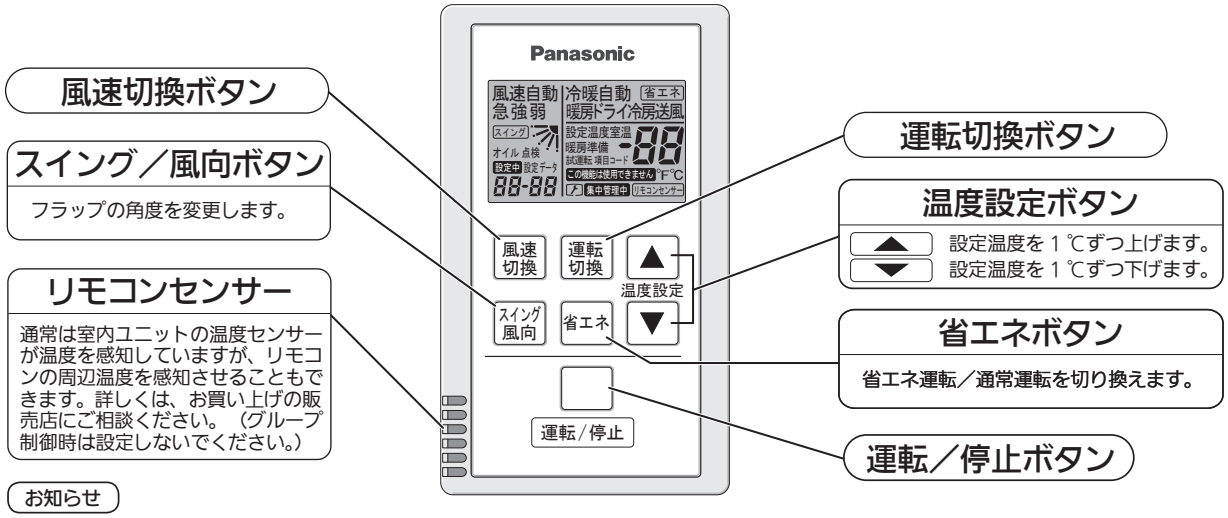
使用上のお願い

●次のような場所に設置しない
- 湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる / 熱源の近く / 結露する（故障の原因）
- ノイズが発生する（誤動作の原因）

●スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
- 液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。

●アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない（液晶画面のくもり・変色や故障の原因）
- ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

各部の名前 （操作部）



お知らせ

- 設定できない運転モードは表示されません。
- 風向の表示は、実際のフラップの角度とは異なります。
- 停電からの復帰後「運転／停止」ボタンを押すと、停電前の内容で運転が再開します。
- 省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房/暖房などの能力は低下します。（室外機の運転が制限値以下の場合は、制限されません。）
- 機器によっては設定できる温度範囲が異なります。
- 風向表示が出ない機種があります。

簡単リモコン／ CZ-02RE4…別売品　機能と操作

各部の名前 （画面表示）

風速 自動、風速 急、風速 強、風速 弱のいずれかを表示します。

保護動作時および異常時に表示します。

エンジンオイルの交換が必要です。（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）

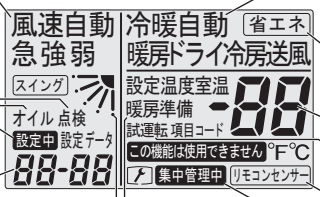
室内ユニットの情報を読み込み中に表示します。点滅表示が消えるまで、操作ができません。

異常時の警報を表示します。

警報表示の例



風向を表示します。



暖房準備表示中は、室内送風機が停止、または微風運転になります。冷房専用ユニットには、表示されません。

標準の室内ユニット
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかを表示します。
冷暖自動の表示については、基本の使いかた （冷暖自動について） をご確認ください。

冷房専用の室内ユニット
ドライ、冷房、送風のいずれかを表示します。

省エネ運転中に表示します。

設定温度を表示します。

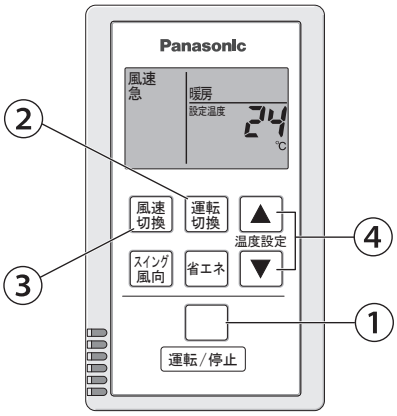
試運転中に表示します。

リモコンの温度センサー使用時に表示します。

集中管理中に表示します。遠隔側でリモコン操作禁止を設定している場合、運転/停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき、“集中管理中” が点滅し、変更を受け付けません。

基本の使いかた

（冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風）



電源 漏電しゃ断器は、ユニットの説明書を参照し、事前に入れてください。

① **運転/停止** ボタンを押します。

② **運転切換** ボタンを押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。
※モード表示は、室内ユニットにより異なります。

③ **風速切換** ボタンを押して、お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。（送風時は自動になりません。）

④ **温度設定** ボタンを押して、お好みの温度にします。

	上 限 (℃)	下 限 (℃)
冷 暖 自 動	27	17
暖　　房	30*1	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。
※一部の室内ユニットは上下限温度が異なります。
*1：一部の機種の上限温度は26℃です。

停止 **運転/停止** ボタンを押します。
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットのファンは、しばらく運転することがあります。

●通常の方法で停止できないとき
漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店へお知らせください。

●暖房時、「風速 弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「風速 急」、「風速 強」に切り換えてみてください。
●温度センサーが 感じる温度は室内ユニットの吸込口付近の温度ですので、据え付け状態により室温とは多少異なります。設定温度は目安としてください。
●冷房専用タイプは、冷暖自動、暖房運転ができません。

冷暖自動について

設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。冷暖自動は、冷暖フリータイプ（3WAY）や同一冷媒系統内の全室内ユニットが1つのグループ制御になっている場合のみ可能です。ガスヒートポンプエアコンをお使いの方は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

運転できないとき

「運転／停止」ボタンを押しても運転が始まらないときは…
修理ご依頼の前に、ご確認を！

「集中管理中」のメッセージが点滅表示されたとき	● 集中管理中のため、操作はできません。
停電していませんか？	● 復帰したら、再度「運転/停止」ボタンを押してみる。 → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
漏電しゃ断器が「切」になっていませんか？	● 故障で漏電しゃ断器が「切」になっているかも知れないので、管理責任者に確認してください。問題がなければ、漏電しゃ断器を「入」にしてから、再度「運転/停止」ボタンを押してみる。 → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
「設定中」が点滅していませんか？	● 室内ユニットの情報を読み込んでいるため点滅表示が消えるまで、操作ができません。点滅が消えてから、再度「運転/停止」ボタンを押してみる。 → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
「点検」が表示されていませんか？ 	● 警報表示が次の場合は、一度運転を停止し、約1分後に再運転してください。(警報表示、消灯) [・E04　・E06　・P10　・P20　・H06] → 再度、表示しなければ、そのままご使用ください。 → 再度、表示されたときや、上記以外の警報表示 (E、F、H、L、Pの文字と数字の組み合わせ) が表示されたときは、運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と警報表示、室内ユニットNo.をご連絡ください。

・ サービスに連絡が必要な場合は、室内ユニットもしくは室外ユニットの取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

仕様

品　　番	CZ-02RE4
外 形 寸 法	（高さ）120 mm × （幅）70 mm × （奥行）17 mm
重　　量	90 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・ 20 %～80 % （屋内設置専用）
電　　源	DC16 V （室内ユニットより供給）
接 続 台 数	室内ユニット 最多 8 台

Printed in China
DC0515-50423
ACXF55-19723
85464609298022

簡単リモコン／ CZ-02RE4…別売品　施工

据付(電気)工事説明書

簡単リモコン

品番 **CZ-02RE4**

●据付 (電気) 工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、「据付 (電気) 工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●据付 (電気) 工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●室内ユニットなどに付属の据付説明書も合わせてご覧ください。

付属品

小ネジ M4 × 25(2本)	木ネジ M3.8 × 16(2本)	結束バンド(1個)	取扱説明書(1冊)
 (埋込型 JISボックス用)	 (露出型 壁面用)		

※リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意	⃠	❗
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の 損害が発生するおそれがある内容」です。	してはいけない内容（禁止事項)です。	実行しなければならない内容(強制事項）です。

⚠ 警告

⃠ 分解や改造は行わない
（感電・火災の原因）

❗ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
（感電・火災等の原因）

❗ 据付工事は、「据付（電気)工事説明書」に従って行う
（感電・火災等の原因）

❗ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付 (電気)工事説明書

（感電・火災の原因）

❗ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災等の原因）

❗ 据付は、リモコンの重さに十分耐える所に設置する
- 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。

（落下の原因）

❗ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてから行う
（感電の原因）

⚠ 注意

⃠ 次のような場所で使わない
- 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 腐食性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
- 電圧変動の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレー等を頻繁に使うところ
- 結露するところ

（感電・火災等の原因）

⃠ ぬれた手で操作しない
（感電の原因）

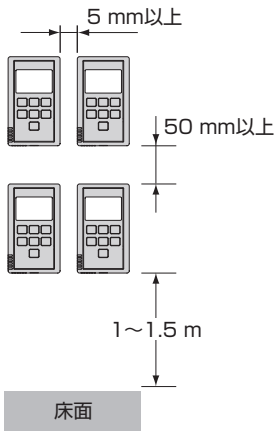
⃠ 水洗いしない
（感電・火災の原因）

Printed in China
DC0515-40723
ACXF60-29563
85464369807021

簡単リモコン／ CZ-02RE4…別売品　施工

設置上のご注意

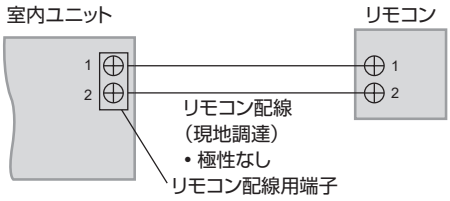
設置場所など



- 床面から1～1.5 mの高さに設置する（室内の平均的温度を感じる場所）
- 床面に対して垂直に設置する
- 複数並べて設置するときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す
- 次のような場所に設置しない
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際等
  - 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側等
  - 結露するところ（防湿･防滴仕様ではないため）
  - 近くに熱源があるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
- テレビ･ラジオ･パソコンから1m以上離す。（映像の乱れ･雑音の原因）

リモコン配線

■ **配線図**



■ **総配線長：**500 m以内
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）

■ **接続可能台数**
リモコン：最多2個
室内ユニット：最多8台

■ **配線の種類**

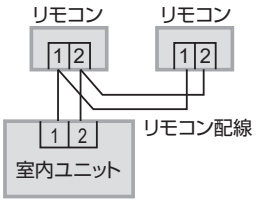
- 柔軟性のある、0.5～1.25 mm^{2}のケーブルを使う。
- 単線は使わない。
- シース部含む絶縁物の厚みが1 mm以上ある配線を使う。
- 推奨品※（　）内：エコ電線
  - VCTF(EM-ECTF)
  - VCT(ECO120)

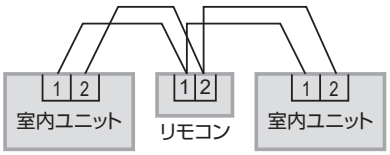
※エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

お願い

- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）
- ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。

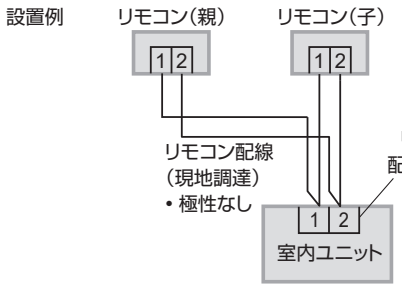
※以下のような渡り配線は禁止です。



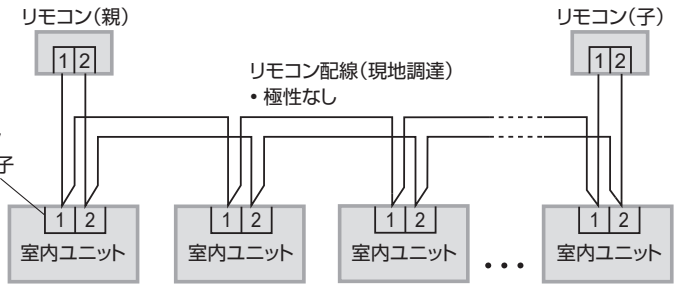


リモコンを親子で設置するとき

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



設置後、「設定する」（裏面）の「リモコン親子設定」を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
CZ-10RT4/CZ-10RT4Aと併用する場合、本機を「子リモコン」に設定してください。

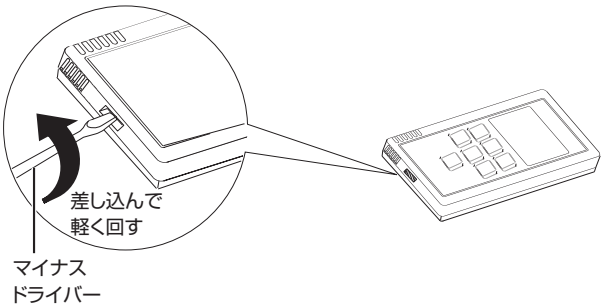
お知らせ

- どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

簡単リモコン／ CZ-02RE4…別売品　施工

取り付ける

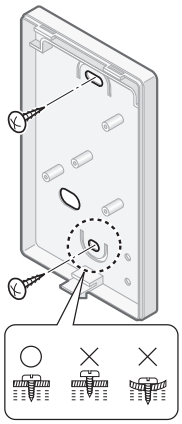
1 下ケースをはずす



お願い

下ケースを取り付けるとき
- ネジは、下ケースにあたるまで締めてください。（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。（下ケースの変形による、落下の原因）
- ドライバーを差し込む際は、ツメを折らないよう注意してください。

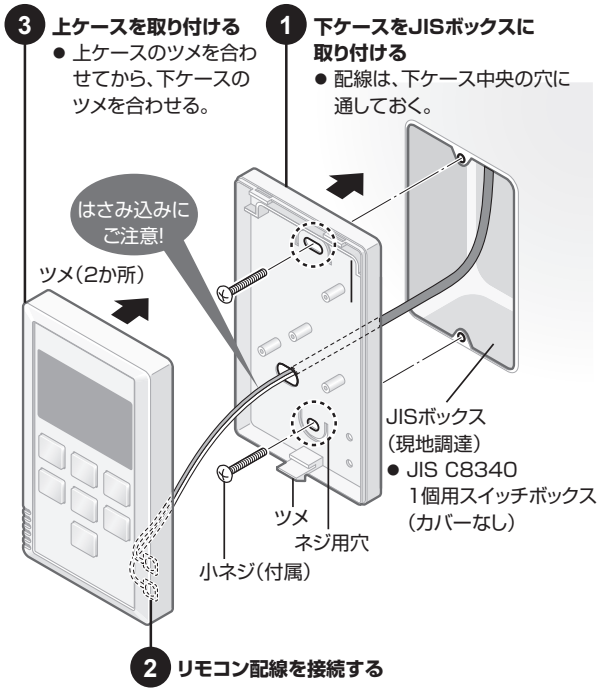
上ケースを取り付けるとき
- 手順2 ❷の図の経路で配線し、余分な配線をケースに収納しないでください。(配線はさみ込みによる基板破壊の原因)
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。(配線はさみ込みによる基板破壊の原因)



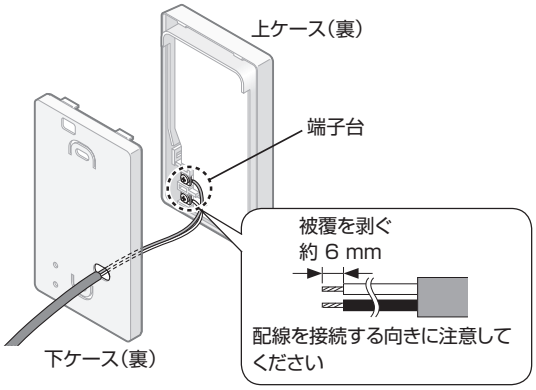
2 壁に取り付ける

埋込型の場合

- あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス(現地調達)に取り付けてください。

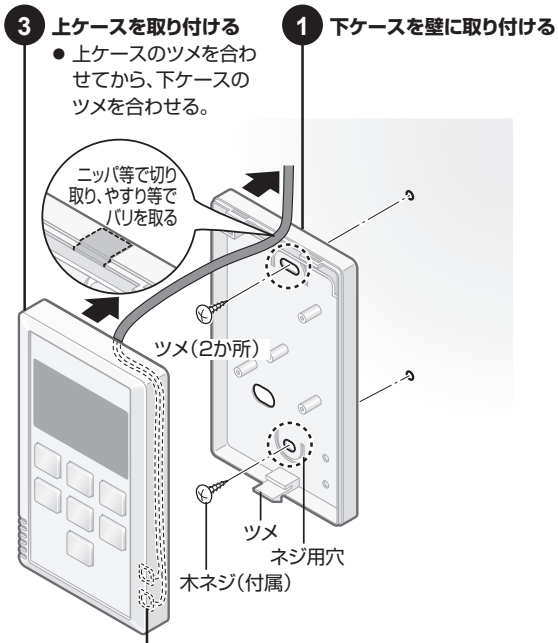


2 リモコン配線を接続する

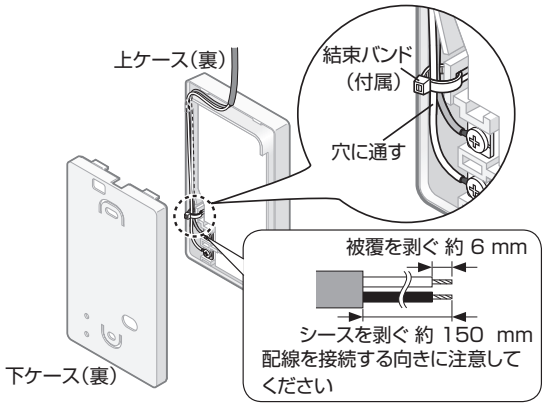


露出型の場合

- リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。



2 リモコン配線を接続する
- ケースの溝に沿って配線する



簡単リモコン／ CZ-02RE4…別売品　施工

設定する

■ リモコン親子設定　■ 室温センサー設定

リモコン親子設定

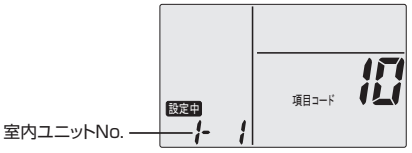
リモコンを2個設置するときに設定します。
① 「運転切換」+「省エネ」ボタンを同時に4秒以上押しつづけるとリモコン表示部が右図になります。
② 「▲」、「▼」ボタンを押して、設定変更する項目コードに切り換え、「運転切換」ボタンで決定します。
③ 「▲」、「▼」ボタンで設定データを変更し、「運転切換」ボタンを押すと設定完了します。
④ 「スイング風向」ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。
※1つ前に戻るには、「省エネ」ボタンを押してください。
※データはリモコンに記憶されます。電源を切ってもデータは消えません。
※工場出荷時は【親】が設定されています。



項目コード	項目	設定データ	
		0000	0001
01	リモコン親子	子	親

室温センサー設定

リモコンの室温センサーで室温を測るとき設定します。
① 「運転切換」+「省エネ」+「スイング風向」ボタンを同時に4秒以上押しつづけると
リモコン表示部が右図になります。
② グループ制御を行っているときは「▲」「▼」ボタンを押して親機の室内ユニットNo.を選択します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
③ 「運転切換」ボタンを押して室内ユニットNo.を決定します。
④ 「▲」、「▼」ボタンで項目コードを変更し、「運転切換」ボタンで決定します。
⑤ 「▲」、「▼」ボタンで設定データを変更し、「運転切換」ボタンで決定します。
⑥ 「スイング風向」ボタンを押すと設定を終了し再起動します。
※室温センサーをリモコン側に設定したとき、親リモコンの画面右下に リモコンセンサー が表示されます。
※1つ前に戻るには、「省エネ」ボタンを押してください。
※データは室内ユニットに記憶されます。電源を切ってもデータは消えません。
※リモートセンサーと併用する場合は、設定データを室内ユニット側にしてください。



項目コード	項目	設定データ	
		0000	0001
32	室温センサー	室内ユニット側	リモコン側

試運転する

① 「運転停止」ボタンと「スイング風向」ボタンを同時に4秒以上押してください。
液晶表示部に"試運転"と表示されます。
② 「運転停止」ボタンを押すと試運転開始します。
もう一度押すと試運転を終了します。
③ 試運転終了後は再度「運転停止」ボタンと「スイング風向」ボタンを同時に4秒以上押します。
液晶表示部から"試運転"が消えていることを確認してください。

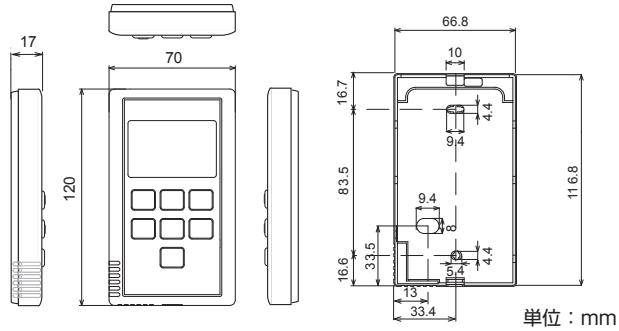
お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（ユニットに無理がかかるため）
- ユニット付属の据付説明書も、あわせてご覧ください。
- 暖房/冷房/送風のいずれかのみ運転できます。
- 温度変更はできません。
- 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
- 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

仕様

品　　番	CZ-02RE4
外形寸法	（高さ）120 mm ×（幅）70 mm ×（奥行き）17 mm
質　　量	90 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 % （屋内設置専用）
電　　源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続台数	室内ユニット　最多8台

外形寸法



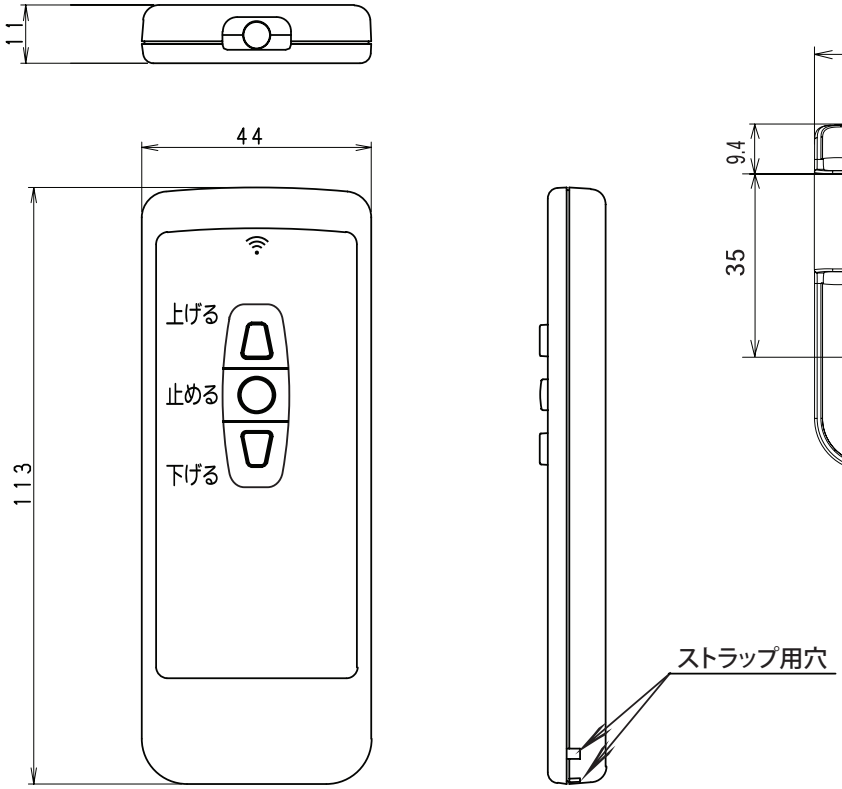
単位：mm

昇降操作専用リモコン／ CZ-10RWU3G…別売品　仕様

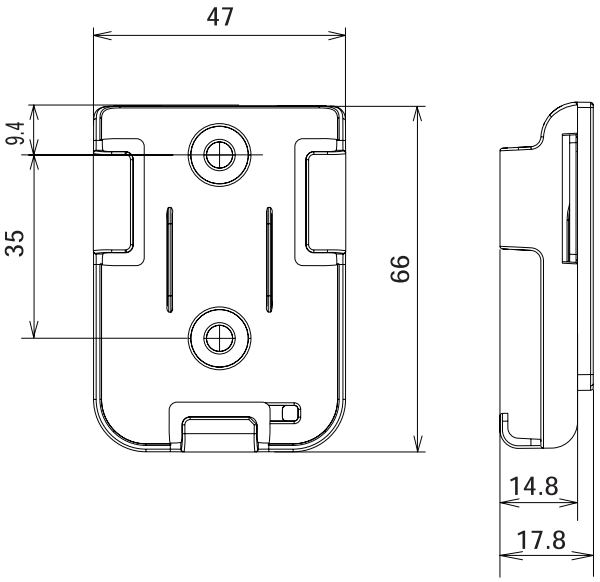
仕様

品　　番	CZ-10RWU3G
外 形 寸 法	(高さ)113mm × (幅)44mm × (奥行)11mm
重　　量	30ｇ
電　　源	CR2025形リチウム電池×1個

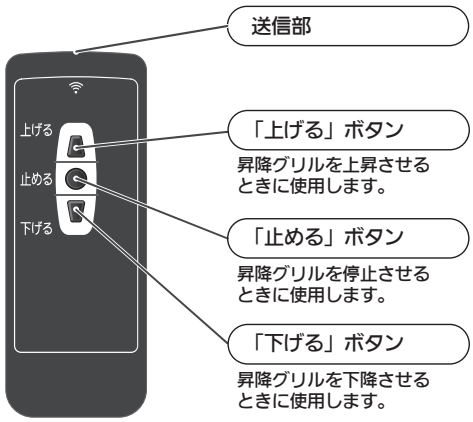
ワイヤレスリモコン寸法図



ホルダー寸法



各部のなまえとはたらき



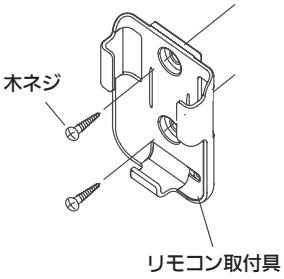
昇降操作専用リモコン／ CZ-10RWU3G…別売品　仕様

リモコンの取り扱いかた

●送信部は、室内ユニット本体の受信部に向けてください。
●受信できる距離の目やすは、約 4mです。
●受信部との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
●直射日光やストーブの近く等に置かないでください。
●落としたり、なげたり、水洗い等しないでください。
●電子式瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）または、
インバーター方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない
場合があります。
●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかないでください。
変色、故障の原因になることがあります。ひどい汚れは、
水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

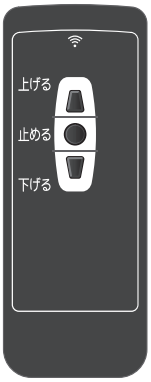
壁等に取り付けてご使用になる場合

リモコン取付具を付属の
木ネジで止めます。



操作のしかた

●電源投入時、初めて操作した場合は 下げる を押しても上昇動作をします。
●操作するときは、エアコンの運転を停止してから行ってください。
●昇降グリルが作動中に逆方向の操作をすると、数秒停止後に指定の
動作をします。
●昇降操作専用リモコンを室内ユニットの昇降グリル用受信部に向けて
操作してください。



下降させるとき

操作ボタンの 下げる を押してください。

昇降グリルは、ゆっくりと降りて来ます。
障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

停止させるとき

操作ボタンの 止める を押してください。

昇降グリルの下降、上昇が停止します。

止める を押さないで下げて行くと、設定された位置に自動的に停止します。

※昇降グリルの高さは変更することができます。
変更したい場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

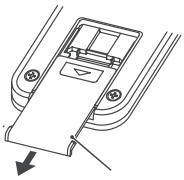
上昇させるとき

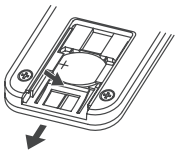
操作ボタンの 上げる を押してください。

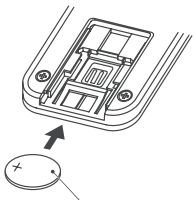
昇降グリルが上昇します。昇降グリルが天井パネルにきちんと収まると、
収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。
※モーターが停止したことを確認してください。

電池の入れかた

①ふたをはずします。
②電池を入れます。
CR2025形リチウム電池をお使いください。
⊕⊖極を正しく、表示にしたがって入れます。
③ふたを取り付けます。
●電池の交換は約１年が目やすです。受信部に近づかないと、
受信できない場合は、電池を交換してください。
●長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。
●ご使用後の電池は指定の場所に捨ててください。







⚠ 警　告

●乳幼児の手の届く所にリモコンを置かない。
電池を取り出し、誤って飲み込むおそれ
●電池は⊕⊖を逆に入れない。
ショートによる発火や液漏れの原因

仕様

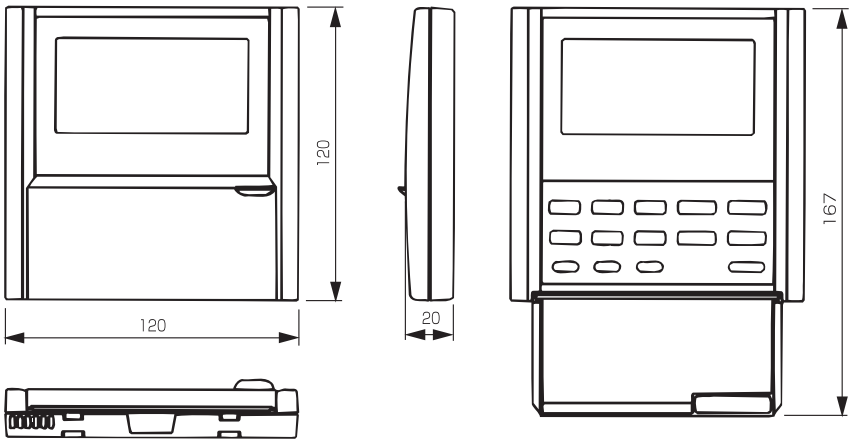
品　　番	CZ-10RWU3G		
外 形 寸 法	（高さ）113mm ×（幅）44mm ×（奥行）11mm	使用温度・湿度範囲	0℃～ 40℃・20% ～ 80%（屋内設置専用）
重　　量	30ｇ	電　　源	CR2025形リチウム電池×1個

Printed in Japan
DC0411-60423
ACXF55-19583
85464609139003

スケジュールタイマー／ CZ-10ESW3…別売品　仕様と機能

仕　様

品　　番	CZ−10ESW3
外　形　寸　法	(高さ)120mm×(幅)120mm×(奥行)20mm
重　　量	160g
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80%　屋内設置専用
電　源　定　格	DC12V(室内ユニットまたは他の集中コントローラーから供給)
時　計　精　度	±30秒／月(常温25℃) 定期的にあわせてください。
停電保障時間	100時間(満充電時)
接　続　台　数	室内ユニット最多64グループ(最多64台)

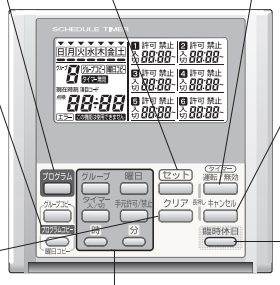


お願い）

配線を埋め込まれる場合は、JIS-C8340 1個用スイッチボックス（カバーなし）
または、2個用スイッチボックス（カバーなし）を現地調達し、埋め込んでください。

各部のなまえとはたらき

操作ボタン



セットボタン
プログラム運転時刻のセットに使います。
※プログラムボタンを押さないとプログラム内容を確定しません。

タイマー運転／無効ボタン
一時的にプログラムタイマーを無効にしたい場合に使います。2秒以上押し続けることで、液晶に タイマー無効 が表示され、再度このボタンを長押しするまでプログラムタイマー機能は無効になります。

プログラムボタン
プログラム内容の設定開始とプログラム内容の確定に使います。

プログラムコピーボタン
プログラム内容をグループ単位や曜日単位でコピーするのに使います。
☞(P.11)

キャンセルボタン
設定中のプログラム内容やプログラムコピー、休日設定を取り消すときに使います。2秒以上押し続けることで、現在行っている設定やコピー動作を確定せずに通常画面に戻ります。

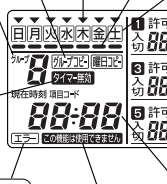
クリアボタン
設定中のプログラム内容を消去するのに使います。
※プログラムボタンを押さないと消去を確定しません。

臨時休日ボタン
臨時休日を設定するのに使用します。
☞(P.15)

設定ボタン	プログラム運転の内容や、現在時刻の設定に使います
グループ	プログラム運転を行うグループの設定に使います。
曜 日	現在曜日およびプログラム運転を行う曜日の設定に使います。
タイマー入／切	タイマーによってエアコンを運転／停止させるときに使います。
手元許可／禁止	タイマーによって手元リモコンの操作を許可／禁止させるときに使います。
時　分	現在時刻およびプログラム運転を行う時刻の設定に使います。

※据付時の設定によっては上記機能が使用できない設定になっています。その場合、使用できないボタンを押すと液晶に この機能は使用できません と表示されます。
詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

液晶表示



現在曜日表示（▼印）

プログラム予約表示（ー印）
プログラム運転をセットした曜日を表示します。

コピーモード表示
プログラム内容をコピーするときに表示します。

休日セット表示（□印）
臨時休日をセットした曜日を表示します。
☞(P.15)

グループ表示
最多8つのグループを切り換えて表示します。

プログラム内容
セットしたプログラムタイマーを表示します。
また、グループコピーの際にはコピー元／コピー先を表示します。

タイマー無効表示
プログラムタイマー運転が無効になっているときに表示します。

エラー表示
タイマー時刻の設定に誤りがあったときに表示します。

現在時刻表示
現在の時刻を24時間制で表示します。
また、各種設定中のモードを表示します。

この機能は使用できません表示
使用できない機能を選択したときに表示します。

ご使用方法

スケジュールタイマーをお使いになるときは、下記の手順によって設定を行ってください。

1. スケジュールタイマーの初期設定を行う

「 5C Rn 」点滅中はスケジュールタイマーが接続しているエアコンと初期通信をしています。しばらくお待ちください。

●現在の時刻と曜日の設定を行います　☞(P.5)(P.6)

2. スケジュールタイマーのプログラム運転設定を行う

●プログラム運転設定を行います　☞(P.7)

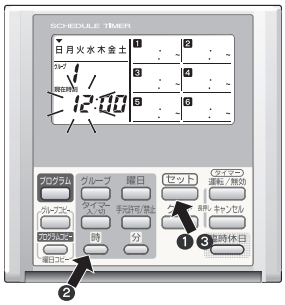
スケジュールタイマー／ CZ-10ESW3…別売品　仕様と機能

ご使用方法

現在時刻の設定

例：現在時刻が12時45分の場合

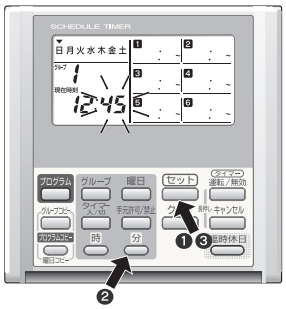
1.「セット」ボタンを押しながら「時」ボタンを押し、現在時刻の時を合わせます。



❶「セット」ボタンを押しながら
❷「時」ボタンを押します。
❸「セット」ボタンを離して、確定します。

※❷のとき「時」ボタンを長押しすると早送りになります。

2.「セット」ボタンを押しながら「分」ボタンを押し、現在時刻の分を合わせます。



❶「セット」ボタンを押しながら
❷「分」ボタンを押します。
❸「セット」ボタンを離して、確定します。

※❷のとき「分」ボタンを長押しすると早送りになります。

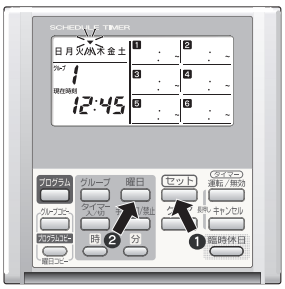
〈ご注意〉
時刻が未設定の場合「88:88」が表示され、プログラム内容が設定されていても動作しません。

ご使用方法

曜日の設定

例：水曜日の場合

1.「セット」ボタンを押しながら「曜日」ボタンを押し、現在の曜日に合わせます。



❶「セット」ボタンを押しながら
❷「曜日」ボタンを押します。
「▼」が点滅して順次移動します。

※「セット」ボタンを離したとき曜日が確定し点灯表示になります。



ご使用方法

プログラムの設定

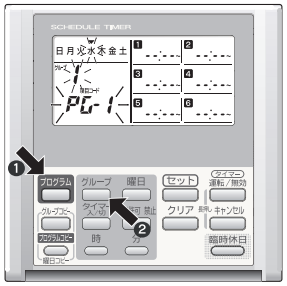
グループおよび曜日ごとに、1日6個までのプログラム運転をセットできます。また、1つのプログラム運転で下記の動作を組み合わせて設定できます。
・エアコンの運転／停止
・リモコンによる手元操作の許可／禁止
すでに設定してあるプログラム内容を変更する場合も以下の手順で行います。

※据付時の設定によってはリモコン手元操作の許可／禁止が使用できない設定になっています。その場合、「手元許可／禁止」ボタンを押すと液晶に「この機能は使用できません」と表示されます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

設定の例：



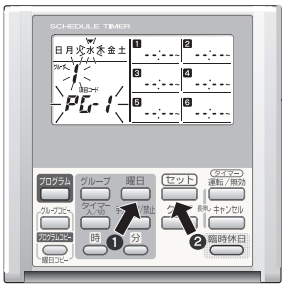
1. プログラム運転を行うグループを選択します。



❶「プログラム」ボタンを押すと、グループ番号と現在曜日が点滅し、現在時刻表示が項目コード PG-1 の点滅に変わります。
❷「グループ」ボタンを押して、プログラム運転を行うグループを選択します。

※選択可能なグループ数は据付時に設定されていますので、据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

2. プログラム運転を行う曜日を選択します。

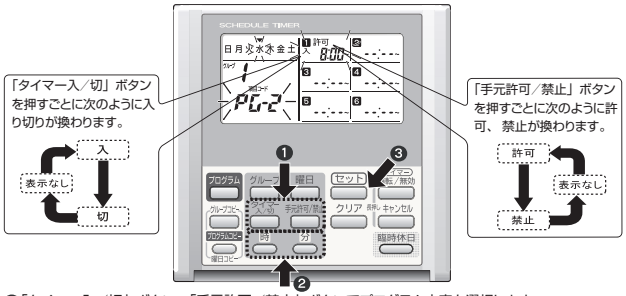


❶「曜日」ボタンを押してプログラム運転を行う曜日を選択します。
❷「セット」ボタンを押すとプログラム 1 の設定時刻が点滅します。また、項目コード が PG-2 の点滅に変わります。

〈ご注意〉
プログラムの設定中に、設定を途中でキャンセルしたい場合は「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けてください。通常画面に戻ります。

ご使用方法

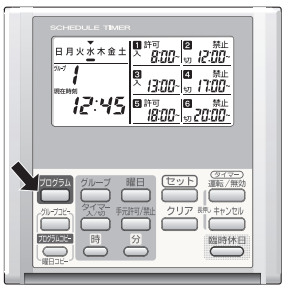
3. プログラム内容を設定します。



❶「タイマー入／切」ボタン、「手元許可／禁止」ボタンでプログラム内容を選択します。
❷「時」・「分」ボタンで動作時刻を設定します。
❸「セット」ボタンを押すとプログラム 1 の内容で確定（点滅→点灯）し、同時にプログラム 2 の設定に移ります。上記を繰り返すことで 2 ～ 6 を設定することができます。
（「セット」ボタンを押すと、プログラム内容を時間の早い順に自動的に並べ替えます。）
設定中 エラー が点滅表示した場合は、9ページ『●エラー点滅について』をご参照ください。

※据付時の設定によっては「手元許可／禁止」の機能を選択できない設定になっています。この場合は「タイマー入／切」のみ設定可能です。
※プログラム内容を設定しない状態で「セット」ボタンを押すと、プログラム 1 が点滅表示になり、設定の変更が行えます。また、プログラム 6 を設定した状態で「セット」ボタンを押しても、同じようにプログラム 1 が点滅表示になります。

4. プログラム内容を確定します。



●最後に「プログラム」ボタンを押すとプログラム内容を確定し、通常画面に戻ります。
※「プログラム」ボタンを押さないで「キャンセル」ボタンを2秒長押しすると、設定内容は確定しません。

5. 同様に、他のグループおよび曜日のプログラム内容を設定してください。

すでにセットした内容を他のグループや曜日にコピーできます。☞ (P.11)

スケジュールタイマー／ CZ-10ESW3…別売品　仕様と機能

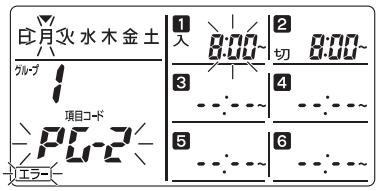
ご使用方法

●エラー点滅について

同じ時刻に複数のプログラムをセットした場合、エラーが点滅し設定できません。

修正方法

例：



1.「セット」ボタンを押すごとに同じ時刻のプログラム（上記の例で1と2）が切り換わりますので、修正するプログラムを選択します。
2. 時刻がかさならないように「時」・「分」ボタンで設定を変更します。
3.「セット」ボタンを押して、エラー表示が出ないことを確認します。
4.「プログラム」ボタンを押して変更完了です。

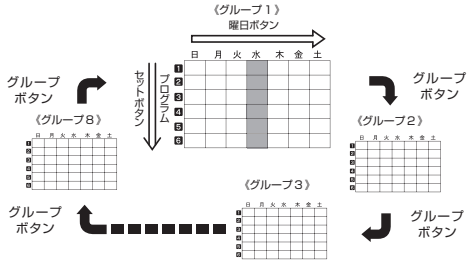
ご使用方法

プログラム内容の確認

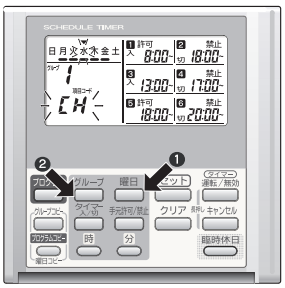
プログラムした各グループおよび曜日の運転時刻を確認することができます。

イメージ

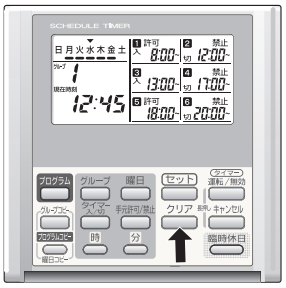
1グループで、各曜日毎にプログラム1～6を設定できます。（1週間で最多42個）



1. 曜日とグループを選択します。



2. 確認を終了します。



❶「曜日」ボタンを押していくと順次各曜日のプログラム内容を表示します。
❷「グループ」ボタンを押すと、現在選択している曜日の他の各グループのプログラム内容を表示します。

※据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

●「クリア」ボタンを押すと通常画面に戻ります。

※「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けても通常画面に戻ります。

ご使用方法

プログラム内容のコピーのしかた

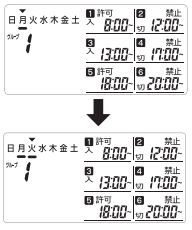
●曜日コピー

すでに設定されている他の曜日のプログラムをコピーすることができます。

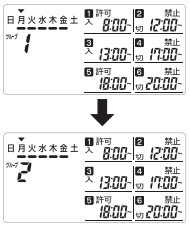
●グループコピー

すでに設定されている他のグループのプログラムを1週間分まとめてコピーすることができます。

例：曜日コピー
（月曜日の内容を火曜日にコピー）

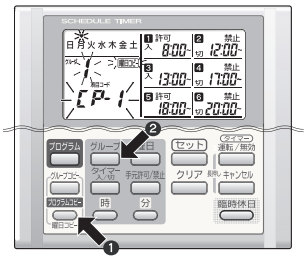


例：グループコピー
（グループ1の内容をグループ2にコピー）



曜日コピーのしかた

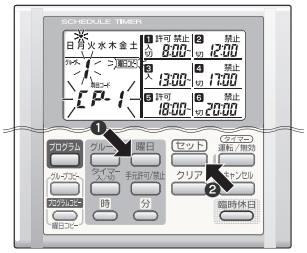
1. 曜日コピーを行うグループを選択します。



❶「曜日コピー」ボタンを押すとグループ番号とコピーモード、現在曜日表示「▼」が点滅し、現在時刻表示が項目コード[P-1]の点滅表示に変わります。
❷「グループ」ボタンを押して曜日コピーを行うグループを選択します。

※戻る場合は「クリア」ボタンを押してください。

2. コピー元を選択します。

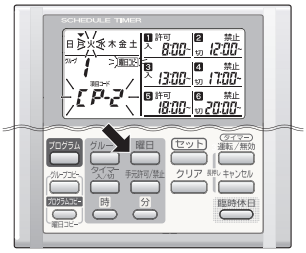


❶「曜日」ボタンを押すごとに現在曜日表示「▼」が移動しますので、コピー元になる曜日に合わせます。
❷「セット」ボタンを押すとコピー元を確定し、コピー先の選択画面になります。

※戻る場合は「クリア」ボタンを押してください。

ご使用方法

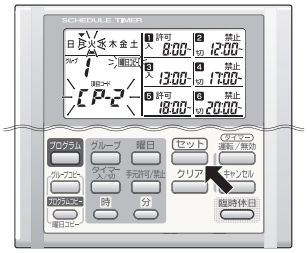
3. コピー先の曜日を選択します。



●現在時刻表示が[P-2]の点滅表示に変わり曜日表示が点滅しますので、「曜日」ボタンでコピー先の曜日を選択します。

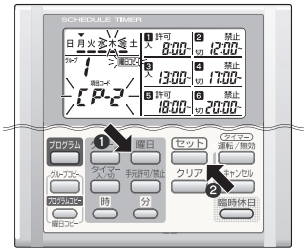
※戻る場合は「曜日コピー」ボタンを押してください。

4. プログラム内容をコピーします。



●「セット」ボタンを押すと、プログラム予約表示「➡」が表示されます。

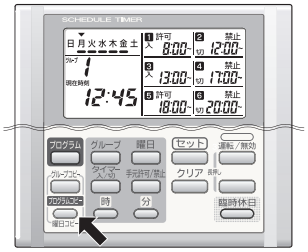
5. 引き続き他の曜日にコピーできます。



❶ 他のコピー先の曜日を「曜日」ボタンを押して選択します。
❷「セット」ボタンを押すとプログラム予約表示「➡」が表示されます。上記を繰り返すことで、他の曜日に連続してコピーすることができます。

※設定中に「クリア」ボタンを押すと、プログラム予約表示「➡」が消えてコピーが取り消されます。

6. プログラムコピーを確定します。



●「曜日コピー」ボタンを押すとプログラムコピーが確定し、通常画面に戻ります。

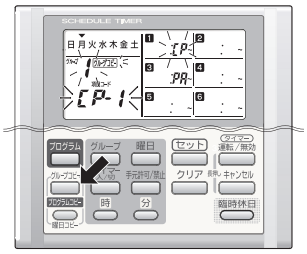
〈ご注意〉
すでにプログラムされている曜日をコピー先に設定した場合はプログラム内容が上書きされます。曜日コピーの設定中に誤ってプログラムを上書きした等の場合は、「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けることでプログラムコピーの「曜日コピー」ボタンを押す前の状態に戻ります。
（そこまでの変更やコピー作業はすべてキャンセルされます）

スケジュールタイマー／ CZ-10ESW3…別売品　仕様と機能

ご使用方法

グループコピーのしかた

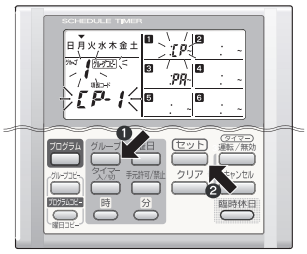
1. グループコピーを行うグループを選択します。



●「グループコピー」ボタンを押すとグループ番号とコピーモードが点滅し、現在時刻表示が項目コード [P-1] の点滅に、プログラム 1 がコピー元を示す [P]（コピー）の点滅表示に変わります。

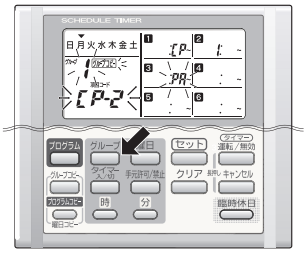
※この機能は使用できません が点灯した場合、選択可能なグループ数は据付時に設定されていますので、据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。

2. コピー元を選択します。



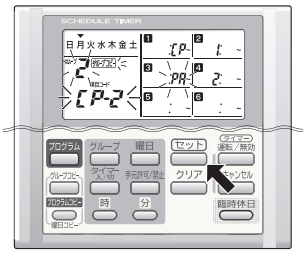
❶「グループ」ボタンでコピー元となるグループを選択します。
❷「セット」ボタンを押すと、コピー先の選択画面になります。

3. コピー先のグループを選択します。



●項目コードが [P-2] の点滅に変わり、プログラム 2 にコピー元のグループがセットされ、プログラム 3 がコピー先を示す PR（ペースト）の点滅表示になります。
「グループ」ボタンを押してコピー先グループを選択します。

4. コピー先を決定します。

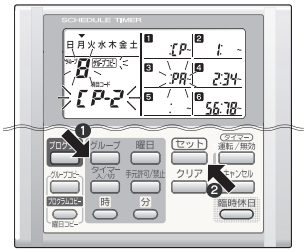


●「セット」ボタンを押すと、プログラム 4 のエリアにコピー先のグループが表示されます。

※コピー先のグループとして1～4を選択した場合はプログラム 4 のエリアに、5～8を選択した場合はプログラム 6 のエリアに表示されます。

ご使用方法

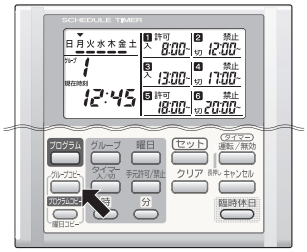
5. 引き続き他のグループにコピーできます。



❶他のコピー先のグループを「グループ」ボタンを押して選択します。
❷「セット」ボタンを押すとコピー先にコピーできます。
上記を繰り返すことで、他のグループに連続してコピーすることができます。

※コピー先のグループとして1～4を選択した場合はプログラム 4 エリアに、5～8を選択した場合はプログラム 6 のエリアに表示されます。
※設定中に「クリア」ボタンを押すと、直前に選択（予約）したコピー先のグループが消えてコピーが取消されます。

6. プログラムコピーを確定します。



●「グループコピー」ボタンを押すとプログラムコピーが確定し、通常画面に戻ります。

〈ご注意〉
●すでにプログラムされているグループをコピー先に設定した場合はプログラム内容が上書きされます。
●グループコピーの設定中に誤ってプログラムを上書きした等の場合は、「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けることで、プログラムコピーの「グループ」ボタンを押す前の状態に戻ります。（そこまでの変更やコピー作業はすべてキャンセルされます）

ご使用方法

臨時休日の設定

臨時休日を設定した曜日のプログラム内容を一度だけ無効にすることができます。

日 月 火 水 木 金 土 → 翌日 → 日 月 火 水 木 金 土 → 翌日 → 日 月 火 水 木 金 土

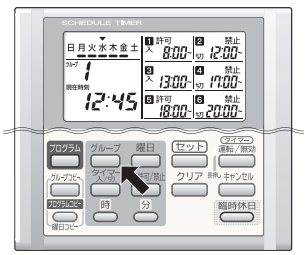
現在土曜日で金曜日が臨時休日の場合

臨時休日設定された金曜日のプログラム動作は行いません。

土曜日になると、金曜日の臨時休日設定は自動で解除されます。

※現在曜日に臨時休日を設定した場合、次週のプログラム運転が取り消されます。
（プログラムによって運転していても停止にはなりません）

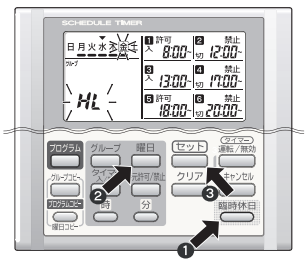
1. グループを選択します。



●「グループ」ボタンを押して臨時休日を設定したいグループを選択します。

※据付時の設定によってはグループ１のみをご使用していただく設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

2. 臨時休日になる曜日を設定します。

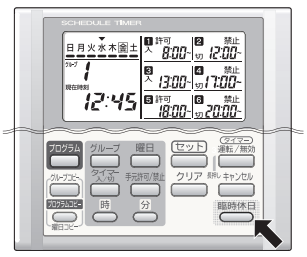


❶「臨時休日」ボタンを押してください。
現在時刻表示が HL の点滅に変わり、現在の曜日表示が点滅します。
❷「曜日」ボタンで曜日を選択します。
❸「セット」ボタンを押してください。
曜日表示に臨時休日を示す枠（□）が表示されます。

※引き続き他の曜日に臨時休日を設定したい場合は ❷、❸ を繰り返してください。
また、取り消したい場合は、曜日を選択して「クリア」ボタンを押してください。

ご使用方法

3.「臨時休日」ボタンを押して確定します。



●セットした臨時休日を確定し、通常画面に戻ります。

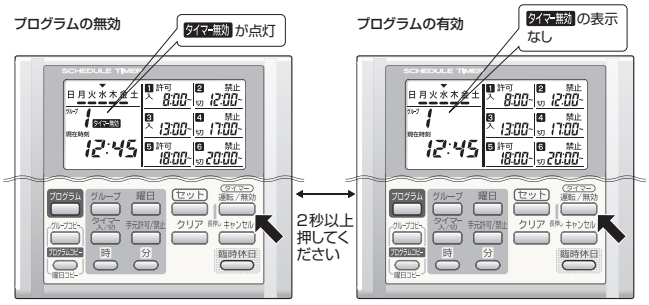
タイマー運転無効の設定

タイマー運転無効を設定すると、プログラム内容を無効にすることができます。
（全グループ、グループごと）

●タイマー運転無効に設定すると、再度下記の操作を行うまでプログラム運転を行いません。

※据付時の設定によってはグループごと、または全グループの2通りありますので「グループ」ボタンを押して確認してください。

プログラムの無効　　プログラムの有効

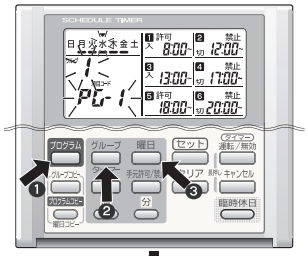


スケジュールタイマー／ CZ-10ESW3…別売品　仕様と機能

ご使用方法

プログラムの取り消しかた

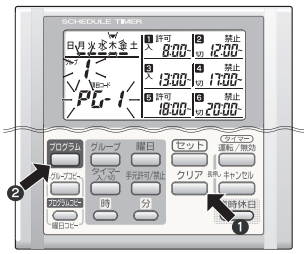
プログラム内容を取り消したい曜日を選択します。



❶「プログラム」ボタンを押すと、グループ番号と現在の曜日表示が点滅し、現在時刻表示が項目コード「PG-1」の点滅に変わります。
❷「グループ」ボタンを押して、消去したいグループを選択します。
❸「曜日」ボタンを押して、消去したい曜日を選択します。

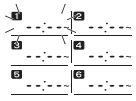
※据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。
※「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けたときは、「プログラム」ボタンを押す前の状態に戻ります。（そこまでの操作はすべてキャンセルされます）

〈曜日単位での消去〉
選択した曜日の全てのプログラムを消去します。

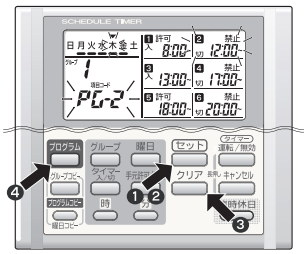


❶「クリア」ボタンを押します。
プログラムの1から6の内容がすべて消去され、下図のような表示になります。
❷「プログラム」ボタンを押すと、消去が確定して通常画面に戻り、プログラム予約表示の「➖」が消えます。

例：上の内容から全ての内容をクリアした後の表示



〈曜日内の個別プログラムの消去〉
選択した曜日の一部のプログラムだけを消去します。



❶「セット」ボタンを押して個別プログラム消去画面に移ります。
❷「セット」ボタンを押して消去したいプログラムを選択します。
❸「クリア」ボタンを押します。
❹「プログラム」ボタンを押すと、消去が確定して通常画面に戻ります。

例：上の内容から 2 をクリアした後の表示



知っていただきたいこと

スケジュールタイマーとエアコンの動作について

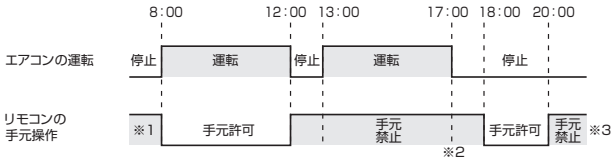
エアコンの運転は、スケジュールタイマーから行われるプログラム運転と、接続されたリモコンやシステムコントローラー等による動作のいずれかになります。

スケジュールタイマーの設定（例）

1 許可 入 8:00	2 禁止 切 12:00
3 入 13:00	4 禁止 切 17:00
5 許可 18:00	6 禁止 切 20:00

❶システムコントローラー等からの操作がない場合の動作

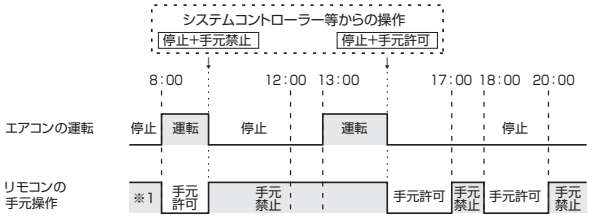
●リモコンが手元許可のときはリモコンから運転／停止が行えます。（後押し優先）



※1　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。
※2　すでに手元禁止になっていますので、手元禁止のまま変化しません。
※3　翌日以降に手元許可を設定するまで手元禁止を継続します。

❷システムコントローラー等からの操作がある場合の動作

●リモコンが手元許可のときはリモコンからの運転／停止が行えます。（後押し優先）
●システムコントローラー等から設定した手元許可／禁止（集中1～4）は、プログラム運転によって解除されます。



※1　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。

知っていただきたいこと

停電について

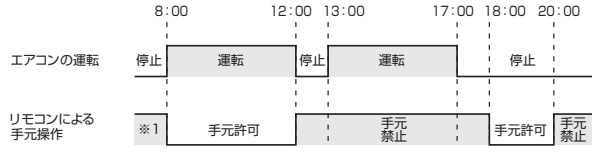
エアコンが停電して電源が復帰した場合は、エアコンが運転していた場合は停止します。
また、リモコンが手元禁止になっていた場合は電源が復帰してから数分間は手元許可に戻ります。

●停電が復帰した後の時刻のプログラム運転から有効になります。
●プログラム内容は、スケジュールタイマーに内蔵している不揮発性メモリでバックアップしますので、クリアされることはありません。また、現在時刻と現在曜日は内蔵の電池により、最大100時間までバックアップします。

スケジュールタイマーの設定（例）

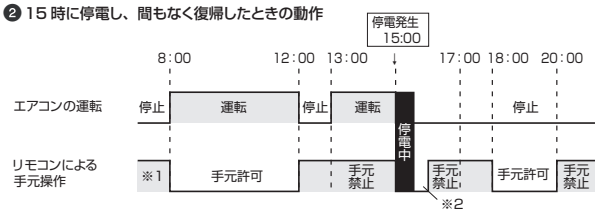
1 許可 入 8:00	2 禁止 切 12:00
3 入 13:00	4 禁止 切 17:00
5 許可 18:00	6 禁止 切 20:00

❶通常動作



※1　前日の設定によって手元許可が手元禁止のいずれかになります。

❷15時に停電し、間もなく復帰したときの動作



※1　前日の設定によって手元許可が手元禁止のいずれかになります。
※2　停電復帰後の数分間は手元許可になります。

Printed in Japan
DC0411-60423
ACXF55-19523
85464609106003

スケジュールタイマー／ CZ-10ESW3…別売品　施工

据付 (電気) 工事担当およびサービス担当のかたへ (CZ-10ESW3)

安全上のご注意

■**据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。**
■**ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。**

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに “取扱説明書” にそってお客様に使用方法を説明してください。また、“据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

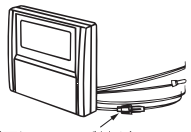
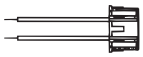
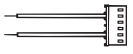
⚠ 警 告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電・火災等の原因になります。
●据付工事は、本書に従って確実に行ってください。
据え付け工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び本書に従って施行してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注 意

●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。
漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
●厨房や工場等、油分を含んだ雰囲気中への設置はしないでください。
●直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
●エレベーターや自動ドア、工業用ミシン等のノイズの発生が予想される機器の近傍には設置しないでください。
●可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ、水や油(機器油を含む)の飛沫するところ、有機溶剤の飛沫するところでのご使用は避けてください。
●スケジュールタイマーの近くで暖房器具を使用しないでください。プラスチック部分が熱により変形、変色することがあります。

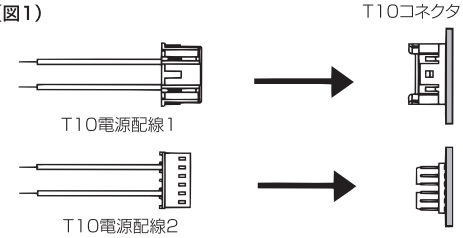
スケジュールタイマー付属部品

番号	付属部品	個数
①	スケジュールタイマー本体(集中制御機器)  (電源ヒューズ付き)※1	1
②	T10電源配線1　※2 	1
③	T10電源配線2　※2 	1

番号	付属部品	個数
④	電源配線 システムコントローラー接続用 	1
⑤	小ネジ M4×25 	2
⑥	ワイヤージョイント 	6
⑦	取扱説明書 	1
⑧	据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ 	1

※1　ヒューズが配線の短絡や誤配線、過電流で溶断した際には125V／0.1Aのものと交換してください。
※2　室内コントロール基板のT10コネクタの形状に合わせてご使用ください。（図1）

(図1)



スケジュールタイマーの取り付けかた

〈注1〉室内外操作線や入出力配線は、電源配線などと一緒により合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤作動の原因となりますので避けてください。
〈注2〉スケジュールタイマーはノイズ発生源から離して据付けてください。
〈注3〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。

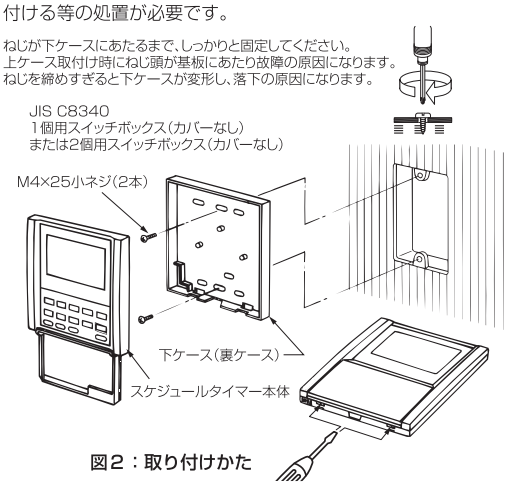


図2：取り付けかた

①スケジュールタイマー本体下側の溝にマイナスドライバー等を押しこんであけ、下ケースをはずしてください。
②スケジュールタイマーの下ケースを付属のM4小ネジ(2本)を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバー等で押し開けてください。
固定のときは、下ケースが変形しないように取り付けてください。
③スケジュールタイマー本体を裏ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。

連続設置の場合の取付方法

スケジュールタイマー（リモコン・システムコントローラー等）を壁面に取付ける場合は、図3、図4、図5の取付け方法を守ってください。

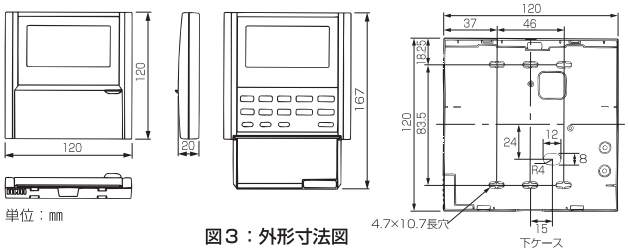


図3：外形寸法図

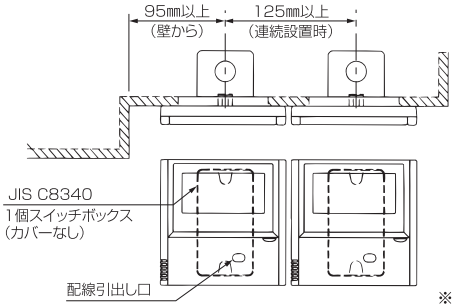


図4：1個用スイッチボックス

※上下に連続設置する場合、隙間は50mm以上としてください。

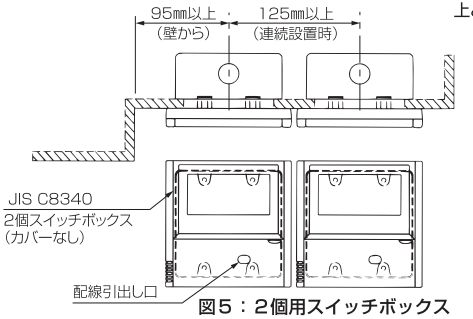


図5：2個用スイッチボックス

スケジュールタイマー／ CZ-10ESW3…別売品　施工

スケジュールタイマーの配線のしかた

●配線を行うまえに

- **室内外ユニットに「端子台U1・U2（室内外操作線接続）」がない場合集中制御機器（スケジュールタイマー）を使用するためには、S-LINKアダプター等が必要です。**
- 現地配線は0.5㎟～2㎟を使用します。
- 室内外操作線は、リモコン配線および電源配線区別できる信号線を使用し、誤配線のないようにしてください。（誤配線すると壊れます）
- スケジュールタイマーの電源配線と通信配線が正しく接続されていることを確認してください。(図6)

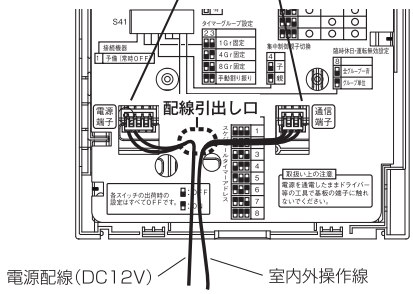
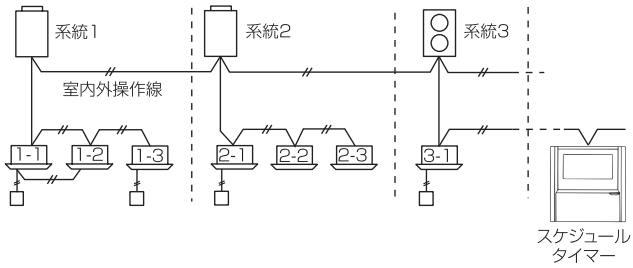


図6：スケジュールタイマー配線確認

〈基本配線図〉

- 室内外ユニットにS-LINKアダプターを使用する場合は、S-LINKアダプターに同梱されている工事説明書を参照してください。
- エアコンの室内外操作線は、図7のような集中制御使用時の配線をしてください。
- 1システムのエアコンの接続台数は、室内ユニットが最多64台、室外ユニットが最多30台です。
- スケジュールタイマーは最多で8台まで接続可能です。(スケジュールタイマーの台数は他の集中制御機器を含めて10台までとしてください)

(図7)



〈注〉室内外ユニットに端子台U1・U2がない機種の場合は、S-LINKアダプター等が必要です。

●配線のしかた

スケジュールタイマーの配線は、以下の3通り接続方法があります。現地で設置する場所に合わせて、接続方法を選択してください。
配線を行うときは、ワイヤージョイント（付属品）および延長配線（現地調達）により、配線の延長を行ってください。

1．室内ユニットへ接続（図8）
2．システムコントローラーへ接続（図9）
3．ON/OFF集中コントローラー、マルチコントローラーへ接続（図10）

●電源配線には極性がありません。
●室内外操作線には極性がありません。

1. 室内ユニットへ接続

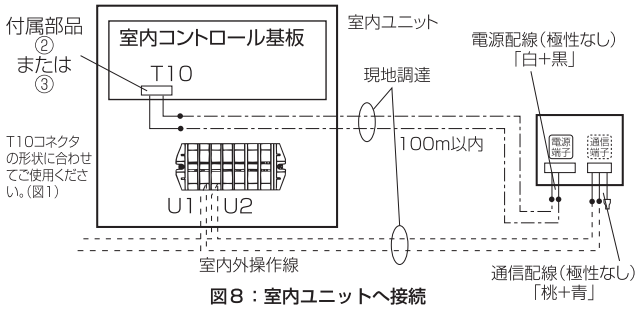


図8：室内ユニットへ接続

室内ユニットの室内コントロール基板から電源を供給する場合には、室内コントロール基板のT10端子に付属のT10端子接続用配線を接続し、スケジュールタイマーの電源配線と接続してください。

●電源配線の長さは、必ず100m以内としてください。

〈注意〉スケジュールタイマーは、運転モードや温度設定はできませんので、必ずリモコンやシステムコントローラーなどとの併用が必要です。

2. システムコントローラーへ接続

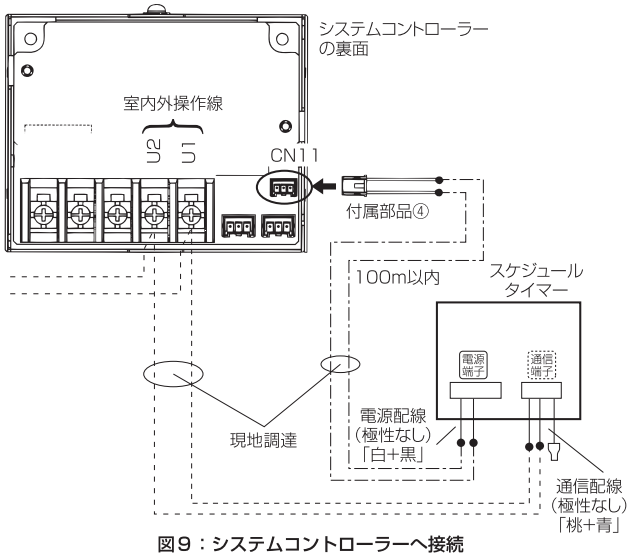


図9：システムコントローラーへ接続

●電源配線の長さは、必ず100m以内としてください。
注：室内外操作線用配線は桃＋青＋青（ワイヤージョイント圧着）となっておりますので、桃＋青の配線をご使用ください。

3. ON/OFF集中コントローラー、マルチコントローラーへ接続

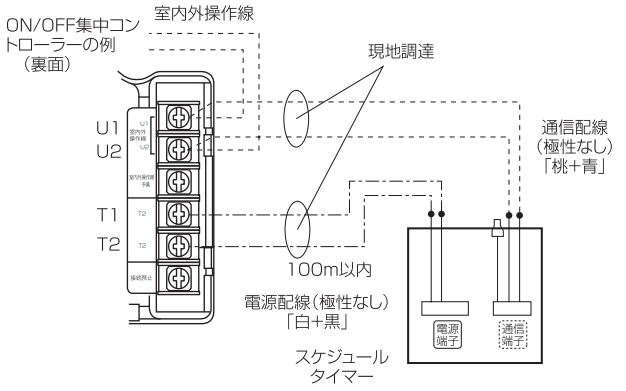


図10：ON/OFF集中コントローラーへ接続

スケジュールタイマーの室内外操作線用配線(注)と、ON/OFF集中コントローラー等の端子台にあるU1・U2端子を、また電源配線(白+黒)とT2、T1端子を図10のように接続してください。

●電源配線の長さは、必ず100m以内としてください。

注：室内外操作線用配線は桃＋青＋青＋（ワイヤージョイント圧着）となっておりますので、桃＋青の配線をご使用ください。

お客様への説明

●「取扱説明書」「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」は、工事完了後にお客様にお渡しください。
●「取扱説明書」に沿ってお客様に使用方法を説明してください。

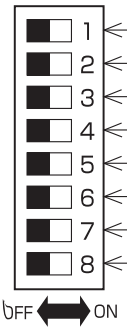
ACXF60-29433

スケジュールタイマー／ CZ-10ESW3…別売品　施工

設定スイッチについて

• 設定スイッチの設定は、スケジュールタイマーの電源を入れる前に行ってください。

S41



※出荷時の設定は
すべてOFF



予備(1)
必ずOFFで使用してください。

タイマーグループ設定(2, 3)

機能	2	3
1タイマーグループ固定	OFF	OFF
4タイマーグループ固定	OFF	ON
8タイマーグループ固定	ON	OFF
手動グループ設定	ON	ON

詳細は「タイマーグループの設定のしかた」をご参照ください。

集中制御親子切換(4)
子：OFF
親：ON

①スケジュールタイマー単体で使用する場合は、必ず親(ON)にしてください。

②ワイヤードリモコン、単体リモコン、ON/OFF集中コントローラーと併用する場合も親(ON)にしてください。

③インテリジェントコントローラー、システムコントローラー等の集中制御機器と併用する場合、子(OFF)にしてください。

④上記②以外の場合でスケジュールタイマーを複数台使用するときは、１台のみを親(ON)とし、その他を子(OFF)にしてください。

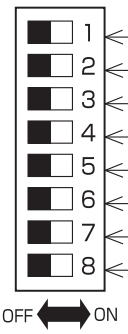
スケジュールタイマーのアドレス設定(5, 6, 7)

スケジュールタイマーは、室内外操作線上に最多8台接続できます。複数台設置する場合、設定スイッチにより重複を避けるためにアドレスの割り振りを行ってください。

機能	5	6	7
アドレス　1	OFF	OFF	OFF
アドレス　2	OFF	OFF	ON
アドレス　3	OFF	ON	OFF
アドレス　4	OFF	ON	ON
アドレス　5	ON	OFF	OFF
アドレス　6	ON	OFF	ON
アドレス　7	ON	ON	OFF
アドレス　8	ON	ON	ON

グループごとの臨時休日、運転無効設定(8)
設定スイッチOFFで一括、ONでタイマーグループごとの設定となります。

S42



※出荷時の設定は
すべてOFF

時刻同期送受信(5)
無効：OFF
有効：ON

スケジュールタイマーの複数台設置時、時刻設定を複数同時に行う場合はON(有効)にしてください。時刻設定を行ってから１分後に他のスケジュールタイマーの時刻が一致します。（通常OFF）

予備(6, 7, 8)
必ずOFFで使用してください。

次項に続く

前項より

手元許可項目(1)
上書き　：OFF
追加/解除：ON

システムコントローラー等、他の集中制御機器から設定された手元禁止項目に対して、スケジュールタイマーで上書きするか、項目の追加/解除を行うかの設定ができます。

タイマー設定内容で上書き　→OFF　※下記①例参照

設定スイッチ2～4の項目を追加/解除　→ON　※下記②例参照

手元許可/禁止を使用しないときはOFFにして使用してください。

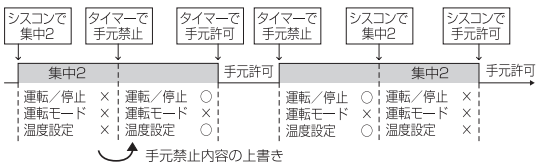
手元禁止項目スイッチ(2, 3, 4)

タイマーの手元禁止時に手元禁止を使用したい項目に合わせて手元禁止項目スイッチを設定してください。

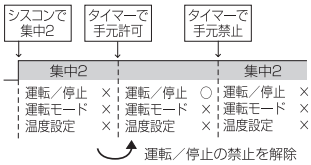
手元禁止項目	2	3	4
手元禁止を使用しない	OFF	OFF	OFF
運転/停止　（集中１）	OFF	OFF	ON
運転モード　（集中４）	OFF	ON	OFF
運転モード　運転/停止	OFF	ON	ON
温度設定	ON	OFF	OFF
温度設定　運転/停止	ON	OFF	ON
温度設定　運転モード　（集中３）	ON	ON	OFF
温度設定　運転モード　運転/停止　（集中２）	ON	ON	ON

集中１～４はシステムコントローラーの手元禁止モードの呼称です。

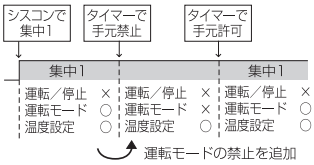
①の例(手元禁止項目を「運転モード」にした場合)



②の例(手元禁止項目を「運転/停止」にした場合)



②の例(手元禁止項目を「運転モード」にした場合)



集中制御アドレスの設定のしかた

■スケジュールタイマーを使用する場合は室内ユニットに集中制御アドレスの設定が必要になります。

●すべてのエアコンの電源を入れてください。

●エアコンの試運転を終了してください。**（系統アドレス、室内ユニットアドレス、グループアドレスの設定が終了していないと、集中制御アドレスは設定できません）**

●リンク配線後、下記の手順にしたがって集中制御アドレスを設定してください。

ワイヤードリモコンでの設定

●エアコンが停止中に行ってください。

●すべてのエアコンに対して下記の①～⑤の操作を行ってください。

①「点検」＋「換気」ボタンを同時に４秒以上押し続けます。（「ユニット選択」ボタンを押さないでください。）

②温度設定「▲」/「▼」ボタンで項目コード「03」に設定します。

③タイマー時間「▲」/「▼」ボタンで希望の集中制御アドレスに設定します。

④「セット」（または「セット/取消」）ボタンを押します。（設定中 の表示が点滅から点灯に変化したことを確認してください。）

⑤「点検」ボタンを押します。（通常の停止状態になります。）

システムコントローラーでの設定

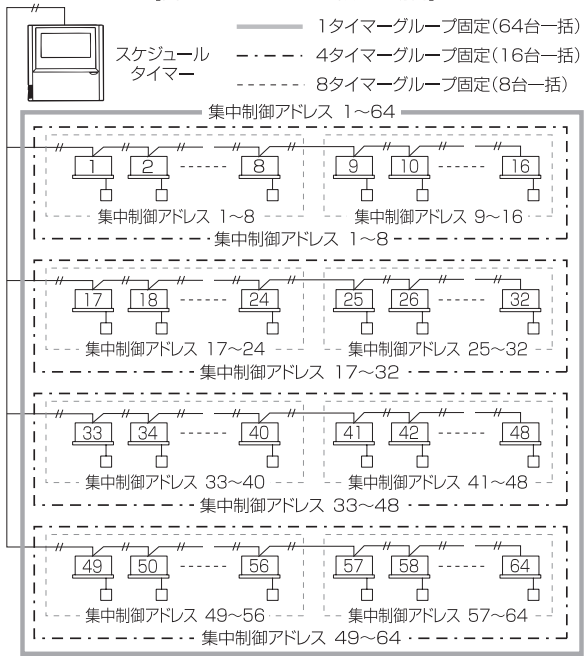
●システムコントローラー同梱の「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」や、試運転･サービス資料等の「集中制御の設定のしかた」を参照してください。

タイマーグループの設定のしかた

スケジュールタイマーは、６個の時刻状態変化を持ち、これをグループ（タイマーグループ）として最多８グループもつことができます。スケジュールタイマーを使用されるシステムで、一括でタイマー制御を行う室内ユニットの集中制御アドレスに合わせてタイマーグループの設定を行ってください。

スケジュールタイマー／ CZ-10ESW3…別売品　施工

【固定タイマーグループ設定の場合】



●固定タイマーグループ設定（グループ固定）の手順

①まず、他の集中機器（システムコントローラーなど）やワイヤードリモコンにより、一括でタイマー制御したい室内ユニットを上図で割り振られている集中制御アドレスに合わせて設定してください。
②次に、タイマーグループをいくつに分割させるかをS41スイッチ2，3により設定します。
③最後にスケジュールタイマーの電源を入れます。初期通信（ SC An 点滅表示）が行われ、数分で通常表示になり、タイマーグループ設定が確定します。

●手動タイマーグループ設定（手動割り振り設定）の手順

手動タイマーグループ設定はタイマーグループ内の集中制御アドレスの割り振りを自由に行うことのできる設定方法です。

①S41設定スイッチ2，3をONにして電源を入れてください。再起動と初期通信（ SC An 点滅表示）が行われ、数分で通常表示になります。
②通常表示時にスケジュールタイマーの「クリア」、タイマー「入/切」、「手元許可/禁止」ボタンを同時に4秒以上押してください。現在時刻表示部に“Ad-01”表示が点滅します。（ Ad はAddress、01は集中アドレス番号）
③「グループ」ボタンでタイマーグループを設定し、「曜日」ボタンでタイマーグループ内に割り振り登録したい集中制御アドレスを選択します。「セット」ボタンを押すと、集中制御アドレスが登録されます。
④登録を続ける場合は③の手順を繰り返します。（液晶右側部分に集中制御アドレス番号が追加されていきます）登録した集中制御アドレスを取り消したい場合には、「グループ」ボタンでタイマーグループを選択し、「クリア」ボタンを押してください。
⑤タイマーグループごとに③～④の手順を繰り返します。登録を終了するときはタイマー「入/切」ボタンを押します。自動的にスケジュールタイマーが再起動し、初期通信（ SC An 点滅表示）が行われ、数分で通常表示になり、手動で割り振り設定したタイマーグループ設定が確定します。

スケジュールタイマーで制御できる集中制御アドレスの確認、運転のしかた

スケジュールタイマーは、室内ユニットとの通信により現在タイマー制御のできる集中制御アドレスを確認し、運転／停止することができます。

①スケジュールタイマーは、「手元許可/禁止」、「時」、「クリア」ボタンを同時に4秒以上押してください。現在時刻表示部に“Ad-（集中制御アドレス）”が順次点滅されます。
②「グループ」ボタンにより、集中制御アドレスが順次点滅表示され、表示タイマーグループ内のどの集中制御アドレスがタイマー運転できるかを確認することができます。
③表示されているタイマーグループでタイマー「入/切」ボタンを押してください。押すごとに表示タイマーグループ内の室内ユニットが運転／停止を行います。また、このモードの中で「手元許可/禁止」ボタンを押すことにより、表示タイマーグループ内の手元禁止されている室内ユニットの全項目許可（運転停止、運転モード、設定温度の項目）を行うことができます。
④アドレス確認、運転後は「キャンセル」ボタンを2秒以上押してください。スケジュールタイマーが通常表示に戻り、制御可能な全室内ユニットが停止します。

施工計画書

●スケジュールタイマーのユニットNoの確認は、ワイヤードリモコンで行います。（ワイヤードリモコンからエアコンを運転し、リモコンの「ユニット選択ボタン」を1回だけ押すと、親機のユニットNoを表示します）

スケジュールタイマー タイマーグループ固定 1	4	8	集中制御アドレス	室内ユニット ユニットNo 系統 － 室内	部屋名
1 出荷時	1	1	1	－ ， －	
			2	－ ， －	
			3	－ ， －	
			4	－ ， －	
			5	－ ， －	
			6	－ ， －	
			7	－ ， －	
			8	－ ， －	
		2	9	－ ， －	
			10	－ ， －	
			11	－ ， －	
			12	－ ， －	
			13	－ ， －	
			14	－ ， －	
			15	－ ， －	
			16	－ ， －	
	2	3	17	－ ， －	
			18	－ ， －	
			19	－ ， －	
			20	－ ， －	
			21	－ ， －	
			22	－ ， －	
			23	－ ， －	
			24	－ ， －	
		4	25	－ ， －	
			26	－ ， －	
			27	－ ， －	
			28	－ ， －	
			29	－ ， －	
			30	－ ， －	
			31	－ ， －	
			32	－ ， －	
	3	5	33	－ ， －	
			34	－ ， －	
			35	－ ， －	
			36	－ ， －	
			37	－ ， －	
			38	－ ， －	
			39	－ ， －	
			40	－ ， －	
		6	41	－ ， －	
			42	－ ， －	
			43	－ ， －	
			44	－ ， －	
			45	－ ， －	
			46	－ ， －	
			47	－ ， －	
			48	－ ， －	
	4	7	49	－ ， －	
			50	－ ， －	
			51	－ ， －	
			52	－ ， －	
			53	－ ， －	
			54	－ ， －	
			55	－ ， －	
			56	－ ， －	
		8	57	－ ， －	
			58	－ ， －	
			59	－ ， －	
			60	－ ， －	
			61	－ ， －	
			62	－ ， －	
			63	－ ， －	
			64	－ ， －	

Printed in Japan
DC0411-40723
ACXF60-29433
85464369425001

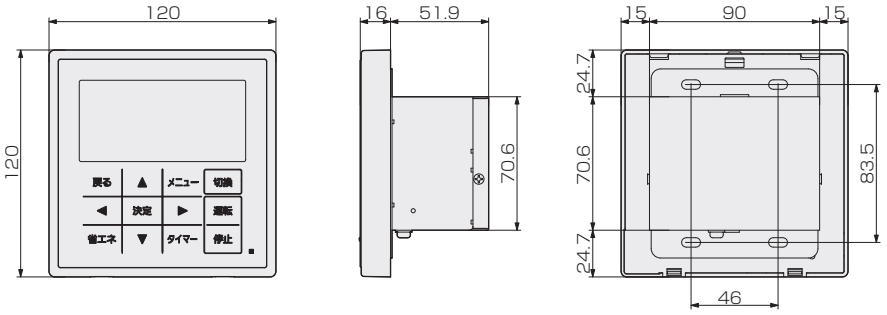
e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　仕様

仕様

品番		CZ-10ESM4
外形寸法		(高さ) 120 mm ×(幅) 120 mm ×(奥行き) 16 + 51.9 mm
質量		520 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃· 20 %～80 %(屋内設置専用)
電源		単相 AC 100-240 V　50/60 Hz
消費電力		最大1.3 W
時計	精度	±30秒/月(常温25 ℃)※定期的に合わせてください。
	保持時間	100時間(満充電時)※満充電に約8時間かかります。
接続台数		室内ユニット　最多64グループ(64台)

外形寸法

単位：mm

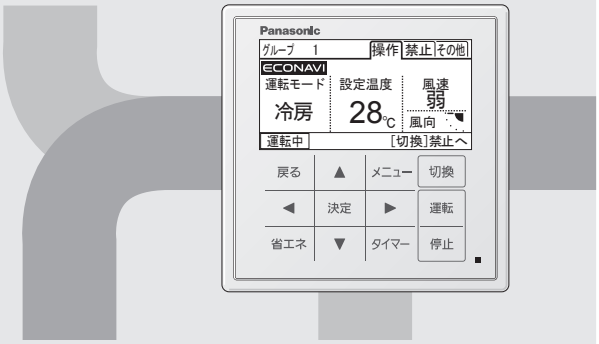


e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

本機の特長

簡単操作

- 大型画面でわかりやすく表示
- メニュー表示で簡単に操作



高機能・多機能

- **集中コントロール**
  本機 1 台で、オフィスのすべてのエアコンを制御できます。（P.8）
- **e-CUT機能**（P.4, P.31）
  空調のムダを無くし、既存のエアコンで省エネを実現します。
- **スケジュールタイマー機能**
  曜日単位で運転スケジュールを設定できます。
- **エコナビ機能**（P.7）
  エコナビセンサーで、省エネを実現できます。

外部機器との接続

- デマンドコントローラーの接続や、当社製の熱交換気システム＊（マイコンタイプ）のコントロールができます。（P.63 ～P.65）

＊適用シリーズ…天井埋込形・マイコンタイプMZD 8シリーズ以降、天吊カセット形・マイコンタイプMZB 8シリーズ以降

もくじ

	ページ
●e-CUT機能について	4
●安全上のご注意	6
●使用上のお願い	6
●エコナビ機能の概要	7
●空調管理システムについて	8
・室内ユニットの制御	8
・接続できる室内ユニットの数	9
・制御モード	9
●各部の名前	10
・操作部	10
・画面表示	11
●画面切換について	12
●基本操作	14
●一斉・ゾーン・グループを選ぶ	16
●運転モード・設定温度・風速・風向を設定する	18
●ウィークリータイマー設定の概要	20
●タイマー予約する	22
・新規登録	22
・設定をコピーする	26
●タイマー予約を変更・削除する	28
●メニュー一覧	30
省エネ設定	
●エコナビ設定	32
●設定温度自動リターン	34
●設定温度範囲制限	36
●消し忘れ防止設定	38
●デマンド設定（時間帯デマンド、ピークカット）	40
●デマンド設定（外部入力デマンド）	42
●デマンド設定（タイマー省エネ、効率運転）	44
●運転自動停止	46
パスワード設定	
●暗証番号	48
●対象範囲設定	48
フィルター情報	
●フィルターサイン／フィルター清掃時期	50
室外静音設定	
●室外静音設定	52
初期設定	
●時計設定／時刻表示設定／操作ロック設定	54
●ゾーン・グループ名称設定	56
●操作音設定／コントラスト調整／バックライト設定／サービス連絡先表示	58
設定情報一覧	
●グループ情報 / 設定情報	60
・すべての設定情報アイコン一覧	62
●換気設定	63
●リモコン操作を禁止する	66
●「その他」画面で設定する	68
●故障かな？	70
●仕様	71
●集中制御設定記録	裏表紙

e-CUT機能について

空調のムダを無くし、既存のエアコンで省エネを実現します。

★：ガスヒートポンプエアコンの場合

設定温度自動リターン＊1

設定のしかた：P.34

温度を変えても、決めた時間がたったら自動で決めた温度にしたいときに。

来客時だけ涼しくしたい



設定温度範囲制限＊1

設定のしかた：P.36

設定できる温度の範囲を制限したいときに。

範囲外の温度には設定できません



消し忘れ防止設定＊1

設定のしかた：P.38

決めた時刻に運転を止め、そのあと運転させても、一定時間ごとに検知して自動で止めたいときに。



運転自動停止＊1

設定のしかた：P.46

運転するたびに、一定時間後に自動停止させたいときに。

使用頻度が少なく、1回の使用時間が短いときに、おすすめ



デマンド設定＊1（★ガス省エネ）

設定のしかた：P.40～P.45

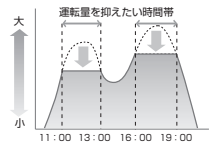
設置時に選んだ条件で、運転量を抑えたいときに。

設置時に、下記の３つのモードから選べます。

■時間帯デマンド（★ピークカット）

時間帯を指定して抑制（時間帯ごとに、運転量も指定）

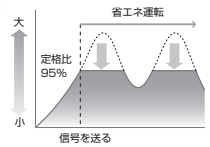
- 操作対象範囲は一斉のみ可能



■外部入力デマンド

外部機器からの信号で、抑制

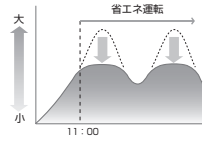
- 操作対象範囲は一斉のみ可能



■タイマー省エネ（★効率運転）

時間帯を指定して抑制

- 操作対象範囲はグループ・ゾーン・一斉が可能



パスワード設定

設定のしかた：P.48

権限のある人にだけ、設定変更させたいときに。

- 設定変更範囲は、下記の３つから選べます。
  - 省エネ設定のみ
  - メニュー操作＋ウィークリータイマー設定
  - すべてのキー操作

※e-CUT 機能が強制的に省エネ操作を行います。
混乱を避けるため、リモコンには同梱の「省エネ集中管理中」ラベルを貼ってください。

＊1：設定画面に e-CUT が表示されます。（e-CUT機能を表しています）

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る（水漏れや感電・火災の原因）

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
必ず守る（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）
必ず守る
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

ぬれた手で操作しない
禁止（感電や故障の原因）

⚠ 注意

リモコンを分解しない
禁止（感電や故障の原因）

水洗いしない
禁止（感電・火災の原因）

使用上のお願い

- 次のような場所に設置しない
  - 湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる/熱源の近く/結露する(故障の原因)
  - ノイズが発生する(誤動作の原因)
- スプレーを吹きかけない(誤動作や故障の原因)
  - 液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない(液晶画面のくもり・変色や故障の原因)
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

エコナビ機能の概要

別売のエコナビセンサーで人の活動量を計り、人の活動量に応じて室内ユニットが省エネ運転を行います。

■人の活動量が多い場合



- 冷房・ドライ時
  設定温度で運転します
- 暖房時
  設定温度より温度を低くして運転します。

■人の活動量が少ない場合



- 冷房・ドライ時
  設定温度より温度を高くして運転します。
- 暖房時
  設定温度で運転します

■人が不在の場合



不在が約20分継続した時
- 冷房・ドライ時
  人の在室時より、温度を高くして運転します。
- 暖房時
  人の在室時より、温度を低くして運転します。

不在が約1時間継続した時
- 指定した不在運転モードで運転します。出荷設定は、設定温度を抑制した省エネ運転のまま継続します。(不在運転モードについては、エコナビセンサーの取扱説明書をご覧ください)

※ 不在運転モード中に人を検知した場合、人の活動量に応じた運転状態に戻ります。

⚠ 警告
必ず守る
体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

お知らせ

- エコナビ機能のオン／オフは本機で設定可能です。(P.32)
- エコナビ機能の詳細設定を行うには、別途エコナビ機能に対応したリモコン*が必要です。詳細設定方法については、エコナビ機能対応リモコン*の取扱説明書をご確認ください。
- エコナビ機能によって目標温度が変更されても、本機に表示される設定温度は変化しません。
- 不在運転(スタンバイモード)により送風運転に切り換わっても、本機に表示される運転モードは変化しません。
- 室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。

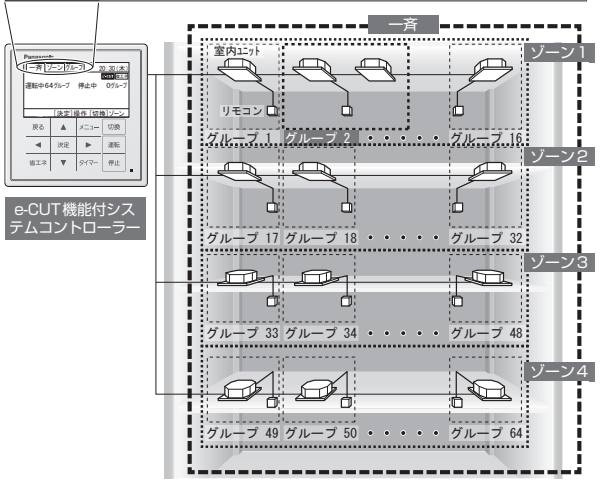
*多機能ワイヤードリモコン(CZ-10RT4A以降)

空調管理システムについて

制御・監視エリアの規模に応じた最適な空調管理システムが選択できます。

■室内ユニットの制御
本機1台で最大64台の室内ユニットを個別・集中で多機能操作。
※ 室内ユニット64台を最大4ゾーンに分け、一斉/ゾーン/グループ単位で制御できます。

一斉	・すべての室内ユニットを最大64台操作・設定できます。
ゾーン	・複数の室内ユニットを最大4つのゾーンとして登録でき、ゾーンごとに一括して操作・設定が可能です。
グループ	・グループごとに操作・設定を行います。 ※リモコンの操作単位が1グループになります。 例）下図グループ2のように「室内ユニット2台」をリモコン操作している場合は、「室内ユニット2台」が1グループになります。



- 上記は本機を集中コントローラーとして接続した例です。
- 室内ユニットとして、熱交換気ユニットを接続できます。(P.63)

■接続できる室内ユニットの数
- 室内ユニット最大64台
- 設定数：4ゾーン、64グループ
- 1ゾーン：16グループ、64台

■制御モード
本機には、2つの「動作モード」と5つの「管理台数モード」があります。
※ 各モードは設置時に設定されています。詳細は、据付(電気)工事説明書をご覧ください。

●動作モード
「集中制御モード」:
- 本機を"集中コントローラー"として使用。

お知らせ
集中制御モードにした場合は「リモコン禁止モード」が使用できます。(P.66)

「リモコンモード」:
- 本機を"リモコン"として使用。

お知らせ
リモコンモードにした場合は「リモコン禁止モード」は使用できません。また他の集中コントローラーが「リモコン禁止」を設定すると、本機で室内ユニットを操作できなくなります。

●管理台数モード
「一斉モード」:
- 一斉/ゾーン/グループ単位で制御できます。(※P.8参照)

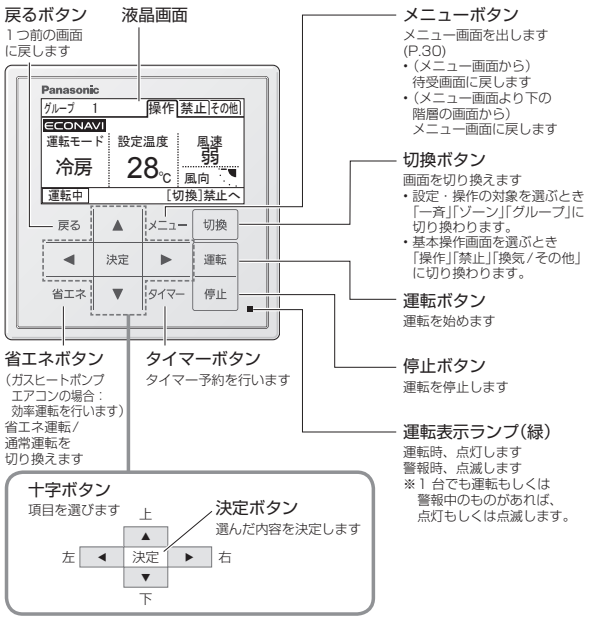
「ゾーン1・2・3・4モード」:
- ゾーン1・2・3・4いずれかのゾーンの室内ユニットのみ操作・設定できます。

		動作モード	
		集中制御モード	リモコンモード
管理台数モード	一斉モード	一斉集中制御	一斉リモコン
	ゾーン1モード	ゾーン1集中制御	ゾーン1リモコン
	ゾーン2モード	ゾーン2集中制御	ゾーン2リモコン
	ゾーン3モード	ゾーン3集中制御	ゾーン3リモコン
	ゾーン4モード	ゾーン4集中制御	ゾーン4リモコン

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

各部の名前

操作部

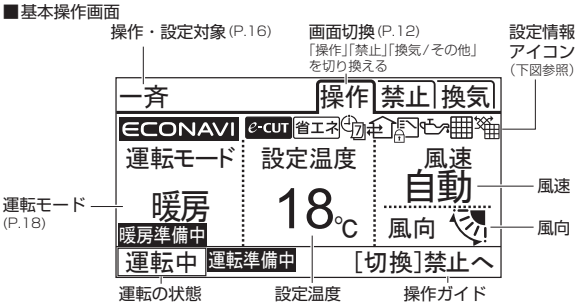


お知らせ

●パスワード設定がされている場合は、下記のいずれかの操作後、パスワードの入力画面が表示されます。
・メニュー内の1.省エネ設定操作後
・メニューボタンとタイマーボタン操作後
・すべてのボタン操作後
パスワードについては、パスワード設定をご確認ください。(P.48)
●操作は、ボタンの中央付近を押してください。
●手袋を着けた状態では、操作できません。
●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

画面表示

■基本操作画面



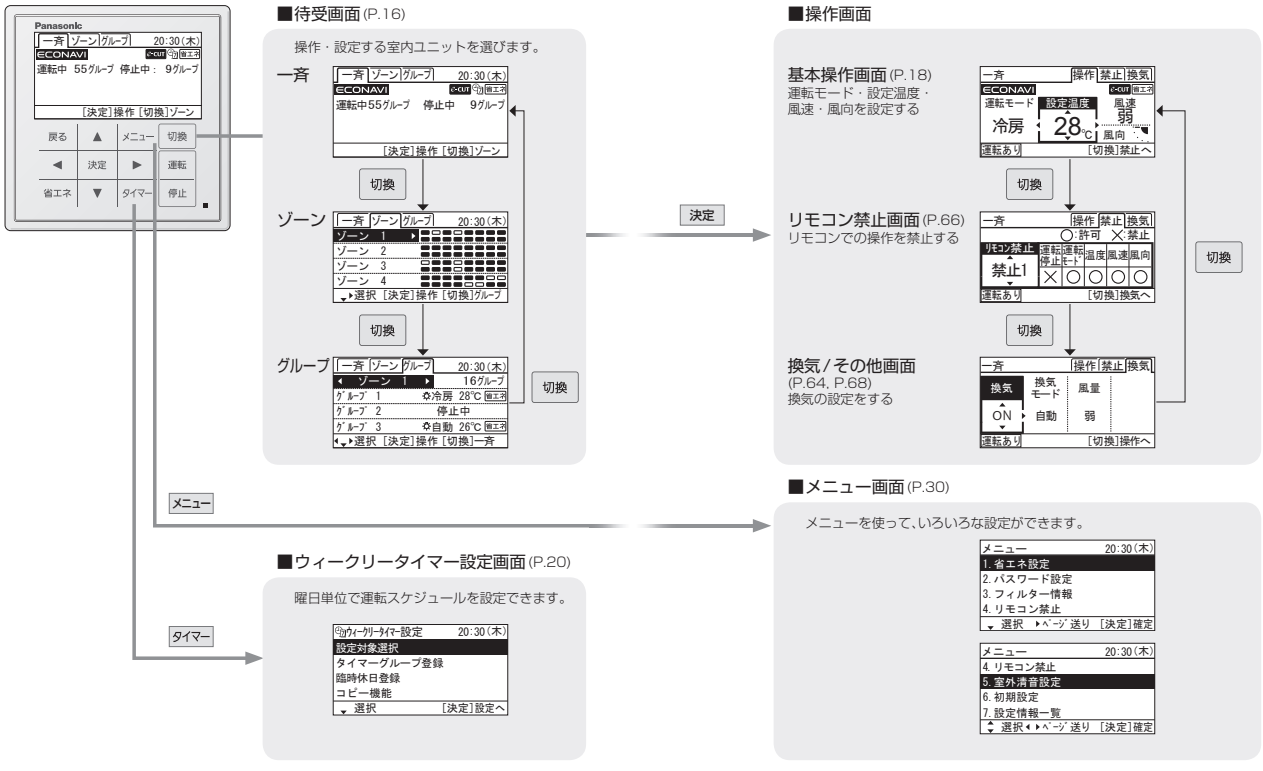
設定情報アイコン表示例(基本操作画面、待受画面に表示されます)
設定状況によりアイコンの数と表示位置は変わります。

アイコン	内容	詳細ページ
	室内ユニットのフィルター清掃が必要	P.50
	熱交換気ユニットのフィルター清掃が必要(熱交換気ユニット接続時のみ)	P.68
	エンジンオイル交換が必要(ガスヒートポンプエアコン使用時のみ)	—
	運転モードの切り換えを禁止中(冷暖自動への切り換えも禁止)	—
*2	集中制御機器からリモコン操作を制限中(リモコンモード時のみ)	—
*2	キー操作ロック設定中	P.54
	ウィークリータイマー設定中と臨時休日設定中	P.26
	ウィークリータイマー設定中(臨時休日未設定)	P.20
省エネ	省エネ運転中	P.15
	外気をそのまま取り入れ換気中 (熱交換気ユニット接続時、市販の換気扇等の接続時のみ)	P.64
*2	外気を室温に近づけて取り入れ換気中*1 (熱交換気ユニット接続時のみ)	
*2	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換え換気中*1 (熱交換気ユニット接続時のみ)	
e-CUT *2	設定温度自動リターン機能、設定温度範囲制限機能、消し忘れ防止機能、デマンド機能(時間帯デマンド、ピークカット、外部入力デマンド、タイマー省エネ、効率運転)、運転自動停止機能のうちいずれかの機能が設定中です。	—
e-CUT *2	設定温度戻し時間(リターン時間)カウント中、運転自動停止時間カウント中、消し忘れ防止期間中に表示します。	—

※すべてのアイコンの意味を確認するとき(P.62)
*1：基本操作画面のみに表示されます。
*2：アイコン表示が多いときは、表示エリアをこえるので、表示されない場合があります。(P.62)

画面切換について

主な画面の切り換えかたを示します。



e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

基本操作

本機を使用するうえでの基本的な操作について説明しています。

1 一斉・ゾーン・グループを選ぶ (P.16)

切換 を押す

2 運転モード・設定温度・風速・風向を設定する (P.18)

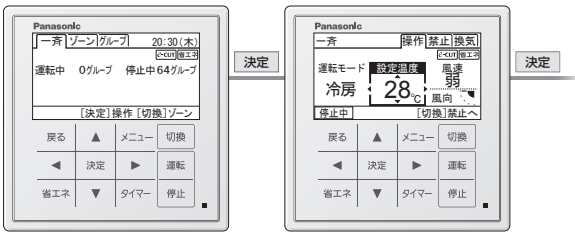
◀ ▶ → ▲ ▼ を押す

3 運転する

運転 を押す

4 終了する

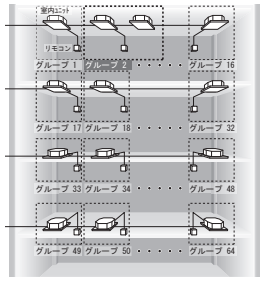
停止 を押す



一斉　すべての室内ユニットを選ぶ。

ゾーン　ゾーン*を選ぶ。

グループ　グループを選ぶ。



* ゾーンモードのときは指定されたゾーンのみ操作可能です。(P.9)

運転モード　冷房、暖房、ドライ、送風、冷暖自動を切り換える。

設定温度　設定温度を設定する。

風速　風の強さを切り換える。

風向　風の向きを切り換える。

●「切換」ボタンで画面を切り換えて、以下の設定を行うことができます。

・「禁止」(リモコン禁止)画面 (P.66)
リモコンによる設定・操作を禁止する。

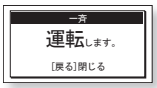
・「換気/その他」画面 (P.64, P.68)
換気のオン/オフ、設定などを行う。

さらに…

メニュー　メニュー画面で詳細な設定を行うことができます。(P.30)

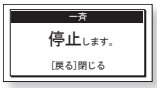
タイマー　ウィークリータイマー設定を行うことができます。(P.20)

運転を開始する。



・ポップアップ画面を表示。(4秒)
・運転表示ランプが点灯。

運転を停止する



・ポップアップ画面を表示。(4秒)

※ポップアップ画面をすぐに消したいときは「戻る」ボタンを押します。

「省エネ」ボタン
(ガスヒートポンプエアコンの場合：効率運転を行います)
省エネ運転をオン/オフにする。(省エネ運転機能付きの室内ユニットのみ対応)

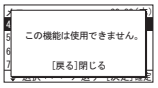
「決定」ボタン
手順2の画面に戻り、運転しながら設定を変更できます。

お知らせ

●停電からの復帰後「運転」ボタンを押すと、停電前の内容で運転が再開します。
●しばらく操作しないと、節電のため、バックライトが消えます。(いずれかのボタンを押すと、点灯します)

省エネについて

●省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房/暖房などの能力は低下します。(室外ユニットの運転が制限値以下の場合は、制限されません)
●どの室内ユニットにも省エネ機能がない場合、省エネボタンを押すと右の画面が表示されます。



使いかた

一斉・ゾーン・グループを選ぶ

待受画面から設定する室内ユニットを選びます。

基本操作 (P.14) → **1** 一斉・ゾーン・グループを選ぶ → **2** 運転モード・設定温度・風量・風量を設定する → **3** 運転する → **4** 停止する

1 画面を切り換える

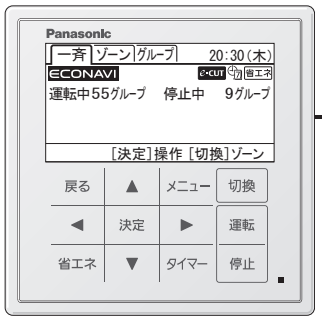
切換 を押す

一斉 → ゾーン → グループ

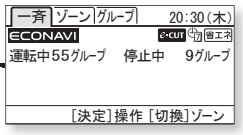
2 項目を選ぶ

▲ ▼ → 決定 を押す

「決定」を押すと設定画面に切り換わります。

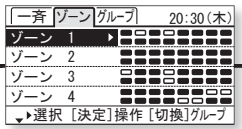


一斉
すべての室内ユニットを選ぶ



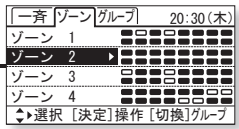
※一斉の場合、そのまま「決定」ボタンを押してください。

ゾーン
を選ぶ



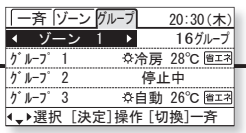
ゾーン1～4を選ぶ

▲ ▼ → 決定 を押す



※この画面からグループを選ぶことができます。(P.16「お知らせ」を参照)

グループ
を選ぶ



ゾーンを選び、グループを選ぶ

◀ ▶ → ▲ ▼ → 決定 を押す

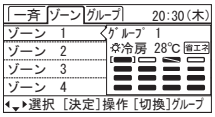


・◀▶でゾーンを選び、▲▼グループを選んで「決定」ボタンを押す。

お知らせ

●ゾーン画面でグループを選ぶことができます。

ゾーン選択画面で手順2の後 ▶ を押すと、下記の画面が表示されます。



・■ 運転中
・□ 停止中
・▨ 警報中
・【 】: 選択中のグループ
▲▼◀▶でグループを選び、「決定」ボタンを押す。

使いかた

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

運転モード・設定温度・風速・風向を設定する

選択した室内ユニットに対し各設定を行います。

基本操作（P.14）　1 一斉・ゾーン・グループを選ぶ　2 運転モード・設定温度・風速・風量を設定する　3 運転する　4 停止する

1 操作画面を出す
決定 を押す

2 設定する項目を選ぶ
◀ ▶ を押す
・カーソルが消えているときは「決定」を押す。

3 設定する
▲ ▼ → 決定 を押す
（カーソルが消える）待受画面に戻ります。



冷房や暖房など **運転モード** を変えるとき

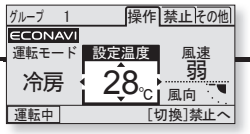
設定温度 を変えるとき

風　速 を変えるとき

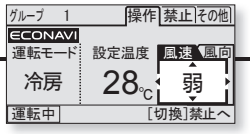
風　向 を変えるとき



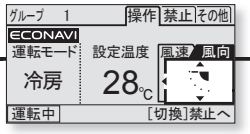
※冷暖自動：設定温度になるよう、自動で冷房/暖房を切り換えます。



・冷房・ドライ：18 ℃～30 ℃
・暖房　：16 ℃～30 ℃※
・冷暖自動　：17 ℃～27 ℃
※一部の機種の上限温度は26 ℃です。



※自動：送風時は選べません。



・：スイング
・スイング中に▲▼を押すとお好みの位置でフラップを止められます。
・暖房・送風・冷暖自動（暖房）時は、5段階、冷房・ドライ時は3段階の調節になります。

お知らせ
- 設定できない運転モードは表示されません。
- 風向の表示は、実際のフラップの角度とは異なります。
- しばらく操作しないと、節電のため、バックライトが消えます。（いずれかのボタンを押すと、点灯します）
- 機器によっては設定できる温度範囲が異なります。
- 本機で設定温度の範囲を変更することができます。（P.36）
- 風向表示が出ない機種があります。
- 「一斉」と「ゾーン」のときは、代表の室内ユニットの設定を表示しています。すべての室内ユニットが表示どおりの設定になっているわけではありません。

※室内ユニットが熱交換気ユニットの場合、画面が異なります。（P.68）

使いかた

ウィークリータイマー設定の概要

曜日単位で運転スケジュールを設定して、毎回の操作を省きたい



・毎週月～金曜は朝9：00に運転開始など、曜日と時刻を決めて、運転・停止や温度変更のスケジュールを設定できます。

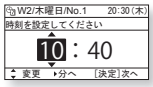
設定のしかた（概要）

・設定方法は（P.22）

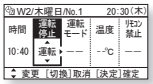
「曜日」を選ぶ



「時刻」を選ぶ

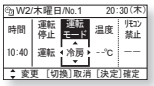


「動作」を選ぶ

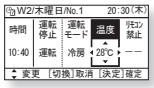


●**運転**：運転を始めるとき
●**停止**：運転を止めるとき

「運転モード」を選ぶ

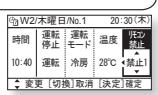


「温度」を選ぶ
（「送風」以外のときのみ）



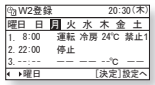


リモコンの「許可・禁止」を選ぶ

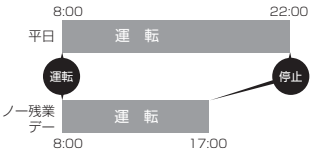


組み合わせれば、こんなことができます。

■例1
ノー残業デーは、早めに運転を止める！







・平日は、1つの曜日（例：月曜日）を設定して、他の曜日にコピーできます。（P.26）

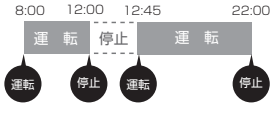
■例2
定時以降は、温度を高く！





■例3
昼休みは運転を止める！





■例4
今週の木曜日は休日！
登録済みのスケジュールを残したまま特定の曜日だけタイマーをオフにできます。（P.22）
・休日のある週に木曜日を「◪」（無効）に。
・休日が終わったら、「●」（有効）に。



ウィークリータイマー設定

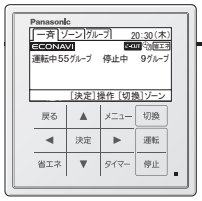
e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

タイマー予約する　新規登録

・画面は、タイマーグループW2として次の登録をした場合の例です。
毎週木曜日10:40に28 ℃で冷房運転を開始、リモコンは「禁止 1」を割り当てる。(P.25)

1 ウィークリータイマー設定画面を出す

タイマー を押す

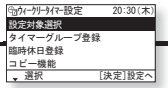


■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■タイマー設定画面を終了するとき
「タイマー」ボタンを押す。

2 「設定対象選択」を選ぶ

▲▼ → 決定



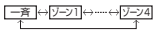
3 対象を選ぶ

■一斉/ゾーン

◀▶ → 決定
(または 切換)



・◀▶または「切換」ボタンで「一斉」・ゾーンを選ぶ。

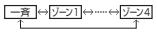


■グループ

◀▶
(または 切換)



・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選ぶ。



※ゾーンとグループの名前は変更できます。(P.56)

▲▼ → 決定



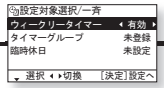
・▲▼でグループを選ぶ。



※一斉　：最大64グループ
ゾーン：最大16グループ

4 「ウィークリータイマー」を「有効」にする

▲▼◀▶ → 決定



・▲▼で項目を選び、◀▶で有効/無効を選ぶ。

(次ページに続く)

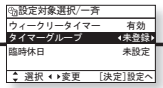
タイマーをオフにするとき
手順1から始め、手順4で「無効」を選び、「タイマー」ボタンを2回押す。

登録後、特定の曜日だけタイマーをオフにするとき(祝日など)
「臨時休日」を設定できます。(P.26)

タイマー予約する　新規登録(つづき)

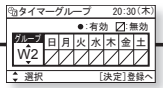
5 「タイマーグループ」を選ぶ

▲▼ → 決定



6 ウィークリータイマーグループを選ぶ

▲▼ → 決定



・▲▼でW1～W8より登録したいグループを選ぶ。

7 タイマーを使う曜日をすべて「●」(有効)にする

◀▶▲▼ → 決定
(または 切換)
(くり返す)



・◀▶で曜日を選び、▲▼または「切換」ボタンで「●」(有効)/「⊘」(無効)を選ぶ。

8 タイマー設定する曜日を選ぶ

◀▶



9 タイマー設定を登録する欄を選ぶ

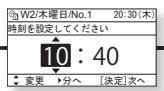
▲▼ → 決定



・曜日ごとに、8つまで登録できます。
・登録後、自動的に時系列で並び替わります。

10 タイマー動作する時刻を設定する

時　分
▲▼ → ▶ → ▲▼ → 決定

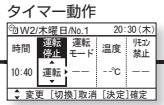


・0:00～23:59

11 設定する

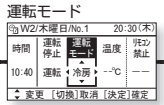
◀▶ → ▲▼ → 決定
(くり返す)

タイマー動作



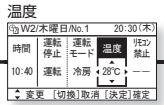
・タイマー動作の種類
●運転：運転を始めるとき
●停止：運転を止めるとき

運転モード

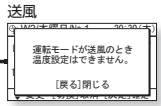


・運転モードの種類
●冷房
●送風
●自動
●暖房
●ドライ

温度



送風



※「送風」に設定した時は、温度の設定はできません。

リモコン禁止



※動作モードが「集中制御モード」のとき設定できます。(P.9)

12 設定内容を確認する

確認して タイマー
(2回押し終了)



■続けて追加登録するとき
「タイマー」ボタンを押さずに、手順9から繰り返す。

■設定内容を他の曜日にコピーするとき
(P.26)

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

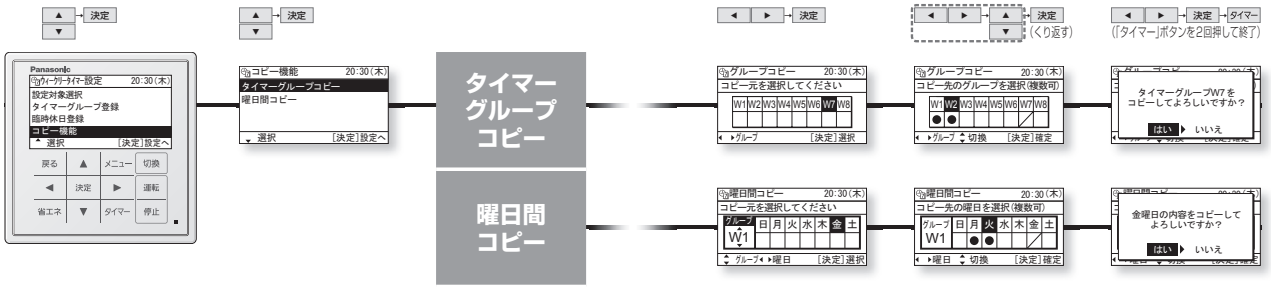
タイマー予約する　設定をコピーする

タイマーグループコピー / 曜日間コピー

■タイマーグループコピー
登録したタイマーグループを他のタイマーグループにコピーします。
複数のグループを同じスケジュールにするときに便利です。

■曜日間コピー
登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。
複数の曜日を同じスケジュールにするときに便利です。

1 P.22のウィークリータイマー設定画面で「コピー機能」を選ぶ
2 項目を選ぶ
3 コピー元を選ぶ
4 コピー先をすべて「●」にする
5 「はい」を選ぶ



臨時休日を設定する

祝日など、特定の曜日だけタイマーをオフにすることができます。

1 P.22のウィークリータイマー設定画面で「臨時休日登録」を選ぶ
2 ウィークリータイマーグループを選ぶ
3 臨時休日の曜日を選ぶ
4 臨時休日の設定を切り換える
5 P.23の4「設定対象選択/一斉」設定画面で「臨時休日」を選ぶ
6 「設定中」を選ぶ

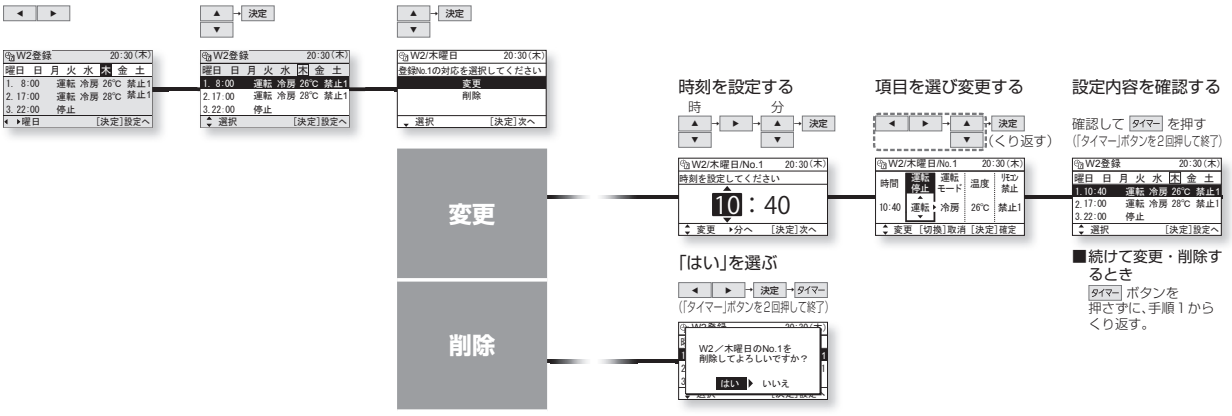


・W1～W8

◉：設定
空欄：未設定

タイマー予約を変更・削除する

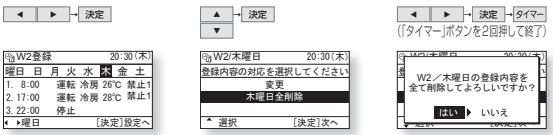
1 P.25の手順8のあと、変更・削除する曜日を選ぶ
2 変更・削除するスケジュールを選ぶ
3 変更または削除を選ぶ
4 変更・削除する



■続けて変更・削除するとき
タイマー ボタンを押さずに、手順1からくり返す。

■選んだ曜日のスケジュールを“すべて削除”するとき

1 P.25の手順8で変更・削除する曜日を選ぶ
2 「木曜日全削除」を選ぶ
3 「はい」を選ぶ



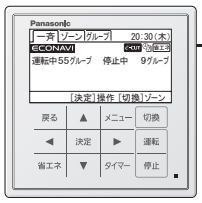
※曜日は選んだ曜日が表示されます。

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

メニュー一覧

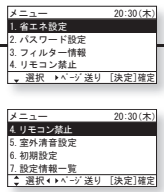
1 メニュー画面を出す

メニュー



2 メニュー項目を選ぶ

▲ ▼ → 決定



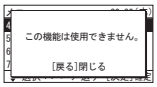
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ページを送るとき

◄ ►

■各設定画面で数分間操作をしないとき
待受画面に戻ります。

※機種によっては、使用できないメニューがあります。
次のような表示が出ます。



お知らせ

●パスワード設定がされている場合は、下記のいずれかの操作後、パスワードの入力画面が表示されます。
・メニュー内の 1.省エネ設定操作後
・メニューボタンとタイマーボタン操作後
・すべてのボタン操作後
パスワードについては、パスワード設定をご確認ください。(P.48)

省エネ設定 (P.32)
「省エネ」ボタンとは別にそれぞれ個別に設定できます。

パスワード設定※ (P.48)
管理者パスワードを設定します。

フィルター情報※ (P.50)
フィルター清掃までの時間を確認およびリセットします。

リモコン禁止 (P.66)
リモコン使用の禁止・許可を設定します。

室外静音設定※ (P.52)
室外ユニットを静音運転します。

初期設定 (P.54)

設定情報一覧 (P.60)
設定情報アイコンの意味を確認します。

エコナビ設定		エコナビの設定をオン/オフします。	P.32
e-CUT機能 (P.4)	設定温度自動リターン	温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。	P.34
	設定温度範囲制限	設定できる温度の範囲を制限します。	P.36
	消し忘れ防止設定	消し忘れ防止タイマーを設定します。	P.38
	デマンド設定	時間帯を決めたり、外部からの操作で省エネ運転します。	P.40
	運転自動停止	運転するたび、一定時間後に自動停止させます。	P.46

e-CUT機能 (P.4)	暗証番号	パスワードを入力します。	P.48
	対象範囲設定	パスワード対象範囲を設定します。	

フィルターサイン	清掃までの時間のカウントをリセットします。	P.50
フィルター清掃時期	清掃までの時間を確認します。	

時計設定	現在日時を設定します。	P.54
時刻表示設定	時刻表示の種類を設定します。	
操作ロック設定	ボタン操作をロックします。	
ゾーン・グループ名称設定	ゾーンとグループに名前をつけることができます。	P.56
操作音設定	操作音をオン/オフします。	P.58
コントラスト調整	画面のコントラストを設定します。	
バックライト設定	画面のバックライトの明るさを設定します。	
サービス連絡先表示	サービスの連絡先を確認します。	

グループ情報	グループの設定情報を表示します。	P.60
設定情報	すべての接続グループの設定情報を表示します。	P.60

エコナビ設定

エコナビ運転のオン/オフを設定します。

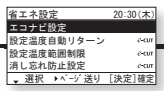
1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

▲ ▼ → 決定



2 「エコナビ設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



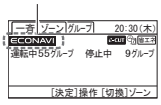
エコナビ設定

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

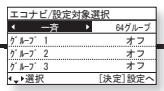
エコナビを「オン」にするとECONAVIアイコンが表示されます。



3 対象を選ぶ

■一斉/ゾーン

◄ ► → 決定
(または 切換)



・◀▶または「切換」ボタンで「一斉」・ゾーンを選ぶ。

一斉 ↔ ゾーン1 ↔ ……↔ ゾーン4

■グループ

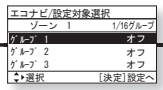
◄ ►
(または 切換)



・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選ぶ。

一斉 ↔ ゾーン1 ↔ ……↔ ゾーン4

▲ ▼ → 決定



・▲▼でグループを選ぶ。

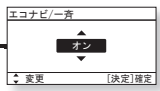
グループ1
↕
グループ2
↕
グループ16

※一斉　：最大64グループ
　ゾーン：最大16グループ

☆一斉、ゾーン、グループの選びかた

4 エコナビを「オン」にする

▲ ▼ → 決定 → メニュー
(2回押し終了)



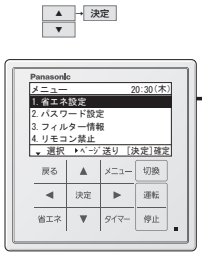
・▲▼で「オン」「オフ」を選ぶ。

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

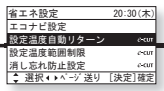
設定温度自動リターン

温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

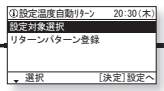


2 「設定温度自動リターン」を選ぶ



設定温度自動リターン

3 「設定対象選択」を選ぶ

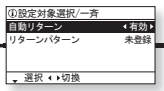


4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

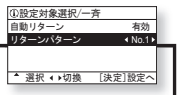


・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

5 「自動リターン」を「有効」にする



6 リターンパターンを選ぶ



・▲▼で「リターンパターン」を選び、◀▶または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 リターンパターンの内容を確認し、必要あれば設定する



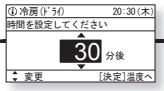
・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ
・8パターンまで登録できます。

8 設定する項目を選び、「有効」にする



・冷房: 温度が上がる方向へ
・暖房: 温度が下がる方向へ

9 決めた温度に戻るまでの時間を設定する



・10～240分
（10分単位）

10 温度を設定する



設定できる範囲
・冷房･ドライ：18 ℃～ 30 ℃
・暖房　　：16 ℃～ 30 ℃※
※一部の機種の上限温度は26 ℃です。

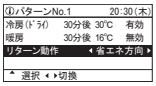
■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに以下を行ってください。
・同じパターンの内容を変えたい場合、手順8からくり返す。
・他のパターンの内容を変えたい場合、手順8の画面で「戻る」ボタンを押し、手順7からくり返す。

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

●省エネになる場合のみ動作させたいとき
手順8で「リターン動作」を選びます。



「リターン動作」を「省エネ方向」にすると、変更された温度より手順10の温度の方が省エネになる場合のみ、動作します。
例)冷房26 ℃設定時、28 ℃に変更された場合
・「省エネ方向」のとき：28 ℃のまま。
・「通常」のとき　　：26 ℃に戻る。

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。
●本機能をお使いの場合、運転モードの冷暖自動はご使用いただけません。
（冷暖自動を選択した場合には、自動的に送風に切り替わります。）

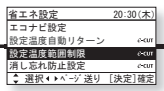
設定温度範囲制限

設定できる温度の範囲を制限します。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

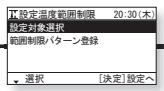


2 「設定温度範囲制限」を選ぶ



設定温度範囲制限

3 「設定対象選択」を選ぶ

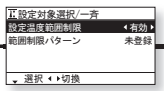


4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

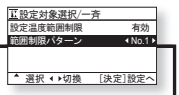


・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

5 「設定温度範囲制限」を「有効」にする

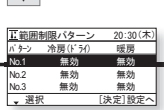


6 「範囲制限パターン」を選ぶ



・▲▼で「範囲制限パターン」を選び、▲▼または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 範囲制限パターンの内容を確認し、必要あれば設定する

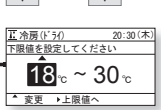


・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ。
・8パターンまで登録できます。

8 設定する項目を選び、「有効」にする



9 温度の範囲を設定する



設定できる範囲
・冷房・ドライ：18 ℃～ 30 ℃
・暖房　　：16 ℃～ 30 ℃※
※一部の機種の上限温度は26 ℃です。

■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに以下を行ってください。
・同じパターンの内容を変えたい場合、手順8からくり返す。
・他のパターンの内容を変えたい場合、手順8の画面で「戻る」ボタンを押し、手順7からくり返す。

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

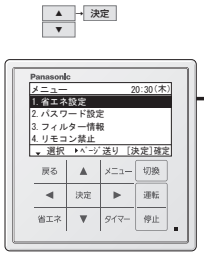
●本機能をお使いの場合、運転モードの冷暖自動はご使用いただけません。
（冷暖自動を選択した場合には、自動的に送風に切り替わります。）

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

消し忘れ防止設定

決めた時刻に運転を止め、そのあと運転させても、一定時間ごとに検知して自動で止めます。

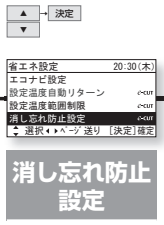
1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)



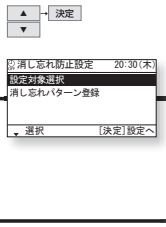
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

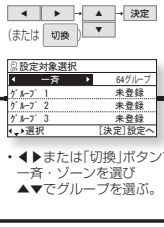
2 「消し忘れ防止設定」を選ぶ



3 「設定対象選択」を選ぶ

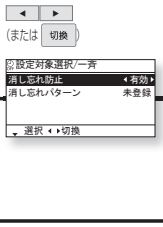


4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

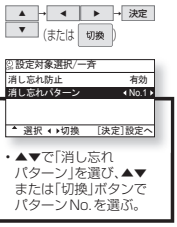


・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び▲▼でグループを選ぶ。

5 「消し忘れ防止」を「有効」にする

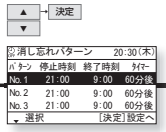


6 「消し忘れパターン」を選ぶ



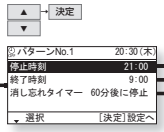
・▲▼で「消し忘れパターン」を選び、▲▼または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 消し忘れパターンの内容を確認し、必要あれば設定する



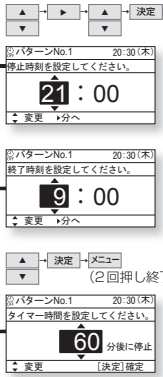
・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ。
・8パターンまで登録できます。

8 設定する項目を選ぶ



●停止時刻
運転を止める時刻。
(消し忘れ防止機能が働く時刻)
●終了時刻
消し忘れ防止機能が止まる時刻。
●消し忘れタイマー
「停止時刻」後、運転していないか一定時間ごとに検知するときの時間間隔。

9 設定する

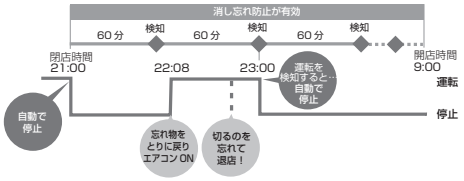


(2回押し終了)

■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに以下を行ってください。
・同じパターンの内容を変えたい場合、手順8からくり返す。
・他のパターンの内容を変えたい場合、手順8の画面で「戻る」ボタンを押し、手順7からくり返す。

・10～180分
(10分単位)

一定時間ごとに運転状態を検知し、運転していたら自動停止！(例：60分)



デマンド設定

時間帯デマンド

ガスヒートポンプエアコンの場合

ピークカット

指定した時間帯ごとに、指定した運転量に抑えます。(P.5)

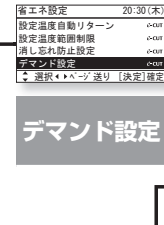
1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)



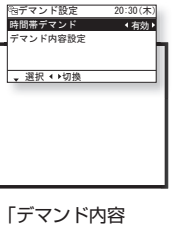
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

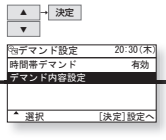
2 「デマンド設定」を選ぶ



3 「時間帯デマンド」を「有効」にする



4 「デマンド内容設定」を選ぶ



5 設定を変える

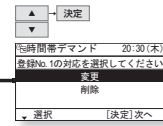
登録する欄を選ぶ



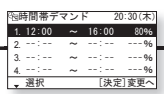
■変更するとき
変更する欄を選ぶ



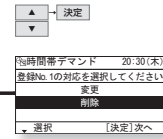
「変更」を選ぶ



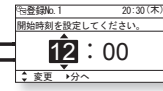
■削除するとき
削除する欄を選ぶ



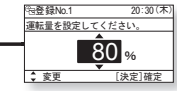
「削除」を選ぶ



6 開始時刻と終了時刻を順に設定する



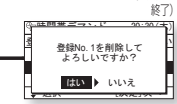
7 運転量を選ぶ



(2回押し終了)

■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに、手順5からくり返す。

「はい」を選ぶ



(2回押し終了)

お知らせ

デマンド設定は以下の3つがあります。設置のときにいずれか1つが選択されています。
・時間帯デマンド (P.40)　・外部入力デマンド (P.42)　・タイマー省エネ (P.44)
設定方法については、各ページをご覧ください。
ピークカットの設定は、時間帯デマンドの設定操作と同じになります。

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

デマンド設定 外部入力デマンド

外部機器からの信号で、運転量を抑えます。(P.5)

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

▲▼ 決定

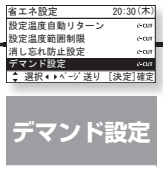


■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

2 「デマンド設定」を選ぶ

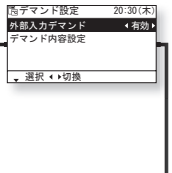
▲▼ 決定



デマンド設定

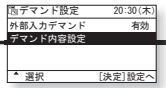
3 「外部入力デマンド」を「有効」にする

◀▶ (または 切換)



4 「デマンド内容設定」を選ぶ

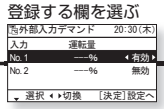
▲▼ 決定



5 設定を変える

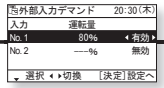
▲▼ 決定

登録する欄を選ぶ



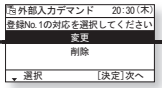
・◀▶で有効／無効を選ぶ。

■変更するとき
変更する欄を選ぶ

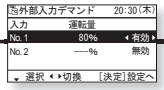


「変更」を選ぶ

▲▼ 決定

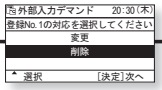


■削除するとき
削除する欄を選ぶ



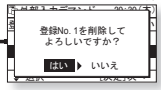
「削除」を選ぶ

▲▼ 決定



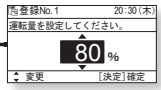
「はい」を選ぶ

◀▶ 決定 メニュー (2回押し終了)



6 運転量を選ぶ

▲▼ 決定 メニュー (2回押し終了)



■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに、手順5からくり返す。

お知らせ

デマンド設定は以下の3つがあります。設置のときにいずれか1つが選択されています。
・時間帯デマンド (P.40)　・外部入力デマンド (P.42)　・タイマー省エネ (P.44)
設定方法については、各ページをご覧ください。

デマンド設定 タイマー省エネ

ガスヒートポンプエアコンの場合
効率運転

指定した時間帯のみ運転量を抑えます。(P.5)

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

▲▼ 決定

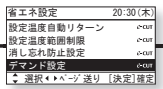


■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

2 「デマンド設定」を選ぶ

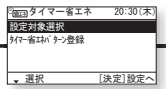
▲▼ 決定



デマンド設定

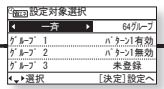
3 「設定対象選択」を選ぶ

▲▼ 決定



4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

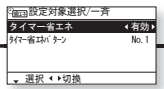
◀▶ ▲▼ 決定 (または 切換)



・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

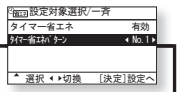
5 「タイマー省エネ」を「有効」にする

◀▶ (または 切換)



6 「タイマー省エネパターン」を選ぶ

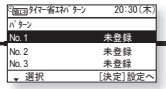
◀▶ ▲▼ 決定 (または 切換)



・▲▼で「タイマー省エネパターン」を選び、◀▶または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 タイマー省エネパターンの内容を確認し、必要あれば設定する

▲▼ 決定



・8パターンまで登録できます。

8 登録する欄を選ぶ

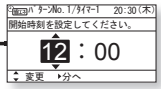
▲▼ 決定



・4パターンまで登録できます。

9 開始時刻と終了時刻を順に設定する

時 分 ▲▼ ◀▶ 決定 メニュー (2回押し終了)



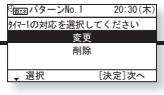
■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに以下を行ってください。
・同じパターンの内容を変えたい場合、手順8からくり返す。
・他のパターンの内容を変えたい場合、手順8の画面で「戻る」ボタンを押し、手順7からくり返す。

■変更するとき
手順8で変更する欄を選ぶ



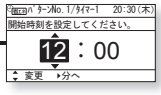
「変更」を選ぶ

▲▼ 決定



時刻を設定する

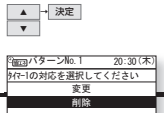
時 分 ▲▼ ◀▶ 決定 メニュー (2回押し終了)



■削除するとき
手順8で削除する欄を選ぶ

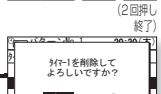
「削除」を選ぶ

▲▼ 決定



「はい」を選ぶ

◀▶ 決定 メニュー (2回押し終了)



お知らせ

デマンド設定は以下の3つがあります。設置のときにいずれか1つが選択されています。
・時間帯デマンド (P.40)　・外部入力デマンド (P.42)　・タイマー省エネ (P.44)
設定方法については、各ページをご覧ください。
効率運転の設定は、タイマー省エネの設定操作と同じになります。

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

運転自動停止

運転するたび、一定時間後に自動停止させたいとき。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

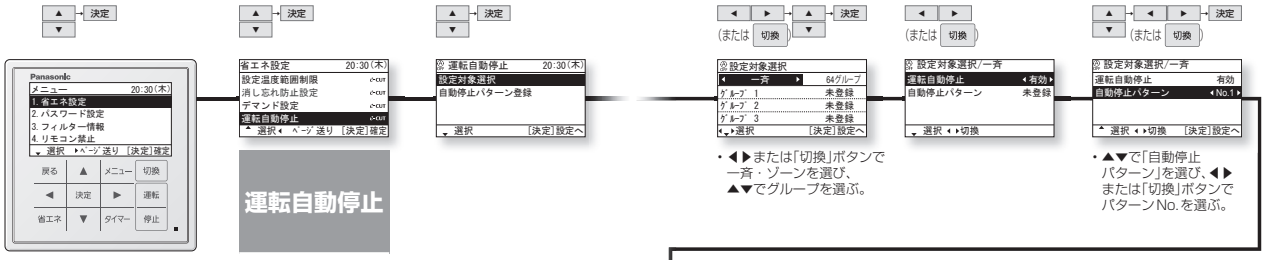
2 「運転自動停止」を選ぶ

3 「設定対象選択」を選ぶ

4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

5 「運転自動停止」を「有効」にする

6 「自動停止パターン」を選ぶ

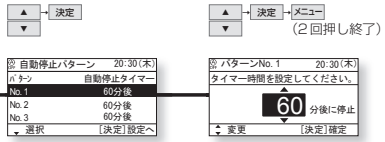


・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

・▲▼で「自動停止パターン」を選び、◀▶または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 自動停止パターンの内容を確認し、必要あれば設定する

8 時間を設定する



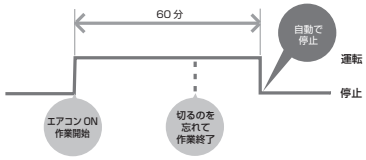
・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ。
・8パターンまで登録できます。

・10～180分（10分単位）

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

例：60分後に停止する設定にした場合



パスワード設定 暗証番号/対象範囲設定

パスワード(暗証番号)とパスワードの対象範囲を設定します。パスワードの対象範囲として、次の3つを選べます。
・省エネ設定　・メニュー設定とウィークリータイマー設定　・すべてのキー操作
(各操作を選択時、ポップアップのパスワード画面が入力されます。)

1 メニュー画面で「パスワード設定」を選ぶ (P.30)

2 設定する項目を選ぶ

3 パスワードを入力する

4 項目を選ぶ

5 設定・操作する



・▲▼で数字を選び、▶で次の桁に移動する。

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

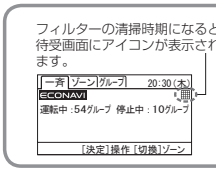
暗証番号が設定されているとき、暗証番号を入力するとロックが解除され、操作できます。30分何も操作しないと再びロックがかかります。

●省エネ(出荷設定)
メニュー内の省エネ設定
●メニュー
メニュー操作およびウィークリータイマー機能の操作
●キー操作
すべてのキー操作

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

フィルターサイン/フィルター清掃時期

フィルターの清掃時期になると、待受画面にアイコンが表示されます。





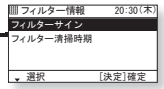
1 メニュー画面で「フィルター情報」を選ぶ (P.30)

2 設定する項目を選ぶ

3 設定する

▲▼ → 決定

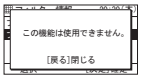




■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

※機種によっては、使用できないメニューがあります。
次のような表示が出ます。



フィルターサイン※

フィルターを清掃したとき

対象を選ぶ
(P.32 手順3☆を参照)

◀▶ → ▲▼ → 決定
(または 切換)



・◀▶で一斉/ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

「はい」を選ぶ

◀▶ → 決定 → メニュー
(2回押し終了)



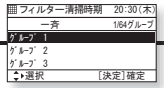
(フィルター清掃からの時間のカウントが、リセットされます)

フィルター清掃時期※

清掃時期を確認

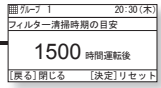
対象を選ぶ
(P.32 手順3☆を参照)

◀▶ → ▲▼ → 決定
(または 切換)

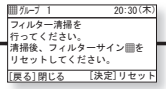


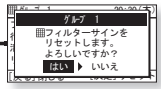
・◀▶で一斉/ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

清掃までの運転時間を確認して→メニュー (2回押し終了)



■すぐに清掃が必要なとき
下記の画面が表示されます。





・◀▶で「はい」を選び「決定」を押す。
メニュー (2回押し終了)

室外静音設定

室外機の音を下げて運転する時間帯を設定します。

1 メニュー画面で「室外静音設定」を選ぶ (P.30)

▲▼ → 決定



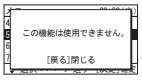
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

- 静音運転は、運転音軽減のため、能力が低下することがあります。
- 消費電力は、簡易的な算出のため、電力計などによる計測結果とは異なる場合があります。

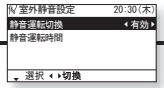
※機種によっては、使用できないメニューがあります。
次の表示が出ます。



室外静音設定※

2 「静音運転切換」を「有効」にする

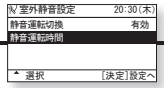
▲▼ → ◀▶ (または 切換)



・▲▼で項目を選び、◀▶で有効/無効を選ぶ。

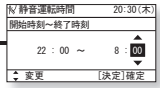
3 「静音運転時間」を選ぶ

▲▼ → 決定



4 静音運転する時間を設定する

▲▼ ▶ → 決定 → メニュー
(2回押し終了)
(くり返す)



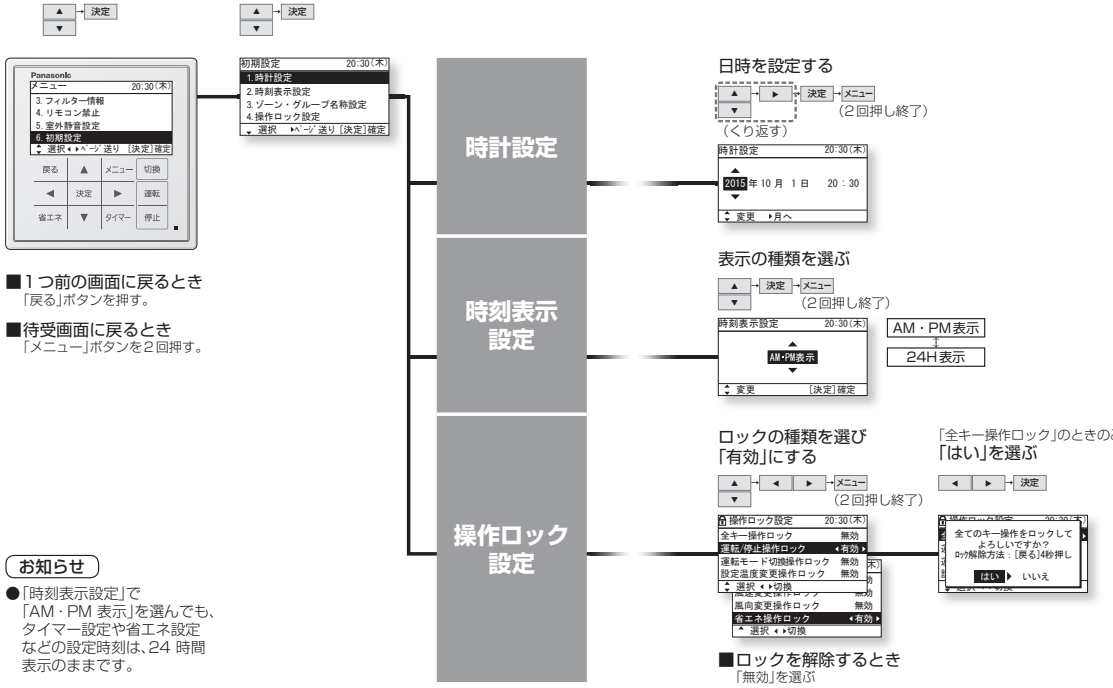
e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

時計設定/時刻表示設定/操作ロック設定

1 メニュー画面で「初期設定」を選ぶ (P.30)

2 設定する項目を選ぶ

3 設定を変える



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

■ロックを解除するとき
「無効」を選ぶ

お知らせ

●「時刻表示設定」で「AM・PM 表示」を選んでも、タイマー設定や省エネ設定などの設定時刻は、24 時間表示のままです。

ゾーン・グループ名称設定

ゾーンとグループに名前を付けることができます。

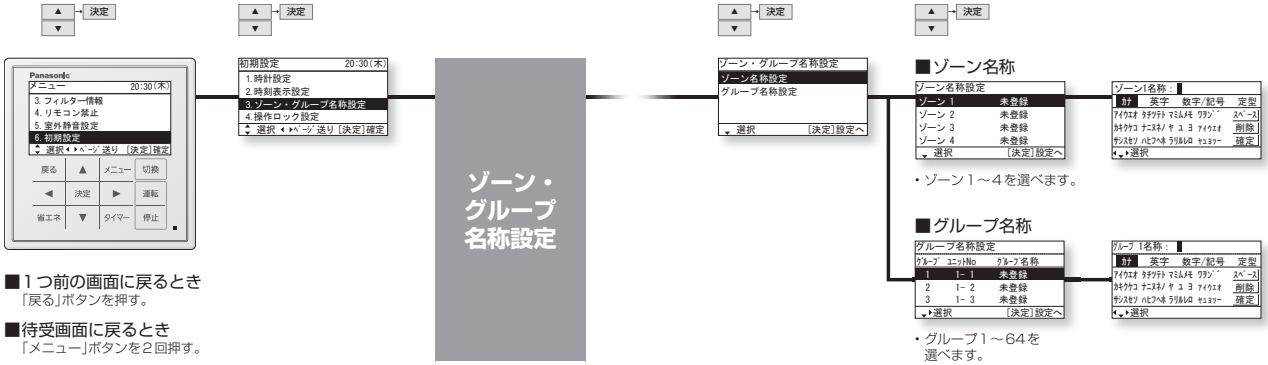
1 メニュー画面で「初期設定」を選ぶ (P.30)

2 「ゾーン・グループ名称設定」を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

4 名称を付ける項目を選ぶ

5 名称を入力する (入力のしかたは P.56をご覧ください)



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

名称の入力のしかた
(全文字分、くり返す)

決定

グループ 1名称：
カナ 英字 数字/記号 定型
ｱｲｳｴｵ ｶｷｸｹｺ ｻｼｽｾｿ ﾀﾁﾂﾃﾄ ﾅﾆﾇﾈﾉ ﾊﾋﾌﾍﾎ ﾏﾐﾑﾒﾓ ﾔ ﾕ ﾖ ﾗﾘﾙﾚﾛ ﾜﾝﾞﾟ ｬｭｮｰ
削除
確定
選択

・ゾーンは
全角7文字/半角14文字まで。
・グループは
全角8文字/半角16文字まで。
スペースも文字数に含む。

■文字種類を変更するとき
◀▶で文字種を選び、「決定」ボタンを押す。

グループ 1名称：
カナ 英字 数字/記号 定型
ABCDEFGHIJKLMNOPQR ｽﾍﾟｰｽ
STUVWXYZ abcdefghi 削除
jklmnopqrstuvwxyz 確定
選択
文字種類

■スペースを入力するとき
▲▼◀▶で「スペース」を選び、「決定」ボタンを押す。

■規定の名称から選ぶとき
◀▶で「定型」を選び、「決定」ボタンを押す。

グループ 1名称：
カナ 英字 数字/記号 定型
事務 応接 会議 待合 休憩 ｽﾍﾟｰｽ
喫煙 厨房 警備 工場 通路 削除
営業 管理 職員 食堂 系統 確定
選択

■1字消すとき
▲▼◀▶で「削除」を選び、「決定」ボタンを押す。

最後に「確定」を選ぶ

決定 メニュー
(2回押し終了)

グループ 1名称：第1会議室
カナ 英字 数字/記号 定型
事務 応接 会議 待合 休憩 ｽﾍﾟｰｽ
喫煙 厨房 警備 工場 通路 削除
営業 管理 職員 食堂 系統 確定
選択 [決定]名称確定

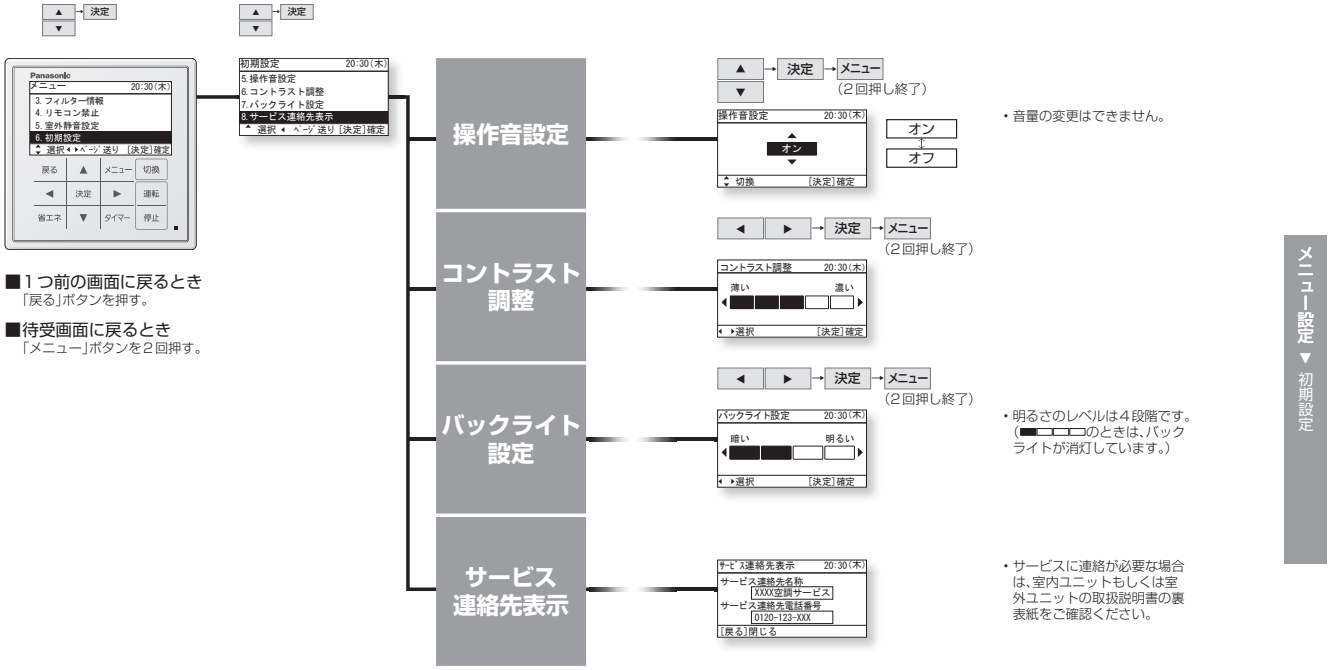
e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

操作音設定/コントラスト調整/バックライト設定/サービス連絡先表示

1 メニュー画面で「初期設定」を選ぶ (P.30)

2 設定する項目を選ぶ

3 設定を変える



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

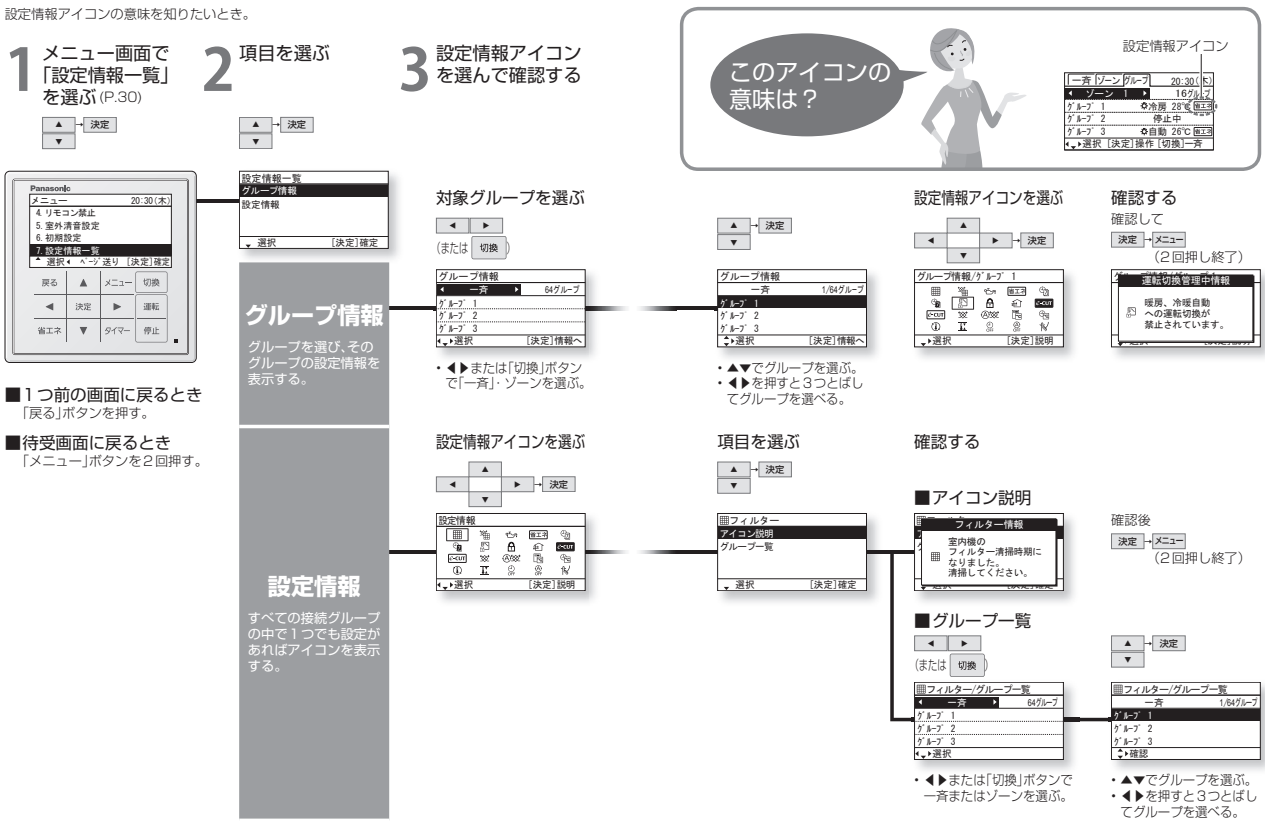
グループ情報/設定情報

設定情報アイコンの意味を知りたいとき。

1 メニュー画面で「設定情報一覧」を選ぶ (P.30)

2 項目を選ぶ

3 設定情報アイコンを選んで確認する



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

グループ情報/設定情報（つづき）

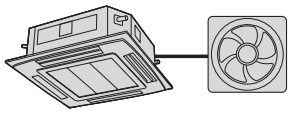
■すべての設定情報アイコン一覧

アイコン	内容	詳細ページ
	運転モードの切り換えを禁止中(冷暖自動への切り換えも禁止)	—
	集中制御機器からリモコン操作を制限中(リモコンモード時のみ)	—
	室内ユニットのフィルター清掃が必要	P.50
	熱交換気ユニットのフィルター清掃が必要(熱交換気ユニット接続時のみ)	P.68
	エンジンオイル交換が必要(ガスヒートポンプエアコン使用時のみ)	—
	ウィークリータイマー設定中(臨時休日未設定)	P.20
	ウィークリータイマー設定中と臨時休日設定中	P.26
省エネ	省エネ運転中	P.15
	室外ユニットの運転量を制限中	—
	時間帯デマンド設定中	P.40
省エネ	タイマー省エネ設定中	P.44
	外部入力デマンド設定中	P.42
	設定温度自動リターン設定中	P.34
	設定温度範囲制限設定中	P.36
OFF	消し忘れ防止設定中	P.38
OFF	運転自動停止設定中	P.46
	室外静音設定中	P.52
	キー操作ロック設定中	P.54
	外気をそのまま取り入れ換気中 (熱交換気ユニット接続時、市販の換気扇等の接続時のみ)	P.64
A	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換え換気中 (熱交換気ユニット接続時のみ)	
	外気を室温に近づけて取り入れ換気中(熱交換気ユニット接続時のみ)	
e-CUT	設定温度自動リターン機能、設定温度範囲制限機能、消し忘れ防止機能、デマンド機能(時間帯デマンド、ピークカット、外部入力デマンド、タイマー省エネ、効率運転)、運転自動停止機能のうちいずれかの機能が設定中です。	—
e-CUT	設定温度戻し時間(リターン時間)カウント中、運転自動停止時間カウント中、消し忘れ防止期間中に表示します。	—

換気設定

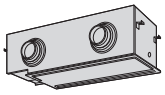
本機は、以下の室内ユニットに対して運転中の換気を制御することができます。

■エアコン＋換気扇



接続している換気扇の運転/停止をエアコン運転中に切り換えることができます。

■熱交換気ユニット



※適用シリーズ：8シリーズ以降
当社製　天井埋込形・マイコンタイプ
および　天吊カセット形・マイコンタイプ

室内の温度を変えずに換気を行うユニットです。

冷暖房時に冷気や暖気を逃さず換気するので省エネ性に優れているほか、湿気の侵入や過乾燥を緩和します。

熱交換気ユニットには、次の3つの換気モードがあります。

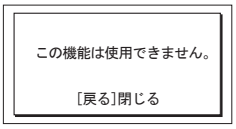
●自動換気
室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えます。

●熱交換気
外気を室温に近づけて取り入れます。

●普通換気
外気をそのまま取り入れます。

※ 換気機能がないとき

選択したグループに上記の2つがない場合、換気画面は右のように表示されます。



換気設定（つづき）

市販の換気扇などをエアコンに接続したときに使用します。換気をON/OFFすると、換気扇が運転/停止します。エアコンを運転/停止したときは、換気扇も同時に運転/停止します。

1 P.18で「換気/その他」画面に切り換える

切換 を押す



2 項目を選ぶ

◄ ►

3 設定する

▲ ▼ → 決定

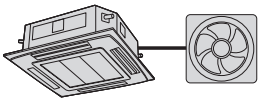
■エアコン＋換気扇

換気ON/OFF

換気扇の運転/停止を切り換えます。



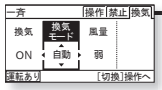
換気 ON → ON 換気する / OFF 換気しない



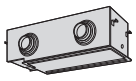
■熱交換気ユニット

換気モード

熱交換気ユニットの換気モードを切り換えます。



換気モード 自動 → 自動 室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えます。 / 熱交 外気を室温に近づけて取り入れます。 / 普通 外気をそのまま取り入れます。



換気風量

熱交換気ユニットの換気風量を切り換えます。

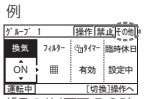


風量 弱 → 強 / 弱

お知らせ

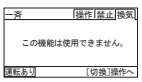
●接続されている機器によって画面が異なります。

例



(「その他」画面 P.68)

●機種によっては、使用できない場合があります。
次の表示が出ます。



※熱交換気のみのグループを選んだときは「操作」画面で設定を行います。



e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

リモコン操作を禁止する

選択した室内ユニットに対して、リモコンによる操作を禁止します。

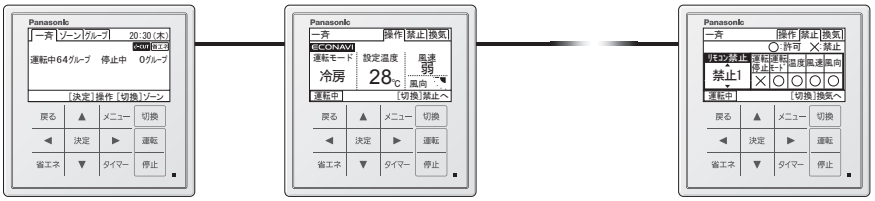
1 室内ユニットを選ぶ (P.16)

2 リモコン禁止画面に切り換える

切換 を押す

3 リモコン禁止１～４を選ぶ

▲▼ → 決定



許可
↕
禁止１
↕
禁止２
↕
禁止３
↕
禁止４

・「禁止１」～「禁止４」の内容は下記の表をご参照ください。
・「決定」を押すと、待受画面に戻ります。

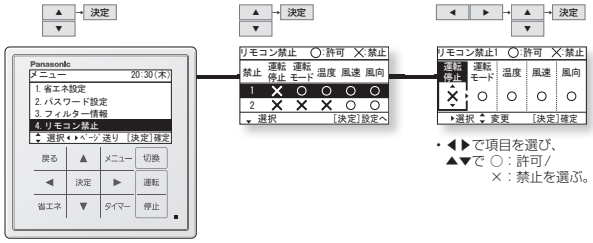
リモコン「禁止１」～「禁止４」の内容を変更する

1 メニュー画面で「リモコン禁止」を選ぶ (P.30)

2 リモコン禁止１～４を選ぶ

3 禁止する項目を設定する

▲▼ → 決定



・◀▶で項目を選び、▲▼で ○：許可／×：禁止を選ぶ。

■１つ前の画面に戻るとき　「戻る」ボタンを押す。
■待受画面に戻るとき　「メニュー」ボタンを２回押す。

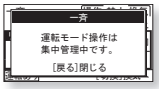
例）：リモコン使用の禁止・許可

	運転停止	運転モード	設定温度	風速	風向
許可	○	○	○	○	○
禁止１	×	○	○	○	○
禁止２	×	×	×	○	○
禁止３	○	×	×	○	○
禁止４	○	×	○	○	○

※「運転／停止」「運転モード」「設定温度」「風速」「風向」についてはP.18をご覧ください。
※「禁止１」～「禁止４」の内容は変更できます。(P.66参照)

○：リモコンで設定・操作できる。
×：リモコンで設定・操作できない。

例「禁止２」を選んだとき、リモコンを使用して「運転モード」を変更しようとしても、次の画面が表示されて変更できません。



お知らせ

●リモコンモードで使用中のとき、この機能は使用できません。(P.9)
●他のコントローラー（インテリジェントコントローラーなど）から「禁止１」～「禁止４」に該当しない内容が設定されたときは、「禁止」と表示されます。

「その他」画面で設定する

「換気／その他」タブが「その他」と表示されているときは、「その他」画面で以下の設定を行うことができます。
・フィルターサインリセット　・ウィークリータイマー設定の有効／無効　・臨時休日の設定

1 P.18で「その他」画面に切り換える

切換 を押す

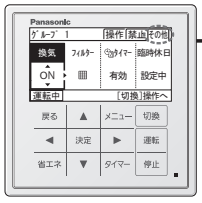
2 項目を選ぶ

◀ ▶

3 設定する

▲▼ → 決定

■エアコンの場合

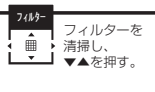


フィルターサインリセット

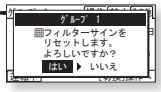
フィルター清掃時期を表示し、清掃からの時間をリセットします。(P.50)



−− フィルター清掃不要
▦ フィルター清掃必要



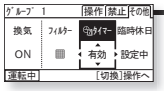
フィルターを清掃し、▼▲を押す。



・◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す。
（フィルター清掃からの時間のカウントがリセットされます）

ウィークリータイマー

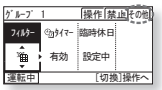
ウィークリータイマー設定の有効／無効を切り換えます。(P.22)





有効　タイマー運転する
無効　タイマー運転しない

■熱交換気ユニットの場合



臨時休日

臨時休日の設定中／未設定を切り換えます。(P.26)





設定中　臨時休日あり
未設定　臨時休日なし

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　機能と操作

故障かな？ 修理ご依頼の前に、ご確認を！

リモコン禁止ができない
- ●リモコンモードで使用しているときは、禁止操作ができません。(P.9)

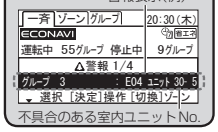
停電していませんか？
- ●停電から復帰したら、再度 運転 を押す。
- → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。

漏電しゃ断器が切れてませんか？
- ●管理責任者に確認後、漏電しゃ断器を入れてから、再度 運転 を押す。
- → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。

「設定中」が点滅していませんか？
- ●点滅が消えてから、再度 運転 を押す。
- → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。

警報が表示されていませんか？

警報表示(例)



不具合のある室内ユニットNo.

- ●警報表示が次の場合は、一度運転を停止し、約1分後に再運転してください。
  (警報表示、消灯)
  [・E04 ・E06 ・P10 ・P20 ・H06]
- → 再度、表示しなければ、そのままご使用ください。
- → 再度、表示されたときや、上記以外の警報表示 (E、F、H、L、P の文字と数字の組み合わせ) が表示されたときは、運転を停止してから漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店に品番と警報表示、室内ユニットNo.をご連絡ください。

ウィークリータイマー運転がうまくできない
- ●ウィークリータイマー運転が「有効」になっていますか。
  「無効」では、ウィークリータイマー運転は行いません。タイマー予約する(P.22)をご確認ください。
- ●現在の日付、時刻は合っていますか。
  現在時刻が合っていないと、予定外の時刻に動作します。

表示が切り換わらない
- ●e-CUT機能付システムコントローラー操作後、30秒以内に手元リモコンから操作を行うと、リモコン操作内容の表示が遅延することがあります。

操作をしていないのにピー音がする 操作ボタンとは違う動作になる
- ●操作ボタンの表面が濡れていませんか？表面が濡れているとセンサーが押していると誤った感知をします。
- → 乾いた布でふきとり、再度操作してみる。

勝手に運転モードが送風になる
- ●設定温度自動リターン(P.34)もしくは設定温度範囲制限(P.36)が有効になっていませんか？
  (冷暖自動を選択した場合には、自動的に送風に切り替わります。)
  設定温度自動リターンおよび設定温度範囲制限は、設定温度の設定変更を制限することで冷えすぎ、暖めすぎを防止して、省エネを実現することを目的としています。
  冷暖自動においては、冷えすぎを防止する設定温度(例：27℃)が、暖房時には暖めすぎの設定温度となるため、省エネ運転として、冷暖自動をご使用いただくことはできません。

・サービスに連絡が必要な場合は、室内ユニットもしくは室外ユニットの取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

仕様

品番		CZ-10ESM4
外形寸法		(高さ) 120 mm ×(幅) 120 mm ×(奥行き) 16 + 51.9 mm
質量		520 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃· 20 %～80 %(屋内設置専用)
電源		単相 AC 100-240 V 50/60 Hz
消費電力		最大 1.3 W
時計	精度	±30秒/月(常温25 ℃)※定期的に合わせてください。
	保持時間	100時間(満充電時)※満充電に約8時間かかります。
接続台数		室内ユニット　最多64グループ(64台)

こんなとき

集中制御設定記録

施工者様記入後、お施主様にお渡しください。

システムコントローラー ゾーン	室内ユニットNo. グループ(集中制御アドレス)	系統一室内	部屋名
1	1	–	
	2	–	
	3	–	
	4	–	
	5	–	
	6	–	
	7	–	
	8	–	
	9	–	
	10	–	
	11	–	
	12	–	
	13	–	
	14	–	
	15	–	
	16	–	

システムコントローラー ゾーン	室内ユニットNo. グループ(集中制御アドレス)	系統一室内	部屋名
3	33	–	
	34	–	
	35	–	
	36	–	
	37	–	
	38	–	
	39	–	
	40	–	
	41	–	
	42	–	
	43	–	
	44	–	
	45	–	
	46	–	
	47	–	
	48	–	

システムコントローラー ゾーン	室内ユニットNo. グループ(集中制御アドレス)	系統一室内	部屋名
2	17	–	
	18	–	
	19	–	
	20	–	
	21	–	
	22	–	
	23	–	
	24	–	
	25	–	
	26	–	
	27	–	
	28	–	
	29	–	
	30	–	
	31	–	
	32	–	

システムコントローラー ゾーン	室内ユニットNo. グループ(集中制御アドレス)	系統一室内	部屋名
4	49	–	
	50	–	
	51	–	
	52	–	
	53	–	
	54	–	
	55	–	
	56	–	
	57	–	
	58	–	
	59	–	
	60	–	
	61	–	
	62	–	
	63	–	
	64	–	

Printed in Japan
H0915-70423
ACXF55-19714
8546460294012

Panasonic

e-CUT機能付
システムコントローラー
品番 **CZ-10ESM4**

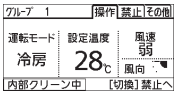
取扱説明書（補足）

内部クリーン中/内部乾燥中の状態表示



内部クリーン機能/ 内部乾燥機能については、お使いの室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。
室内ユニットの取扱説明書に記載がない場合、本機能に対応していません。

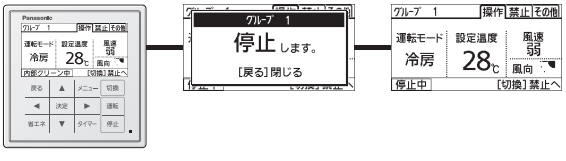
グループ内に内部クリーン中(または内部乾燥中)の室内ユニットが1台以上いる場合、グループを選ぶ画面(取扱説明書 P.16～P.18)で内部クリーン中(または内部乾燥中)※が表示されます。
※グループ内に内部クリーン中と内部乾燥中の室内ユニットが混在する場合は内部クリーン中と表示されます。





■内部クリーン(または内部乾燥)を止めたいとき

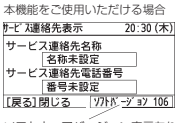
[停止]を押す



お知らせ

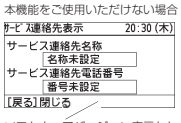
本機能は、ソフトウェアバージョン106以降のe-CUT機能付システムコントローラーからご使用いただけます。
ソフトウェアバージョンは、サービス連絡先表示(取扱説明書 P.58～P.59)で確認することができます。

本機能をご使用いただける場合



ソフトウェアバージョン表示あり
(バージョンが106以降)

本機能をご使用いただけない場合



ソフトウェアバージョン表示なし
(バージョンが105以前)

Printed in Japan
H1120-10423
ACXF55-36151

e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　施工

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。	❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

●分解や改造は行わない
（感電・火災の原因）

●電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱・火災の原因）

●アース工事（D 種接地工事）を行う
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
- アース線は、ベランダの手すりにとらない

（感電の原因）

●据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
（感電・火災などの原因）

●電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付（電気）工事説明書

（感電・火災の原因）

●漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける
（故障や、漏電時に感電、火災の原因）

●工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う
（感電の原因）

●据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う
（感電・火災などの原因）

●据付は、本機の重さに十分耐える所に設置する
- 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。

（落下の原因）

●配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災などの原因）

●付属品は当社指定の部品を使用する
（製品の落下・感電・火災などの原因）

⚠注意

●次のような場所で使わない
- 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
- 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
- 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
- 電圧変動の多いところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 結露するところ

（感電・火災などの原因）

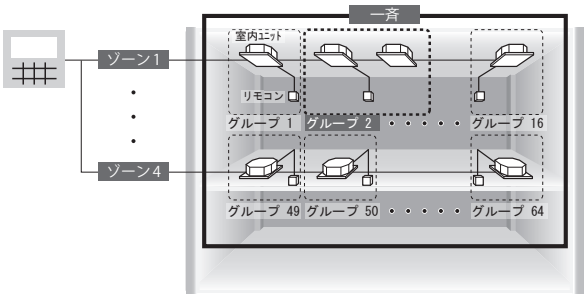
●ぬれた手で操作しない
（感電・故障の原因）

●水洗いしない
（感電の原因）

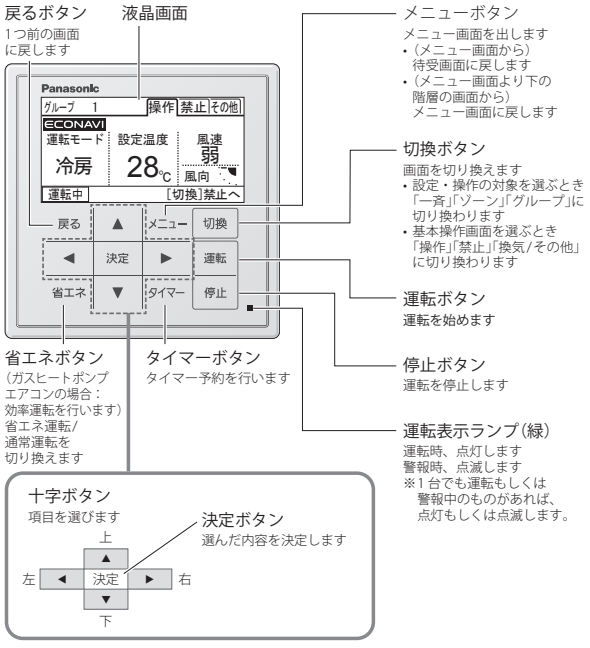
空調管理システムについて

制御・監視エリアの規模に応じた最適な空調管理システムが選択できます。

一斉	・すべての室内ユニットを最大64台操作・設定できます。
ゾーン	・複数の室内ユニットを最大4つのゾーンとして登録でき、ゾーンごとに一括して操作・設定が可能です。
グループ	・グループごとに操作・設定を行います。 ※リモコンの操作単位が 1 グループになります。 例）：下図グループ2のように「室内ユニット2台」をリモコン操作している場合は、「室内ユニット2台」が1グループになります。



各部の名前



お知らせ

●操作は、ボタンの中央付近を押してください。
●手袋を着けた状態では、操作できません。
●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

設置上のご注意

設置場所など

●床面に対して垂直に設置する
●複数並べて設置するときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す
●次のような場所に設置しない
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
- 結露するところ
（防湿・防滴仕様ではないため）

●テレビ・ラジオ・パソコンから1 m以上離す
（映像の乱れ・雑音の原因）

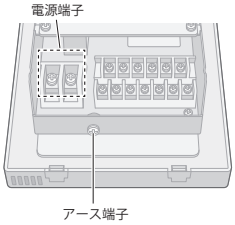
配線のしかた

電源配線について

（P.2「安全上のご注意」の内容をご確認ください。）
●電気工事は電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および「据付工事説明書」に従って施工してください。
●電源は必ず専用回線を使用してください。
●必ずアース工事（D種接地工事）を行ってください。（感電の原因）
●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話などのアース線に接続しないでください。
●漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器、または手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）が必要になります。

■配線の種類
600 Vビニール電線を使用基準とする。（現地調達）

■電源端子
端子ネジ　　：M4
締め付けトルク：0.5 N·m（推奨値）



e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　施工

配線のしかた（つづき）

室内外操作線について

■配線の種類

●柔軟性のある、2芯の0.5～2 mm²のケーブルを必ず使用する。
●シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上ある配線を使用する。
●推奨品　※（）内：エコ電線
- CVV(EM-CEE)
- VCT(ECO120)
- VCTF(EM-ECTF)
- VVF(EM-EEF)
- CPEVS(EM-CPEES)
- KPEVS(EM-K-CPEE)
- MVVS(EM-MEE-S)

※エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

■総配線長

1000 m以内。

■接続可能な熱交換気ユニット

- 天井埋込形・マイコンタイプ
- 天吊カセット形・マイコンタイプ

■接続可能台数

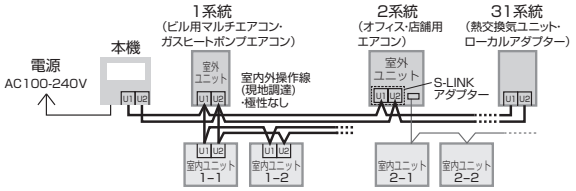
室外ユニット	最多30台
室内ユニット	最多64台（※1）
集中制御機器	最多10台

（※1）室内ユニットの台数には、熱交換気ユニット、ローカルアダプターの台数を含みます。

室外ユニット・室内ユニット・集中制御機器の合計台数は100台までです。

■基本配線図

室内外操作線を下図のように接続してください



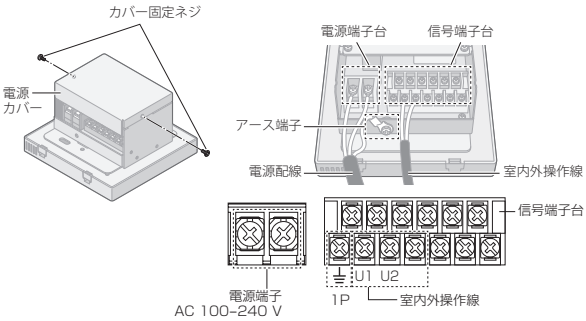
●熱交換気ユニット・ローカルアダプターは31系統になります。
●熱交換気ユニット・S-LINKアダプター・ローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の工事説明書をあわせてご覧ください。

お願い

終端抵抗（プラグ）について
●終端抵抗は室外ユニットまたはS-LINKアダプターに設定します。
●接続する室外ユニットが1台の場合は1か所、複数台の場合は2か所を設定してください。
※室外ユニットまたはS-LINKアダプターなどに付属の据付工事説明書をご覧ください。

■配線の手順

① カバー固定ネジ2本をはずし、電源カバーを取りはずす。
② 電源配線を電源端子に接続し、アースは、必ずアース端子に接続する。
③ 室内外操作線を信号端子台のU1、U2端子に接続する。
④ 外部設備と接続する場合は、P.8「外部設備との接続」を参照し接続する。
⑤ 電源カバーを取り付け、カバー固定ネジ2本を取り付ける。



お知らせ

●室内外操作線に、極性は有りません。
●室内外操作線にシールド線を使用する場合は、片側をアースとしてください。
本機にアースを接続する場合は、信号端子台の1P(⏚)へ接続する。

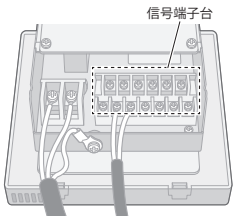
お願い

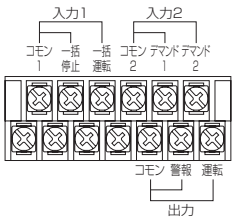
●電源配線を、信号端子台の端子に接続しない。（故障の原因）
●室内外操作線を電源配線などといっしょに合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（誤動作の原因）
●配線を接続する際には、コントローラーに傷が付かないようにご注意ください。

配線のしかた（つづき）

■外部設備との接続

名称	入出力項目	e-CUT機能付システムコントローラー側		外部設備側		
		条件	端子名	切分端子	回路例	条件
接点入出力端子	状態出力	無電圧a接点 スタティック（リレー出力） 接点許容電圧：最大DC30 V 接点許容電流：最大0.5 A 最小適用負荷：DC5 V　1 mA	出力 警報 運転 コモン		デジタル入力	配線長 100 m 以内 配線太さ 0.5 mm² 以上
	制御入力	一括停止：有電圧a接点 （一括停止入力がONの間は、定期的に停止信号を送信します） 一括運転：有電圧a接点　パルス デマンド1、デマンド2： 有電圧a接点　スタティック 接点許容電圧：DC24 V±10 % 接点許容電流：最大10 mA	入力1 一括停止(+) 一括運転(+) コモン1(−) 入力2 デマンド1(+) デマンド2(+) コモン2(−)		DC24 V COM DC24 V COM	パルス幅 300 msec 以上 配線長 100 m 以内 配線太さ 0.5 mm² 以上





取り付ける

■下ケースを取り付けるとき（手順2）

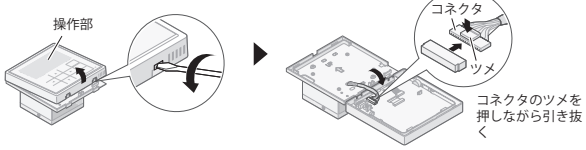
●ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。
（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
●ネジは、締めすぎないでください。
（下ケースの変形による、落下の原因）

お願い

●先にコントローラーに接続した配線をJISボックス下の丸穴に通して、コントローラー電源部に衝撃を与えないようにゆっくりと挿入してください。

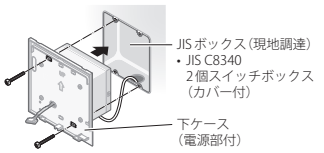
1 コントローラーの取付準備

① 操作部をはずす　② コネクタを抜く



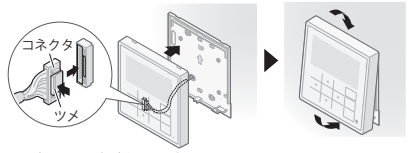
2 JIS ボックスに取り付ける

① あらかじめ壁内に埋込まれたJIS ボックス（現地調達）にコントローラーを挿入する
② コントローラーの下ケース（電源部付）を JIS ボックスに取り付ける（小ネジ（付属））



3 コネクタを接続し、操作部を取り付ける

① コネクタを接続する　② 上から取り付け



ツメがカチッと音がするまで押し込む

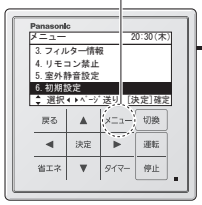
基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

③ カチッと音がするまで押し込む

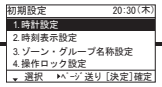
e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　施工

設定する　時計設定　ゾーン・グループ名称設定

1 メニューを押して「初期設定」を選ぶ

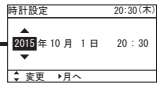


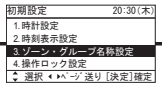
2 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



時計設定

3 設定する
▲▼→▶→[決定]
(くり返す)

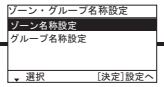




ゾーン・グループ名称設定

ゾーンとグループに名前を付けることができます

3 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



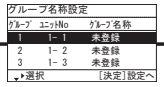
4 名称を付ける項目を選ぶ
▲▼→[決定]

■ゾーン名称



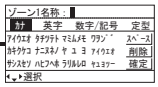
※ゾーン1～4を選べます。

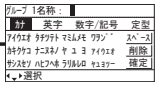
■グループ名称



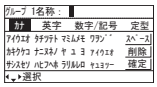
※グループ1～64を選べます。

5 名称を入力する
(入力のしかたは下記をご覧ください)



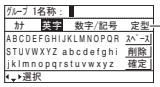


名称の入力のしかた
(全文字分、くり返す)
▲▼◀▶→[決定]



※ゾーンは
全角7文字/半角14文字まで。
※グループは
全角8文字/半角16文字まで。
スペースも文字数に含む。

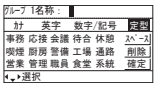
■文字種類を変更するとき
◀▶で文字種類を選び、[決定]



文字種類

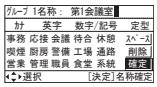
■スペースを入力するとき
▲▼◀▶で「スペース」を選び、[決定]

■規定の名称から選ぶとき
◀▶で「定型」を選び、[決定]



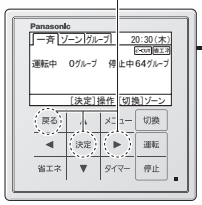
■1字消すとき
▲▼◀▶で「削除」を選び、[決定]

最後に「確定」を選ぶ
▼◀▶→[決定]→「メニュー」
(2回押し終了)

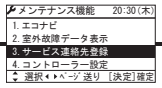


設定する（つづき）　サービス連絡先登録

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

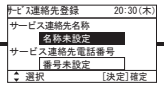


2 項目を選ぶ
▲▼→[決定]

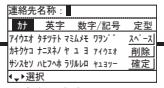


サービス連絡先登録

3 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]

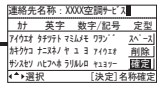


4 名称を入力する
▲▼◀▶→[決定]
(全文字分、くり返す)

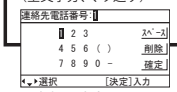


※全角8文字/
半角16文字まで。
(スペースも文字数に含む)

「確定」を選ぶ
▼◀▶→[決定]



▲▼◀▶→[決定]
(全文字分、くり返す)



※半角16文字まで。
(スペースも文字数に含む)

「確定」を選ぶ
▲▼◀▶→[決定]



※文字入力のしかた

■文字種類を変更するとき
▲▼◀▶で文字種類を選び、[決定]

■既定の名称から選ぶとき
▲▼◀▶で「定型」を選び、[決定]

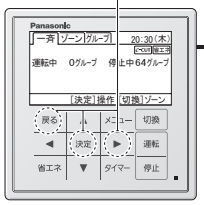
■スペースを入力するとき
▲▼◀▶で「スペース」を選び、[決定]

■1字消すとき
▲▼◀▶で「削除」を選び、[決定]

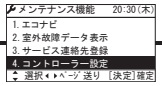
e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　施工

設定する（つづき） コントローラー設定

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



コントローラー設定

3 設定する
▲▼→[決定]→[戻る]



※工場出荷時

項目コード	設定内容	設定データ
01	**集中機器親子設定** ①e-CUT機能付システムコントローラー1台のみで使用するときは「親」で使用します。 ②インテリジェントコントローラーなどの集中制御機器と併用する場合、「子」に設定します。 ③②以外の場合でe-CUT機能付システムコントローラーを複数台使用するときは1台のみ「親」とし、ゾーンモードのときはゾーンごとに1台を「親」にしてください。 項目コード03"管理台数モード切替"が"一斉モード"のe-CUT機能付システムコントローラーを「親」とすることを推奨します。	• 0000：子 • 0001：親※
02	**コントローラー自己アドレス設定** e-CUT機能付システムコントローラー（CZ-10ESM4）は、室内外操作線上に最多10台まで接続できます。複数台設置する場合、重複を避けるために自己アドレスの割り振りを行ってください。	• 0000：アドレス1※ • 0001～0009：アドレス2～10
03	**管理台数モード切替** ●一斉モード すべての室内ユニットを設定できます。 ●ゾーン1・2・3・4モード 1・2・3・4のいずれかのゾーンの室内ユニットのみ設定できます。 ゾーン、グループごとに制御可能。 ※「管理台数モード」もあわせてご覧ください	• 0000：一斉モード※ • 0001：ゾーン1モード • 0002：ゾーン2モード • 0003：ゾーン3モード • 0004：ゾーン4モード
04	**集中／許可設定機能禁止** 集中／許可設定機能の有効／無効を設定します。 ただし、項目コード05"集中制御／リモコンモード切替"が「リモコンモード」のときは無効となります。	• 0000：禁止設定機能あり※ • 0001：禁止設定機能なし
05	**集中制御／リモコンモード切替** ●集中制御モード ・禁止設定機能を使用することができます。 ●リモコンモード ・禁止設定機能は使用できません。 ・リモコン禁止項目の設定が禁止になります。 「管理台数モード」もあわせてご覧ください	• 0000：集中制御モード※ • 0001：リモコンモード
06	**フラップ設定禁止** 風向切替操作および表示を不可にする。	• 0000：表示操作あり※ • 0001：表示操作なし

※工場出荷時

項目コード	設定内容	設定データ
07	**警報出力リレー遅延機能** 警報発生時にリレー出力ONを遅延させる機能	• 0000：遅延なし※ • 0001～0015 • 0001：1分、 0015：15分(1分単位)
09	**パスワード自動ロック** パスワードを一時的に解除したときに、無操作時に自動でロックする。	• 0000：自動ロックなし • 0001：5分 • 0006：30分(5分単位)※
0A	**画面オートOFF** 無操作時に液晶の表示を消す。	• 0000：なし※ • 0001：30分
0C	**デマンド機能選択** 時間帯デマンド／外部入力デマンド／タイマー省エネ 3つの機能を切り換えます。 切り替え後、取扱説明書の「デマンド設定」に従い、設定を完了してください。	• 0000：時間帯デマンド※ • 0001：タイマー省エネ • 0002：外部入力デマンド
2F	**パスワード（暗証番号）4桁数字** パスワード設定機能の暗証番号を変更可能とする。	• 0000～9999： • 0000：※

■管理台数モード
項目コード03"管理台数モード切替"と項目コード05"集中制御／リモコンモード切替"の設定の組み合わせで、下記①～⑩のモードに設定することが可能です。

		集中制御／リモコンモード		制御対象	
		集中制御モード	リモコンモード		
		禁止設定機能を使用することができます。	禁止設定機能は使用できません。 リモコン禁止項目の設定が禁止になります。	※グループ	ゾーン
管理台数モード	一斉モード	①一斉集中制御	⑥一斉リモコン	1～64	1～4
	ゾーン1モード	②ゾーン1集中制御	⑦ゾーン1リモコン	1～16	1
	ゾーン2モード	③ゾーン2集中制御	⑧ゾーン2リモコン	17～32	2
	ゾーン3モード	④ゾーン3集中制御	⑨ゾーン3リモコン	33～48	3
	ゾーン4モード	⑤ゾーン4集中制御	⑩ゾーン4リモコン	49～64	4

※P18で設定する集中制御アドレスがグループ番号となり、グループ番号により上記のとおりにゾーンが決まります。

試運転する

e-CUT機能付システムコントローラーの試運転

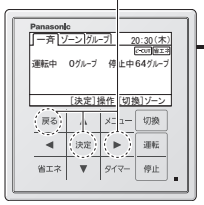
（準備）室内ユニットおよび室外ユニットの説明書を参照し、事前にユニットの試運転をしてください。
①e-CUT機能付システムコントローラーの電源を入れてください。
（設定中が点滅し室内ユニットの接続グループを自動的に確認します）
②接続されている室内ユニットの数（グループ制御時は親機のみ）とe-CUT機能付システム
コントローラーに表示されているグループの数が一致していることを確認してください。
※一致していない場合、集中制御アドレス設定（P.18）をご覧になり、設定してください。
※熱交換気ユニット・ローカルアダプターを接続する場合は、集中制御アドレスを設定してください。
※本機、操作後は30秒以上経過してから、手元リモコン等から操作をおこなってください。



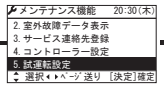
室内ユニットの試運転

●試運転設定オン・オフ手順

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



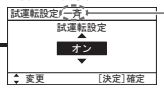
2 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



3 操作対象を選ぶ
■一斉／ゾーン
◀▶→[決定]



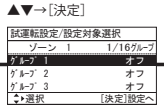
▲▼→[決定]
（「メニュー」→「戻る」を押して終了）
選んだ設定対象を表示



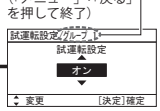
■グループ
◀▶でゾーンを選ぶ



▲▼→[決定]



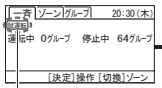
選んだ設定対象を表示
▲▼→[決定]
（「メニュー」→「戻る」を押して終了）



お願い
● 試運転以外の目的には使わないでください。（ユニットに無理がかかるため）
● ユニット付属の据付説明書も、あわせてご覧ください。
● 暖房／冷房／送風のいずれかのみ運転できます。
● 温度変更はできません。
● 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

●試運転する／試運転を終了する

1 一斉／ゾーン／グループを選ぶ



一斉
[切換]押す
ゾーン
[切換]押す
グループ
[切換]押して一斉へ

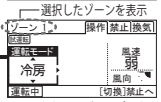
一斉で操作する
[決定]押す



ゾーン1～4を選択して、操作する
▲▼→[決定]



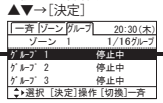
選択したゾーンを表示



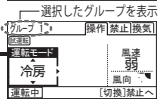
◀▶でゾーンを選ぶ



グループ1～64を選択して、操作する
▲▼→[決定]



選択したグループを表示



2 試運転する
[運転]押す

3 試運転を終了する
試運転設定オン・オフ手順に従い、オフにする

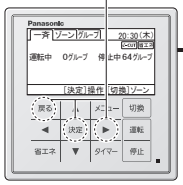
e-CUT 機能付システムコントローラー／ CZ-10ESM4…別売品　施工

集中制御アドレス設定・室外　デマンド設定

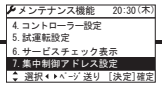
集中制御アドレス設定

エアコンの試運転を終了してから、下記の手順に従って集中制御アドレスを設定してください。

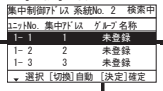
3つのボタンを同時に4秒以上押す



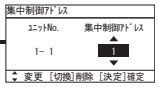
1 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



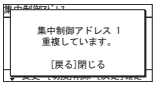
2 ■個別設定の場合
設定するユニットNo.を選ぶ
▲▼→[決定]
■自動設定の場合
[切換]を押す



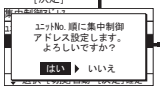
■個別設定
設定する集中制御アドレスを選ぶ
▲▼→[決定]
※削除する場合は、[切換]



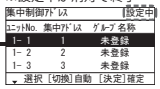
※集中制御アドレスの重複があった場合、個別設定完了時および集中制御アドレス設定終了時に通知する。



2 ■自動設定
◀▶→[はい]
→[決定]



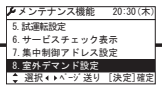
■自動設定
検索中→設定中
※設定中が消灯で終了



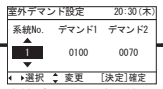
室外デマンド設定

室外ユニットがもつデマンド1と2の設定を変更することができます。ただし、室外機種によっては、変更が不可能な場合があります。
※時間帯デマンド/外部入力デマンドの設定ではありません。
時間帯デマンド/外部入力デマンドをご使用の場合は、コントローラー設定(P.15)の「デマンド機能選択」をご覧ください。

1 設定する項目を選ぶ
▲▼→[決定]



2 設定する系統No.を選ぶ
▲▼→[決定]

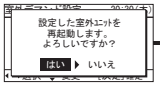


◀▶設定対象(デマンド1・2)を選ぶ
▲▼デマンド値を変更する
[決定]デマンド設定完了

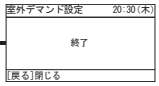


※設定後、本機および室外ユニットが再起動されるため、必ず停止中に実施してください。
※表示されるデマンド値はカット量ではなく運転量です。(室外メンテナンスリモコンのEEPROM設定と同じです)

室外デマンド設定を終了する時は
[戻る]→◀▶→「はい」を選び[決定]を押す



室外再起動処理終了



ワイヤードリモコンから集中制御アドレス設定を行う場合

設定完了後、e-CUT機能付システムコントローラーの電源を入れなおしてください。

ワイヤードリモコン(CZ-10RT3、CZ-10RT3Aなど)から設定する

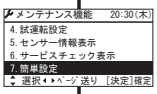
ワイヤードリモコンから集中制御アドレスを登録する
●エアコンが停止中に行ってください。
①[点検]ボタンと[換気]ボタンを同時に4秒以上押し続けます。
ユニット選択ボタンは押さないでください。
②温度設定「▲」、「▼」ボタンで項目コード03を選択します。
③タイマー時間「▲」、「▼」ボタンで集中制御アドレスを設定します。
④[セット]ボタンを押す。(「設定中」が点滅から点灯に変わる。)
⑤[点検]ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了する。
(通常の停止状態になる。)

ワイヤードリモコン(CZ-10RT4、CZ-10RT4Aなど)から設定する

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 簡単設定を選ぶ
▲▼→[決定]



3 設定する
ユニットNo.は初期位置から変更しない。
項目コード03を選択します。
設定データを変更し、集中制御アドレスを設定します。
ユニットNo.選択位置で[戻る]を押して設定を終了する。
4桁の設定データの下2桁が集中制御アドレスとなります。
ゾーンとの位置づけはP15を参照ください。

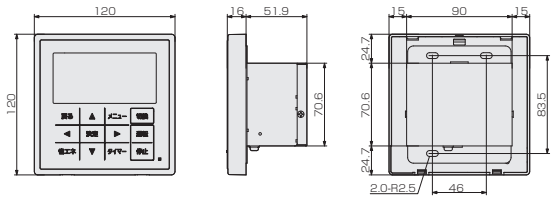


仕様

品番		CZ-10ESM4
外形寸法		(高さ) 120 mm ×(幅) 120 mm ×(奥行き) 16 + 51.9 mm
質量		520 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20 %～80 %(屋内設置専用)
電源		単相 AC 100-240 V　50/60 Hz
消費電力		最大1.3 W
時計	精度	±30秒/月(常温25 ℃)※定期的に合わせてください。
	保持時間	100時間(満充電時)※満充電に約8時間かかります。
接続台数		室内ユニット　最多64グループ(64台)

外形寸法

単位：mm



Printed in Japan
W0915-60823
ACXF60-19325
85464369805011

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　仕様

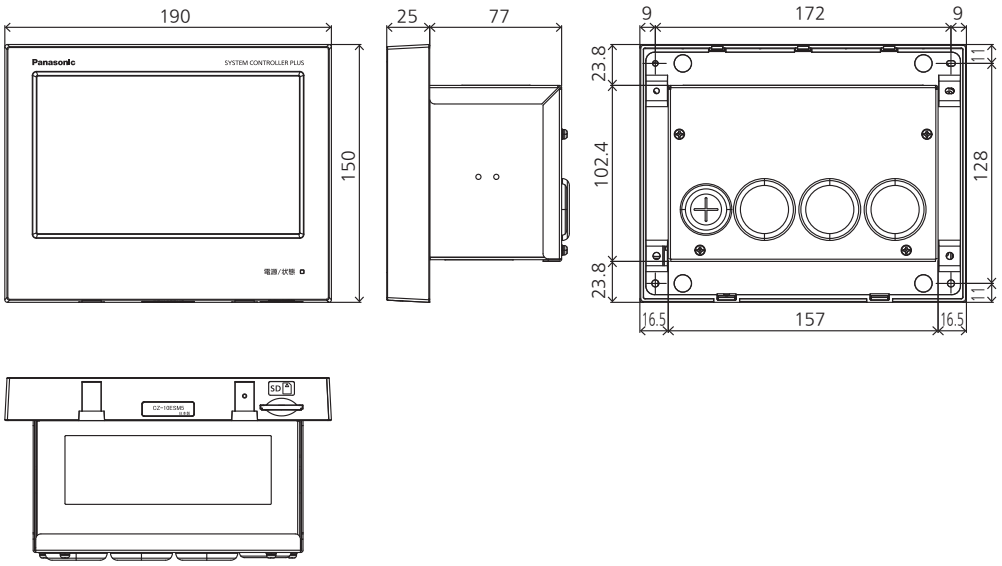
仕様

品番		CZ-10ESM5
外形寸法		（高さ）150 mm ×（幅）190 mm （奥行き）25 + 77 mm
質量		1.3 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～ 40 ℃・20%～ 80%(屋内設置専用)
定格電圧・周波数		単相 100 - 240 V ～　50/60 Hz
消費電力		最大10 W
時計	精度	±30 秒／月(常温25 ℃)　＊定期的に合わせてください。
	停電時の動作時間	100時間
1リンクあたりの接続可能台数※1		下記の合計台数が100台まで •室内ユニット：64台まで※2 •室外ユニット：30台まで •集中制御機器：10台まで

※1：最大接続可能台数は次の通りです。(最大2リンク接続可能)
　• 本機のみ：室内ユニット128台、室外ユニット60台
※2：熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。
　＊接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

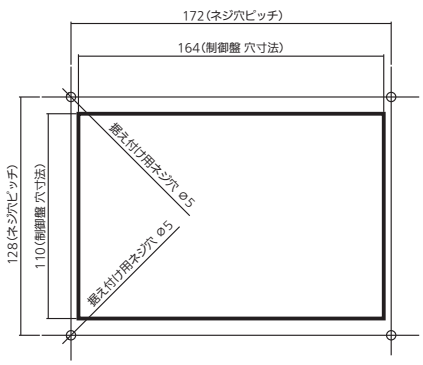
外形寸法図

単位:mm

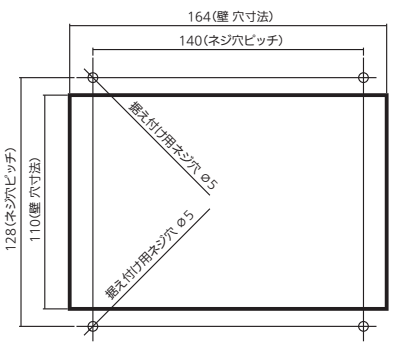


取付け穴寸法

単位: mm



単位: mm



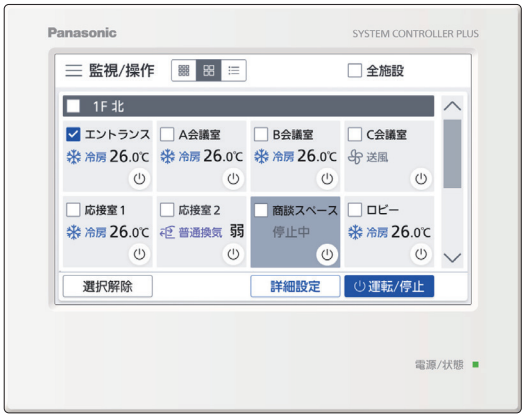
システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

Panasonic

取扱説明書（詳細版）

システムコントローラー PLUS

品番 **CZ-10ESM5**



このたびは、システムコントローラーPLUSをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●本書はシステムコントローラーPLUSの取扱説明書です。室内ユニットなどに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- ●ご使用前に「安全上のご注意」（4～5ページ）を必ずお読みください。

もくじ

安全上のご注意 4
使用上のお願い 6
システム構成 7
管理システム 8
各部の名前 10
SDカードについて 11
タッチパネルの操作 13
　タッチパネルの基本操作 13
　ボタン・ボックスについて 14
基本操作画面について 16
　監視/操作画面 16
　　全体俯瞰画面 16
　　ブロック画面 18
　　リスト画面 20
　　設定変更画面（複数選択） 21
　　設定変更画面（単独選択） 22
　　リモコン許可/禁止設定画面 25
　　設定情報一覧画面 26
　警報点検管理画面 27
基本の使いかた 29
　操作するグループを選ぶ 29
　運転する/停止する 30
　空調を操作する 31
　換気を操作する 33
　その他を操作する 34
メニュー画面について 35
　メニュー画面 35
メニュー一覧 36
タイマー設定 38
　ウィークリータイマー 38
　　新規登録する 40
　　設定内容を他の曜日にコピーする 43
　　登録済みのマスターを他のグループにコピーする 44
　　マスターを確認/編集する 45
　　タイマーの有効/無効を切り替える 47
　　臨時休日設定 48
　消し忘れ防止タイマー 49
　　新規登録する 51
　　登録済みのマスターを他のグループにコピーする 53
　　マスターを確認/編集する 54
　　タイマーの有効/無効を切り替える 55
省エネ設定 56
　設定温度自動リターン 56
　　新規登録する 57
　　登録済みのマスターを他のグループにコピーする 59
　　マスターを確認/編集する 60
　　設定の有効/無効を切り替える 61
　設定温度範囲制限 62
　　新規登録する 62
　　登録済みのマスターを他のグループにコピーする 64
　　マスターを確認/編集する 65
　　設定の有効/無効を切り替える 66
　タイマー省エネ 67
　　新規登録する 68
　　登録済みのマスターを他のグループにコピーする 70
　　マスターを確認/編集する 71
　　設定の有効/無効を切り替える 73
　時間帯デマンド 74
　外部入力デマンド 77
リモコン禁止設定 79
警報点検管理 80
　現在発生中の警報を確認する 80
　警報履歴を確認する/削除する 81
　現在発生中の点検を確認する 82
　点検履歴を確認する/削除する 83

もくじ

ユーザーメンテナンス 84
　フィルター情報 84
　銀イオン抗菌剤情報 85
設定情報一覧 86
　グループごとにアイコンを表示する 86
　全施設のアイコンを表示する 87
室外静音設定 88
コントローラー設定 89
　日時設定 89
　　現在の日時と時刻を設定する 89
　LCD設定 90
　　バックライトを調整する 90
　　掃除設定 91
　ブザー設定 92
　パスワード設定 93
　　パスワードを設定する 93
　　パスワードを変更する 94
　　対象範囲を設定する 95
　　再ロック時間を設定する 96
　　ロック状態を設定する 97
　操作ロック設定 98
　画面表示切替 99
　連絡先登録 100
　　名称を登録する 100
　　電話番号を登録する 101
　ソフトウェアバージョン表示 102
システム設定 103
　運転停止連携設定 103
　ゾーン・グループ名称設定 104
　データファイル入力/出力 106
　　SDカードの状態を確認する 106
　　警報履歴出力 107
　　点検履歴出力 108
　　運転状態出力 109
　　コントローラー機能設定 113
　　ソフトウェアアップデート 116
表示アイコン一覧 117
故障かな？ 119
お手入れ 122
仕様 123
著作権など 124
ソフトウェアについて 124
ご相談窓口 125

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ 必ず守る

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
（水漏れや感電・火災の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切る
（感電や火災の原因）
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする
- ブレーカーがたびたび切れる
- 本体が変形したり、異常に熱い

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

禁止

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在を判定し、空調機の運転が停止することがあります。

分解しない
（感電・火災の原因）

水洗いしない
（感電・火災の原因）

指定以外の電源を使用しない
（火災・故障の原因）
単相100 Vから240 Vを使用してください

冷媒が漏れている恐れがあるときは
- ファンヒーターやストーブ・コンロなどの燃焼器具を使用しない
（冷媒が火気に触れると有毒ガス発生や火災の原因）

部屋の換気を行い、販売店またはサービス会社に点検を依頼してください。

⚠ 注意

禁止

ぬれた手で操作しない
（感電や故障の原因）

使用上のお願い

●本機が冷媒漏えいの警報を発報し、その連絡を受けた管理者は、警報が発報したことをお買い上げの販売店またはご相談窓口に連絡し、冷媒漏えいの点検・修理を依頼してください。また、警報が発報した場合の本機器の操作はP.27を参照してください。
●本機器を冷媒漏えい警報器として使う場合は、1年に1回以上の定期点検が必要です。点検時期が来ましたら、速やかにお買い上げの販売店またはご相談窓口にご連絡ください。
●本機器を冷媒漏えい警報器として使う場合は、異常報知ブザー設定は有効のままご使用ください。
●次のような場所に設置しないでください。
- 湿気・油分・振動が多い／直射日光があたる／熱源の近く／結露する（故障の原因）
- ノイズが発生する（誤動作の原因）

●本機器を覆ったり、すぐ前に物を置いたりしないでください。
（冷媒の漏えいを検知したとき、警報音が聞こえなくなる原因）

【設備施工業者の方、管理者の方へ】
●本製品は、冷媒漏えいを検知したことを警報音などでお知らせします。本製品の設置場所により、空調設備の管理者が冷媒漏えいを把握できない場合には、管理者が冷媒漏えいを把握可能なシステムを別途用意してください。管理者が冷媒漏えいを把握可能なシステムとは、遠隔監視システムまたは使用者から管理者へ連絡する体制でも構いません。使用者から管理者へ連絡する体制を採用する場合は、冷媒漏えい検知警報器の近くに管理者の連絡先を必ず表示などしてください。
●冷媒漏えい対策で安全装置（冷媒漏えい検知警報器、安全しゃ断弁、機械換気装置）を設置している場合、その保守点検／交換方法は対象の据付（電気）工事説明書または交換手順書をご覧ください。
●冷媒漏えい対策で安全装置（冷媒漏えい検知警報器、安全しゃ断弁、機械換気装置）を設置している場合、異常・故障時や短時間のお手入れ時以外は電源を切らないでください。（電源を切ると機器が作動せず、冷媒漏れが発報できません）
●警報音発報の発見者は、ただちに管理者へ連絡することを、周知してください。

システム構成

本機から空調や換気などの機器を監視／操作できます。

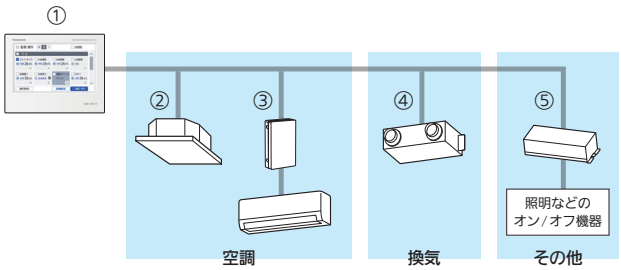
■ 構成機器について

監視／操作できる機器は下記になります。
●空調
- オフィス・店舗用エアコン
- ビル用マルチエアコン
- ガスヒートポンプエアコン
- 住宅設備エアコン（RACローカルアダプター対応機種）

●換気
- 業務用・熱交換ユニット（マイコンタイプ）

●その他
- オン／オフ制御用ローカルアダプター
（接点信号（オン／オフ）出力して、照明などをオン／オフする変換器）

■ 構成機器の接続イメージ



①本機
②室内ユニット
オフィス・店舗用エアコン／ビル用マルチエアコン／ガスヒートポンプエアコンのいずれかの室内ユニット
③RACローカルアダプター
住宅設備用エアコンに接続するための通信変換器
④業務用・熱交換ユニット
⑤オン／オフ制御用ローカルアダプター

管理システム

制御・監視エリアの規模に応じた最適な空調管理システムを選択できます。
本機1台で最大128台の室内ユニット※を集中制御して操作できます。

※室内ユニット、熱交換気ユニット、RACローカルアダプターおよびオン／オフ制御用ローカルアダプターのトータル台数が最大128台までになります。

一斉（全施設）	すべての室内ユニット（最大128台）を一斉に操作・設定できます。
ゾーン	複数の室内ユニットを最大16のゾーンとして登録でき、ゾーンごとに一括して操作・設定ができます。全体の最大のグループ数は変わりません。 下記の4つの管理パターンのうち、いずれかひとつの管理パターンが据え付け時に設定されています。 詳細は、据付（電気）工事説明書をご覧ください。 • **管理パターン1**：8ゾーン／16グループ （ゾーンを8分割して、1つのゾーンに16グループまでとする） • **管理パターン2**：16ゾーン／8グループ （ゾーンを16分割して、1つのゾーンに8グループまでとする） • **管理パターン3**：4ゾーン／32グループ （ゾーンを4分割して、1つのゾーンに32グループまでとする） • **管理パターン4**：1ゾーン／128グループ （ゾーンを分割しないで1グループとする）
グループ	グループごとに操作・設定ができます。 • リモコンの操作単位が1グループになります。 例「システム例）管理パターン1：8ゾーン／16グループ」（P.9）の図のグループ2のように室内ユニット2台をリモコン操作している場合は、室内ユニット2台が1グループになります。

■ 制御モード

本機には、「集中制御モード」と「リモコンモード」があります。
このモードは設置時に設定されています。詳細は、据付（電気）工事説明書をご覧ください。

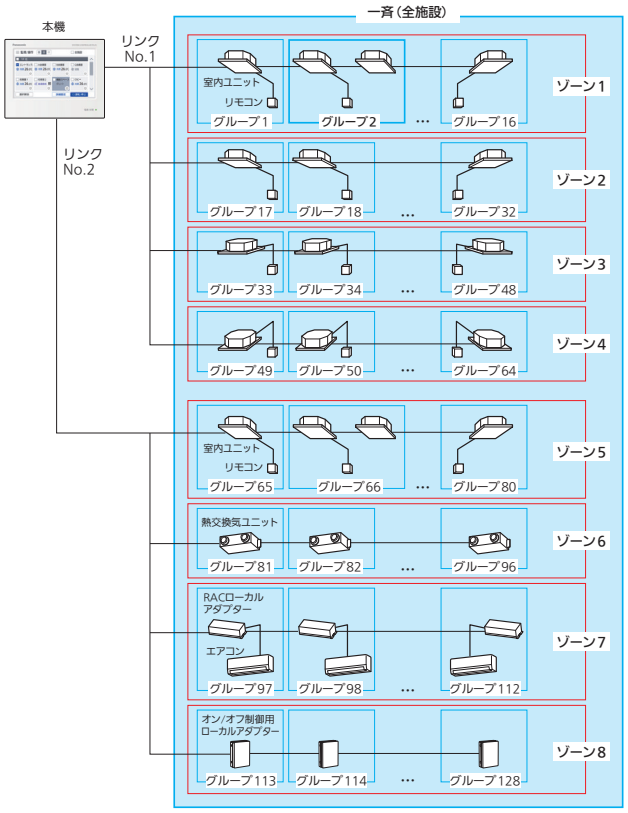
●**集中制御モード**
本機を「集中コントローラー」として使用します。本機から室内ユニットに接続されているリモコン操作を禁止することができます。

●**リモコンモード**
本機を「リモコン」として使用します。リモコン同様、他の集中コントローラーからリモコン禁止設定をした場合に、本機の操作を禁止することができます。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

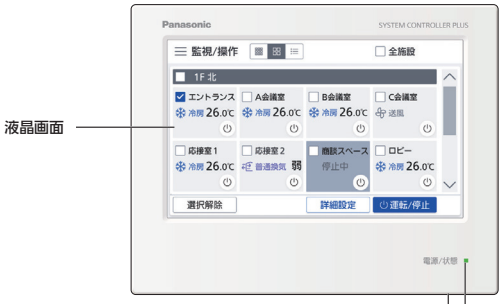
管理システム

■システム例）管理パターン1：8ゾーン/16グループ



9

各部の名前



SDカード用スロット
本機の下側にあります

電源/運転状態LED
- 消灯　：本機電源OFF
- 橙点灯：接続機器すべて停止中
- 緑点灯：接続機器1台以上運転中
- 赤点滅：警報発生中

10

SDカードについて

■ 使用可能なSDカードについて

SD規格に準拠したSDメモリーカード、SDHCメモリーカードを使用できます。
本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
空き容量が1 GB（目安）以上のSDカードをご利用ください。

●動作確認済みのSDカード

メーカー	品番
SanDisk	SDSDUW3-032G-JNJIN
KIOXIA	KSDB-A032G

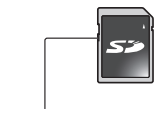
■ SDカードの取り扱いについて

●SDカードをはじめてお使いになるときには、FAT16または、FAT32でフォーマットすることをお勧めいたします。フォーマットが正しく行われていない場合は、書き込みに失敗したり、時間がかかる場合があります。
●データの読み出し中や書き込み中は、本機の電源を切ったり、SDカードを取り出したりしないでください。
●電磁波、静電気、本機やSDカードの故障などにより、SDカードに記録されたデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

■ SDカードの書き込み禁止スイッチについて

書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、
データの書き込みや消去を禁止できます。



書き込み禁止スイッチ

11

SDカードについて

■ SDカードを入れる

1. SDカードの書き込み禁止スイッチを確認する（P.11）
   ● LOCK側になっていると、SDカードへデータの書き込みができません。
2. 本機下部のSDカード用スロット（P.10）にカチッと音がするまで、SDカードを差し込む



ラベル面を前に

■ SDカードを取り出す

1. 監視/操作画面の ☰ をタッチ→「システム設定」→「データファイル入出力」→「SDカード」（P.106）で「取り出し」をタッチして、「OK」をタッチする
2. SDカードをカチッと音がするまで押し込み、指をはなす
   ● 指でつまめるくらいSDカードが出ます。

12

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

タッチパネルの操作

タッチパネルの基本操作

タッチパネル上で行う基本的な操作について説明します。
スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

タッチ
タッチパネルに表示されるボタンやテキストボックスなどに指で軽く触れる操作です。



スワイプ
タッチパネルに触れた指を一定方向（上下）に滑らせる操作です。
画面をゆっくりとスクロールする場合に使用します。



フリック
タッチパネルに触れた指を一定方向（上下）にはらう操作です。
画面をすばやくスクロールする場合に使用します。



タッチパネルの操作方法

ボタン・ボックスについて

タッチパネルで操作・設定を行うために、画面上にはさまざまなボタンやボックスがあります。

■ ボタン

おもに画面の切り替え、設定の保存、設定のオン／オフ、項目の選択などに使用します。

表示例	状態	説明
	設定オフ、無効	設定されていない状態です。
	設定オン、有効	設定されている状態です。
	設定不可	条件により設定できない状態です。

表示例	状態	説明
空調 換気 その他	選択	反転表示されている項目が選択されています。
風向 （グレーアウト）	選択不可	条件により選択できない状態です。

■ チェックボックス

項目の選択や機能のオン／オフ切り替えに使用します。

表示例	状態	説明
エントランス 冷房 26.0℃	未選択	選択されていない状態です。
エントランス 冷房 26.0℃	選択	選択されている状態です。 タッチするとチェックが入ります。再度タッチするとチェックが消えます。

タッチパネルの操作

■ スピンボックス

項目の表示切り替えや時間などの数値設定に使用します。

表示例	説明
＜ ＞	＞で次の項目を表示します。＜で前の項目を表示します。
∧ ∧ 運転 ∧ ∧ 許可/禁止 ∨ ∨ 停止 ∨ ∨	∧で数値を昇方向に送ります。∨で数値を降方向に送ります。 タッチしたままにすると、連続して数値を送ります。

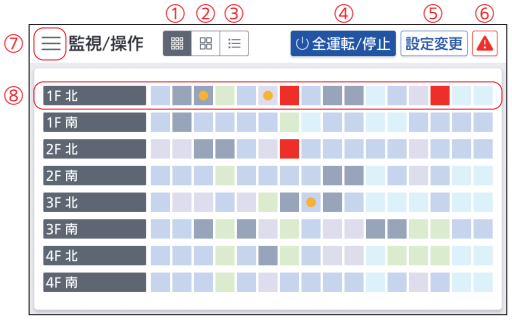
基本操作画面について

監視 / 操作画面

監視／操作の画面には、全体俯瞰画面、ブロック画面、リスト画面の３種類があります。
パスワード管理対象になっている場合は、パスワードの入力が必要です。

全体俯瞰画面

接続されたすべての機器の運転状況をゾーンやグループ構成とともに一括で表示します。
全体の運転状態が把握しやすい画面です。



①全体俯瞰画面表示中
②タッチすると、ブロック画面を表示します（P.18）
③タッチすると、リスト画面を表示します（P.20）
④タッチすると、運転停止確認画面を表示します（P.18）
⑤タッチすると、設定変更画面を表示します（P.22）
⑥警報発生中。タッチすると、警報点検管理画面を表示します（P.27）
　警報発生なしかつ点検発生中には が表示されます
⑦タッチすると、メニュー画面を表示します（P.35）
⑧タッチすると、ブロック画面を表示します（P.18）
　全体俯瞰画面で選択したゾーンが先頭に表示されます

●パスワード管理対象となっている場合、パスワードの入力が必要です。（P.95）

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

基本操作画面について

■ 運転状態のアイコンについて

●空調・換気・その他の共通のアイコン

(灰色) 停止中	(黄色丸) 点検発生中	(赤色) 警報発生中

●空調のアイコン

(薄青色) 冷房運転中	(薄橙色) 暖房運転中	(薄緑色) 冷暖自動運転中
(薄水色) ドライ運転中	(薄灰色) 送風運転中	

●換気のアイコン

(薄紫色) 換気運転中

●その他のアイコン

(薄緑色) 運転中

基本操作画面について

ブロック画面

ゾーンごとにグループ単位で運転状態（運転モードと設定温度）を表示します。
一括設定やゾーン単位やグループ単位での操作も可能です。



①タッチすると、全体俯瞰画面を表示します（P.16）
②ブロック画面表示中
③タッチすると、リスト画面を表示します（P.20）
④タッチするとすべてのゾーンとグループが選択され、一括で設定できます
⑤警報発生中。タッチすると、警報点検管理画面を表示します（P.27）
　警報発生なしかつ点検発生中には が表示されます
⑥タッチすると、メニュー画面を表示します（P.35）
⑦チェックすると、ゾーン内の全グループが選択されます
⑧チェックしたグループの設定ができます（複数のグループも選択できます）
⑨タッチすると、ゾーンまたはグループの選択が解除されます
⑩タッチすると、設定変更画面を表示します（P.21、22）
⑪タッチすると、運転停止確認画面を表示します。チェックしたグループが1つのみの場合は
　運転停止確認画面を表示せずに、運転/停止を切り替えます
⑫スクロールすると、隠れている他のグループ/ゾーンが表示されます

●パスワード管理対象となっている場合、パスワードの入力が必要です。（P.95）

基本操作画面について

■ 運転状態の例

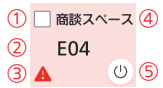
●空調・換気・その他の共通



①タッチすると、選択されます
②グループ名
③タッチすると、運転/停止を切り替えます



①タッチすると、選択されます
②運転停止中
③点検発生中
④グループ名
⑤タッチすると、運転/停止を切り替えます



①タッチすると、選択されます
②警報コードおよび冷媒漏えい
③警報発生中
④グループ名
⑤タッチすると、運転/停止を切り替えます

●空調



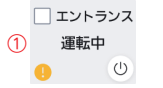
①運転モード
②点検発生中
③設定温度
④室温（表示設定時のみ（P.99））

●換気



①運転モード
②点検発生中
③風量

●その他



①運転中
②点検発生中

基本操作画面について

リスト画面

ゾーンやグループ単位ごとに運転状態（運転モード、設定温度、風速、風向、リモコン禁止、ナノイー、省エネ、換気、ウィークリータイマー、エコナビ、フィルターサイン）を一覧で表示します。
一括設定やゾーン単位やグループ単位での操作も可能です。



①タッチすると、全体俯瞰画面を表示します（P.16）
②タッチすると、ブロック画面を表示します（P.18）
③リスト画面表示中
④タッチするとすべてのゾーンとグループが選択され、一括で設定できます
⑤警報発生中。タッチすると、警報点検管理画面を表示します（P.27）
　警報発生なしかつ点検発生中には が表示されます
⑥タッチすると、メニュー画面を表示します（P.35）
⑦タッチすると、ゾーン内のすべてのグループを選択します
　警報発生中は、●が表示されます。警報発生なしかつ点検発生中には●が表示されます
⑧タッチすると、ゾーン内のグループを非表示にします。グループ非表示のときにタッチすると、グループを表示します
⑨ゾーン内の各グループが異なる設定の場合に「−−」が表示されます
⑩タッチすると、隠れている他の項目を表示します
⑪チェックしたグループの設定ができます（複数のグループも選択できます）
⑫タッチすると、ゾーンまたはグループの選択が解除されます
⑬タッチすると、設定変更画面を表示します（P.21、22）
⑭タッチすると、運転停止確認画面を表示します。チェックしたグループが1つのみの場合は
　運転停止確認画面を表示せずに、運転/停止を切り替えます
⑮スクロールすると、隠れている他のグループ/ゾーンが表示されます

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

基本操作画面について

設定変更画面（複数選択）

全体俯瞰画面（P.16）で［設定変更］をタッチする、またはブロック画面（P.18）およびリスト画面（P.20）で複数選択したあと［詳細設定］をタッチすると、設定変更画面（複数選択）が表示されます。
「空調」「換気」「その他」ごとに一括で設定／変更します。

例）「空調」を選択した場合



①1つ前の画面に戻ります
②全施設を選択しているときに「全施設」と表示されます
　ゾーンの場合は、ゾーン番号や名称を表示します。複数グループが選択されている場合は、グループ番号または、名称と他X（Xは数字）などが表示されます
③設定する機器を選びます
　接続機器が1種類だけの場合、機器名は表示されません。接続機器が2種類の場合は、接続された2種類の機器名が表示されます
④警報画面に移動します（P.27）
⑤ナノイーX設定中（nanoeX）、エコナビ設定中（ECONAVI）、運転切替管理中、暖房準備中、運転準備中などの情報や警報発生中（⚠ 警報が発生しています。）や点検発生中（ⓘ 点検が必要です。）などのお知らせを表示します
⑥設定情報一覧を表示します（P.26、86）
⑦現在の設定内容を表示します。選択されたグループが異なる設定の場合には「－－」が表示されます
⑧選択された機器に関する項目を設定します
⑨タッチすると、隠れている他の項目を表示します（P.31）

基本操作画面について

設定変更画面（単独選択）

ブロック画面（P.18）およびリスト画面（P.20）で1つのグループを選択したあと、［詳細設定］をタッチすると、設定変更画面（単独選択）が表示されます。

■空調



①1つ前の画面に戻ります
②警報画面に移動します（P.27）
③ナノイーX設定中（nanoeX）、エコナビ設定中（ECONAVI）、運転切替管理中、暖房準備中、運転準備中などの情報や警報発生中（⚠ 警報が発生しています。）や点検発生中（ⓘ 点検が必要です。）などのお知らせを表示します
④設定情報一覧を表示します（P.26、86）
⑤現在の設定内容を表示します
⑥空調機に関する項目を設定します
⑦タッチすると、隠れている他の項目を表示します（P.31）
⑧前のグループ番号または名称が表示されます。「<」をタッチすると前のグループの情報が表示されます
⑨次のグループ番号または名称が表示されます。「>」をタッチすると次のグループの情報が表示されます

基本操作画面について

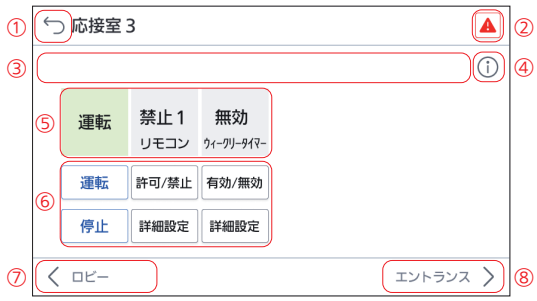
■換気



①1つ前の画面に戻ります
②警報画面に移動します（P.27）
③警報発生中（⚠ 警報が発生しています。）や点検発生中（ⓘ 点検が必要です。）などのお知らせを表示します
④設定情報一覧を表示します（P.26、86）
⑤現在の設定内容を表示します
⑥換気に関する項目を設定します
⑦前のグループ番号または名称が表示されます。「<」をタッチすると前のグループの情報が表示されます
⑧次のグループ番号または名称が表示されます。「>」をタッチすると次のグループの情報が表示されます

基本操作画面について

■その他



①1つ前の画面に戻ります
②警報画面に移動します（P.27）
③警報発生中（⚠ 警報が発生しています。）などのお知らせを表示します
④設定情報一覧を表示します（P.26、86）
⑤現在の設定内容を表示します
⑥その他に関する項目を設定します
⑦前のグループ番号または名称が表示されます。「<」をタッチすると前のグループの情報が表示されます
⑧次のグループ番号または名称が表示されます。「>」をタッチすると次のグループの情報が表示されます

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

基本操作画面について

リモコン許可 / 禁止設定画面

設定変更画面（P.21、22）のリモコン「許可/禁止」をタッチすると、手元リモコンの操作の許可または禁止する設定が表示されます。
禁止設定は、リモコン禁止設定（P.79）で設定された4種類のパターン（禁止1/禁止2/禁止3/禁止4）から選択できます。



①1つ前の画面に戻ります
②現在設定されている許可/禁止設定を表示します
③許可とリモコン禁止設定（P.79）の設定情報を表示します
④タッチすると、許可または禁止を設定します

●換気（熱交換気ユニット）は、運転/停止のみ利用可能です。
●その他（オン/オフ制御用ローカルアダプター）は、運転/停止のみ利用可能です。
●住宅設備エアコン（RACローカルアダプター対応機種）は、運転/停止を禁止にすると、すべての項目が禁止になります。

基本操作画面について

設定情報一覧画面

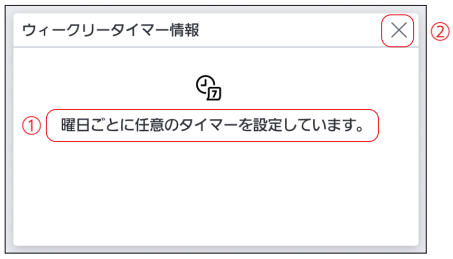
設定変更画面で①をタッチすると、設定情報一覧画面が表示されます。
アイコンをタッチして内容を確認します。（「表示アイコン一覧」P.117）

例）「空調」



①1つ前の画面に戻ります
②アイコンをタッチすると、アイコンの説明画面を表示します
③前のグループ番号または名称が表示されます。「<」をタッチすると前のグループの情報が表示されます（1つのグループを単独で選択した場合のみ表示されます）
④次のグループ番号または名称が表示されます。「>」をタッチすると次のグループの情報が表示されます（1つのグループを単独で選択した場合のみ表示されます）

例）ウィークリータイマー情報



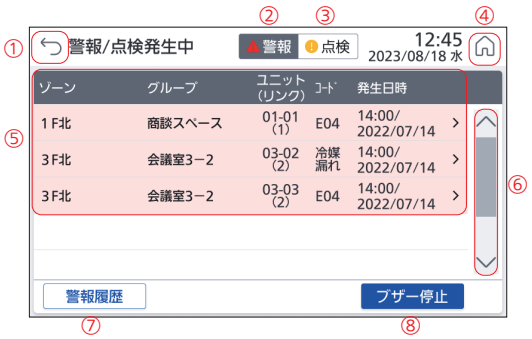
①設定情報の内容を表示します
②タッチすると、1つ前の画面に戻ります

基本操作画面について

警報点検管理画面

各画面の ▲ または ! をタッチすると、現在発生中の警報と点検の情報が表示されます。

■ 警報画面



①1つ前の画面に戻ります
②警報画面表示中
③点検画面に移動します
④監視/操作画面に移動します
⑤警報発生中のゾーン/グループ/ユニット番号/警報コードおよび冷媒漏れ（冷媒漏えい）/発生日時などを表示します
　タッチすると、連絡先などを確認できます（P.80）
⑥タッチすると、隠れている他の項目を表示します
⑦タッチすると、警報履歴（最大1280件）を表示します
　警報履歴は、メニューの警報点検管理から確認できます（P.80）
⑧タッチすると警報音（ブザー）を停止します

基本操作画面について

■ 点検画面



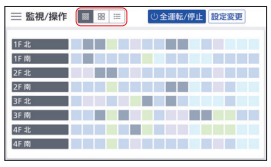
①1つ前の画面に戻ります
②警報画面に移動します
③点検画面表示中
④監視/操作画面に移動します
⑤点検発生中のゾーン/グループ/ユニット番号/点検および点検コード/発生日時などを表示します
　タッチすると、連絡先などを確認できます（P.82）
⑥タッチすると、隠れている他の項目を表示します
⑦タッチすると、点検履歴（最大640件）を表示します
　点検履歴は、メニューの警報点検管理から確認できます（P.82）

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

基本の使いかた

操作するグループを選ぶ

1 監視/操作画面で、▦（全体俯瞰画面）または、▦（ブロック画面）または ☰（リスト画面）をタッチし、表示画面を切り替える



●全体俯瞰画面でゾーンをタッチすると、ブロック画面が表示されます。

2 ブロック画面またはリスト画面で、チェック欄をタッチし、操作するグループを選ぶ

ブロック画面



リスト画面



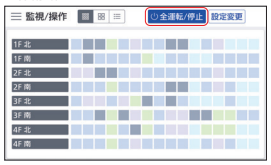
●全施設にチェックを入れると、すべてのゾーン/グループが選択されます。
●ゾーンにチェックを入れると、ゾーン内のすべてのグループが選択されます。
●「選択解除」をタッチすると、すべての選択が解除されます。
●全体俯瞰画面にはチェック欄はありません。すべてのグループに対して、一括で操作します。

基本の使いかた

運転する / 停止する

1 P.29の手順1～2で、運転/停止するグループを選んだあと「⏻全運転/停止」（全体俯瞰画面）、または「⏻運転/停止」（ブロック画面/リスト画面）をタッチする

全体俯瞰画面



ブロック画面



●グループが選択されていないとき、「⏻運転/停止」は選択できません。

リスト画面



●グループが選択されていないとき、「⏻運転/停止」は選択できません。

2 操作する機器にチェックを入れて（1）、「運転」または「停止」をタッチ（2）する



●1グループのみ選択しているとき、手順2はスキップされます。
●「×」をタッチすると、手順1に戻ります。
●選択または接続されていない機器は選択できません。
●操作ロック設定中（🔒）の機器は選択できません。

3 運転が開始または停止する



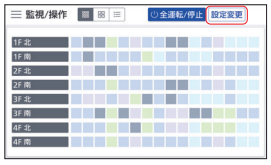
●複数のグループを一括で運転/停止するとき、運転/停止の切り替えに、時間がかかる場合があります。
●ブロック画面で、グループの⏻をタッチすると、グループの選択に関わらず、タッチしたグループの運転が、開始/停止します。

基本の使いかた

空調を操作する

1 P.29の手順1～2で、操作する空調グループを選んだあと、「設定変更」（全体俯瞰画面）、または「詳細設定」（ブロック画面/リスト画面）をタッチする

全体俯瞰画面



ブロック画面



●グループが選択されていないとき、「詳細設定」は選択できません。

リスト画面



●グループが選択されていないとき、「詳細設定」は選択できません。

2 空調の各設定を操作する





●隠れている項目を表示したいときは、「<」または「>」をタッチしてください。
●各グループが異なる設定の場合、設定情報に「ー」が表示されます。
●操作ロック中の設定は🔒が表示され、変更できません。

3 ⮌をタッチし、設定を完了する

●設定を受け付けた場合は、“設定変更を反映しました”と表示されます。



（次ページへ続く）

基本の使いかた

項目		説明
運転		運転を開始します。
停止		運転を停止します。
設定温度		設定温度（0.5 ℃単位）を設定します。※1 • 冷房、ドライ：18 ℃～30 ℃ • 暖房：16 ℃～ 30 ℃ • 冷暖自動：17 ℃～ 27 ℃
運転モード		運転モードを設定します。※1 暖房↔ドライ↔冷房↔送風↔自動（冷暖自動） • 運転切替管理中は、冷房↔暖房の切替はできません。
風速		風速を設定します。※1 ↔↔↔↔↔↔（自動）
風向		風向を設定します。※1 ↔↔↔↔↔↔↔（スイング）↔（停止） • スイング中に「∧」または「∨」をタッチすると、お好みの位置でフラップを止められます
リモコン	許可/禁止	手元リモコンの許可/禁止を設定します。 「許可」「禁止1」～「禁止4」を選びます。 • 住宅設備エアコン（RACローカルアダプター対応機種）は、運転/停止を禁止にすると、すべての項目が禁止になります。
	詳細設定	リモコン禁止設定（P.79）に移動します。 「禁止1」～「禁止4」の内容を編集できます。
ナノイーX		ナノイーXのON/OFFを設定します。※2
省エネ		省エネ運転のON/OFFを設定します。
換気		空調機に接続された換気扇のON/OFFを設定します。
ウィークリータイマー	有効/無効	ウィークリータイマーの有効/無効を設定します。 スケジュール未設定のとき、設定できません。
	詳細設定	ウィークリータイマー設定（P.38）に移動します。
エコナビ		エコナビのON/OFFを設定します。※2
フィルター		フィルターサインをリセットします。

※1　機種によって、選択可能な範囲や内容が異なる場合があります。
※2　機能がついていない機種の場合、変更できません。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

基本の使いかた

換気を操作する

1 P.29の手順1～2で、操作する換気グループを選んだあと(1)、「設定変更」(全体俯瞰画面)、または「詳細設定」(ブロック画面/リスト画面)をタッチする(2)

ブロック画面



2 換気の各設定を操作する



●「換気」が選択されていないときは、「換気」を選択してください。
●各グループが異なる設定の場合、設定情報に「ー ー」が表示されます。
●操作ロック中の設定は🔒が表示され、変更できません。

3 ⮌をタッチし、設定を完了する

●設定を受け付けた場合は、"設定変更を反映しました"と表示されます。



項目		説明
運転		運転を開始します。
停止		運転を停止します。
運転モード		運転モードを設定します。 普通換気 熱交換気 自動換気
風量		風量(弱/強)を設定します。
リモコン	許可/禁止	手元リモコンの許可/禁止を設定します。 「許可」「禁止1」～「禁止4」を選びます。 熱交換気ユニットは、「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
	詳細設定	リモコン禁止設定(P.79)に移動します。「禁止1」～「禁止4」の内容を編集できます。
ウィークリータイマー	有効/無効	ウィークリータイマーの有効/無効を設定します。 スケジュール未設定のとき、設定できません。
	詳細設定	ウィークリータイマー設定(P.38)に移動します。
フィルター		フィルターサインをリセットします。

基本の使いかた

その他を操作する

1 P.29の手順1～2で、操作するその他グループを選んだあと(1)、「設定変更」(全体俯瞰画面)、または「詳細設定」(ブロック画面/リスト画面)をタッチする(2)

リスト画面



2 その他の各設定を操作する



●「その他」が選択されていないときは、「その他」を選択してください。
●各グループが異なる設定の場合、設定情報に「ー ー」が表示されます。
●操作ロック中の設定は🔒が表示され、変更できません。

3 ⮌をタッチし、設定を完了する

●設定を受け付けた場合は、"設定変更を反映しました"と表示されます。



項目		説明
運転		運転を開始します。
停止		運転を停止します。
リモコン	許可/禁止	手元リモコンの許可/禁止を設定します。 「許可」「禁止1」～「禁止4」を選びます。 オン/オフ制御用ローカルアダプターは、「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
	詳細設定	リモコン禁止設定(P.79)に移動します。 「禁止1」～「禁止4」の内容を編集できます。
ウィークリータイマー	有効/無効	ウィークリータイマーの有効/無効を設定します。 スケジュール未設定のとき、設定できません。
	詳細設定	ウィークリータイマー設定(P.38)に移動します。

メニュー画面について

メニュー画面

監視/操作画面(P.16)で☰をタッチすると、メニュー画面が表示されます。



①一つ前の画面に戻ります
②監視/操作画面へ移動します(最後に使用していた全体俯瞰画面/ブロック画面/リスト画面のいずれかになります)
③タイマー設定に移動します(P.38)
④省エネ設定に移動します(P.56)
⑤リモコン禁止設定に移動します(P.79)
⑥警報点検管理に移動します(P.80)
⑦ユーザーメンテナンスに移動します(P.84)
⑧設定情報一覧に移動します(P.86)
⑨室外静音設定に移動します(P.88)
⑩コントローラー設定に移動します(P.89)
⑪システム設定に移動します(P.103)

●パスワードの対象範囲になっている設定は、パスワード入力が要求されます。
●機種によって機能がない場合や据え付け時の設定によって使用できない場合に、各設定のボタンをタッチすると、ポップアップで通知します。
例:室外静音設定が使用できない場合



メニュー一覧

★印付きのメニューは、機種によって機能がない場合や据え付け時の設定によって使用できない場合があります。

◇印付きのデマンドに関する設定(タイマー省エネ、時間帯デマンド、外部入力デマンド)は、設置のときにいずれか1つが選択されています。

▲印付きのメニューは、パスワードの対象範囲として設定されている場合、パスワードの入力が必要です。

タイマー設定▲			
	ウィークリータイマー	曜日単位で運転スケジュールを設定します。	P.38
	消し忘れ防止タイマー	消し忘れ防止タイマーを設定します。	P.49
省エネ設定▲			
	設定温度自動リターン	温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。	P.56
	設定温度範囲制限	設定できる温度の範囲を制限します。	P.62
	タイマー省エネ★◇	時間帯を決めて、省エネ運転します。	P.67
	時間帯デマンド◇	設定した時刻帯のみ、設定した運転量に抑えます。	P.74
	外部入力デマンド◇	外部機器からの入力信号で設定した運転量に抑えます。	P.77
リモコン禁止設定★▲		リモコンでの操作を禁止する項目を設定します。	P.79
警報点検管理▲		現在発生中の警報と点検の情報、警報履歴と点検履歴を表示します。	P.80
ユーザーメンテナンス▲			
	フィルター情報★	フィルター清掃までの時間を確認およびリセットします。	P.84
	銀イオン抗菌剤情報★	銀イオン抗菌剤の交換時期を確認およびリセットします。	P.85
設定情報一覧			
	グループごと	選択したグループの設定情報を確認します。	P.86
	全施設	接続されているすべてのグループの設定情報を確認します。	P.87
室外静音設定★		静音運転のオン/オフ、静音運転する時間を設定します。	P.88

(次ページへ続く)

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

メニュー一覧

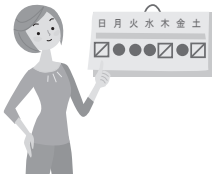
コントローラー設定▲		
日時設定	現在日時を設定します。	P.89
LCD設定	LCDのバックライトの調整とLCDの清掃のために画面を黒くします。	P.90
ブザー設定	異常発生時にブザー鳴動のオン／オフ、報知時間を設定します。	P.92
パスワード設定	パスワードとロックする対象範囲を設定します。	P.93
操作ロック設定	監視／操作画面の設定操作をロックします。	P.98
画面表示切替	監視／操作画面のブロック画面とリスト画面に室温を表示させるかを設定します。	P.99
連絡先登録	名称と電話番号を設定します。	P.100
ソフトウェアバージョン表示	現在のソフトウェアのバージョンを表示します。	P.102
システム設定▲		
運転停止連携設定	連動元機器が運転／停止した場合にそれに伴って運転／停止する連動先機器を設定します。	P.103
ゾーン・グループ名称設定	ゾーンとグループの名称を設定します。	P.104
データファイル入力/出力	SDカードを使用して、警報／点検履歴の出力、運転状態の出力、コントローラー機能設定の入出力を行います。	P.106

タイマー設定

はじめに現在の日時・時刻を設定してください。(P.89)

ウィークリータイマー

曜日単位で運転スケジュールを設定します。

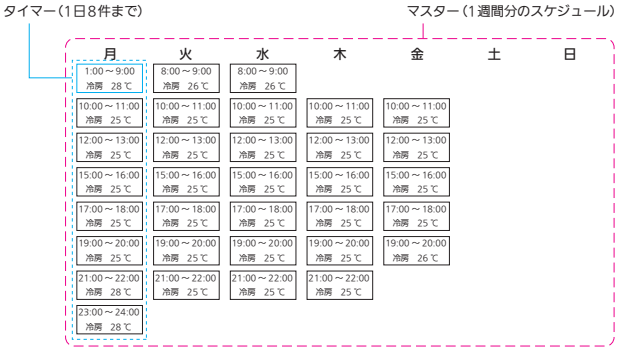


■ マスター

本機では、1週間分のスケジュールを「マスター」として登録できます。
1週間分のスケジュールを新規作成すると、自動的にマスター1から番号が付与され、最大16個まで登録することができます。

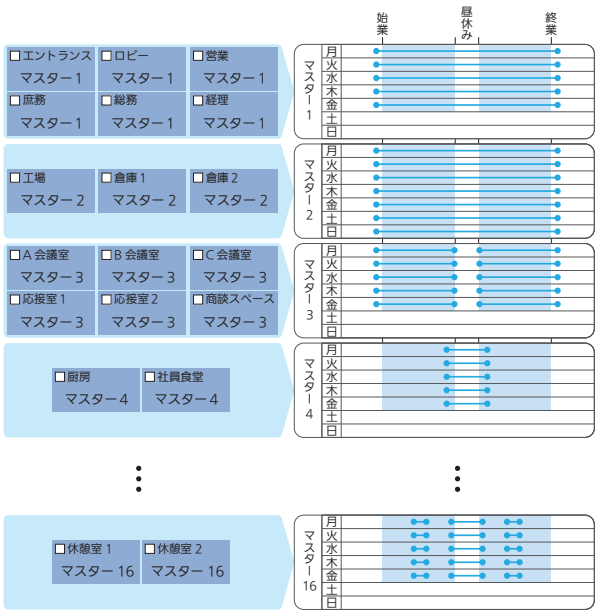
■ 1週間分のスケジュール

1日あたり最大8件まで「タイマー」を登録することができ、1週間分で最大56件まで登録できます。



タイマー設定

■ 各グループへのマスター設定のイメージ図



タイマー設定

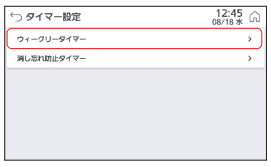
新規登録する

タイマーは1日8件まで設定できます。
マスターは最大16件まで登録できます。

1 メニュー画面で「タイマー設定」をタッチする



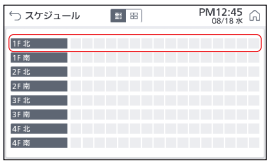
2 「ウィークリータイマー」をタッチする



3 「スケジュール設定」をタッチする



4 ゾーンをタッチする



（次ページへ続く）

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

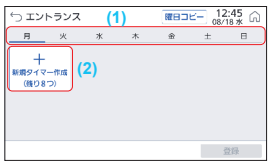
タイマー設定

5 ゾーンまたはグループにチェックを入れて（1）、「設定」をタッチする（2）



●複数選択できます。
●「選択解除」をタッチすると、チェックが外れます。

6 曜日を選び（1）、「＋新規タイマー作成」をタッチする（2）



7 各設定を行う



項目※1	説明
時	時間（24時間表示では00～23、12時間表示ではAM/PM、01～12）を設定します。
分	分（00～59）を設定します。
運転停止	運転の開始／停止を設定します。
設定温度※2※3	温度を設定します。 <設定できる範囲> • 冷房、ドライ： 18 ℃～30 ℃ • 暖房：16 ℃～ 30 ℃ • 冷暖自動：17 ℃～ 27 ℃
モード※2※3	運転モード（暖房／冷房／送風／ドライ／自動）を設定します。
リモコン	手元リモコンの許可／禁止1～4を設定します。

※1　設定している機器（空調、換気、その他）によって適用される項目が異なります。
※2　空調機器のみに適用されます。換気およびその他の機器には適用されません。
※3　機種によって、選択可能な範囲や内容が異なる場合があります。

（次ページへ続く）

タイマー設定

8 「OK」をタッチする



●「削除」をタッチすると、タイマー設定が削除されます。
●続けて追加で設定を行う場合は、手順6～8を繰り返します。

9 「登録」をタッチする



●タイマーが登録され、タイマーが有効になります。
●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

10 「OK」をタッチする



●空いているマスターに登録されます。
最大16件まで登録可能です。

11 スケジュールが登録される



タイマー設定

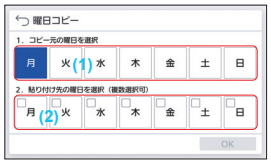
設定内容を他の曜日にコピーする

登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。
複数の曜日を同じスケジュールにするときに便利です。

1 P.40の手順1～5、または P.45の手順1～4のあと、「曜日コピー」をタッチする



2 コピー元の曜日を選び（1）、コピー先の曜日を選ぶ（2）



3 「OK」をタッチする



●手順1の画面に戻ります。

タイマー設定

登録済みのマスターを他のグループにコピーする

登録済みのマスターを他のグループにコピーできます。
複数のグループを同じ設定内容にするときに便利です。

1 P.40の手順1～4のあと、コピー先のグループを選び（1）、「設定」をタッチする（2）

例）商談スペースとロビーにコピーするとき

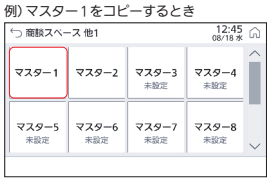


2 「マスターを使う」をタッチする



3 コピーするマスターをタッチする

例）マスター1をコピーするとき



4 設定内容を確認して、「OK」をタッチする



●曜日をタッチすると、各曜日のスケジュールが確認できます。

5 「登録」をタッチする



●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

6 「OK」をタッチする



●手順1の画面に戻ります。コピー先のグループにマスター設定がコピーされます。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

タイマー設定

マスターを確認 / 編集する

登録したマスターの内容を確認 / 変更 / 削除できます。
マスターが登録されていると「マスター編集」が表示されます。
（ゾーンまたはグループの☑をすべて選択解除したときに表示します。）

1 P.40の手順1～4のあと、「マスター編集」をタッチする



2 確認 / 編集したいマスターを選ぶ



3 「編集」をタッチする
例）マスター1を選択したとき



●「削除」をタッチすると、マスターを削除します。

4 曜日を選び、設定内容を確認する



5 編集する場合、曜日を選び（1）、編集したいタイマーをタッチする（2）



6 設定を変更し（1）、「OK」をタッチする（2）



（次ページへ続く）

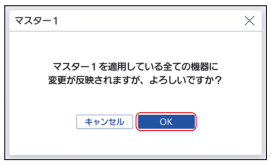
タイマー設定

7 編集完了後、「登録」をタッチする



●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

8 「OK」をタッチする



●手順1の画面に戻ります。

タイマー設定

タイマーの有効 / 無効を切り替える

設定したタイマーの登録内容は変更せずに、有効 / 無効を切り替えます。
設定を削除する（未設定に戻す）こともできます。

1 P.40の手順1～4のあと、マスター登録済のグループを選び（1）、「有効 / 無効」をタッチする（2）



2 「未設定に戻す」/「無効にする」/「有効にする」をタッチする



■「無効にする」を選んだ場合
選択されたグループのスケジュールが無効（灰色）になります



■「未設定に戻す」を選んだ場合
選択されたグループのスケジュール設定が削除されます



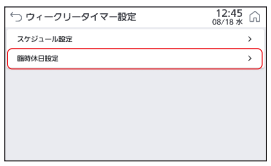
●無効または未設定に戻しても、マスターに登録されたスケジュール設定は削除されません。

タイマー設定

臨時休日設定

設定したタイマーの登録内容は変更せずに、特定の曜日だけのタイマーを一時的に無効にしたいときに使用します。

1 P.40の手順1～2のあと、「臨時休日設定」をタッチする



2 （ブロック画面）をタッチする



3 臨時休日を設定するグループを選び（1）、「臨時休日設定」をタッチする（2）



4 臨時休日にする曜日を選び（1）、「登録」をタッチする（2）



5 臨時休日が設定される



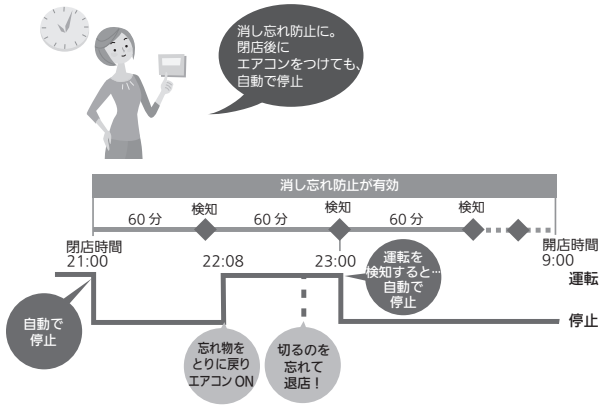
●設定した当日から臨時休日は有効になります。
●設定した曜日の翌日に臨時休日は自動で解除されます。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

タイマー設定

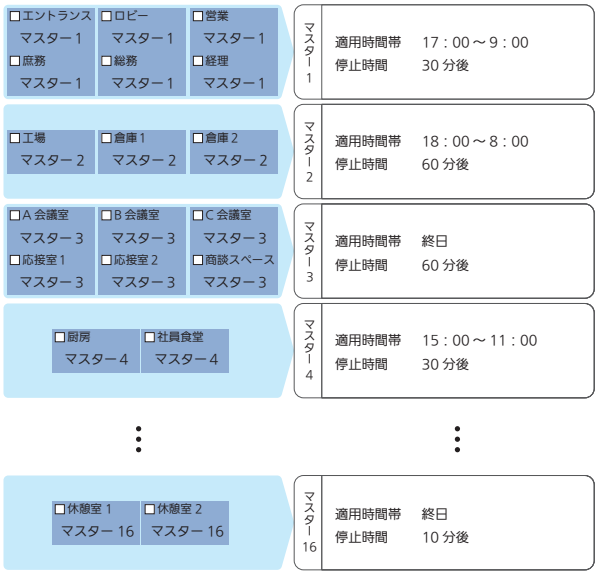
消し忘れ防止タイマー

決めた時刻に運転を止め、そのあと運転させても、一定時間ごとに検知して自動で止めます。



タイマー設定

■ 各グループへのマスター設定のイメージ図



タイマー設定

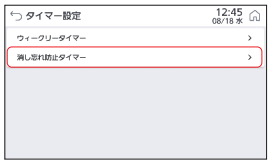
新規登録する

16件までマスターとして登録できます。

1 メニュー画面で「タイマー設定」をタッチする



2 「消し忘れ防止タイマー」をタッチする



3 ゾーンをタッチする



4 グループにチェックを入れて（1）、「設定」をタッチする（2）



●複数選択できます。
●「選択解除」をタッチすると、チェックが外れます。

（次ページへ続く）

タイマー設定

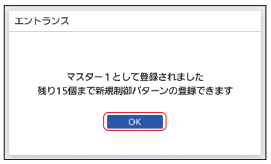
5 各設定を行い（1）、「登録」をタッチする（2）



項目	説明
適用時間帯（時、分）	消し忘れ防止時間（開始時刻／終了時刻）を設定します。 • 時（1 時間単位）： 24 時間表示では、00～23 12 時間表示では、 AM/PM、01～12 • 分（1 分単位）：00～59
停止時間	運転を停止するまでの時間を設定します。 • 0 分～180 分（10 分単位） • 0 分に設定すると、1 分以内に運転を停止します。

●「終日」にチェックを入れると一日中、「停止時間」で自動停止を繰り返します。
0：00（AM12：00）が機能開始時刻になります。
●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

6 「OK」をタッチする



●空いているマスターに登録されます。
最大 16 件まで登録可能です。

7 スケジュールが登録される



システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

タイマー設定

登録済みのマスターを他のグループにコピーする

登録済みのマスターを他のグループにコピーできます。
複数のグループを同じ設定内容にするときに便利です。

1 P.51の手順1～3のあと、
コピー先のグループを選び(1)、
設定をタッチする(2)

例) 商談スペースとロビーにコピーするとき



2 「マスターを使う」をタッチする



3 コピーするマスターをタッチする

例) マスター1をコピーするとき



4 設定内容を確認して、
「OK」をタッチする



5 「登録」をタッチする



●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

6 「OK」をタッチする



●手順1の画面に戻ります。コピー先のグループにマスター設定がコピーされます。

タイマー設定

マスターを確認 / 編集する

登録したマスターの内容を確認/変更/削除できます。
マスターが登録されていると「マスター編集」が表示されます。
(ゾーンまたはグループの☑をすべて選択解除したときに表示します。)

1 P.51の手順1～3のあと、
「マスター編集」をタッチする



2 確認/編集したいマスターを選ぶ



3 「編集」をタッチする

例) マスター1を選択したとき



●「削除」をタッチすると、マスターを削除します。

4 設定内容を確認する

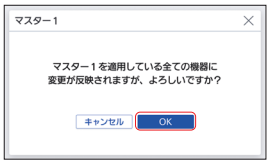


5 編集する場合、設定を変更し(1)(2)、
「登録」をタッチする(3)



●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

6 「OK」をタッチする



●手順1の画面に戻ります。

タイマー設定

タイマーの有効 / 無効を切り替える

設定したタイマーの登録内容は変更せずに、有効/無効を切り替えます。
設定を削除する(未設定に戻す)こともできます。

1 P.51の手順1～3のあと、
マスター登録済みのグループを選び
(1)、「有効/無効」をタッチする(2)



2 「未設定に戻す」/「無効にする」/
「有効にする」をタッチする



■「無効にする」を選んだ場合
選択されたグループのスケジュールが無効(灰色)になります



■「未設定に戻す」を選んだ場合
選択されたグループのスケジュール設定が削除されます



●無効または未設定に戻しても、マスターに登録されたスケジュール設定は削除されません。

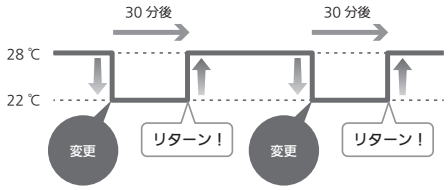
省エネ設定

設定温度自動リターン

温度を変更しても、一定時間後に設定した温度に戻します。
この機能により、過剰な冷暖房や設定温度の戻し忘れを防止します。

例) 冷房運転でリターン温度を28 ℃に、リターン時間を30分後に設定した場合

設定中は何回温度を変更しても30分後には自動的に28 ℃に戻ります。
ただし、リターン温度を28 ℃に設定しているとき、設定温度を30 ℃に設定すると、リターン時間を経過してもリターン温度には戻しません。(リターン動作 :「省エネ方向」設定時)



システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

省エネ設定

新規登録する

16件までマスターとして登録できます。

1 メニュー画面で「省エネ設定」をタッチする



2 「設定温度自動リターン」をタッチする



3 ゾーンをタッチする

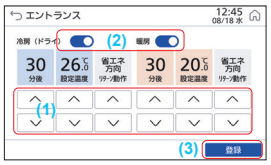


4 ゾーンまたはグループにチェックを入れて(1)、「設定」をタッチする(2)



- 複数選択できます。
- 「選択解除」をタッチすると、チェックが外れます。

5 冷房(ドライ)、暖房の各設定を行い(1)、有効/無効を選び(2)、登録をタッチする(3)



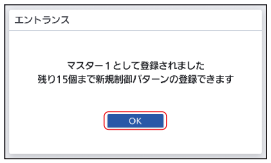
- 登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

（次ページへ続く）

省エネ設定

項目	説明
分後	設定した温度に戻るまでの時間を設定します。 • 0～240分(10分単位)
設定温度	温度を設定します。 • 冷房(ドライ) : 18.0 ℃～30.0 ℃ (0.5 ℃単位) • 暖房 : 16.0 ℃～30.0 ℃ (0.5 ℃単位)
リターン動作	リターン条件を選びます。 「通常」: 自動リターン時に、設定温度に戻します。 「省エネ方向」: 自動リターン時に、省エネになる場合のみ、設定温度に戻します。

6 「OK」をタッチする



- 空いているマスターに登録されます。最大16件まで登録可能です。

7 設定が登録される



お知らせ

- 「リターン動作」を「省エネ方向」にすると、変更された温度より手順5の温度の方が省エネになる場合のみ、動作します。
  例) 冷房26 ℃設定時、28 ℃に変更された場合
  - 「省エネ方向」のとき : 28 ℃のまま。
  - 「通常」のとき : 26 ℃に戻る。
- 機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

省エネ設定

登録済みのマスターを他のグループにコピーする

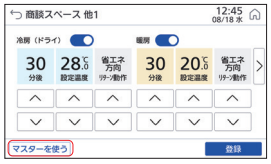
登録済みのマスターを他のグループにコピーできます。
複数のグループを同じ設定内容にするときに便利です。

1 P.57の手順1～3のあと、コピー先のグループを選び(1)、「設定」をタッチする(2)

例) 商談スペースとロビーにコピーするとき

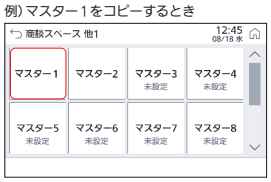


2 「マスターを使う」をタッチする

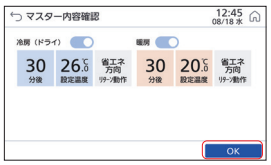


3 コピーするマスターをタッチする

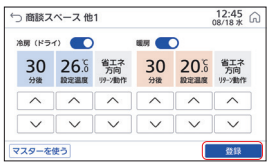
例) マスター1をコピーするとき



4 設定内容を確認して、「OK」をタッチする



5 「登録」をタッチする



- 登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

6 「OK」をタッチする



- 手順1の画面に戻ります。

省エネ設定

マスターを確認 / 編集する

登録したマスターの内容を確認/変更/削除できます。
マスターが登録されていると「マスター編集」が表示されます。
(ゾーンまたはグループの☑をすべて選択解除したときに表示します。)

1 P.57の手順1～3のあと、「マスター編集」をタッチする



2 確認/編集したいマスターを選ぶ



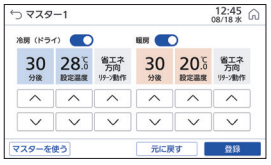
3 「編集」をタッチする

例) マスター1を選択したとき



- 「削除」をタッチすると、マスターを削除します。

4 設定内容を確認する

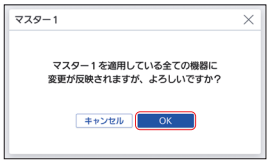


5 編集する場合、設定を変更し(1)(2)、「登録」をタッチする(3)



- 登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

6 「OK」をタッチする



- 手順1の画面に戻ります。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

省エネ設定

設定の有効 / 無効を切り替える

設定した登録内容は変更せずに、有効 / 無効を切り替えます。
設定を削除する（未設定に戻す）こともできます。

1 P.57の手順1～3のあと、
マスター登録済のグループを選び（1）、「有効 / 無効」をタッチする（2）



2 「未設定に戻す」/「無効にする」/
「有効にする」をタッチする



■「無効にする」を選んだ場合
選択されたグループの設定が無効（灰色）になります



■「未設定に戻す」を選んだ場合
選択されたグループの設定が削除されます



●無効または未設定に戻しても、マスターに登録された設定は削除されません。

省エネ設定

設定温度範囲制限

設定温度の上限と下限を指定して、設定できる温度の範囲を制限します。

新規登録する

16件までマスターとして登録できます。

1 メニュー画面で「省エネ設定」をタッチする



2 「設定温度範囲制限」をタッチする



3 ゾーンをタッチする

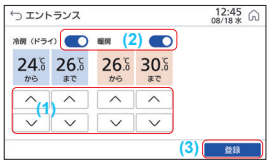


4 グループにチェックを入れて（1）、「設定」をタッチする（2）



●複数選択できます。
●「選択解除」をタッチすると、チェックが外れます。

5 各設定を行い（1）、有効 / 無効を選び（2）、「登録」をタッチする（3）



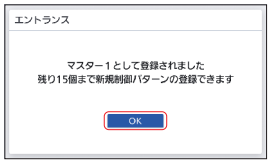
●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

（次ページへ続く）

省エネ設定

項目	説明
から （下限温度）	下限温度を設定します。 • 暖房時： 16 ℃ (0.5 ℃単位) • 冷房（ドライ）時： 18 ℃ (0.5 ℃単位)
まで （上限温度）	上限温度を設定します。 • 暖房時： 30 ℃※1 (0.5 ℃単位) ※1 一部の機種の上限温度は26 ℃です。 • 冷房（ドライ）時： 30 ℃ (0.5 ℃単位)

6 「OK」をタッチする



●空いているマスターに登録されます。
最大16件まで登録可能です。

お知らせ

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

省エネ設定

登録済みのマスターを他のグループにコピーする

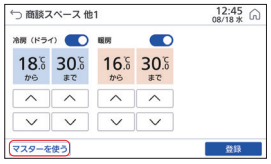
登録済みのマスターを他のグループにコピーできます。
複数のグループを同じ設定内容にするときに便利です。

1 P.62の手順1～3のあと、
コピー先のグループを選び（1）、
「設定」をタッチする（2）

例）商談スペースとロビーにコピーするとき

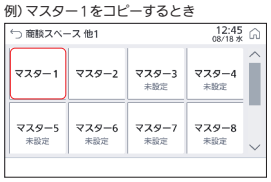


2 「マスターを使う」をタッチする

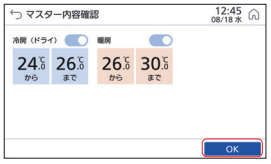


3 コピーするマスターをタッチする

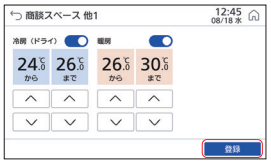
例）マスター1をコピーするとき



4 設定内容を確認して、
「OK」をタッチする



5 「登録」をタッチする



●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

6 「OK」をタッチする



●手順1の画面に戻ります。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

省エネ設定

マスターを確認 / 編集する

登録したマスターの内容を確認/変更/削除できます。
マスターが登録されていると「マスター編集」が表示されます。
(ゾーンまたはグループの☑をすべて選択解除したときに表示します。)

1 P.62の手順1～3のあと、「マスター編集」をタッチする



2 確認/編集したいマスターを選ぶ



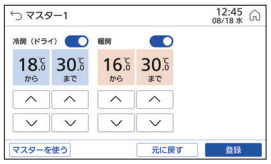
3 「編集」をタッチする

例) マスター1を選択したとき

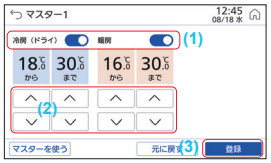


●「削除」をタッチすると、マスターを削除します。

4 設定内容を確認する

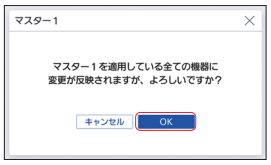


5 編集する場合、設定を変更し(1)(2)、「登録」をタッチする(3)



●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

6 「OK」をタッチする



●手順1の画面に戻ります。

省エネ設定

設定の有効 / 無効を切り替える

設定した登録内容は変更せずに、有効/無効を切り替えます。
設定を削除する(未設定に戻す)こともできます。

1 P.62の手順1～3のあと、マスター登録済のグループを選び(1)、「有効/無効」をタッチする(2)



2 「未設定に戻す」/「無効にする」/「有効にする」をタッチする



■「無効にする」を選んだ場合
選択されたグループの設定が無効(灰色)になります



■「未設定に戻す」を選んだ場合
選択されたグループの設定が削除されます



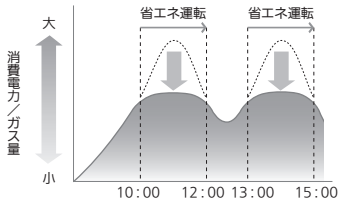
●無効または未設定に戻しても、マスターに登録された設定は削除されません。

省エネ設定

タイマー省エネ

指定した時間帯に省エネ運転を行い、電力またはガス使用量を抑えます。
1つのマスター内に最大4個のタイマーを設定できます。マスターは最大16件まで登録できます。

例) 10:00～12:00、13:00～15:00の時間帯に設定すると、その時間帯の消費電力/ガス量を抑えます。



●タイマー省エネ、時間帯デマンド、外部入力デマンドは、設置のときにいずれか1つが選択されています。
詳細は、据付工事説明書をご覧ください。

省エネ設定

新規登録する

1 メニュー画面で「省エネ設定」をタッチする



2 「タイマー省エネ」をタッチする



3 ゾーンをタッチする



4 ゾーンまたはグループにチェックを入れて(1)、「設定」をタッチする(2)



●複数選択できます。
●「選択解除」をタッチすると、チェックが外れます。

5 「＋新規追加」をタッチする



(次ページへ続く)

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

省エネ設定

6 各設定を行い(1)、「OK」をタッチする(2)



項目	説明
適用時間帯	開始時刻、終了時刻を設定します。 • 時(1時間単位): 24時間表示では、00～23 12時間表示では、 AM/PM、01～12 • 分(1分単位):00～59

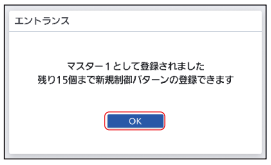
●「終日」にチェックを入れると、一日中タイマー省エネを実行します。
●続けて追加登録するとき、手順5～6を繰り返します。

7 「登録」をタッチする



●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

8 「OK」をタッチする



9 設定が登録される



省エネ設定

登録済みのマスターを他のグループにコピーする

登録済みのマスターを他のグループにコピーできます。
複数のグループを同じ設定内容にするときに便利です。

1 P.68の手順1～3のあと、コピー先のグループを選び(1)、「設定」をタッチする(2)

例) 商談スペースとロビーにコピーするとき



2 「マスターを使う」をタッチする



3 コピーするマスターをタッチする

例) マスター1を選択したとき



4 設定内容を確認して、「OK」をタッチする



5 「登録」をタッチする



●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

6 「OK」をタッチする



●手順1の画面に戻ります。

省エネ設定

マスターを確認 / 編集する

登録したマスターの内容を確認/変更/削除できます。
マスターが登録されていると「マスター編集」が表示されます。
(ゾーンまたはグループの☑をすべて選択解除したときに表示します。)

1 P.68の手順1～3のあと、「マスター編集」をタッチする



2 確認/編集したいマスターを選ぶ



3 「編集」をタッチする

例) マスター1を選択したとき



●「削除」をタッチすると、マスターを削除します。

4 設定内容を確認する



5 編集する場合、変更したい時間帯をタッチする



6 設定を変更し(1)(2)、「OK」をタッチする(3)



（次ページへ続く）

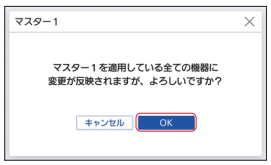
省エネ設定

7 「登録」をタッチする



●登録済みのマスターと異なるマスターとして登録される場合、「登録」は「別名登録」と表示されます。

8 「OK」をタッチする



●手順1の画面に戻ります。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

省エネ設定

設定の有効 / 無効を切り替える

設定した登録内容は変更せずに、有効 / 無効を切り替えます。
設定を削除する（未設定に戻す）こともできます。

1 P.68の手順1～3のあと、
マスター登録済のグループを選び
(1)、「有効 / 無効」をタッチする (2)



2 「未設定に戻す」/「無効にする」/
「有効にする」をタッチする



■「無効にする」を選んだ場合
選択されたグループの設定が無効（灰色）になります



■「未設定に戻す」を選んだ場合
選択されたグループの設定が削除されます



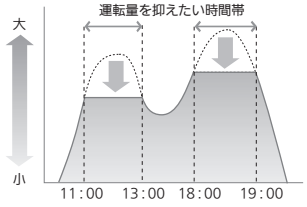
●無効または未設定に戻しても、マスターに登録された設定は削除されません。

省エネ設定

時間帯デマンド

指定した時間帯に運転量を制限して、空調機の電力またはガス使用量を抑えます。
4件まで登録できます。
この機能は、接続されているすべての空調機の室外機に設定されます。

例）11：00～13：00、18：00～19：00を
指定して運転量を抑える



●タイマー省エネ、時間帯デマンド、外部入力デマンドは、設置のときにいずれか1つが選択されています。
詳細は、据付工事説明書をご覧ください。

省エネ設定

1 メニュー画面で「省エネ設定」を
タッチする



2 「時間帯デマンド」をタッチする



3 「デマンド設定」をタッチする



4 「+新規追加」をタッチする



5 各設定を行い (1)、「OK」をタッチ
する (2)



項目	説明
適用時間帯	開始時刻、終了時刻を設定します。 • 時（1時間単位）： 24時間表示では、00～23 12時間表示では、 AM/PM、01～12 • 分（1分単位）：00～59
運転量	• 0～100%

●「終日」にチェックを入れると、一日中時間帯デマンドを実行します。
●続けて追加登録するとき、
手順4～5を繰り返します

（次ページへ続く）

省エネ設定

6 ⮌をタッチする



7 設定が登録される



●時間帯デマンドの設定オン / オフボタンをタッチすると、設定の有効 / 無効が切り替わります。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

省エネ設定

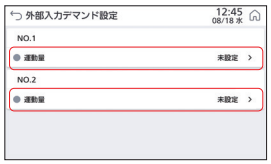
1 メニュー画面で「省エネ設定」をタッチする



2 「外部入力デマンド」をタッチする



3 「運転量」をタッチする



4 運転量（%）を設定し（1）、「OK」をタッチする（2）

例）No.1の運転量をタッチしたとき



●「削除」をタッチすると、設定を削除します。

5 設定が登録される



●設定オン／オフボタンをタッチすると、設定の有効／無効が切り替わります。

リモコン禁止設定

リモコンでの操作を禁止する項目を設定します。

1 メニュー画面で「リモコン禁止設定」をタッチする



2 変更したい禁止Noをタッチする

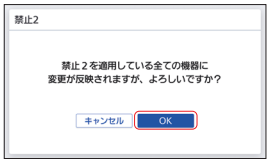
例）禁止2を変更するとき



3 禁止する項目を設定し（1）、「登録」をタッチする（2）



4 「OK」をタッチする



●続けて設定するとき、手順2～4を繰り返します。

5 設定が更新される



出荷時設定

禁止1	運転停止：禁止 設定温度：許可 風向：許可	運転モード：許可 風速：許可
禁止2	運転停止：禁止 設定温度：禁止 風向：許可	運転モード：禁止 風速：許可
禁止3	運転停止：許可 設定温度：禁止 風向：許可	運転モード：禁止 風速：許可
禁止4	運転停止：許可 設定温度：許可 風向：許可	運転モード：禁止 風速：許可

警報点検管理

現在発生中の警報と点検の情報、警報履歴と点検履歴を表示します。

現在発生中の警報を確認する

1 メニュー画面で「警報点検管理」をタッチする

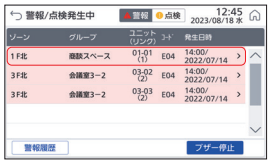


2 「警報」をタッチする



3 確認したいゾーンをタッチする

例）1F北　商談スペースの警報を確認するとき



●「警報履歴」をタッチすると、過去1280件分の警報履歴を表示します。
●「ブザー停止」をタッチすると、ブザーが止まります。

4 内容を確認する



●「×」をタッチすると、手順3に戻ります。
●「編集」をタッチすると、連絡先編集画面に移動します。（P.100）

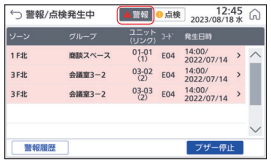
警報点検管理

警報履歴を確認する / 削除する

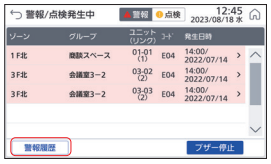
1 メニュー画面で「警報点検管理」をタッチする



2 「警報」をタッチする



3 「警報履歴」をタッチする



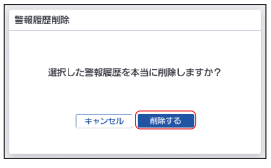
4 警報履歴情報を確認する



5 警報履歴情報を削除したい場合は、削除したい履歴情報にチェックを入れ（1）、「履歴削除」をタッチする（2）



6 「削除する」をタッチする



●手順4の画面に戻ります。
●警報履歴を削除すると、削除した情報は復元できません。情報の保存が必要な場合は、SDカードを挿入し[保存]をタッチし、警報履歴情報をSDカードに保存してください。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

警報点検管理

現在発生中の点検を確認する

1 メニュー画面で「警報点検管理」をタッチする



2 「点検」をタッチする



3 確認したいゾーンをタッチする

例）1F北　商談スペースの点検を確認するとき



●「点検履歴」をタッチすると、過去640件分の点検履歴を表示します。

4 内容を確認する



●「×」をタッチすると、手順3に戻ります。
●「編集」をタッチすると、連絡先編集画面に移動します。(P.100)

警報点検管理

点検履歴を確認する / 削除する

1 メニュー画面で「警報点検管理」をタッチする



2 「点検」をタッチする



3 「点検履歴」をタッチする



4 点検履歴情報を確認する



5 点検履歴情報を削除したい場合は、削除したい履歴情報にチェックを入れ(1)、「履歴削除」をタッチする(2)



5 「削除する」をタッチする



●手順4の画面に戻ります。
●点検履歴を削除すると、削除した情報は復元できません。情報の保存が必要な場合は、SDカードを挿入し をタッチし、点検履歴情報をSDカードに保存してください。

ユーザーメンテナンス

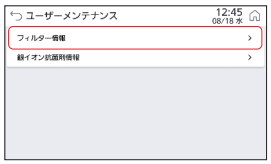
フィルター情報

空調機、熱交換気ユニットのフィルター清掃までの時間を確認、およびリセットします。
機種によっては、フィルター清掃時期の残り運転時間は表示できません。
「フィルター清掃してください」の表示が出ていた場合は、すみやかにフィルター清掃をしてください。

1 メニュー画面で「ユーザーメンテナンス」をタッチする



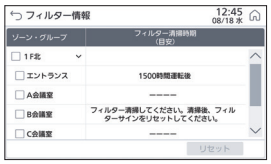
2 「フィルター情報」をタッチする



3 清掃までの運転時間を確認する

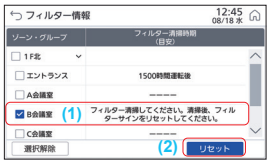
■ 清掃時期まで時間があるとき
↩ をタッチする

■ すぐに清掃が必要なとき
室内ユニットの取扱説明書を参照して、フィルターを清掃してから手順4に進んでください



4 ゾーン/グループを選び(1)、「リセット」をタッチする(2)

例）B会議室を選択



5 「リセット実行」をタッチする



●手順4の画面に戻ります。

ユーザーメンテナンス

銀イオン抗菌剤情報

銀イオン抗菌剤の残り有効時間を確認できます。銀イオン抗菌剤を交換後、表示をリセットします。
「交換が必要です」の表示が出ていた場合は、すみやかにサービスに連絡し、銀イオン抗菌剤の交換を依頼してください。

1 メニュー画面で「ユーザーメンテナンス」をタッチする



2 「銀イオン抗菌剤情報」をタッチする



3 交換までの運転時間を確認する

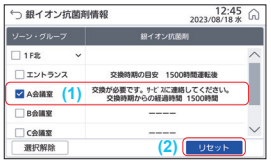
■ 交換時期まで時間があるとき
↩ をタッチする

■ すぐに交換が必要なとき
サービスに連絡してください
サービスが銀イオン抗菌剤を交換した後、手順4に進んでください

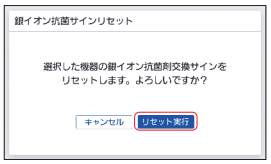


4 ゾーン/グループを選び(1)、「リセット」をタッチする(2)

例）A会議室を選択



5 「リセット実行」をタッチする



●手順4の画面に戻ります。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

設定情報一覧

現在設定中のアイコンを表示して、アイコンの意味を確認します。
アイコンの内容については「アイコン一覧」(P.117) をご覧ください。

グループごとにアイコンを表示する

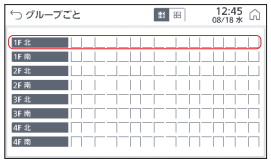
1 メニュー画面で「設定情報一覧」をタッチする



2 「グループ」をタッチする



3 ゾーンを選ぶ



3 グループを選ぶ

例) ブロック画面でエントランスを選んだとき

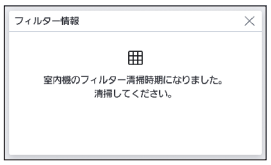


5 アイコンをタッチする



●現在の設定状態をアイコンで表示します。アイコンをタッチするとアイコンの説明が表示されます。

6 確認する



●「×」をタッチすると手順5に戻ります。

設定情報一覧

全施設のアイコンを表示する

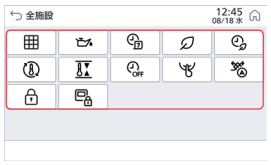
1 メニュー画面で「設定情報一覧」をタッチする



2 「全施設」をタッチする



3 アイコンをタッチする



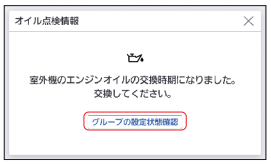
●すべての接続機器の中で1つでも設定があればアイコンを表示します。

4 設定情報を確認する

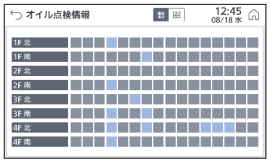


●「×」をタッチすると手順3に戻ります。

5 設定されているグループを確認するとき、「グループの設定状態確認」をタッチする



6 グループの設定状態を確認する



●「　」: 設定有効グループ
●「　」: 設定無効グループ
●「　」をタッチすると、ブロック画面で設定状態が確認できます。

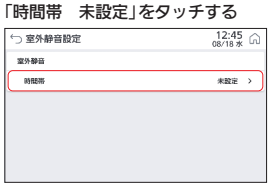
室外静音設定

室外ユニットの運転音を下げて運転する時間帯を設定します。

1 メニュー画面で「室外静音設定」をタッチする



2 「時間帯　未設定」をタッチする



3 各設定を行い (1)、「OK」をタッチする (2)



項目	説明
適用時間帯	静音運転する開始時刻、終了時刻を設定します。 • 時 (1時間単位) : 24時間表示では、00～23 12時間表示では、 AM/PM、01～12 • 分 (1分単位) : 00～59

●「終日」にチェックを入れると、一日中静音運転を行います。
●「削除」をタッチすると、設定を削除します。

4 設定が登録される



●室外静音の設定オン/オフボタンをタッチすると、設定の有効/無効が切り替わります。

コントローラー設定

日時設定

現在の日付/時刻を設定します。

現在の日時と時刻を設定する

1 メニュー画面で「コントローラー設定」をタッチする



2 「日時設定」をタッチする



3 「現在時刻/年月日」をタッチする



4 各設定を行い (1) (2)、「登録」をタッチする (3)



項目	説明
24H AM/PM	24時間表示または12時間表示を選びます。
年月日	年月日を設定します。
時分	時刻を設定します。 • 時 : 24H選択時 : 00 ～23 (1時間単位) AM/PM選択時 : 01～12 (1時間単位) • 分 : 00 ～59 (1分単位)

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

コントローラー設定

LCD 設定

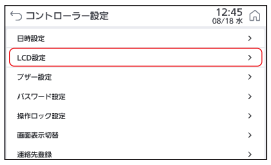
バックライトを調整する

LCDバックライトの明るさを10段階（1～10）で調整をします。

1 メニュー画面で「コントローラー設定」をタッチする



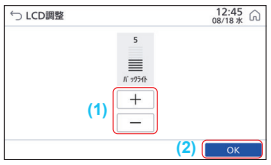
2 「LCD設定」をタッチする



3 「LCD調整」をタッチする



4 バックライトを調整し（1）、「OK」をタッチする（2）



コントローラー設定

掃除設定

LCD画面の汚れを掃除したいときに設定します。画面に触れて意図しない操作をしないようにするため、タッチ操作に反応しない黒画面にします。

1 P.90の手順1～2のあと、「掃除設定」をタッチする



2 「掃除開始」をタッチする



3 掃除が終わったら、「終了（4秒押し）」を4秒以上タッチし離す



●手順1の画面に戻ります。

コントローラー設定

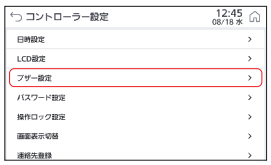
ブザー設定

警報発生時にブザー音でお知らせします。ブザーのオン/オフと報知時間を設定できます。
点検発生時には、ブザーは鳴動しません。

1 メニュー画面で「コントローラー設定」をタッチする



2 「ブザー設定」をタッチする



3 異常報知をオンにする

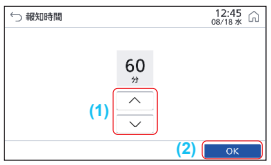


●異常報知をオフに設定していても、冷媒漏えいの警報を検知した場合は、安全のためブザーが鳴動します。

4 「報知時間」をタッチする



5 報知時間を設定し（1）、「OK」をタッチする（2）



●鳴動する時間を常時、10～60分（10分単位）で設定します。
●「常時」に設定されたときは、ブザー停止操作がされるまでブザーが鳴動し続けます。
●「常時」以外が設定されていても、冷媒漏えいの警報を検知した場合は、安全のためブザー停止操作がされるまでブザーが鳴動し続けます。

コントローラー設定

パスワード設定

パスワードを設定することで、特定の対象範囲の機能をロックすることができます。
出荷時設定では、パスワード未設定となっています。セキュリティの観点から管理運用に応じてパスワード、対象範囲、再ロック時間を設定してください。

パスワードを設定する

1 メニュー画面で「コントローラー設定」をタッチする



2 「パスワード設定」をタッチする



3 「パスワード　未設定」をタッチする



4 パスワード（4桁）を入力し（1）、「OK」をタッチする（2）

●パスワード入力画面が表示されます。



●1桁削除するには「×」をタッチします。

5 再度パスワード（4桁）を入力し（1）、「OK」をタッチする（2）



●パスワードの対象範囲（P.95）に、監視/操作/メニュー/コントローラー設定のいずれかが設定されているとき、監視/操作画面に戻ります。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

コントローラー設定

パスワードを変更する

1 P.93の手順1～2のあと、「パスワード　設定済」をタッチする



2 現在のパスワード（4桁）を入力する



●ロック状態設定が「ロック解除中」のとき、手順2はスキップされます。

3 「変更」をタッチする



●「削除」をタッチすると、パスワードが削除され、パスワード未設定に変わります。

4 新しく変更するパスワード（4桁）を入力し（1）、「OK」をタッチする（2）



●1桁削除するには「×」をタッチします。

5 再度パスワード（4桁）を入力し（1）、「OK」をタッチする（2）



●パスワードの対象範囲（P.95）に、監視/操作/メニュー/コントローラー設定のいずれかが設定されているとき、監視/操作画面に戻ります。

コントローラー設定

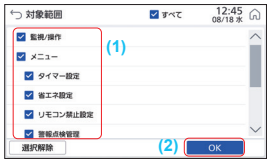
対象範囲を設定する

パスワードの対象範囲を設定します。
監視/操作/メニュー/タイマー設定/省エネ設定/リモコン禁止設定/警報点検管理/ユーザーメンテナンス/室外静音設定/コントローラー設定/システム設定から選びます。
選択範囲に設定した各操作時、パスワード入力画面が表示されます。

1 P.93の手順1～2のあと、「対象範囲」をタッチする



2 対象範囲を選び（1）、「OK」をタッチする（2）



●「選択解除」をタッチすると、チェックが外れます。
●「すべて」をタッチすると、すべての項目がチェックされます。
●「メニュー」をチェックすると、「メニュー」以下の項目はすべてチェックされます。「メニュー」以下の項目をすべてチェックすると「メニュー」もチェックされます。

コントローラー設定

再ロック時間を設定する

無操作によるパスワードロック状態に戻るまでの時間を設定します。

1 P.93の手順1～2のあと、「再ロック時間」をタッチする



2 再ロック時間を選び（1）、「OK」をタッチする（2）



●なし（再ロックしない）/ 5分～30分（5分単位）から選択します。

コントローラー設定

ロック状態を設定する

パスワードロック状態を手動で変更することができます。

1 P.93の手順1～2のあと、「ロック状態設定」をタッチする



2 ■ ロック状態設定が「ロック解除中」の場合

「ロック」をタッチする



●ロック状態設定が「ロック中」に変わります。
●パスワードの対象範囲（P.95）に、監視/操作/メニュー/コントローラー設定のいずれかが設定されているとき、監視/操作画面に戻ります。

2 ■ ロック状態設定が「ロック中」の場合

パスワード（4桁）を入力し（1）、「OK」をタッチする（2）



3 「ロック解除」をタッチする



●ロック状態設定が「ロック解除中」に変わります。

2 ■ ロック状態設定が「パスワード未設定」の場合

P.93の手順4～5と同じ操作でパスワード（4桁）を入力する

●ロック状態設定が「ロック中」に変わります。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

コントローラー設定

操作ロック設定

ロックをかけて操作を制限します。

1 メニュー画面で「コントローラー設定」をタッチする



2 「操作ロック設定」をタッチする



3 操作ロックを設定するカテゴリを選ぶ



4 ロックの種類を選び、(有効)にする

例)「空調」を選んだ場合



カテゴリ	ロックの種類
空調	• 全ての操作ロック • 運転／停止操作ロック • 運転モード変更操作ロック • 設定温度変更操作ロック • 風速変更操作ロック • 風向変更操作ロック
換気	• 全ての操作ロック • 運転／停止操作ロック • 換気モード変更操作ロック • 風量変更操作ロック
その他	• 全ての操作ロック • 運転／停止操作ロック

コントローラー設定

画面表示切替

監視／操作画面に表示する内容を変更します。

1 メニュー画面で「コントローラー設定」をタッチする



2 「画面表示切替」をタッチする



3 タッチして(有効)にする



項目	説明
室温	室温の表示／非表示を選びます。(P.19)

コントローラー設定

連絡先登録

サービス連絡先の名称と電話番号を登録します。2件まで登録できます。

名称を登録する

全角8文字／半角16文字まで登録できます。

1 メニュー画面で「コントローラー設定」をタッチする



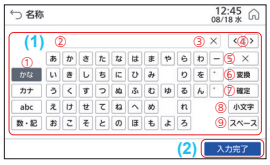
2 「連絡先登録」をタッチする



3 「名称」をタッチする



4 名称を入力し(1)、「入力完了」をタッチする(2)



項目	説明
① かな カナ abc 数・記	文字の種類(かな、カナ、アルファベット、数字・記号)を切り替えます。 カナ、abc、数・記は全角または半角が選択できます。
② 入力フィールド	タッチした文字が表示されます。
③　×	入力フィールド内の文字を全消去します。
④　＜＞	カーソルを移動します。
⑤　×	表示されている文字列をカーソル左側から1文字ずつ消去します。
⑥　変換	漢字に変換します。
⑦　確定	入力フィールドに表示されている文字列を確定します。
⑧ 小文字 (大文字) 大／小	大文字／小文字を切り替えます。
⑨ スペース	スペースを入力します。 • スペースも文字数に含みます

コントローラー設定

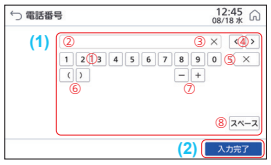
電話番号を登録する

半角16文字まで登録できます。

1 P.100の手順1～2のあと、「電話番号」をタッチする



2 電話番号を入力し(1)、「入力完了」をタッチする(2)



項目	説明
① 1～9、0	数字を入力します。
② 入力フィールド	タッチした文字が表示されます。
③　×	入力フィールド内の文字を全消去します。
④　＜＞	カーソルを移動します。
⑤　×	表示されている文字列をカーソル左側から1文字ずつ消去します。
⑥　( )	かっこを入力します。
⑦　＋ －	＋と－を入力します。
⑧ スペース	スペースを入力します。 • スペースも文字数に含みます

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

コントローラー設定

ソフトウェアバージョン表示

本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

1 メニュー画面で「コントローラー設定」をタッチする



2 「ソフトウェアアップデート」をタッチする



3 現在のソフトウェアバージョンを確認する



システム設定

運転停止連携設定

連動元機器が運転／停止した場合に、それに伴って運転／停止する連動先機器を設定します。
連携先は最大8つまで設定できます。

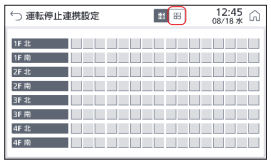
1 メニュー画面で「システム設定」をタッチする



2 「運転停止連携設定」をタッチする



3 （ブロック画面）をタッチする

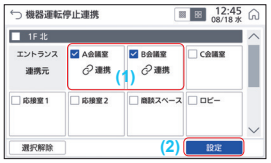


4 連携元を選ぶ

例）エントランスを選択するとき



5 連携させる機器を選び（1）、「設定」をタッチする（2）



●手順4で設定済のグループを選択時に、連携させる機器の選択をすべて解除し、「設定」をタッチすると「未設定」になります。

6 設定が登録される



●連携元が「設定済」になります。

システム設定

ゾーン・グループ名称設定

ゾーンとグループに名前を付けることができます。
全角8文字／半角16文字まで登録できます。

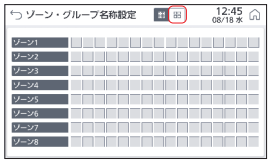
1 メニュー画面で「システム設定」をタッチする



2 「ゾーン・グループ名称設定」をタッチする



3 「⊞」をタッチする



4 名称を設定するゾーンまたはグループの「✎」をタッチする



5 名称を入力し（1）、「入力完了」をタッチする（2）



（次ページへ続く）

システム設定

項目	説明
① かな カナ abc 数・記	文字の種類（かな、カナ、アルファベット、数字・記号）を切り替えます。 カナ、abc、数・記は全角または半角が選択できます。
② 入力フィールド	タッチした文字が表示されます。
③　×	入力フィールド内の文字を全消去します。
④　＜＞	カーソルを移動します。
⑤　×	表示されている文字列をカーソル左側から1文字ずつ消去します。
⑥　変換	漢字に変換します。
⑦　確定	入力フィールドに表示されている文字列を確定します。
⑧ 小文字 （大文字） 大／小	大文字／小文字を切り替えます。
⑨ スペース	スペースを入力します。 • スペースも文字数に含みます

●表示画面によっては、登録したすべての文字が表示されない場合があります。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

システム設定

データファイル入力 / 出力

SD カードの状態を確認する

SDカードの状態を確認します。

1 メニュー画面で「システム設定」をタッチする



2 「データファイル入力/出力」をタッチする



3 「SDカード」をタッチする



4 SDカードの状態を確認する



項目	説明
SDカード状態	SDカードの状態（未挿入／挿入済／アクセス中）と空き容量を表示します。
アクセス予定日	自動保存設定にしている場合は、自動保存した直近の日時を表示します。
お知らせ	SDカードに関するお知らせが表示されます。

●SDカードが取り出し可能な場合は「取り出し」が表示されます。「取り出し」をタッチし、「OK」をタッチした後、SDカードを取り出してください。

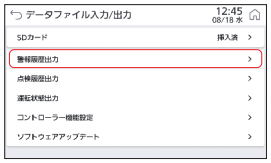
システム設定

警報履歴出力

警報履歴1280件分のログデータをSDカードへ保存することができます。
警報履歴情報自動保存をONにすると、毎月1日0:00に1か月分を保存します。
CSVファイル形式で出力され、下記の内容のデータが保存されます。

- 警報発生日時
- ゾーンNoおよびゾーン名称
- グループNoおよびグループ名称
- リンクNoおよびユニットNo.
- 警報コード

1 P.106の手順1～2のあと、「警報履歴出力」をタッチする



2 警報履歴情報保存を（有効）にする



項目	説明
警報履歴情報自動保存	警報履歴情報を自動保存する／しないを選択します。
保存間隔	自動保存するにしているとき、毎月1日の0:00に保存します。
保存先	ログデータの保存先を表示します。
ファイル名	ログデータのファイル名を表示します。

システム設定

点検履歴出力

点検履歴640件分のログデータをSDカードへ保存することができます。
点検履歴情報自動保存をONにすると、毎月1日0:00に1か月分を保存します。
CSVファイル形式で出力され、下記の内容のデータが保存されます。

- 点検発生日時
- ゾーンNoおよびゾーン名称
- グループNoおよびグループ名称
- リンクNoおよびユニットNo.
- 点検コード

1 P.106の手順1～2のあと、「点検履歴出力」をタッチする



2 点検履歴情報保存を（有効）にする



項目	説明
点検履歴情報自動保存	点検履歴情報を自動保存する／しないを選択します。
保存間隔	自動保存するにしているとき、毎月1日の0:00に保存します。
保存先	ログデータの保存先を表示します。
ファイル名	ログデータのファイル名を表示します。

システム設定

運転状態出力

■ 室内機運転情報

室内機から取得した運転／停止、設定温度、室温（室内機吸い込み温度）の情報を自動で保存します。1時間ごと（毎時00分）に保存され、1か月分のファイルが保存・更新されます。
CSVファイル形式で出力され、下記の内容のデータが保存されます。

- 保存日時
- ゾーンNoおよびゾーン名称
- グループNoおよびグループ名称
- リンクNoおよびユニットNo.
- 運転／停止
- 設定温度
- 室温（室内機吸い込み温度）

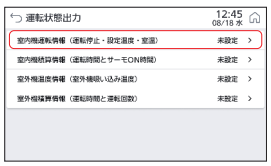
お知らせ

●停電などにより本機の電源が切れると、前回保存してから電源を入れ直し起動完了するまでのデータが失われる可能性があるため、ご注意ください。
●SDカードが挿入されていない場合は、本機の内部に最大1か月分のデータを一時的に保存しています。このデータは本機の電源が切れると消失します。SDカードのデータのバックアップ等でSDカードを取り出した場合は、速やかに再挿入していただく必要があります。

1 P.106の手順1～2のあと、「運転状態出力」をタッチする



2 「室内機運転情報」をタッチする



3 自動保存を（有効）にする



項目	説明
自動保存	自動保存する／しないを選択します。
保存間隔	自動保存するにしているとき、毎時0分に保存します。
保存先	ログデータの保存先を表示します。
ファイル名	ログデータのファイル名を表示します。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

システム設定

■ 室内機積算情報

室内機から取得した積算運転時間、サーモON時間の情報を自動で保存します。
1か月ごと（毎月1日0:00）に保存され、1年分のファイルが保存・更新されます。
CSVファイル形式で出力され、下記の内容のデータが保存されます。

- 保存日時
- ゾーンNoおよびゾーン名称
- グループNoおよびグループ名称
- リンクNoおよびユニットNo.
- 積算運転時間
- サーモON積算時間

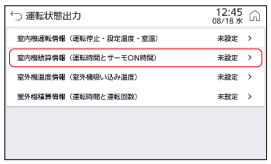
お知らせ

●停電などにより本機の電源が切れると、前回保存してから電源を入れ直し起動完了するまでのデータが失われる可能性があるため、ご注意ください。

1 P.106の手順1～2のあと、「運転状態出力」をタッチする



2 「室内機積算情報」をタッチする



3 自動保存を（有効）にする



項目	説明
自動保存	自動保存する/しないを選択します。
保存間隔	自動保存するにしているとき、毎月1日の0:00に保存します。
保存先	ログデータの保存先を表示します。
ファイル名	ログデータのファイル名を表示します。

システム設定

■ 室外機温度情報

室外機から取得した外気温度（室外機吸い込み温度）の情報を自動で保存します。
1時間ごと（毎時00分）に保存され、1か月分のファイルが保存・更新されます。
CSVファイル形式で出力され、下記の内容のデータが保存されます。

- 保存日時
- リンクNoおよび室外系統No.
- 運転/停止
- 設定温度
- 外気温度（室外機吸い込み温度）

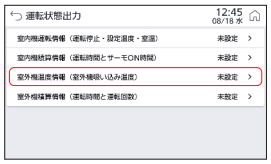
お知らせ

●停電などにより本機の電源が切れると、前回保存してから電源を入れ直し起動完了するまでのデータが失われる可能性があるため、ご注意ください。
●SDカードが挿入されていない場合は、本機の内部に最大1か月分のデータを一時的に保存しています。このデータは本機の電源が切れると消失します。SDカードのデータのバックアップ等でSDカードを取り出した場合は、速やかに再挿入していただく必要があります。

1 P.106の手順1～2のあと、「運転状態出力」をタッチする



2 「室外機温度情報」をタッチする



3 自動保存を（有効）にする



項目	説明
自動保存	自動保存する/しないを選択します。
保存間隔	自動保存するにしているとき、毎時0分に保存します。
保存先	ログデータの保存先を表示します。
ファイル名	ログデータのファイル名を表示します。

システム設定

■ 室外機積算情報

室外機から取得した室外機運転時間（圧縮機稼働時間）と室外機運転回数（圧縮機ON回数）の情報を自動で保存します。
1か月ごと（毎月1日0:00）に保存され、1年分のファイルが保存・更新されます。
CSVファイル形式で出力され、下記の内容のデータが保存されます。

- 保存日時
- リンクNoおよび室外系統No.
- 室外機運転時間（圧縮機稼働時間）
- 室外機運転回数（圧縮機ON回数）

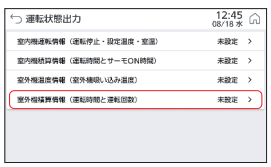
お知らせ

●停電などにより本機の電源が切れると、前回保存してから電源を入れ直し起動完了するまでのデータが失われる可能性があるため、ご注意ください。

1 P.106の手順1～2のあと、「運転状態出力」をタッチする



2 「室外機積算情報」をタッチする



3 自動保存を（有効）にする



項目	説明
自動保存	自動保存する/しないを選択します。
保存間隔	自動保存するにしているとき、毎月1日の0:00に保存します。
保存先	ログデータの保存先を表示します。
ファイル名	ログデータのファイル名を表示します。

システム設定

コントローラー機能設定

■ データ出力

本機に設定されているタイマーや省エネ設定などのデータを、JSONファイル形式でSDカードに一括出力します。
本機が故障したときなどに簡単に再設定できるため、保存しておくことを推奨します。

以下のデータは出力されません。

- パスワード設定のパスワード番号
- 警報履歴出力/点検履歴出力/運転状態出力のデータ

1 P.106の手順1～2のあと、「コントローラー機能設定」をタッチする



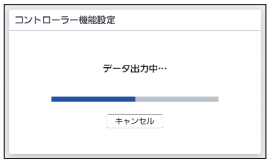
2 「データ出力」をタッチする



3 「出力開始」をタッチする



4 データ出力が完了するまで待機する



●「キャンセル」をタッチすると、データ出力を中止します。

5 「OK」をタッチする



●手順3の画面に戻ります。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

システム設定

■ データ入力

本機に設定するタイマーや省エネ設定などのデータをSDカードから入力する機能です。
データ出力（P.113）で出力したJSONファイルをそのままデータ入力することで、同じ設定内容の別機を作成することができます。また、出力したJSONファイルをパソコン上の設定コピー機能編集ツールを用いて、一部設定内容を変更してデータ入力することも可能です。
本機が入力データとして受け付けるファイルは、SDカード内のCZ-ESM/Export/またはCZ-ESM/Import/フォルダ以下に保存されているJSONファイルです。

以下の設定データは入力できません。
- 据え付け時設定するコントローラーアドレス
  別機に設定コピーする場合は、既存の機器とアドレス設定が重複しないように設定してください。
- パスワード設定
  セキュリティ関連のデータは入力できません。
  パスワード設定機能をご使用になりたい場合は、画面操作からパスワード登録を行ってください。

（次ページへ続く）

システム設定

1 P.106の手順1～2のあと、「コントローラー機能設定」をタッチする



2 「データ入力」をタッチする



3 「入力開始」をタッチする

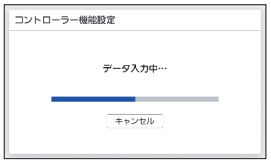


●ファイルが見つからない場合、「入力開始」は選択できません。
●ファイル名をタッチすると入力するファイルを選択できます。

4 「OK」をタッチする

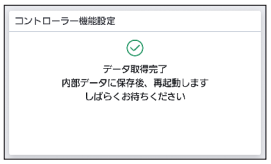


5 データ入力が完了するまで待機する



●「キャンセル」をタッチすると、データ入力を中止します。

6 データの保存完了後、再起動する

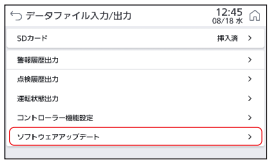


システム設定

ソフトウェアアップデート

SDカードに格納されているシステムコントローラープログラムを指定してソフトウェアアップデートを実行します。
この操作はサービスマンが実施します。

1 P.106の手順1～2のあと、「ソフトウェアアップデート」をタッチする



2 「開始」をタッチする



3 「OK」をタッチする



●アップデート完了後、再起動します。

表示アイコン一覧

アイコン	内　容	ページ
	警報発生中	–
	点検発生中	–
	操作ロック設定中	98
	集中制御機器からリモコン操作を制限中	–
	室内ユニットのフィルター清掃が必要	84
	熱交換気ユニットのフィルター清掃が必要（熱交換気ユニット接続時のみ）	84
	エンジンオイル交換が必要（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）	–
	ウィークリータイマー設定中（臨時休日未設定）	38
	ウィークリータイマー設定中と臨時休日設定中	48
	省エネ運転中	–
	室外ユニットの運転量を制限中	–
	タイマー省エネ設定中	67
	時間帯デマンド設定中	74
	外部入力デマンド設定中	77
	設定温度自動リターン設定中	56
	設定温度範囲制限設定中	62
	消し忘れ防止設定中	49
	室外静音設定中	88
	銀イオン抗菌剤の交換が必要	85

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

表示アイコン一覧

アイコン	内　容	ページ
	外気をそのまま取り入れ換気中 （熱交換気ユニット接続時、市販の換気扇等の接続時のみ）	33
	外気を室温に近づけて取り入れ換気中 （熱交換気ユニット接続時のみ）	33
	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り替え換気中 （熱交換気ユニット接続時のみ）	33

故障かな？

修理ご依頼の前に、ご確認を！

症　状	原因と対応
運転・操作できない	●操作ロック設定（🔒）が表示されていませんか？ → 🔒 が表示されている操作はロックされています。 操作ロック設定（P.98）で解除してください。 ●集中管理中（🖥）が表示されていませんか？ →他のコントローラーから管理されているため、操作できません。 操作できない対象機器が上記の状態になっているかは、設定情報一覧P.86）でご確認ください。
許可/禁止設定が操作できない リモコン禁止設定が使用できない	●リモコンモードで使用しているときは、禁止操作ができません。 リモコンモードは据付時に設定されています。ご使用いただく場合は、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。
画面操作を行っても表示の更新に時間がかかる	●接続されている空調機との通信状況により、多少時間がかかる場合があります。 →しばらくお待ちいただければ更新されます。
操作ボタンをタッチしても操作できない	●タッチパネルの操作位置と画面の位置が長期間の使用によりずれる場合があります。 サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。
操作ボタンとは違う動作になる	●液晶画面の表面が濡れていませんか？ 表面が濡れているとタッチしているというような誤検知する場合があります。 →乾いた布でふきとり、再度操作してください。
カラー液晶ディスプレイの画面について	●画面の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合がありますが、故障ではありません。 また、カラー液晶ディスプレイは、その性質上、温度変化などで多少ムラが発生する場合がありますが、故障ではありません。
一定時間がたつと画面が真っ黒になる	●無操作が一定時間続くと、本機は画面表示をオフにします。画面をタッチすると、再度画面を表示します。

故障かな？

症　状	原因と対応
「⚠」が表示される	●異常が発生したときに表示されます。 警報画面で「警報コード」「品番」を確認し、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。 （品番が表示されない機種があります。） 警報表示が「E04」「E06」「P10」「P20」「H06」のいずれかの場合は、一度運転を停止し、約1分後に再運転してください。 →警報表示が再表示されなければ、そのまま使えます。 警報表示が「冷媒漏えい（冷媒漏れ）」または「P08」の場合は、冷媒が漏れているおそれがありますので、直ちに部屋の換気を行い、火気は使用せず、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切らずにお買い上げの販売店またはご相談窓口にご連絡ください。 上記を行っても警報表示が再表示されるときや、上記以外の警報表示（「E/H/L/P」いずれかの文字と数字の組み合わせ）が表示されたときは、運転を停止してから配線用しゃ断器（ブレーカー）を切り、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。
「🔧」が表示される	●点検が必要なときに表示されます。 点検画面で点検情報を確認し、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。 （品番が表示されない機種があります。） 点検情報によっては、一部の機能が動作しない可能性があります。
ウィークリータイマー運転がうまくできない	●ウィークリータイマーが「有効にする」になっていますか？ →「無効にする」では、ウィークリータイマー運転は行いません。「タイマーの有効/無効を切り替える」（P.47）をご確認ください。 ●現在の日付・時刻は合っていますか？（P.89） 現在時刻が合っていないと、予定外の時刻に動作します。

故障かな？

症　状	原因と対応
勝手に運転モードが送風になる	●設定温度自動リターン（P.56）もしくは設定温度範囲制限（P.62）が有効になっていませんか？ →冷暖自動を選択した場合には、自動的に送風に切り替わります。 設定温度自動リターンおよび設定温度範囲制限は、設定温度の設定変更を制限することで冷えすぎ、暖めすぎを防止して、省エネを実現することを目的としています。 冷暖自動においては、冷えすぎを防止する設定温度（例：27℃）が、暖房時には暖めすぎの設定温度となるため、省エネ運転として、冷暖自動をご使用いただくことはできません。

●連絡先の表示がない場合は、ご相談窓口（P.125）にご連絡ください。

システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

お手入れ

●柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがひどい場合は、布に水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
- 画面に触れて意図しない操作をしないようにするため、掃除設定（P.91）をご活用ください。

お願い

●40 ℃以上のお湯を使わないでください。
（変形や変色の原因）
●揮発性のものなどは使わないでください。
アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、磨き粉などでふいたり、市販の液状殺虫剤、消毒スプレーなどをかけない（変形や変色の原因）
●次のようなもので乾かさないでください。
ドライヤー、ストーブ、直射日光（変形や変色の原因）

仕様

品番		CZ-10ESM5
外形寸法		（高さ）150 mm×（幅）190 mm×（奥行き）25 + 77 mm
質量		1.3 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（屋内設置専用）
定格電圧・周波数		単相 100 – 240 V～　50/60 Hz
消費電力		最大10 W
時計	精度	±30秒／月（常温25 ℃） 定期的に合わせてください。
	停電時の動作時間	100時間
接続台数		室外ユニット：60台 室内ユニット：128台 ＊ 2LINK使用したときの最大接続数になります。 ＊ 室内ユニット台数について 熱交換換気ユニット、RACローカルアダプターおよびオン／オフ制御用ローカルアダプターのトータル台数になります。

著作権など

●QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
●その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは一部記載していません。

ソフトウェアについて

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社（以下パナソニック）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) ソースコード公開が必須とされない条件にてライセンスされたオープンソースソフトウェア
上記 (3) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

jansson

Copyright (c) 2009-2020 Petri Lehtinen <petri@digip.org>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

ご相談窓口

機器に関する使い方・お手入れなどのご相談・お問い合わせは…

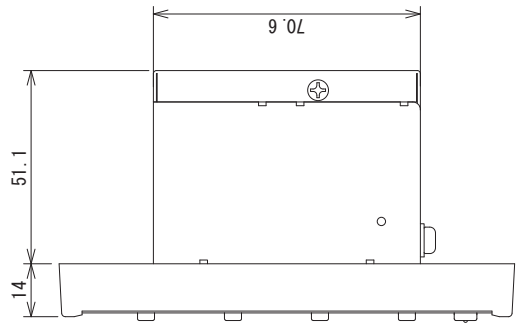
商品の情報はホームページでご確認ください。　パナソニック　空調換気　検索　https://hvac.panasonic.com/jp/
商品・修理に関するお問い合わせはこちらまで
■ 空調・換気・給湯の相談窓口 ■
フリーダイヤル 0120-870-199
音声ガイダンスに従って商品を選択してください
フリーダイヤルがご利用いただけない場合
050-3158-1222（有料）
月～金 9:00-12:00 13:00-18:00
FAXでのお問い合わせ
FAX 050-3606-7370
※有人対応：月～土 9:00～18:00（日・祝日・年末年始は留守電受付）
24時間 365日受付
Webフォームでのお問い合わせ
※技術相談(PAC/VRFのみ)
【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

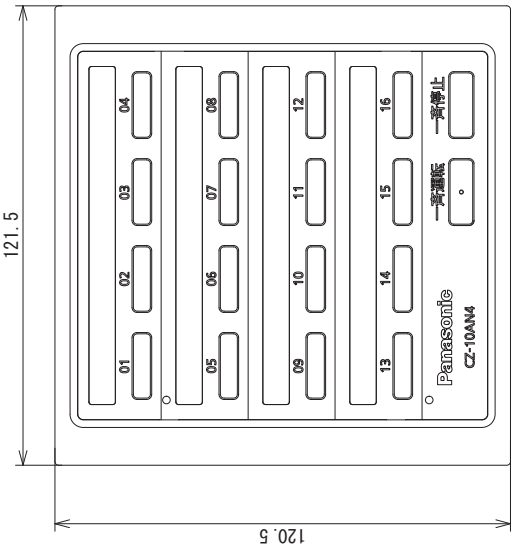
システムコントローラー PLUS ／ CZ-10ESM5…別売品　施工

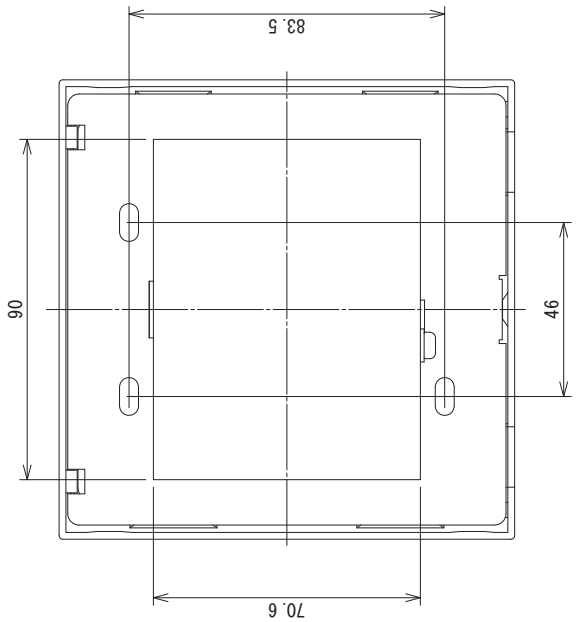
F1224-11224
WEB-ACXF55-40580-00

ON ／ OFF 集中コントローラー／ CZ-10AN4…別売品　機能と操作

外形寸法

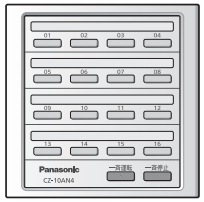






仕様

品番	CZ-10AN4
外形寸法	(高さ)120.5 mm × (幅) 121.5 mm (奥行き)14＋51.1 mm
質量	500 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃：20 %～80 % (屋内設置専用)
電源	単相AC　100 ～ 240 V　50／60 Hz
消費電力	最大4.0 W
接続可能台数	室内ユニット：最多16グループ(64台)



取扱説明書

ON/OFF集中コントローラー

品番 **CZ-10AN4**

据付（電気）工事説明書
別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、ON/OFF集中コントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書はON/OFF集中コントローラーの取扱説明書です。室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（下記）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とともに、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る
（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る
（水漏れや感電・火災の原因）

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
必ず守る
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
必ず守る
（感電や火災の原因）
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

ぬれた手で操作しない
禁止
（感電や故障の原因）

⚠ 注意

リモコンを分解しない
禁止
（感電や故障の原因）

水洗いしない
禁止
（感電・火災の原因）

使用上のお願い

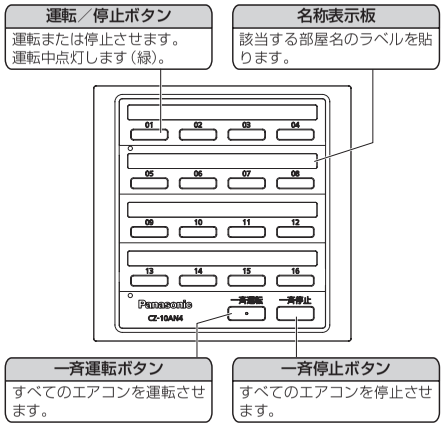
- 次のような場所に設置しない
  - 湿気・油分・振動が多い／直射日光があたる／熱源の近く／結露する（故障の原因）
  - ノイズが発生する（誤動作の原因）
- スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
  - 液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない（変色や故障の原因）
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

本機の特長

■ **接続台数** … 1台のON/OFF集中コントローラーに最多16グループ、64台の室内ユニットを接続可能
■ **操作機能** … 運転／停止（個別または一斉）
■ **順次始動** … 一斉運転の場合は1～2秒間隔で運転を開始

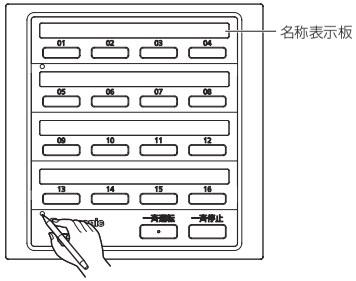
- 別売のスケジュールタイマーの接続により、週間プログラムの運転が可能です。

各部のなまえとはたらき



名称表示板の使いかた

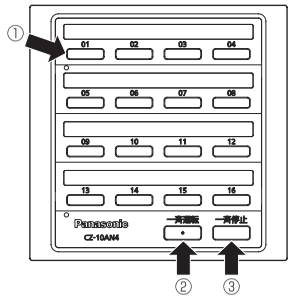
エアコンを運転したい部屋がわかり、エアコンの運転状態を動作表示ランプで確認できます。



① 透明カバー左の穴に先のとがったものを差し込んで透明カバーをはずしてください。

② 付属のスイッチ表示ラベルに、部屋名を油性ペン等で記入して、名称表示板に貼り付けてください。

ご使用方法



① **個別に室内ユニットを運転または停止をするとき**
対象の室内ユニットの運転／停止ボタンを押します。

② **1番から16番の室内ユニットを同時に運転するとき**
一斉運転ボタンを押します。
1番から1～2秒間隔で順番に運転を開始します。

③ **1番から16番の室内ユニットを同時に停止するとき**
一斉停止ボタンを押します。

- 本機は、運転モードの設定や温度の設定ができません。リモコンやシステムコントローラーなどから操作してください。

知っていただきたいこと

- **ON/OFF集中コントローラー操作後、30秒以内に手元リモコンから操作を行うと、リモコン操作内容の表示が遅延することがあります。**
- **本機のボタンが点滅している場合は以下についてご確認ください。**
  ① 1番から16番のボタンが全て高速点滅（0.2秒間隔）しているとき
  本機が室内ユニットを1台も認識していない状態です。
  ② 本機を操作後に15秒間高速点滅（0.2秒間隔）したとき
  点滅しているグループ番号の室内ユニットが操作を受けつけていない状態です。
  ③ ボタンが個別に低速点滅（1秒間隔）しているとき
  点滅しているグループ番号の室内ユニットが警報状態または通信ができない状態です。
  - 上記症状が続くようであれば、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕 様

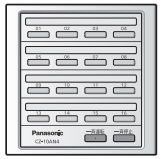
品　　番	CZ-10AN4
外形寸法	（高さ）120.5 ㎜ ×（幅）121.5 ㎜ （奥行き）14 + 51.1 ㎜
質　　量	500 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 % （屋内設置専用）
電　　源	単相AC100 - 240 V　50／60 Hz
消費電力	最大4.0 W
接続可能台数	室内ユニット：最多16グループ（64台）

Printed in Japan
F0117-40423
ACXF55-16614
85464609366010

据付（電気）工事説明書

ON/OFF集中コントローラー

品番 **CZ-10AN4**



●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、「取扱説明書」「スイッチ表示ラベル」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

- ❗ **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - **電気設備に関する技術基準　・内線規程**
  - **据付（電気）工事説明書**

  （感電、火災の原因）
- **漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける**（故障や、漏電時に感電、火災の原因）
- **電源は、必ず専用回路を使用する**（感電、火災の原因）
- ⏚ **アース工事（D 種接地工事）を行う**
  - **アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない**
  - **アース線は、ベランダの手すりにとらない**

  （感電の原因）

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**（発熱、火災の原因）
- ❗ **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**（製品の落下による、けがの原因）

本体を据え付けるときに

- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）

⚠注意

据付（電気）工事をする前に

- ⃠ **次のような場所で使わない**
  - **結露するところ**
  - **可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ**
  - **酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるとろ**
  - **有機溶剤の飛沫するところ**
  - **電磁波が出る機械のあるところ**
  - **電圧変動の多いところ**

  （感電、火災などの原因）
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

本体を据え付けるときに

- ⃠ **水洗いしない**（感電の原因）

Printed in Japan
W0117-70823
ACXF60-24706
85464369952010

仕様

品番	CZ-10AN4
外形寸法	(高さ) 120.5 mm × (幅) 121.5 mm (奥行き) 14 + 51.1 mm
質量	500 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 % （屋内設置専用）
電源	単相 AC100-240 V　50/60Hz
消費電力	最大4.0 W
接続可能台数	室内ユニット：最多16グループ（64台）

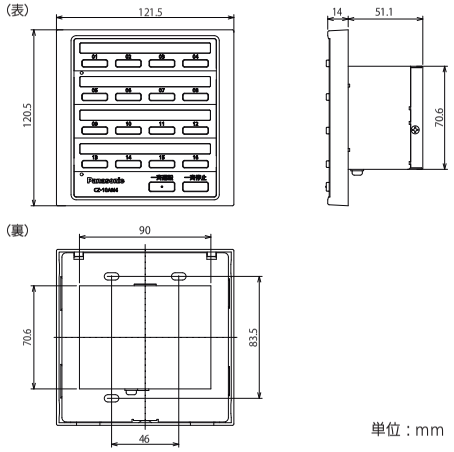
付属品

＜＞：個数

ネジ　＜2＞ M4 × 25 （埋込型JISボックス用）	取扱説明書　＜1＞ 据付(電気)工事説明書　＜1＞ スイッチ表示ラベル　＜1＞

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

外形寸法図



単位：mm

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
  - 過度な衝撃や振動のある場所（本機の取り付けネジが緩み、落下の原因）　・熱源の近くなど
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 複数並べて設置するときは、左右5mm、上下50mm以上離す。
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波が発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避けてください。（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離してください。（映像の乱れ、雑音の原因）
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）を据え付ける。
- 配線は、地中に埋設しない。

1 配線のしかた

■ 電源線

（「安全上のご注意」の内容をご確認ください。）

- ケーブルの種類
  - 使用基準：600 Vビニール電線（現地調達）
  - 柔軟性のある2mm²のケーブル（推奨）
- 電源端子
  - 端子ネジ　　：M4
  - 締め付けトルク：0.5 N・m（推奨値）

■ 室内外操作線

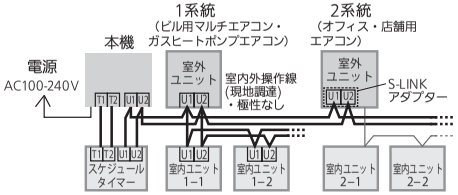
- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある2芯の0.5～2mm²のケーブルを必ず使用してください。
  - シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブル
  - 推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- 総配線長
  - 1000m以内
- 接続可能台数

室外ユニット	最多30台
室内ユニット	最多64台 *1
集中制御機器	最多10台 *2

*1：室内ユニットの台数には、ローカルアダプターの台数を含みます。
室外ユニット・室内ユニット・集中制御機器の合計は100台までです。
*2：ON/OFF集中コントローラーは1リンクに最多8台までです。

基本配線図

室内外操作線を下図のように接続してください。



- S-LINKアダプター・ローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付（電気）工事説明書」をあわせてご覧ください。

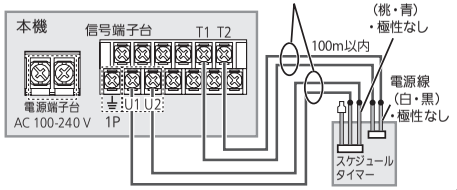
お願い

終端抵抗（プラグ）について

- 終端抵抗は室外ユニットまたはS-LINKアダプターに設定します。
- 接続する室外ユニットが1台の場合は1か所、複数台の場合は2か所を設定してください。

※室外ユニットまたはS-LINKアダプターなどに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

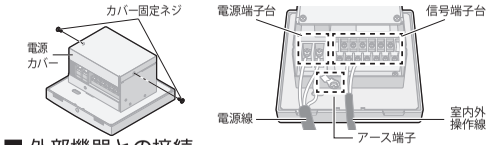
<スケジュールタイマーの接続>



1 配線のしかた（つづき）

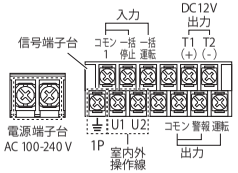
■ 配線の手順

① カバー固定ネジ2本をはずし、電源カバーを取りはずす。
② 電源線を電源端子台に接続し、アース線は、必ずアース端子に接続する。
③ 室内外操作線を信号端子台のU1、U2端子に接続する。
④ 外部機器と接続する。
●外部機器を接続するときは「外部機器との接続」を参照してください。
⑤ 別売のスケジュールタイマーを接続する。
●スケジュールタイマーを接続するときは、スケジュールタイマーに付属の「据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照してください。
⑥ 電源カバーを取り付け、カバー固定ネジ2本を取り付ける。



お知らせ
- 室内外操作線に、極性はありません。
- 室内外操作線にシールド線を使用する場合は、片側をアースとしてください。本機にアースを接続する場合は、信号端子台の1P（⏚）へ接続してください。

お願い
- 電源線を、信号端子台の端子に接続しないでください。（故障の原因）
- 室内外操作線を電源線などといっしょに合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）
- 配線を接続する際には、本機に傷が付かないようにご注意ください。



■ 外部機器との接続

入出力項目	ON/OFF集中コントローラー側 条件	端子名	設備側 切分端子	回路例	条件
状態出力	無電圧a接点 スタティック（リレー出力） 接点許容電圧：最大DC30 V 接点許容電流：最大0.5 A 最小適用負荷：DC5 V 1 mA	出力 運転 警報 コモン		デジタル入力	配線長 100 m 以内 ケーブル太さ 0.5 mm²～2mm²

入出力項目	ON/OFF集中コントローラー側 条件	端子名	設備側 切分端子	回路例	条件
制御入力	一括運転：有電圧DC24 V 入力 パルス 一括停止：有電圧DC24 V 入力 （一括停止入力がONの間は、定期的に停止信号を送信します） 入力許容電圧：DC24 V±10 % 入力許容電流：最大10 mA	入力 一括運転 一括停止 コモン1		DC24 V COM	パルス幅 300 msec 以上 配線長 100 m 以内 ケーブル太さ 0.5 mm²～2mm²

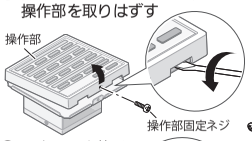
2 据え付ける

- 下ケースを取り付けるとき（手順2）ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。（操作部の取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。（下ケースの変形による、落下の原因）

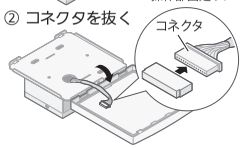
お願い
- 先に本機に接続した配線をJISボックス下の丸穴に通して、本機電源部に衝撃を与えないようにゆっくりと挿入してください。

❶ 準備する

① 操作部固定ネジをはずし、操作部を取りはずす

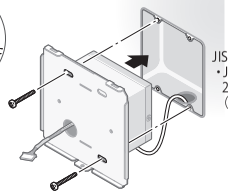


② コネクタを抜く



❷ JISボックスに据え付ける

① あらかじめ壁内に埋め込まれたJISボックス（現地調達）に本機を挿入する

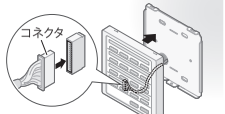


② 下ケース（電源部付）をJISボックスに据え付ける（ネジ（付属））

❸ コネクタを接続し、操作部を取り付ける

- 「3 設定スイッチについて」を参照し、ディップスイッチ（DIPSW1）を設定してから、下記の手順に従って取り付けてください。

① コネクタを接続する



② 上側から操作部を取り付ける
・基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

③ 操作部固定ネジを取り付ける



3 設定スイッチについて



※出荷時設定は以下のとおりになっております。
OFF：SW1・2・3・4・8
ON ：SW5・6・7

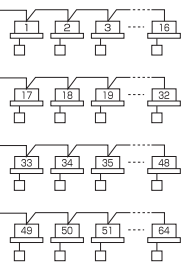
[SW1・2] ゾーンアドレス設定

操作するグループ（集中制御アドレス）に合わせてゾーン1から4を選択してください。
- 1ゾーンだけで使用の場合は、ゾーン1に設定します。
- 複数のゾーンで使用する場合、1台のON/OFF集中コントローラーは、必ずゾーン1に設定してください。

[SW3] ON/OFF集中コントローラー親子設定 （親：OFF 子：ON）

① 1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを1台設置する場合は親（OFF）で使用してください。
② 1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを2台設置する場合は1台を親（OFF）、もう1台を子（ON）にしてください。
- 本機は各ゾーン毎に親子合わせて2台まで接続できます。

設定スイッチについて（SW1・2・3）	ON/OFF集中コントローラー親子 親（SW3 OFF）	子（SW3 ON）
ゾーン1 グループ1～16 SW1：OFF SW2：OFF	OFF OFF OFF	OFF OFF ON
ゾーン2 グループ17～32 SW1：ON SW2：OFF	ON OFF OFF	ON OFF ON
ゾーン3 グループ33～48 SW1：OFF SW2：ON	OFF ON OFF	OFF ON ON
ゾーン4 グループ49～64 SW1：ON SW2：ON	ON ON OFF	ON ON ON



3 設定スイッチについて（つづき）

[SW4] 集中制御親子設定 （親：OFF 子：ON）

① ON/OFF集中コントローラー1台のみで使用する場合は親（OFF）で使用してください。
② インテリジェントコントローラー、システムコントローラー等の他の集中制御機器と併用する場合は本機を子（ON）にすることを推奨します。
ただし「[SW5・6・7] 手元禁止設定」を使用する場合は親（OFF）にしてください。
③ ②以外で1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを2台設置する場合は1台を親（OFF）、もう1台を子（ON）にしてください。

[SW5・6・7] 手元禁止設定

手元禁止に設定されたグループは、リモコンからの手元操作（運転/停止）が禁止されます。
「[SW4] 集中制御親子設定」が親（OFF）のときに使用できます。
※手元操作を許可したい場合は、SW5・6・7をOFFにしてください。

[SW8] 一斉運転/一斉停止対象設定

「一斉運転」「一斉停止」ボタンを押したときに運転/停止する対象を設定します。
①「[SW1・2] ゾーンアドレス設定」で選択したゾーン全てのグループを対象にする場合はOFFで使用してください。
② 手元禁止されているグループのみ対象とする場合はONで使用してください。

設定スイッチについて（SW5・6・7）	
グループ 1～16：手元許可	OFF OFF OFF
グループ 1～16：手元禁止	ON OFF OFF
グループ 1～4：手元許可 グループ 5～16：手元禁止	OFF ON OFF
グループ 1～8：手元許可 グループ 9～16：手元禁止	ON ON OFF
グループ 1～12：手元許可 グループ 13～16：手元禁止	OFF OFF ON
手元禁止設定無効	ON ON ON

4 試運転する

（準備）室内ユニットおよび室外ユニットの「据付（電気）工事説明書」を参照し、事前に室内ユニットおよび室外ユニットの試運転をしてください。

① 本機の電源を入れてください。
（本機の16番ボタンが点滅し、室内ユニットの接続グループを自動的に確認します。）

② 本機の「一斉運転」ボタンを押し、ボタンの点灯を確認してください。
（1秒間隔で本機のボタン番号の順に運転します。）
接続されているグループと本機のボタンの点灯数が一致していることを確認してください。

※一致していない場合は、「[SW1・2] ゾーンアドレス設定」および「5 集中制御アドレス設定」をご覧になり、設定を確認してください。
※ローカルアダプターなどを接続する場合は、集中制御アドレスを設定してください。

- **本機のボタンが点滅している場合は以下についてご確認ください。**

(1) 1番から16番のボタンが全て高速点滅（0.2秒間隔）しているとき
本機が室内ユニットを1台も認識していない状態です。
・室内ユニットの電源が入っているか確認してください。
・集中制御アドレスが正しく設定されているか確認してください。
・室内外操作線がどこかで短絡または断線していないか確認してください。

(2) 本機を操作後に15秒間高速点滅（0.2秒間隔）したとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが操作を受けつけていない状態です。
・室内ユニットの電源が入っているか確認してください。
・集中制御アドレスが正しく設定されているか確認してください。
・室内外操作線がどこかで短絡または断線していないか確認してください。

(3) ボタンが個別に低速点滅（1秒間隔）しているとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが警報状態または通信ができない状態です。
・室内ユニットの動作または室内外操作線を確認してください。
・室内ユニットおよび室外ユニットの「据付（電気）工事説明書」を参照し、試運転をしてください。

- **本機、操作後は30秒以上経過してから、手元リモコン等から操作を行ってください。**

5 集中制御アドレス設定

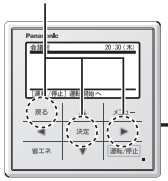
※室内ユニットおよび室外ユニットの試運転を終了してから集中制御アドレスを設定してください。
- 本機に集中制御アドレス設定機能はありません。
- 集中制御アドレス設定が可能な集中制御機器（システムコントローラー、インテリジェントコントローラー等）と併用する場合は、集中制御機器から集中制御アドレス設定をしてください。
（集中制御機器に付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。）
- 上記以外の場合はワイヤードリモコンを用いてグループ毎に設定します。
下記の手順に従って集中制御アドレスを設定してください。
設定終了後、本機の電源を入れなおしてください。

ワイヤードリモコン（CZ-10RT3、CZ-10RT3Aなど）から設定する

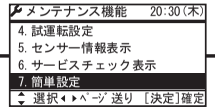
① [点検]ボタンと[換気]ボタンを同時に4秒以上押し続けます。
ユニット選択ボタンは押さないでください。
② 温度設定「▲」、「▼」ボタンで項目コード03を選択します。
③ タイマー時間「▲」、「▼」ボタンで集中制御アドレスを設定します。
④ [セット]ボタンを押す。（「設定中」が点滅から点灯に変わる。）
⑤ [点検]ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了する。
（通常の停止状態になる。）

多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT4Bなど）から設定する

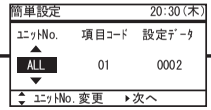
❶ 3つのボタンを同時に4秒以上押す

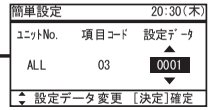


❷ 簡単設定を選ぶ
▲▼→[決定]



❸ 設定する
ユニットNo.は初期位置から変更しない。
項目コード03を選択します。
設定データを変更し、集中制御アドレスを設定します。
ユニットNo.選択位置で［戻る］を押して設定を終了します。





インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　仕様

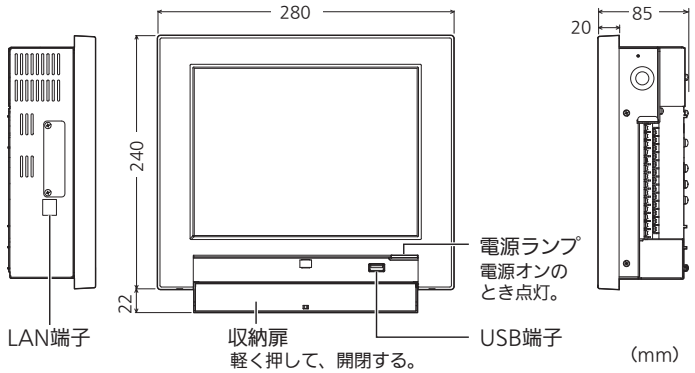
仕様

品番		CZ-10EST4B
外形寸法		(高さ) 240 mm ×(幅)280 mm (奥行き) 20 + 65 mm
質量		2.7 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～ 40 ℃・20%～ 80%(屋内設置専用)
定格電圧・周波数		単相 AC100 － 240V ～ 50/60 Hz
消費電力		最大20 W
時計	月差	±30秒／月(常温25 ℃)　※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日(常温25 ℃・満充電時)　※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数 *1		下記の合計台数が100台まで ・室内ユニット：64台まで*2　・室外ユニット：30台まで　・集中制御機器：10台まで

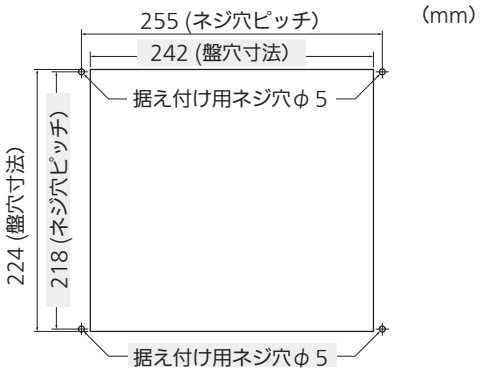
*1：最大接続可能台数は次の通りです。(最大2リンク接続可能)
- 本機のみ：室内ユニット128台、室外ユニット60台
- 通信アダプター接続時：室内ユニット256台、室外ユニット120台

*2：熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。
※接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

外形寸法図



取付け穴寸法



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

本機の特長

本機は、小・中規模向けのPAC(オフィス・店舗用エアコン、ビル用マルチエアコン)、GHP(ガスヒートポンプエアコン)専用の空調機集中管理システムです。

- 本機1台で室内ユニット128台(64台×2系統)、室外ユニット60台(30台×2系統)まで接続し、制御できます。
- 通信アダプターを接続すれば、室内ユニットを最大256台、室外ユニットを最大120台まで接続できます。
- 10.4インチTFTカラー（1024×768ドット)タッチパネル式液晶ディスプレイを採用していますので、誰でも簡単に操作することができます。

監視・操作　P.23

すべての室内ユニット、室外ユニットの運転状況(運転/停止、運転モード、警報など)をリアルタイムで確認することができます。
また、室内ユニットを選んで設定を変更することもできます。



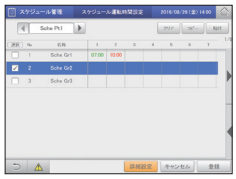
レイアウト機能　P.46

「レイアウト」画面で、室内ユニットの設置場所や状態を把握し視覚的な操作が可能です。
室内ユニットの検索、フィルター機能、レイアウトの拡大もできます。



稼働スケジュール　P.50

室内ユニットの1日の稼働スケジュール(運転/停止時間、運転モード、設定温度など)を個別あるいはグループで登録することができます。
稼働スケジュールは2年先まで登録できます。



空調エネルギー按分　P.81

室内ユニットの累計運転時間、室外ユニットのエンジン運転時間、運転回転数を一覧で確認できます。(積算値)
これらのデータをもとに、室内ユニット単位あるいはエリア単位で電気・ガスの空調消費按分率・使用量(kWh、m^3)を算出し、一覧で確認できます。



もくじ

本機の特長 …… 2
もくじ …… 3
機能早見表 …… 4
安全上のご注意 …… 5
使用上のお願い …… 6
据え付け上のご注意 …… 6
システム構成 …… 7
用語の説明 …… 8
省エネ機能について …… 9
エコナビ機能について …… 11

設定前の準備　12
各部のなまえ …… 13
本機の操作について …… 14
メニュー一覧 …… 18
初期設定 …… 20
暗証番号(パスワード)入力について …… 22

空調機の操作、状態を確認する　23
室内ユニットの設定状態を確認する …… 24
室内ユニットの操作をする …… 26
室内ユニットの稼働状態を確認する …… 28
室外ユニットの稼働状態を確認する …… 33
熱交換気ユニットの設定を確認する …… 36
現在発生している警報や点検を確認する …… 39
室内ユニットを室内機アイコンで確認する …… 43
室内ユニットをレイアウトで確認する …… 46

スケジュールを設定する　50
スケジュール設定の流れ …… 51
スケジュールを設定する …… 54
スケジュールをカレンダーに割り当てる …… 60
スケジュールの予定/実績を確認する …… 64
一時的にスケジュールを変更・追加する …… 66

警報および操作状態変化履歴を確認する　68
警報履歴一覧を確認する …… 69
操作状態変化履歴一覧を確認する …… 71

積算値を確認する　74
室内ユニットの積算値を一覧で確認する …… 75
室外ユニットの積算値を一覧で確認する …… 77
パルスメーターの積算値を一覧で確認する …… 79

按分データを確認する　81
按分データを一覧で確認する …… 82

省エネ設定をする　86
設定温度に自動で戻す【設定温度自動リターン設定】 …… 87
再運転を自動停止する【消し忘れ・運転自動停止設定】 …… 90
設定温度の範囲を制限する【設定温度範囲制限設定】 …… 93
時間帯で運転量を制御する
【タイマー省エネ設定】/【効率運転設定】 …… 95
室外ユニットの騒音を抑える【室外静音モード設定】 …… 97
デマンド接点入力を登録する【デマンド接点登録】 …… 99
・デマンド接点登録後の設定内容
室内ユニットのデマンド設定を行う【室内デマンド設定】 … 100
室外ユニットのデマンド設定を行う【室外デマンド設定】 … 103
消費電力/ガス量を抑制する
【室外時間帯デマンド設定】/【ピークカット設定】 …… 105
一定間隔で運転を制御する【室内サイクリック制御設定】 … 108
一定間隔で運転を制御する【室外サイクリック制御設定】 … 112

データをグラフ表示する　115
グラフ表示機能について …… 116
運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する …… 119
温度変化をグラフ化する …… 123
項目を自由に設定する …… 126

ネットワーク経由で本機の遠隔操作を行う　132
ネットワーク設定を行う …… 133
Webユーザー設定を行う …… 135
遠隔操作を行う …… 138

データのバックアップ/復元を行う　139
データのバックアップを行う …… 140
データの復元を行う …… 142
レイアウトのバックアップを行う …… 144
レイアウトの復元を行う …… 145
設定をCSVファイルとして出力する …… 147
設定をCSVファイルとして入力する …… 149
自動生成ファイルを保存する …… 151

システム設定を行う　153
室内ユニットの基本設定を行う …… 154
室外ユニットの基本設定を行う …… 158
按分計算の基本設定を行う …… 161
スケジュールグループの名称を変更する …… 164
エリアグループの名称を変更する …… 166
按分グループの名称を変更する …… 168
パルスメーターの基本設定を行う …… 171
按分方法を設定する …… 173
電気/ガス料金の単価を設定する …… 174
空調機を連動的に制御する …… 175
送信メールの設定を行う …… 181
通信アダプターを登録する …… 183
レイアウト/アイコンの設定を行う …… 185

メンテナンス設定を行う　186
本機の画面表示、音量を設定する …… 187
本機のサービス連絡先を登録する …… 188
ソフトウェアをアップデートする …… 189
初期化・ログレベルを設定する …… 190
日時を設定する …… 192
試運転を行う …… 193
空調機との通信設定を行う …… 196
ユニットからの警報を無視する …… 199
冷媒安全対策装置の回路検査状態を確認する …… 199
冷媒安全対策装置の回路検査を行う …… 201
冷媒安全対策装置の点検履歴を確認する …… 203

付録　206
数字・文字列入力について …… 207
外部信号の接続 …… 209
按分計算方法 …… 210
知っていただきたいこと …… 214
システムの構成を確定する …… 218
故障かなと思ったときは …… 219
商標文および免責文について …… 220
仕様 …… 221

機能早見表

おもな機能のみ掲載しています。

エアコンの操作について

やりたいこと	タイトル	ページ
室内ユニットの操作をしたい	室内ユニットの操作をする	26
運転モードを変更したい	室内ユニットの操作をする	26
設定温度を変更したい	室内ユニットの操作をする	26
フィルターサインをリセットしたい	室内ユニットの設定状態を確認する	25
風向、風速を変更したい	室内ユニットの操作をする	26
リモコン操作を禁止したい	室内ユニットの操作をする	26

運転状態の確認について

やりたいこと	タイトル	ページ
管理している室内ユニットの稼働状況を確認したい	室内ユニットの稼働状態を確認する	28
現在発生中の警報や点検を確認したい	現在発生している警報や点検を確認する	39
警報の履歴を確認したい	警報履歴一覧を確認する	69
現在や過去の積算時間を確認したい	室内ユニットの積算値を一覧で確認する	75
現在や過去の按分率を確認したい	按分データを一覧で確認する	82
室内ユニットの稼働状態を「室内機アイコン」画面で確認したい	室内ユニットを室内機アイコンで確認する	43
室内ユニットの稼働状態を「レイアウト」画面で確認したい	室内ユニットをレイアウトで確認する	46

設定について

やりたいこと	タイトル	ページ
室内ユニットの名称を変更したい	室内ユニットの基本設定を行う	154
エリアグループの名称を変更したい	エリアグループの名称を変更する	166
日付や時刻を調整したい	日時を設定する	192
スケジュールを決めて室内ユニットを運転したい	スケジュールを設定する	50
画面の明るさを調整したい	本機の画面表示、音量を設定する	187
ブザー音を調整したい	本機の画面表示、音量を設定する	187

その他

やりたいこと	タイトル	ページ
USBメモリーにデータ(設定値、積算値、按分データなど)をバックアップしたい	データのバックアップを行う	140
運転時間、温度変化などをグラフに表示したい	データをグラフ表示する	115

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容(禁止事項)です。	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る（水漏れや感電・火災の原因）

ぬれた手で操作しない
禁止（感電や故障の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
必ず守る（感電や火災の原因）

異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠注意

分解しない
禁止（感電や故障の原因）

水洗いしない
禁止（感電・火災の原因）

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

使用上のお願い

- 次のような場所に設置しない
  - 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
  - 温泉地区、硫化ガスの発生するところ
  - 電圧変動の大きいところ
  - 有機溶剤の飛散するところ
  - 海浜地区等、塩分の多いところ
  - 水や油(機械油含む)の飛散や蒸気の多いところ
  - 電磁波を発生する機械のあるところ
- スプレーを吹きかけない
  （誤動作や故障の原因）
  - 液体(洗剤、アルコール、有機溶剤など)
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない
  （変色や故障の原因）
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。
- 強い衝動を与えない
  （故障の原因）
- コントローラーの近くで暖房器具を使用しない
  （変形・変色の原因）
- 固いものやとがったものを使用しない
  （傷や故障の原因）
- タッチパネルをたたいたり、強く押したりしない
  （故障の原因）
- リモコンレスの室内ユニットが導入されている接続系統に集中機器としてインテリジェントコントローラーを使用する場合は、システムコントローラーなどと複数設置する
- インテリジェントコントローラー起動時、「初期通信中」というメッセージ表示中は、インテリジェントコントローラーの電源を切らない
  （内部データ破損の原因）

据え付け上のご注意

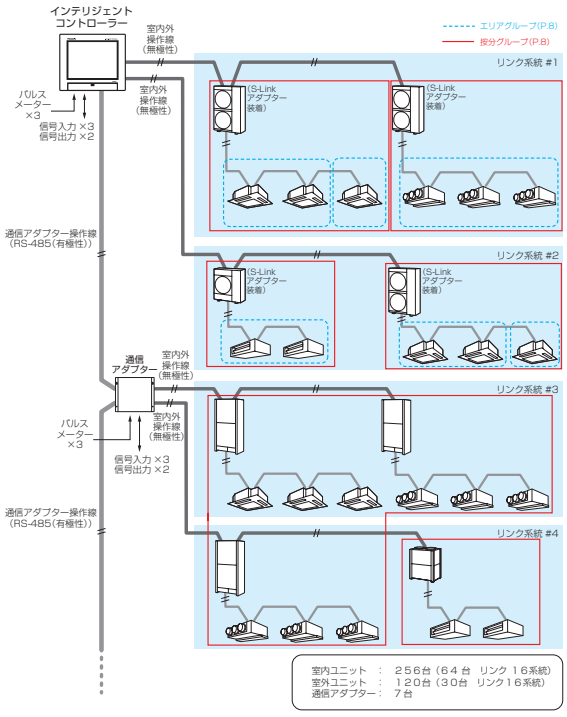
- 本機が冷媒漏えいの警報を発報し、その連絡を受けた管理者は、警報が発報したことをお買い上げの販売店またはご相談窓口に連絡し、冷媒漏えいの点検・修理を依頼してください。また、警報が発報した場合の本機器の操作はP.39を参照してください。
  （故障の原因）
- 本機器を冷媒漏えい警報器として使う場合は、1年に1回以上の定期点検が必要です。点検時期が来ましたら、速やかにお買い上げの販売店またはご相談窓口にご連絡ください。
  （誤動作の原因）
- 本機器を冷媒漏えい警報器として使う場合は、ブザー音量の設定を「消音」に設定しないでください。
- 次のような場所に設置しないでください。
  - 湿気・油分・振動が多い/直射日光があたる/熱源の近く/結露する（故障の原因）
  - ノイズが発生する（誤動作の原因）
- 本機器を覆ったり、すぐ前に物を置いたりしないでください。
  （冷媒の漏えいを検知したとき、警報音が聞こえなくなる原因）

【設備施工業者の方、管理者の方へ】

- 本製品は、冷媒漏えいを検知したことを警報音などでお知らせします。本製品の設置場所により、空調設備の管理者が冷媒漏えいを把握できない場合には、管理者が冷媒漏えいを把握可能なシステムを別途用意してください。管理者が冷媒漏えいを把握可能なシステムとは、遠隔監視システムまたは使用者から管理者へ連絡する体制でも構いません。使用者から管理者へ連絡する体制を採用する場合は、冷媒漏えい検知警報器の近くに管理者の連絡先を必ず表示などしてください。
- 冷媒漏えい対策で安全装置（冷媒漏えい検知警報器、安全しゃ断弁、機械換気装置）を設置している場合、その保守点検/交換方法は対象の据付（電気）工事説明書または交換手順書をご覧ください。
- 冷媒漏えい対策で安全装置（冷媒漏えい検知警報器、安全しゃ断弁、機械換気装置）を設置している場合、異常・故障時や短時間のお手入れ時以外は電源を切らないでください。（電源を切ると機器が作動せず、冷媒漏れが発報できません）
- 警報音発報の発見者は、ただちに管理者へ連絡することを、周知してください。

システム構成

システムの構成例は以下のとおりです。



用語の説明

本書で使用している用語について説明します。

用語	説明
アダプターアドレス	1台の通信アダプター（別売）に割り当てられたアドレスです。パルスメーターの接続先が通信アダプターの場合、このアダプターアドレスを使用します。 設定 No.0：本機(設定済み) No.1 ～ 7：通信アダプターで設定
リンク系統アドレス	1つの室内外操作線に接続された室内/室外ユニットの集まりです。 本機および通信アダプター（別売）では、2つのリンク系統が接続できます。 設定 No.1 ～ 2(固定)
室外ユニット系統アドレス	ある室外ユニットとその冷媒配管で接続された室内ユニットの集まりです。 1リンク系統内に最大30の室外ユニット系統を構成できます。 室外ユニットを複数台連結し1つの冷媒系統にまとめても、台数は個別の室外ユニット単位でカウントします。 設定 No.1 ～ 30：リンク系統ごとに室外ユニット側で設定
室内ユニットアドレス	ある室外ユニット系統で、室内ユニットに割り当てられる固有の番号です。 グループ制御の場合も各室内ユニットに割り当てられます。 設定 No.1 ～ 64：室外ユニット系統ごとに室内ユニット側で設定
集中制御アドレス	リンク系統内で固有の値であり、他の集中コントローラー（システムコントローラー、マルチコントローラーなど）で共通に使用されます。 グループ制御の場合、グループに属する室内ユニットはすべて同じアドレスになります。 本書および本機では表記を「集中アドレス」と略しています。 設定 No.1 ～ 64：リンク系統ごとに本機および他の集中コントローラー側で設定
ユニット名	グループ制御の場合、同じ名称になります。操作/監視/スケジュールの最小単位です。 設定 本機で設定
按分グループ	按分グループは、複数(または単一)のエリアから構成され、パルスメーターの測定範囲と一致し、按分率合計が100%になる集まりです。システム全体で最大256グループまで設定できます。 時間按分の場合、1つの按分グループでPAC、GHPを混在させることはできません。 負荷按分の場合、PAC、GHPを混在させることができます。 設定 No.1 ～ 256：本機で設定
エリアグループ	エリアグループは、按分計算(または操作/監視)上の1つの集まりで、複数(または単一)の室内ユニットで構成されます。システム全体で最大256グループまで設定できます。 設定 No.1 ～ 256：本機で設定
制御グループ	制御グループは、複数(または単一)の室内ユニットまたは室外ユニットで構成され、サイクリック制御設定で同一の制御を行います。室内ユニットで最大10グループ、室外ユニットで最大5グループまで設定できます。
スケジュールグループ	スケジュールグループは、256件まで設定できます。

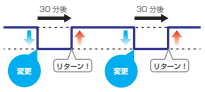
省エネ機能について

空調の無駄を無くし、空調機を交換しなくても省エネを実現します。

e-CUT機能

設定温度自動リターン設定

温度を変えても決めた時間がたったら、
設定した温度に自動で戻したいときに。(P.87)



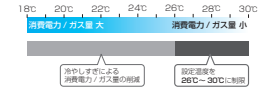
消し忘れ・運転自動停止設定

スケジュール外に運転させても
一定時間ごとに検知して自動で止めたいときに。(P.90)



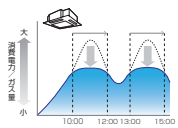
設定温度範囲制限設定

設定できる温度の範囲を
制限したいときに。(P.93)



タイマー省エネ設定/効率運転設定※1

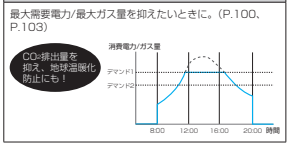
時間帯を指定して
運転量を抑えたい
ときに。(P.95)



デマンド機能

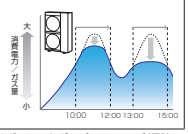
デマンド設定(室内ユニット・室外ユニット)

最大需要電力/最大ガス量を抑えたいときに。(P.100、P.103)



室外時間帯デマンド設定/ピークカット設定※2

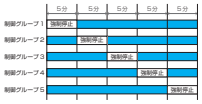
時間帯を指定して
室外ユニットの運
転量を抑えたいと
きに。(P.105)



※1「効率運転設定」はガスヒートポンプエアコンご利用時の設定名です。
※2「ピークカット設定」はガスヒートポンプエアコンご利用時の設定名です。

室内・室外サイクリック制御設定

一定間隔で繰り返し、室内・室外ユニットの運転量を
抑えたいときに。(P.108、P.112)



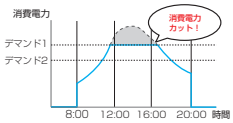
お知らせ

- 機種によっては、これらの機能に対応していない場合もあります。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

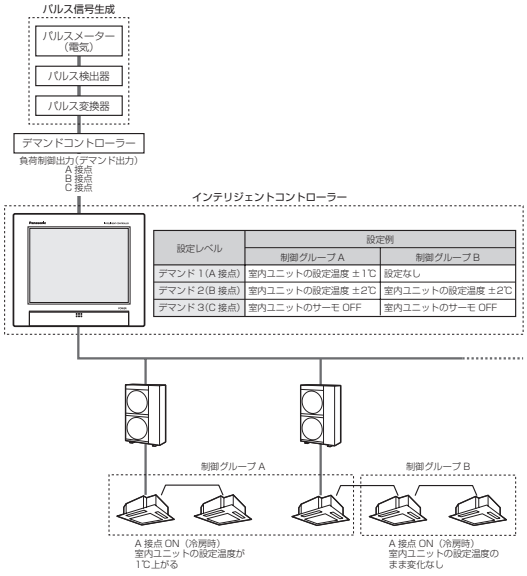
デマンド制御について

「デマンド」とは「需要電力」(30分間の平均電力)を指します。
電気の基本料金は、デマンドの最大値(最大需要電力)によって決定されます。空調負荷のかかる夏期や冬期には、この最大需要電力が発生します。電力コスト削減のポイントは、こうした時期の最大需要電力を抑止することにあります。(電力会社との契約によっては異なる場合があります)
さらに、最大需要電力の抑止により、二酸化炭素排出量を減少させることで地球温暖化防止にもつながります。



空調機の消費電力が契約電力を超えないように常に監視し、下図のような設定レベル(デマンド1 ～ 3)に基づいて空調機の能力を制御して省エネを行うことがデマンド制御です。
本機では、外部接続機器(デマンドコントローラー)から発信される負荷制御出力(デマンド出力)によって空調機を自動制御し、最大需要電力を抑止します。

デマンド制御について(室内デマンド設定の場合)



設定レベル	設定例	
	制御グループ A	制御グループ B
デマンド 1 (A 接点)	室内ユニットの設定温度 ±1℃	設定なし
デマンド 2 (B 接点)	室内ユニットの設定温度 ±2℃	室内ユニットの設定温度 ±2℃
デマンド 3 (C 接点)	室内ユニットのサーモ OFF	室内ユニットのサーモ OFF

エコナビ機能について

エコナビセンサー（別売）で計測した人の活動量に応じて、室内ユニットが省エネ運転を行います。

人の活動量が多い場合



- 冷房・ドライ時
  設定温度で運転します。
- 暖房時
  設定温度より温度を低くして運転します。

人の活動量が少ない場合



- 冷房・ドライ時
  設定温度より温度を高くして運転します。
- 暖房時
  設定温度で運転します。

人が不在の場合



不在が約20分継続したとき
- 冷房・ドライ時
  人の在室時より、温度を高くして運転します。
- 暖房時
  人の在室時より、温度を低くして運転します。

不在が約1時間継続したとき
- 指定した不在運転モードで運転します。出荷設定は、設定温度を抑制した省エネ運転のまま継続します。(不在運転モードについては、エコナビセンサーの取扱説明書をご覧ください)
- 不在運転モード中に人を検知した場合、人の活動量に応じた運転状態に戻ります。

⚠ 警告　必ずする
体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
(体調の悪化・健康障害の原因)
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

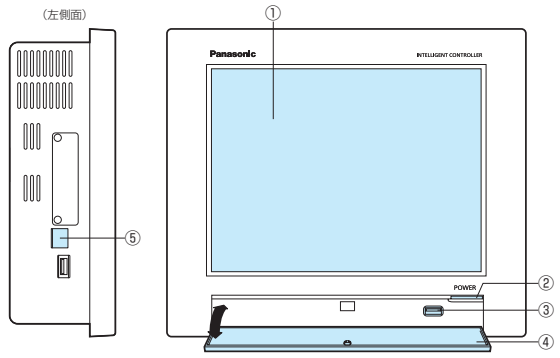
お知らせ
- エコナビ機能のオン/オフは本機で設定できます。
- エコナビ機能の詳細設定を行うには別途エコナビ機能に対応したリモコン※が必要です。詳細設定方法については、エコナビ機能対応リモコン※の取扱説明書をご確認ください。
- エコナビ機能によって目標温度が変更されても、本機に表示される設定温度は変化しません。
- 不在運転(スタンバイモード)により送風運転に切り換わっても、本機に表示される運転モードは変化しません。
- 室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。

※ 多機能ワイヤードリモコン(CZ-10RT4A以降)

設定前の準備

本章では、本機の各部のなまえとはたらき、基本的な使いかたなどについて説明します。

各部のなまえ



(イラストは収納扉が開いた状態です)

名前	説明
① タッチパネル付カラー液晶ディスプレイ	画面上を指でタッチすることで操作することができます。
② 電源ランプ	電源をオンにすると点灯します。
③ USB端子	本機の各データ(設定、積算・按分)をバックアップするためにUSBメモリーを抜き差しします。
④ 収納扉	USB端子にUSBメモリーを抜き差しするとき、開閉します。 開くときは、収納扉を軽く押し込み、前に倒します。 閉じるときは、収納扉を持ち上げ、軽く押し込みます。
⑤ LAN端子	ケーブルでネットワークに接続します。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

本機の操作について

本機はメニューに従って操作を行います。
操作画面はいずれも共通仕様になっており、見やすく、使いやすい画面構成になっています。

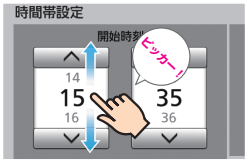
タッチパネルの基本操作

タッチパネル上で行う基本的な操作について説明します。

タッチ
タッチパネルに表示されるボタンやテキストボックスなどに指で軽く触れる操作です。



ピッカー
スピンボックスなどで、タッチパネルに触れた指を上下に移動させて設定する操作です。



スワイプ
タッチパネルに触れた指を一定方向(上下)に滑らせる操作です。
画面をゆっくりとスクロールする場合に使用します。



フリック
タッチパネルに触れた指を一定方向(上下)にはらう操作です。
画面をすばやくスクロールする場合に使用します。



ボタン・ボックスについて

タッチパネルで操作・設定を行うために、画面上にはさまざまなボタンやボックスがあります。

ボタン

おもに画面の切り換え、設定の保存、設定のオン/オフ切り換え、項目の選択などに使用します。

表示例	状態	説明
エリア単位	設定オフ	設定されていない状態です。
エリア単位	設定オン	設定されている状態です。
エリア単位	設定不可	条件により設定できない状態です。

表示例	状態	説明
運転停止　停止　未選択 認証方式　LOGIN　CRAM-MD5	選択	反転表示されている項目が選択されています。
運転停止　停止　未選択	選択不可	条件により選択できない状態です。

チェックボックス

項目の選択や機能のオン/オフ切り換えに使用します。

表示例	状態	説明
自動停止機能 ☐ 有効	未選択	選択されていない状態です。
自動停止機能 ☑ 有効	選択	選択されている状態です。(この表示例の場合、自動停止機能が作動します) タッチするとチェックが入ります。再度タッチするとチェックが消えます。

スピンボックス

項目の表示切り換えや時間などの数値設定に使用します。

表示例	説明
制御グループ 1~5　◀ グループ 2 ▶	▶ で次の項目を表示します。◀ で前の項目を表示します。 次のように、項目が循環表示する場合もあります。 グループ1 ⟷ グループ2 ⟷ … ⟷ グループ5
09 : 00	△ で数値を昇方向に送ります。▽ で数値を降方向に送ります。 タッチしたままにすると、連続して数値を送ります。 次のように数値は循環表示されます。 例)「時」の場合 「(空白)」⟷「00」⟷「01」⟷ … ⟷「23」

ボタン・ボックスについて(つづき)

テキストボックス

テキスト編集に使用します。

表示例	説明
IPアドレス　XXX.XXX.XXX.XXX	テキストボックスをタッチすると、ソフトキーボードが表示されます。 文字列の入力はソフトキーボードを使って行います。 文字列の入力方法については、「数字・文字列入力について」(P.207)を参照してください。

ダイアログ

画面上に表示される、おもに設定を行う画面です。
設定を登録すると、自動的に閉じられます。
設定をせずにダイアログを閉じる場合は、⊗ をタッチします。
(画面右上の ⊗ をタッチして登録する場合もあります)



本書の表記について

本書では、メニュー名、画面名などを以下のように表記しています。

種類	表記	表記例
トップメニュー 画面名 画面の表示項目	「○○」	「状態監視」 「室内機基本」画面 「選択」欄、「運転/停止」
サブメニュー名 画面メニュー名 ボタン名	[○○]	[監視/操作] [室内機基本] [操作]

画面の見かた

操作・設定画面には共通した項目とアイコンが表示されています。
各項目とアイコンについて説明します。



名前	説明
A　サブメニュー名	サブメニュー名を表示します。
B　操作／設定画面名	操作／設定画面の名称です。
C　日時	現在の日時を表示します。
D　「ホーム」アイコン	タッチすると、トップメニュー (P.18)が表示されます。
E　スクロールボタン	画面右側の ▶ をタッチすると、右側にスクロールします。◀ をタッチすると、左側にスクロールします。(スクロールできる方向によって表示が変わります。)
F　「戻る」アイコン	タッチすると、ひとつ前のメニューに戻ります。
G　「警告」アイコン	タッチすると、「発生中警報一覧」画面が表示されます。(→「現在発生している警報や点検を確認する (P.39))

自動リフレッシュ機能について

まれに、画面表示がリセット、またはトップメニューに戻りますが、自動リフレッシュ機能が働いたもので、故障ではありません。



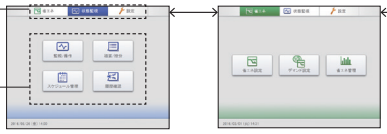
メニューに戻ったときに表示されます。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

メニュー一覧

1 トップメニューを選ぶ
●「省エネ」「状態監視」「設定」のタブをタッチします。

2 サブメニューを選ぶ



状態監視　（接続されたユニットの状態を確認します）

サブメニュー	画面メニュー	概要	ページ
監視・操作	室内機基本	室内ユニットの稼働状況を一覧で確認します	24
	室内機詳細	室内ユニットの詳細情報（運転回数など）を一覧で確認します	28
	熱交換気ユニット	熱交換気ユニットの設定を一覧で確認します	36
	室外機情報	室外ユニットの詳細情報（外気温度など）を一覧で確認します	33
	発生中警報一覧	現在、警報が発生しているユニット、警報内容、発生日時を一覧で確認します	39
	室内機アイコン	室内ユニットの稼働状況を室内機のアイコンで確認します	43
	レイアウト	室内ユニットの稼働状況を建物のレイアウト図面で確認します	46
スケジュール管理	スケジュール予定/実績	登録したスケジュールの予定と実績を一覧で確認します	64
	運転日モード設定	1日のスケジュールをカレンダーに割り当てます	60
	スケジュール運転時間設定	1日のスケジュールを登録します	54
	スケジュール変更	登録したスケジュール（当日～4日後の5日間のみ）を変更します	66
履歴確認	警報履歴	システム内で発生した警報履歴を一覧で確認します	69
	操作状態変化履歴	各室内ユニットの操作履歴を一覧で確認します	71
積算・按分	室内機積算	室内ユニットの積算データを一覧で確認します	75
	室外機積算	室外ユニットの積算データを一覧で確認します	77
	パルスカウント積算	パルスメーターの積算データを一覧で確認します	79
	按分データ	按分集計の詳細情報を一覧で確認します	82

省エネ　（省エネに関する設定を行います）

サブメニュー	画面メニュー	概要	ページ
省エネ設定	★設定温度自動リターン設定	はじめに設定しておいた温度を変更しても、一定時間が過ぎると自動的に設定温度が戻ります	87
	★消し忘れ・運転自動停止設定	設定した時刻に室内ユニットが自動停止したあと、再運転した場合でも一定間隔で自動停止を繰り返します	90
	★設定温度範囲制限設定	温度の上限・下限を設定し、設定できる温度の範囲を制限します	93
	★タイマー省エネ設定/効率運転設定※	時間帯を指定して運転量を抑えます	95
	★室外静音モード設定	時間を設定して夜間の室外ユニットの運転音を昼間よりも抑えます	97
デマンド設定	★デマンド接点登録	デマンドコントローラーと本体との接点（A接点、B接点、C接点）を登録します	99
	★室内デマンド設定	室内ユニットを自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします	100
	★室外デマンド設定	室外ユニットを自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします	103
	★室内サイクリック制御設定	指定の周期（3分/4分/5分）で、順次各制御グループの室内ユニットにサーモOFF/復帰を繰り返します	108
	★室外サイクリック制御設定	10分間隔で、順次各制御グループの室外ユニットにサーモOFF/復帰を繰り返します	112
	★室外時間帯デマンド設定/ピークカット設定※	設定した時間帯に室外ユニットの消費電力/ガス量を抑えます	105
省エネ管理	棒グラフ	エネルギー（電気、ガス）の使用量などを棒グラフで表示します	119
	折れ線グラフ	温度変化などを折れ線グラフで表示します	123

※ ガスヒートポンプエアコンご利用の場合

設定　（各設定を行います）

サブメニュー	画面メニュー	概要	ページ
システム設定	★按分カレンダー設定	按分計算の特定日、締め日、各曜日の按分計算の対象時間帯（時間内範囲）を設定します	161
	☆室内ユニット設定	室内ユニットアドレス、所属グループなどの設定を行います	154
	☆室外ユニット設定	室外ユニット（アドレスなど）の設定を行います	158
	★スケジュールグループ名称設定	スケジュールのグループ名を編集します	164
	★エリアグループ名称設定	エリアグループのグループ名を編集します	166
	★按分グループ名称設定	按分グループのグループ名を編集します	168
	☆パルスメーター設定	パルスメーターと按分グループの割り当てを行います	171
	★按分方式設定	料金計算を行うときの按分方式を設定します	173
	★料金計算設定	電気料金およびガス料金の単価を設定します	174
	★イベント制御	機器の入力条件と出力条件を設定して連動的な制御を行います	175
	☆ネットワーク設定	ネットワーク経由で遠隔操作するための設定を行います	133
	☆メール設定	メール送信サーバーを設定します	181
	☆Webユーザー設定	ネットワーク経由で本機にアクセスできるユーザーを登録します	135
	☆通信アダプター設定	本機に接続されている通信アダプターを登録します	183
	☆レイアウト登録	サービス担当者専用画面です	－
	★レイアウト/アイコン設定	レイアウトと室内機アイコンの表示項目を設定します	185
	☆構成の確認※	システム構成が変わったときに登録されている構成を変更します	218
バックアップ/CSV出力	★バックアップ	各データ（設定、積算/按分、履歴）をUSBメモリーに保存します	140
	★復元	本機内あるいはUSBメモリーにバックアップしたデータを復元します	142
	★レイアウトバックアップ	レイアウトのデータをUSBメモリーに保存します	144
	★レイアウト復元	USBメモリーにバックアップしたレイアウトのデータを復元します	145
	★CSV出力	本機の設定をCSV形式でエクスポート（出力）します	147
	★CSV入力	本機の設定をCSV形式でインポート（入力）します	149
	★自動CSV保存	本機内に自動生成されたCSVファイル（按分、履歴）を保存します	151
本体メンテナンス	★表示・音量設定※	本機画面の明暗調整やブザー音の調整を行います	187
	★本体表示	本機のサービス連絡先（電話番号）を登録します	188
	★ソフトウェアアップデート※	本機のソフトウェアのアップデートを行います	189
	☆初期化※	本機の設定を初期化します 初期化を行うと、すべてのデータを失うことになります。 絶対に初期化を行わないでください。	190
	★日時設定	日時を手動で設定します	192
	オープンソースライセンス	フリーソフトウェアライセンスを表示します	－
空調機メンテナンス	☆試運転	本機設置後、室内ユニットの試運転を行います	193
	☆空調機との通信設定	本機－空調機間の通信方式などを設定します	196
	★保守登録	メンテナンス対象となるユニットを登録します	198
	☆冷媒安全対策装置確認	冷媒安全対策装置の回路検査状態を確認します	199

※ネットワーク経由での設定・操作はできません。

★☆印付きの画面メニューは、選んだときに暗証番号（パスワード）を入力する必要があります。
★はレベル1以上、☆はレベル2の暗証番号入力を示します。
詳しくは、「暗証番号（パスワード）入力について」(P.22)をご覧ください。

初期設定

本機の設置直後、初期設定はシステムを正常に動作させるために必要な設定項目です。
運用形態に応じ、以下のフローに従って設定を行うと、本機を正常に動作させることができます。

○：設定が必要です。　△：場合によっては設定が必要です。　×：設定は必要ありません。

手順	カテゴリステップ	設定	画面メニュー名	参照ページ	運用形態				
					空調操作のみ	按分率表示のみ		使用量・料金表示	
						時間	負荷	時間	負荷
1	日時設定	現在日時の設定	日時設定	192	○	○	○	○	○
2	構成読み込み	接続構成の確定	構成の確認	218	○	○	○	○	○
3	ユニット関連	集中アドレス※1	室内ユニット設定	154	○	○	○	○	○
		ユニット名	室内ユニット設定	154	○	○	○	○	○
		按分グループ	室内ユニット設定	154	×	○	○	○	○
		エリアグループ	室内ユニット設定	154	△※2	○	○	○	○
		制御グループ	室内ユニット設定	154	△	△	△	△	△
		操作対象外、管理対象外	室内ユニット設定	154	△	△	△	△	△
		室外ユニット名	室外ユニット設定	158	△	△	△	△	△
		リモコン禁止	空調機との通信設定	196	△	△	△	△	△
4	グループ関連	エリアグループ名称	エリアグループ名称設定	166	△※2	○	○	○	○
		按分グループ名称	按分グループ名称設定	168	×	○	○	○	○
		スケジュールグループ名称	スケジュールグループ名称設定	164	△	△	△	△	△
5	パルスメーター関連	按分グループとの関連付け	パルスメーター設定	171	×	×	×	○	○
		メーターの種類（電気/ガス）乗率（パルス単位量）	パルスメーター設定	171	×	×	×	○	○
		パルスメーター名	パルスメーター設定	171	×	×	×	△	△
6	按分関連	按分方法（時間/負荷）	按分方式設定	173	×	○	○	○	○
		電力按分計算対象※3	按分方式設定	173	×	○	○	○	○
		省エネ分振り分け設定	按分方式設定	173	×	×	△※4	×	△※4
		発電用ガス按分関連	按分方式設定	173	×	×	×	△※5	△※5
		締め日の設定	按分カレンダー設定	161	△※6	○	○	○	○
		時間内範囲の設定	按分カレンダー設定	161	×	△	△	△	△
		特定日の設定	按分カレンダー設定	161	×	△	△	△	△
		電気/ガス料金単価※7	料金計算設定	174	×	×	×	△	△
		室内ユニット能力の設定※8	室内ユニット設定	154	×	△	×	△	×
		電気ヒーター容量の設定※9	室内ユニット設定	154	×	×	△	×	△

※1 システムコントローラーやマルチコントローラーなどと併用する場合の管理区分に注意する必要があります。
※2 エリア管理を行う場合は設定が必要です。
※3 電力按分の計算対象は以下から選んでください。

運転時間	室内ユニットの電力を考慮する場合に選びます。室外ユニット、室内ユニット両方の電力を本機に取り込んで按分します。
サーモON時間	室内ユニットの電力を考慮しない場合に選びます。室外ユニットの電力のみを本機に取り込んで按分します。

※4 空調機に冷暖フリー機種や氷蓄熱機種を含む場合のみ設定が必要です。
※5 発電機能付きGHPの場合のみ設定が必要です。
※6 運転積算時間だけを管理する場合は設定が必要です。
※7 料金表示をする場合は必ず設定してください。
※8 ローカルアダプター に対してのみ設定が必要です。（→「ローカルアダプター（別売）について」(P.217)）
※9 負荷按分時の計算に使用されます。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

暗証番号(パスワード)入力について

本機をご使用の場合

「メニュー一覧」(P.18、P.19)で、★☆印の付いている画面メニューは、セキュリティ上、ご使用するために暗証番号を入力する必要があります。

① 画面メニューをタッチすると、暗証番号入力画面が表示されます。



② 暗証番号を入力します。
- 所有する暗証番号のレベルによっては、画面メニューに入れない場合があります。

ブラウザをご使用の場合

ユーザーレベルによって、表示されない画面メニューがあります。
アクセス方法については、「遠隔操作を行う」(P.138)をご覧ください。
アクセス後にも画面メニューによっては暗証番号を入力する必要があります。
暗証番号の入力については、上記「本機をご使用の場合」をご覧ください。

空調機の操作、状態を確認する



本章では、空調機(室内ユニット、室外ユニット)の設定状態の確認方法について説明します。

本機は、室内ユニットの操作や確認、室内ユニットまたは室外ユニットの稼働状態を確認したりすることができます。
また、システム内で発生している警報を一覧で確認することもできます。

画面メニュー	概要	ページ
室内機基本	室内ユニットの稼働状況を一覧で確認します	24
室内機詳細	室内ユニットの詳細情報(運転回数など)を一覧で確認します	28
熱交換気ユニット	熱交換気ユニットの設定を一覧で確認します	36
室外機情報	室外ユニットの詳細情報(外気温度など)を一覧で確認します	33
発生中警報一覧	現在、警報や点検が発生しているユニット、警報や点検の内容、発生日時を一覧で確認します	39
室内機アイコン	室内ユニットの稼働状況を室内機のアイコンで確認します	43
レイアウト	室内ユニットの稼働状況を建物のレイアウト図面で確認します	46

室内ユニットの設定状態を確認する

本機に接続されているすべての室内ユニットの設定状態を一覧で確認できます。表示をエリアごとに切り換えることもできます

お知らせ
- 本設定の前に、表示するエリアの登録と、そのエリアに室内ユニットを登録する必要があります。「エリアグループの名称を変更する」(P.166～167)を行った後、「室内ユニットの基本設定を行う」(P.154～157)を行ってから、本設定を行ってください。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室内機基本]をタッチする

●「室内機基本」画面が表示されます。



3 設定状態を確認する(P.25)



お知らせ
- 室内ユニットを選んで設定を変更することができます。(→「室内ユニットの操作をする」(P.26))

表示するエリアを選ぶ

1 [エリア表示]をタッチする

●「エリア選択」ダイアログが表示されます。

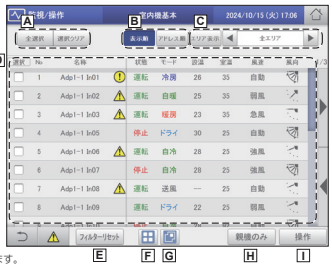


2 表示するエリアを選ぶ

●エリアグループ(P.166)を9以上登録している場合は、スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。
●「エリア選択」ダイアログが閉じられ、選んだエリアの設定状態が一覧表示されます。



「室内機基本」画面



A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。

C：一覧に表示するエリアを選びます。
◀ ▶ をタッチすると、エリアが切り換わります。[エリア表示]をタッチすると、「エリア選択」ダイアログが表示されます。(→「表示するエリアを選ぶ」(P.24))
(「全エリア」→「エリア1」→「エリア2」→…→「エリアXXX※」→「全エリア」)
※"XXX"は登録されているエリアの最終番号を示します。

D：室内ユニットの設定状態を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。
- 項目名をタッチするたびに昇順(▲)、降順(▼)に並べ替えることができます。
- 機種によっては表示されない項目もあります。

項目	説明
[選択]	操作する室内ユニットにチェックを入れます。
名称	室内ユニットの名称を表示します。 名前の右にアイコンが表示されているときは、何らかの事態が発生していることを示しています。(警報表示) ：室内ユニットのフィルター清掃が必要　：警報発生　：点検発生　：保守登録中
状態	現在の動作状態(運転/停止)を表示します。(P.26)
モード	現在の運転モード(暖房/ドライ/冷房/送風/冷暖自動)を表示します。(P.26)
設温	現在の設定温度を表示します。(P.27)
室温	現在の室内温度を表示します。
風速	現在の風速(急風/強風/弱風/風速自動)を表示します。(P.27)
風向	現在の風向を表示します。(P.27)
禁止	リモコン操作の「許可」「禁止1」～「禁止4」を表示します。(P.27)
スケジュール	スケジュールの設定状態(有/無/停止)を表示します。 有：スケジュールを設定している状態を示します。 無：スケジュールを設定していない状態を示します。 停止：スケジュールは設定していますが、室内ユニットの電源を切っているなどスケジュールが起動していない状態を示します。
省エネ	省エネ設定を実行しているときは「●」を表示します。(P.27)
エコナビ	エコナビ設定を実行しているときは「ECONAVI」を表示します。(エコナビ機能搭載機種のみ)(P.27)
e-CUT	e-CUT機能を実行しているときは「●」を表示します。

E：フィルターの清掃終了後、タッチしてフィルターのアイコン表示を解除します。
F：タッチすると、「室内機アイコン」画面に切り換わります。
G：タッチすると、「レイアウト」画面に切り換わります。
H：タッチすると、親機のみ表示します。
I：Dで選んだ室内ユニットの「設定変更」ダイアログを表示します。
「設定変更」画面では、選んだ室内ユニットの設定を変更できます。(→「室内ユニットの操作をする」(P.26))
- 室内ユニットの機種によって設定できる項目が異なる場合があります。
- 複数のユニットを選んだ場合は、共通する設定項目が「設定変更」ダイアログに表示されます。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

室内ユニットの操作をする

室内ユニットを選んで運転/停止や設定温度などの操作ができます。操作は「設定変更」ダイアログで行います。
複数の室内ユニットを選んで同じ設定で運転することもできます。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室内機基本]をタッチする

●「室内機基本」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●設定を変更する室内ユニットを選びます。
●[全選択]をタッチすると、一括で操作できます。



4 [操作]をタッチする

●「設定変更」ダイアログが表示されます。



お知らせ
- 「設定変更」ダイアログは、室内ユニットの機種によって設定できる項目が異なる場合があります。
- 複数のユニットを選んだ場合は、共通する設定項目が「設定変更」ダイアログに表示されます。

5 操作内容を選ぶ



共通表示部　操作表示部

共通表示部から設定項目を選び、操作表示部で操作を設定します。

項目	説明
運転/停止	運転の開始/停止を設定します。 1) [運転/停止]をタッチします。 2) 「運転」「停止」を選びます。
運転モード※	運転モードを設定します。 1) [運転モード]をタッチします。 2) 運転モード(暖房)、(ドライ)、(冷房)、(送風)、(冷暖自動)を選びます。

※一括でモードを切り替えるときは、いったん全停止してからモードを切り替えて数分間待ち、その後運転してください。

次ページに続く

項目	説明
設定温度	温度を設定します。 1) [設定温度]をタッチします。 2) で温度を設定します。(±1℃単位) <設定できる範囲> • 冷房、ドライ：18℃～30℃ • 暖房：16℃～30℃※1 • 冷暖自動：17℃～27℃ ※1一部の機種の上限温度は26℃です。
風速	風の強さを設定します。 1) [風速]をタッチします。 2) 風速((急風)、(強風)、(弱風)、(風速自動))を選びます。
風向※2	風の向きを設定します。 1) [風向]をタッチします。 2) お好みの位置((F1)、(F2)、(F3)、(F4)、(F5)、(スイング))にフラップを設定します。 スイング中に をタッチすると、お好みの位置でフラップを止められます。 • 暖房・送風・冷暖自動(暖房)時は5段階、冷房・ドライ時は3段階の調整になります。 • 風向設定できない機種の場合は「スイング」「停止」のみになります。
手元禁止※3	手元リモコンの許可/禁止を設定します。 1) [手元禁止]をタッチします。 2) で「許可」「禁止1」～「禁止4」を選びます。 許可：リモコンでの操作を許可します。 禁止1～4：リモコンでの操作を制限します。禁止内容は変更できます。(→P.197)
省エネ	省エネ運転の有効/無効を設定します。 1) [省エネ]をタッチします。 2) 「有効」「無効」を選びます。
ECONAVI	エコナビ設定の有効/無効を設定します。 1) をタッチします。 2) 「有効」「無効」を選びます。

※2 インテリジェントコントローラーに表示している風向は、実際の角度とは異なります。
※3 リモコン使用の禁止・許可(出荷設定)

	運転/停止	運転モード	設定温度	風速	風向	省エネ
許可	○	○	○	○	○	○
禁止1	×	○	○	○	○	○
禁止2	×	×	×	○	○	○
禁止3	○	×	×	○	○	○
禁止4	○	×	○	○	○	○

○：リモコンで設定・操作できる
×：リモコンで設定・操作できない

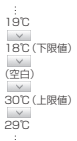
6 [送信]をタッチする

●操作内容を室内ユニットに送ります。
●設定の変更が登録され、「設定変更」ダイアログが閉じられます。
●操作を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
- 設定温度の上限値(あるいは下限値)で (あるいは)をタッチすると、設定値は空白(設定なし)になります。設定をしないときは空白にします。
さらに、(あるいは)をタッチすると、下限値(あるいは上限値)が表示されます。

例) 上限値30℃、下限値18℃(冷房)の場合



室内ユニットの稼働状態を確認する

室内ユニットの稼働状態(フィルター残時間、運転回数など)を一覧で確認できます。
換気システムやデマンド制御の設定(ON/OFFのみ)を変更することもできます。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室内機詳細]をタッチする

●「室内機詳細」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する(P.29)



お知らせ
- 室内ユニットを選んで換気出力の設定を変更することができます。(→「換気出力の設定を変更する」(P.30))
- 室内ユニットを選んでデマンド制御の設定を変更することができます。(→「デマンド制御の設定を変更する」(P.31))

「室内機詳細」画面

A：[全選択]/[選択クリア]ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。
表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。



C：室内ユニットの詳細を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
[選択]	換気設定あるいはデマンド設定をするユニットにチェックを入れます。
名称	室内ユニットの名称を表示します。 名称は変更できます。(→「室内ユニット設定」(P.154))
フィルター残時間	が表示されるまでの目安時間を表示します。 グループ制御の子機は、「- -」表示になります。 対応室内ユニットのみ表示します。
運転回数	運転回数を表示します。
デマンド	デマンド制御の設定状態を表示します。デマンド制御を設定しているときは「ON」と表示されます。(→「室内ユニットのデマンド設定を行う」(P.100))
サーモ	サーモスタットの作動状況を表示します。サーモスタットが作動しているときは「ON」と表示されます。
ファン	ファンの実際の風量(5速(急)/4速/3速(強)/2速/1速(弱)/微風/停止)を表示します。
吸込温度	現在の吸込温度を表示します。
吹出温度	現在の吹出温度を表示します。
換気出力	換気出力の設定(ON/OFF)を表示します。

D：換気出力の設定を変更します。
タッチすると、「換気設定」ダイアログが表示されます。(→「換気出力の設定を変更する」(P.30))

運転(ON)	換気出力の運転を開始します。
停止(OFF)	換気出力の運転を停止します。

E：デマンド制御の設定を変更します。
タッチすると、「デマンド設定」ダイアログが表示されます。(→「デマンド制御の設定を変更する」(P.31))

設定(ON)	デマンド制御を設定します。
解除	デマンド制御を解除します。

F：表示されている室内機詳細をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

換気出力の設定を変更する

1 「選択」欄にチェックを入れる
- 設定を変更する室内ユニットを選びます。
- 室内ユニットは複数選ぶこともできます。



2 [換気設定]をタッチする
- 「換気設定」ダイアログが表示されます。



3 設定を変更する
- 設定が登録され、「換気設定」ダイアログが閉じられます。



デマンド制御の設定を変更する

デマンド制御の設定/解除を切り換えます。デマンド制御については、「室内ユニットのデマンド設定を行う」(P.100)を参照してください。

1 「選択」欄にチェックを入れる
- 設定を変更する室内ユニットを選びます。
- 室内ユニットは複数選ぶこともできます。



2 [デマンド設定]をタッチする
- 「デマンド設定」ダイアログが表示されます。

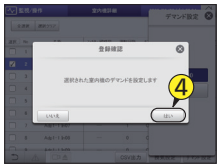


3 設定を変更する
- 確認のメッセージが表示されます。



お知らせ
- この設定は「室内デマンド設定」に連携しています。(→「室内ユニットのデマンド設定を行う」(P.100))

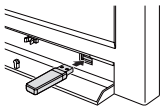
4 [はい]をタッチする
- 設定が登録されます。



CSVファイルとして出力(保存)する

下記の画面は、「室内機詳細」の画面です。
「室外機情報」、「室内機積算」、「室外機積算」、「パルスカウント積算」、「警報履歴」のCSVファイルの出力(保存)方法は、「室内機詳細」と同じです。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



2 [CSV出力]をタッチする
- 確認画面が表示されます。



3 [OK]をタッチする
- 現在表示されている内容がCSV形式でUSBメモリーに保存されます。
- 保存が終了すると、保存終了の確認メッセージが表示されます。

4 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする
- 「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。[OK]をタッチしたあとでUSBメモリーを取り外してください。
- USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



室外ユニットの稼働状態を確認する

室外ユニットの詳細情報(外気温度、デマンド設定状態など)を一覧で確認できます。
室外ユニットを選んでデマンド制御の設定(ON/OFFのみ)を変更することもできます。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室外機情報]をタッチする
- 「室外機情報」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する(P.34)



お知らせ
- 室外ユニットを選んでデマンド制御の設定を変更することができます。(→「デマンド制御の設定を変更する」(P.35))

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

「室外機情報」画面



A：［全選択］/［選択クリア］ボタン

［全選択］	すべての室内ユニットを選びます。
［選択クリア］	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：室外ユニットの詳細を一覧表示します。スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
［選択］	デマンド制御を設定するユニットにチェックを入れます。
名称	室外ユニットの名称を表示します。 名称は変更できます。（→「室外ユニットの基本設定を行う」(P.158)）
外気温度	外気温度を表示します。
デマンド	デマンド制御の現在の状態を表示します。 （→「室外ユニットのデマンド設定を行う」(P.103)）
蒸発温度	蒸発温度制御レベル（なし/Lv1/Lv2/Lv3）を表示します。
静音	室外静音モードの作動状況を表示します。オフィス・店舗用エアコンの場合、2015年製以降のS-LINKアダプター（CZ品番）でないと、対応しておりません。 （→「室外ユニットの騒音を抑える」(P.97)）
オイル交換後運転時間	オイル交換後の運転時間を表示します。 （ガスヒートポンプ使用時のみ）
オイル点検サイン	エンジンオイルの点検サインを表示します。 （ガスヒートポンプ使用時のみ） • サインが表示されている場合は、お買い上げの販売店またはサービス会社にオイル交換を依頼してください。
インバーター発電瞬時値（kW）	ソーラーリンクエクセルあるいはハイパワーエクセルのインバーター発電瞬時値の現在値を表示します。
ソーラー発電瞬時値（kW）	ソーラーリンクエクセルのソーラー発電瞬時値の現在値を表示します。

C：デマンドを変更します。
タッチすると、「デマンド運転範囲」ダイアログを表示します。
（→「デマンド制御の設定を変更する」(P.35)）

D：表示されている室外機情報をCSV形式で出力(保存)します。（→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32)）

デマンド制御の設定を変更する

1 「選択」欄にチェックを入れる

●設定を変更する室外ユニットを選びます。
●室外ユニットは複数選ぶこともできます。



2 ［デマンド設定］をタッチする

●「デマンド運転範囲」ダイアログが表示されます。



3 デマンド運転範囲を設定する



［設定無し］	デマンド運転の設定を解除します。
［強制停止］	デマンド運転を強制的に停止します。
［運転XX%］（デマンド値）	▲ ▼ で選んでいる室外ユニットで設定可能なデマンド値を選びます。 • 複数の室外ユニットを選んでいる場合は、共通するデマンド値が表示されます。

4 ［送信］をタッチする

●設定が変更され、「デマンド運転範囲」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。

熱交換気ユニットの設定を確認する

空調システムに組み込まれたすべての熱交換気ユニットの設定を一覧で確認できます。
熱交換気ユニットの設定を変更することもできます。

このシステムで使用できる熱交換気ユニットは以下のとおりです。
• 天井埋込形　MZD8シリーズ以降(マイコンタイプ)
• 天吊力セット形　MZB8シリーズ以降(マイコンタイプ)

1 「状態監視」の［監視/操作］をタッチする



お知らせ
●熱交換気ユニットを選んで設定を変更することができます。（→「設定を変更する(P.38)」）

2 ［熱交換気ユニット］をタッチする

●「熱交換気ユニット」画面が表示されます。



3 設定を確認する(P.37)



「熱交換気ユニット」画面



A：［全選択］/［選択クリア］ボタン

［全選択］	すべての熱交換気ユニットを選びます。
［選択クリア］	熱交換気ユニットの選択をすべて解除します。

B：熱交換気ユニットの詳細を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
［選択］	操作するユニットにチェックを入れます。 複数の熱交換気ユニットを同じ設定で操作する場合は、対象となるユニットにチェックを入れます。
名称	熱交換気ユニットの名称を表示します。 警報が発生している場合に ⚠ が表示されます。
フィルター	フィルター清掃が必要な場合に 🧹 が表示されます。
運転	現在の運転状況を表示します。
換気モード	現在の換気モード(自動換気/熱交換気/普通換気)を表示します。 自動換気：室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えます。 熱交換気：外気を室温に近づけて取り入れます。 普通換気：外気をそのまま取り入れます。
風量	現在の換気風量を表示します。
禁止	手元リモコンの設定を表示します。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
24時間換気	24時間換気を設定している場合は「○」、設定していない場合は「×」が表示されます。
ナイトパージ※	ナイトパージ機能を設定している場合は「○」、設定していない場合は「×」が表示されます。
室温	現在の室内温度を表示します。

※ エアコン停止後、室内の熱気を自動感知して排出すると同時に屋外の冷気を取り込んで外気冷房する機能です。

C：フィルター清掃後にタッチすると、🧹 がクリアされます。

D：選択した熱交換気ユニットの設定を変更します。（→「設定を変更する」(P.38)）

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

設定を変更する

1 「選択」欄にチェックを入れる

●設定を変更する熱交換気ユニットを選びます。
●チェックは複数入れることができます。複数選択した熱交換気ユニットは、すべて同じ設定で動作します。

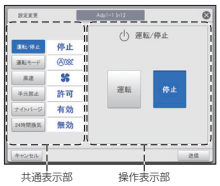


2 [操作]をタッチする

●「設定変更」ダイアログが表示されます。



3 各設定を行う



共通表示部から設定項目を選び、操作表示部で操作を設定します。

項目	説明
運転/停止	1）［運転/停止］をタッチします。 2）「運転」「停止」を選びます。
運転モード	1）［運転モード］をタッチします。 2）(普通換気)、(熱交換気)、(自動換気)を選びます。
風速	1）［風速］をタッチします。 2）(強風)、(弱風)を選びます。
手元禁止	1）［手元禁止］をタッチします。 2）「許可」「禁止1～4」を選びます。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
ナイトパージ	1）［ナイトパージ］をタッチします。 2）「有効」「無効」を選びます。
24時間換気	1）［24時間換気］をタッチします。 2）「有効」「無効」を選びます。

4 [送信]をタッチする

●設定が登録され、「設定変更」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



現在発生している警報や点検を確認する

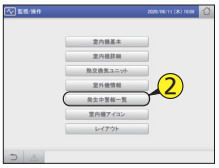
現在、空調システム内で警報や点検が発生している室内ユニット名称、警報コード、点検コード、発生/復旧日時を一覧で確認できます。警報や点検の一覧をCSV出力したり、警報や点検の履歴を確認したりすることもできます。

1 「状態監視」の［監視/操作］をタッチする



2 ［発生中警報一覧］をタッチする

●「発生中警報一覧」画面が表示されます。



3 発生中の警報や点検を確認する (P.40)



「発生中警報一覧」画面

A：警報発生通知のブザーを停止します。

B：条件(ユニット名称、期間)を設定して警報・点検を検索します(→「警報・点検を検索する」(P.41))

C：発生中の警報を表示します。通常は表示状態です。タッチすると、非表示状態になります。

D：発生中の点検を表示します。通常は表示状態です。タッチすると、非表示状態になります。

E：現在発生中の警報・点検を一覧表示します。スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
名称	現在警報・点検が発生しているユニット名が表示されます。
警報/点検コード	現在発生している警報や点検の内容が表示されます。
発生/復旧日時	警報・点検が発生した日時が表示されます。



F：表示されている警報・点検一覧をCSV形式で出力(保存)します。(→「警報・点検一覧をCSV形式で出力(保存)する」(P.42))

E：タッチすると、「警報履歴」画面が表示されます。(→「警報履歴一覧を確認する」(P.69))

お知らせ

●警報発生中は画面がブラックアウトしません。
●画面がブラックアウト中に警報が発生すると、画面が復帰し、ブザー音が鳴ります。(消音設定以外の場合)
●冷媒漏えいに関する警報が発生した場合は、ブザー音量を「消音」にしていてもブザー音が鳴ります。
●冷媒漏えいに関する警報が発生した場合は、保守登録中にしていても警報が表示され、ブザー音が鳴ります。
●冷媒漏えいに関する警報が発生した場合は、冷媒が漏れている恐れがありますので直ちに部屋の換起を行い、火気は使用せず配線用しゃ断器(ブレーカー)を切らずにお買い上げの販売店またはご相談窓口にご連絡ください。

警報・点検を検索する

1 [表示条件]をタッチする

●「表示条件」画面が表示されます。



2 条件を設定する



項目	説明
名称	検索対象となるユニット名称を一覧から選びます。
期間の設定	検索対象となる期間(最初、最後)をそれぞれ設定します。上が期間の最初、下が期間の最後になります。 ①[設定]をタッチする • 「日時設定」ダイアログが表示されます。 ②日時を設定する • ▲ ▼ で「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を設定します。 ③[OK]をタッチする • 設定が登録され、「日時設定」ダイアログが閉じられます。 • 設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。
［最新情報表示］	タッチすると、設定した期間がクリアされ、最新の100件が表示されます。

3 [表示]をタッチする

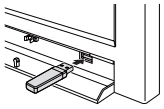
●表示条件に合致した警報・点検が一覧表示されます。
●検索を取り消すときは、［キャンセル］をタッチします。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

警報・点検一覧をCSV形式で出力(保存)する

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



2 [CSV出力]をタッチする

●確認画面が表示されます。



3 [OK]をタッチする

●現在表示されている警報・点検一覧がCSVファイルとしてUSBメモリーに出力(保存)されます。
●保存が終了すると、保存終了の確認メッセージが表示されます。
●CSVファイルは「icxi/csv/almlist」フォルダ内に出力(保存)されます。
(出力されるファイル名の一例)
al_20160518.csv

4 USBメモリーを取り外すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。[OK]をタッチしたあとでUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



室内ユニットを室内機アイコンで確認する

本機に接続されているすべての室内ユニットの設定状態を「室内機アイコン」画面で確認できます。表示をエリアごとに切り換えることもできます。

お知らせ
- 本設定の前に、表示するエリアの登録と、そのエリアに室内ユニットを登録する必要があります。「エリアグループの名称を変更する」(P.166 ～ 167)を行った後、「室内ユニットの基本設定を行う」(P.154 ～ 157)を行ってから、本設定を行ってください。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室内機アイコン]をタッチする

●「室内機アイコン」画面が表示されます。



3 設定状態を確認する(P.44)



お知らせ
- 室内ユニットを選んで設定を変更することができます。(→「室内ユニットの操作をする」(P.26手順5))

表示するエリアを選ぶ

1 [エリア選択]をタッチする

●「エリア選択」ダイアログが表示されます。



2 表示するエリアを選ぶ

●エリアグループ(P.166)を9以上登録している場合は、スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。
●「エリア選択」ダイアログが閉じられ、選んだエリアの設定状態が一覧表示されます。



「室内機アイコン」画面

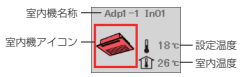


A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧に表示するエリアを選びます。
◀ ▶をタッチすると、エリアが切り換わります。[エリア選択]をタッチすると、「エリア選択」ダイアログが表示されます。(→「表示するエリアを選ぶ」(P.43))
([全エリア]→[エリア1]→[エリア2]→…→[エリアXXX※]→[全エリア])
※「XXX」は登録されているエリアの最終番号を示します。

C：室内ユニットの設定状態を室内機のアイコンで表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。
- 機種によっては表示されない項目もあります。



室内機アイコンをタッチすると赤枠で表示されます。複数のユニットを選ぶことができます。

室内機アイコン運転状態
運転状態を色で表示します。
凡例)

停止	暖房	送風	警報	点検
冷房	自動	ドライ	保守	

室内機アイコン一覧
使用しているユニットの形状を表示します。

1方向天井カセット形	2方向天井カセット形	4方向天井カセット形	天井ビルトインカセット型
ビルトインオールダクト型	天井埋込形高静圧	天井吊形	壁掛形
天吊形厨房用エアコン	ペリメーター用床置形	床置形	床置プレナム・ダクト形
壁ビルトイン型	直膨コイル付き外気処理ユニット	ローカルアダプター	全熱交換機

D：タッチすると、「室内機基本」画面に切り換わります。
E：タッチすると、「レイアウト」画面に切り換わります。
F：タッチすると、親機のみを表示します。
G：Cで選んだ室内ユニットの「設定変更」ダイアログを表示します。
「設定変更」画面では、選んだ室内ユニットの設定を変更できます。(→「室内ユニットの操作をする」(P.26手順5))
- 室内ユニットの機種によって設定できる項目が異なる場合があります。
- 複数のユニットを選んだ場合は、共通する設定項目が「設定変更」ダイアログに表示されます。

H：情報表示エリアに、全室内ユニットの稼働状況を表示します。
情報表示エリアのアイコンをタッチすると、同じ運転状態の室内機アイコンのみが表示されます。

情報表示項目

項目	表示	説明	項目	表示	説明	項目	表示	説明
警報/点検		警報/点検発生	風速		強風	手元禁止	許可	リモコン許可
保守		保守登録			弱風		禁止	リモコン禁止
運転状態		暖房			風速自動		禁止1	リモコン禁止1
		冷房	風向		F1		禁止2	リモコン禁止2
		送風			F2		禁止3	リモコン禁止3
		ドライ			F3		禁止4	リモコン禁止4
		冷暖自動			F4	スケジュール	スケジュール	当日スケジュール有効
		停止			F5	省エネ	省エネ	省エネ運転有効
設定温度	設温	設定温度			スイング	エコナビ	ECONAVI	エコナビ設定有効
室内温度	室温	室内温度			スイング停止	e-CUT	e-Cut	e-CUT機能設定有効
風速		急風						

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

室内ユニットをレイアウトで確認する

本機に接続されているすべてのユニットの設定状態を、レイアウト図面で確認できます。
表示をエリアごとに切り換えることもできます。

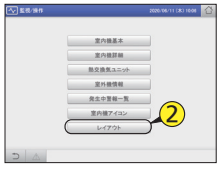
お知らせ
- 本設定の前に、表示するレイアウト図面の登録と、そのレイアウト図面に室内ユニットを登録する必要があります。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする

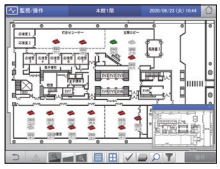


2 [レイアウト]をタッチする

●「レイアウト」画面が表示されます。



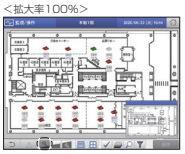
3 設定状態を確認する(P.47)



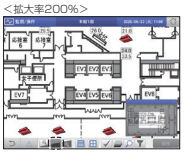
「レイアウト」画面

A：3段階の拡大率のボタンで、
画面の表示サイズが変更できます。

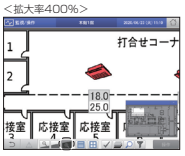
＜拡大率100%＞

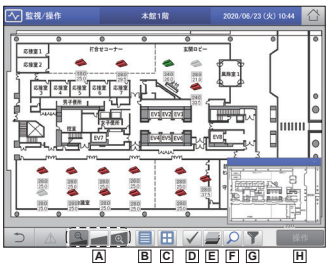


＜拡大率200%＞

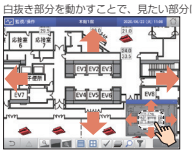


＜拡大率400%＞





白抜き部分を動かすことで、見たい部分に移動できます。



B：タッチすると、「室内機基本」画面に切り換わります。(P.24)

C：タッチすると、「室内機アイコン」画面に切り換わります。(P.43)

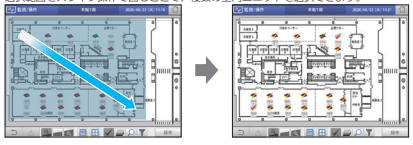
次ページに続く

「レイアウト」画面

D：室内ユニットの操作が可能になります。
- 操作したい室内ユニットをタッチすると、チェックが付き選択状態となります。複数選ぶこともできます。
- [操作]をタッチすると、「設定変更」ダイアログが表示され、選んだ室内ユニットの設定を変更できます。



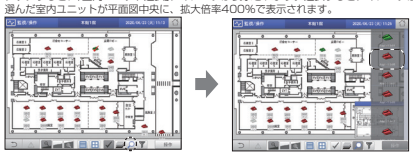
- 選択範囲をスワイプ操作で囲むことで、複数の室内ユニットを選択できます。



E：表示したいレイアウト図面を選びます。
- タッチすると、「レイアウト図面選択」ダイアログが表示されます。選択するとダイアログが消え、選んだ「レイアウト」画面が表示されます。



F：室内ユニットを検索します。
- タッチすると、「室内ユニット選択」ダイアログが表示されます。選択するとダイアログが消え、選んだ室内ユニットが平面図中央に、拡大倍率400%で表示されます。



次ページに続く

「レイアウト」画面

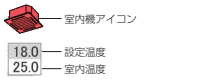
G：室内ユニットフィルタを設定します。
- 設定した条件に合致した室内ユニットだけが表示されます。



H：Dで選んだ室内ユニットの「設定変更」ダイアログを表示します。
「設定変更」画面では、選んだ室内ユニットの設定を変更できます。(→「室内ユニットの操作をする」(P.26))
- 室内ユニットの機種によって設定できる項目が異なる場合があります。
- 複数のユニットを選んだ場合は、共通する設定項目が「設定変更」ダイアログに表示されます。

室内機アイコン

「レイアウト」画面アイコン表示説明



室内機アイコン運転状態
運転状態を色で表示します。
凡例)

停止	暖房	送風	警報	点検
冷房	自動	ドライ	保守	

室内機アイコン一覧
使用しているユニットの形状を表示します。

1方向天井カセット形	2方向天井カセット形	4方向天井カセット形	天井ビルトインカセット型
ビルトインオールダクト型	天井埋込形高静圧	天井吊形	壁掛形
天吊形厨房用エアコン	ベリメーター用床置形	床置形	床置プレナム・ダクト形
壁ビルトイン型	直膨コイル付き外気処理ユニット	ローカルアダプター	全熱交換機

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

スケジュールを設定する



本章では、スケジュールの設定方法について説明します。

1日のスケジュールをパターンとして登録し、カレンダー上の日付に割り当てます。
室内ユニットはグループでも個別でも登録できます。

画面メニュー	概要	ページ
スケジュール予定/実績	登録したスケジュールの予定と実績を一覧で確認します	64
運転日モード設定	1日のスケジュールをカレンダーに割り当てます	60
スケジュール運転時間設定	1日のスケジュールを登録します	54
スケジュール変更	登録したスケジュール(当日～4日後の5日間のみ)を変更します	66

スケジュール設定の流れ

本システムでは、室内ユニットごとにスケジュールを設定し、自動的に稼働させることができます。

スケジュールは月単位で2年先まで設定することができます。

また、同じスケジュールで稼働する室内ユニットを"スケジュールグループ"として登録することもできます。

スケジュールは、以下のフローに従って設定します。

1 スケジュールを設定する

●「スケジュールを設定する」(P.54)

室内ユニットのスケジュールを登録します。
- スケジュール登録時、「運転日モード」を決めて設定を行います。運転日モードは全部で50種類登録できます。

「運転日モード」とは

室内ユニット(個別あるいはスケジュールグループ)のスケジュールパターンを「運転日モード」といいます。
運転日モードには、曜日、休日、祝日や季節などの違いによってスケジュールのパターンを変えて登録します。

運転日モードの設定例

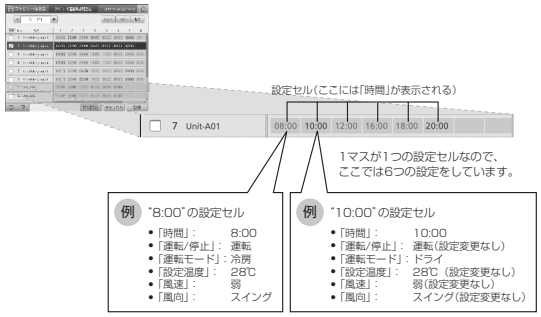
- 平日(月曜日～金曜日)の運転日モード(「モード1」)
- 土曜日の運転日モード(「モード2」)
- 日曜日の運転日モード(「モード3」)

※ スケジュールグループ:同じスケジュールで稼働する室内ユニットをグループ登録したものです。
スケジュールグループへの登録は「室内ユニットの基本設定を行う」(P.154)で行います。

「設定セル」とは

スケジュールを設定するには、操作を「設定セル」に登録する必要があります。「設定セル」はスケジュールを構成する操作の最小単位です。
「設定セル」には、「時間」「運転/停止」「運転モード」「設定温度」「風速」「風向」「手元リモコン」「省エネ設定」の設定を登録します。操作を変更するたび(たとえば、「運転」から「停止」に切り換えるなど)に、別の「設定セル」を登録します。
この「設定セル」を時系列に並べたものがスケジュールになります。

下記は、ある室内ユニットのスケジュール設定例です。

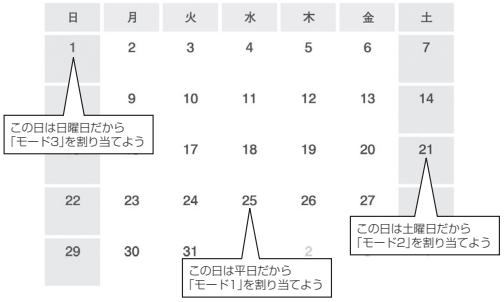


スケジュールの設定方法をまとめると、以下のようなフローになります。

①スケジュールを登録する運転日モードを選ぶ
↓
②室内ユニットあるいはスケジュールグループを選ぶ
↓
③スケジュールを設定する
↓
④設定を登録する

2 スケジュールをカレンダーの日付に割り当てる

●「スケジュールをカレンダーに割り当てる」(P.60)



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

スケジュールを設定する

室内ユニットあるいはスケジュールグループのスケジュールを「運転日モード」に登録します。

1 「状態監視」の［スケジュール管理］をタッチする



2 ［スケジュール運転時間設定］をタッチする

●「スケジュール運転時間設定」画面が表示されます。



3 ◀ ▶ で運転日モードを選ぶ



4 「選択」欄にチェックを入れる

●設定する室内ユニットまたはスケジュールグループを選びます。



5 ［詳細設定］をタッチする

●「スケジュール詳細設定」画面が表示されます。



お知らせ

- 熱交換気ユニットはスケジュール設定はできません。

次ページに続く

6 設定セルを登録する

●①～③を繰り返して設定セルを登録します。

① ［新規追加］をタッチする

●「編集」ダイアログが表示されます。
●「編集」ダイアログでは、「時間」「運転/停止」「運転モード」「温度設定」「風速」「風向」「手元リモコン」「省エネ」の設定を行います。



② 各設定を行う



項目	説明
時間	操作の設定時間を設定します。 1）［時間］をタッチします。 2）　で［時］［分］を設定します。
運転/停止	運転の開始/停止を設定します。 1）［運転/停止］をタッチします。 2）［運転］［停止］を選びます。
運転モード	運転モードを設定します。 1）［運転モード］をタッチします。 2）運転モード（暖房）、（ドライ）、（冷房）、（送風）、（冷風自動））を選びます。

項目	説明
温度設定	温度を設定します。 1）［温度設定］をタッチします。 2）　で温度を設定します。（±1℃単位） ＜設定できる範囲＞ • 冷房、ドライ：18℃～30℃ • 暖房：16℃～30℃※1 • 冷暖自動：17℃～27℃ ※1一部の機種の上限温度は26℃です。
風速	風の強さを設定します。 1）［風速］をタッチします。 2）風速（（急風）、（強風）、（弱風）、（風速自動））を選びます。
風向	風の向きを設定します。 1）［風向］をタッチします。 2）お好みの位置（(F1)）、（(F2)）、（(F3)）、（(F4)）、（(F5)）、（スイング））にフラップを設定します。 • 暖房・送風・冷暖自動（暖房）時は5段階、冷房・ドライ時は3段階の調整になります。 • 風向設定できない機種の場合は「スイング」「停止」のみになります。
手元禁止	手元リモコンの許可/禁止を設定します。 1）［手元禁止］をタッチします。 2）　で［許可］［禁止1］～［禁止4］を選びます。 許可：リモコンでの操作を許可します。 禁止1～4：リモコンでの操作を制限します。禁止内容は変更できます。（→P.197） ※熱交換気ユニットは［運転/停止］の手元禁止のみ利用可能です。
省エネ	省エネ運転の有効/無効を設定します。 1）［省エネ］をタッチします。 2）［有効］［無効］を選びます。

お知らせ

- すべての項目を設定する必要はありませんが、［時間］は必ず設定してください。
- 1台の室内ユニットあるいは1つのスケジュールグループにつき、1日最大50個まで設定セルを登録できます。
- スケジュールグループで設定を行う場合は、グループに属する室内ユニットの共通項目のみ設定できます。

次ページに続く

③ ［登録］をタッチする

●設定が登録され、「編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



7 ［登録］をタッチする

●「スケジュール詳細設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



8 他の室内ユニットを登録する場合は、手順4 ～ 7を繰り返す

●他の運転日モードで登録する場合は、手順3 ～ 7を繰り返します。
●場合によっては、「翌日～4日後の日の設定を変更しますか」という確認のメッセージが表示されます。
変更する場合は［OK］を、変更しない場合は［キャンセル］をタッチします。

9 ［登録］をタッチする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



10 ［OK］をタッチする

●場合によっては、「翌日～4日後の日の設定を変更しますか」という確認のメッセージが表示されます。
変更する場合は［OK］を、変更しない場合は［キャンセル］をタッチします。

お知らせ

- すべての設定セルが空白の室内ユニットまたはスケジュールグループは稼働しません。

「スケジュール運転時間設定」画面

A：登録する運転日モードを選びます。
選べる運転日モードには、以下のような種類があります。

モード	通常のパターンとして登録します。（モード1 ～ 50）

- ◀ ▶ をタッチして運転日モードを選びます。
- 表示順は以下のとおりです。
「モード1」⇔「モード2」⇔…⇔「モード50」



B：選んだスケジュールを室内ユニットまたはスケジュールグループ単位で削除します。
（→「スケジュールを削除する」(P.58)）

C：選んだスケジュールを室内ユニットまたはスケジュールグループ単位でコピーします。（→「スケジュールをコピーして設定する」(P.58)）

D：Cでコピーしたスケジュールを指定した室内ユニットまたはスケジュールグループに貼り付けします。
（→「スケジュールをコピーして設定する」(P.58)）

E：1日のスケジュールを一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

お知らせ

- 稼働スケジュールを設定する前は、右側の設定セルは空白になっています。
- 「スケジュールグループ名称設定」画面で「有効」欄にチェックマークを1つ以上入れている場合（「スケジュールグループの名称を変更する」(P.164)を参照）は、最初にスケジュールグループ名が表示され、そのあとにスケジュールグループに属さない室内ユニット名が表示されます。

F：タッチすると、「スケジュール詳細設定」ダイアログが表示され、スケジュールの詳細設定を行います。

「スケジュール詳細設定」ダイアログ

A：選んでいる室内ユニット名あるいはスケジュールグループ名を表示します。

B：運転日モードを表示します。
設定しているスケジュールをタイムテーブル表示します。

C：登録した設定セルを一覧表示します。
行が個々の設定セルに該当します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールします。

D：設定セルの登録内容を変更します。
（→「設定セルの設定を変更する」(P.59)）

E：タッチすると、「編集」ダイアログが表示され、設定セルを追加します。

F：設定セルの登録内容を削除します。
（→「設定セルの設定を削除する」(P.59)）



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

スケジュールを削除する

1 削除するスケジュールを選ぶ

- 反転表示されているスケジュールの室内ユニットまたはスケジュールグループのみ削除されます。
- 複数の室内ユニットまたはスケジュールグループは削除できません。



2 [クリア]をタッチする

- 選んだスケジュールが削除されます。
- [キャンセル]をタッチすると、元に戻ります。

スケジュールをコピーして設定する

同じようなスケジュールを設定する場合に便利です。

1 コピー元となるスケジュールを選ぶ

- 反転表示されたスケジュールの室内ユニットまたはスケジュールグループがコピー元となります。



2 [コピー]をタッチする



3 貼付する室内ユニットまたはスケジュールグループを選ぶ

- 同時に複数の室内ユニットまたはスケジュールグループに貼り付けることはできません。



4 [貼付]をタッチする

- 選んだスケジュールがコピーされます。



設定セルの設定を変更する

1 「スケジュール詳細設定」ダイアログで、変更する設定セルを選び(1-1)、[編集]をタッチ(1-2)する

- 「編集」ダイアログが表示されます。



2 設定を変更する

- 設定については、P.55の手順6を参照してください。



3 [登録]をタッチする

- 設定が登録され、「編集」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



設定セルの設定を削除する

1 「スケジュール詳細設定」ダイアログで、削除する設定セルを選ぶ



2 [削除]をタッチする

- 選んだ設定セルが削除されます。



スケジュールをカレンダーに割り当てる

各運転日モードをカレンダーに割り当てます。
カレンダーは当月から2年先まで設定できます。

1 「状態監視」の[スケジュール管理]をタッチする



2 [運転日モード設定]をタッチする

- 「運転日モード設定」画面が表示されます。



3 ◀ ▶ で年月を選ぶ



4 運転日モードを選ぶ



5 日付をタッチする

- 選んだ日付に運転日モードが割り当てられます。
- 運転日モードが選ばれている間は、同じ運転日モードで割り当てられます。
- 手順4、5を繰り返して運転日モードを他の日付に割り当てます。



6 [登録]をタッチする

- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- 運転日モードを過去の日付に割り当てることはできません。

「運転日モード設定」画面

A：カレンダーを当月表示に戻します。

B：指定した年月のカレンダーを表示します。

C：自動更新を実行します。
曜日単位でモードを登録(P.63)すると、毎週繰り返しの設定となります。
①[自動更新]をタッチする
②[モード1]～[モード50]を選択し、カレンダーの運転日モード割り当て表示部(濃いグレー部)にタッチする
③[登録]をタッチして、設定内容を登録する
- 自動更新は2年後以降から適用されます。

D：カレンダーに割り当てた運転日モードを取り消します。
(→「割り当てた運転日モードを取り消す」(P.62))

E：カレンダーに割り当てる運転日モードの一覧が表示されます。右のテキストボックスにはコメントを入力できます。
(→「運転日モードにコメントを付ける」(P.62))

F：曜日単位でモードを割り付けます。
(→「曜日単位で割り当てる」(P.63))



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

割り当てた運転日モードを取り消す

1 [モード取消]をタッチする



2 運転日モードを取り消す日付をタッチする



運転日モードにコメントを付ける

運転日モードに使用目的などのコメントを付けておくと便利です。
全角文字は8文字まで、半角英数字は16文字まで文字列を入力できます。

1 運転日モード右側のテキストボックスをタッチする
- ソフトキーボードが表示されます。



2 文字列を入力する

3 [登録]をタッチする
- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



曜日単位で割り当てる

運転日モードを曜日単位で割り付けます。

1 [曜日単位の設定]をタッチする
- 「曜日単位の設定」画面が表示されます。



2 期間を設定する
① ▦ をタッチ(2-1)する
- 「カレンダー」ダイアログが表示されます。
- 前が期間の最初、後が期間の最後になります。



② ◀ ▶ で設定する月を選び(2-2)、設定する日を選ぶ(2-3)
- 設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



3 ＜ ＞ で運転日モードを各曜日に割り当てる



4 [登録]をタッチする
- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



5 [登録]をタッチする
- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
- 当日～4日後については、曜日単位で運転日モードを割り付けることはできません。
- すべての曜日に運転日モードを設定する必要はありません。
- すでにカレンダー上に運転日モードを登録している場合、曜日単位の設定を行うと、運転日モードは上書きされます。

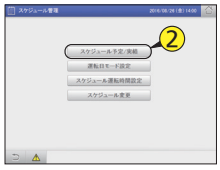
スケジュールの予定/実績を確認する

登録したスケジュールは一覧で確認できます。
過去の運転実績も併せて確認できます。

1 「状態監視」の[スケジュール管理]をタッチする



2 [スケジュール予定/実績]をタッチする
- 当日の「スケジュール予定/実績」画面が表示されます。



3 確認日を設定する
① ▦ をタッチ(3-1)する
- カレンダーダイアログが表示されます。



② ◀ ▶ で設定する月を選び(3-2)、日付を選ぶ(3-3)
- 設定が登録され、カレンダーダイアログが閉じられます。



4 「選択」欄をタッチ(4-1)し、[スケジュール詳細]をタッチ(4-2)する
- 「スケジュール詳細」ダイアログ(P.65)が表示されます。



「スケジュール予定/実績」画面

A：表示する年月日を選びます。▦ をタッチすると、カレンダー画面が表示され、日付を選ぶことができます。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で任意に設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	集中制御アドレスの順番に従って表示されます。



C：当日のスケジュールと過去の運転実績が室内ユニットごとに一覧で表示されます。
スケジュールは24時間表示で、時間の経緯を横線で示しています。
上部は当日の予定、下部は過去の実績を示しています。
色分けによる凡例は以下のとおりです。
青色：　冷房　　水色：　ドライ
赤色：　暖房　　灰色：　送風
緑色：　冷暖自動

お知らせ
以下の場合、実績は表示されません。
- A0設定で翌日以降を指定した場合
- 室内ユニットの電源を切るなどでスケジュールが実行されなかった場合
- 実績表示は、5万件を超えると古いものから削除されます。

D：タッチすると、「スケジュール詳細」ダイアログが表示されます。「選択」欄にチェックを入れた室内ユニットのスケジュールについて、詳細な情報が表示されます。

「スケジュール詳細」ダイアログ

A：選んでいる室内ユニット名あるいはスケジュールグループ名を表示します。

B：運転日モードを表示します。
設定している1日のスケジュールをタイムライン表示します。

C：Bの詳細内容を一覧表示します。

お知らせ
- この画面では、スケジュールの予定を確認することができます。設定を変更することはできません。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

一時的にスケジュールを変更・追加する

当日～4日後の5日間のみ登録したスケジュールを一時的に変更することができます。
「スケジュール運転時間設定」画面の設定は変更されません。

1 「状態監視」の[スケジュール管理]をタッチする



2 [スケジュール変更]をタッチする

●「スケジュール変更」画面が表示されます。



3 ◀ ▶ で年月日を選ぶ



4 「選択」欄にチェックを入れる

●設定を変更する室内ユニットまたはスケジュールグループを選びます。



5 [詳細設定]をタッチする

●「スケジュール詳細設定」ダイアログが表示されます。



6 設定を変更・追加する

●設定を変更する場合は、「設定セルの設定を変更する」(P.59)を参照してください。
●設定を追加する場合は、「スケジュールを設定する」の手順6(P.55)を参照してください。
●各設定項目については、「スケジュールを設定する」の手順6(P.55)を参照してください。

次ページに続く

7 [登録]をタッチする

●設定が登録され、「スケジュール詳細設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



8 [登録]をタッチする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- この画面でスケジュールを変更しても「スケジュール運転時間設定」画面で設定している各運転日モードの設定は変更されません。
- 一時的な変更を「カレンダー」ダイアログに追加する必要はありません。

「スケジュール変更」画面

A：変更する年月日を選びます。
- 表示される年月日は、当日～4日後の5日間のみです。

B：選んだスケジュールを室内ユニットまたはスケジュールグループ単位で削除します。
(→「スケジュールを削除する」(P.58))

C：選んだスケジュールを室内ユニットまたはスケジュールグループ単位でコピーします。(→「スケジュールをコピーして設定する」(P.58))

D：Cでコピーしたスケジュールを指定した室内ユニットまたはスケジュールグループに貼り付けます。
(→「スケジュールをコピーして設定する」(P.58))

E：1日の稼働スケジュールを一覧表示します。

F：タッチすると、「選択」欄にチェックを入れた室内ユニットあるいはスケジュールグループの「スケジュール詳細設定」ダイアログが表示されます。



警報および操作状態変化履歴を確認する



本章では、警報および操作履歴の確認方法について説明します。

本機は、システム内で発生した警報および操作変化を履歴一覧として確認することができます。
また、履歴一覧はCSV形式のファイルに出力することができます。

画面メニュー	概要	ページ
警報履歴	システム内で発生した警報履歴を一覧で確認します	69
操作状態変化履歴	各室内ユニットの操作履歴を一覧で確認します	71

警報履歴一覧を確認する

警報の発生/復旧の履歴を、最新で発生した100件まで一覧表示します。

1 「状態監視」の[履歴確認]をタッチする



2 [警報履歴]をタッチする

●「警報履歴」画面が表示されます。
●警報の発生直後は赤文字で表示されます。復旧すると、緑文字で表示されます。

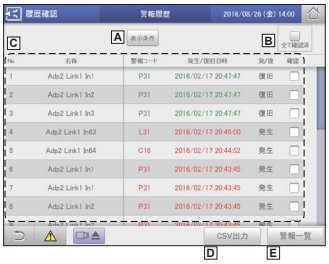


「警報履歴」画面

A：タッチすると、「表示条件」ダイアログが表示されます。
警報が発生した履歴から必要な履歴情報を検出することができます。
機器名称および表示期間で検索できます。
(→「警報履歴を検索する」(P.70))

B：タッチすると、すべての「確認」欄にチェックが入ります。

C：警報履歴を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。



項目	説明
名称	警報が発生しているユニットの名称を表示します。
警報コード	警報の種類を表示します。
発生/復旧 日時	警報が発生した日時を表示します。システム内の異常が復旧した場合は、復旧した日時を表示します。
発/復	警報が発生した直後は「発生」、復旧後は「復旧」と表示されます。
[確認]	確認した警報にチェックを入れます。

D：表示されている警報履歴一覧をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

E：タッチすると、「発生中警報一覧」画面が表示されます。(→「現在発生している警報や点検を確認する」(P.39))

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

警報履歴を検索する

1 [表示条件]をタッチする

●「表示条件」ダイアログが表示されます。



2 検索対象を設定する



項目	説明
名称	検索対象となるユニット名称を一覧から選びます。
期間の設定	検索対象となる期間(最初、最後)をそれぞれ設定します。 上が期間の最初、下が期間の最後になります。 ①[設定]をタッチする • 「日時設定」ダイアログが表示されます。 ②日時を設定する • ▲ ▼ で「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を設定します。 ③[OK]をタッチする • 設定が登録され、「日時設定」ダイアログが閉じられます。 • 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。
[最新情報表示]	タッチすると、設定した期間がクリアされ、最新100件の警報が表示されます。

3 [表示]をタッチする

●条件に合致した警報が一覧表示されます。
●名称を指定した場合は、最新200件の警報が表示されます。指定しない場合は、すべてのユニットの最新100件の警報が表示されます。
●期間を指定した場合は、最新200件の警報が表示されます。
●検索結果をCSV形式のファイルとして保存することもできます。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))
●表示条件を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



操作状態変化履歴一覧を確認する

各室内ユニットの操作をいつ、どのように変更したのかを履歴として一覧表示します。

1 「状態監視」の[履歴確認]をタッチする



2 [操作状態変化履歴]をタッチする

●「操作状態変化履歴」画面が表示されます。



「操作状態変化履歴」画面



A：操作履歴を表示します。通常は表示状態です。タッチすると、非表示状態になります。

B：状態変化履歴を表示します。通常は表示状態です。タッチすると、非表示状態になります。

C：タッチすると、「表示条件」ダイアログが表示されます。
操作・状態変更履歴から必要な履歴情報を検出することができます。
機器名称および表示期間で検索できます。(→「操作状態変化履歴を検索する」(P.72))

D：操作状態変化履歴を一覧表示します

項目	説明
名称	ユニットの名称を表示します。
操作	スケジュールどおりなのか、途中で操作を変更したのかを表示します。
状態	動作状態(運転/停止)を表示します。
モード	運転モード(暖房/ドライ/冷房/送風/冷暖自動)を表示します。
設温	設定温度を表示します。
風速	風速(急/強/弱/自動)を表示します。
風向	風向を表示します。
禁止	リモコン操作の「許可」「禁止1」～「禁止4」を表示します。
日時	操作状態の変化した日時を表示します。

E：表示されている操作状態変化履歴一覧をCSV形式で出力(保存)します。
(→「履歴をCSVファイルとして出力(保存)する」(P.73))

操作状態変化履歴を検索する

1 [表示条件]をタッチする

●「表示条件」ダイアログが表示されます。



2 検索対象を設定する



項目	説明
名称	検索対象となるユニット名称を一覧から選びます。
期間の設定	検索対象となる期間(最初、最後)をそれぞれ設定します。 上が期間の最初、下が期間の最後になります。 ①[設定]をタッチする • 「日時設定」ダイアログが表示されます。 ②日時を設定する • ▲ ▼ で「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を設定します。 ③[OK]をタッチする • 設定が登録され、「日時設定」ダイアログが閉じられます。 • 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。
[最新情報表示]	タッチすると、設定した期間がクリアされ、最新100件の警報が表示されます。

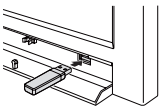
3 [表示]をタッチする

●条件に合致した操作状態変化履歴が一覧表示されます。
●機器を指定した場合は、最新200件の操作履歴が表示されます。指定しない場合は、すべての機器の最新100件の操作履歴が表示されます。
●期間を指定した場合は、最新200件の操作履歴が表示されます。
●検索結果をCSV形式のファイルとして保存することもできます。(→「履歴をCSVファイルとして出力(保存)する」(P.73))
●検索を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



履歴をCSVファイルとして出力(保存)する

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



2 [CSV出力]をタッチする

●確認画面が表示されます。



3 [OK]をタッチする

●現在表示されている操作履歴がCSV形式でUSBメモリーに保存されます。
●保存が終了すると、保存終了の確認メッセージが表示されます。

4 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。[OK]をタッチしたあとでUSBメモリーを取り出してください。
●USBメモリーを取り出してから収納扉を閉じてください。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

積算値を確認する

積算/按分

本章では、各機器の積算値の確認方法について説明します。

本機は、室内ユニット、室外ユニット、パルスメーターの積算値を一覧として確認することができます。
室内ユニットは単位別(エリア・室内機)で、室外ユニット、パルスメーターは値別(アダプタ値・期間合計値)で表示を切り換えることができます。

画面メニュー	概要	ページ
室内機積算	各室内ユニットの積算データを一覧で確認します	75
室外機積算	各室外ユニットの積算データを一覧で確認します	77
パルスカウント積算	各パルスメーターの積算データを一覧で確認します	79

室内ユニットの積算値を一覧で確認する

室内ユニットの積算値(サーモON時の運転時間など)を一覧表示できます。

1 「状態監視」の[積算/按分]をタッチする



2 [室内機積算]をタッチする

●「室内機積算」画面が表示されます。



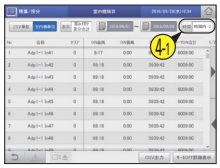
3 表示期間を設定する

●表示期間の最初と最後をそれぞれ設定してください。
●左が期間の最初、右が期間の最後になります。
●「表示」を「アダプタ値」に設定すると、表示期間は設定できません。
※「アダプタ値」は「時：分」で表示しますが、「差分合計」「重み付け差分合計」は、分を時間に変換し「時間」表示となります。
例えば「3：30」→「3.50」としています。
(CSV出力も同様ですので、Microsoft Excelで読み込んだ場合、そのまま計算式に利用可能です。)

4 表示時間帯を設定する

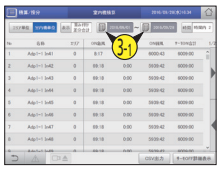
① [時間]をタッチ(4-1)する

●「時間指定」ダイアログが表示されます。
●「表示」を「アダプタ値」に設定すると、表示時間帯は設定できません。



① をタッチ(3-1)する

●「カレンダー」ダイアログが現在の日付で表示されます。



② 日付をタッチ(3-2)する

●◀ ▶で確認する月を選びます。[今月]をタッチすると、当月表示になります。
●設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



次ページに続く

② 積算する時間帯をタッチ(4-2)する

●設定が登録され、「時間指定」ダイアログが閉じられます。
●「時間内1」～「時間内8」については「按分カレンダー設定」の「時間内範囲」(P.161)を参照してください。



5 積算値を確認する

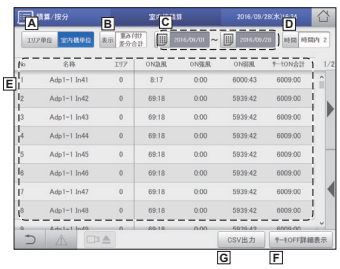


「室内機積算」画面

A：表示順を設定します。

[エリア単位]	室内ユニットをエリア単位順で表示します。
[室内機単位]	室内ユニットを表示順で表示します。

B：表示値を設定します。タッチすると、「表示切換」ダイアログが表示されます。「アダプタ値」「差分合計」「重み付け差分合計」から選びます。
C：表示期間を設定します。タッチすると、「カレンダー」ダイアログが表示されます。
D：表示時間帯を設定します。タッチすると、「時間指定」ダイアログが表示されます。
E：各室内ユニットの積算値を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。



項目	説明
名称	室内ユニットの名前を表示します。
エリア	室内ユニットが属するエリア番号を表示します。
ON急風	サーモ「ON」時、風量「急風」設定時の積算運転時間を表示します。
ON強風	サーモ「ON」時、風量「強風」設定時の積算運転時間を表示します。
ON弱風	サーモ「ON」時、風量「弱風」設定時の積算運転時間を表示します。
サーモON合計	サーモ「ON」時の「ON急風」「ON強風」「ON弱風」積算運転時間の合計値を表示します。
OFF急風	サーモ「OFF」時、風量「急風」設定時の積算時間を表示します。([サーモOFF詳細表示]をタッチしたとき)
OFF強風	サーモ「OFF」時、風量「強風」設定時の積算時間を表示します。([サーモOFF詳細表示]をタッチしたとき)
OFF弱風	サーモ「OFF」時、風量「弱風」設定時の積算時間を表示します。([サーモOFF詳細表示]をタッチしたとき)
サーモOFF合計	サーモ「OFF」時の積算運転時間を表示します。
電気ヒーターON	ヒーター「ON」時の積算運転時間を表示します。([サーモOFF詳細表示]をタッチしたとき)
サーモON+サーモOFF	全ての積算運転時間を表示します。

F：タッチすると、「OFF急風」「OFF強風」「OFF弱風」「電気ヒーターON」の項目が追加表示されます。再度タッチすると、元の項目の表示に戻ります。
G：表示されている室内機積算をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

室外ユニットの積算値を一覧で確認する

室外ユニットの積算値(エンジン運転時間、エンジン運転回数など)を一覧表示できます。

1 「状態監視」の[積算/按分]をタッチする



2 [室外機積算]をタッチする

●「室外機積算」画面が表示されます。



3 表示期間を設定する

●表示期間の最初と最後をそれぞれ設定してください。
●左が期間の最初、右が期間の最後になります。
●「アダプタ値」に設定すると、表示期間は設定できません。

4 表示時間帯を設定する

① [時間]をタッチ(4-1)する

●「時間指定」ダイアログが表示されます。
●「アダプタ値」に設定すると、表示時間帯は設定できません。



① をタッチ(3-1)する

●「カレンダー」ダイアログが現在の日付で表示されます。



② 日付をタッチ(3-2)する

●◀ ▶で確認する月を選びます。[今月]をタッチすると、当月表示になります。
●設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

室外ユニットの積算値を一覧で確認する

② 積算する時間帯をタッチ(4-2)する

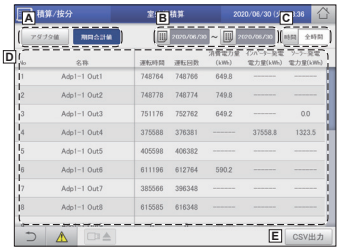
●設定が登録され、「時間指定」ダイアログが閉じられます。
●「時間内1」～「時間内8」については「按分カレンダー設定」の「時間内範囲」(P.161)を参照してください。



5 積算値を確認する



「室外機積算」画面



A：表示する値を設定します。タッチして「アダプタ値」「期間合計値」のいずれかを選びます。

B：表示する期間を設定します。タッチすると、「カレンダー」ダイアログが表示されます。
- 「期間合計値」設定時には、「時間」で設定している時間帯(「時間内」「時間外」など)に一致する合計値が表示されます。「時間」で「全時間」を選んでいる場合は、すべての合計値が表示されます。

C：表示する時間帯を設定します。タッチすると、「時間指定」ダイアログが表示されます。

D：各室外ユニットの積算値を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
名称	室外ユニットの名前を表示します。
運転時間	室外ユニットの運転時間を表示します。
運転回数	室外ユニットの運転回数を表示します。
消費電力量(kWh)	室外ユニット(GHPを除く)の消費電力量の積算値を表示します。
インバーター発電電力量(kWh)	インバーター発電をしている場合の電力量を表示します。
ソーラー発電電力量(kWh)	ソーラー発電をしている場合の電力量を表示します。

E：表示されている室外機積算をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32)

パルスメーターの積算値を一覧で確認する

パルスメーターのパルスカウント積算値を一覧表示できます。(パルスメーター設置時)

1 [状態監視]の[積算/按分]をタッチする



2 [パルスカウント積算]をタッチする

●「パルスカウント積算」画面が表示されます。



3 表示期間を設定する

●表示期間の最初と最後をそれぞれ設定してください。
●左が期間の最初、右が期間の最後になります。
●「アダプタ値」に設定すると、表示期間は設定できません。

① をタッチ(3-1)する

●「カレンダー」ダイアログが現在の日付で表示されます。



② 日付をタッチ(3-2)する

●◀▶で確認する月を選びます。[今月]をタッチすると、当月表示になります。
●設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



4 表示項目を選ぶ

① [表示項目選択]をタッチ(4-1)する

●「表示項目選択」ダイアログが表示されます。



次ページに続く

パルスメーターの積算値を一覧で確認する

② 表示する項目を選ぶ(4-2)

●複数の項目を選択できます。
●「時間内1」～「時間内8」については「按分カレンダー設定」の「時間内範囲」(P.161)を参照してください。



③ ⊗ をタッチする

●設定が登録され、「表示項目選択」ダイアログが閉じられます。

5 積算値を確認する



「パルスカウント積算」画面



A：表示する値を設定します。タッチして「アダプタ値」「期間合計値」のいずれかを選びます。
- 「アダプタ値」を設定した場合は、10秒間隔で値の表示が変わります。

B：表示する期間を設定します。タッチすると、「カレンダー」ダイアログが表示されます。
- 「期間合計値」設定時には、「時間」で設定している時間帯(「時間内」「時間外」など)に一致する合計値が表示されます。

C：各パルスメーターの積算値を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
名称	全ユニット(室内外ユニット)の名前を表示します。
按分	按分グループ番号を表示します。
種類	メーター種別を表示します。
アダプタ値(「アダプタ値」選択時)	通信アダプターの積算値を表示します。
メータ値(「アダプタ値」選択時)	パルスメーターの積算値を表示します。
時間(「期間合計値」選択時)	アダプタあるいは指定した期間のパルスカウント積算値を表示します。(「全時間」「時間外」「特定日」) 表示項目(「時間内1」～「時間内8」)の追加もできます。

D：タッチすると、「表示項目選択」ダイアログが表示され、追加表示する項目を選択します。
- 「アダプタ値」に設定すると、表示項目の選択はできません。

E：表示されているパルスカウント積算をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32)

按分データを確認する

積算/按分

本章では、按分データの確認方法について説明します。

本機は、ユニット単位、エリア単位で按分データを一覧として確認することができます。
電気、ガスそれぞれの按分率、使用量、料金を確認できます。

画面メニュー	概要	ページ
按分データ	按分集計の詳細情報を一覧で確認します	82

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

按分データを一覧で確認する

按分データの詳細情報(按分率、使用量、料金)を一覧表示します。
テナントビルで使用される室内ユニットは、同一冷媒系統内で複数のエリアにわたって設定されているため、エリアごとの電気/ガス使用量の把握が困難となります。
このような場合、各エリアの室内ユニットを「按分グループ」としてまとめ、「按分グループ」内で空調機(室内ユニット、室外ユニット)から取得したデータに基づいて比率を算出することで、エリアごとの電気/ガス使用量を把握することができます。このとき、算出された比率が「按分率」です。

按分データを確認するには、最初に以下の設定を済ませる必要があります。

- 按分方式設定(P.173)
- 按分グループ名称設定(P.168)
- 按分カレンダー設定(P.161)
- エリアグループ名称設定(P.166)
- パルスメーター設定(P.171)
- 料金計算設定(P.174)

1 [状態監視]の[積算/按分]をタッチする



2 [按分データ]をタッチする

●「按分データ」画面が表示されます。



3 表示期間を設定する

●表示期間の最初と最後をそれぞれ設定してください。
●左が期間の最初、右が期間の最後になります。

① をタッチ(3-1)する

●「カレンダー」ダイアログが現在の日付で表示されます。



② 日付をタッチ(3-2)する

●◀ ▶ で確認する月を選びます。[今月]をタッチすると、当月表示になります。
●設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



次ページに続く

4 表示時間帯を設定する

① [時間]をタッチ(4-1)する

●「時間指定」ダイアログが表示されます。



② 積算する時間帯をタッチ(4-2)する

●「時間内1」～「時間内8」については「按分カレンダー設定」の「時間内範囲」(P.161)を参照してください。
●設定が登録され、「時間指定」ダイアログが閉じられます。



5 按分データを確認する



お知らせ

- 本機の按分計算は計量法に基づくものではないため、公的取引には使用できません。
- 本機では、各室内ユニットが積算している運転時間データを通信アダプター経由で取得します。本機が通信アダプターへデータを要求すると、通信アダプターは各室内ユニットに対して運転時間を問い合わせ、集計が終了した時点で本機へ転送します。そのため、時間帯の切り替わり時に数分程度のカウント誤差が発生する場合があります。
- スケジュールによる室内ユニットの停止には、通信の関係で若干の遅れが発生するため、「時間内範囲設定」(P.163)の時間帯の切り替わりと同一時刻に設定しないようにしてください。時間帯の切り替わり前にスケジュールによる停止を入れる場合には、切り替え時間前の10分以内(通信状態によって変わります)に設定することは避けてください。
- 本体と室内ユニット(あるいは通信アダプター)間の通信に異常があると、正常な時間帯別の積算が行われない場合があります。本機が受信した積算値は、受信時間の時間帯にカウントされます。
- 「時間指定」ダイアログの[全時間]の使用量は、すべての時間帯の運転データ合計値に基づいて全体を按分した按分率から算出しています。したがって、[時間内][時間外][特定日]の使用量の合計値とは一致しません。
- 按分データ集計後に空調機を撤去すると、その空調機の積算値はすべて消去されるため、撤去後にその空調機を含む按分データを再び見ることはできません。
  撤去前に必ず、USBメモリに按分データのCSVファイルを出力(保存)しておいてください。
  CSVファイルの出力方法は履歴の出力方法と同様です。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

表示単位を切り換える

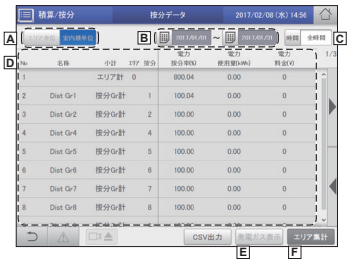
1 [エリア集計]がオフであることを確認する

2 表示単位を選ぶ

●「エリア単位」「室内機単位」で表示を切り換えます。



「按分データ」画面



A：表示単位を設定します。

[エリア単位]	室内ユニットをエリア単位順で表示します。
[室内機単位]	室内ユニットを表示順で表示します。

B：表示する期間を設定します。タッチすると、「カレンダー」ダイアログが表示されます。

C：表示する時間帯を設定します。タッチすると、「時間指定」ダイアログが表示されます。

D：室内ユニットの按分データを一覧表示します。

項目	説明
名称	室内ユニットの名称を表示します。
小計	指定した単位の小計を表示します。
エリア	室内ユニットが属するエリア番号を表示します。
按分	按分グループ番号を表示します。
電力按分率(%)	室外ユニットから供給される電力の按分率を表示します。
電力使用量(kWh)	室外ユニットから供給される電力の使用量を表示します。
電力料金(¥)	電力使用量を元に計算した料金を表示します。
空調ガス按分率(%)	GHPから供給されるガスの按分率を表示します。
空調ガス使用量(m^3)	GHPから供給されるガスの使用量を表示します。
空調ガス料金(¥)	ガス使用量を元に計算した料金を表示します。
発電ガス按分率(%)	発電に使用されたガスの按分率を表示します。
発電ガス使用量(m^3)	発電に使用されたガスの使用量を表示します。
発電ガス料金(¥)	発電に使用されたガスの使用量を元に計算した料金を表示します。
合計料金(¥)	「室外電力料金(¥)」「空調ガス料金(¥)」「発電ガス料金(¥)」の合計料金を表示します。

E：タッチすると、「発電ガス按分率」「発電ガス使用量」「発電ガス料金」の項目が追加表示されます。ただし、時間按分設定時は操作できません。

F：エリア単位、按分グループ単位で表示します。(工場出荷設定：オン)
解除すると、エリア単位/室内機単位での表示が可能となります。(→「表示単位を切り換える」(P.84))

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

省エネ設定をする

省エネ設定

本章では、省エネの設定方法について説明します。

本機には、e-CUT機能(設定温度自動リターン、消し忘れ・運転自動停止、設定温度範囲制限、タイマー省エネ/効率運転*)が搭載されています。
e-CUT機能によって空調の無駄をなくすことで、既存のエアコンで省エネを実現することができます。

画面メニュー	概要	ページ
設定温度自動リターン設定	はじめに設定しておいた温度を変更しても、一定時間が過ぎると自動的に設定温度が戻ります	87
消し忘れ・運転自動停止設定	設定した時刻に空調機が自動停止したあと、再運転した場合でも一定間隔で自動停止を繰り返します	90
設定温度範囲制限設定	温度の上限・下限を設定し、設定できる温度の範囲を制限します	93
タイマー省エネ設定/効率運転設定*	時間帯を指定して運転量を抑えます	95
室外静音モード設定	時間を設定して夜間の室外ユニットの運転音を昼間よりも抑えます	97

デマンド設定

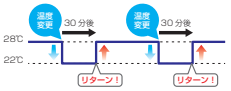
画面メニュー	概要	ページ
デマンド接点登録	デマンド接点入力を登録します	99
室内デマンド設定	室内ユニットに設定レベルを設けることで自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします	100
室外デマンド設定	室外ユニットに設定レベルを設けることで自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします	103
室内サイクリック制御設定	指定の周期(3分/4分/5分)で、順次各制御グループの室内ユニットにサーモOFF/復帰を繰り返します	108
室外サイクリック制御設定	10分間隔で、順次各制御グループの室内ユニットにサーモOFF/復帰を繰り返します	112
室外時間帯デマンド設定/ピークカット設定*	設定した時間帯に室外ユニットの消費電力/ガス量を抑えます	105

※ ガスヒートポンプエアコンご利用の場合

設定温度に自動で戻す【設定温度自動リターン設定】

設定温度を変更しても、一定時間(「リターン時間」)になると自動で設定温度(「リターン温度」)に戻ります。この機能により過剰な冷暖房を防止できます。

夏季の昼間に設定温度を28 ℃に維持したい場合
設定温度自動リターン設定で、リターン温度を28 ℃に、リターン時間を30分後に設定すると、設定中は何回温度を変更しても30分後には自動的に28 ℃に戻ります。
ただし、リターン温度を27 ℃に設定しているとき、設定温度を28 ℃に設定すると、リターン時間を経過してもリターン温度には戻しません。(「省エネ方向のみ」設定時)

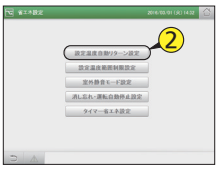


1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [設定温度自動リターン設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「設定温度自動リターン設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



次ページに続く

項目	説明
リターン温度 リターン時間	「暖房」「冷房」「自動」のリターン温度、リターン時間を設定します。 △ ▽ で温度あるいは時間を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 暖房時リターン温度：16～30 ℃※1(1 ℃間隔) ※1 一部の機種の上限温度は26 ℃です。 • 冷房(ドライ)時リターン温度：18～30 ℃(1 ℃間隔) • 冷暖自動時リターン温度：17～27 ℃(1 ℃間隔) • リターン時間(共通)：0～240分(5分間隔)
リターン制御	チェックを入れると、選んだ室内ユニットのリターン制御機能が有効になります。

以下の項目は全室内ユニット共通の設定です。

• 省エネ方向のみ • 常にリターン温度に戻す	リターン条件を選びます。 「省エネ方向のみ」を選ぶと、自動リターン時に、省エネ方向になる場合のみ、設定温度に戻します。
• 冷暖自動許可 • 送風切替	「冷暖自動許可」を選ぶと、冷暖自動モードでも設定温度自動リターン制御が行われます。 「送風切替」を選ぶと、室内ユニットの運転モードを「冷暖自動」に切り替えたときに、リターン時間に関係なく、冷暖自動モードから送風モードへ切り替えられます。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「設定温度自動リターン設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。



C：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの設定温度自動リターン設定が有効になります。「リターン制御」(「設定編集」ダイアログ)(P.88)の設定と連動しています。

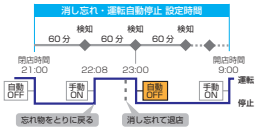
E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

再運転を自動停止する【消し忘れ・運転自動停止設定】

タイマーで設定した時刻にエアコンが自動停止した後、再運転した場合でも一定間隔で自動停止を繰り返すので消し忘れを防止できます。

21:00から翌朝9:00まで閉店、閉店時間内の停止監視を60分間隔で設定した場合
「消し忘れ防止」機能は閉店時間内(例では21:00から翌朝9:00まで)に何度でも作動します。

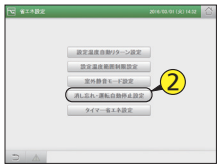


1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [消し忘れ・運転自動停止設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「消し忘れ・運転自動停止設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
時間帯設定(開始時刻、終了時刻)	自動停止を行う時間帯を設定します。 で時間を設定します。 お知らせ • 日付をまたぐ設定もできます。 例)22:00 ～ 08:00

次ページに続く

項目	説明
自動停止時間	再運転後に自動停止する時間を設定します。 で時間を設定します。 設定範囲は、0 ～ 180分(5分間隔)です。
自動停止機能	チェックを入れると、選んだ室内ユニットの自動停止機能が有効になります。
• 設定時間ごとに停止 • 運転後時間経過で停止	停止条件を選びます。 • 「設定時間ごとに停止」 「開始時刻」に自動停止を行ったあとも「自動停止時間」の間隔で自動停止を繰り返します。 • 「運転後時間経過で停止」 「開始時刻」に自動停止を行ったあとは、室内ユニットが運転中のときのみ「自動停止時間」経過後に自動停止を行います。
• 終日 • 時間指定	時間条件を選びます。 • 「終日」 一日中、「自動停止時間」で自動停止を繰り返します。(「時間帯設定」は無視されます) • 「時間指定」 「開始時刻」から「終了時刻」までの間、自動停止を繰り返します。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「消し忘れ・運転自動停止設定」画面



A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。

C：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの消し忘れ・運転自動停止設定が有効になります。「自動停止機能」(「設定編集」ダイアログ)(P.91)の設定と連動しています。

E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

設定温度の範囲を制限する【設定温度範囲制限設定】

温度の上限・下限を設定することで、設定できる温度の範囲を制限します。

1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [設定温度範囲制限設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「設定温度範囲制限設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
上限温度 下限温度	「暖房」「冷房」「自動」の上限温度、下限温度を設定します。 で温度を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 暖房時： 16～30 ℃※1(1 ℃間隔) ※1 一部の機種の上限温度は26 ℃です。 • 冷房(ドライ)時： 18～30 ℃ (1 ℃間隔) • 冷暖自動時： 17～27 ℃ (1 ℃間隔) お知らせ • 機種によって設定できる温度範囲が異なります。
設定温度範囲制限	チェックを入れると、選んだ室内ユニットの設定温度範囲制限機能が有効になります。

次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「設定温度範囲制限設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。



C：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの設定温度範囲制限設定が有効になります。「設定温度範囲制限」(「設定編集」ダイアログ)(P.93)の設定と連動しています。

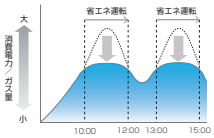
E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

時間帯で運転量を制御する【タイマー省エネ設定】/【効率運転設定※】

※ ガスヒートポンプエアコンご利用の場合

時間帯を指定して運転量を抑えます。

10:00～12:00、13:00～15:00の時間帯に設定すると、その時間帯の消費電力/ガス量を抑えます。



1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [タイマー省エネ設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「タイマー省エネ設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
開始時刻 終了時刻	「タイマー 1」「タイマー 2」の開始時刻、終了時刻を設定します。 ▲▲ ▲ ▼ ▼▼ で時間を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 時：00～23(1時間間隔) • 分：00～59(1分間隔) お知らせ • 日付をまたぐ設定もできます。 例)22:00～08:00

次ページに続く

項目	説明
タイマー省エネ	チェックを入れると、選んだ室内ユニットのタイマー省エネ設定機能が有効になります。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
• 効率運転(ガスヒートポンプエアコンご利用の場合)の設定方法は、タイマー省エネ設定と同じです。

「タイマー省エネ設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。



C：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室内ユニットのタイマー省エネ設定が有効になります。「タイマー省エネ」(「設定編集」ダイアログ)の設定と連動しています。

E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

室外ユニットの騒音を抑える【室外静音モード設定】

時間を設定して夜間の室外ユニットの運転音を昼間より下げることができます。

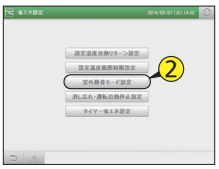
お知らせ
• 店舗用パッケージエアコンの室外静音モードを設定するには、S-LINKアダプター（CZ品番：2015年製以降)が必要です。

1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [室外静音モード設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室外静音モード設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



お知らせ
• 室外静音モードが設定可能な室外ユニットのみチェックボックスが表示されます

4 各設定を行う



項目	説明
開始時刻 終了時刻	開始時刻、終了時刻を設定します。 ▲▲ ▲ ▼ ▼▼ で時間を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 時：00～23(1時間間隔) • 分：00～59(1分間隔) お知らせ • 日付をまたぐ設定もできます。 例)22:00～08:00
静音運転モード	チェックを入れると、静音運転モード機能が有効になります。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室外ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「室外静音モード設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室外ユニットを選びます。
[選択クリア]	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：タッチするたびに「表示順」「アドレス順」に切り換えます。

C：チェックを入れた室外ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外静音モード設定が有効になります。「静音運転モード」（「設定編集」ダイアログ）(P.97)の設定と連動しています。

E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。



お知らせ

- 室外静音モードは一部の機種のみ設定可能です。

デマンド接点入力を登録する【デマンド接点登録】

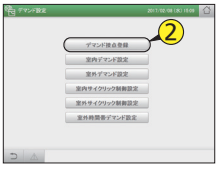
デマンドコントローラー接続時のデマンド接点を入力する本体あるいは通信アダプターのDI端子を登録します。

1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [デマンド接点登録]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル１または２）を入力すると「デマンド接点登録」画面が表示されます。



3 右の一覧から本体あるいは通信アダプターを選び(3-1)、[設定]をタッチ(3-2)する

●デマンド接点（「デマンド１」「デマンド２」「デマンド３」）をそれぞれ設定します。

●各デマンド接点に表示されているアダプター名は変更することができます。テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで変更します。（全角8文字まで、半角英数字16文字まで）



4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



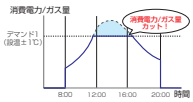
室内ユニットのデマンド設定を行う【室内デマンド設定】

室内ユニットに室内機デマンド制御の設定レベルを設けることで自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします。
各設定レベルのデマンド接点入力がオンになったときの動作を設定します。

お願い

- 設定する前に、デマンド接点入力を登録してください。(P.99)
- 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除(「設定無し」)してください(P.35)

冷房時、設定レベル「デマンド1」に「設温±1℃」を設定した場合
デマンドコントローラーからのデマンド信号を受け、デマンド1の接点がONになると、設定温度は1℃上がります。

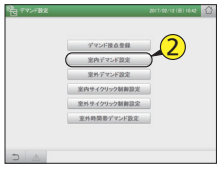


1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [室内デマンド設定]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル１または２）を入力すると「室内デマンド設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う

●「設定レベル」の「デマンド１」～「デマンド３」に対してそれぞれ「設定内容」を設定します。



項目	説明
設定レベル	設定レベルを選びます。
設定内容	動作を選びます。 [未選択]を選ぶと、動作を起こしません。
室内機デマンド制御　有効	チェックを入れると、選んだ室内ユニットのデマンド設定が有効になります。

次ページに続く

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 「室内機デマンド」の「する」を選ぶ



8 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

「室内デマンド設定」画面

A：［全選択］/［選択クリア］切換ボタン

［全選択］	すべての室内ユニットを選びます。
［選択クリア］	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：システム全体で室内ユニットのデマンド制御をするか、しないかを設定します。

お知らせ
- 「する」に設定した場合は、必ず室外ユニットのデマンド設定は「しない」に設定してください。

C：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。

D：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

E：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの室内デマンド設定が有効となります。「室内機デマンド制御　有効」(「設定編集」ダイアログ) (P.100)の設定と連動しています。

F：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

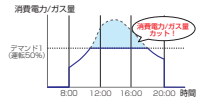


室外ユニットのデマンド設定を行う【室外デマンド設定】

室外ユニットに室外デマンド設定の設定レベルを設けることで自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします。
各設定レベルのデマンド接点入力がオンになったときの動作を設定します。

お願い
- 設定する前に、デマンド接点入力を登録してください。(P.99)
- 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除(［設定無し］)してください(P.35)

暖房時に、設定レベル「デマンド1」として「運転50%」を設定した場合
デマンドコントローラーからのデマンド信号を受け、デマンド1の接点がONになると、室外ユニットの運転が50%制御されます。

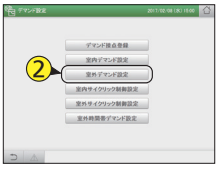


1 「省エネ」の［デマンド設定］をタッチする



2 ［室外デマンド設定］をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室外デマンド設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、［編集］をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う

●「設定レベル」の「デマンド1」～「デマンド3」に対してそれぞれ「設定内容」を設定します。



項目	説明
設定レベル	設定レベルを選びます。
設定内容	動作を選びます。 ［設定なし］を選ぶと、動作を起こしません。 「設定内容」で［運転］を選んだ場合は　で 制御率を設定します。 数値は、選んでいる室外ユニットで設定できる値が表示されます。
室外機デマンド制御　有効	チェックを入れると、選んだ室外ユニットのデマンド設定が有効になります。

次ページに続く

5 ［登録］をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



6 他の室外ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 「室外デマンド」の「する」を選ぶ



8 ［登録］をタッチする

●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



「室外デマンド設定」画面

A：［全選択］/［選択クリア］切換ボタン

［全選択］	すべての室外ユニットを選びます。
［選択クリア］	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：室外ユニットのデマンド制御をするか、しないかを設定します。

お知らせ
- 「する」に設定した場合は、必ず室内ユニットのデマンド設定は「しない」に設定してください。

C：タッチするたびに、「表示順」「アドレス順」に切り換えます。

D：チェックを入れた室外ユニットは設定編集対象となります。

E：チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外デマンド設定が有効となります。「室外機デマンド制御　有効」(「設定編集」ダイアログ) (P.103)の設定と連動しています。

F：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。



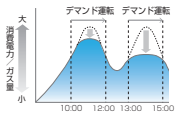
消費電力/ガス量を抑制する【室外時間帯デマンド設定】/【ピークカット設定※】

※ ガスヒートポンプエアコンご利用の場合

設定した時間帯に室外ユニットの消費電力/ガス量を抑えることができます。

お願い
- 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除(［設定無し］)してください(P.35)

10:00～12:00、13:00～15:00の時間帯に設定すると、その時間帯の室外ユニットの消費電力/ガス量を抑えます。

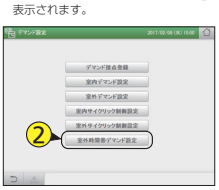


1 「省エネ」の［デマンド設定］をタッチする



2 ［室外時間帯デマンド設定］をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室外時間帯デマンド設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、［編集］をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
タイマー1 タイマー2	最初に「タイマー1」「タイマー2」を選び、それぞれの「開始時刻」「終了時刻」「デマンド値」を設定します。

次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

項目	説明
開始時刻 終了時刻	[タイマー 1][タイマー 2]の開始時刻、終了時刻を設定します。 △ ▽ で時間を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 時：00 ～ 23(1時間間隔) • 分：00 ～ 59(1分間隔) お知らせ • 日付をまたぐ設定もできます。 例)22:00 ～ 08:00
デマンド値	動作を選びます。 [設定なし]を選ぶと、動作を起こしません。 [設定内容]で[運転]を選んだ場合は △ ▽ で制御率を設定します。数値は、選んでいる室外ユニットで設定できる値が表示されます。
室外機時間帯デマンド制御有効	チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外機時間帯デマンド制御が有効になります。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
• ピークカット(ガスヒートポンプエアコンご利用の場合)の設定は、室外時間帯デマンド設定と同じです。

6 他の室外ユニットを設定する

●手順3 ～ 5を繰り返します。

7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「室外時間帯デマンド設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室外ユニットを選びます。
[選択クリア]	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：タッチするたびに「表示順」「アドレス順」に切り換えます。

C：チェックを入れた室外ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外時間帯デマンド設定が有効となります。「室外機時間帯デマンド制御有効」([設定編集]ダイアログ)(P.106)の設定と連動しています。

E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

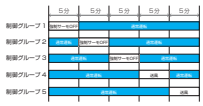


一定間隔で運転を制御する【室内サイクリック制御設定】

設定した時間帯を指定の周期(3分/4分/5分)でローテーションしながら順次各制御グループの室内ユニットに公平に運転設定(運転停止、サーモ、モード、設定温度)/復帰させていく制御です。

お願い
• 設定する前に、デマンド接点入力を登録してください。(P.99)
• 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除([設定無し])してください(P.35)

室内ユニットの制御グループ1 ～ 5を5分周期でサイクリック制御を行う場合
制御グループ1 ～ 3は「強制サーモOFF」、制御グループ4 ～ 5は「送風」に、周期は「5分」に設定すると、5分周期でサイクリック制御を行います。

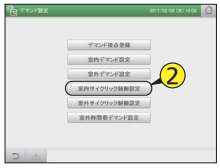


1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [室内サイクリック制御設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室内サイクリック制御設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
制御グループ	◀ ▶ で室内ユニットが属する制御グループを設定します。(10グループまで) 「グループ1」～「グループ10」から設定します。
運転停止	室内ユニットの運転を停止します。 [停止][未選択]*から設定します。
サーモ	強制的にサーモOFFに設定します。 [強制サーモOFF][未選択]*から設定します。

次ページに続く

項目	説明
モード	運転モードを送風に設定します。 [送風][未選択]*から設定します。
設定温度	△ ▽ で温度を設定します。 「±1」、「±2」、16℃～28℃の1℃単位の数値*から設定します。
風速	△ ▽ で風速を設定します。 「自動」「急風」「強風」「弱風」*から設定します。
室内機サイクリック制御有効	チェックを入れると、選んだ室内ユニットの室内機サイクリック制御が有効となります。

※空白にすると、その項目は動作を起こしません。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3 ～ 5を繰り返します。

7 [時間帯設定]をタッチする

●「制御時間帯設定」ダイアログが表示されます。



8 番号をタッチする

●時間帯は4種類設定できます。



9 時間を設定する

●左側が制御開始時間、右側が制御終了時間です。
● △ ▽ で時間を設定します。時は0 ～ 23の範囲で、分は「00」「30」で設定します。



10 制御周期を設定する

●「3分」「4分」「5分」から選びます。
●番号[1]から[4]まで、手順7 ～ 9を繰り返し設定します。



次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

11 [登録]をタッチする

- 「制御時間帯設定」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



12 「有効」欄にチェックを入れる



13 「室内サイクリック制御」の「する」を選ぶ



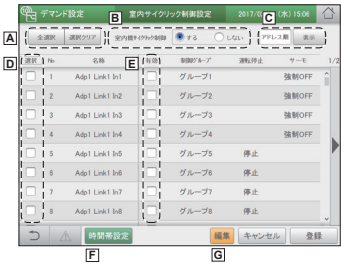
14 [登録]をタッチする

- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
- 制御グループは10グループまで設定できます。
- 設定していない制御グループは、サイクリック制御の対象にはなりません。

「室内サイクリック制御設定」画面



A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：システム全体で室内ユニットのサイクリック制御をするか、しないかを設定します。

お知らせ
- 「する」に設定した場合は、必ず室外ユニットのサイクリック制御設定は「しない」に設定してください。

C：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室内ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。

D：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象になります。

E：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの室内サイクリック制御設定が有効となります。「室内機サイクリック制御　有効」(「設定編集」ダイアログ)(P.109)の設定と連動しています。

F：タッチすると、「時間帯設定」ダイアログが表示されます。

G：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

一定間隔で運転を制御する【室外サイクリック制御設定】

設定した時間帯を10分間隔でローテーションしながら順次各制御グループの室外ユニットに公平に運転制御(または停止)/復帰させていく制御です。

お願い
- 設定する前に、デマンド接点入力を登録してください。(P.99)
- 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除(「設定無し」)してください(P.35)

室外ユニットの制御グループ1～5を10分周期でサイクリック制御を行う場合
制御グループ1、3は「強制停止」、制御グループ2、4、5は運転「50%」制御に設定すると、10分周期でサイクリック制御を行います。

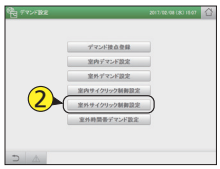


1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [室外サイクリック制御設定]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室外サイクリック制御設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

- 「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
制御グループ	で室外ユニットが属する制御グループを設定します。「グループ1」～「グループ5」から設定します。
デマンド値	動作を選びます。「設定なし」を選ぶと、動作を起こしません。「運転」を選んだ場合は　で制御率を設定します。数値は、選んでいる室外ユニットで設定できる値が表示されます。

次ページに続く

項目	説明
室外機サイクリック制御　有効	チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外機サイクリック制御が有効になります。

5 [登録]をタッチする

- 「設定編集」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室外ユニットを設定する

- 手順3～5を繰り返します。

7 [時間帯設定]をタッチする

- 「制御時間帯設定」ダイアログが表示されます。



8 番号をタッチする

- 時間帯は4種類設定できます。



9 時間を設定する

- 左側が制御開始時間、右側が制御終了時間です。
-　　で時間を設定します。時は0～23の範囲で、分は「00」「30」で設定します。



10 [登録]をタッチする

- 「制御時間帯設定」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



11 「有効」欄にチェックを入れる



次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

一定間隔で運転を制御する【室外サイクリック制御設定】

12「室外サイクリック制御」の「する」を選ぶ



13［登録］をタッチする

●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



お知らせ

- 制御グループは5グループまで設定できます。
- 設定していない制御グループは、サイクリック制御の対象にはなりません。

「室外サイクリック制御設定」画面

A：［全選択］/［選択クリア］切換ボタン

［全選択］	すべての室外ユニットを選びます。
［選択クリア］	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：システム全体で室外ユニットのサイクリック制御をするか、しないかを設定します。

お知らせ

- 「する」に設定した場合は、必ず室内ユニットのサイクリック制御設定は「しない」に設定してください。

C：タッチするたびに「表示順」「アドレス順」に切り換えます。

D：チェックを入れた室外ユニットは設定編集対象になります。

E：チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外サイクリック制御設定が有効となります。「室外機サイクリック制御　有効」(「設定編集」ダイアログ)(P.113)の設定と連動しています。

F：タッチすると、「時間帯設定」ダイアログが表示されます。

G：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。



データをグラフ表示する



本章では、グラフの表示方法について説明します。

本機は各機器に蓄積されたデータを収集し、グラフ化する機能を搭載しています。
データを視覚化することで、より客観的に省エネ管理を行えます。

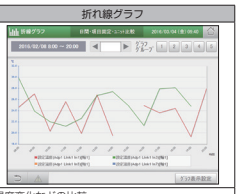
画面メニュー	概要	ページ
棒グラフ	エネルギー（電気、ガス）の使用量などを棒グラフで表示します	119
折れ線グラフ	温度変化などを折れ線グラフで表示します	123

グラフ表示機能について

本機には、省エネ管理機能として「グラフ表示」機能が搭載されています。
室内ユニット、室外ユニット、パルスメーターなどからデータを収集し、表示期間（日間、月間、年間）などを設定してグラフに表示します。

グラフの種類

本機で表示できるグラフは2種類です。

	棒グラフ	折れ線グラフ
表示例		
おもな使用目的	積算データ（サーモON運転時間など）の比較	温度変化などの比較

グラフの設定

グラフを表示するには、以下を設定する必要があります。
（○は設定できる項目です）

● 表示期間

表示期間	棒	折れ線	説明
日間	○	○	一日のデータ推移を時間単位（1時間）で表示します。
月間	○	○	一月のデータ推移を日単位（1日）で表示します。
年間	○		一年のデータ推移を月単位（1月）で表示します。

● 表示方法

表示方法	棒	折れ線	説明
ランキング	○		項目の集計値を元に、ワースト/ベストの上位10台を表示します。
ユニット単位		○	ユニットの項目別データを表示します。（項目は固定）
ユニット比較	○		ユニット（機器は4台まで選択可）別に項目のデータを表示します。
項目単位		○	
前日比較	○	○	項目およびユニットの当日および前日、前々日の3日間のデータを表示します。
自由選択	○	○	項目を自由に選択します。

● ユニット

ユニット	棒	折れ線	説明
室内機	○	○	表示対象を室内ユニットに設定します。
室外機	○	○	表示対象を室外ユニットに設定します。
積算	○		表示対象を積算（パルスメーター）に設定します。
エリア	○		表示対象をエリアグループに設定します。

● グラフ種別・データ種別

	種別	棒	折れ線	説明
グラフ	並列※1	○		X軸の1単位に、選んだユニットまたはデータを横に並べます。
	積み上げ※2	○		X軸の1単位に、選んだ各ユニットのデータを積み上げます。
	ユニット別※3	○		X軸をユニットにします（表示順の昇順に10台）。
データ	最高※4		○	選んだ項目の最高値をデータとして扱います。
	最低※4		○	選んだ項目の最低値をデータとして扱います。
	平均※4		○	選んだ項目の平均値をデータとして扱います。
	指定時刻		○	選んだ項目の指定した時刻の値をデータとして扱います。

※1　表示例（並列）



※2　表示例（積み上げ）



※3　表示例（ユニット別）



※4　表示期間で「月間」を選んだときに設定できます。

● 項目

選んだユニットによって、設定できる項目が異なります。

●棒グラフ

ユニット	日間	月間	年間
室内機	総運転時間（分） サーモON運転時間（分）	総運転時間（分） 電気使用量（kWh） 発電ガス使用量（m^3） 空調ガス料金（¥）	サーモON運転時間（分） 空調ガス使用量（m^3） 電気料金（¥） 発電ガス料金（¥）
室外機	室外機運転回数（回）　エンジン運転時間（分）　インバーター積算発電量（kWh） ソーラー積算発電量（kWh）		
パルス	増加量　消費電力量（kWh）		
エリア	総運転時間（分） サーモON運転時間（分）	総運転時間（分） 電気使用量（kWh） 発電ガス使用量（m^3） 空調ガス料金（¥）	サーモON運転時間（分） 空調ガス使用量（m^3） 電気料金（¥） 発電ガス料金（¥）

●折れ線グラフ

ユニット	日間	月間
室内機	設定温度（℃）　室内温度（℃）　吹出温度（℃）　吸込温度（℃）	
室外機	外気温度（℃）　インバーター瞬時発電量（W）　ソーラー瞬時発電量（W）	

お知らせ

- 表示方法で［ユニット単位］を選んだ場合は、該当するユニットのすべての項目を表示します。（項目は選べません）

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

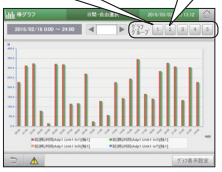
[自由選択]について

●「項目を自由に設定する」(P.126)

棒グラフ、折れ線グラフともに表示方法から[自由選択]を選ぶと、ユニットと項目の自由な組み合わせでグラフを表示できます。目的に応じて、設定を「グラフグループ」として登録しておけば、毎回項目を設定することなく、簡単に表示させることができます。(表示期間などは設定する必要があります)
グラフグループは5グループまで登録できます。

例　グラフグループ1には、室内ユニット1台の総運転時間、サーモON運転時間、電気使用量の月間推移を登録

例　グラフグループ2には、室外ユニット2台の室外機運転回数、エンジン運転時間の日間推移を登録



運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する

表示期間(日間、月間、年間)を指定して、エネルギー使用量(電気、ガス)や総運転時間、料金(電気、ガス)など、おもに積算データを棒グラフにして表示します。
グラフには目標値を設定することができます(グラフ上には赤ラインが表示されます)。目標値を設定することで、省エネへの意識もより高まります。

1 [省エネ]の[省エネ管理]をタッチする



2 [棒グラフ]をタッチする

●メイン画面が表示されます。



3 [グラフ表示設定]をタッチする

●表示設定画面が表示されます。



4 表示範囲を設定する



(画面は「日間」を選んだ場合)

項目	説明
表示期間(日間/月間/年間)	表示期間についてはP.116を参照してください。
表示日 表示月 表示年	表示する日付を設定します。 ●「日間」選択時 1) ▦をタッチします。 2)「カレンダー」ダイアログで表示する日付を選びます。 [今日]をタッチすると、当日の日付になります。 ●「月間」「年間」選択時 1) ◁ ▷ で表示する月または年を選びます。 [今月]または[今年]をタッチすると、当月または当年になります。
X軸	◁ ▷ で時間または期間の最初と最後をそれぞれ設定します。 ●「日間」の場合は00:00 ～ 24:00、1時間単位 ●「月間」の場合は1日～31日、1日単位
データ単位	X軸1目盛の単位を示します。 日間：1時間固定 月間：1日固定 年間：1ケ月固定
Y軸1(左) Y軸2(右)	数値軸の範囲を設定します。 「自動設定」にチェックが入っていると、数値の最大値、最小値を自動で設定します。 最大値と最小値を手動で設定する場合は、チェックをはずし、テキストボックスに数値を入力します。

次ページに続く

5 [表示項目設定]をタッチする

●「表示項目設定」画面が表示されます。



6 表示方法を選ぶ

●表示方法についてはP.116を参照してください。



(以降、「ユニット比較」を選んだ例で説明します)

7 ユニットを選ぶ

●ユニットについては、P.116を参照してください。



8 グラフ種別を選ぶ

●グラフ種別についてはP.117を参照してください。
●表示方法で[ランキング]を選んだ場合は、「ワースト」「ベスト」のいずれかを選びます。



9 Y軸の表示単位を設定する

① [軸1]をタッチする

●「表示単位設定」ダイアログが表示されます。
●Y軸の表示単位を選びます。



② 表示する単位をタッチする

●設定が登録され、「表示単位設定」ダイアログが閉じられます。



次ページに続く

10 項目を選ぶ

●設定できる項目についてはP.117を参照してください。
●1項目のみ選ぶことができます。



11 機器名を選ぶ

●「選択」欄にチェックを入れます。
●表示方法で「ランキング」、グラフ種別で「ユニット別」を選んだ場合は、すべての機器を対象にするため選ぶ必要はありません。



お知らせ

- 表示方法、グラフ種別の設定によって選べる台数が異なります。

表示方法	グラフ種別	
	並列	積み上げ
ユニット比較	4台まで	4台まで
前日比較	1台のみ	1台のみ

12 軸目標値を設定する

●[軸1目標値]をタッチして、ソフトテンキーで数値を入力します。
●グラフの目標値に青いラインが表示されます。
●設定は任意です。
●表示方法で「ランキング」を選んだ場合は設定できません。



13 [グラフ表示]をタッチする

●メイン画面にグラフが表示されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

棒グラフの表示例

種別	表示方法		
	ランキング	ユニット比較	前日比較
ワースト/ベスト	 ※1	—	—
並列	—	 ※2	 ※2 ※3
積み上げ	—	 ※2	 ※2 ※3
ユニット別	—	 ※2 ※3	 ※2 ※3

※1　［ワースト］/［ベスト］をタッチすると、ランキングを切り換えることができます。
※2　［並列］/［積み上げ］/［ユニット別］をタッチすると、グラフ種別を切り換えることができます。
※3　◀ ▶ をタッチして、表示するユニットを1台単位で切り換えることができます。（例：1号機～ 10号機が表示されている場合、▶ をタッチすると、2号機～ 11号機の表示に切り替わります。）

お知らせ
- ［グラフ表示設定］をタッチすると、表示範囲および表示項目を変更できます。

温度変化をグラフ化する

表示期間（日間、月間）を指定して、設定温度や室内温度などの変化を折れ線グラフにして表示します。

1 ［省エネ］の［省エネ管理］をタッチする



2 ［折れ線グラフ］をタッチする

- メイン画面が表示されます。



3 ［グラフ表示設定］をタッチする

- 表示設定画面が表示されます。



4 表示範囲を設定する



（画面は「月間」を選んだ場合）

項目	説明
表示期間（日間/月間）	表示期間についてはP.116を参照してください。
表示日 表示月	表示する日付を設定します。 • ［日間］選択時 1）▦をタッチします。 2）［カレンダー］ダイアログで、表示する日付を選びます。 ［今日］をタッチすると、当日の日付になります。 • ［月間］選択時 1）◀ ▶ で表示する月を選びます。 ［今月］をタッチすると、当月になります。
X軸	▲ ▼ で時間または期間の最初と最後をそれぞれ設定します。 • ［日間］の場合は00:00 ～ 24:00、1時間単位 • ［月間］の場合は1日～ 31日、1日単位
データ単位	X軸1目盛の単位を示します。 日間：［5分］/［1時間］のいずれかを選択します。 月間：1日固定
Y軸1（左） Y軸2（右）	数値軸の範囲を設定します。 ［自動設定］にチェックが入っていると、数値の最大値、最小値を自動で設定します。 最大値と最小値を手動で設定する場合は、チェックをはずし、テキストボックスに数値を入力します。

次ページに続く

5 ［表示項目設定］をタッチする

- ［表示項目設定］画面が表示されます。



6 表示方法を選ぶ

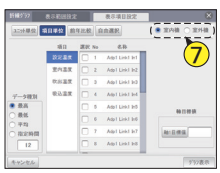
- 表示方法についてはP.116を参照してください。



（以降、「項目単位」を選んだ例で説明します）

7 ユニットを選ぶ

- ユニットについては、P.116を参照してください。



8 データ種別を選ぶ

- データ種別についてはP.117を参照してください。
- 表示期間で［日間］を選んだ場合は設定しません。



9 項目を選ぶ

- 設定できる項目についてはP.117を参照してください。
- 1項目のみ選ぶことができます。
- 表示方法で［ユニット単位］を選んだ場合は、項目固定になるため設定する必要はありません。



10 機器名を選ぶ

- 機器名は1台のみ設定できます。
- 表示方法で［項目単位］を選んだ場合は、機器名を4台まで設定できます。



次ページに続く

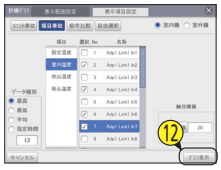
11 軸目標値を設定する

- ［軸1目標値］をタッチして、ソフトテンキーで数値を入力します。
- グラフの目標値に青いラインが表示されます。
- 設定は任意です。



12 ［グラフ表示］をタッチする

- メイン画面にグラフが表示されます。
- 設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



折れ線グラフの表示例

表示方法		
ユニット単位	項目単位	前日（前年）比較
	 ※1	 ※1

※1　◀ ▶ をタッチして、表示するユニットを1台単位で切り換えることができます。（例：1号機～ 10号機が表示されている場合、▶ をタッチすると、2号機～ 11号機の表示に切り替わります。）
ただし、ユニット単位の場合は、◀ ▶ をタッチして表示を切り換えることはできません。

お知らせ
- ［グラフ表示設定］をタッチすると、表示範囲および表示項目を変更できます。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

項目を自由に設定する

表示方法から[自由選択]を選ぶと、ユニットと項目を自由に組み合わせた表示項目でグラフ表示することができます。
たとえば、次のような組み合わせで設定できます。

- 室内ユニット01の総運転時間、サーモON運転時間、電気使用量の月間推移を棒グラフに表示する
- 室内ユニット03および06の設定温度、室内温度の日間推移を折れ線グラフに表示する

設定する

1 [省エネ]の[省エネ管理]をタッチする



2 グラフの種類を選ぶ

●メイン画面が表示されます。



3 [グラフ表示設定]をタッチする

●表示設定画面が表示されます。



4 表示範囲を設定する

●詳細については、棒グラフは「運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する」(P.119)の手順4、折れ線グラフは「温度変化をグラフ化する」(P.123)の手順4を参照してください。

5 [表示項目設定]をタッチする

●「表示項目設定」画面が表示されます。



6 [自由選択]を選ぶ



次ページに続く

7 ユニットを選ぶ



8 グラフ種別を選ぶ

●この設定は「棒グラフ」選択時のみです。
●グラフ種別についてはP.117を参照してください。

9 Y軸の表示単位を設定する

① [軸1]または[軸2]をタッチする

●「表示単位設定」ダイアログが表示されます。



② 表示する単位を選ぶ

●設定が登録され、「表示単位設定」ダイアログは閉じられます。



10 [軸設定]をタッチし、表示する軸を選ぶ

●データ項目を表示する軸を選びます。
●タッチするたびに「軸1」「軸2」が切り換わります。



11 項目を選ぶ

●設定できる項目についてはP.117を参照してください。
●1項目のみ選ぶことができます。
●表示方法で[ユニット単位]を選んだ場合は、項目固定になるため設定する必要はありません。



12 機器名を選ぶ



次ページに続く

13 ▶をタッチし、表示項目リストに追加する



14 手順11 ～ 13を繰り返し、表示項目を設定する

●表示項目は4つまで追加できます。
●表示項目リストから削除する場合は、表示項目を選び、▶をタッチします。

15 軸目標値を設定する

●[軸1目標値]または[軸2目標値]をタッチしてソフトテンキーで数値を入力します。
●グラフの軸1目標値に青いラインが表示され、軸2目標値にピンクのラインが表示されます。
●設定は任意です。



16 [グラフ表示]をタッチする

●メイン画面にグラフが表示されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



グラフグループとして登録する

1 [省エネ]の[省エネ管理]をタッチする



2 グラフの種類を選ぶ

●メイン画面が表示されます。



3 グラフグループを選び(3-1)、[グラフ表示設定]をタッチ(3-2)する

●表示設定画面が表示されます。



4 グラフの表示設定を行う

●「設定する」(P.126 ～ 128)の手順4 ～ 14に従ってグラフの表示設定を行ってください。

5 [グラフグループ登録]をタッチする

●「グラフグループXXを上書き登録しますか？」(XXは選んでいるグラフグループの設定番号)というメッセージが表示されます。



6 [登録]をタッチする

●設定が登録されます。
●登録を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

登録済みのグラフを表示する

1 メイン画面で、表示する「グラフグループ」の番号をタッチする



2 [グラフ表示設定]をタッチする

●表示設定画面が表示されます。



3 表示範囲を設定する

●詳細については、棒グラフは「運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する」(P.119)の手順4、折れ線グラフは「温度変化をグラフ化する」(P.123)の手順4を参照してください。

4 [グラフ表示]をタッチする

●メイン画面にグラフが表示されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。

お知らせ

- グラフ表示中にグラフグループ番号をタッチすると、他に登録されたグラフを表示することができます。

登録済みのグラフを変更する

1 表示する「グラフグループ」の番号をタッチする



2 [グラフ表示設定]をタッチする

●表示設定画面が表示されます。



3 設定を変更する

●表示範囲変更の設定詳細については、棒グラフは「運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する」(P.119)の手順4、折れ線グラフは「温度変化をグラフ化する」(P.123)の手順4を参照してください。
●表示項目変更の設定詳細については、棒グラフは「運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する」(P.120～121)の手順5～12、折れ線グラフは「温度変化をグラフ化する」(P.124～125)の手順5～11を参照してください。

次ページに続く

4 [表示項目設定]画面で、[グラフグループ登録]をタッチする

●「「グラフグループXX」を上書き登録しますか？」(XXは選んでいるグラフグループの設定番号)というメッセージが表示されます。



5 [登録]をタッチする

●設定が登録されます。
●登録を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- [グラフグループ呼出]をタッチして、他のグラフグループの表示項目設定を変更することもできます。



ネットワーク経由で本機の遠隔操作を行う



本章では、ネットワーク経由で本機の遠隔操作を行うために必要な設定から操作画面の表示方法まで説明します。

本機は、ネットワークを経由して外部から遠隔操作をすることができます。
遠隔操作はパソコンからブラウザを起動して行います。
操作できるのは、本機に登録されたユーザーのみです。また、権限によって本機の操作を制限することもできます。

画面メニュー	概要	ページ
ネットワーク設定	ネットワーク経由で遠隔操作するための設定を行います	133
Webユーザー設定	ネットワーク経由で本機にアクセスできるユーザーを登録します	135

ネットワーク設定を行う

ネットワーク経由で遠隔操作を行うためには、最初にネットワーク設定を行う必要があります。
ネットワーク設定については、あらかじめネットワーク管理者にご相談ください。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。

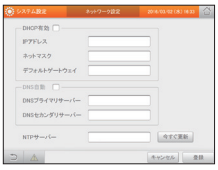


2 [ネットワーク設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると[ネットワーク設定]画面が表示されます。



3 各設定を行う



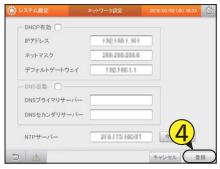
項目	説明
DHCP有効	DHCPサーバーを使用する場合は、チェックを入れます。 有効にすると、「IPアドレス」「ネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」は設定できなくなります。
IPアドレス	本機のIPアドレスを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」および「255.255.255.255」には設定できません。
ネットマスク	本機のネットマスクを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
デフォルトゲートウェイ	必要に応じて、本機のデフォルトゲートウェイを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
DNS自動	DNSサーバーのIPアドレスを自動的に取得する場合は、チェックを入れます。 自動取得にすると、「DNSプライマリサーバー」「DNSセカンダリサーバー」は設定できなくなります。
DNSプライマリサーバー	DNSプライマリサーバーのIPアドレスを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
DNSセカンダリサーバー	DNSセカンダリサーバーのIPアドレスを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
NTPサーバー	NTPサーバーで時刻同期を行う場合は、NTPサーバーのIPアドレスを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。設定後、[今すぐ更新]をタッチすると、時刻同期を開始します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。

次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



Webユーザー設定を行う

ネットワーク経由で本機にアクセスできるユーザーを登録します。最大64人まで登録できます。
権限(管理者、オペレーター、一般ユーザー)によって操作を制限できます。

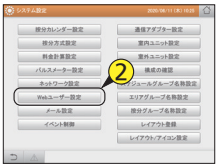
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [Webユーザー設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「Webユーザー設定」画面が表示されます。



3 登録するユーザーIDの「選択」欄にチェックを入れる



4 [編集]をタッチする

●「ユーザー設定編集」ダイアログが表示されます。



5 パスワードを入力する

●テキストボックスをタッチすると、ソフトキーボードが表示されます。入力方法については、「文字列の入力について」(P.208)を参照してください。
●パスワードは8文字以上(必ず半角英数字を含むこと)で入力してください。



次ページに続く

6 権限を選ぶ

●「0：管理者」「1：オペレーター」「2：一般ユーザー」のいずれかを選びます。
●「0：管理者」に設定できるのは1人だけです。



7 操作対象を選ぶ

●タッチすると、各「操作対象選択」ダイアログが表示されます。
●各操作対象(「室内機」「制御グループ」「エリア」)を選びます。
●権限を「0：管理者」に設定すると、全操作が対象となるため、操作対象は選べません。



8 操作対象機器を選び(8-1)、 を タッチする(8-2)

●右の一覧(Web対象機器)に操作対象機器が移動します。操作対象機器を選んで をタッチすると、元に戻ります。
●複数の操作対象を選ぶことができます。



9 [登録]をタッチする

●設定が登録され、「操作対象選択」ダイアログが閉じられます。
●登録を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



10 [登録]をタッチする

●設定が登録され、「ユーザー設定編集」ダイアログが閉じられます。



11 他のユーザーを登録する

●手順3～10を繰り返します。

次ページに続く

12 「登録」欄にチェックを入れる

●ネットワークで操作できるユーザーを選びます。



13 [登録]をタッチする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「Webユーザー設定」画面

A：チェックを入れると、ユーザー設定編集の対象になります。

B：チェックを入れたユーザーは、ネットワーク経由で操作できるようになります。

権限	ユーザーの権限を示します。 0：管理者 1：オペレーター 2：一般ユーザー
室内機 制御グループ エリア	ユーザーは、「○」の付いたカテゴリーを操作できます。

C：タッチすると、「ユーザー設定編集」ダイアログが表示されます。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

遠隔操作を行う

パソコンのブラウザから本機の遠隔操作を行います。

1 ブラウザを起動する

2 インテリジェントコントローラーにアクセスするためのアドレスを入力する

- アドレスは「https://***.***.***.***/intelicon/index.php」です。
  ..***.***はネットワーク設定で設定したIPアドレスです。
  例：https://192.168.1.101/intelicon/index.php
- ログイン画面が表示されます。



3 「Webユーザー」「Password」を入力する

- Webユーザー設定(P.135)で設定した個人のユーザーID、パスワードを入力します。
- 操作画面が表示されます。
- 各操作は本機の操作と同じです。



データのバックアップ/復元を行う



本章では、データのバックアップ方法、復元方法について説明します。

本機には、設定データ、積算/按分データ、ログデータをUSBメモリーに保存できる機能があります。(バックアップ機能)
また、保存したデータを再び本機に読み込む機能があります。(復元機能)
定期的にデータをUSBメモリーに保存しておけば、落雷などの停電で本体内部のデータが破損しても元通りにすることができます。

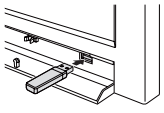
画面メニュー	概要	ページ
バックアップ	各データ(設定、履歴)をUSBメモリーに保存します	140
復元	本機内あるいはUSBメモリーにバックアップしたデータを復元します	142
レイアウトバックアップ	レイアウトのデータをUSBメモリーに保存します	144
レイアウト復元	USBメモリーにバックアップしたレイアウトのデータを復元します	145
CSV出力	本機の設定をCSVファイルとしてエクスポート(出力)します	147
CSV入力	本機の設定をCSVファイルとしてインポート(入力)します	149
自動CSV保存	本機内に自動生成されたCSVファイル(積算、按分、履歴)を保存します	151

データのバックアップを行う

設定データ、ログデータをUSBメモリーに保存できます。ネットワーク経由でバックアップすることもできます。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

- ネットワーク経由でバックアップをする場合、この手順は必要ありません。



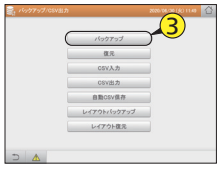
2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

- 「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



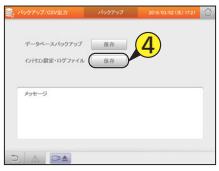
3 [バックアップ]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「バックアップ」画面が表示されます。



4 「インテリコン設定・ログファイル」の[保存]をタッチする

- 保存を開始します。保存が終了すると、メッセージが表示されます。
- ネットワーク経由でバックアップする場合は、保存場所を指定します。
- 続けて、他のバックアップ項目も同じ操作で保存できます。



5 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

- 「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
- USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



お知らせ

- バックアップファイルは1日に1回自動生成され、本機内に保存されます。本操作は、保存されているバックアップファイルをUSBメモリーに保存する操作です。
- バックアップできる項目は以下のとおりです。

インテリコン設定	インテリジェントコントローラー本体の設定内容などを保存します。
ログファイル	システム内部のログファイルを保存します。

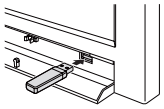
- バックアップする時間はデータ量により異なります。
- バックアップされるファイルは6種類です。
  icxsysset.zip
  icxsyslog.zip
  icxappset.zip
  icxapplog.zip
  icxapplog_now.zip
  icxsyslog_now.zip
- ネットワーク経由でバックアップする場合、他の端末でバックアップしているとき、この操作は実行できません。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

データの復元を行う

本機内あるいはUSBメモリーにバックアップ(保存)したデータを復元できます。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



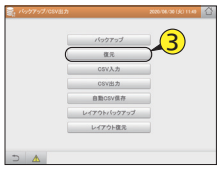
2 [設定]の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

●[バックアップ/CSV出力]画面が表示されます。



3 [復元]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると[復元]画面が表示されます。



4 復元元および復元設定を選ぶ

●復元元は、[本体]、[USBメモリ]から選びます。
●復元設定は、[アプリケーション設定]、[システム設定]から選びます。



5 [復元]をタッチする

●復元を開始します。復元が終了すると、[再起動します]というメッセージが表示されます。



6 [OK]をタッチする

●本機が再起動します。復元されたデータは再起動することがあります。

次ページに続く

7 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●[安全にUSBメモリを取り外すことができます。]というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



お知らせ

- 復元できる項目は以下のとおりです。

本体設定の復元	インテリジェントコントローラー本体の設定内容などを復元します。

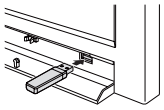
- 復元する時間はデータ量により異なります。
- 復元されたデータはバックアップ時のものになります。

レイアウトのバックアップを行う

レイアウトのバックアップデータをUSBメモリーに保存できます。ネットワーク経由でバックアップすることもできます。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

●ネットワーク経由でバックアップをする場合、この手順は必要ありません。



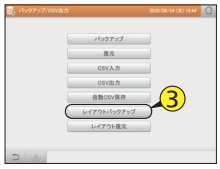
2 [設定]の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

●[バックアップ/CSV出力]画面が表示されます。



3 [レイアウトバックアップ]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると[バックアップ]画面が表示されます。



4 [バックアップ]をタッチする

●保存を開始します。保存が終了すると、メッセージが表示されます。
●ネットワーク経由でバックアップする場合は、ブラウザのダウンロード保存先に保存されます。



5 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●[安全にUSBメモリを取り外すことができます。]というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



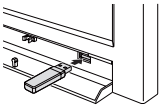
お知らせ

- バックアップファイルやファイル名を変更・改造した場合は、インテリジェントコントローラーが動作しなくなることがありますのでご注意ください。
- ファイル名は以下の形式となります。
(YYYYMMDD：データ出力日)
layout_YYYYMMDD.laybak

レイアウトの復元を行う

USBメモリーにバックアップ(保存)したレイアウトのデータを復元できます。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



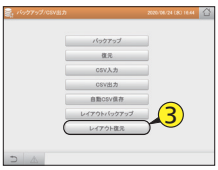
2 [設定]の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

●[バックアップ/CSV出力]画面が表示されます。



3 [レイアウト復元]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると[復元]画面が表示されます。

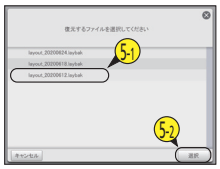


4 [ファイル選択]をタッチする



5 [復元するファイル]を選び(5-1)、[選択]をタッチ(5-2)する

●取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 [復元]をタッチする

●取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

7 [OK]をタッチする

●復元を開始します。復元が終了すると、「レイアウトファイルの復元が正常に終了しました」というメッセージが表示されます。
●取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



8 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



設定をCSVファイルとして出力する

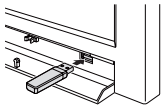
本機の設定をCSVファイルとしてエクスポート(出力)します。

エクスポートの対象となる設定は以下のとおりです。

- 室内機ユニット設定
- 室外機ユニット設定
- 按分グループ設定
- スケジュールグループ設定
- パルスメーター設定
- 通信アダプター設定
- エリア設定
- スケジュール
- イベント

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

●ネットワーク経由でバックアップをする場合、この手順は必要ありません。



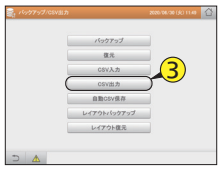
2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

●「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



3 [CSV出力]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「CSV出力」画面が表示されます。



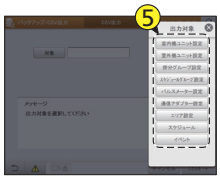
4 [対象]をタッチする

●「出力対象」ダイアログが表示されます。



5 エクスポートする設定名をタッチする

●設定が登録され、「出力対象」ダイアログが閉じられます。



次ページに続く

6 [エクスポート]をタッチする

●エクスポートを開始します。エクスポートが終了すると、「○○○のCSVファイルのエクスポートが正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。
●他の設定をエクスポートする場合は、手順4～6を繰り返してください。
●エクスポートを取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- エクスポートする時間はデータ量により異なります。

7 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



設定をCSVファイルとして入力する

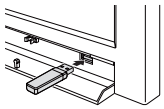
本機の設定をCSV形式でインポート(入力)します。

インポートの対象となる設定は以下のとおりです。

- 室内機ユニット設定
- 室外機ユニット設定
- 按分グループ設定
- スケジュールグループ設定
- パルスメーター設定
- 通信アダプター設定
- エリア設定

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

●ネットワーク経由でインポートする場合、この手順は必要ありません。



2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

●「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



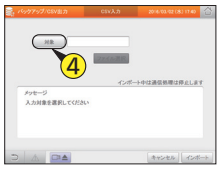
3 [CSV入力]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「CSV入力」画面が表示されます。



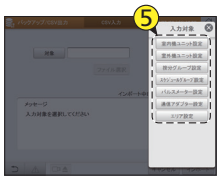
4 [対象]をタッチする

●「入力対象」ダイアログが表示されます。



5 インポートする設定名をタッチする

●設定が登録され、「入力対象」ダイアログが閉じられます。

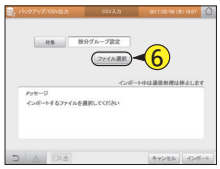


次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

6 [ファイル選択]をタッチする

- ファイル選択画面が表示されます。
- ネットワーク経由の場合は、ファイル選択ダイアログが表示されます。



8 [インポート]をタッチする

- インポートを開始します。
- インポートを取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 インポートするファイルを選び、[選択]をタッチする

- ファイル選択画面が閉じられます。
- ファイル選択を中止する場合は、[キャンセル]をタッチします。
- ネットワーク経由の場合は、ファイル選択ダイアログでファイルを選び、[OK]をクリックします。



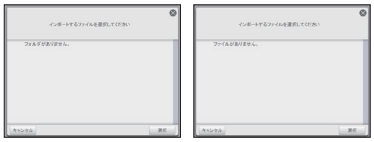
9 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

- 「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
- USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



お知らせ

- インポートする時間はデータ量により異なります。
- CSVファイルは、USBにエクスポート(出力)された場所からインポート(入力)されますので、別のパソコンで編集した場合は、必ずUSBの元の場所に上書きしてください。
  格納場所が異なっている場合は「フォルダがありません」または「ファイルがありません」と表示されます。

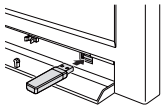


自動生成ファイルを保存する

本機内に自動生成されたCSVファイル(按分、履歴)をZIP形式でUSBメモリーに保存します。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

- ネットワーク経由でダウンロードする場合、この手順は必要ありません。



2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

- 「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



3 [自動CSV保存]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「自動CSVファイル保存」画面が表示されます。



4 保存するCSVファイルの種類を選ぶ



5 保存する「年」を選ぶ



6 保存する「月」を選ぶ

- 複数の「月」を選択できます。
- スワイプあるいはフリックで「月」の表示を上下にスクロールできます。



次ページに続く

7 [保存]をタッチする

- 確認のメッセージが表示されます。
- ネットワーク経由の場合は保存場所を指定します。
- ファイルの保存を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



8 [OK]をタッチする

- 保存が開始されます。保存が終了すると、終了のメッセージが表示されます。

9 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

- 「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
- USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



お知らせ

- 按分データおよびログデータは、1日に1回CSVファイルとして本機内に自動生成されます。CSVファイルは月ごとに自動生成されます。
- 本操作は、年月を指定してCSVファイルをUSBメモリーに保存する操作です。ネットワークを経由してダウンロードすることもできます。

システム設定を行う

システム設定

本章では、システム運営上必要な設定のしかたについて説明します。

おもな設定は以下のとおりです。

- グループ設定(スケジュール、エリア、按分)
- パルスメーター設定、按分方式設定、料金計算設定
- メール設定

画面メニュー	概要	ページ
按分カレンダー設定	按分計算の特定日、締め日、各曜日の按分計算の対象時間帯(時間内範囲)を設定します	161
室内ユニット設定	各室内ユニットの設定を行います	154
スケジュールグループ名称設定	スケジュールのグループ名を編集します	164
エリアグループ名称設定	エリアグループのグループ名を編集します	166
パルスメーター設定	パルスメーターと按分グループの割り当てを行います	171
按分方式設定	料金計算を行うときの按分方式を設定します	173
料金計算設定	電気料金およびガス料金の単価を設定します	174
イベント制御	入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定し、連動的な制御を行います	175
メール設定	メール送信サーバーを設定します	181
室外ユニット設定	各室外ユニットの設定を行います	158
按分グループ名称設定	按分グループのグループ名を編集します	168
通信アダプター設定	本機に接続されている通信アダプターを登録します	183
レイアウト/アイコン設定	レイアウトと室内機アイコンの表示項目を設定します	185

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

室内ユニットの基本設定を行う

室内ユニットの詳細設定(室内ユニットアドレス、所属グループなど)を表示します。設定を変更することもできます。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [室内ユニット設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「室内ユニット設定」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する(P.155)



4 [登録]欄にチェックを入れる

●管理対象とする室内ユニットにチェックを入れます。
●集中アドレスの自動設定を行っている場合は、この操作は不要です。(→「集中アドレスを自動設定する」(P.157))



5 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「室内ユニット設定」画面

A：室内ユニットが接続されているアダプター(本機、通信アダプター)を選びます。

B：室内ユニットが接続されているリンク系統を選びます。

C：タッチする(設定オン)と、「接続」欄に「有」と表示されている室内ユニットのみ一覧表示します。再度タッチすると、すべての室内ユニットが一覧表示されます。(設定オフ)

D：タッチする(設定オン)と、「登録」欄にチェックを入れた室内ユニットのみ一覧表示されます。再度タッチすると、すべての室内ユニットが一覧表示されます。(設定オフ)

E：各室内ユニットの詳細設定を一覧表示します。



項目	説明
[選択]	設定を編集する室内ユニットにチェックを入れます。
No.	連番を示します。
名称	室内ユニットの名前を表示します。
アドレス	室内ユニットアドレスを表示します。
接続	本機に接続している場合は、「有」と表示されます。
親機	親機の場合は、「親」と表示されます。
登録	本機の管理対象とする場合はチェックを入れます。
操作対象外	操作の対象外となっている場合は「○」、操作の対象となっている場合は「×」が表示されます。
管理対象外	本機の管理の対象外となっている場合は「○」、管理の対象となっている場合は「×」が表示されます。
表示順	表示順を示します。
集中アドレス	集中アドレスを表示します。
制御グループ	所属する制御グループ名を表示します。
スケジュールグループ	所属するスケジュールグループ名を表示します。
エリア	所属するエリア名を表示します。
按分グループ※	所属する按分グループ名を表示します。
能力	室内ユニットの運転能力値を表示します。
能力固定	室内ユニットの能力固定値を表示します。
室内型式	室内ユニットの型式名を表示します。
製品種別	製品種別(PAC、GHP)を表示します。
電気ヒーター	電気ヒーターの容量値を表示します。

※按分方式(P.173)を「時間」に設定した場合は、PACとGHPを同じ按分グループに登録しないでください。

F：「登録」欄にチェックを入れている室内ユニットに対して集中アドレスを自動で設定します。(→「集中アドレスを自動設定する」(P.157))

G：タッチすると、「選択」欄にチェックを入れた室内ユニットの「ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。

お願い
- 按分方式(→「按分方法を設定する」(P.173))が「時間」の場合は、PACとGHPを同一の按分グループに登録しないでください。

設定を編集する

1 「選択」欄にチェックを入れる

●複数選ぶこともできます。



2 [編集]をタッチする

●「ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
名称	室内ユニットの名前を変更します。テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。
室内機アドレス	▲▼で設定したい室内ユニットアドレス(1～31)を選択します。([31]は熱交換ユニットまたはローカルアダプターに設定します)
室内機アドレス	▲▼で設定したい室内ユニットアドレス(1～64)を選択します。
表示順	▲▼で、一覧で表示されるときの順番(0～256)を設定します。
集中アドレス	集中アドレス(1～64)を設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトテンキーで入力します。 お知らせ • 集中アドレスは他の集中コントローラー(システムコントローラー、マルチコントローラーなど)で共通して使用されるアドレスです。不必要に変更しないようにしてください。 • 重複したアドレスを設定すると、エラーメッセージが表示されます。 • 複数の室内ユニットを選択している場合は設定できません。
能力固定	室内ユニットの能力固定値を設定します。(ローカルアダプター設置時) テキストボックスをタッチし、ソフトテンキーで入力します。
電気ヒーター容量	電気ヒーター搭載機種の場合、電気ヒーターの容量を設定します。(負荷按分計算時) テキストボックスをタッチし、ソフトテンキーで入力します。
グループ登録 • 制御グループ • スケジュールグループ • エリア • 按分グループ	所属するグループを登録します。各テキストボックスをタッチすると、グループ名がリスト表示されます。 お知らせ • 同じグループに所属する室内ユニットの「選択」欄にチェックを入れて設定編集すると、まとめて登録できます。
操作対象外	操作の対象外にする場合は「○」、対象とする場合は「×」を選びます。
管理対象外	本機の管理から対象外にする場合は「○」、対象とする場合は「×」を選びます。

次ページに続く

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



5 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
- 同じエリアの室内ユニットを複数の按分グループに登録しないでください。
- 時間按分の場合、PACとGHPを同じエリアおよび按分グループに設定しないでください。

集中アドレスを自動設定する

1 「登録」欄にチェックを入れる

●管理対象とする室内ユニットにチェックを入れます。



2 [集中アドレス自動]をタッチする



お知らせ
- 集中アドレスは他の集中コントローラー(システムコントローラー、マルチコントローラーなど)で共通して使用されるアドレスです。不必要に変更しないようにしてください。
- 「ユニット設定編集」ダイアログで集中アドレスを設定したあとで[集中アドレス自動]を行うと、集中アドレスは上書きされます。
- ブラウザで表示した場合、室内ユニットの名称が使用する文字によって画面に表示しきれない場合がありますので、ご注意ください。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

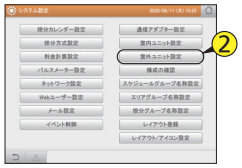
室外ユニットの基本設定を行う

室外ユニットの詳細設定(室外ユニットアドレスなど)を表示します。名称などの設定を変更することもできます。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする
- 「システム設定」画面が表示されます。



2 [室外ユニット設定]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「室外ユニット設定」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する(P.159)



4 [登録]欄にチェックを入れる
- 管理対象とする室外ユニットにチェックを入れます。



5 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「室外ユニット設定」画面



A：室外ユニットが接続されているアダプター（本機、通信アダプター）を選びます。

B：室外ユニットが接続されているリンク系統を選びます。

C：タッチする（設定オン）と、「登録」欄にチェックを入れた室外ユニットのみ一覧表示されます。再度タッチすると、すべての室外ユニットが一覧表示されます。（設定オフ）

D：各室外ユニットの詳細設定を一覧表示します。

項目	説明
[選択]	設定を編集する室外ユニットにチェックを入れます。
No.	連番を示します。
名称	室外ユニットの名前を表示します。
アドレス	室外ユニットアドレスを表示します。
冷暖フリー	室外ユニットが冷房・暖房兼用タイプの場合は「○」、専用タイプの場合は「×」と表示されます。
登録	本機の管理対象とする場合はチェックを入れます。
表示順	表示順を示します。
製品種別	製品種別(PAC、GHP)を表示します。

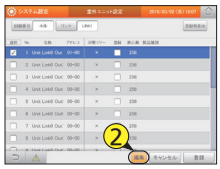
E：タッチすると、「選択」欄にチェックを入れた室外ユニットの「室外ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。

設定を編集する

1 「選択」欄にチェックを入れる
- 複数選ぶこともできます。



2 [編集]をタッチする
- 「室外ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
名称	室外ユニットの名前を変更します。全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。
系統アドレス	で、設定したい室外ユニット系統アドレス(1～30)を選択します。
系統内番号(子機番号)	で、設定したい系統内の個別番号(0～3)を選択します。
表示順	で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

4 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



5 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



按分計算の基本設定を行う

按分計算の特定日、締め日、各曜日の按分計算の対象時間帯(時間内範囲)を設定します。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする
- 「システム設定」画面が表示されます。



2 [按分カレンダー設定]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「按分カレンダー設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
特定日カレンダー	特定日(休日など時間帯に関係なく、終日特別な按分設定日)を設定します。当月から2年先まで登録できます。(→「特定日を登録する」(P.162))
締め日	毎月の締め日を設定します。月末の日を登録すれば、他の月も自動的に月末が登録されます。
時間内範囲	曜日ごとに按分時間帯を設定します。「有効」にチェックを入れると、時間内範囲の設定が可能になります。「時間内範囲設定」をタッチすると、「時間内範囲設定」ダイアログが表示されます。(→「按分計算の対象時間帯を設定する」(P.163))

4 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

特定日を登録する

1 特定日とする日付をタッチする

- ◀ ▶ で登録月を選びます。当月に戻す場合は、［今月］をタッチします。
- タッチすると、日付欄の色が変わります。再度タッチすると、元に戻ります。ただし、過去の日付は登録できません。
- 曜日単位で特定日を登録する場合は、曜日欄をタッチします。



締め日を設定する

1 ＜ ＞ をタッチする

- 日を先に送る場合は ＜ を、戻す場合は ＞ をタッチします。



按分計算の対象時間帯を設定する

1 ［時間内範囲設定］をタッチする

- 「時間内範囲設定」ダイアログが表示されます。



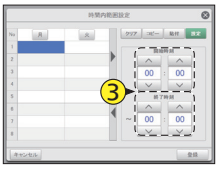
2 入力するセルをタッチする

- 曜日欄をタッチすると、選んだ曜日すべての時間帯を選択できます。



3 開始時刻および終了時刻を設定する

- ＜ ＞ で時、分をそれぞれ設定します。



4 ［設定］をタッチする

- 設定した時間がセルに表示されます。
- 設定した時間帯を削除するには、削除する時間帯を選び、［クリア］をタッチします。
- 設定した時間帯をコピーするには、コピーする時間帯を選び、［コピー］をタッチします。次に、貼り付ける場所を選び、［貼付］をタッチします。



5 ［登録］をタッチする

- 「時間内範囲設定」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



6 「有効」にチェックを入れる



スケジュールグループの名称を変更する

稼働スケジュールのグループ名を編集します。

1 「設定」の［システム設定］をタッチする

- 「システム設定」画面が表示されます。



2 ［スケジュールグループ名称設定］をタッチする

- 暗証番号（パスワード　レベル1または2）を入力すると「スケジュールグループ名称設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

- 編集対象となるスケジュールグループ名を選びます。



4 ［編集］をタッチする

- 「スケジュールグループ設定編集」ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	スケジュールグループ名を変更します。全角で8文字（英数半角で16文字）まで入力できます。
表示順	＜ ＞ で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

次ページに続く

6 ［登録］をタッチする

- 「スケジュールグループ設定編集」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



7 「有効」欄にチェックを入れる

- 稼働スケジュールで使用するスケジュールグループにチェックを入れます。



8 ［登録］をタッチする

- 設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



「スケジュールグループ名称設定」画面

A：編集対象となるグループにチェックを入れます。

B：スケジュールグループを使用する場合にチェックを入れます。

C：選択しているスケジュールグループに所属している室内ユニットが表示されます。

D：タッチすると、「スケジュールグループ設定編集」ダイアログが表示されます。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

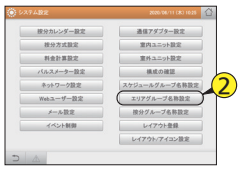
エリアグループの名称を変更する

エリアグループのグループ名を編集します。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする
- 「システム設定」画面が表示されます。



2 [エリアグループ名称設定]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「エリアグループ名称設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる
- 編集対象となるエリアグループ名を選びます。



4 [編集]をタッチする
- 「エリアグループ設定編集」ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	エリアグループ名を変更します。全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。
表示順	▲ ▼ で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

次ページに続く

6 [登録]をタッチする
- 「エリアグループ設定編集」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 「有効」欄にチェックを入れる
- 使用するエリアグループにチェックを入れます。



8 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「エリアグループ名称設定」画面

A：編集対象となるグループにチェックを入れます。

B：エリアグループを使用するグループ名にチェックを入れます。

C：選択しているエリアグループに所属している室内ユニット名が表示されます。

D：タッチすると、「エリアグループ設定編集」ダイアログが表示されます。



按分グループの名称を変更する

按分グループのグループ名を編集します。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする
- 「システム設定」画面が表示されます。



2 [按分グループ名称設定]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「按分グループ名称設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる
- 編集対象となる按分グループ名を選びます。



4 [編集]をタッチする
- 「按分グループ設定編集」ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	按分グループ名を変更します。全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。
表示順	▲ ▼ で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

次ページに続く

6 [登録]をタッチする
- 「按分グループ設定編集」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 「有効」欄にチェックを入れる
- 按分計算で使用する按分グループにチェックを入れます。



8 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
- 時間按分の場合、1つの按分グループ内に「PAC」「GHP」は混在できません。それぞれ別のグループに設定してください。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

「按分グループ名称設定」画面

A：編集対象となるグループにチェックを入れます。

B：按分グループを使用する場合にチェックを入れます。

C：選択している按分グループに所属している室内ユニットが表示されます。

D：タッチすると、「按分グループ設定編集」ダイアログが表示されます。



パルスメーターの基本設定を行う

パルスメーターと按分グループの割り当てを行います。

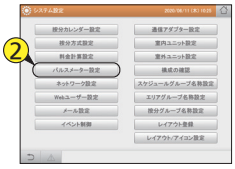
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [パルスメーター設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「パルスメーター設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●編集対象となるパルスメーターを選びます。



4 [編集]をタッチする

●「パルスメーター設定編集」ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	パルスメーター名を変更します。 全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。
単位名称	パルスメーター表示の単位を入力します。
乗率	▲▼で、パルスメーター表示の乗率を設定します。
小数点以下桁数	▲▼で、パルスメーター表示の小数点以下の桁数を設定します。(0～3)
表示順	▲▼で、一覧で表示されるときの順番を設定します。
種類	▲▼で、パルスメーターの種類を設定します。 設定は「電力」「ガス」「発電」「水道」「氷」から選びます。

次ページに続く

項目	説明
按分グループ	測定する按分グループを設定します。 タッチすると、「按分グループ選択」ダイアログが表示されます。測定する按分グループを選び、[選択]をタッチします。

6 [登録]をタッチする

●「パルスメーター設定編集」ダイアログが閉じられます。

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 「登録」欄にチェックを入れる

●登録を有効にするパルスメーターにチェックを入れます。



8 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「パルスメーター設定」画面

A：「登録」欄にチェックを入れたパルスメーターのみ一覧表示します。

B：編集するパルスメーターにチェックを入れます。

C：登録を有効にするパルスメーターにチェックを入れます。

D：タッチすると、「パルスメーター設定編集」ダイアログが表示されます。



按分方法を設定する

料金計算を行うときの按分方式を設定します。
按分方式には、次の2つの方式があります。
時間按分：室内ユニットの運転時間(サーモON累積時間、サーモOFF累積時間)を元に按分率を算出する方法です。
負荷按分：室内ユニットおよび室外ユニットの電気/ガス使用量(待機電力を含む)などを元に按分率を算出する方法です。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [按分方式設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「按分方式設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う



4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



項目	説明
按分方式	按分方式(時間按分、負荷按分)を設定します。 •「スマートマルチ」は負荷按分できません。
発電ガス按分	発電ガスを使用している場合に按分計算するか、しないかを選びます。 •「しない」に設定すると、エリア請求および請求方法は設定できません。
エリア請求	発電ガスのエリア請求をするか、しないかを選びます。 •「しない」に設定すると、請求方法は設定できません。
請求方法	発電ガスの請求方法を設定します。
省エネ振り分け	冷暖フリーや氷蓄熱機種などにおける省エネ効果を按分計算に反映させる範囲を設定します。(負荷按分時のみ) •「室外系統」は室外系統のエリアの空調按分にだけ反映されます。 •「按分グループ」は按分グループ全体の全エリアの空調按分に反映されます。
電力按分計算対象	電力按分の計算対象を設定します。 •「運転時間」は室内ユニット、室外ユニット両方の電力を按分します。 •「サーモON時間」は室外ユニットの電力のみを按分します。
GHP室外運転電力	室外機の運転電力を反映させるかどうかを設定します。 •「あり」：反映させます。 「なし」：反映させません。

お知らせ

- 按分方式を途中で変更した場合、異なる按分方式が混在した期間を指定しての按分はできません。按分方式変更前、変更後の期間でそれぞれ集計を行い、合算するなどの運用をしてください。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

電気/ガス料金の単価を設定する

電気料金およびガス料金の単価を設定します。

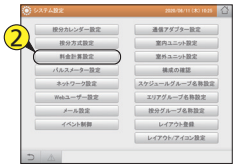
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [料金計算設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「料金計算設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う

●テキストボックスをタッチすると、ソフトテンキーが表示されます。



項目	説明
電気料金単価 ガス料金単価	電気あるいはガス料金の単価設定画面に切り替えます。 タッチして反転表示されているものが設定対象です。
時間帯単価設定	時間内範囲1 ～ 8の単価を設定します。 • 時間内範囲の時間帯は「按分カレンダー設定」の「時間内範囲設定」(P.163)で設定したものです。
時間外	時間外の単価を設定します。
特定日	特定日の単価を設定します。 • 特定日は「按分カレンダー設定」の「特定日カレンダー」(P.162)で設定したものです。
全時間	時間内範囲、時間外、特定日のいずれにも属さない時間の単価を設定します。

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



空調機を連動的に制御する

入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定することで、空調機(室内ユニット、室外ユニット)の連動的な制御を行います。
たとえば、火災警報が発令される(入力ポイント)と、室内ユニットの運転を一斉に停止する(出力ポイント)ような設定をすることができます。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [イベント制御]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「イベント制御」画面が表示されます。



3 イベント名を選ぶ

●◀ ▶でイベントを登録するイベント名を選びます。
●イベント名は変更できます。(→「イベント名を変更する」(P.180))



4 入力ポイント枠を選び(4-1)、[設定]をタッチ(4-2)する

●「入力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



5 一覧から入力対象を選ぶ

●入力対象には、空調警報、デジタル入出力機器、室内ユニット(個別、制御グループ)があります。



次ページに続く

6 入力条件を設定する

●選んだ入力対象によって設定できる条件が異なります。



●空調機警報一括を選んだとき

項目	説明
警報一括	「発生」「復旧」のいずれかを選びます。 • 「発生」は、異常警報が発信されたときを示します。 • 「復旧」は、異常から復旧したときを示します。

●空調機運転一括を選んだとき

項目	説明
運転一括	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、室内ユニットが1台以上運転を開始したときを示します。 • 「停止」は、すべての室内ユニットが運転を停止したときを示します。

●デジタル入出力機器を選んだとき

項目	説明
デジタル入力	「ON」「OFF」のいずれかを選びます。 • 「ON」は、デジタル入力信号がオンになったときを示します。 • 「OFF」は、デジタル入力信号がオフになったときを示します。

●室内ユニットを選んだとき

室内機※	運転	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、室内ユニットが運転を開始したときを示します。 • 「停止」は、室内ユニットが運転を停止したときを示します。
	警報	「発生」「復旧」のいずれかを選びます。 • 「発生」は、異常警報が発信されたときを示します。 • 「復旧」は、異常から復旧したときを示します。
	室温	室温を設定します。テキストボックスをタッチすると、ソフトテンキーが表示されます。 「以上」「以下」のいずれかを選びます。 • 「以上」は、設定した室温以上になったときを示します。 • 「以下」は、設定した室温以下になったときを示します。

※右のうちの一つを条件項目として設定します

7 [登録]をタッチする

●「入力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



8 出力ポイント枠を選び(8-1)、[設定]をタッチ(8-2)する

●「出力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



9 一覧から出力対象を選ぶ

●出力対象には、デジタル入出力機器、室内ユニット(一斉、個別、制御グループ)、室外ユニットがあります。



次ページに続く

10 出力条件を設定する

●選んだ出力対象によって設定できる条件が異なります。



●室内機一斉を選んだとき

項目	説明
室内機一斉	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、入力ポイントに登録されている室内ユニットが1台以上運転を開始することを示します。 • 「停止」は、すべての室内ユニットが運転を停止することを示します。

●デジタル入出力機器を選んだとき

項目	説明
デジタル出力	「ON」「OFF」のいずれかを選びます。 • 「ON」は、デジタル出力信号をオンにすることを示します。 • 「OFF」は、デジタル出力信号をオフにすることを示します。

●室内ユニットを選んだとき

室内機※	運転	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、室内ユニットの運転を開始することを示します。 • 「停止」は、室内ユニットが運転を停止することを示します。
	モード	切り換える運転モードを選びます。 (→「運転モードを設定する」(P.180))
	設定温度	設定温度を設定します。
	省エネ	「有効」「無効」のいずれかを選びます。

●室外ユニットを選んだとき

室外機 蒸発温度	[切替]をタッチして、「設定なし」「レベル1」「レベル2」「レベル3」のいずれかを選びます。

※右のうちの一つを出力として設定します。

11 [登録]をタッチする

●「出力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



12 「判定条件」を選ぶ

●[AND] [OR]のいずれかを選びます。
(→P.179)



お知らせ

• 通信アダプター(別売)のデジタル出力を利用する場合は、通信アダプター基板上での設定が必要です。
室内外操作線の接続設定(メニュー 05-02)を「0」(空調機接続あり)にします。
空調機の接続が無い場合でも必要となります。

次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

13 出力遅延時間を設定する

① [出力遅延時間]をタッチする

●「出力遅延時間」設定ダイアログが表示されます。



② 出力遅延時間を選ぶ

●入力ポイント条件を満たしたときの出力ポイントの発動時間を設定します。



14 「有効」にチェックを入れる

●チェックを入れると、設定したイベント制御が動作するようになります。



15 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- イベント制御は最大50件登録できます。
- 1イベントあたり入力ポイントおよび出力ポイントの条件はともに最大32件登録できます。

「イベント制御」画面

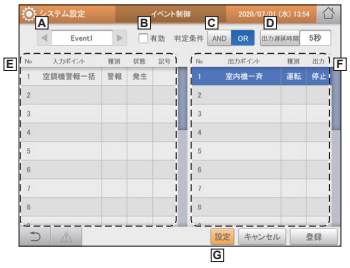
A：◀ ▶でイベント名を設定します。イベント名は変更することもできます。（→「イベント名を変更する」(P.180)）

B：チェックを入れると、選んでいるイベント名の設定が有効になります。

C：判定条件を選びます。

AND	入力ポイントに設定した条件がすべて一致したときに出力ポイントのイベントを実行します。
OR	入力ポイントに設定した条件のうち、1つでも一致したときに出力ポイントのイベントを実行します。

D：出力ポイントのイベントを実行するタイミング(時間)を設定します。タッチすると、「出力遅延時間」設定ダイアログが表示されます。設定値は「0秒」「1秒」「3秒」「5秒」「10秒」「30秒」「1分」「3分」「5分」「10分」です。



E：設定した入力ポイント一覧を表示します。

入力ポイント	条件項目が設定された入力対象を表示します。
種別	入力対象の種別を表示します。
状態	入力対象の状態を表示します。
記号	室内ユニットの室温を条件項目に設定している場合に記号を表示します。表示される記号の種類は以下のとおりです。 ↑：室温を「以上」に設定している場合 ↓：室温を「以下」に設定している場合

F：設定した出力ポイント一覧を表示します。

出力ポイント	条件項目が設定された出力対象を表示します。
種別	出力対象の種別を表示します。
出力	出力対象の状態を表示します。

G：入力ポイント枠あるいは出力ポイント枠を選んでタッチすると、それぞれの設定ダイアログが表示されます。

イベント名を変更する

1 テキストボックスをタッチする

●ソフトキーボードが表示されます。



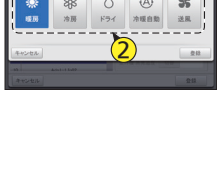
2 文字列を入力する

●半角英数字で入力します。

運転モードを設定する

1 「出力ポイント設定」ダイアログで、[切替]をタッチする

●「モード切換」ダイアログが表示されます。



2 切り替えるモードを選ぶ

●設定が登録され、「運転モード」ダイアログが閉じられます。

入力/出力ポイントの設定を削除する

1 削除する入力/出力ポイントを選び(1-1)、[設定]をタッチ(1-2)する

●設定ダイアログが表示されます。



2 リストの先頭にある空白の行を選択する

●設定を解除するためには、リストの先頭にある空白の行を選択してください。



3 [登録]をタッチする

●設定ダイアログが閉じられ、選んだ入力/出力ポイントが一覧から削除されます。



送信メールの設定を行う

警報が発生したとき、本機は警報メールを自動的に送信することができます。
メール送信サーバーやメールの送信先を設定します。

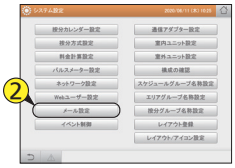
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [メール設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「メール設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明	
SMTPサーバー（送信）	SMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を設定します。	
SMTPサーバーポート番号	SMTPサーバーのポート番号(0～65535)を設定します。(工場出荷状態：25)	
送信者アカウント名	送信メールの送り元に記載するメールアドレスを設定します。	
SMTP認証※1	ユーザーID	SMTP認証時のユーザーIDを設定します。
	OP25B	チェックを入れると、SMTPサーバーポート番号を「587」に自動設定します。
	パスワード	SMTP認証時のパスワードを設定します。
	認証方式	認証方式を「LOGIN」「CRAM-MD5」から選びます。
SSL/TLS設定(SMTPs)※2	暗号化方法を「SSL/TLS」「STARTTLS」から選びます。	
送信先設定	タッチすると、「警報メール送信先設定」ダイアログが表示されます。(→「送信先を設定する」(P.182))	

※1 チェックを入れると、左の設定が有効になります。
※2 チェックを入れると、SMTPサーバーポート番号を「465」に自動設定します。

お知らせ

- 「OP25B」「SSL/TLS設定(SMTPs)」を設定すると、SMTPサーバーポート番号は自動的に変わります。設定の優先順位は、「OP25B」>「SSL/TLS設定(SMTPs)」です。
- 上記の設定を行うと、SMTPサーバーポート番号の変更はできません。設定を解除すると、SMTPサーバーポート番号は工場出荷状態の値(25)になり、任意の設定値を入力できます。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

送信先を設定する

「警報メール送信先設定」ダイアログで、送信先の設定を行います。

1 各設定を行う



項目	説明
メールアドレス	警報メールを送信するメールアドレスを設定します。 タッチすると、ソフトキーボードが表示され、メールアドレスを変更できます。
有効	チェックを入れると、警報メール送信の対象となります。
アダプタ通信異常	チェックを入れると、通信アダプターで通信異常が発生した場合に警報メールを送信します。
室内機未接続	チェックを入れると、室内ユニットで未接続警報が発生した場合に警報メールを送信します。
テストメール送信	設定しているメールアドレスにテストメールを送信します。

2 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。

通信アダプターを登録する

本機に接続されている通信アダプターを登録して空調機との通信を可能な状態にします。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする



2 [通信アダプター設定]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル2）を入力すると「通信アダプター設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●編集対象となる通信アダプターを選びます。



4 [編集]をタッチする

●「通信アダプター設定編集」ダイアログが表示されます。



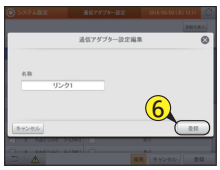
5 各設定を行う



項目	説明
名称	通信アダプター名を変更します。 全角で8文字（英数半角で16文字）まで入力できます。

6 [登録]をタッチする

●「通信アダプター設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



次ページに続く

7 他の通信アダプターを編集する場合は、手順3～6を繰り返す

8 「登録」欄にチェックを入れる

●登録を有効にする通信アダプターにチェックを入れます。



9 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチする



「通信アダプター設定」画面

A：タッチすると、「登録」欄にチェックを入れた通信アダプターのみ一覧表示します。再度タッチすると、元の表示に戻ります。

B：編集する通信アダプターにチェックを入れます。

C：登録を有効にする通信アダプターにチェックを入れます。

D：タッチすると、「通信アダプター設定編集」ダイアログが表示されます。

お知らせ

- 「アドレス」欄の「LINK1」「LINK2」が本機内、「1-LINK1」「1-LINK2」などが増設した通信アダプターのアドレスを示します。



レイアウト/アイコンの設定を行う

温度、室内ユニットの情報を表示します。設定を変更することもできます。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。

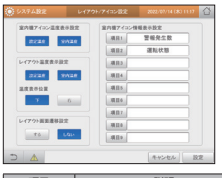


2 [レイアウト/アイコン設定]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル2）を入力すると「レイアウト/アイコン設定」画面が表示されます。



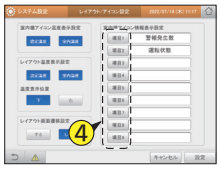
3 各設定を行う



項目	説明
室内機アイコン温度表示設定	設定温度や室内温度の表示、非表示を設定します。
レイアウト温度表示設定	設定温度や室内温度の表示、非表示を設定します。
温度表示位置	温度表示の位置（下、右）を設定します。
レイアウト画面遷移設定	「室内機基本」、「発生中警報一覧」画面の室内ユニット名称を長押しした際、「レイアウト」画面へ遷移する、しない）を設定します。

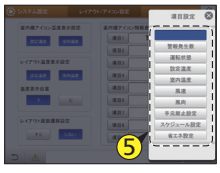
4 「項目1」～「項目11」をタッチする

●設定を変更する項目を選びます。
●「項目設定」ダイアログが表示されます。



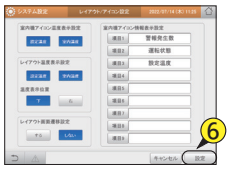
5 表示したい項目をタッチする

●選択した項目が表示されます。



6 [設定]をタッチする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

メンテナンス設定を行う

本体メンテナンス

本章では、日時の設定方法や、音量、画面の明るさの調整方法などについて説明します。

画面メニュー	概要	ページ
表示・音量設定	本機画面の明暗調整やブザー音の調整を行います	187
本体表示	本機のサービス連絡先(電話番号)を登録します	188
ソフトウェアアップデート	本機のソフトウェアのアップデートを行います	189
初期化	本機の設定を初期化します ユーザーは絶対に初期化を行わないでください。	190
日時設定	日時を手動で設定します	192

空調機メンテナンス

画面メニュー	概要	ページ
試運転	本機設置後、室内ユニットの試運転を行います	193
空調機との通信設定	本機－空調機間の通信方式などを設定します	196
保守登録	メンテナンス対象となるユニットを登録します	198
冷媒安全対策装置確認	冷媒安全対策装置の回路検査状態を確認します	199

本機の画面表示、音量を設定する

本機画面の明るさを調整したり、ブザー音の調整をしたりできます。

1 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする
- 「本体メンテナンス」画面が表示されます。



2 [表示・音量設定]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「表示・音量設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
明るさ	バックライトの明るさを5段階(1～5)で調整します。
操作後の消灯時間	指定時間"だけ画面操作をしないと、自動的にバックライトを消灯します。[無効]をタッチすると、画面は消灯しません。 ※ 時間には1分ほどの誤差があります。
清掃モード	[開始]をタッチすると、すべての操作が無効になり、液晶モニターの清掃を行うことができます。 [終了]をタッチすると、解除されます。
自動ログアウトの時間	指定時間で自動的にログアウトします。 ([30分][1時間][12時間])
ブザー音量	ブザーの音量を調整します。[消音]をタッチすると、音は出ません。 ※冷媒漏えいに関する警報が発生した場合は、ブザー音量を[消音]にしていてもブザー音が鳴ります。

4 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



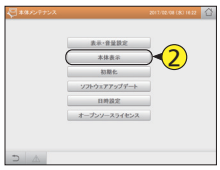
本機のサービス連絡先を登録する

本機のサービス連絡先(電話番号)を登録します。

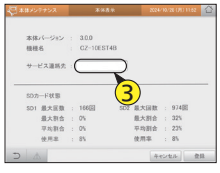
1 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする
- 「本体メンテナンス」画面が表示されます。



2 [本体表示]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「本体表示」画面が表示されます。



3 テキストボックスをタッチする
- ソフトキーボードが表示されます。



4 電話番号を入力する

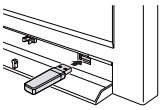
5 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



ソフトウェアをアップデートする

USBメモリーから本機ソフトウェアのアップデートを行います。
この操作はサービスマンが行います。

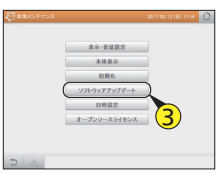
1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



2 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする



3 [ソフトウェアアップデート]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「ソフトウェアアップデート」画面が表示されます。



4 アップデートするバージョンを選び(4-1)、[開始]をタッチ(4-2)する
- ソフトウェアアップデート確認のメッセージが表示されます。



5 [OK]をタッチする
- 再度確認のメッセージが表示されます。
- アップデートを取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。

6 [アップデート]をタッチする
- ソフトウェアのアップデートを開始します。アップデート中は進捗状況をパーセント表示します。
- アップデートが完了すると、本機は自動的に再起動を行います。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

初期化・ログレベルを設定する

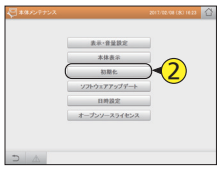
本機の初期化、暗証番号(パスワード)およびログ出力のレベルを設定します。

初期化を行うと、すべてのデータを消去してしまいます。
管理者以外は絶対に初期化を行わないでください。

1 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする
●「本体メンテナンス」画面が表示されます。



2 [初期化]をタッチする
●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「初期設定」画面が表示されます。



初期化を行う

1 初期化の種類を選ぶ



項目	説明
工場出荷時	すべてのデータ(設定値、積算データ、按分データ)を消去します。
当日積算データ初期化	運転した当日の積算データのみ消去します。試運転で空調機を運転したときなどに行います。

2 [初期化]をタッチする
●確認メッセージが数回表示されますので、[OK]をタッチしてください。
●初期化を開始します。
●初期化を完了すると、「初期化を完了しました。コントローラー本体を再起動しています。」というメッセージが表示されます。



暗証番号を設定する

画面メニューによっては、暗証番号(パスワード)で、設定・操作を制限しています。暗証番号にはレベル(レベル1、2)があります。

1 レベルごとに暗証番号を入力する
●テキストボックスをタッチすると、ソフトキーボードが表示されます。
●暗証番号は4文字以上(必ず半角英数字を含むこと)を入力してください。



2 [登録]をタッチする
●設定が登録されます。



ログ出力レベルを設定する

本機に記録されているログデータを出力する際のレベルを設定します。
設定するログレベルにより、出力されるログデータの内容は異なります。

1 ログレベルを選ぶ



2 [変更]をタッチする
●設定が登録されます。



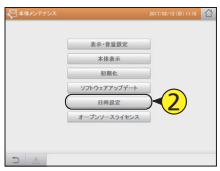
日時を設定する

日時を手動で設定します。NTPサーバー（P.133）を利用している場合は設定する必要はありません。

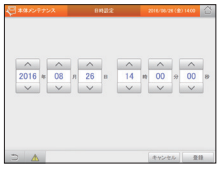
1 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする
●「本体メンテナンス」画面が表示されます。



2 [日時設定]をタッチする
●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「日時設定」画面が表示されます。



3 日時を設定する



項目	説明
年 月 日	年月日を設定します。 で「年」「月」「日」をそれぞれ設定します。
時※ 分 秒	時間を設定します。 で「時」「分」「秒」をそれぞれ設定します。 ※「時」は24時間制で設定します。

4 [登録]をタッチする
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
- 手動で時間を30分以上戻さないでください。
  室内ユニットの基本設定でエラーが出たり、按分結果に影響が出る場合があります。

試運転を行う

室外ユニット系統アドレスごとに室内ユニットの試運転を行うことができます。

1 [設定]の[空調機メンテナンス]をタッチする
●「空調機メンテナンス」画面が表示されます。



2 [試運転]をタッチする
●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「試運転」画面が表示されます。



3 回線番号を選ぶ
① [回線番号]をタッチする
●「回線番号」ダイアログが表示されます。



② 回線番号を選ぶ
●設定が登録され、「回線番号」ダイアログは閉じられます。



4 リンクを選ぶ
① [リンク]をタッチする
●「リンク」ダイアログが表示されます。



② 試運転するリンク系統を選ぶ
●設定が登録され、「リンク」ダイアログは閉じられます。
●選んだリンク系統の室外ユニットが一覧表示されます。



次ページに続く

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

5 「選択」欄にチェックを入れる

●試運転する室外ユニットを選びます。
●複数の室外ユニットも選べます。



6 [操作]をタッチする

●操作ダイアログが表示されます。



7 運転モード([冷房][暖房])を選び(7-1)、[運転]をタッチ(7-2)する

●設定が登録され、操作ダイアログは閉じられます。
●試運転を開始します。



8 「状態」欄を確認する

●試運転中は、「状態」欄に運転モード(冷房の場合は ❄、暖房の場合は 🔥)が表示されます。



9 試運転を停止する場合は、[操作]をタッチし、操作ダイアログの[停止]をタッチする

「試運転」画面

A：試運転する室外ユニットの回線番号を選びます。タッチすると、「回線番号」ダイアログが表示されます。

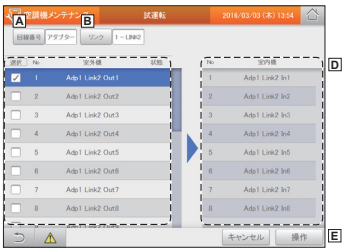
B：試運転する室外ユニットのリンク系統を設定します。タッチすると、「リンク」ダイアログが表示されます。

C：室外ユニットを一覧表示します。

項目	説明
選択	試運転を行う室外ユニットにチェックを入れます。
室外機	Bで選んだリンク系統の室外ユニットを表示します。
状態	試運転中の運転モードを表示します。

D：Cでチェックを入れた室外ユニットに接続されている室内ユニットを表示します。

E：試運転を行います。タッチすると、操作ダイアログが表示されます。



空調機との通信設定を行う

本機－空調機間の通信方式などを設定します。
この設定は3段階で行います。

1 「設定」の[空調機メンテナンス]をタッチする

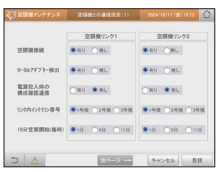


2 [空調機との通信設定]をタッチする

●階証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「空調機との通信設定(1)」画面が表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
空調機接続	空調機との接続の有無を各リンク系統で設定します。
ローカルアダプター検出	ローカルアダプターをシステム内に接続している場合、「有り」に設定すると、本機はローカルアダプターを認識します。
電源投入時の構成確認通信	室内ユニットの増設などシステム構成に変更があった場合、「有り」に設定すると、本機は構成確認を行います。
リンク内インテリコン番号	リンク内にインテリジェントコントローラーが複数存在する場合は子機を2号機、3号機に設定します。 • リンク内に親機(1号機)が無い場合はリモコンレスの室内ユニットがE03警報を発生することがあります。
15分定期開始(毎時)	15分周期の定期通信を開始するタイミングを設定します。 ※特別な指示がない限りリンク1とリンク2は同じ設定にしてください。

4 [次ページ→]をタッチする

●「空調機との通信設定(2)」画面が表示されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。

5 各設定を行う



項目	説明
空調機との通信エラー判断時間	本機－空調機間でエラーが発生した場合の判断時間(10～99)を設定します。▲▼で数値を設定します。
構成変化の抑制	「する」に設定すると、構成変化の可能性警報が発生しにくくなります。
RS485回線の通信速度(bps)	本機－空調機間の通信速度(9600、19200)を設定します。 • 通常は「19200」に設定してください。

次ページに続く

項目	説明
無通信モード	「する」に設定すると、空調機との通信を行わなくなります。空調機との通信が不完全な状態(設置されていない、電源が入らないなど)で、名称の登録など確認だけを行いたい場合に設定します。
チャタリングキャンセル時間(msec)	チャタリングが発生した場合、キャンセル処理するまでの時間を設定します。

6 [次ページ→]をタッチする

●「空調機との通信設定(3)」画面が表示されます。
●「空調機との通信設定(1)」画面に戻る場合は、[←前ページ]をタッチします。
●[キャンセル]をタッチすると、これまでの設定をすべて取り消します。

7 各設定を行う



項目	説明
警報履歴出力	警報履歴に出力するかを選択します。チェックをはずすと、警報メールは送信されません。 以下の点検・警報のみ選択できます。これ以外は設定にかかわらず実行されます。 • 点検サイン： フィルターサイン 点検コード オイル点検 リモコンに表示の点検 • 通信異常： C17警報(本機と空調機間の通信エラー) C06警報(本機と通信アダプター間の通信エラー)

項目	説明
手元リモコン禁止設定	「禁止1」～「禁止4」について、各項目(「運転停止」「温度設定」「モード設定」「風速設定」「風向設定」「省エネ設定」)の手元リモコンでの操作・設定の可/不可を設定します。 タッチするたびに「○」「×」が切り換わります。 • 「○」：手元リモコンでの設定・操作ができる • 「×」：手元リモコンでの設定・操作ができない [初期設定]をタッチすると、工場出荷時の設定に戻ります。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。

8 [登録]をタッチする

●すべての設定が登録されます。
●[キャンセル]をタッチすると、これまでの設定をすべて取り消します。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

ユニットからの警報を無視する

メンテナンス対象となるユニットを登録します。登録すると、本機はユニットから発信された警報などを受け付けなくなります。

1 「設定」の[空調機メンテナンス]をタッチする

●「空調機メンテナンス」画面が表示されます。



2 [保守登録]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「保守登録」画面が表示されます。



3 対象ユニットの「保守登録」欄にチェックを入れる



4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- 冷媒漏えいに関する警報が発生した場合は、保守登録中にしていても警報が表示され、ブザー音が鳴ります。

設定 メンテナンス設定を行う

冷媒安全対策装置の回路検査状態を確認する

冷媒安全対策装置の回路検査状態を確認できます。表示をエリアごとに切り替えることもできます。

1 「設定」の[空調機メンテナンス]をタッチする

●「空調機メンテナンス」画面が表示されます。



2 [冷媒安全対策装置確認]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「冷媒安全対策装置確認」画面が表示されます。



3 冷媒安全対策装置の状態を確認する(P.200)



表示するエリアを選ぶ

1 [エリア表示]をタッチする

●「エリア選択」ダイアログが表示されます。



2 表示するエリアを選ぶ

●エリアグループ(P.166)を9以上登録している場合は、スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。
●「エリア選択」ダイアログが閉じられ、選んだエリアの設定状態が一覧表示されます。



設定 メンテナンス設定を行う

「冷媒安全対策装置確認」画面



A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。

C：一覧に表示するエリアを選びます。
◀ ▶をタッチすると、エリアが切り換わります。[エリア表示]をタッチすると、「エリア選択」ダイアログが表示されます。
(→「表示するエリアを選ぶ」(P.24))
([全エリア]→[エリア1]→[エリア2]→…→[エリアXXX*]→[全エリア])
※"XXX"は登録されているエリアの最終番号を示します。

D：冷媒安全対策装置の状態を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
[選択]	点検対象の室内ユニットにチェックを入れます。
名称	室内ユニットの名称を表示します。 名前の右にアイコンが表示されているときは、何らかの事態が発生していることを示しています。(警報表示) ：室内ユニットのフィルター清掃が必要　：警報発生　：点検発生　：保守登録中
点検動作	現在の点検の状態が表示されます。 OFF：点検停止中　　ON：点検動作中 警報コード/点検コード：警報または点検が発生しています。
内蔵センサ	現在の内蔵の検知センサの状態が表示されます。 正常：漏えい無し　　漏えい中：冷媒漏えい中 漏れ点検：点検漏えい中　　無効：内蔵センサ無し
検知警報器	現在の検知警報器(別置検知センサ)の状態が表示されます。 正常：漏えい無し　　漏えい中：冷媒漏えい中 漏れ点検：点検漏えい中　　未接続：検知警報器の接続無し
換気装置	現在の機械換気装置の運転状態が表示されます。 運転：換気装置運転中　　強風：換気装置強風運転中* 弱風：換気装置弱風運転中*　　停止：換気装置停止中 ※風量切替機種の場合にのみ表示します。
安全しゃ断弁	現在の安全しゃ断弁の開閉状態が表示されます。 □：しゃ断弁開 ■：しゃ断弁閉 ×：しゃ断弁異常発生中
点検日時	前回の点検日時が表示されます。

E：警報発生通知のブザーを停止します。
F：タッチすると、リストが前回点検の履歴表示に切り替わります。(P.202)
G：Dで選んだ室内ユニットの点検を終了します。(P.201)
H：Dで選んだ室内ユニットの点検を開始します。(P.201)

設定 メンテナンス設定を行う

冷媒安全対策装置の回路検査を行う

インテリジェントコントローラーから回路検査を行う場合の操作手順を説明します。

回路検査とは、冷媒の漏えいを想定した条件下で、空調システムに接続された安全装置が正しく作動するかを確認するための検査です。
空調機(ビル用マルチエアコンまたはガスヒートポンプエアコン)にR32冷媒が使用されており、かつ空調システムに安全装置が接続されている場合、本検査の実施が必要になることがあります。

※回路検査の実施可否については、空調機本体の据付工事説明書(別紙編)別紙7 回路検査に従ってください。

1 「設定」の[空調機メンテナンス]をタッチする

●「空調機メンテナンス」画面が表示されます。



2 [冷媒安全対策装置確認]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「冷媒安全対策装置確認」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●回路検査を開始する室内ユニットを選びます。
●[全選択]をタッチすると、一括で選択できます。



4 [点検実行]をタッチする

●「点検実行」ダイアログが表示されます。



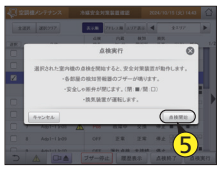
次ページに続く

設定 メンテナンス設定を行う

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

5 [点検開始]をタッチする

●回路検査の実行を指示します。



6 安全対策装置が動作し、ブザーが鳴っていることを確認する

●ブザー音量の設定が「消音」になっている場合、回路検査中はインテリジェントコントローラーのブザーは鳴りません。
●[ブザー停止]をタッチすると、インテリジェントコントローラーのブザーが停止します。



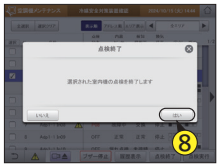
7 点検動作確認後、[点検終了]をタッチする

●点検を終了する室内ユニットに選択チェックがついていることを確認してください。
●「点検終了」ダイアログが表示されます。



8 [はい]をタッチする

●点検終了時の日時や安全対策装置の状態が点検実施履歴として記録されます。



設定 メンテナンス設定を行う

冷媒安全対策装置の点検履歴を確認する

前回の点検が終了した時点の日時と安全対策装置の状態を表示します。

1 「設定」の[空調機メンテナンス]をタッチする

●「空調機メンテナンス」画面が表示されます。



2 [冷媒安全対策装置確認]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル2）を入力すると「冷媒安全対策装置確認」画面が表示されます。



3 [履歴表示]をタッチする

●リストが前回点検終了時の安全対策装置の状態の表示に切り替わります。
●ボタンが[CSV出力]［履歴削除］に切り替わります。



4 前回の点検履歴を確認する



お知らせ
- 前回の点検履歴のみが表示されます。
- 履歴は、点検が終了したときに保存されます。

設定 メンテナンス設定を行う

前回の点検履歴を削除する

インテリジェントコントローラーに保存された前回の点検履歴を削除します。

1 「選択」欄にチェックを入れる

●前回の点検履歴を削除する室内ユニットを選びます。
●[全選択]をタッチすると、一括で選択できます。



2 [履歴削除]をタッチする

●「履歴削除」ダイアログが表示されます。



3 [登録]をタッチする

●インテリジェントコントローラーに記録された前回の点検履歴が削除されます。

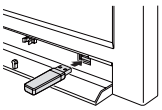


お知らせ
- 削除した履歴は復旧できません。
- 履歴を削除すると前回の点検履歴は表示されなくなります。

設定 メンテナンス設定を行う

CSVファイルとして出力（保存）する

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



2 [CSV出力]をタッチする

●確認画面が表示されます。



3 [OK]をタッチする

●現在表示されている内容がCSV形式でUSBメモリーに保存されます。
●保存が終了すると、保存終了の確認メッセージが表示されます。

4 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。［OK］をタッチしたあとでUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



設定 メンテナンス設定を行う

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

付録

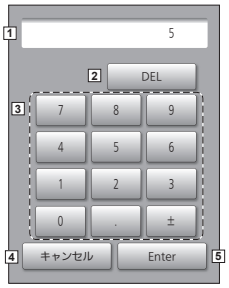
本章では、本機を扱ううえで必要となる情報（数字・文字列入力、用語説明など）やメンテナンス情報などについて説明します。

数字・文字列入力について

数値や文字列を入力するとき、画面に表示される擬似的なキーボードについて説明します。
数値入力するときはソフトテンキー、文字列を入力するときはソフトキーボードが表示されます。

数字の入力について

時間や温度などの数値を入力する場合は、画面上に表示されるソフトテンキーを使用します。
テキストボックスをタッチすると、次のようなソフトテンキーが画面上に表示されます。

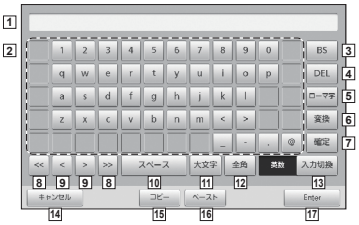


名前	説明
1　入力フィールド	タッチした数値が表示されます。
2　[DEL]キー	入力フィールドに表示されている数値をすべて消去します。
3　数字キー（0～9） [.]（ドット）キー [±]キー	数字をタッチします。 タッチした数字は入力フィールドに表示され、右へ順番に追加されます。 [±]キーをタッチするたびに、数値の前の「−（マイナス）」記号の表示/非表示を切り換えます。
4　[キャンセル]キー	タッチすると、ソフトテンキーが閉じられます。
5　[Enter]キー	入力フィールドに表示されている数値を設定値としてテキストボックスに表示します。

付録

文字列の入力について

名称変更やパスワードなどの文字列を入力する場合は、画面上に表示されるソフトキーボードを使用します。
テキストボックスをタッチすると、次のようなソフトキーボードが画面上に表示されます。



名前	説明
1　入力フィールド	タッチした文字が表示されます。
2　文字キー	文字をタッチします。 タッチした文字は入力フィールドに表示され、右へ順番に追加されます。
3　[BS]キー	タッチするたびに、表示されている文字列をカーソル左側から1文字ずつ消去します。
4　[DEL]キー	タッチするたびに、表示されている文字列をカーソル右側から1文字ずつ消去します。
5　[ローマ字]キー※	入力方式をローマ字入力に切り換えます。（入力モードが「半角英数大」「半角英数小」設定時のみ） 入力フィールドには"かな"で表示されます。 また、「・」（中点）が入力できるようになります。
6　[変換]キー※	入力フィールドに表示されている"かな"文字列を漢字に変換します。再度タッチすると、次候補の漢字が表示されます。
7　[確定]キー※	入力フィールドに表示されている文字列を確定します。
8　[<<][>>]キー	[<<]をタッチすると、文字列の最初にカーソルが移動します。 [>>]をタッチすると、文字列の最後にカーソルが移動します。
9　[<][>]（カーソル移動）キー	タッチするたびに、入力フィールド内のカーソルを左右に1文字分移動させます。
10　[SPACE]キー	タッチするたびに、入力モード（半角、全角）に応じた1文字分のスペースを入力フィールドに追加します。
11　[大文字]キー	英数のキー配列を大文字に切り換えます。
12　[全角]キー※	全角表示にします。
13　[入力切換]キー	タッチして入力モードを切り換えます。 （入力モードは以下の順に切り換わります） 左側には現在の入力モードが表示されます。 英数 ⟷ かな ↕　↕ 記号 ⟷ カナ
14　[キャンセル]キー	タッチすると、ソフトキーボードが閉じられます。
15　[コピー]キー	入力フィールドの文字列をコピーします。
16　[ペースト]キー	[コピー]キーでコピーした文字列を入力フィールドのカーソル位置に貼り付けます。
17　[Enter]キー	入力フィールドに表示されている文字列を設定文字列としてテキストボックスに表示します。

※入力制限時、表示されない場合があります。

付録

外部信号の接続

外部機器からの入・出力信号によって、本機はガス、電気の消費量の計測や、全ユニットのコントロールを行うことができます。
各外部信号の電気的な詳細については、工事説明書を参照してください。

パルスメーター入力

パルスメーター（ガス/燃料流量計、電力量計）の接続により、ガス、電気の消費量を計測することができます。

動作

1パルスごとにカウントします。
1パルスあたりの消費量単位（m^3、kWh）は「パルスメーター設定」(P.171)で設定する必要があります。

一括停止入力

外部信号（火災報知機など）によって、接続されたすべてのユニットを自動的に停止させます。（操作対象外に設定された室内ユニットは除く）

動作例

入力がON状態の間、すべての室内ユニットに停止信号を送信します。

一括運転入力

外部信号によって、すべてのユニットを自動的に運転させます。（操作対象外に設定された室内ユニットは除く）

動作例

入力信号がOFFからONに切り換わったとき、すべての室内ユニットに運転信号を送信します。

一括警報出力

接続されたいずれかのユニットから警報/異常が発生したとき、本機は外部に信号を出力します。この信号は警報モニターなどに利用できます。

動作例

警報/異常発生時に短絡状態となり、復帰時に解放状態となります。

一括運転出力

接続されたいずれかのユニットが1台でも運転しているとき、本機は外部に信号を出力します。

動作例

ユニット（ローカルアダプターを含む）が1台でも運転しているときに短絡状態となり、すべてのユニットが停止するときに開放状態となります。（警報/異常発生中も含む）

お知らせ

- 上記の動作を行うには、「イベント制御」画面での設定が必要です。
- 通信アダプター（別売）から一括警報出力/一括運転出力を行う場合は、通信アダプター基板上での設定が必要です。
  室内外操作線の接続設定（メニュー 05-02）を「0」（空調機接続あり）にします。
  空調機の接続が無い場合でも必要となります。

付録

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

按分計算方法

本機は室内ユニットの累積運転時間(サーモON/サーモOFF)および室内ユニットの能力値によって空調按分率やエネルギー（電気、ガス)の使用量を簡易的に計算することができます。

時間按分の計算方法

室内ユニット個別あるいは按分グループの電力/ガス消費指数、室内ユニット個別あるいはエリアグループの電力/ガス消費按分率を算出します。

按分計算で使用するパラメータの種類

時間按分の計算には、以下のパラメータを使用します。

パラメータ	説明
RHHi	室内ユニットi号機の累積運転時間※(急風)
RHi	室内ユニットi号機の累積運転時間※(強風)
RLi	室内ユニットi号機の累積運転時間※(弱風)
SHHi	室内ユニットi号機のサーモON累積時間(急風)
SHi	室内ユニットi号機のサーモON累積時間(強風)
SLi	室内ユニットi号機のサーモON累積時間(弱風)
Pi	室内ユニットi号機の能力(kW相当値)
k	サーモONとサーモOFF時での電力量の重み付け係数
αHH	急風の風速重み付け係数
αH	強風の風速重み付け係数
αL	弱風の風速重み付け係数

※累積運転時間＝サーモON累積時間+サーモOFF累積時間

お願い
- 按分方式(→「按分方法を設定する」(P.173))が「時間」の場合は、PACとGHPを同一の按分グループに登録しないでください。

室内ユニットi号機の電力/ガス消費指数の計算方法

TEiは室内ユニットi号機の電力消費指数、TGiは室内ユニットi号機のガス消費指数、TOiは室内ユニットi号機の燃料消費指数を示します。

●電力按分計算対象が「運転時間」の場合(運転時間按分)

電力消費指数は「累積運転時間」および「サーモON累積時間」で計算します。
ガス消費指数、燃料消費指数は「サーモON累積時間」で計算します。

• GHPの場合

電気	TEi = (RHHi×αHH+RHi×αH+RLi×αL)×Pi
ガス	TGi = (SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)×Pi

• PACの場合

電気	TEi = {(RHHi×αHH+RHi×αH+RLi×αL)÷k+(SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)}×Pi
ガス	TGi = 0

●電力按分計算対象が「サーモON時間」の場合(サーモON時間按分)

電力消費指数、ガス消費指数、燃料消費指数は「サーモON累積時間」で計算します。

• GHPの場合

電気	TEi = (SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)×Pi
ガス	TGi = (SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)×Pi

• PACの場合

電気	TEi = (SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)×Pi
ガス	TGi = 0

按分グループ全体での電力/ガス消費指数の計算方法

按分グループ全体での電力/ガス消費指数は、該当する按分グループに含まれる室内ユニットの電力/ガス消費指数の総合計です。
TOTALeは按分グループ全体での電力消費指数、TOTALgは按分グループ全体でのガス消費指数、mは該当する按分グループに含まれる室内ユニット台数を示します。

電力消費指数	TOTALe = TE1 + TE2 + … + TEm
ガス消費指数	TATALg = TG1 + TG2 + … + TGm

室内ユニットi号機の電力/ガス消費按分率の計算方法

REiは電力消費按分率、RGiはガス消費按分率を示します。

電力消費按分率	REi (%) = TEi / TOTALe ×100
ガス消費按分率	RGi (%) = TGi / TOTALg ×100

エリアjの電力/ガス消費按分率の計算方法

エリア全体での電力/ガス消費按分率は、該当するエリアに含まれる室内ユニットの電力/ガス消費按分率の総合計です。
NEjはエリアjでの電力消費按分率、NGjはエリアjでのガス消費按分率、nは該当するエリアに含まれる室内ユニット台数を示します。

電力消費按分率	NEj = RE1 + RE2 + … + REn
ガス消費按分率	NGj = RG1 + RG2 + … + RGn

お知らせ
- 風速設定が「急風」のみの機種、および「急風」「弱風」のみの機種は、風速ごとの重み付けは行われません。
- 按分率は小数点以下第3位で四捨五入し、第2位までで表示されます。

空調使用量の計算方法

按分グループ全体、あるいは室内ユニット個別の電力/ガス使用量を算出します。

按分グループ全体の電力/ガス使用量の計算方法

按分グループの電力使用量、ガス使用量の計算式は以下のとおりです。

電力使用量	パルスメーター（電力量計)カウント値×パルス単位量(kWh)
ガス使用量	パルスメーター（ガス流量計)カウント値×パルス単位量(m³)

各室内ユニットの電力/ガス使用量の計算方法

室内ユニット個別の電力使用量、ガス使用量の計算式は以下のとおりです。

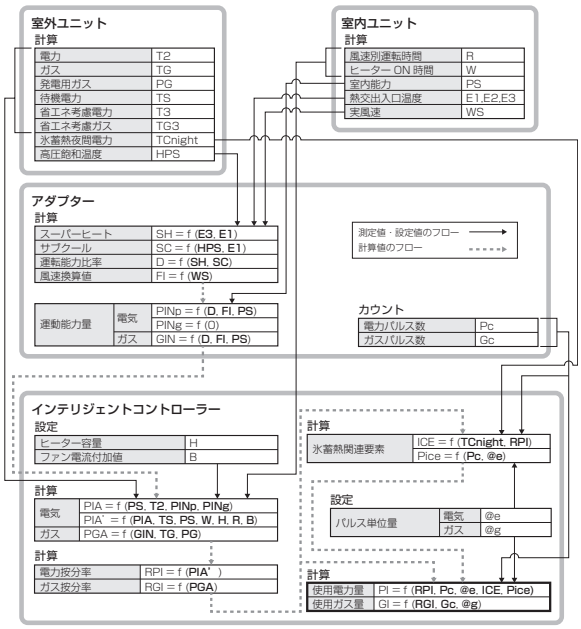
電力使用量	按分グループの電力使用量×室内ユニットの電力消費按分率
ガス使用量	按分グループのガス使用量×室内ユニットのガス消費按分率

室内ユニットの電力/ガス消費按分率の計算方法は、「室内ユニットi号機の電力/ガス消費按分率の計算方法」(P.211)を参照してください。

お知らせ
- 使用量は小数点以下第3位で四捨五入し、第2位までで表示されます。

負荷按分の計算方法

負荷按分は以下のフローに従って計算されます。



お知らせ
- 「f」は関数計算を示します。
  たとえば、「運転能力比率D=f(SH, SC)」は、「スーパーヒートSH」「サブクールSC」を使って運転能力率を計算している、という意味になります。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

知っていただきたいこと

本機をご使用になるうえで知っていただきたいことを説明します。

操作関連

バックアップデータを復元したとき
復元直後の再起動時、「初期通信中」というメッセージが長時間表示される場合があります(最長の目安は約1時間30分)。
このとき、絶対に本機の電源を切らないでください。内部ファイルが破損して起動できなくなるおそれがあります。
起動できなくなった場合は、内部データの修復が必要ですので、お買い上げの販売店またはサービス会社にデータ修理の依頼をしてください。

ビル用マルチ、GHPについて
ビル用マルチ、GHPの室外ユニットデータ(運転回数、運転時間など)は、基準機の内容が表示されます。運転状況による基準機の変更にともない、本機のデータ表示も変動します。

警報履歴画面について
警報履歴画面には警報コードのみが表示されます。同じ警報コードでも機種によっては、警報内容が異なる場合があります。
各機種の取扱説明書などで警報コードに対応する警報内容をご確認ください。

エリア、按分グループの設定について
時間按分の場合、PAC、GHPを同じエリアまたは按分グループに設定すると、正しく按分計算ができません。必ずPACとGHPでエリア、按分グループを分けてください。

時間帯別積算・按分表示について
本機は時間帯別の積算・按分機能を搭載していますが、運転データ送受信の遅延などにより各時間帯(時間内、時間外、特定日)に正確なカウントが配分されないことがあります。

表示の更新時間について
フィルターサインおよびエンジンオイル点検サインの更新は最長7分ごとです。運転積算時間および按分データ(按分率、使用量)の更新は18分ごとです。電気ヒーターON時間の更新は1時間ごとです。

締め処理について
夜00:00から数分間、本日分の締め処理が行われます。その間、すべての操作ができなくなりますのでご注意ください。

運転中、雷や無線などにより誤動作したとき
本機の電源を一旦切り、再度電源を入れてください。
このような場合以外は、原則として電源を切らないでください。空調機を正しく管理できなくなります。

運転時間の累積について
空調按分や空調機の運転時間は、本機の電源が入っている状態で、なおかつ空調機との通信に異常がない状態でのみ行います。
本機の電源が切れていたり、通信異常が発生したりしていると、空調機の運転時間は累積されません。
このような状態が長時間続くと、按分率などの誤差が大きくなりますのでご注意ください。

タッチパネルの操作について
以下の場合、タッチパネルでの操作はできません。
- システム起動処理中
- 接続確認処理中
- 締め処理中
- USBメモリーのアクセス中(バックアップ、復元)
- 外部一括停止中

Web側から入力した一部の文字(特殊文字)は、本機の画面上では表示されないことがあります。

設定関連

設定変更の制限について
空調機の機種によって、設定の変更に制限がある場合があります。
たとえば、
- 冷房専用機種の場合、「暖房」に変更できない
- 床置機種の場合、一部を除き、風速を「急風」以外に変更できない
- 天井埋込型機種の場合、フラップのついていない機種では風向設定はできない

のように、各機種の特性をご理解のうえ、ご使用ください。
詳しくは、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

冷暖モードの変更について
冷暖選択タイプのマルチ機種の場合、異なる冷暖モードに切り替える際は、室内機を全停止させて運転モードを切り替えてから、運転操作を行ってください。

待機電力について(時間按分の場合)
本機は、室内ユニットの運転時間を元に按分計算を行っています。停止中の消費電力/ガス量(待機電力)は按分されません。
たとえば、1ヶ月間、1台も運転されなかった場合の待機電力は、どの按分グループへも按分されません。ただし、1分でも運転した室内ユニットがあった場合、すべての待機電力分は運転した室内ユニットが属する按分グループへ按分されます。
負荷按分の場合は、待機電力も含めて按分されます。

設定変更に伴う画面表示について
本機から室内ユニットの設定を変更した場合、一時的に表示が戻ることがあります(特に、一括操作時)。これは通信の遅れによるもので故障ではありません。

空調按分率、空調使用量について
本機で採用している空調按分率、空調使用量の計算方法は、あくまでも簡易的なものです。電力会社、ガス会社から請求される使用量とは異なります。
運転状況などにより、実際の空調量と按分率の間にも誤差が生する場合があります。
按分率計算上の端数処理(四捨五入)の関係により、次の両者間に誤差が生する場合があります。
- 「按分グループ内のエリアの按分率」と「100.00%」
- 「按分率内訳の合計」と「エリア全体の按分率」
- 「各エリアの使用量の合計」と「パルスメーターにおける全体使用量」
- 「使用量の時間内、時間外、特定日の合計」と「全時間の使用量」

本機は直接エネルギーを計量するものではなく、室内ユニットごとに推定した負荷の比率によって按分(比例配分)計算しますので、あくまでも目安としてご利用ください。

現在の日時設定について
月差±30秒/月(常温25℃)が発生するため、定期的に時報などで日時設定を修正してください。

按分データについて
按分データ集計後に空調機を撤去すると、その空調機の積算値はすべて消去されるため、撤去後にその空調機を含む按分データを再び見ることはできません。
撤去前に必ず、USBメモリに按分データのCSVファイルを出力(保存)しておいてください。
CSVファイルの出力方法は履歴の出力方法と同様です。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

その他

補償について
以下のような場合、当社は補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 暗証番号が第三者に知られた結果、不都合が生じた場合
- USBメモリーが壊れ、バックアップしておいたデータ(積算、按分)が失われた場合

計算上大きな誤差が出やすい場合
一部の機種(セミセントラル機種、床置機種など)、電気ヒーター付きの旧機種などは、空調按分率などの計算において大きな誤差が発生しやすいことがあります。また、消費電力の大きいパン形加湿器を使用した場合も按分計算に加湿器運転時間が反映されず、大きな誤差が発生します。
詳しくは、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

リモコンレスシステムについて
集中機器が1台しか設置されていないリモコンレスシステムでは、その集中機器が故障した場合、空調機を運転できないなどの問題が発生する可能性があります。その安全措置として、複数の集中機器を設置するように推奨いたします。

暗証番号について
暗証番号は必ずメモとして記録するようにしてください。同時に、第三者に知られることのないようにご注意ください。
忘れてしまった場合は、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

画面のちらつきについて
表示リフレッシュのため、画面のちらつきが時々見られますが、故障ではありません。

バックアップデータの取り扱いについて
バックアップデータは、本機で使用するデータを含むため、取り扱いにはご注意ください。

ローカルアダプター（別売)について

ローカルアダプターには、オン/オフ制御用ローカルアダプターとRACローカルアダプターがあります。
RACローカルアダプターは、CN-NETコネクタを持つ2017年度モデル以降の当社製住宅設備用ルームエアコンに対応しています。

オン/オフ制御用ローカルアダプター
オン/オフ制御用ローカルアダプターを使用すると、オン/オフ機器(換気扇、ルームエアコンなど)を接続することができます。
ただし、以下のような制限がありますのでご注意ください。
詳しくは、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

集中制御可能な項目	以下の項目のみ集中制御が可能です。 • 運転/停止 • リモコン禁止(「運転/停止」の禁止のみ) タイマー設定もできますが、「運転/停止」「リモコン禁止」以外の設定は無効となります。 「リモコン禁止」はローカルアダプターから機器側へ手元禁止信号出力を接続した場合に限ります。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。	
警報表示	「C12」(ローカルアダプター一括警報)と表示され、詳しい内容は表示されません。(ただし、ローカルアダプターに警報信号入力を接続した場合のみ)	
空調按分	室内ユニットの風速データ	風速別の累計運転時間は、強風固定となります。ローカルアダプターにサーモON信号入力を接続している場合でもサーモONの累積時間は「強風」固定でカウントされます。
	電気ヒーターON時間	電気ヒーターの累積ON時間は表示されません。
	室内ユニット能力固定値	自動識別されないため、「ユニット設定編集」ダイアログ(P.156)で能力固定値(kW)を設定してください。
	按分方式	時間按分のみ対応しています。

お知らせ
- オン/オフ制御用ローカルアダプターの接点規格に適合すれば、任意の機器を本機から制御できますが、生命、財産などに重大な影響を及ぼすおそれのある機器へのご使用は避けてください。
- 按分運用の開始後、室内ユニットのアドレス変更、他号機の室内ユニットアドレスの入替えなどを行うと、按分計算が不正確なものとなり、不都合が発生する場合がありますのでご注意ください。

インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　機能と操作

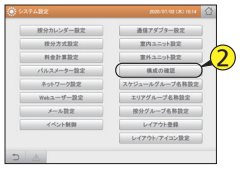
システムの構成を確定する

現在の空調システムの構成を確定します。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする
- 「システム設定」画面が表示されます。



2 [構成の確認]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「構成確定」画面が表示されます。



3 [構成の確認]をタッチする
- 構成確認を開始します。
- 構成確認後、空調システムの構成に変化があった場合は、「構成が変化しています。構成確定を実施しますか？」というメッセージが表示されます。



4 [構成確定開始]をタッチする
- 現在のシステム状態を再確認し、その結果を最終的に確定します。
- 構成確定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



故障かなと思ったときは

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。
なお、危険ですので、ご自分での修理は行わないでください。

症状	原因と対処
スケジュール運転がうまくできない	• 運転日モード、時間を設定していますか。 運転日モード、時間の設定を行っても登録しなければスケジュール運転は行いません。 • 現在の日付、時刻の設定は合っていますか。 現在時刻が合っていないと、予定外の時間に稼働します。
按分率がいつも100%になる	• 按分グループ設定、エリアグループ設定を再確認してください。 1つの按分グループにエリアグループが1つしか登録されていなかったり、1つのエリアグループに室内ユニットが1台しか登録されていなかったりすると、按分率は計算上100%となり、意味がありません。
いつの間にか電源が切れている	• 画面のオートオフで消えていませんか。 電源は切れていませんので、画面にタッチしてみてください。 • 設定時間にかかわらず、起動時に一旦オフする場合があります。
画面操作を行っても表示の更新に時間がかかる	• 接続されている空調機との通信状況により、多少時間がかかる場合があります。 しばらくお待ちいただければ更新されます。
カラー液晶ディスプレイの画面	• 画面の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合がありますが、故障ではありません。 また、カラー液晶ディスプレイは、その性質上、温度変化などで多少ムラが発生する場合がありますが、故障ではありません。
操作ボタンをタッチしても操作できない	• タッチパネルの操作位置と画面の位置が長期間の使用によりずれる場合があります。 お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。
本機で手元リモコン操作を制限しているときに、本機が故障し、空調機の運転/停止などの設定ができない	• サービス担当がお伺いするまでの応急処置として、本機および通信アダプターの電源を切り、室内ユニットの電源を入れ直してください。手元リモコンで操作可能になります。ただし、リモコンレスのシステムでは操作できません。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
停電が発生し、その後、停電復帰時に機器が自動復帰しない	• 本機は停電復帰時、機器の自動復帰を行いません。次のスケジュール時刻になったときに、その設定に切り換えます。
室内ユニットが1台も読み込まれない	• 構成確認を実行してみてください。
画面に、以下のメッセージが表示された 	• 空調機システムに変更があった場合、[構成の確認]をタッチすると表示されるメッセージです。 • このメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。

商標文および免責文について

- Microsoft WindowsおよびMicrosoft Excelは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  Microsoft Edgeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
  Google ChromeはGoogle Inc.が所有する商標または登録商標です。
  その他の各製品名は、各社の商標又は登録商標です。
  その他の各製品は、各社の著作物です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用することによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
  万一、機器やソフトウェアなどの不具合により按分率、使用量の計算等に不都合があった場合でも、その補償についてはご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改善のため事前連絡無しに変更する場合がありますが、ご容赦ください。
  本書の内容についても、改善のため事前連絡無しに変更することがあります。
- 本書に記載された事項の使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
- オープンソースライセンスにつきましては、インテリジェントコントローラー同梱のDVDをご覧ください。

仕様

品番		CZ-10EST4B
外形寸法		(高さ)240 mm×(幅)280 mm×(奥行き)20 + 65 mm
質量		2.7 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20%～80%(結露なきこと)
定格電圧・周波数		単相AC100 ～ 240 V・50/60 Hz
消費電力		最大20 W
時計	月差	±30 秒/月(常温25 ℃) ※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日(常温25℃　満充電時) ※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数※1		下記の合計台数が100台まで • 室内ユニット：64台まで※2 • 室外ユニット：30台まで • 集中制御機器：10台まで
遠隔操作時のパソコン環境	ブラウザ	Microsoft EdgeまたはGoogle Chrome
	画面解像度	1280×1024(推奨)
使用可能なUSBメモリー		スタンダードタイプ(USB2.0) 容量：4 GB以上 <使用上のご注意> • 上記仕様の製品であっても、動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。 • 暗号化(セキュリティソフト付き)などはご使用できません。 • データ消失について当社では一切の責任を負わないものとします。

※1：最大接続可能台数は次の通りです。(最大2リンク接続可能)
- 本機のみ：室内ユニット128台、室外ユニット60台
- 通信アダプター接続時：
  室内ユニット256台、室外ユニット120台

※2：熱交換気ユニット、オン/オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。
(接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。)

お知らせ
- Microsoft Edgeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google ChromeはGoogle Inc.が所有する商標または登録商標です。

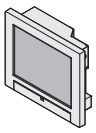
インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　施工

Panasonic

据付(電気)工事説明書

インテリジェントコントローラー

品番 **CZ-10EST4B**



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - **電気設備に関する技術基準**
  - **内線規程**
  - **据付(電気)工事説明書**
  (感電、火災の原因)
- **関連法規にしたがって漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**(故障や漏電時に感電、火災の原因)
- **電源は、必ず専用回路を使用する**(感電、火災の原因)
- **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**(感電、挟み込み、巻き込みの原因)

⏚
- **アース工事(D種接地工事)を行う**
  - **ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しない**(感電の原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**(発熱、火災の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、本機や室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器(ブレーカー)を切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下、感電、火災などの原因)

本体を据え付けるときに

❗
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**(感電、故障の原因)

⚠注意

据付(電気)工事をする前に

⃠
- **次のような場所で使わない**
  - **結露するところ**
  - **可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **有機溶剤の飛沫するところ**
  - **電圧変動の多いところ**
  - **ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
  (感電、火災などの原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

もくじ

	ページ
●安全上のご注意	表紙
●付属品	2
●ネットワーク接続時のご注意	2
●据え付け時のご注意	2
●外形寸法図(各部の名前)	2
●制御盤を設計する	2
●制御盤に据え付ける	2
●配線の準備をする	3
●配線する	3
●設定・試運転する	5
●外部機器の入出力設定	5
●仕様	裏表紙

付属品　<>：個数	
十字穴付皿小ねじ <4> (M4×10)	ワッシャー <4>
ナット <4> (M4)	結束バンド <4>

取扱説明書(DVD)、かんたんガイド、据付(電気)工事説明書<各1>

※ケーブルは現地調達のため、付属していません。

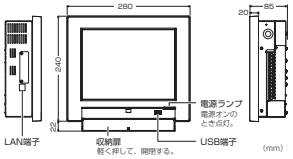
ネットワーク接続時のご注意

●インターネットに接続すると、パソコンなどで遠隔地から操作、確認することができます。
●インターネットに接続する場合は、外部からの不正アクセスなどから保護するために、セキュリティ対策をしてください。(詳細な接続・設定方法については、ネットワーク管理者にご相談ください)

据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない。
・直射日光や直接外気が当たる、窓際など
・不安定な場所
・過度な衝撃や振動のある場所
(本機の取り付けネジが緩み、落下の原因)
・熱源の近くなど
●床面に対して垂直に据え付ける。
●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波が発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与えたりする場合があります)
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1 m以上離す。
(映像の乱れ、雑音の原因)
●漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)を据え付ける。
●配線は、地中に埋設しない。
●配線が通っている制御盤の穴をパテなど(現地調達)でふさぐ。
●絶縁物の厚み(シース部を含む)が1 mm以上のケーブルを使う。

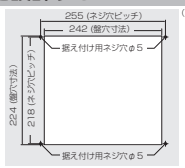
外形寸法図(各部の名前)



本体の図記号表示Ⓔについて「保護アース」を表します。

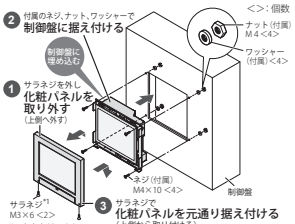
制御盤を設計する

■加工図

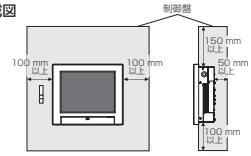


■制御盤内の通気性(放熱性)確保のために
左右側面の上側と下側(または底面)に通気孔(スリットなど)を設けてください。
・制御盤内の温度が40 ℃を超えないようにしてください。
・据え付け時に上記の通気孔をふさがないように注意してください。

制御盤に据え付ける



■完成図



配線の準備をする

■電源線
●ケーブルの種類
・使用基準：600 Vビニール電線(現地調達)
・柔軟性のある2 mm²のケーブル(推奨)
●電源端子
・端子ネジ：M4

■室内外操作線
●ケーブルの種類
・柔軟性のある2芯の0.5 ～ 2 mm²のケーブルを必ず使用してください。
・推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
●総配線長：1000 m以内

■通信アダプター操作線
(通信アダプターを接続するとき)
●極性(+/−)があります。
●ケーブルの種類、総配線長などについては、通信アダプターに付属の「据付(電気)工事説明書」を参照してください。

■外部機器接続線
(外部機器を接続するとき)
●ケーブルの種類
・柔軟性のある0.5 ～ 2 mm²のケーブル
・推奨品：VCT/VCTF
●配線長：20 m以内

■LANケーブル
(ネットワークに接続するとき)
●ケーブルの種類
・カテゴリー 5以上のストレートケーブル
●配線長：100 m以内

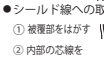
お願い
●ノイズの影響を受けるおそれのある場所で、室内外操作線と外部機器接続線を使うときは、シールド線(片側アース)を使ってください。

配線する

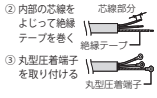
お願い
●電源線とその他の通信線は、同一線管内に通さないでください。また、ノイズの影響を軽減させるために、できるだけ離して配線してください。

1 漏電しゃ断機を切る
●安全のため、必ず漏電しゃ断器を切ってから配線を行ってください。

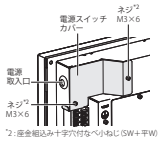
2 丸型圧着端子を取り付ける
●電源線への取り付け
被覆をはがし、内部の芯線をよじって取り付けてください。



●シールド線への取り付け



3 電源スイッチカバーを外す



*2：座金組込み十字穴付なべ小ねじ(SW+PW)

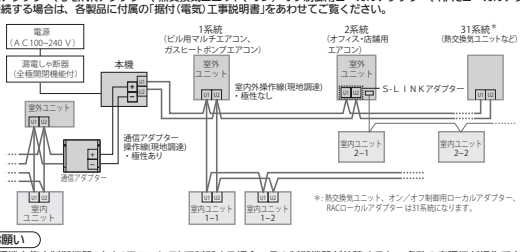
4 電源線を接続する
●電源線は電源端子台に、アース線はアース端子台(板金ケース上)*3に接続してください。
*3：保護アース
●端子ネジの締め付けトルク：0.6 ～ 0.8 N・m(規定値)
・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)

5 室内外操作線を接続する
●端子ネジの締め付けトルク：0.4 ～ 0.5 N・m(規定値)
・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)
●極性はありません。
●接続可能台数→「仕様」(裏表紙)を参照してください。
●接続可能な熱交換ユニット→「仕様」(裏表紙)を参照してください。
●シールド線の場合は、アース線を信号端子台の0番に接続してください。

6 通信アダプター操作線を接続する
●極性(+/−)を間違えないでください。
●接続可能台数：7台まで
●通信アダプターを接続するときは、通信アダプターに付属の「据付(電気)工事説明書」を必ず参照して施工してください。

基本配線図

●通信アダプター、S-LINKアダプター、熱交換ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付(電気)工事説明書」をあわせてご覧ください。



お願い
●空調機を集中制御機器1台(リモコンレス)で制御する場合、その制御機器が故障すると、多数の空調機が操作できない状態となりますので、複数の制御機器を設置するようにしてください。

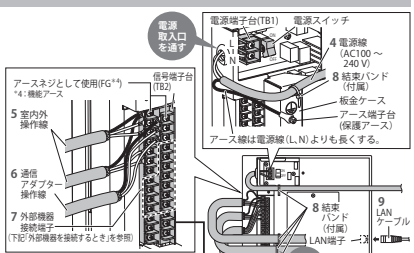
配線する (つづき)

7 外部機器を接続する
●外部機器を接続するときは、下記「外部機器を接続するとき」を参照してください。

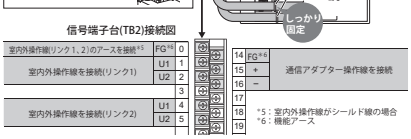
8 電源線とその他の通信線は、結束バンド(付属)でしっかり固定する
●端子接続部に張力が加わらないようにしてください。

9 LANケーブルを接続する

10 電源線の接続が正しいことを確認して漏電しゃ断機を入れる
●締って電源線を信号端子台に接続して電源を入れると、本機または接続機器が故障することがあります。



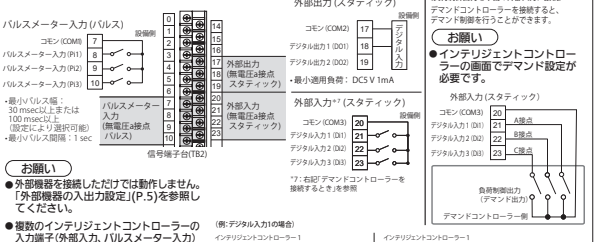
信号端子台(TB2)接続図



*5：室内外操作線がシールド線の場合
*6：機能アース

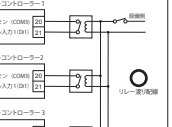
外部機器を接続するとき

・信号形式：無電圧a接点
・各信号入力の配線長：20 m以内 (超えるときは、通信アダプターを接続するか、リレーを使う)
・入力端子検出の為、接点にDC5 V(約10 mA)の電圧がかかります。
・入力端子には、外部から電圧を印加しないでください。
・出力端子の接点許容電圧、および電流は、最大DC30 V、0.5 Aです。



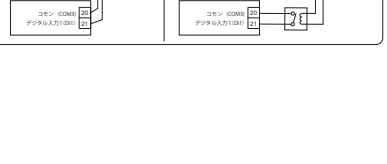
デマンドコントローラーを接続するとき
(負荷制御出力を本機の外部入力に接続)
デマンドコントローラーを接続すると、デマンド制御を行うことができます。

お願い
●インテリジェントコントローラーの画面でデマンド設定が必要です。



お願い
●外部機器を接続しただけでは動作しません。「外部機器の入出力設定」(P.5)を参照してください。

●複数のインテリジェントコントローラーの入力端子(外部入力、バルスメーター入力)に信号線を接続する場合、直接渡り配線を行わないでください。
(誤動作の原因)
この場合、右図のようにリレー渡り配線としてください。



インテリジェントコントローラー／ CZ-10EST4B…別売品　施工

設定・試運転する

① 室内ユニット・室外ユニットすべての電源を入れる
② 通信アダプターを接続したときのみ
通信アダプターの電源を入れ、必要な設定を行う
（通信アダプターに付属の「据付（電気）工事説明書」を参照してください）
③ 本機の電源スイッチを入れる
④ 電源スイッチカバーを元通り取り付ける
・配線をはさまないようにする。
⑤ 以下の設定・確認は、「かんたんガイド」を参照してください
・日時設定
・接続台数の表示が正しいことの確認をしてください。
・集中制御アドレスは、必ず設定をしてください。
・その他の必要な設定（ユニット名、エリア設定、按分設定など）をしてください。
・本機で室内ユニットなどを正しく操作でき、正しく状態が表示されることの確認をしてください。
⑥ 以下の設定・確認は、「テクニカルガイド」、「PAC試運転サービス資料」、「設備設計ガイド」のいずれかを参照してください
・空調機との通信設定をしてください。
・接続構成の確認・確定をしてください。
⑦ 接続した外部機器の設定を下記の「外部機器の入出力設定」の手順で設定してください

お願い
●日時が正しく設定されていないと、各種設定ができない場合があります。日時設定は必ず初めに行うようにしてください。

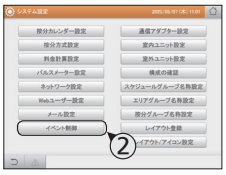
外部機器の入出力設定

入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定することで、空調機（室内ユニット、室外ユニット）の連動的な制御を行います。
たとえば、火災警報が発令される（入力ポイント）と、室内ユニットの運転を一斉に停止する（出力ポイント）ような設定をすることができます。
DO1を一括警報出力に設定する手順は、次の通りです。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする
●「システム設定」画面が表示されます。



2 [イベント制御]をタッチする
●「イベント制御」画面が表示されます。



3 イベント名を選ぶ
● ◀ ▶ でイベントを登録するイベント名を選びます。
●イベント名は変更できます。
（→「イベント名を変更する」については、「取扱説明書」の「システム設定を行う」の中の「空調機を連動的に制御する」をご覧ください）



4 入力ポイント枠を選び(4-1)、[設定]をタッチ(4-2)する
●「入力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



外部機器の入出力設定（つづき）

5 一覧から入力対象を選ぶ
●「空調機警報一括」を選びます。



6 入力条件を設定し、(6-1)、[登録]をタッチ(6-2)する
●警報一括」項目で[発生]を選びます。
●[登録]をタッチすると、「入力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い
●入力ポイントを取り消すときは、「名称」の空白欄を選択して[登録]をタッチします。

7 出力ポイント枠を選び(7-1)、[設定]をタッチ(7-2)する
●「出力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



8 一覧から出力対象を選ぶ
●「Unit DO1」を選びます。



9 出力条件を設定し(9-1)、[登録]をタッチ(9-2)する
●「デジタル出力」項目で「ON」を選びます。
●[登録]をタッチすると、「出力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い
●出力ポイントを取り消すときは、「名称」の空白欄を選択して[登録]をタッチします。

10 「有効」にチェックを入れ(10-1)、[登録]をタッチ(10-2)する
●チェックを入れると、設定したイベント制御が動作するようになります。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い
●すべての空調機の警報が解除されたときに、一括警報出力のイベントもOFFに設定してください。設定操作は、P.6の手順6、上記の手順9を下記のように設定してください。
手順6：「警報一括」項目で「復旧」を選びます。
手順9：「デジタル出力」項目で「OFF」を選びます。

DI1を一括停止入力に設定するときは、以下の手順で設定してください。

1 P.5の手順1～4を行う

2 一覧から入力対象を選ぶ
●「Unit DI1」を選びます。



3 入力条件を設定する
●「デジタル入力」項目で[ON]を選びます。



4 [登録]をタッチする
●「入力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い
●入力ポイントを取り消すときは、「名称」の空白欄を選択して[登録]をタッチします。

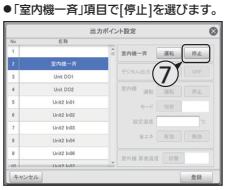
5 出力ポイント枠を選び(5-1)、[設定]をタッチ(5-2)する
●「出力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



6 一覧から出力対象を選ぶ
●「室内機一斉」を選びます。



7 出力条件を設定する
●「室内機一斉」項目で[停止]を選びます。



外部機器の入出力設定（つづき）

8 [登録]をタッチする
●「出力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い
●出力ポイントを取り消すときは、「名称」の空白欄を選択して[登録]をタッチします。

9 「有効」にチェックを入れる
●チェックを入れると、設定したイベント制御が動作するようになります。



10 [登録]をタッチする
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



仕様

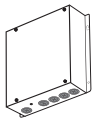
品番		CZ-10EST4B
外形寸法		(高さ) 240 mm ×（幅）280 mm（奥行き）20 + 65 mm
質量		2.7 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～ 40 ℃・20%～ 80%（屋内設置専用）
定格電圧・周波数		単相 100-240 V～　50/60 Hz
消費電力		最大20 W
時計	月差	±30秒／月（常温25 ℃）　＊定期的に合わせてください。
	保持時間	100日（常温25 ℃・満充電時）　＊満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数 ※1		下記の合計台数が100台まで ・室内ユニット：64台まで※2　・室外ユニット：30台まで　・集中制御機器：10台まで

※1：最大接続可能台数は次の通りです。（最大2リンク接続可能）
・本機のみ：室内ユニット128台、室外ユニット60台
・通信アダプター接続時：室内ユニット256台、室外ユニット120台
※2：熱交換ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。
＊接続可能な熱交換ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

Printed in Japan
U0624-0
ACXF60-56770

通信アダプター／ CZ-10APB3B…別売品　施工

据付(電気)工事説明書
通信アダプター
品番 CZ-10APB3B



- 「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくように依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

- ❗ **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - **電気設備に関する技術基準**
  - **内線規程**
  - **据付(電気)工事説明書**
  (感電、火災の原因)
- ❗ **関連法規にしたがって漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**(故障や漏電時に感電、火災の原因)
- ❗ **電源は、必ず専用回路を使用する**(感電、火災の原因)
- ❗ **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**(感電、挟み込み、巻き込みの原因)
- ⏚ **アース工事(D種接地工事)を行う**
  - **ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しない**(感電の原因)

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- ⃠ **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- ❗ **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- ❗ **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**(発熱、火災の原因)
- ❗ **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- ❗ **電気工事は、本機や室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- ❗ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)

本体を据え付けるときに

- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- ❗ **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- ❗ **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**(感電、故障の原因)

⚠注意

据付(電気)工事をする前に

- ⃠ **次のような場所で使わない**
  - **結露するところ**
  - **可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **有機溶剤の飛沫するところ**
  - **電圧変動の多いところ**
  - **ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
  (感電、火災などの原因)

本体を据え付けるときに

- ⃠ **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

もくじ

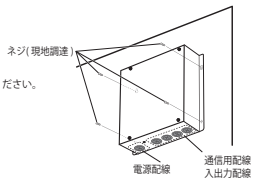
	ページ		ページ
●安全上のご注意	表紙	●通信アダプター基板設定方法	5
●取り付けかた	2	●外部設備との接続	裏表紙
●配線のしかた	2	●外形寸法	裏表紙
●通信アダプター操作線の注意事項	3	●仕様	裏表紙
●インテリジェントコントローラーに接続するとき	4		

取り付けかた

「外形寸法」(裏表紙)を参考に取り付け位置を決め、ネジ(現地調達)4本で取り付けます。

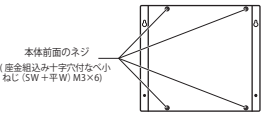
お願い

- 通信アダプターはノイズ発生源から十分離して据え付けてください。
- 通信用配線や入出力配線は、電源線などと一緒にまとめたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
- 水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
- 過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

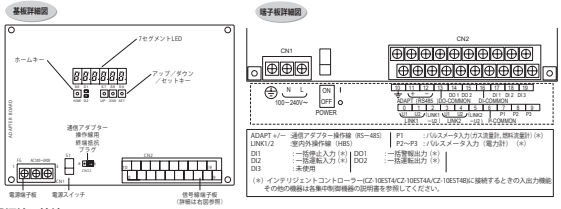


配線のしかた

通信アダプターの取り付け、取りはずしは安全のため、本機や室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を切ってから行ってください。本体前面のネジ4本をはずし上ケースをはずします。



端子板配置図およびスイッチ配置図



(1)電源線の接続

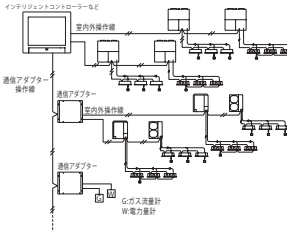
本機は AC100～240V の範囲の電源を使用できます。
基板上の電源端子板 CN1 の 2、3 番 (N、L) に接続してください。(AC のニュートラル側を N に接続)
電源端子板へは、丸形端子を用いて接続してください。
アース線を確実に接続してください。

(2)通信線の接続

- 室内外操作線は、柔軟性のある2芯の0.5～2.0 mm²のケーブルを必ず使用してください。
- 通信アダプター操作線は、2芯の0.5～2.0mm²の**シールド線を必ず使用してください。**(MVVSまたはCPEVS)
- シールドは必ず片側のみを確実にアースしてください。
- 室内外操作線と通信アダプター操作線の総延長はそれぞれ1km 以内としてください。
- 電源線と通信線は、同一線管内に通さないでください。また、ノイズの影響を軽減させるために、できるだけ離して配線してください。
- LINK1配線とLINK2配線を同一電線管に通したり、同一ケーブルで配線しないでください。また、配線同士はできるだけ離して配線してください。
- 通信線と電源線は目視で違いが識別できるケーブルを使用してください。

基本配線図　**(インテリジェントコントローラーの場合の)**

通信アダプター操作線、室内外操作線は右図のように配線してください。



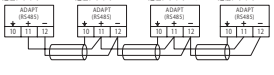
配線の手順

- **室内外操作線**
  通信アダプターの信号線端子板 CN2 の 0、1 番 (LINK1) と、室外または室内ユニットの室内外操作線接続端子に接続します。極性はありません。
  室内外操作線を2系統接続する場合は、CN2 の 3、4 番 (LINK2)を使用して同様に接続します。
- **通信アダプター操作線**
  通信アダプターの信号線端子板 CN2 の 11、12 番 (ADAPT +、−)と、他の通信アダプターの同じ端子に接続します。**極性があります**ので、「+」「−」を間違えないように接続してください。その際、**必ず渡り接続としてください。(分岐配線は禁止です)**

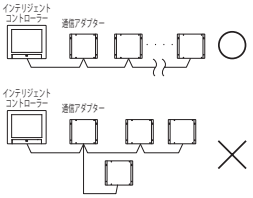
通信アダプター操作線の注意事項

(他での記述内容と重複する項目があります)

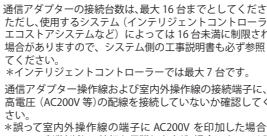
(1) 配線の総延長は 1km 以内としてください。
(2) 通信線には極性があります。「+」「−」を間違えないように接続してください。
(3) 必ずシールド線をお使いください。シールドは片側のみを確実にアースしてください。



(4) 必ずわたり配線としてください。分岐配線は禁止です。
＊インテリジェントコントローラーは必ずわたり配線の端に接続してください。



(5) わたり配線の末端の通信アダプターの基板上において、終端抵抗プラグ CN32 を「B」側(終端抵抗有)に差し替えてください。



(6) 通信アダプターの接続台数は、最大 16 台までとしてください。ただし、使用するシステム(インテリジェントコントローラー、エコストアシステムなど)によっては 16 台未満に制限される場合がありますので、システム側の工事説明書も必ず参照してください。
＊インテリジェントコントローラーでは最大 7 台です。
(7) 通信アダプター操作線および室内外操作線の接続端子に、高電圧(AC200V 等)の配線を接続していないか確認してください。
＊誤って室内外操作線の端子に AC200V を印加した場合は、ヒューズが溶断して基板を保護しますが、場合によっては保護できないこともあります。高電圧(AC200V 等)配線を取りはずした後、室内外操作線の「U2」端子の配線を予備の端子に接続し直してください。(「U1」端子の配線はそのまま)
予備端子は「U2」のすぐ右隣の端子です。(下表を参照してください)

信号線端子板の端子番号

接続先	通常	予備
LINK 1-U2	1 番	2 番
LINK 2-U2	4 番	5 番

インテリジェントコントローラーに接続するとき

通信アダプターの初期設定をする前に、以下の作業が完了していることを確認してください。

①空調機の試運転が完了していますか？
②空調機と通信アダプターの配線は完了していますか？

設定作業は、以下の順に行ってください。

①アダプターNo 設定

本設定は、必須です。
- 通信アダプター操作線上でのアドレスを設定してください。
- インテリジェントコントローラー内蔵基板のアドレスは0 です。通信アダプターは、重複しないように1～7の値を設定してください。
- 「通信アダプター基板設定方法」(P.5)の「(2)アダプター番号の設定手順」を参照してください。
- 「表1 通信アダプターの設定項目」(P.7)の「[1]アダプター番号の設定」を参照してください。

②室内外操作線の接続設定

通信アダプターを2 台以上使用するとき、本設定が必要です。
- 通信アダプターには2 リンク接続可能です。
  空調機等の接続がないリンクは、LINK無し設定にしてください。
- インテリジェントコントローラーは有効に設定された4 リンクのみ接続可能です。
  「通信アダプター基板設定方法」(P.6)の「(3)室内外操作線接続の有／無設定」を参照してください。
- 「表1 通信アダプターの設定項目」(P.7)の「[2]室内外操作線の接続設定」を参照してください。

③パルス入力最小検知時間設定

パルス入力(P 1・P 2・P 3)を使用しないとき、本設定は必要ありません。
- 通常、最小パルス幅100msec 以上のパルスメータを使用してください。
  やむを得ず、30msec以上のパルスメータを使用するときのみ、この設定をしてください。
- 「表1 通信アダプターの設定項目」(P.7)の「[6]パルス入力最小検知時間設定」を参照してください。

④ローカルアダプターの接続設定

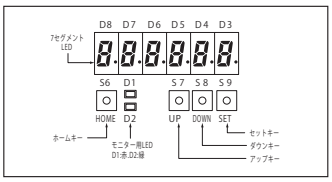
本設定はしなくても機器の動作上、問題ありません。
- ローカルアダプターを使用しないとき、構成確認時間を短縮することが可能です。
- 「表1 通信アダプターの設定項目」(P.7)の「[7]ローカルアダプターの接続設定」を参照してください。

完了！

通信アダプター／ CZ-10APB3B…別売品　施工

通信アダプター基板設定方法

アダプター番号や室内外操作線接続の有／無など、各種の設定を基板上のスイッチで行います。



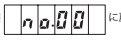
(1) スイッチ操作の概要

①項目の選択

項目選択を UP・DOWN キーで行い、SET キーで選択。

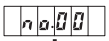
②項目内容の変更

設定変更を UP・DOWN キーで行い、SET キーで確定。

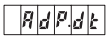
HOME キーを **2 秒以上**押すと初期状態  に戻ります。（設定変更途中の内容は破棄されます）

(2) アダプター番号の設定手順

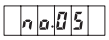
① DOWN キーを **2 秒以上**押すと初期状態 (no.00) になり、2 秒後に表示が変わります。(AdP.dt)


(no.00)

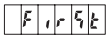
2 秒後


(AdP.dt)

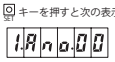
② UP キーを 5 回押すと次の表示になります。


(no.05)

2 秒後に次の表示に変わります。(操作は必要ありません)


(FirSt)

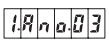
③ SET キーを押すと次の表示になります。（モニター用 LED の緑 (D2) のみが点灯）


(1.Ano.00)（工場出荷状態）

④ SET キーを **1 秒以上**押すと「00」の部分が点滅して変更可能な状態となります。（モニター用 LED の緑 (D2) と赤 (D1) が点灯）

ここで UP・DOWN キーを使って、アダプター番号を設定します。

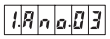
たとえば「3 番」にするときは、UP キーを 3 回押して次の表示にします。


(1.Ano.03)

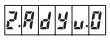
⑤確定するときは SET キーを**1 秒以上**押してください。（モニター用LED の緑(D2)のみが点灯）

(3) 室内外操作線接続の有／無設定

①「(2) アダプター番号の設定手順」(P.5) の①～③までは同じ操作となります。この時点で次の表示になります。


(1.Ano.03)（アダプター番号が 3 の場合）

② UP キーを 1 回押すと次の表示になります。

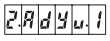

(2.AdYu.0)（工場出荷状態）

③ SET キーを **1 秒以上**押すと「0」の部分が点滅して変更可能な状態となります。（モニター用 LED の緑 (D2) と赤 (D1) が点灯）

ここで UP・DOWN キーを使って、下表に従って室内外操作線の接続有／無を設定します。

設定値	室内外操作線接続
0	LINK1：有り、LINK2：有り（工場出荷状態）
1	LINK1：有り、LINK2：無し
2	LINK1：無し、LINK2：有り
3	LINK1：無し、LINK2：無し

たとえば LINK1 にのみ室内外操作線を接続した場合は、UP キーを 1 回押して次の表示にします。


(2.AdYu.1)

④確定するときは SET キーを**1 秒以上**押してください。（モニター用LED の緑(D2)のみが点灯）

(4) その他の設定

「(2) アダプター番号の設定手順」(P.5) の③の状態において、UP・DOWN キーによって「表 1 通信アダプターの設定項目」(P.7) のような設定項目を選ぶことができます。必要に応じて設定を行なってください。

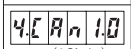
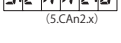
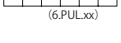
設定手順は「(2) アダプター番号の設定手順」の④～⑤と同様です。

（ SET キーを **1 秒以上**押してから UP・DOWN キーで変更し、SET キーを **1 秒以上**押して確定）

お願い

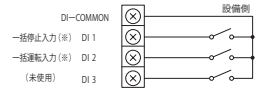
①アダプター番号を重複しないように設定してください。
　＊インテリジェントコントローラーと接続する場合は、1 ～ 7 の範囲でアダプター番号を設定してください。
②上記の「(3) 室内外操作線接続の有／無設定」の設定を正しく行ってください。
　(接続の無い LINK は必ず「無し」に設定)
③室内外操作線を 1 リンクのみ接続する場合は、「LINK1」側を使用してください。

表1 通信アダプターの設定項目

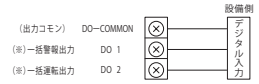
	表　示	設定項目（ 網掛け は工場出荷設定）
↑ DOWN U P ↓	 (1.Ano.xx)	[1] アダプター番号の設定 xx=00～15：アダプター番号 通信アダプターの番号を設定します。 インテリジェントコントローラーの場合、重複しないように1～7を設定してください。 実際に上位から通信を行う時のアドレス（リンク系統アドレス）、通信アダプター番号をnとすると、LINK1は2n、LINK2は2n+1となります。 たとえば、アダプター番号「2」の場合、LINK1は「4」、LINK2は「5」のアドレスとなります。
	 (2.AdYu.x)	[2] 室内外操作線の接続設定 x=0：LINK1は有り、LINK2は有り x=1：LINK1は有り、LINK2は無し x=2：LINK1は無し、LINK2は有り x=3：LINK1は無し、LINK2は無し 空調機を接続するLINK（室内外操作線）は「有り」、接続しないLINKは「無し」に設定します。 ＊単独設置（パルスメータ専用）の場合はLINK1、2とも「無し」(x=3) に設定します。
	 (3.Cont.x)	[3] 親子設定 必ず0（初期値）のまま使用してください。
	 (4.CAn1.x)	[4] 同一リンク内の通信アダプター台数設定　1 x=0～7 x=0：LINK1リンク内に通信アダプター1台目 x=1：LINK1リンク内に通信アダプター2台目 ： x=7：LINK1リンク内に通信アダプター8台目
	 (5.CAn2.x)	[5] 同一リンク内の通信アダプター台数設定　2 x=0～7 x=0：LINK2リンク内に通信アダプター1台目 x=1：LINK2リンク内に通信アダプター2台目 ： x=7：LINK2リンク内に通信アダプター8台目 1つの室内外操作線に複数の通信アダプターを接続した場合、何台目の通信アダプターなのかをLINK系統ごとに設定します。
	 (6.PUL.xx)	[6] パルス入力最小検知時間設定 x=03：　30msec x=10：100msec 100msecより小さいパルス幅（30msec以上）のパルスメータを接続したときは「30msec」に設定します。
	(7.LoCA.x)	[7] ローカルアダプターの接続設定 x=0：LINK1有り、LINK2有り、 x=1：LINK1無し、LINK2有り、 x=2：LINK1有り、LINK2無し、 x=3：LINK1無し、LINK2無し、 LINK系統ごとに、ローカルアダプター（オン／オフ用、通信変換用）の有無を設定します。「無」に設定しますと、ローカルアダプターの検出をしないため、起動が早くなります。インテリジェントコントローラー以外は「x=0」設定で使用してください。
	(8.SCAn.x)	[8] 初期通信設定 必ず0（初期値）のまま使用してください。

外部設備との接続

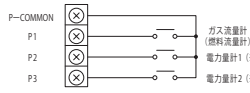
(1) 外部一括入力（無電圧 a 接点スタティック）



(2) 外部一括出力（無電圧 a 接点スタティック）



(3) パルスメータ入力（無電圧 a 接点パルス）

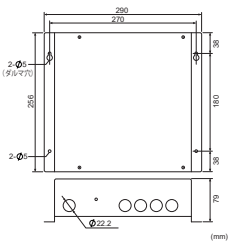


● 最小パルス幅	100msec
● 最小パルス間隔	1sec

(※)インテリジェントコントローラーに接続するときの入出力機能

- それぞれの信号入力の配線長は、20m 以下としてください。この距離を超える場合は、単独に通信アダプターを設置するか、リレーを使用してください。
- ノイズの影響を受けるおそれがある場所で使用する場合、0.5mm^{2}以上の2 芯シールド線(片側アース)を使用してください。
- 入力端子には外部から電圧を印加しないでください。
- 入力端子の検出のため、接点にDC5V, 約10mA の電圧がかかります。
- 出力端子の許容接点電圧電流はDC30V、0.5Aです。

外形寸法



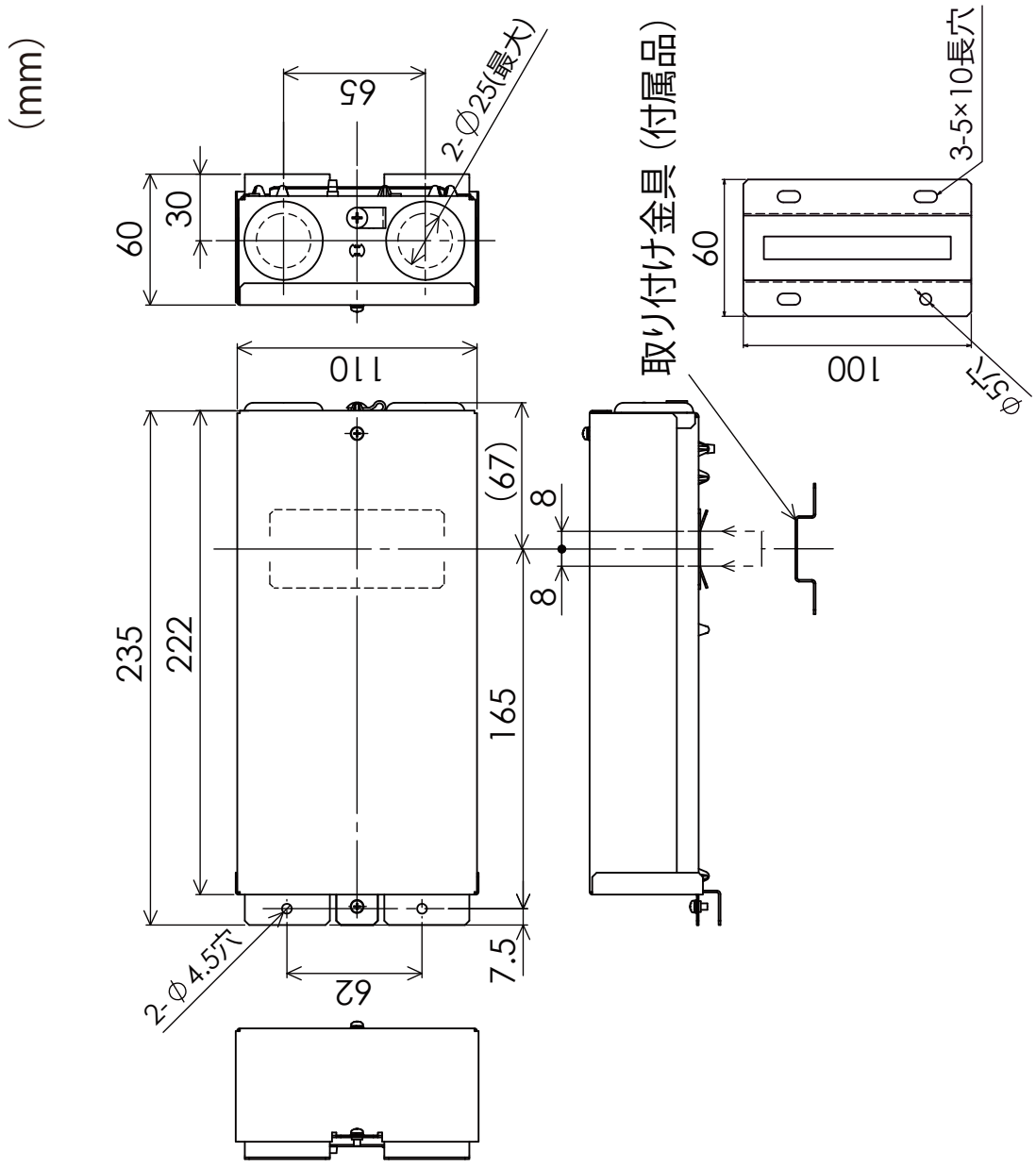
仕様

品　　番	CZ-10APB3B
外 形 寸 法	(高さ) 256 mm×(幅) 290 mm×(奥行き) 79 mm
質　　量	1.0 kg
使用温度・湿度範囲	− 10 ～ 50℃・20% ～ 80%（結露なきこと）
定格電圧・周波数	単相 100-240 V ～　50/60 Hz
消 費 電 力	最大 5.6 W

Printed in Japan
U0624-0
ACXF60-56900

オン／オフ制御用ローカルアダプター　汎用／ CZ-CAPA1…別売品

外形寸法



仕様

品番	CZ-CAPA1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大 10 W

据付（電気）工事説明書

オン／オフ制御用ローカルアダプター（汎用）

品番 **CZ-CAPA1**

●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

- ❗ **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準　・内線規程
  - 据付（電気）工事説明書
  （感電、火災の原因）
- **漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける**
（故障や、漏電時に感電、火災の原因）
- **電源は、必ず専用回路を使用する**
（感電、火災の原因）
- ⏚ **アース工事（D 種接地工事）を行う**
  - アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
  - アース線は、ベランダの手すりにとらない
  （感電の原因）

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
（発熱、火災の原因）
- ❗ **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（製品の落下による、けがの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
（製品の落下、感電、火災などの原因）

本体を据え付けるときに

- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
- **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**
（感電、故障の原因）
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）
- **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**（感電、挟み込み、巻き込みの原因）

⚠注意

据付（電気）工事をする前に

- ⃠ **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ（感電、火災などの原因）
  - ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所に設置しない。
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

本体を据え付けるときに

- ⃠ **水洗いしない**（感電の原因）

Printed in Japan
W0217-80823
ACXF60-24724
85464369959014

仕様

品番	CZ-CAPA1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20%～80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大 10 W

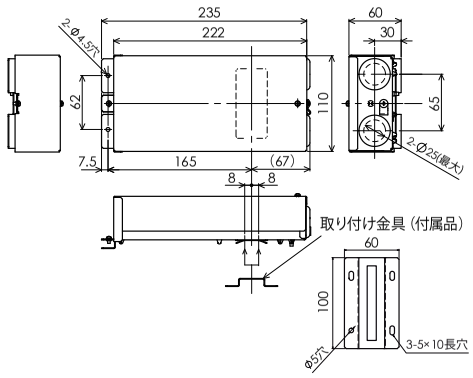
付属品 <>：個数

取付ネジ タッピンネジ 4×10 <6>	取り付け金具 <1>
結束クランパー <4>	停電時自動復帰仕様ラベル <1>
HA対応エアコン用接続線（2m） <1>	
据付(電気)工事説明書 <1>	

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

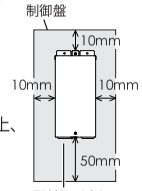
外形寸法図

(mm)



据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所、衝撃や振動のある場所（落下の原因）
  - 熱源の近くなど
  - 結露するところ
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 設置するときは、配線取り出し口を50mm以上、その他三面を10mm以上空ける。（右図参照）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。（映像の乱れ、雑音の原因）
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）を据え付ける。
- 基板だけを別機器に組み込むような改造はしない。



停電自動復帰機能

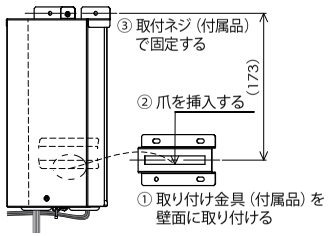
本機には、停電自動復帰機能が搭載されております。
（設定方法は、「5 設定スイッチについて」参照）
この機能は、予期せぬ短時間の停電に際し、停電後自動的に停電前の運転状態に復帰する機能です。
停電自動復帰機能を使用する場合、運転中に機器点検作業などで故意に電源スイッチを切り、その後電源スイッチを入れた場合でも、**自動的に運転が始まり、機器が動き出します。**

※ 機器点検作業時は、安全確保のため必ずブレーカーを切ってください。
※ 本機を引き渡す前に、必ず保守担当の方やお客様に**停電自動復帰機能を使用していること**を説明してください。
また、「停電時自動復帰仕様ラベル」（付属品）を本体の見える所に貼り付けてください。

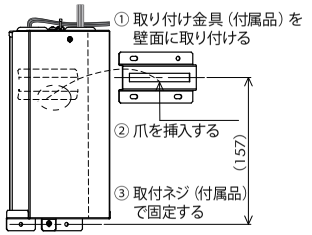
1 取り付ける

- 対象機器の周辺、または制御盤内に設置してください。
- リレー制御機器に接続する場合は、入力・出力用の配線は3m以内で機器に接続してください。
（接続ケーブルは0.5mm²以上、出力用の配線は機器の容量に合わせて余裕のある接続ケーブルを選んでください。）
- 上下面（縦向き）だけでなく、左右面（横向き）より配線取り入れ方向で固定することも可能です。

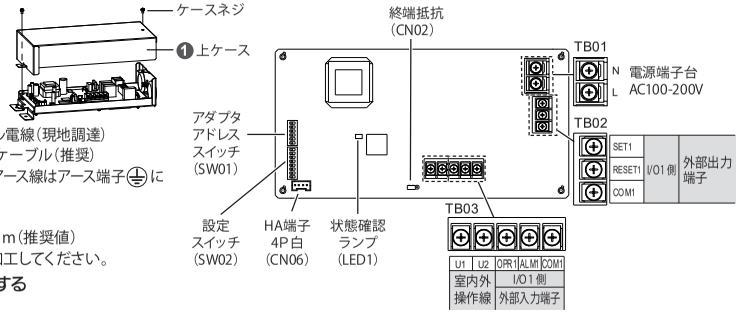
● 下面より配線取入れ方向で固定する場合



● 上面より配線取入れ方向で固定する場合（制御盤内設置に限る）



2 配線する



❶ 上ケースをはずす
(ケースネジ：2)

❷ 電源線を接続する

●ケーブルの種類
・使用基準：600Vビニール電線（現地調達）
・柔軟性のある 2 mm²のケーブル（推奨）

●電源線は電源端子台に、アース線はアース端子⏚に接続する。
・電源端子ネジ　：M4
・締め付けトルク：0.5N・m（推奨値）

●リード線の先端は端子加工してください。

❸ 室内外操作線を接続する

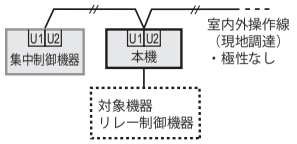
●ケーブルの種類
・柔軟性のある2芯の0.5 ～ 2 mm²のケーブルを必ず使用してください。
・推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
・シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブル

●総配線長：1000 m 以内

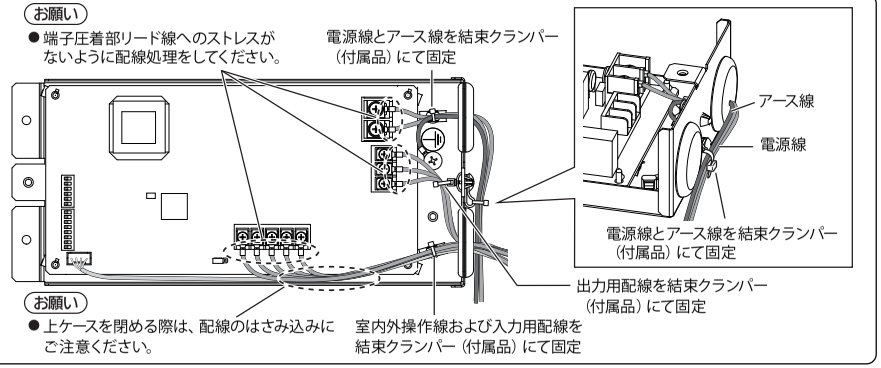
●他の室内・室外ユニットの室内外操作線用の端子板にも接続できます。

お願い
●ノイズの影響を受けるおそれのある場所で使うときは、シールド線（片側アース）を使ってください。

基本配線図



お願い
●端子圧着部リード線へのストレスがないように配線処理をしてください。



お願い
●上ケースを閉める際は、配線のはさみ込みにご注意ください。

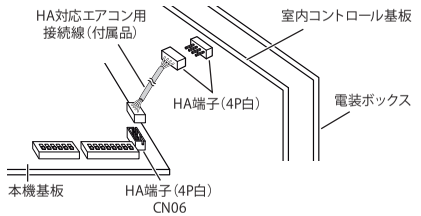
3 HA対応エアコンの場合の接続方法

■ JEMA標準HA端子付きエアコンに接続する方法

❶ HA対応エアコン用接続線（付属品）を接続する
● HA対応エアコン用接続線（付属品）を本機の基板上のHA端子（4P白）CN06の端子に接続します。

❷ 室内コントロール基板に接続する
● エアコンのパネルをはずしてください。
● 室内コントロール基板上のHA端子（4P白）にHA対応エアコン用接続線（付属品）を接続します。
※ エアコンのHA端子への取り付け方法は、各エアコンメーカーにお問い合わせください。

❸ HA制御パルス幅切換を設定する
● 設定スイッチSW02-1で、パルス幅を設定してください。
※ 三洋製家庭用エアコンSAP-EX/E/S/W/WSシリーズ（2010年製）を接続する場合は、設定スイッチSW02-1をONにしてください。
※ JEMA標準HA端子とリレー制御機能の併用はできません。



❹ 運転アンサーバックを設定する
● 設定スイッチSW02-2をOFF（運転アンサーバック入力を使用）にしてください。

4 リレー制御機器の接続方法

出力端子および入力端子の仕様です。

■ 出力端子について

設定スイッチ（SW02）により、制御対象機器に合った出力信号および運転アンサーバックの有無を選択してください。
詳しくは「8 リレー回路例」をご覧ください。

設定スイッチ			SET 端子 /RESET 端子からの出力信号	運転アンサーバックの有無
SW02-1	SW02-2	SW02-4		
OFF	OFF	OFF	SET1 端子　：運転信号（パルス、a 接点）*1 RESET1 端子：停止信号（パルス、a 接点）*1	有
	ON			無
	OFF	ON	SET1 端子：運転 / 停止信号（パルス、a 接点）*1 SET1 端子から運転・停止信号が交互に出力されます RESET1 端子：手元禁止信号 *2	有
ON	OFF	OFF	SET1 端子：運転 / 停止信号（スタティック） 停止信号：接点 OFF（連続接点） 運転信号：接点 ON（連続接点） RESET1 端子：手元禁止信号 *2	有 （運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動しません）
	ON			無
	OFF	ON		有 （運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動します）

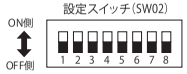
*1：パルス幅は約0.5秒です。
*2：集中制御機器側からの信号によって次のように出力します。必要に応じてご使用ください。
個別許可：接点OFF（連続接点）
手元禁止：接点ON（連続接点）

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
端子ネジ：M3.5 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） ● 接点容量 ・信号形式：有電圧 a 接点 ・接点許容電圧、電流：DC12V、3W （SET1、RESET1 両方を ON にした場合） ・最小接続負荷：5V、0.1A ● 極性 SET1、RESET1：＋極 COM1：－極 ※極性があるため、十分注意してください。	TB02 SET1(+) RESET1(+) COM1(-)			配線長　：3m 以内 配線太さ：0.5mm² 以上

■ 入力端子について

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
制御対象機器より状態モニタ信号をリレー接点で受けます。 端子ネジ：M3 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） OPR：運転信号（接点ON：運転　接点OFF：停止） ALM：警報信号（接点ON：警報あり　接点OFF：警報なし） ● 接点容量 ・信号形式：無電圧 a 接点　スタティック ・接点許容電圧：DC12V±10% ・接点許容電流：Max 10mA	TB03 OPR1 ALM1 COM1			配線長　：3m以内 配線太さ：0.5mm²以上

5 設定スイッチについて（SW02）



※ 出荷時の設定はすべてOFF
※ JEMA標準HA端子とリレー制御機能の併用はできません。

[SW02-1] JEMA標準HA端子をご使用の場合
HA制御パルス幅切換
- ON ：パルス幅0.25秒
- OFF：パルス幅0.5秒

[SW02-1] リレー制御機能をご使用の場合
リレー出力切換
SET/RESETリレー出力の信号形式を切り換えます。
- ON ：スタティック出力
- OFF：パルス出力

[SW02-2] 運転アンサーバック
- ON ：運転アンサーバック入力を不使用
- OFF：運転アンサーバック入力を使用

[SW02-3] 集中制御アドレス設定方法
- ON ：本機のアダプタアドレススイッチ（SW01）で設定
- OFF：集中制御機器から設定

詳細は、「6 アダプタアドレスの設定のしかた」を参照してください。

[SW02-4] 運転アンサーバック連動出力
パルス出力の場合は、「4 リレー制御機器の接続方法」を参照してください。
スタティック出力の場合
- ON ：スタティック出力が、運転アンサーバック入力に連動する
- OFF：スタティック出力は、運転アンサーバック入力に連動しない

※ リモコン付きの全熱交換器式換気扇を制御する場合はONにしてください。

[SW02-5] 停電自動復帰機能
- ON ：停電自動復帰機能を使用
- OFF：停電自動復帰機能を不使用

※ 停電復帰機能を使用する場合は十分注意してください。

[SW02-6] 停止中の警報入力
- ON ：停止中の警報入力を受け付けない
- OFF：停止中の警報入力を受け付ける

[SW02-7] 未使用
[SW02-8] 使用禁止

6 アダプタアドレスの設定のしかた（SW01）

アダプタアドレスは、室内ユニットのユニットNo.に相当します。
本機を複数使用する場合は重複しないように設定してください。



※ 出荷時の設定はすべてOFF

■ 集中制御アドレスを集中制御機器から設定する場合

（設定スイッチSW02-3をOFFにしてください。）

室内外操作線に直接接続される室内ユニットと本機が混在している状態で集中制御機器から集中制御アドレスを設定、変更する場合に適しています。

- 本機のアダプタアドレスを、1番から順に設定してください。
  ※ 本機は、系統アドレス31として登録されます。
  例）アダプタアドレスが1番のとき、本機のユニットNo.は31-1になります。
  本機の集中制御アドレスは集中制御機器から自由に設定できます。

■ 集中制御アドレスをアダプタアドレススイッチで設定する場合

（設定スイッチSW02-3をONにしてください。）
- 本機のアダプタアドレスが、集中制御アドレスになります。
  集中制御機器から集中制御アドレスの変更はできません。
  お客様の要望に合わせて、アダプタアドレスを設定してください。
  ※ 本機は、系統31として登録され、
  アダプタアドレスと集中制御アドレスは同じになります。
  例）アダプタアドレスが5番のときは、本機のユニットNo.は31-5、集中制御アドレスは5番になります。
- 室内ユニットの集中制御アドレスと重複しないように、設定してください。

アダプタアドレス I/O1側のみ	アドレススイッチ No. 1 2 3 4 5 6	アダプタアドレス I/O1側のみ	アドレススイッチ No. 1 2 3 4 5 6	アダプタアドレス I/O1側のみ	アドレススイッチ No. 1 2 3 4 5 6	アダプタアドレス I/O1側のみ	アドレススイッチ No. 1 2 3 4 5 6
1	－ － － － － －	17	－ － － － ● －	33	－ － － － － ●	49	－ － － － ● ●
2	● － － － － －	18	● － － － ● －	34	● － － － － ●	50	● － － － ● ●
3	－ ● － － － －	19	－ ● － － ● －	35	－ ● － － － ●	51	－ ● － － ● ●
4	● ● － － － －	20	● ● － － ● －	36	● ● － － － ●	52	● ● － － ● ●
5	－ － ● － － －	21	－ － ● － ● －	37	－ － ● － － ●	53	－ － ● － ● ●
6	● － ● － － －	22	● － ● － ● －	38	● － ● － － ●	54	● － ● － ● ●
7	－ ● ● － － －	23	－ ● ● － ● －	39	－ ● ● － － ●	55	－ ● ● － ● ●
8	● ● ● － － －	24	● ● ● － ● －	40	● ● ● － － ●	56	● ● ● － ● ●
9	－ － － ● － －	25	－ － － ● ● －	41	－ － － ● － ●	57	－ － － ● ● ●
10	● － － ● － －	26	● － － ● ● －	42	● － － ● － ●	58	● － － ● ● ●
11	－ ● － ● － －	27	－ ● － ● ● －	43	－ ● － ● － ●	59	－ ● － ● ● ●
12	● ● － ● － －	28	● ● － ● ● －	44	● ● － ● － ●	60	● ● － ● ● ●
13	－ － ● ● － －	29	－ － ● ● ● －	45	－ － ● ● － ●	61	－ － ● ● ● ●
14	● － ● ● － －	30	● － ● ● ● －	46	● － ● ● － ●	62	● － ● ● ● ●
15	－ ● ● ● － －	31	－ ● ● ● ● －	47	－ ● ● ● － ●	63	－ ● ● ● ● ●
16	● ● ● ● － －	32	● ● ● ● ● －	48	● ● ● ● － ●	64	● ● ● ● ● ●

※ I/O1側の位置は「2 配線する」の端子台の図を参照してください。

－：スイッチOFF　●：スイッチON

7 終端抵抗（プラグ）

- 本機のみで構成される場合、本機1台の場合は、1か所、複数台の場合は2か所を「終端抵抗あり」に設定してください。（3か所以上は禁止）

CN02が「OPEN側」 … 終端抵抗が接続されません。（出荷設定）
CN02が「SHORT側」… 終端抵抗が接続されます。



終端抵抗なし（OPEN）

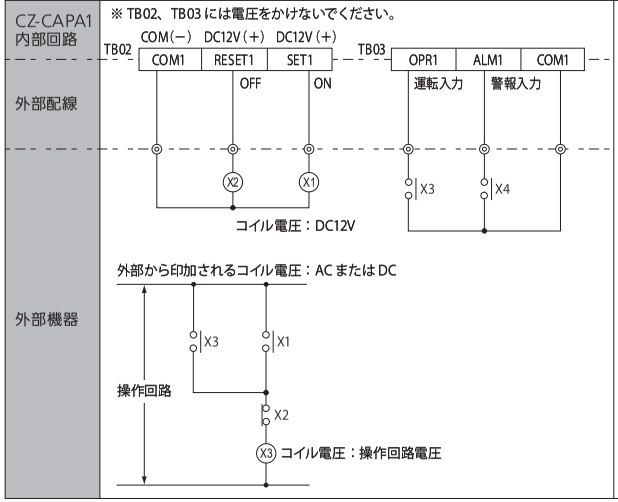


終端抵抗あり（SHORT）

8 リレー回路例

これは接続回路の一例です。

パルス接点出力の場合

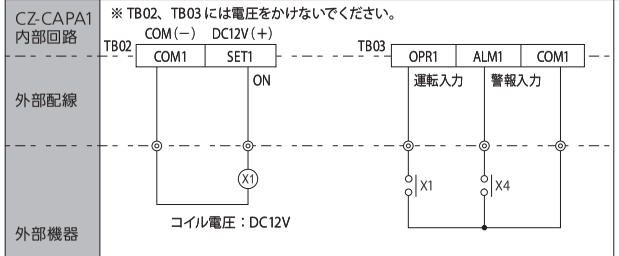


特記事項

1）X1、X2、X3、X4 は補助継電器
2）スイッチ SW02-1 を OFF
スイッチ SW02-4 を OFF
3）対象機器からの運転アンサーバックを使用しないとき、
スイッチ SW02-2 を ON。
4）運転アンサーバック入力を使用しないとき、
OPR1、ALM1 は未接続
（使用する入力のみ接続）

※ 出力電源は本機より DC12V を供給します。

スタティック接点出力の場合



特記事項

1）X1、X4 は補助継電器
2）スイッチ SW02-1 を ON
3）OFF 出力を集中／個別の切換に利用可能
（集中制御機器で「集中」のとき ON、
「個別許可」のとき OFF）
4）対象機器からの運転アンサーバックを使用しないとき、
スイッチ SW02-2 を ON。
5）運転アンサーバック入力を使用しないとき、
OPR1、ALM1 は未接続。
（使用する入力のみ接続）

※ 出力電源は本機より DC12V を供給します。

9 運転・警報表示について

- 基板上の状態確認ランプ（LED1）より運転状態を確認することができます。

点灯パターン		内容
点灯（赤）		正常運転
点滅（赤）	等間隔点滅 ※1	警報発生
	不等間隔点滅 ※2	システム停止中

※1：0.5秒毎に点灯/消灯が切り換わる点滅
※2：2回点灯後、2秒消灯を繰り返す点滅

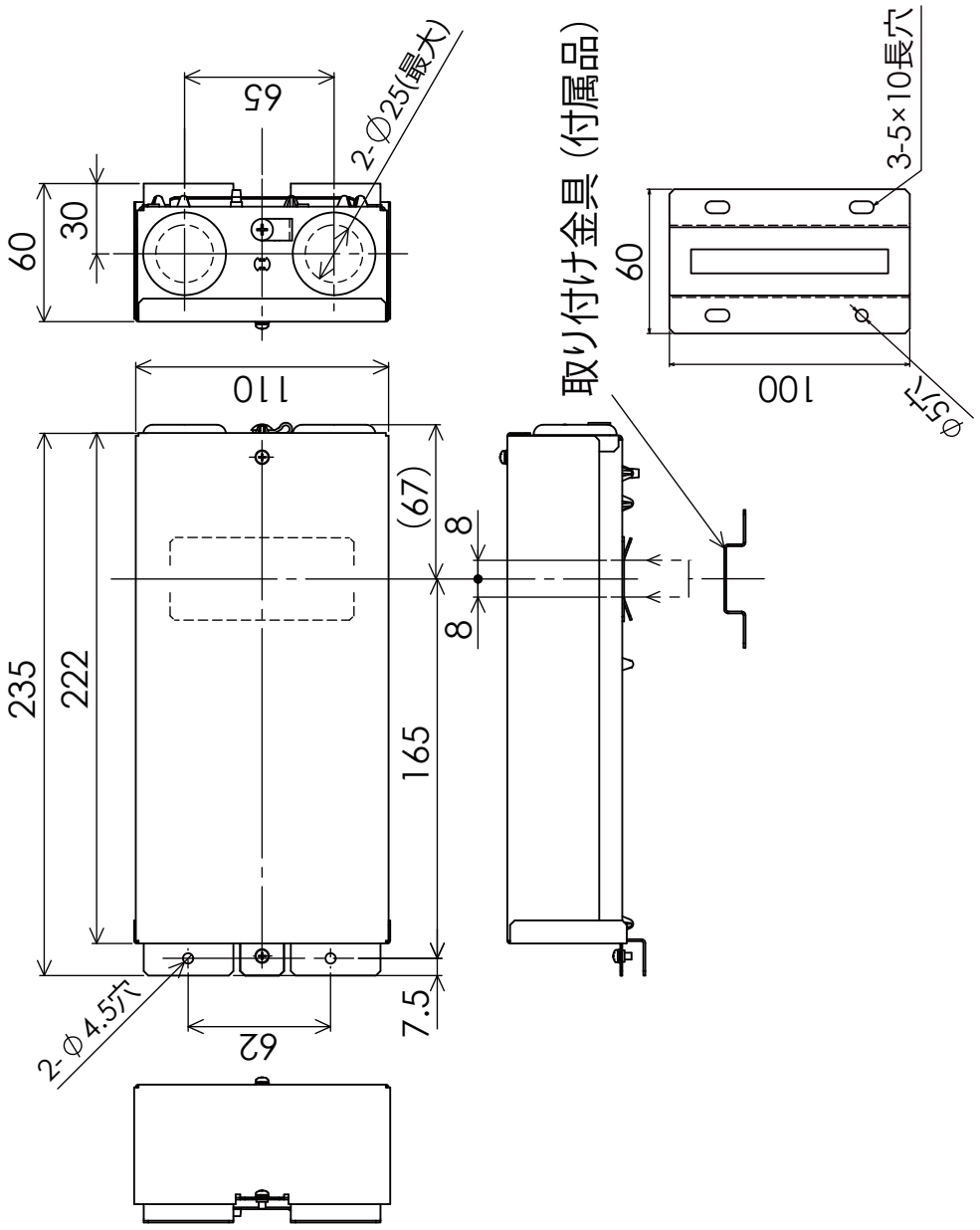
警報発生時は集中制御機器に以下の警報が表示されます。
C12：本機に接続している機器から警報入力があります。
本機に接続している機器の警報状態をご確認ください。
C19：アダプタアドレスが重複しています。
アダプタアドレスが重複しないようにアドレススイッチを設定してください。

ACXF60-24724

オン／オフ制御用ローカルアダプター　照明・換気扇用／ CZ-CAPL1…別売品

外形寸法

（mm）



仕様

品番	CZ-CAPL1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大 3.0 W

据付（電気）工事説明書

オン／オフ制御用ローカルアダプター（照明・換気扇用）

品番 **CZ-CAPL1**

●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。
■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	してはいけない内容（禁止事項）です。
⚠注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準　・内線規程
  - 据付（電気）工事説明書
  （感電、火災の原因）
- **漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける**
（故障や、漏電時に感電、火災の原因）
- **電源は、必ず専用回路を使用する**
（感電、火災の原因）
- **アース工事（D 種接地工事）を行う**
  - アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
  - アース線は、ベランダの手すりにとらない
  （感電の原因）

本体を据え付けるときに

- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
（発熱、火災の原因）
- **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（製品の落下による、けがの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
（製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）

本体を据え付けるときに

- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
- **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**
（感電、故障の原因）
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）

制御対象機器を運転・停止するときに

- **照明や電動機の接続、点検作業時は必ず電源を切り、周囲に人がいないか十分に確認する**
（感電、挟み込み、巻き込みの原因）
- **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**（感電、挟み込み、巻き込みの原因）

⚠注意

据付（電気）工事をする前に

- **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ（感電、火災などの原因）
  - ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所に設置しない。
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

本体を据え付けるときに

- **水洗いしない**（感電の原因）

Printed in Japan
W0217-60823
ACXF60-24714
85464369957012

仕様

品番	CZ-CAPL1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大 3.0 W

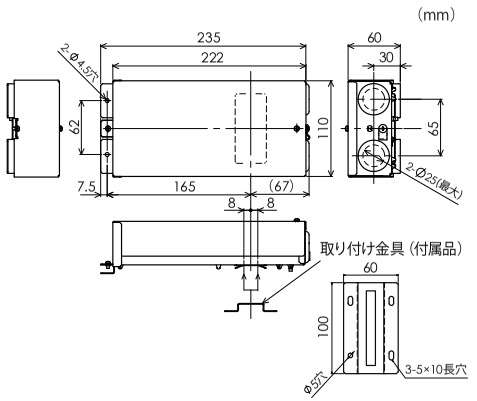
付属品 <>：個数

取付ネジ タッピンネジ 4×10 <6>	取り付け金具 <1>
結束クランパー <4>	停電時自動復帰仕様ラベル <1>
据付(電気)工事説明書 <1>	

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

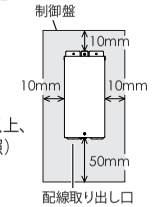
外形寸法図

(mm)



据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所、衝撃や振動のある場所（落下の原因）
  - 熱源の近くなど
  - 結露するところ
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 設置するときは、配線取り出し口を50mm以上、その他三面を10mm以上空ける。（右図参照）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。（映像の乱れ、雑音の原因）
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）を据え付ける。
- 基板だけを別機器に組み込むような改造はしない。



停電自動復帰機能

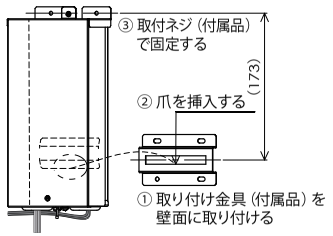
本機には、停電自動復帰機能が搭載されております。
（設定方法は、「4 設定スイッチについて」参照）
この機能は、予期せぬ短時間の停電に際し、停電後自動的に停電前の運転状態に復帰する機能です。
停電自動復帰機能を使用する場合、運転中に機器点検作業などで故意に電源スイッチを切り、その後電源スイッチを入れた場合でも、**自動的に運転が始まり、機器が動き出します。**

※ 機器点検作業時は、安全確保のため必ずブレーカーを切ってください。
※ 本機を引き渡す前に、必ず保守担当の方やお客様に**停電自動復帰機能を使用していること**を説明してください。
また、「停電時自動復帰仕様ラベル」（付属品）を本体の見えるところに貼り付けてください。

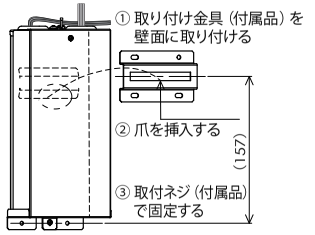
1 取り付ける

- 対象機器の周辺、または制御盤内に設置してください。
- リレー制御機器に接続する場合は、入力・出力用の配線は3m以内で機器に接続してください。
（接続ケーブルは0.5mm²以上、出力用の配線は機器の容量に合わせて余裕のある接続ケーブルを選んでください。）
- 上下面（縦向き）だけでなく、左右面（横向き）より配線取り入れ方向で固定することも可能です。

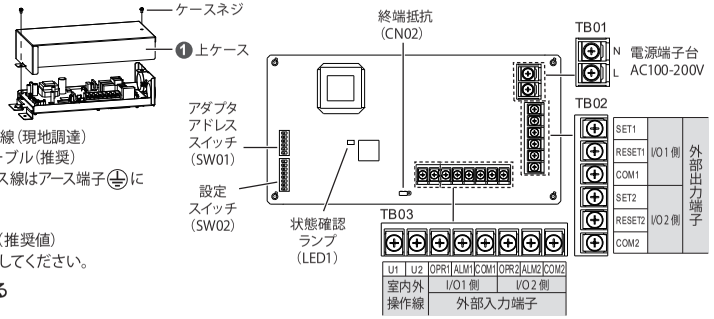
● 下面より配線取り入れ方向で固定する場合



● 上面より配線取り入れ方向で固定する場合（制御盤内設置に限る）



2 配線する



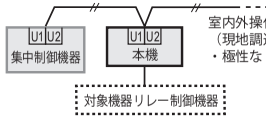
❶ 上ケースをはずす
（ケーススネジ：2）

❷ 電源線を接続する
- ケーブルの種類
  - ・使用基準：600Vビニール電線（現地調達）
  - ・柔軟性のある 2 mm²のケーブル（推奨）
- 電源線は電源端子台に、アース線はアース端子⏚に接続する。
  - ・電源端子ネジ　：M4
  - ・締め付けトルク：0.5N・m（推奨値）
- リード線の先端は端子加工してください。

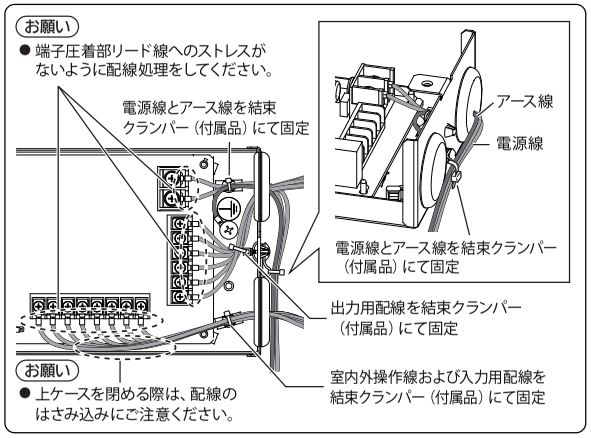
❸ 室内外操作線を接続する
- ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある2芯の0.5 ～ 2 mm²のケーブルを必ず使用してください。
  - ・推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
  - ・シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブル
- 総配線長：1000 m 以内
- 他の室内・室外ユニットの室内外操作線用の端子板にも接続できます。

お願い
- ノイズの影響を受けるおそれのある場所で使うときは、シールド線（片側アース）を使ってください。

基本配線図



お願い
- 端子圧着部リード線へのストレスがないように配線処理をしてください。



お願い
- 上ケースを閉める際は、配線のはさみ込みにご注意ください。

3 リレー制御機器の接続方法

出力端子および入力端子の仕様です。リレー制御機器を 2 台まで接続可能です。
※1 台のみの接続の場合は、SW02-7をONにしてください。

■ 出力端子について

設定スイッチ（SW02）により、制御対象機器に合った出力信号および運転アンサーバックの有無を選択してください。
詳しくは「8 リレー回路例」をご覧ください。

設定スイッチ			SET 端子 /RESET 端子からの出力信号	運転アンサーバックの有無
SW02-1	SW02-2	SW02-4		
OFF	OFF	OFF	SET1、2 端子　：運転信号（パルス、a 接点）*1 RESET1、2 端子：停止信号（パルス、a 接点）*1	有
	ON			無
	OFF	ON	SET1、2 端子：運転 / 停止信号（パルス、a 接点）*1 SET1、2 端子から運転・停止信号が交互に出力されます RESET1、2 端子：手元禁止信号 *2	有
ON	OFF	OFF	SET1、2 端子：運転 / 停止信号 (スタティック) 停止信号：接点 OFF (連続接点) 運転信号：接点 ON（連続接点） RESET1、2 端子：手元禁止信号 *2	有 （運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動しません）
	ON			無
	OFF	ON		有 （運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動します）

*1：パルス幅は約0.5秒です。
*2：集中制御機器側からの信号によって次のように出力します。必要に応じてご使用ください。
個別許可：接点OFF（連続接点）
手元禁止：接点ON（連続接点）

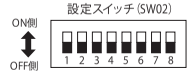
3 リレー制御機器の接続方法（つづき）

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
端子ネジ：M3.5 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） ● 接点容量 ・信号形式：無電圧 a 接点 ・接点許容電圧、電流：AC200V、0.5A ・最小接続負荷：5V、0.1A	TB02 SET1 RESET1 COM1 SET2 RESET2 COM2		AC200V COM AC200V COM	配線長　：3m 以内 配線太さ：0.5mm² 以上

■ 入力端子について

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
制御対象機器より状態モニタ信号をリレー接点で受けます。 出力端子ネジ　：M3 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） OPR：運転信号（接点ON：運転　接点OFF：停止） ALM：警報信号（接点ON：警報あり　接点OFF：警報なし） ● 接点容量 ・信号形式：無電圧 a 接点　スタティック ・接点許容電圧：DC12V±10% ・接点許容電流：Max 10mA	TB03 OPR1 ALM1 COM1 OPR2 ALM2 COM2			配線長　：3m以内 配線太さ：0.5mm²以上

4 設定スイッチについて（SW02）



※ 出荷時の設定はすべてOFF

[SW02-1] リレー出力形式
SET/RESETリレー出力の信号形式を切り換えます。
- ON ：スタティック出力
- OFF：パルス出力

[SW02-2] 運転アンサーバック
- ON ：運転アンサーバック入力を不使用
- OFF：運転アンサーバック入力を使用

※ 加湿器等を制御する場合など、運転アンサーバックを使用しない場合は、ONに設定してください。

[SW02-3] 集中制御アドレス設定方法
- ON ：本機のアダプタアドレススイッチ（SW01）で設定
- OFF：集中制御機器から設定

詳細は、「5 アダプタアドレスの設定のしかた」を参照してください。

[SW02-4] 運転アンサーバック連動出力
パルス出力の場合は、「3 リレー制御機器の接続方法」を参照してください。
スタティック出力の場合
- ON ：スタティック出力が、運転アンサーバック入力に連動する
- OFF：スタティック出力は、運転アンサーバック入力に連動しない

※ リモコン付きの全熱交換器式換気扇を制御する場合はONにしてください。

[SW02-5] 停電自動復帰機能
- ON ：停電自動復帰機能を使用
- OFF：停電自動復帰機能を不使用

※ 停電復帰機能を使用する場合は十分注意してください。

[SW02-6] 停止中の警報入力
- ON ：停止中の警報入力を受け付けない
- OFF：停止中の警報入力を受け付ける

[SW02-7] リレー制御機器接続台数
- ON ：1台接続
- OFF：2台接続

[SW02-8] 使用禁止

5 アダプタアドレスの設定のしかた（SW01）

アダプタアドレスは、室内ユニットのユニットNo.に相当します。
本機を複数使用する場合は重複しないように設定してください。

■ 集中制御アドレスを集中制御機器から設定する場合

（設定スイッチSW02-3をOFFにしてください。）

室内外操作線に直接接続される室内ユニットと本機が混在している状態で集中制御機器から集中制御アドレスを設定、変更する場合に適しています。

- 本機のアダプタアドレスを、1番から順に設定してください。
  - ※ 本機は、系統アドレス31として登録されます。
  - 例）アダプタアドレスが1番のとき、本機のユニットNo.は31-1になります。
  - 本機の集中制御アドレスは集中制御機器から自由に設定できます。

5 アダプタアドレスの設定のしかた（SW01）（つづき）

■ 集中制御アドレスをアダプタアドレススイッチで設定する場合

（設定スイッチSW02-3をONにしてください。）

● 本機のアダプタアドレスが、集中制御アドレスになります。
集中制御機器から集中制御アドレスの変更はできません。
お客様の要望に合わせて、アダプタアドレスを設定してください。

※ 本機は、系統31として登録され、
アダプタアドレスと集中制御アドレスは同じになります。

例）アダプタアドレスが5番のときは、本機のユニットNo.は31-5、
集中制御アドレスは5番になります。

アダプタアドレススイッチ（SW01）



※ 出荷時の設定はすべてOFF

● 室内ユニットの集中制御アドレスと重複しないように、設定してください。
● 負荷の接続台数によってアダプタアドレス設定方法が違います。
下記の表を参照してください。
（負荷接続台数はSW02-7で設定します）

（1） 2台接続の場合

アダプタアドレス		アドレススイッチ No.	アダプタアドレス		アドレススイッチ No.	アダプタアドレス		アドレススイッチ No.	アダプタアドレス		アドレススイッチ No.
I/O1側	I/O2側	1 2 3 4 5 6	I/O1側	I/O2側	1 2 3 4 5 6	I/O1側	I/O2側	1 2 3 4 5 6	I/O1側	I/O2側	1 2 3 4 5 6
1	2	＊－－－－－	17	18	＊－－－●－	33	34	＊－－－－●	49	50	＊－－－●●
3	4	＊●－－－－	19	20	＊●－－●－	35	36	＊●－－－●	51	52	＊●－－●●
5	6	＊－●－－－	21	22	＊－●－●－	37	38	＊－●－－●	53	54	＊－●－●●
7	8	＊●●－－－	23	24	＊●●－●－	39	40	＊●●－－●	55	56	＊●●－●●
9	10	＊－－●－－	25	26	＊－－●●－	41	42	＊－－●－●	57	58	＊－－●●●
11	12	＊●－●－－	27	28	＊●－●●－	43	44	＊●－●－●	59	60	＊●－●●●
13	14	＊－●●－－	29	30	＊－●●●－	45	46	＊－●●－●	61	62	＊－●●●●
15	16	＊●●●－－	31	32	＊●●●●－	47	48	＊●●●－●	63	64	＊●●●●●

＊：未使用(don't care)　－：スイッチOFF　●：スイッチON

（2） 1台接続の場合

アダプタアドレス	アドレススイッチ No.	アダプタアドレス	アドレススイッチ No.	アダプタアドレス	アドレススイッチ No.	アダプタアドレス	アドレススイッチ No.
I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6	I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6	I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6	I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6
1	－－－－－－	17	－－－－－●	33	－－－－－●	49	－－－－－●●
2	●－－－－－	18	●－－－－●	34	●－－－－●	50	●－－－－●●
3	－●－－－－	19	－●－－－●	35	－●－－－●	51	－●－－－●●
4	●●－－－－	20	●●－－－●	36	●●－－－●	52	●●－－－●●
5	－－●－－－	21	－－●－●－	37	－－●－－●	53	－－●－●●
6	●－●－－－	22	●－●－●－	38	●－●－－●	54	●－●－●●
7	－●●－－－	23	－●●－●－	39	－●●－－●	55	－●●－●●
8	●●●－－－	24	●●●－●－	40	●●●－－●	56	●●●－●●
9	－－－●－－	25	－－－●●－	41	－－－●－●	57	－－－●●●
10	●－－●－－	26	●－－●●－	42	●－－●－●	58	●－－●●●
11	－●－●－－	27	－●－●●－	43	－●－●－●	59	－●－●●●
12	●●－●－－	28	●●－●●－	44	●●－●－●	60	●●－●●●
13	－－●●－－	29	－－●●●－	45	－－●●－●	61	－－●●●●
14	●－●●－－	30	●－●●●－	46	●－●●－●	62	●－●●●●
15	－●●●－－	31	－●●●●－	47	－●●●－●	63	－●●●●●
16	●●●●－－	32	●●●●●－	48	●●●●－●	64	●●●●●●

※ I/O1側とI/O2側の位置は「2 配線する」の端子台の図を参照してください。

－：スイッチOFF　●：スイッチON

6 終端抵抗（プラグ）

● 本機のみで構成される場合、本機1台の場合は、1か所、複数台の場合は2か所を
「終端抵抗あり」に設定してください。（3か所以上は禁止）

CN02が「OPEN側」… 終端抵抗が接続されません。（出荷設定）
CN02が「SHORT側」… 終端抵抗が接続されます。



終端抵抗なし
（OPEN）



終端抵抗あり
（SHORT）

7 運転・警報表示について

● 基板上の状態確認ランプ（LED1）より運転状態を確認することができます。

点灯パターン		内 容
点灯（赤）		正常運転
点滅（赤）	等間隔点滅　※1	警報発生
	不等間隔点滅　※2	システム停止中

※1：0.5秒毎に点灯/消灯が切り換わる点滅
※2：2回点灯後、2秒消灯を繰り返す点滅

警報発生時は集中制御機器に以下の警報が表示されます。

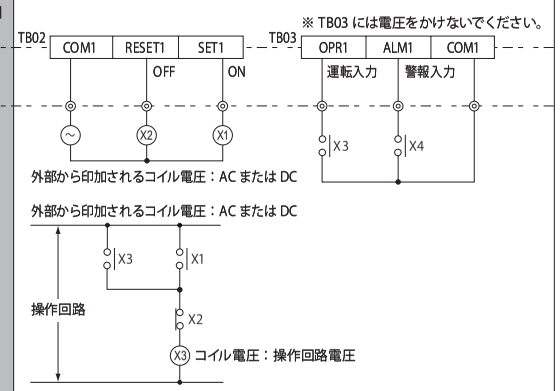
C12：本機に接続している機器から警報入力があります。
本機に接続している機器の警報状態をご確認ください。

C19：アダプタアドレスが重複しています。
アダプタアドレスが重複しないようにアドレススイッチを設定してください。
設定スイッチSW2-7がOFF（2台接続）の場合、本機1台につき
2つのアダプタアドレスを使用するため、2つのアダプタアドレスが
両方とも重複しないようにアドレススイッチを設定してください。

8 リレー回路例

これは接続回路の一例です。

パルス接点出力の場合

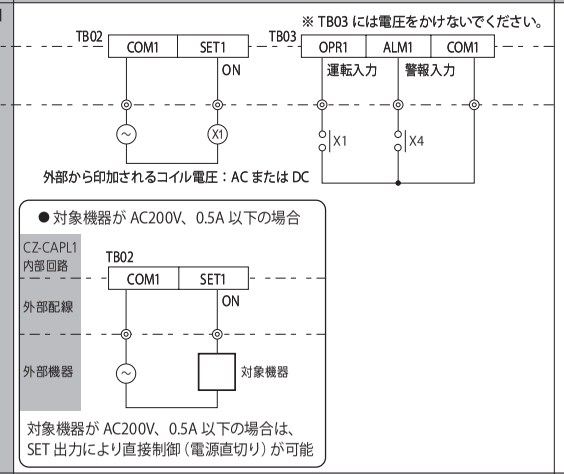


特 記 事 項

1）X1、X2、X3、X4 は補助継電器
2）スイッチ SW02-1 を OFF
スイッチ SW02-4 を OFF
3）対象機器からの運転アンサーバックを
使用しないとき、
スイッチ SW02-2 を ON。
4）運転アンサーバック入力を使用しないとき、
OPR1、ALM1 は未接続。
（使用する入力のみ接続）

※ 1 台接続の場合

スタティック接点出力の場合

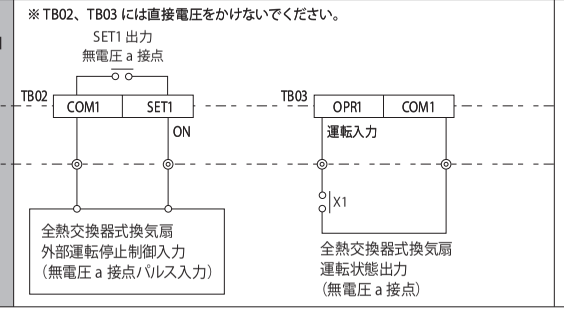


特 記 事 項

1）X1、X4 は補助継電器
2）スイッチ SW02-1 をON
3）RESET 出力を集中／個別の切換に
利用可能
（集中制御機器で「集中」のとき ON、
「個別許可」のとき OFF）
4）対象機器からの運転アンサーバックを
使用しないとき、
スイッチ SW02-2 を ON。
5）運転アンサーバック入力を使用しないとき、
OPR1、ALM1 は未接続。
（使用する入力のみ接続）

※ 1 台接続の場合

全熱交換気式換気扇との接続



特 記 事 項

1）スイッチ SW02-1 を OFF
スイッチ SW02-2 を OFF
スイッチ SW02-4 を ON
2）全熱交換器式換気扇の
・外部運転停止制御入力は、
無電圧 a 接点パルス
・運転状態出力は、
無電圧 a 接点パルス

注）集中制御機器または全熱交換器式
換気扇のリモコンから繰り返し連続で
運転／停止操作をすると、
全熱交換器式換気扇が、設定を
受け付けないことがあります。

ACXF60-24714

据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ（CZ-01APC3）

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び”据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●AC200Vを使用する場合は、確実にアースしてください。アースが不完全の場合、感電事故のおそれがあります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

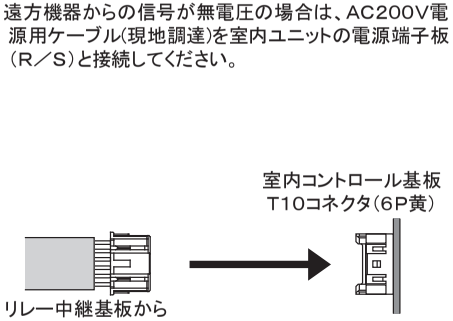
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

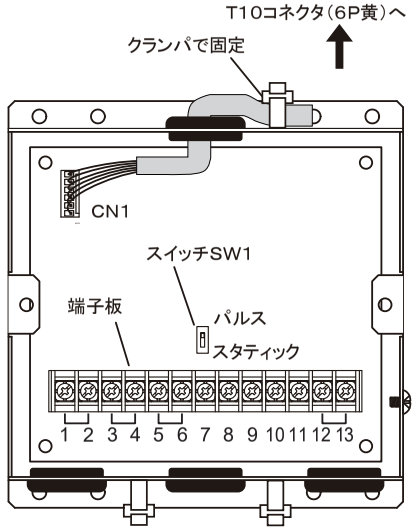
1．付属品

	部品名称	形状	員数
①	通信用ケーブル	1900mm	1本
②	タッピンネジ（本体固定用）	4×10	4個
③	据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ		1部

2．室内ユニットとの接続

・ハトメゴムに切れ込みを入れ、付属の通信用ケーブルを通してリレー中継基板のCN1に接続してください。
・通信用ケーブルのもう一方を室内コントロール基板上のT10コネクタ（6P黄）に接続してください。
・遠方機器からの信号が無電圧の場合は、AC200V電源用ケーブル(現地調達)を室内ユニットの電源端子板（R／S）と接続してください。

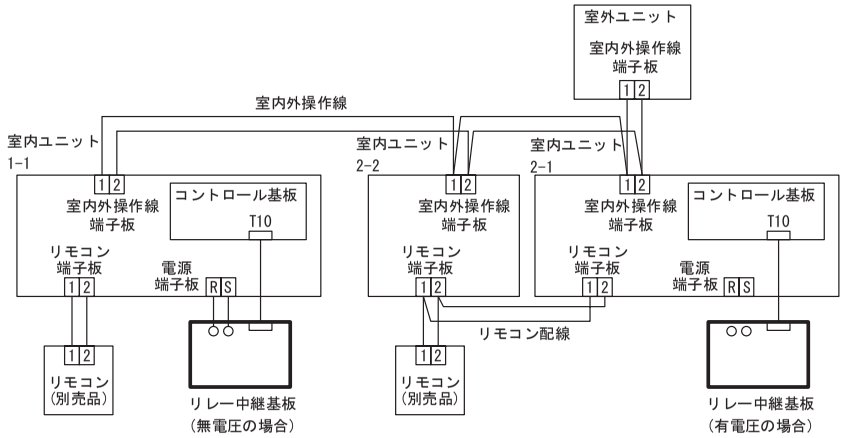




3．システム系統図

・遠隔運転する場合は、グループ内のいずれかの室内ユニットにリレー中継基板を接続します。
・運転／警報モニタ信号を取り出す場合は室内ユニットごとにリレー中継基板を接続します。

システム系統図の例



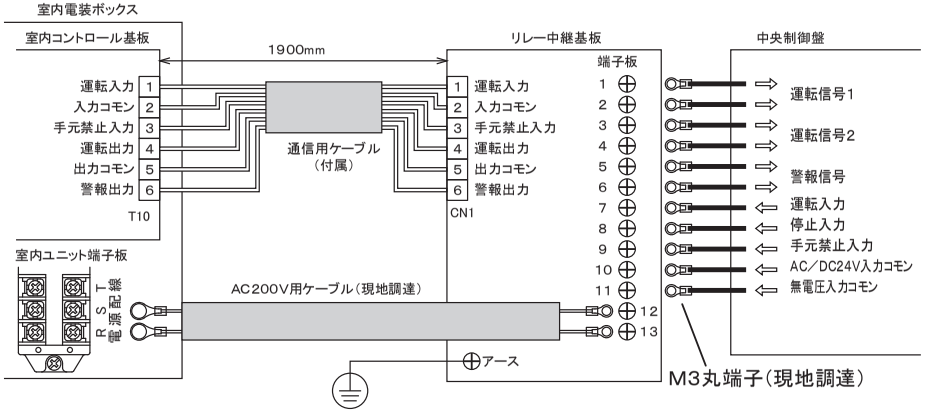
4. リレー中継基板の設置と遠方機器との接続

・リレー中継基板は室内ユニット近傍で、結露や塵埃の影響を受けない場所に設置してください。
※付属のケーブルは延長しないでください。正常な動作が行われなくなります。
・遠方機器側への配線は下記の線種で、線径は0．5mm²～2mm²をご使用ください。

エコ電線記号	従来記号	名称（従来名称）	適用規格
ECO120	VCT	耐燃性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型ケーブル （ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル）	JCS4501 JIS C 3312
EM-CEE	CVV	制御用耐燃性ポリエチレンシースケーブル （制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル）	JIS C 3401
EM-ECTF	VCTF	耐燃性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型コード （ビニルキャブタイヤ丸型コード）	JIS C 3306
EM-EER	VVR	600V耐燃性ポリエチレンシース丸型ケーブル （600Vビニル絶縁ビニルシース丸型ケーブル）	JIS C 3342

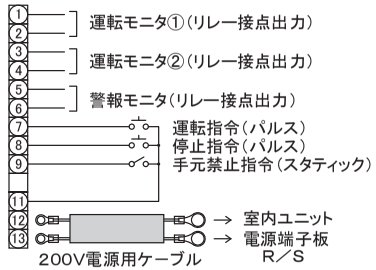
※エコ電線について：紫外線（日光、照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用をご使用ください

・端子板への接続は、M3の丸端子（現地調達）をご使用ください。
※先端をむき出したままの配線を使用すると、ショートして発火するおそれがあります。
・通信用ケーブルと200V電源用ケーブルは束ねずに、必ず離して敷設してください。
※ケーブルを束ねると、通信ケーブルにノイズを誘導して誤動作を起こすおそれがあります。

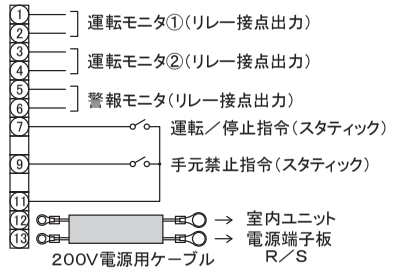


・遠方機器からの配線は端子板に接続しますが、ご使用になる信号の形式によって異なりますので注意してください。
※誤配線があると室内ユニットが正常に動作しなかったりモニタ信号が正しく出力されないだけでなく、室内コントロール基板やリレー中継基板が破壊します。
※無電圧で使用する場合は配線長を50m以下にしてください。

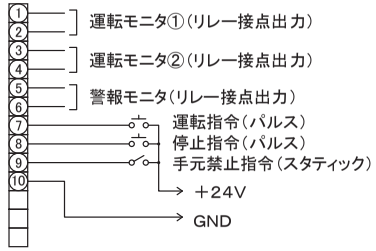
（1）無電圧　パルス形式
端子板



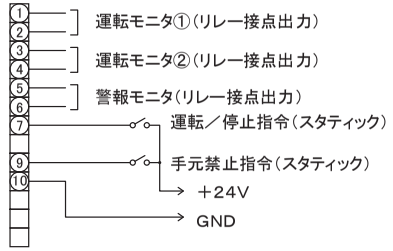
（2）無電圧　スタティック形式　※注1
端子板



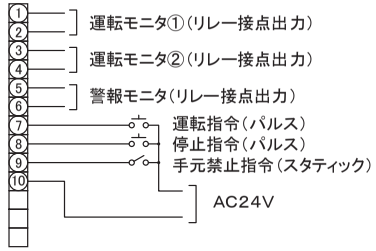
（3）DC24V　パルス形式
端子板



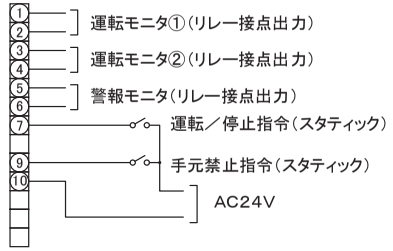
（4）DC24V　スタティック形式　※注1
端子板



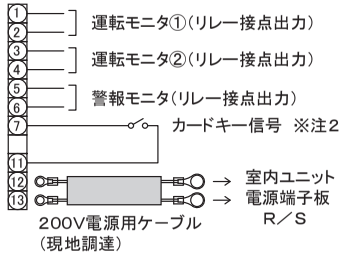
（5）AC24V　パルス形式
端子板



（6）AC24V　スタティック形式　※注1
端子板



（7）消し忘れ防止機能(カードキー)　無電圧　スタティック形式　※注1
端子板



※注1：スタティック形式で使用するときは、「5．基板上の設定について」をご確認の上、設定を行ってください。
※注2：リモコンで項目コード「2E」の設定データを変更すると、動作が変更します。

●消し忘れ防止機能(カードキー)を使用する場合は、リモコンの「詳細設定」で、項目コードの変更が必要です。
・項目コード：2E
・設定データ：0000→0001

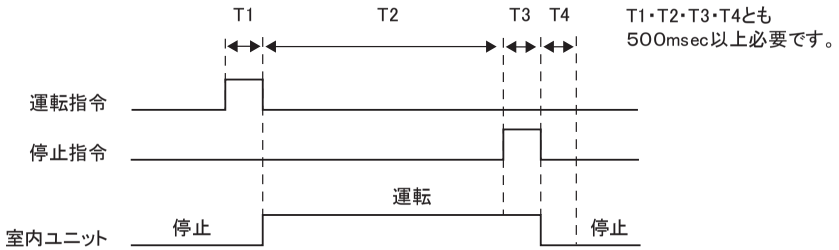
●消し忘れ防止機能時の動作
・カードキー挿入(接点閉)：手元操作許可
・カードキー抜取(接点開)：手元操作禁止＋停止

5. 基板上の設定について

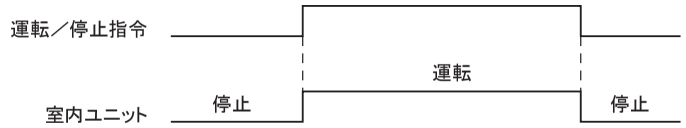
ご使用になる信号の形式を、リレー中継基板上のスイッチ(SW1)、および室内コントロール基板上のジャンパ線(JP001)で設定してください。
この設定を誤ると、リレーが連続で動作する等の誤動作を起こしますのでご注意ください。

信号形式		リレー中継基板上スイッチ(SW1)	室内基板ジャンパ線(JP001)
パルス（運転／停止個別入力）	無電圧 DC24V AC24V	「パルス」 （工場出荷状態）	あり （工場出荷状態）
スタティック	無電圧 DC24V AC24V	「スタティック」	なし （ニッパ等で切断）
消し忘れ防止機能（スタティック）	無電圧 DC24V AC24V	「スタティック」	あり （工場出荷状態）

パルス形式（運転／停止個別入力方式）



スタティック形式



6. 入力仕様

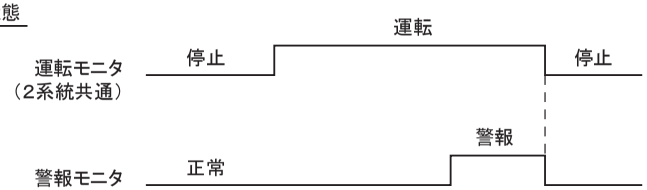
	入力項目	入力仕様	用途
①	運転入力	無電圧a接点（パルス／スタティック） 回路接点電圧AC24V、接点容量10mA DC24V（パルス／スタティック） 接点容量6mA AC24V（パルス／スタティック） 接点容量10mA	運転指令（または運転／停止指令）の入力
②	停止入力	無電圧a接点（パルス） 回路接点電圧AC24V、接点容量10mA DC24V（パルス） 接点容量6mA AC24V（パルス） 接点容量10mA	停止指令の入力
③	手元禁止入力	無電圧a接点（スタティック） 回路接点電圧AC24V、接点容量10mA DC24V（スタティック） 接点容量6mA AC24V（スタティック） 接点容量10mA	手元禁止指令の入力 手元（リモコン）での運転／停止が禁止されます。

推奨リレー：富士電機HH62、オムロンMY2、もしくはこれらの相当品

7. 出力仕様

	入力項目	入力仕様	用途
①	運転モニタ（2系統）	無電圧a接点連続（スタティック） 接点定格AC200V、2A（cosφ＝0．4）	運転、停止状態の監視
②	警報モニタ	無電圧a接点連続（スタティック） 接点定格AC200V、2A（cosφ＝0．4）	警報の監視

出力状態

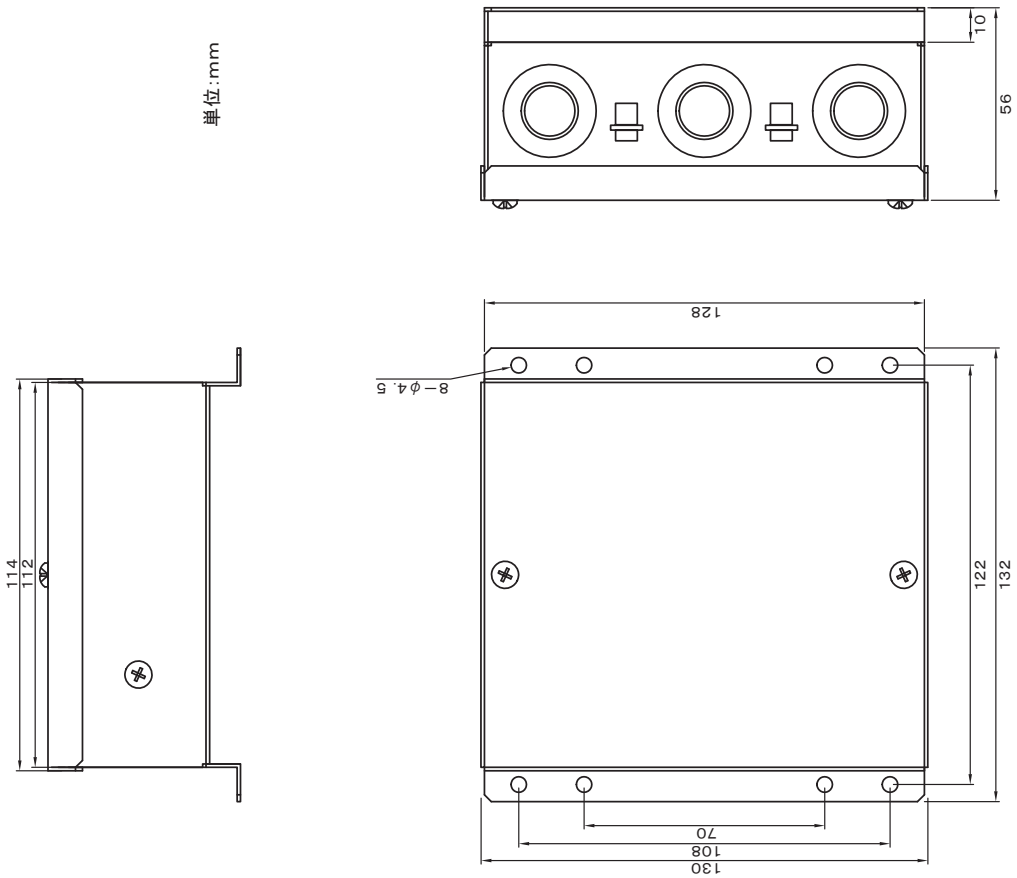


室内用リレー中継基板　CZ-01APC3…別売品　施工

Printed in Japan
DC0511-40723
ACXF60-29493
8546436948200 1

8. 外形寸法図

単位：mm

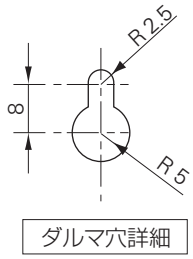


室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　仕様

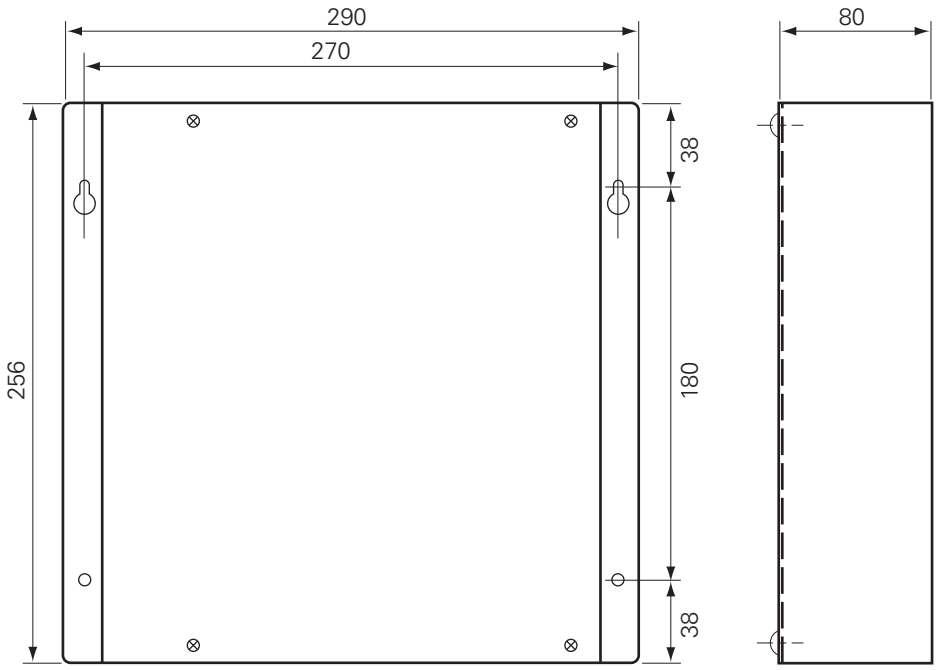
●仕様

制御台数	室外ユニット4系統分
電源定格	AC単相100V／200V・50／60Hz
消費電力	18W
外形寸法／質量	(高さ)80mm×(幅)290mm×(奥行)256mm ／ 3.2kg
配線長	室内外操作線　総延長1km ／ デジタル信号100m以下

●外形寸法図



ダルマ穴詳細

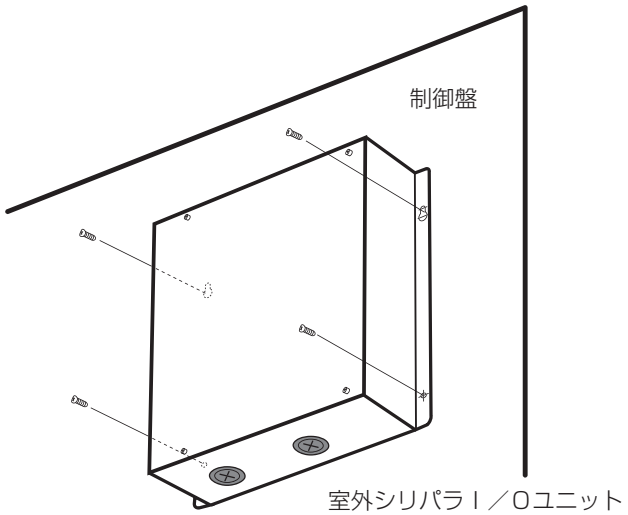


室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

1．室外シリパラ I ／ O ユニットの取り付け方

＜注１＞室内外操作線や入出力配線は、電源配線などと一緒に寄り合わせたり同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますのでさけてください。
＜注２＞室外シリパラ I ／ O ユニットはノイズ発生源から離して据え付けてください。
＜注３＞水などがかかる場所や水のたまるような極端に湿気の多いところは避けてください。
＜注４＞過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

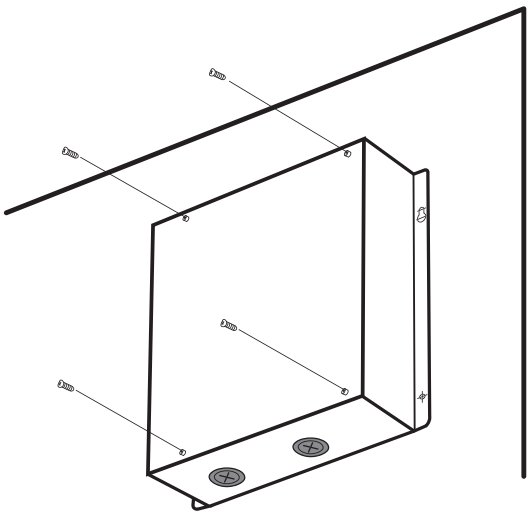
制御盤に組み込んで使用する場合、室外シリパラ I ／ O ユニットの数に合わせて制御盤を現地手配してください。



2．室外シリパラ I ／ O ユニットの配線の仕方

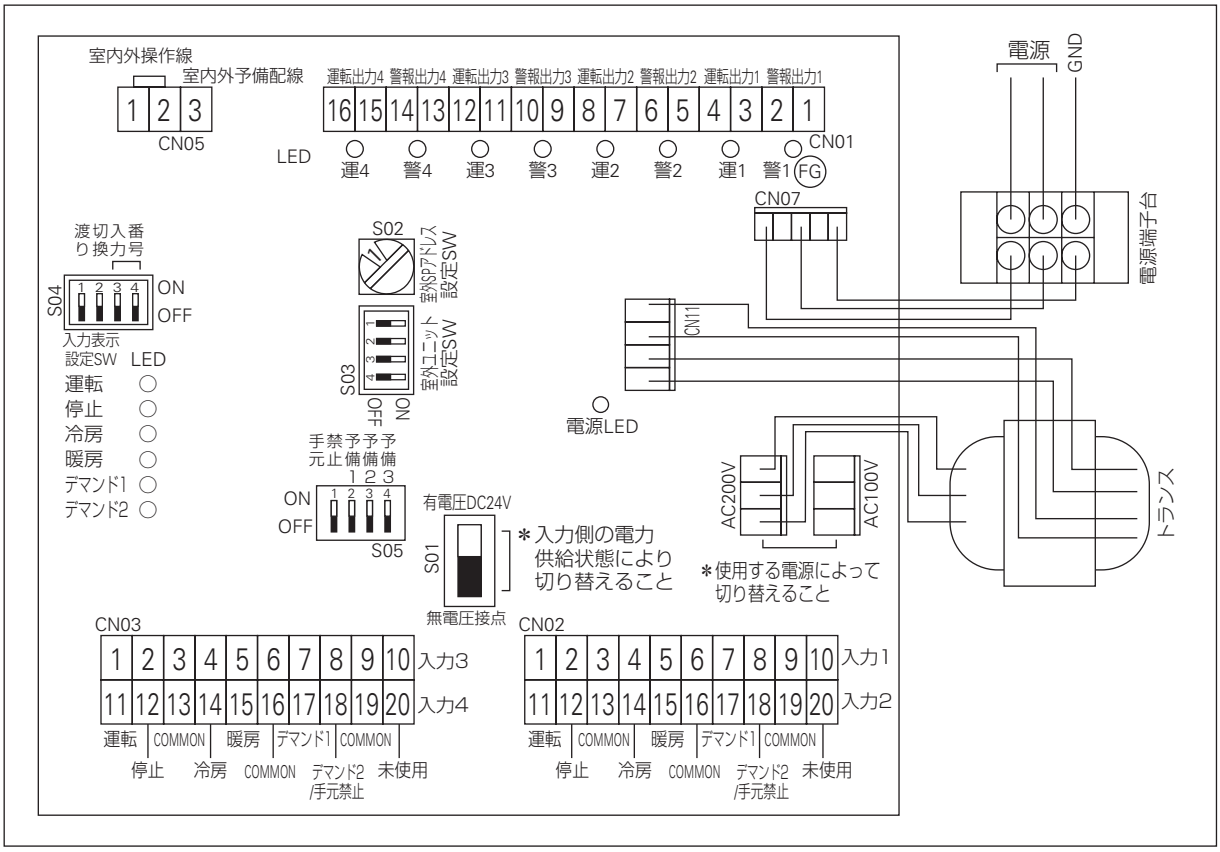
室外シリパラ I ／ O ユニットの取り付け、取り外しは安全のため漏電しゃ断器を切ってから行ってください。

・ネジを４本外し、上ブタを外します。



室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

＜室外シリパラ I ／Oユニット基板 部品配置＞



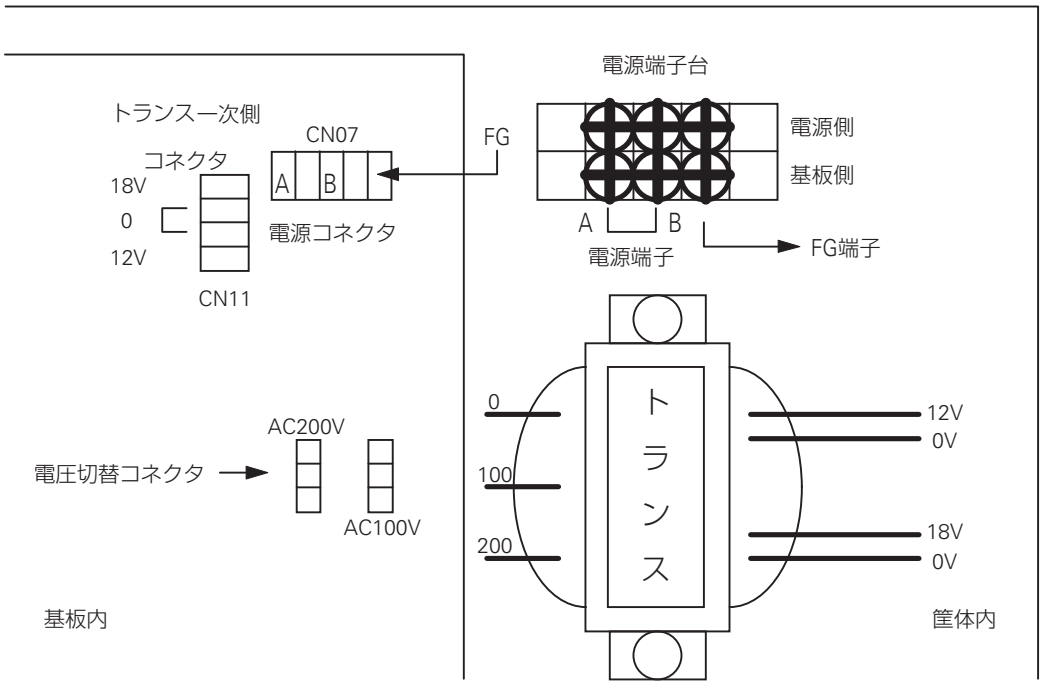
①電源の接続

AC100VまたはAC200Vのうち一方を使用します。室外シリパラ I ／Oユニット基板のAC100V用コネクタ（AC100V表示の赤いコネクタ）、AC200V用コネクタ（AC200V表示の赤いコネクタ）のいずれかにトランスの一次側（赤３P）を差し替えて使用します。使用する電源電圧を確認して切り換えてください。工場出荷時はAC200Vに設定されています。

（注意）・電源電圧とトランスの一次側の切替を間違えますと壊れる恐れがありますので注意してください。
・コネクタの差し替えは電源を切ってから作業を行ってください。
・高電圧回路のため感電する恐れがあります。電源ON中は触らないでください。
・電源ON中は、電源部のコネクタ部分等（金属がむきだしになっている部分）には触れないでください。

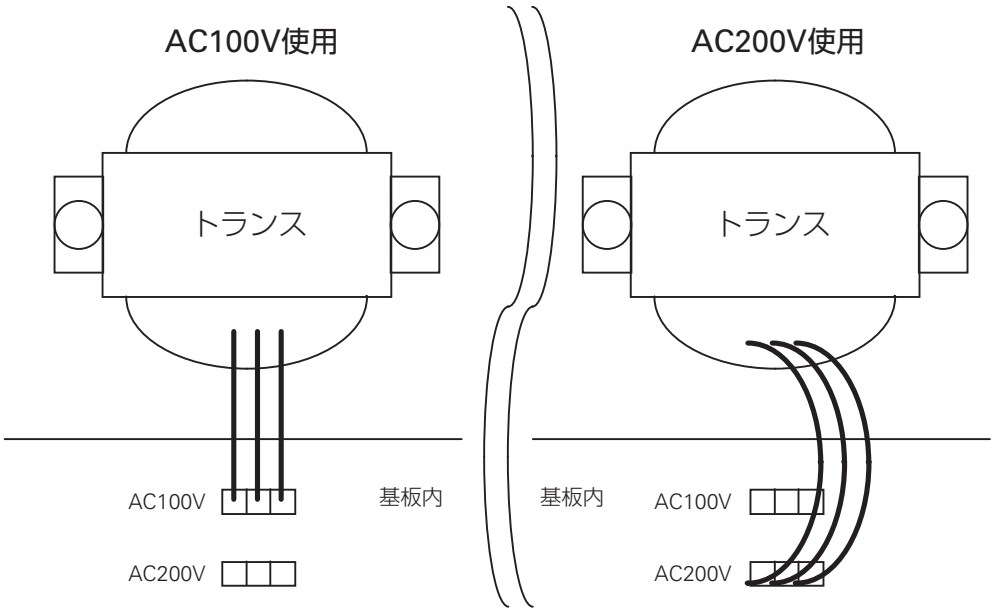
室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

＜トランス及び電源コネクタ、端子台配置図＞



変更時

・AC100V仕様の時には下左図のようにトランスからの３Ｐコネクタを AC100V側に接続してください。（感電の恐れがあるので電源を切ってから切り換えてください）



室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

②室外シリパラ I ／Oユニットと室内外操作線の接続

・室外シリパラ I ／Oユニットを空調機へ接続する際には室内外操作線を利用します。
・室内操作線は２芯0.5～2.0mm㎡の電線を使用してください。(総延長1kmまで)信号線には極性がありません。電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。室内外操作線は電源配線と違いのわかる信号線を使用してください。

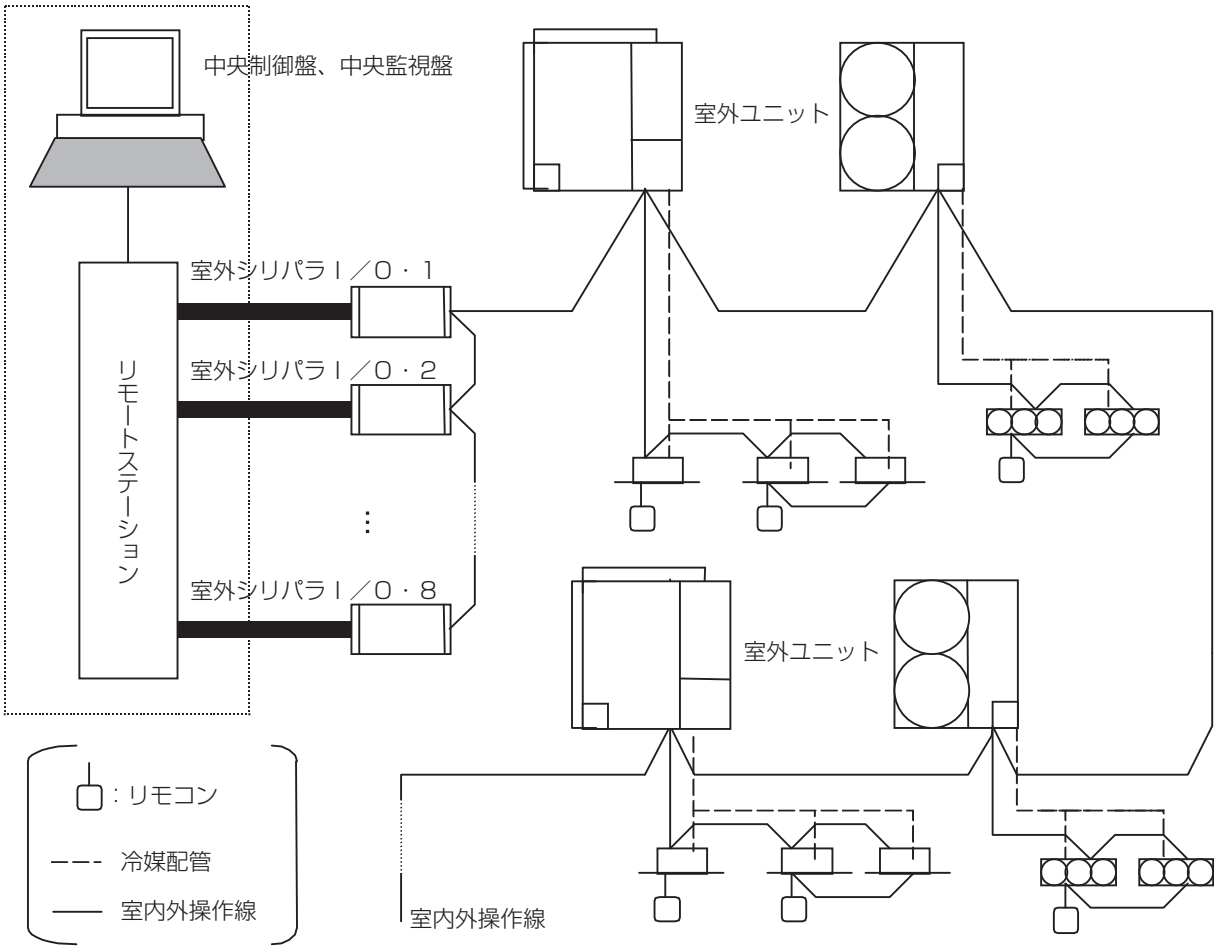
エコ電線記号	従来記号	名　　称（従来名称）	適用規格
EM-CEE	CVV	制御用耐熱性ポリエチレンシースケーブル (制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル)	JIS C 3401
ECO120	VCT	耐熱性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型ケーブル (ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル)	JCS4501 JIS C 3312
EM-ECTF	VCTF	耐熱性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型コード (ビニルキャブタイヤ丸型コード)	JIS C 3306
EM-EEF	VVF	600V耐燃性ポリエチレンシース平型ケーブル (600Vビニル絶縁ビニルシース平型ケーブル)	JIS C 3342
EM-CPEES	CPEVS	通信用シールド付き市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (シールド付き市内対ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル)	—
EM-K-CPEE	KPEVS	計装用シールド付き市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (シールド付き市内対ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル)	JIS C 5402
EM-MEE-S	MVVS	しゃへい付きマイクロホン用耐熱性ポリエチレンコード (しゃへい付きマイクロホン用ビニルコード)	JCS4271

※エコ電線について：紫外線(日光、照明など)の影響を受ける場合は、しゃ光するか耐紫外線用をご使用ください。

＜基本配線図＞

・室外シリパラ I ／Oユニットの室内外操作線の配線例として6ページを参照してください。
・１システムの接続台数は室外ユニット最多30台・室内ユニット最多64台までです。
・室外シリパラ I ／Oユニットは１台で室外ユニット最多４台まで管理できます。
・１システムに室外シリパラ I ／Oユニットを最多８台まで接続でき、室外ユニットを30台まで管理可能です。

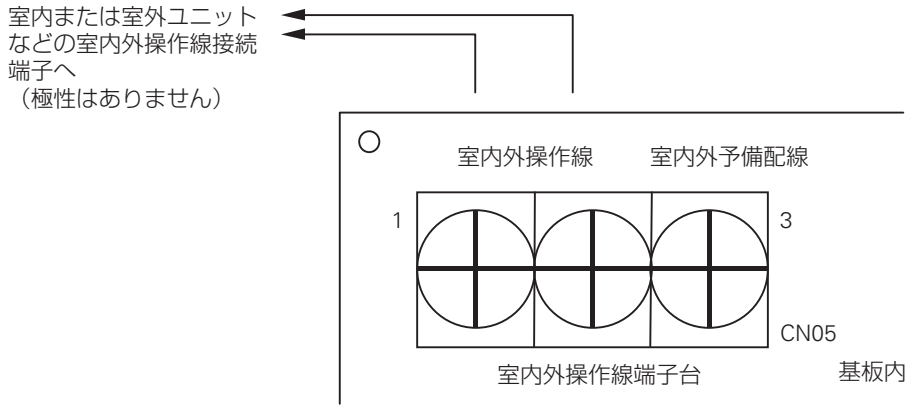
室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工



＜配線の手順＞

・室内外操作線

●基板の室内外操作線用端子台(通信用)ＣＮ０５の１－２間に、室外または室内ユニットの室内外操作線用接続端子を接続します。



室内外操作線端子台に電源線(AC100V／200V)を配線していないかを確認してください。誤って電源を印加した場合は、基板のヒューズ(F01)が溶断して基板を保護するようにしています。電源配線接続を修正したのち、室内外操作線をCN05の１－3(室内予備配線を使う)間に配線を行ってください。（作業は必ず電源OFFしてから行ってください）

室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

③ 室外シリパラ I ／Oユニットと外部接続(中央制御盤、中央監視盤)間の接続

名称	入出力項目	室外シリパラ I ／Oユニット側		設備（中央制御盤、中央監視盤）側		
		入出力条件	端子番号	切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	状態出力	運転出力１～４ 無電圧ａ接点出力 接点許容電圧電流 DC30V／1A 最小適用負荷 1V 1mA	CN01-3,01-7 CN01-11,01-15 CN01-4,01-8 CN01-12,01-16		デジタル入力	運転、停止入力に応対する応答時間 最大20sec
		警報出力１～４ 無電圧ａ接点出力 接点許容電圧電流 DC30V／1A 最小適用負荷 1V 1mA	CN01-1,01-5 CN01-9,01-13 CN01-2,01-6 CN01-10,01-14		デジタル入力	運転、停止入力に応対する応答時間 最大20sec
	制御入力	一括運転入力 一括停止入力 (パルス／ｽﾀﾃｨｯｸ) フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA Ｓ０１を 無電圧接点 （出荷時）	CN02-1,02-11 CN03-1,03-11 CN02-2,02-12 CN03-2,03-12 CN02-3,02-13 CN03-3,03-13			パルス幅１秒以上 無電圧ａ接点出力
		一括運転入力 一括停止入力 (パルス／ｽﾀﾃｨｯｸ) フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA Ｓ０１を 有電圧DC２４V	CN02-1,02-11 CN03-1,03-11 CN02-2,02-12 CN03-2,03-12 CN02-3,02-13 CN03-3,03-13		DC24V COM	パルス幅１秒以上 有電圧DC24V出力

室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

名称	入出力項目	室外シリパラ I ／Oユニット側		設備（中央制御盤、中央監視盤）側		
		入出力条件	端子番号	切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	制御入力	冷房入力 暖房入力 フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA S01を 無電圧接点方向 （出荷時）	CN02-4,02-14 CN03-4,03-14 CN02-5,02-15 CN03-5,03-15 CN02-6,02-16 CN03-6,03-16			パルス幅1秒以上 無電圧a接点出力
		冷房入力 暖房入力 フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA S01を 有電圧DC24V方向	CN02-4,02-14 CN03-4,03-14 CN02-5,02-15 CN03-5,03-15 CN02-6,02-16 CN03-6,03-16		DC24V COM	パルス幅1秒以上 有電圧DC24V出力

（注意事項）

・冷房入力、暖房入力は、スタティック入力として使用することができます。
この時ON中は、モード固定になります。
暖房入力中、リモコンは、暖房、送風モードが選択できます。
冷房入力中、リモコンは、冷房、ドライ、送風モードが選択できます。
但し、店舗用および3WAYマルチエアコンには、モード固定機能がないため、固定にはなりません。 また、モード切り換え時は、暖房、冷房入力の両方がONしないように切り換えてください。

室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

名称	入出力項目	室外シリパラ I ／Oユニット側		設備（中央制御盤、中央監視盤）側		
		入出力条件	端子番号	切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	制御入力（ｽﾀﾃｨｯｸ）	デマンド1、デマンド2 S05-1：ON時（サーモOFF, 手元禁止） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA S01を 無電圧接点方向（出荷時）	CN02-7,02-17 CN03-7,03-17 CN02-8,02-18 CN03-8,03-18 CN02-9,02-19 CN03-9,03-19			パルス幅1秒以上 無電圧a接点出力
		デマンド1、デマンド2 S05-1：ON時（サーモOFF, 手元禁止） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA S01を 有電圧DC24V方向	CN02-7,02-17 CN03-7,03-17 CN02-8,02-18 CN03-8,03-18 CN02-9,02-19 CN03-9,03-19		DC24V COM	パルス幅1秒以上 有電圧DC24V出力

・室外シリパラ I ／Oユニットと設備側の配線長について

デジタル信号は100m以下で使用してください。

室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

＊入力端子台対応表

	入力1	入力2	入力3	入力4
一括運転	CN02-1　運転 CN02-3　COM	CN02-11　運転 CN02-13　COM	CN03-1　運転 CN03-3　COM	CN03-11　運転 CN03-13　COM
一括停止	CN02-2　停止 CN02-3　COM	CN02-12　停止 CN02-13　COM	CN03-2　停止 CN03-3　COM	CN03-12　停止 CN03-13　COM
冷房	CN02-4　冷房 CN02-6　COM	CN02-14　冷房 CN02-16　COM	CN03-4　冷房 CN03-6　COM	CN03-14　冷房 CN03-16　COM
暖房	CN02-5　暖房 CN02-6　COM	CN02-15　暖房 CN02-16　COM	CN03-5　暖房 CN03-6　COM	CN03-15　暖房 CN03-16　COM
デマンド1 ／サーモoff	CN02-7　デマンド1 ／サーモoff CN02-9　COM	CN02-17　デマンド1 ／サーモoff CN02-19　COM	CN03-7　デマンド1 ／サーモoff CN03-9　COM	CN03-17　デマンド1 ／サーモoff CN03-19　COM
デマンド2 ／手元禁止	CN02-8　デマンド2 ／手元禁止 CN02-9　COM	CN02-18　デマンド2 ／手元禁止 CN02-19　COM	CN03-8　デマンド2 ／手元禁止 CN03-9　COM	CN03-18　デマンド2 ／手元禁止 CN03-19　COM

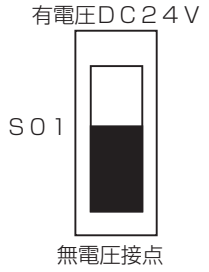
＊各入力の配線時の極性

	各入力（運転、停止、 冷房、暖房、 デマンド1／サーモoff、デマンド2／手元禁止）	COM
S01：無電圧接点側	無電圧接点のため 極性無し	無電圧接点のため 極性無し
S01：有電圧DC24V側	正極	COM

室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

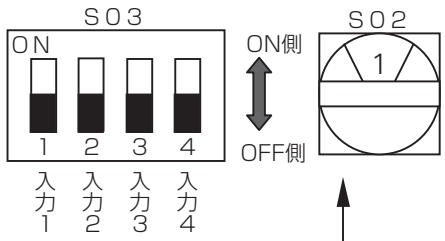
3．設定スイッチについて

●設定スイッチＳ０１について（電圧切替は電源を入れる前に行ってください。）



・Ｓ０１（接点入力電圧切替SW）(出荷時：無電圧接点)について
1. 入力端子を無電圧 A 接点で使用するときスイッチ０１を無電圧接点側に入れる。
2. 入力端子を有電圧 DC24V 接点で使用するときスイッチ０１を有電圧 DC24V 側に入れる。

●設定スイッチＳ０２、Ｓ０３について



・Ｓ０２（室外ＳＰアドレス設定ＳＷ）
室外シリパラのアドレスを設定するＳＷです。(＊1参照)

・Ｓ０３（室外ユニット設定ＳＷ）
接続室外ユニットを設定するＳＷです。使用する入力はＳＷを必ず ON に切り換えてください（ 注：OFF 入力のものは入出力を行いません）。

１：系統アドレス　１～４　　２：系統アドレス　５～８
３：系統アドレス　９～１２　４：系統アドレス１３～１６
５：系統アドレス１７～２０　６：系統アドレス２１～２４
７：系統アドレス２５～２８　８：系統アドレス２９～３０
（0は1と同じ設定。9は8と同じ設定。）

（＊１）Ｓ０２(室外SPアドレス設定SW)を換えた時の入出力端子台(入出力１～4)と系統アドレスとの関係

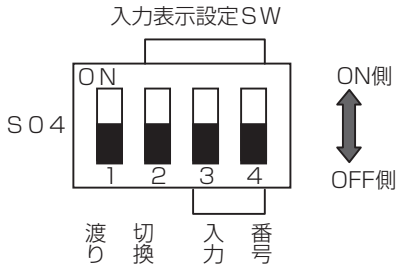
Ｓ０２（室外ＳＰアドレス設定ＳＷ）	入出力端子台番号				
	1	2	3	4	
1	1	2	3	4	系統アドレス（室外ユニットアドレス）
2	5	6	7	8	
3	9	10	11	12	
4	13	14	15	16	
5	17	18	19	20	
6	21	22	23	24	
7	25	26	27	28	
8	29	30	30	30	

↑

重複する設定は、禁止です。仮に設定しても正常な動作はしません。

室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

●設定スイッチＳ０４について



・Ｓ０４－１(出荷時OFF)

渡り	OFF	渡り処理無し(通常)
	ON	渡り処理有り(端子台入力１にのみ配線してください)

＊渡り処理有りの場合：端子台入力１～４に渡りの配線をしたのと同様の処理を行います。（入力２～４にも入力１と同じ入力があるものとして処理します。)渡り入力有りの場合もS03でoff入力のものは入出力の動作は行いません。

・Ｓ０４－２(出荷時OFF)

切換	OFF	LED1～4に対応する室外ユニットとの通信状態を表示します。
	ON	LED(６個)に入力番号で選択した端子台の各入力状態(運転、停止など)を表示します。

・Ｓ０４－３、４ 入力番号選択：確認したい入力番号を選びます。

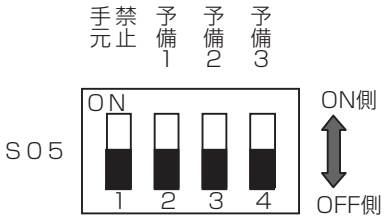
	Ｓ０４－３	Ｓ０４－４
入力1	ＯＦＦ	ＯＦＦ
入力2	ＯＦＦ	ＯＮ
入力3	ＯＮ	ＯＦＦ
入力4	ＯＮ	ＯＮ

＊Ｓ０４－2(切換)とＳ０４－３、４(入力番号)の設定によりLEDに以下の表示を行います(切換がＯＮになっていると選択した入力番号の入力端子台に入力されている信号に応じたＬＥＤを点灯します)

切換	ＯＦＦ(通常時)	ＯＮ(入力確認時)
ＬＥＤの説明	1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ ○ ○ （番号に対応する室外ユニットとの通信が 正常時：点灯 異常時：点滅）	運転 ○ 停止 ○ 冷房 ○ 暖房 ○ デマンド１ ○ デマンド２ ○ （入力有り：点灯 入力無し：消灯）

室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

●設定スイッチＳ０５について



・Ｓ０５－１(出荷時 OFF)手元禁止 SWで入力を以下のように切り替えます。

手元禁止	入力1～4 端子7－9または17－19入力	入力1～4 端子8－9または18－19入力
OFF	デマンド1	デマンド2
ON	サーモOFF（＊1）	手元禁止（＊2）

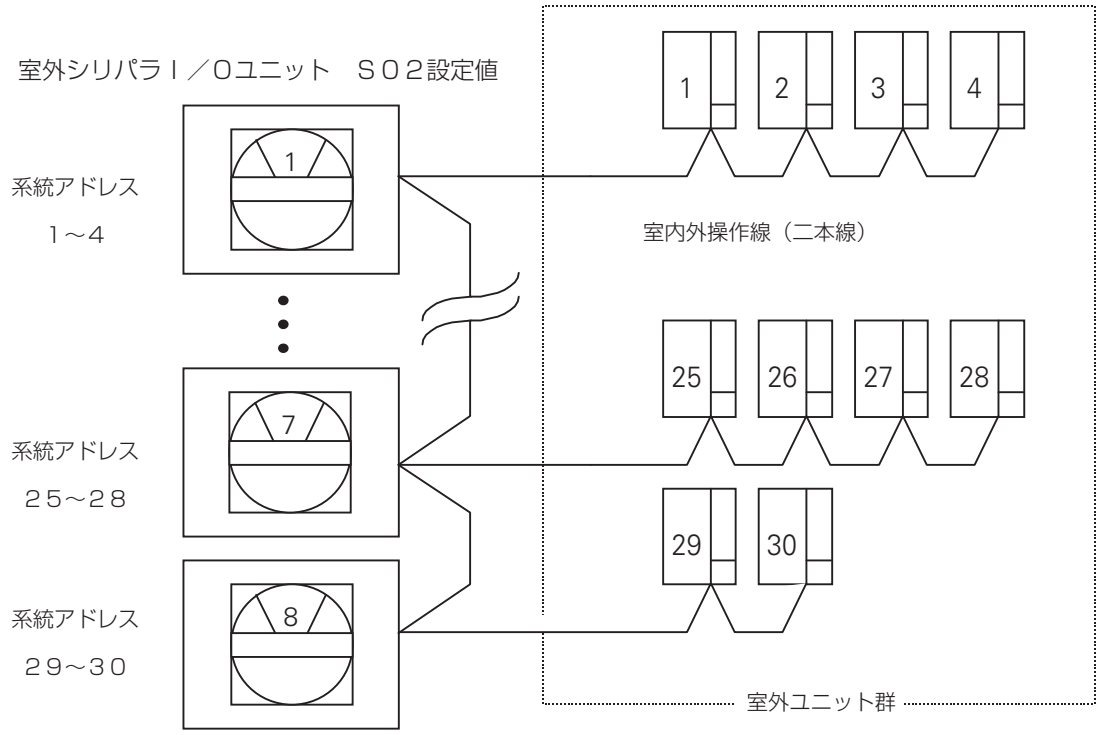
＊１：強制サーモOFF（100%のデマンド）入力になります。
＊２：手元禁止時は、集中1（運転停止が禁止）となります。

室外シリパラ I/O ユニット／ ACC-XSP4U1…別売品　施工

4．アドレス設定ＳＷ(Ｓ０2)についての詳しい説明

室外シリパラＩ／Ｏユニットを複数台つなげて使用する場合は室外シリパラアドレスの設定が必要です(Ｓ０2)。

※室外シリパラＩ／Ｏユニット　8台、室外ユニット　３０台接続例



5．試運転

1. エアコンの電源をすべて入れてください。試運転が全て完了していることを確認してください。
2. エアコンの試運転が終了してから以下の手順で行ってください。
3. 室外シリパラI/Oユニットの電源を入れてください(設定は電源投入前に済ませてください)。
4. 室外シリパラ I/O ユニットと室外ユニットとの通信が異常なければ、室外シリパラ I/O ユニットから一括運転を入力(入力端子台の運転と COM を接続してください)し、運転ランプで確認してください。同様に各入力も確認してください。入力の確認を行う場合は設定スイッチの S04 の 3、4（入力番号スイッチ）で確認したい入力の番号を設定した後 S04 の 2（切換スイッチ）を ON して確認を行えます(「設定スイッチについて」を参照ください)。

・室外シリパラI/Oユニットと室外ユニットの間で通信異常発生後約3分経過した場合通信確認LEDが点滅します。点滅時は点滅している室外ユニットの通信線の接続および電源等を確認して修正してください。

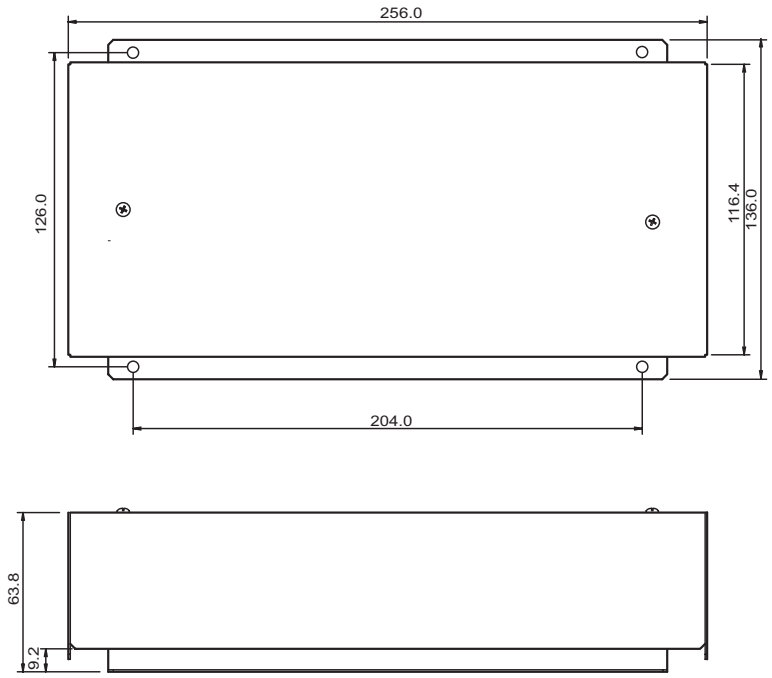
ミニシリパラ I/O ユニット／ ACC-SP1A…別売品　仕様

製品仕様

接続対象	SANYO　：室内ユニットT形(PAC)·G形(GHP)以降 Panasonic：室内ユニット
電源	DC12V
消費電力	1.2W, 0.1A
使用環境条件	温度0℃～40℃、湿度20%～80%、屋内専用
外形寸法	幅256.0mm×奥行136.0mm×高さ63.8mm
重さ	0.9 kg

外形寸法図

単位: mm



ミニシリパラ I/O ユニット／ ACC-SP1A…別売品　施工

85464359704006

ミニシリパラ I/O ユニット(ACC-SP1A)
据付(電気)工事(試運転)担当のかたへ

安全上のご注意

＊ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みの上確実に行ってください。
＊ 個々に示した注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告　取り扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意　取り扱いを誤った場合に、人が軽傷を追う可能性が想定される場合および物理的損害のみの発生が想定される場合

据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に使用方法を説明してください。また、"据付(電気)工事担当の方へ"は、お客様で保管いただくように依頼してください。

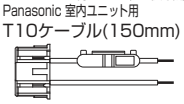
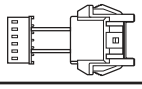
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因にもなります。
●据付工事は"据付(電気)工事担当の方へ"に従って確実に行ってください。
据付工事に不備がありますと、感電、火災等の原因になります。
●電気工事は電気工事の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および"据付(電気)工事担当の方へ"に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
●配線作業は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行ってください。

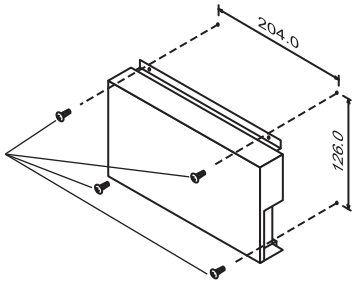
付属部品

番号	部品	個数	番号	部品	個数
①	SANYO　室内ユニットA, J2形以降用 Panasonic 室内ユニット用 T10ケーブル(150mm)  電流ヒューズ付　※1	1	③	取付用ねじ タッピンねじ(φ4x8mm) 	4
②	SANYO 室内ユニット T, U, G, H, J1形用 T10ケーブル(100mm) 	1	④	ワイヤージョイント 	2
			⑤	据付（電気）工事 （試運転）担当のかたへ 	1

※1 ヒューズが配線の短絡、誤配線および過電流で溶断した際には、125V/0.5Aのものと交換してください。

取り付けかた

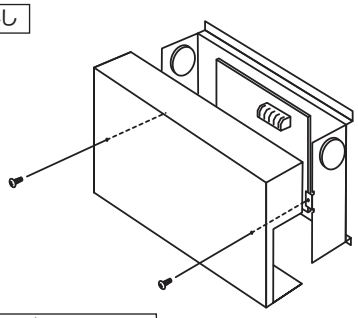
取り付け用
タッピンねじ×４
（付属部品③）



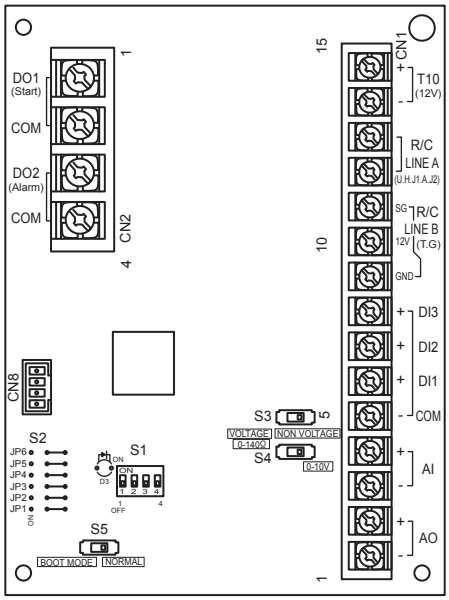
ご注意:
●通信線は、電源線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因になりますので避けてください。
●ノイズ発生源から十分離して据え付けてください。
●水などかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
●過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

配線のしかた

カバーの取り外し



端子板配置図およびスイッチ配置



CN1	15	+	T10(12V)	電源DC12V
	14	-		
	13		R/C LINE A	リモコン配線A
	12			
	11	SG	R/C LINE B	リモコン配線B
	10	12V		
	9	GND		
	8	+	DI 3	デジタル入力
	7	+	DI 2	
	6	+	DI 1	
	5	-	COM	
	4	+	AI	アナログ入力 (設定温度変更)
	3	-		
	2	+	AO	アナログ出力 (室温モニタ)
	1	-		

CN2	1	DO1	デジタル出力1 (運転出力)
	2	COM	
	3	DO2	デジタル出力2 (警報出力)
	4	COM	

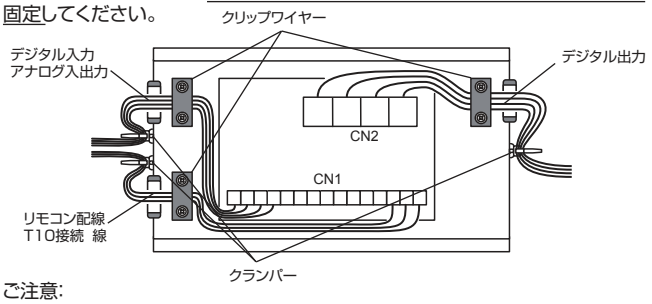
S1	制御タイプ設定スイッチ
S2	詳細設定スイッチ
S3	有電圧／無電圧切換スイッチ
S4	設定温度入力切換スイッチ
S5	未使用

CN8	未使用

ご注意:
●端子板への配線接続は、必ず被覆押え付きの丸型端子をご使用ください。
（CN1側：M3.0,　CN2側：M3.5）

配線処理のしかた

配線は、必ず本体内部のクリップワイヤーおよび外部のクランパーでしっかり固定してください。



ご注意:
●AC電源等の高電圧を使用する場合(デジタル出力)、その配線が基板上の部品や低電圧(CN1側)の配線に接触しないようにしてください。
●基板だけを別機器に組み込むような改造はしないでください。

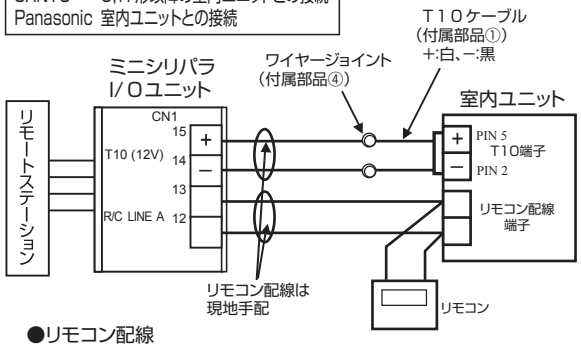
ミニシリパラ I/O ユニット／ ACC-SP1A…別売品　施工

(1)室内ユニットとの接続

●高圧電源線と同一電源管内に通したり、同一ケーブルで配線したり、互いを近づけたりしないでください。(30cm以上離してください。)

●配線仕様
種類:　シース付ビニルコード
太さ:　0.5～2.0mm²
配線長: 最大100m

SANYO　U,H 形以降の室内ユニットとの接続
Panasonic 室内ユニットとの接続

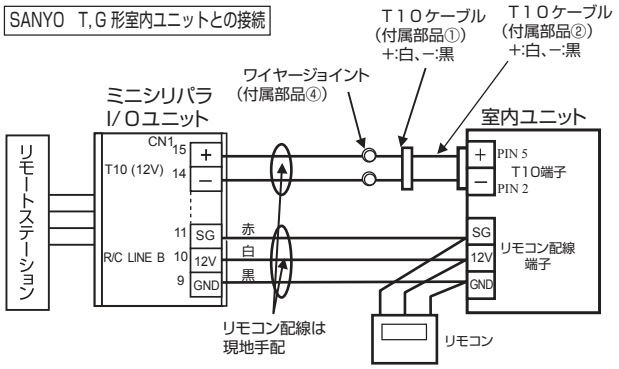


●リモコン配線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の12,13番(リモコン配線A)と、室内ユニットのリモコン配線端子台を接続してください。極性はありません。

●T10接続線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の14,15番 T10(12V)と、室内ユニットのT10端子を接続してください。
極性がありますので、「+」「−」を間違えないように十分注意して接続してください。誤配線は故障の原因になります。

※ SANYO U, H, J1形室内ユニットのT10端子への接続はSANYO T,G形の場合と同様に付属部品①,②を使用します。システム図と異なるので注意してください。

SANYO　T, G 形室内ユニットとの接続



●リモコン配線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の9,10,11番(リモコン配線B)と、室内ユニットのリモコン配線端子台を接続してください。
極性がありますので、「GND」「12V」「SG」を間違えないように接続してください。
誤配線は故障の原因になります。

●T10接続線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の14,15番 T10(12V)と、室内ユニットのT10端子を接続してください。
極性がありますので、「+」「−」を間違えないように十分注意して接続してください。
誤配線は故障の原因になります。

ご注意
●室内ユニットには必ずミニシリパラ以外に、リモコンまたは、集中制御機器(システムコントローラーなど)を設置してください。
●リモコン配線に、2個以上のミニシリパラの併設はできません。
●室内ユニットのT10端子を使用する制御機器との併用はできません。
例:室内用リレー中継基板、スケジュールタイマーなど

(2)リモートステーションとの接続

●高圧電源線と同一電源管内に通したり、同一ケーブルを配線したり、互いを近づけたりしないでください。(30cm以上離してください。)

名称	入出力項目	ミニシリパラI/Oユニット側 入出力条件	ミニシリパラI/Oユニット側 端子番号	設備側(リモートステーション) 回路例	設備側(リモートステーション) 入出力条件
デジタル入出力端子	デジタル入力 ※1	DI 1入力 DI 2入力 DI 3入力 電圧a接点ｽﾀﾃｨｯｸ または、電圧a接点ﾊﾟﾙｽ 接点許容電圧電流 DC24V, 10mA 有電圧／無電圧切換スイッチ: S 3 無電圧時: NON VOLTAGE 側 有電圧時: VOLTAGE 側	●無電圧入力のとき (工場出荷時) デジタル入力 CN1-8 DI 3 / CN1-7 DI 2 / CN1-6 DI 1 / CN1-5 COM ●有電圧入力のとき デジタル入力 CN1-8 DI 3 / CN1-7 DI 2 / CN1-6 DI 1 / CN1-5 COM	DC12-24V GND	有電圧(12-24V) または 無電圧 パルス入力時 200ms以上
	デジタル出力 ※2	運転出力 警報出力 無電圧a接点ｽﾀﾃｨｯｸ 接点許容電圧電流 DC 24V, 3A (最小負荷 10mA)	CN2-1 DO 1 / CN2-2 COM CN2-3 DO 2 / CN2-4 COM	デジタル入力 デジタル入力	
アナログ入出力端子	アナログ入力 ※3	室内温度設定入力 入力　0-10V または 0-140Ω 設定温度範囲 室内ユニットの設定 設定範囲内 1℃ステップ 設定温度入力切換スイッチ: S4 電圧入力時: 0-10V 側 抵抗接続時: 0-140Ω 側	A/D変換器 CN1-4 AI+ / CN1-3 AI-	アナログ出力 FG	アナログ入力は、精度±0.1%のものをご使用ください
	アナログ出力 ※4	室内温度モニタ出力 出力電流 4-20mA 温度指示範囲 5-36℃ 0.5℃ステップ	D/A変換器 CN1-2 AO+ / CN1-1 AO-	絶縁型アナログ入力 FG	許容負荷: 最大240Ω

ミニシリパラ I/O ユニット／ ACC-SP1A…別売品　施工

※1　デジタル入力について

●制御タイプ設定スイッチS1により下表のように制御タイプが切り換わります。

制御タイプ	入力1（DI 1）		入力2（DI 2）		入力3（DI 3）		
	(open)→(close)	(close)→(open)	(close)→(open)	(open)→(close)	(open)→(close)	(close)→(open)	電圧a接点スティック/電圧a接点パルス※1
0	運転 弱風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	運転 強風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	運転 急風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	全入力： スタティック
1	運転 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	運転 手元発停許可	停止 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	-	入力1,2： スタティック 入力3:パルス
2	運転 手元運転禁止	停止 手元発停禁止	手元発停許可	停止 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	-	入力1,2： スタティック 入力3：パルス
3	運転<><>停止 手元発停禁止	-	運転<><>停止 手元発停許可	-	停止 手元発停禁止	-	全入力：パルス
4	運転 手元発停禁止	-	運転 手元発停許可	-	停止 手元発停禁止	-	
5	運転 手元運転禁止	-	手元発停許可	-	停止 手元発停禁止	-	
6	運転 手元発停許可	-	停止 手元発停許可	-	-	-	
7	運転<><>停止 手元発停禁止	-	運転<><>停止 手元発停許可	-	サーモ OFF	サーモ OFF解除	入力1,2：パルス 入力3： スタティック
8	-	-	-	-	-	-	-
9	暖房	-	冷房	-	送風	-	全入力：パルス
10	暖房 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	冷房 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	送風 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	全入力： スタティック
11	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	-	-
15	運転	停止	-	-	サーモ OFF	サーモ OFF解除	全入力： スタティック

※1　パルス入力時は、パルス幅を200ms以上にしてください。

●配線仕様
種類:　シース付ビニルコード
太さ:　0.5～2.0mm²
配線長:最大100m

※2　デジタル出力について

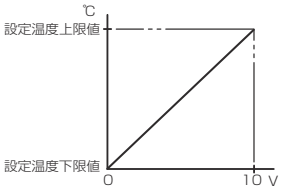
●D01は、運転出力です。
D02は、警報出力です。
●接点許容電圧電流は、最大DC24V, 3Aです。
●配線の仕様は、デジタル入力の場合と同様です。
●室内グループ制御時に、室内ユニット1台でも運転・警報中であればそれぞれ出力します。

※3　アナログ入力について

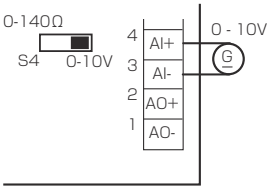
●温度設定の方法を以下の3種類より選択します。
・電圧入力①（設定温度上/下限の均等分割）
・電圧入力②（電圧固定）
・抵抗入力
※使用しない場合は、詳細設定スイッチS2のJP4をカットしてください。

●電圧入力①・②の場合
・設定温度入力切換 S4 を「0 ～ 10V」側にしてください。(工場出荷時)
・配線仕様
種類:　シース付ビニルコード（シールド線推奨）
太さ:　1.25～2.00mm²
配線長:　最大70m

●電圧入力①(設定温度上/下限の均等分割)　(工場出荷時)
・DC 0V ～ 10V(設定温度下限値～設定温度上限値)の入力範囲です。
・設定温度と電圧の関係は、下図のようになります。
・設定温度上限値と下限値は、運転モードおよび室内ユニットによって異なります。
(例)3-1:「代表的機種の各運転モード [下限値～上限値]」の設定温度と電圧の関係をごらんください。

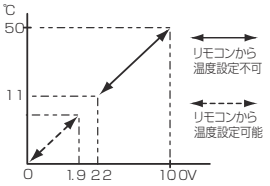


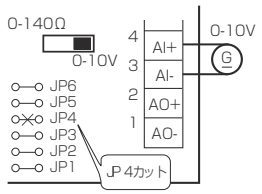
入力電圧値と温度の関係



配線接続図

●電圧入力②(電圧固定)
・DC 0V～10Vの入力範囲です。
・設定温度の有効範囲は、2.2V～10V（11℃～50℃）となります。
この範囲は、リモコンから温度を設定することはできません。
・設定温度上下限値を越える入力の場合は、上下限値となります。
例えば、冷房[18℃～30℃]場合、3.5V以下は18℃、6.2V以上は30℃になります。
・リモコンから温度を設定したい場合には、入力電圧を1.9V以下にしてください。



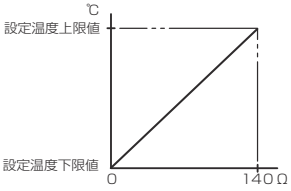


設定温度と電圧入力値の対応表（電力入力②）

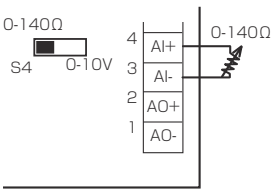
設定温度[℃]	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
電圧入力値[V]	3.2	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2	4.4	4.6	4.8	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8	6.0

ご注意:
・ 電圧入力は、室内ユニットとの接続を行ってから入力してください。また、入力電圧は最大10Vです。それ以上の電圧を入力しないでください。故障の原因になります。
・ 電圧入力の精度が±1 %より悪いとき、正しく温度設定できないことがあります。

●抵抗入力
・0～140Ωの入力範囲で、温度設定（1℃ステップ）を行います。
・設定温度と抵抗の関係は、下図のようになります。
・設定温度上限値と下限値は、運転モードおよび室内ユニットによって異なります。
(例)3-1：「代表的機種の各運転モード [下限値～上限値]」の設定温度と抵抗の関係をごらんください。
・設定温度入力切換S4を「0～140Ω」側にしてください。
・配線仕様
種類: シース付ビニルコード(シールド線推奨)
太さ: 1.25～2.00mm²
配線長: 最大70m



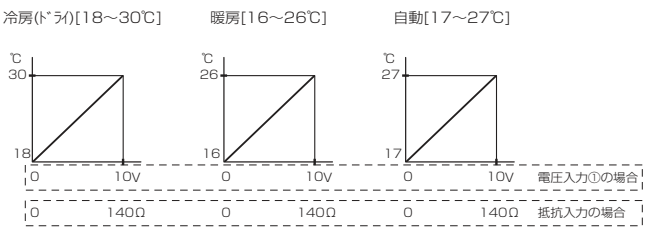
接続抵抗値と温度の関係



配線接続図

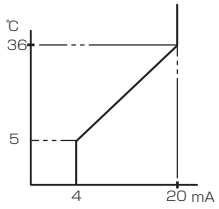
ミニシリパラ I/O ユニット／ ACC-SP1A…別売品　施工

(例)3-1：　代表的機種の各運転モード[下限値～上限値℃]



※4　アナログ出力について

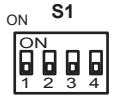
●室内温度モニター出力は、DC4～20mA (5～36℃) となっており、温度指示範囲は、0.5℃ステップです。
中央監視側での計測単位にご注意ください。
配線の仕様は、アナログ入力の場合と同様です。
負荷抵抗は、240Ω以下としてください。



電流値と温度の関係

基板での設定

制御タイプ設定スイッチ　S 1

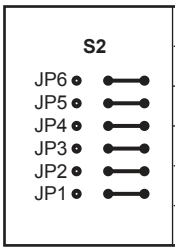


－ : OFF　● : ON

制御タイプ	S1 1	S1 2	S1 3	S1 4	制御タイプ	S1 1	S1 2	S1 3	S1 4
0	－	－	－	－	8	－	－	－	●
1	●	－	－	－	9	●	－	－	●
2	－	●	－	－	10	－	●	－	●
3	●	●	－	－	11	●	●	－	●
4	－	－	●	－	12	－	－	●	●
5	●	－	●	－	13	●	－	●	●
6	－	●	●	－	14	－	●	●	●
7	●	●	●	－	15	●	●	●	●

制御タイプを切り換えます。

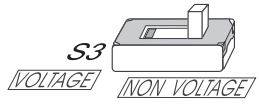
詳細設定スイッチ　S2



JP6	接続	未定	(工場 出荷時)
	カット	未定	
JP5	接続	リモコンまたは集中制御機器あり	(工場 出荷時)※4
	カット	リモコンまたは集中制御機器なし	※4
JP4	接続	電圧入力①	(工場 出荷時)※3
	カット	電圧入力②	※3
JP3	接続	室温として制御温度を出力	(工場 出荷時)※2
	カット	室温として吸込温度を出力	※2
JP2	接続	設定温度後押し優先	(工場 出荷時)※1
	カット	設定温度手元禁止	※1
JP1	接続	未定	(工場 出荷時)
	カット	未定	

※1：手元リモコンでの設定温度操作を後押し優先／操作禁止に切り換えます。
※2：室内温度モニターの出力を、制御で使用中の室温（暖房時シフト有りの吸込み温度またはリモコンセンサー)／吸込み温度に切り換えます。
※3：ミニシリパラを用いて設定温度の変更を行わない場合もJP4をカット(電圧固定)にしてください。
その際には、CN1の3,4番 (AI±)に電圧を加えないでください。
※4：ミニシリパラをご使用する場合、リモコンまたは集中制御機器(システムコントローラーなど)をつけていただくことを基本としますが、ミニシリパラのみ(リモコンまたは集中制御機器が必要なし)でご使用したい場合には、ＪＰ５をカットしてください。ただし、ミニシリパラだけでは室内ユニットの運転動作(運転モード・風速・風向など)が制限されます。

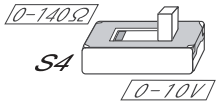
有電圧／無電圧切換スイッチ　S 3



(工場出荷時)

デジタル入力部において、有電圧／無電圧の切換えを行います。

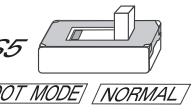
設定温度入力切換スイッチ　S 4



(工場出荷時)

アナログ入力において、電圧入力／抵抗入力の切換えを行います。

ブートスイッチ　S5



(工場出荷時)

NORMAL 側で固定したままご使用ください。

LED(緑)表示

LED表示	内容	対処方法
消灯	電源OFF	通信線の接続を確認してください。
3s間隔で点滅	T10(12V) 接続エラー	T10接続線の接続を確認してください。T10ケーブル(付属品①)のヒューズが溶断していないことを確認してください。
1s間隔で点灯／消灯	室内ユニット警報	室内ユニットの警報を取り除いてください。
100ms間隔で点灯／消灯	初期通信、通信エラー	通信線の接続を確認してください。
点灯　※1	正常動作状態	－

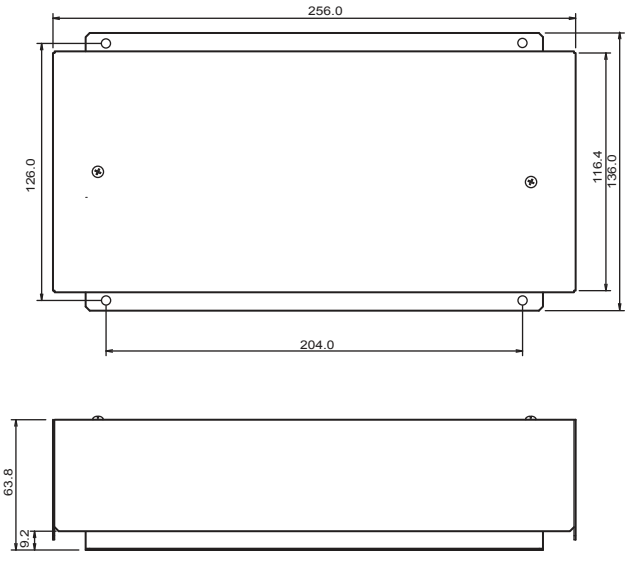
※1　室内ユニットに設定データを送るとき、２００ms間消灯します。

製品仕様

接続対象	SANYO　：室内ユニットT形(PAC)・G形(GHP)以降 Panasonic：室内ユニット
電源	DC12V
消費電力	1.2W, 0.1A
使用環境条件	温度0℃～40℃湿度20%～80%、屋内専用
外形寸法	幅256.0mm×奥行136.0mm×高さ63.8mm
重さ	0.9 kg

外形寸法図

単位: mm



85464359930003

据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ

電磁弁出力基板(内蔵用B1形)

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

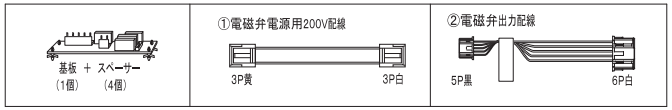
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

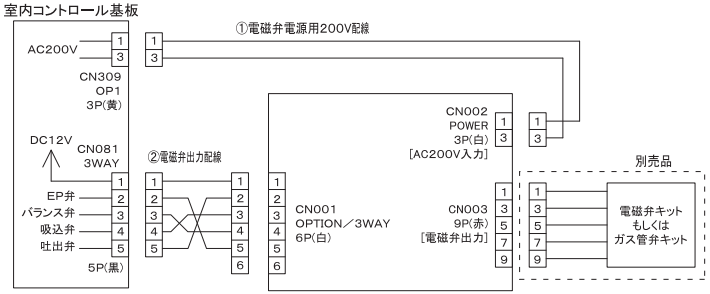
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

2. 付属部品



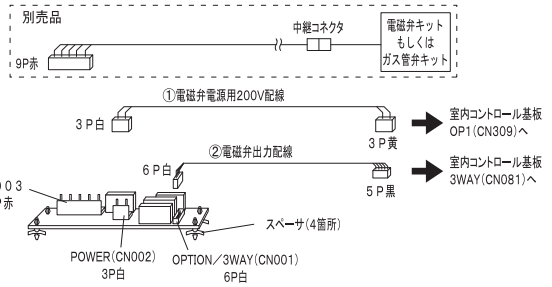
3. 配線図

・室内コントロール基板とは①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。



4. 取り付け方法

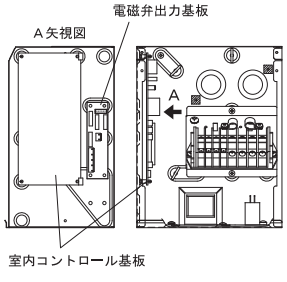
1. 室内ユニットの電装ボックスに電磁弁出力基板を取り付けます。
2. 下記手順で配線します。
・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)に接続します。
・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY(CN001)に接続します。
・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY(CN081)に接続します。
・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ(9P赤)を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ(CN003)に接続します。
3. 配線作業が終わりましたら、配線のかみ込みのないことを確認してください。



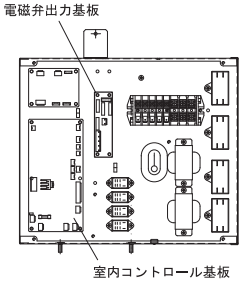
5．室内ユニットへの取り付け（代表例）

・電磁弁出力基板は電装ボックス内の取り付け穴に取り付けます。

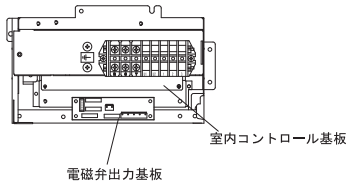
●ビルトイン形（カセット／オールダクト）



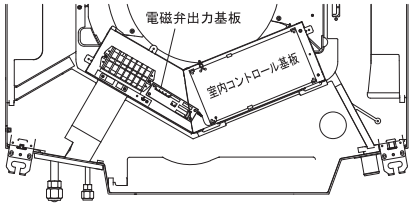
●天埋高静圧形



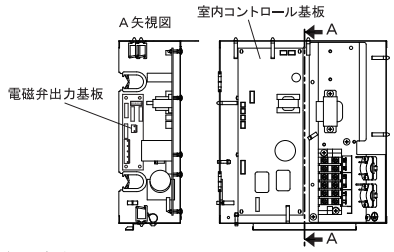
●ペリメーター用床置形／埋込形



●４方向天井カセット Ｅ形



●ビルトインオールダクト形（４シリーズ／Ｓ２シリーズ）



信号出力基板と併用する場合

・別売品の信号出力基板と併用する場合は、信号出力基板の“据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ”を参照してください。
また、AC200V有電圧出力を使用する場合は、別売品のヒューズ付き配線（サービス部品コード：6231932943）が必要になります。

Panasonic

据付(電気)工事説明書

電磁弁出力基板

品番 **ACC-3WAY-B2**

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「1.安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

1.安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容(禁止事項)です。	実行しなければならない内容(強制事項)です。

もくじ　ページ

●安全上のご注意……1
●付属部品……1
●配置図……2
●取り付け方法……2
●室内ユニットへの取り付け(代表例)……3〜裏表紙

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**(感電、火災の原因)
  - **・電気設備に関する技術基準**
  - **・内線規程**
  - **・据付(電気)工事説明書**

本体を据え付けるときに

- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器(ブレーカー)を切ってから行う**(感電の原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

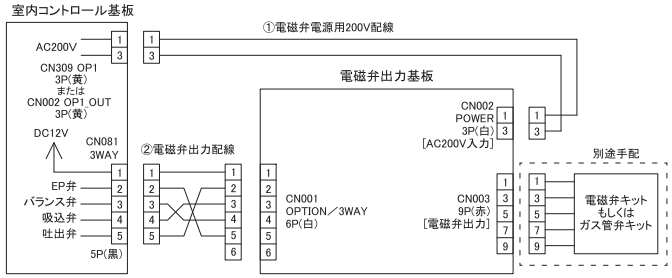
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - **・結露するところ**
  - **・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **・有機溶剤の飛沫するところ**
  - **・電圧変動の多いところ**
  - **・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
- **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

2.付属部品

電磁弁出力基板　基板(1個)　スペーサー(4個)	①電磁弁電源用200V配線　3P黄　3P白
基板ボックス　本体＋蓋(各1個)	②電磁弁出力配線　5P黒　6P白
取り付けネジ　ナベネジ M4×4 (1個)(基板ボックスの蓋用)　トラスタッピン 4×10 (2種溝なし) (2個)(基板ボックス取り付け用)	配線固定具　SL-7N (1個)　SL-14N (1個)

3.配線図

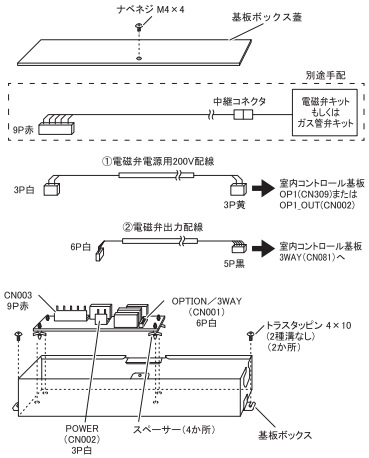
・室内コントロール基板と電磁弁出力基板は、付属部品の①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。



4.取り付け方法

人が容易に触れないところに取り付けてください。

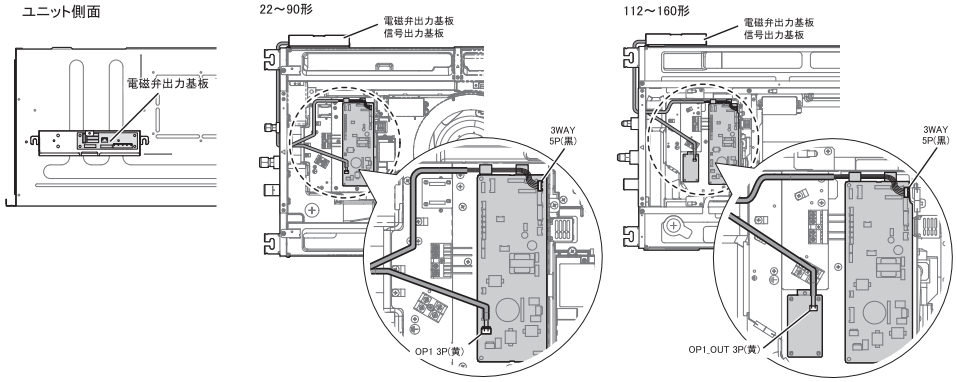
1. 電磁弁出力基板を下記手順で基板ボックスに取り付けます。
   ・基板のスペーサーを基板ボックスの底の穴に取り付けます。
   注)このとき、電磁弁出力基板の向きに注意してください。
   (右図参照)
   ・基板ボックスを付属のトラスタッピン(4×10)で室内ユニットに取り付けます。
   「5. 室内ユニットへの取り付け(代表例)」を参照してください。
2. 下記手順で配線します。
   ・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
   ・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)またはOP1_OUT(CN002)に接続します。
   ・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY(CN001)に接続します。
   ・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY(CN081)に接続します。
   ・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ(9P赤)を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ(CN003)に接続します。
3. 配線が完了したら付属のナベネジ(M4×4)で基板ボックスの蓋を固定します。
   注)このとき、基板ボックスの蓋で配線をかみ込まないようにご注意ください。



5.室内ユニットへの取り付け(代表例)

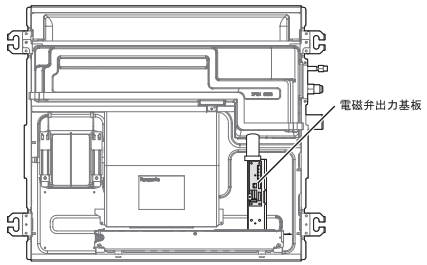
下記に記載のない場合は、各室内ユニットに同梱の据付工事説明書をご確認ください。これらに取り付け方法の記載がない場合は、本体の運転に支障がないよう室内ユニット本体の近傍に配置してください。

●2方向天井カセット形



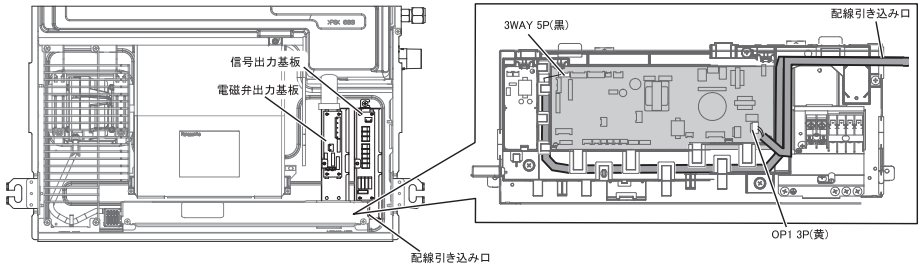
●1方向天井カセット形(VRF 3シリーズ)

ユニット下面図(取り付け位置:ユニット天面)



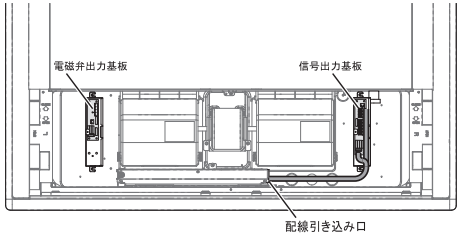
●1方向天井カセット形(VRF 5シリーズ)

ユニット下面図(取り付け位置:ユニット天面)



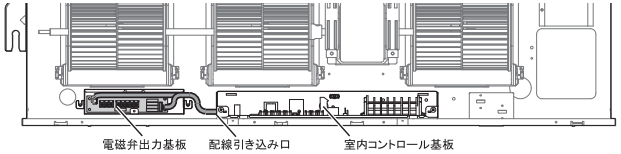
●高天井1方向カセット形

ユニット下面図(取り付け位置:ユニット天面)



●天井吊形(VRF 3シリーズ)

71～160形ユニット天面
(右図は80形の例)



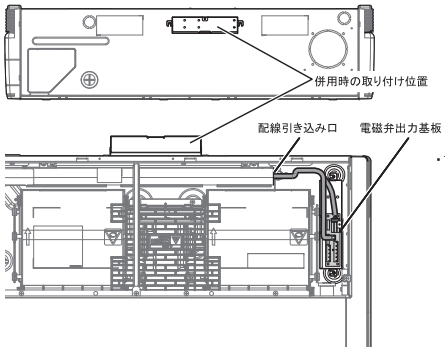
36～56形ユニット側面



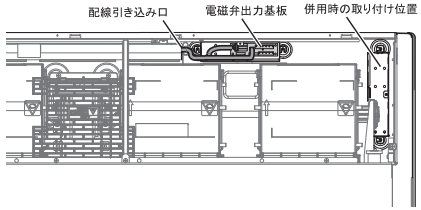
●天井吊形(VRF 4シリーズ)

・信号出力基板等と併用するため取り付け穴は2か所あります。
・36～56形の室内ユニットの背面を壁際へ取り付けた場合、信号出力基板等と併用することはできません。

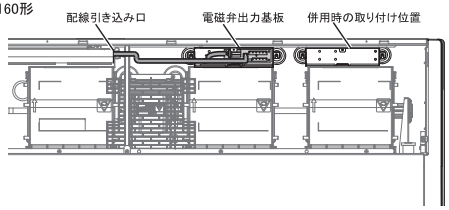
・36～56形



・63～90形

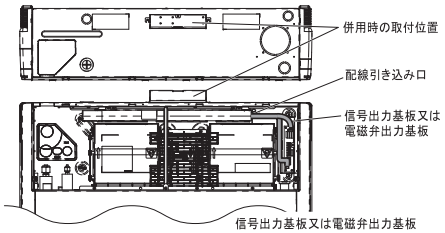


・112～160形

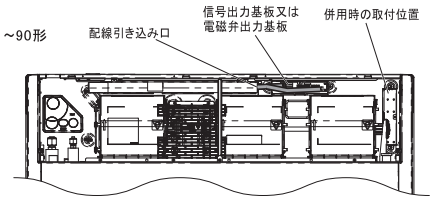


●天井吊形(VRF 5,6シリーズ)

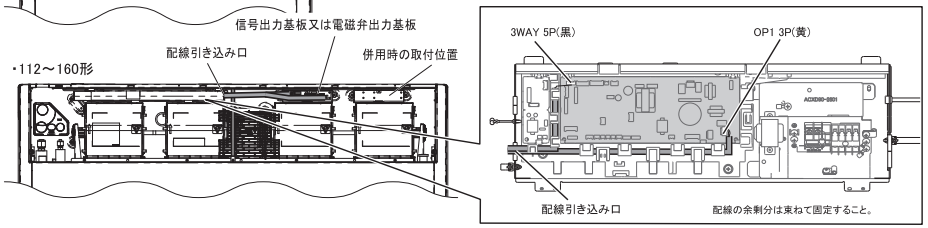
・36～56形



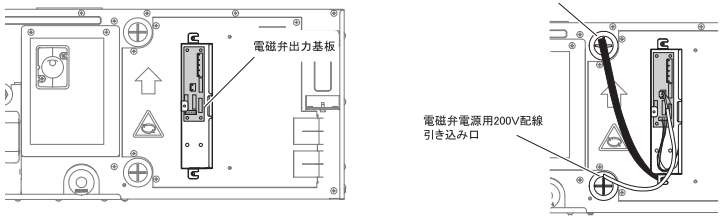
・71～90形



・112～160形



●天井ビルトインカセット形
ユニット側面



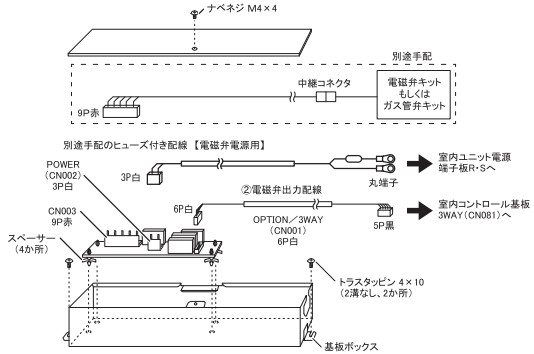
信号出力基板と併用する場合

・別途手配の信号出力基板と併用する場合は、信号出力基板の“据付(電気)工事説明書”を参照してください。
また、AC200V有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード:CV6231932943)が必要になります

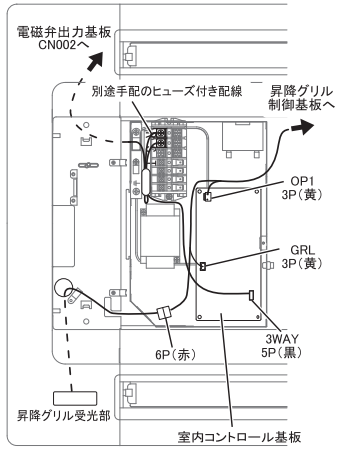
2方向昇降グリルと併用する場合

昇降グリルは室内コントロール基板の電源コネクタ(OP1 3P(黄)またはOP1_OUT 3P(黄))を使用しますので、
①電磁弁電源用200V配線を別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード:CV6231932943)に交換してください。

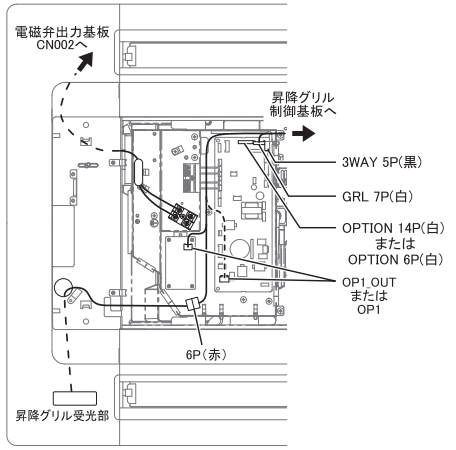
・電磁弁出力基板の取り付け



・(参考)VRF 3シリーズ

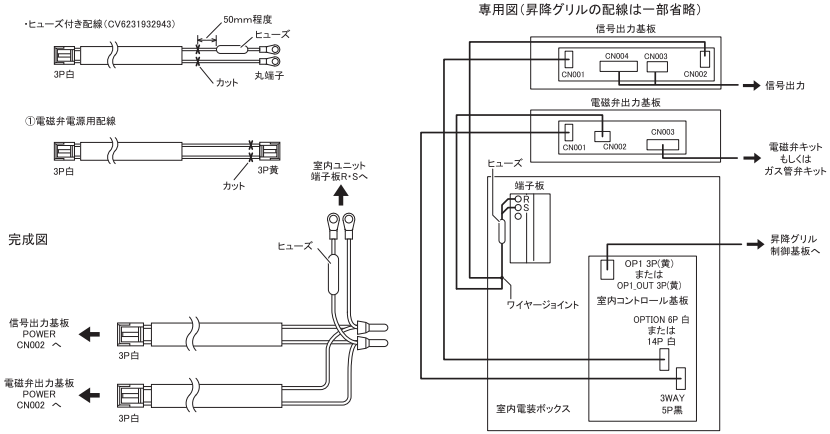


・(参考)VRF4シリーズ



2方向昇降グリルと信号出力基板（AC200V有電圧出力）を併用する場合

別途手配のヒューズ付き配線（サービス部品コード：CV6231932943）と電磁弁電源用配線をカットして、ワイヤージョイント（現地調達）で接続してください。信号出力基板に同梱されている有電圧出力用200V配線は使用しません



専用図（昇降グリルの配線は一部省略）

※ワイヤージョイントは電装ボックス内に収めてください。

Printed in Japan
H0320-30624
WEB-ACXF60-18824-00
85464359931004

85464359932001

据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ

電磁弁出力基板(外付け用B3形)

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

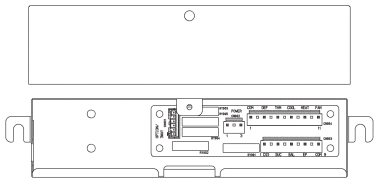
●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

2. 付属部品

オプション基板ボックス
＋
出力基板

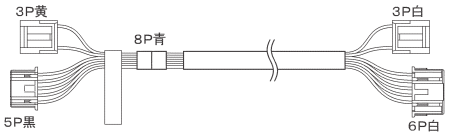


取付けビス



ナベネジ　4×4　1個
(オプション基板ボックス蓋用)
トラスタッピン　4×10　2個
(オプション基板ボックス取付け用)

接続配線(5m)

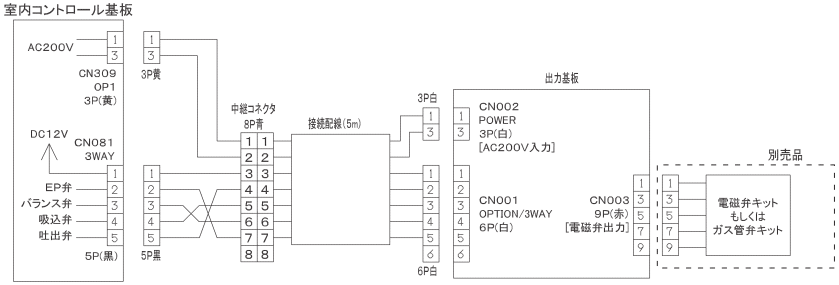


クランパー



3. 配線図

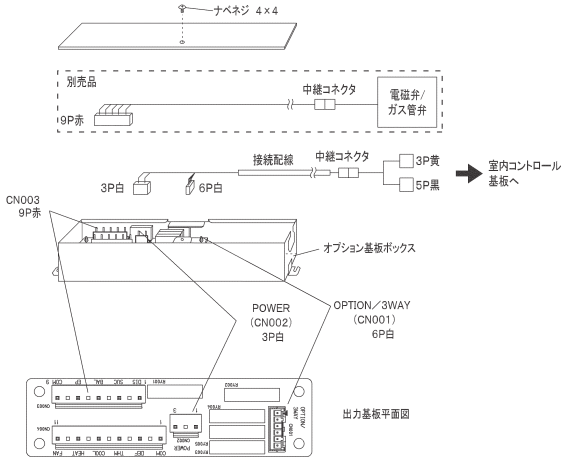
※電磁弁出力基板に接続する配線が室内コントロール基板のマイコンに接近しないようにご注意ください。



4. 取り付け方法

人が容易に触れないところに取り付けてください。

1. 下記手順で配線します。
・接続配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
・接続配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY(CN001)に接続します。
・3P(黄)コネクタと5P(黒)コネクタを室内コントロール基板にそれぞれ接続します。
・3WAY用電磁弁からのコネクタ(9P赤)を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ(CN003)に接続します。
2. 配線が完了したら付属のビス(ナベネジ　4×4)でオプション基板ボックスの蓋を固定します。
注)このとき、配線をかみ込まないようにご注意ください。また、付属の4×4のビス以外を使用しないでください。接続配線の中継コネクタは電装ボックス内に収めてください。
オプション基板ボックスは保護アースに接続されている必要があります。ボックスの固定は、室内ユニットへの取り付けと同様に保護アース接続されているところに固定してください。



信号出力基板と併用する場合

・別売品の信号出力基板と併用する場合は、信号出力基板の"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"を参照してください。
また、AC200V有電圧出力を使用する場合は、別売品のヒューズ付き配線(サービス部品コード:6231932943)が必要になります。

電磁弁出力基板／ ACC-3WAY-EK…別売品　施工

据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ　　電磁弁出力基板(壁掛形用) ACC−3WAY−EK

85464369586001

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

- ●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"に従って施工してください。
- ●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- ●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

- ●CS−P28～71K4U、S−G28～71KT1機種に接続する場合は、アース工事(D種接地工事)を行ってください。
  (電気工事士の資格のある方が行ってください。)
  ※アース端子は電磁弁出力基板の電装ボックス内部にあります。

⚠ 注意

- ●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

2. 使用部品

2−1. 使用区分

	対象機種	付属部品
1	CS−P28～71K5U S−G28～71KU1	①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦

2−2. 付属部品

①電磁弁基板ボックス　本体・基板・蓋(各1個)　スペーサー4個	⑧基板取付板
②電磁弁電源用200V配線(1.5m)　※　3P黄　3P白	⑨電磁弁電源用200V配線　3P黄　3P白
③電磁弁出力配線(1.5m)　※　5P黒　6P白	⑩電磁弁出力配線　5P黒　6P白
④ネジ　M4×4　1個(蓋用)	⑪電磁弁キット接続配線　6P黄　9P赤
⑤ネジ　M4×16　2個(ボックス固定用)	
⑥結束バンド　小　4本	※延長が必要な場合は5mのサービスパーツを使用ください。 サービスパーツ部品コード ・電磁弁電源用200V配線(5m)／CV7010000355 ・電磁弁出力配線(5m)／CV7010000356
⑦結束バンド　大　1本	

3. 電磁弁基板ボックス取り付け方法

3−1. 配線図

・室内コントロール基板への配線の接続は、付属部品の②電磁弁電源用200V配線および、③電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キットとなります。

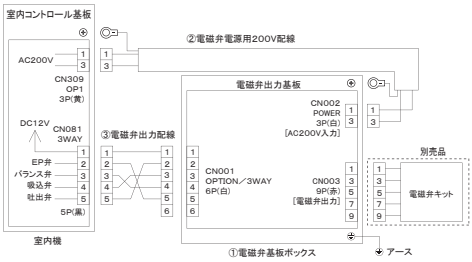


図１

3−2. 推奨取り付け位置

・推奨取り付け位置は天井裏または壁の裏など。(図2)
　※サービスできる所に取り付けてください。

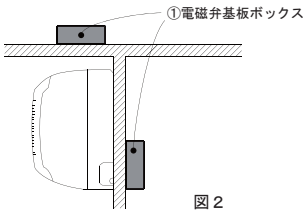


図２

3−3. 電磁弁出力基板配線

・次のように配線してください。(図3)

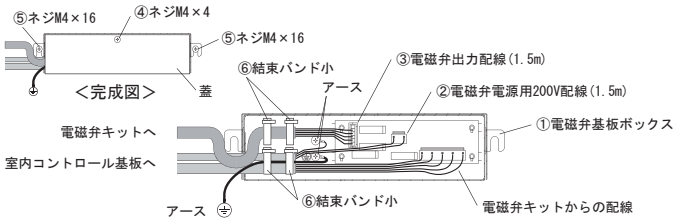


図３

4. 室内機側取り付け方法

1. 室内配線

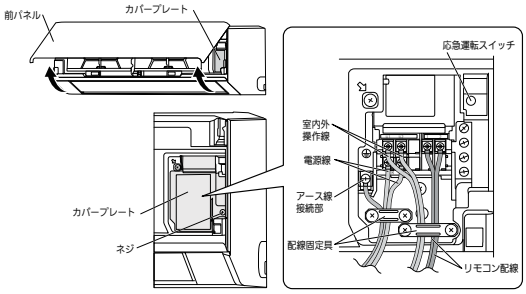
● 端子台の端子ネジを締め付けすぎるとネジを損傷するおそれがあります。下記の締め付けトルクを参照ください。

締め付けトルク　1.2 ～1.3 N・m

(1) 前パネルをロックするまで開けて、カバープレートのネジをはずし、ロックするまで引き上げて下図のように確実に配線してください。
電源線および室内外操作線・リモコン配線は、室内ユニットの配線固定具で必ず固定をし、冷媒配管などに触れないようにしてください。
端子台への接続は絶縁スリーブ付きの丸型圧着端子を使用してください。
アース接続部への接続は、丸型圧着端子を使用してください。



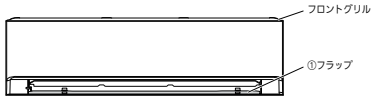
● 室内ユニットのイラストは56・71形です。



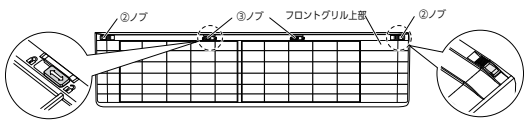
2. フロントグリルのはずしかた

＊別売品を取り付け、配線する場合にフロントグリルをはずす必要があります。

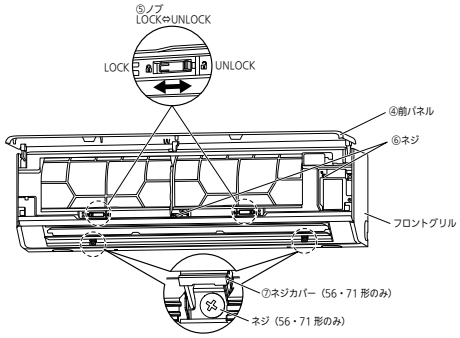
1. ①フラップを少し下向きに設定します。



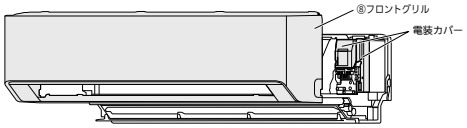
2. フロントグリル上部にある2つの②ノブを中央にスライドさせて解除します。
3. フロントグリル上部にある③ノブ（28～45形は1つ、56・71形は2つ）を解除位置（🔓）にスライドさせます。



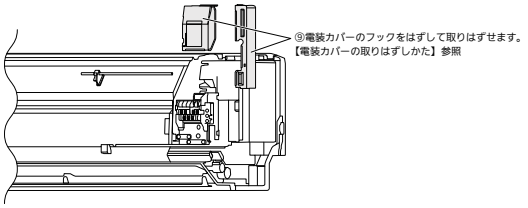
4. ④前パネルをロックするまで開きます。
5. フロントグリル前面の2つの⑤ノブをロック解除位置（🔓）までスライドさせます。
6. フロントグリル前面の2つの⑥ネジを取りはずします。
7. 2つの⑦ネジカバーを上に押し開け、ネジをはずします。(56・71 形のみ)



8. ④前パネルを⑧フロントグリルを手前に引いて取りはずします。



9. 必要に応じて⑨電装カバーを取りはずします。



電磁弁出力基板／ ACC-3WAY-EK…別売品　施工

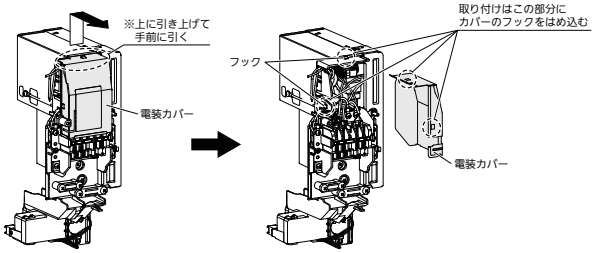
3. 別売品の配線

（1）電磁弁出力基板（別売品）の配線

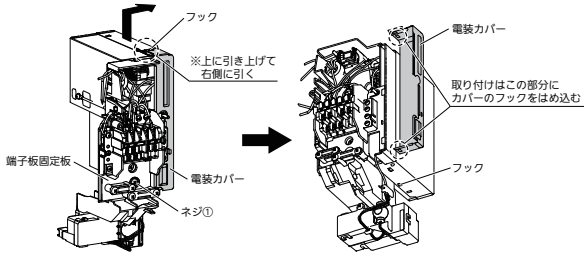
（1）-1電装カバーの取りはずしかた

電装カバーをはずして作業します。

- 電装カバー上部を上に引き上げ手前に引くと電装カバーがはずれます。※
  取り付けは逆の手順で行ってください。



- 電装カバー上部を上に引き上げ右側に引くとはずれます。※
  取り付けは逆の手順で行ってください。



（1）-2室内ユニット側の配線

- 電磁弁出力基板の電磁弁電源用 200 V 配線と、電磁弁出力配線を室内ユニットに引き込みます。（図 8）
- 端子板固定板のネジ①をはずし、フック②を右側に引いてはずしてください。（図 7）
- 端子板固定板を手前に浮かせて室内コントロール基板を引き出し、室内コントロール基板の OP1 と 3WAY へコネクタを接続します。（図 7-1）
- 室内コントロール基板を押し込み、電磁弁電源用 200V 配線（黒・白）は端子板固定板の下を通してください。その後、端子台固定板を取り付けます。（図 7）
- 電磁弁出力基板の電磁弁電源用 200 V 配線のアース線（緑）をアース端子にネジ固定します。（図 7）
- 電磁弁電源用 200 V 配線と、電磁弁出力配線を結束バンド大（電磁弁出力基板付属品）で固定してください。（図 9）
- 配線をはさまないようにフロントグリルを取り付けて、作業は完了です。

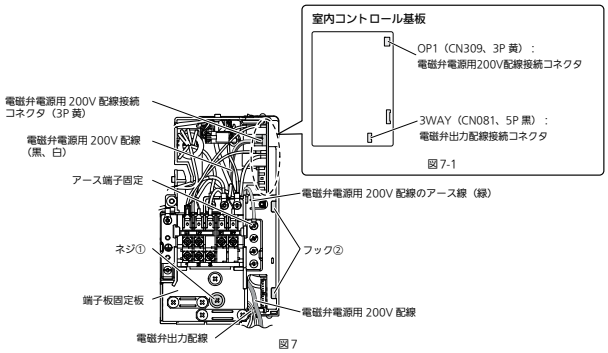


図 7-1

図 7

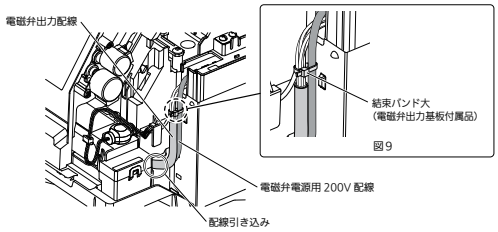


図 9

図 8

Panasonic

据付(電気)工事説明書

電磁弁出力基板(外付け用EQ2形)

品番 **ACC-3WAY-EQ2**

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「1.安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

1.安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容(禁止事項)です。

❗ 実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗ ● **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
● **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**(感電、火災の原因)
・**電気設備に関する技術基準**
・**内線規程**
・**据付(電気)工事説明書**

本体を据え付けるとき

⃠ ● **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
● **水洗いしない**(感電、故障の原因)

❗ ● **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
● **電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器(ブレーカー)を切ってから行う**(感電の原因)
● **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)
● **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
● **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

⃠ ● **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
・**結露するところ**
・**可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
・**水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
・**酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
・**腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
・**有機溶剤の飛沫するところ**
・**電磁波が出る機械のあるところ**
・**電圧変動の多いところ**
・**ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
● **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

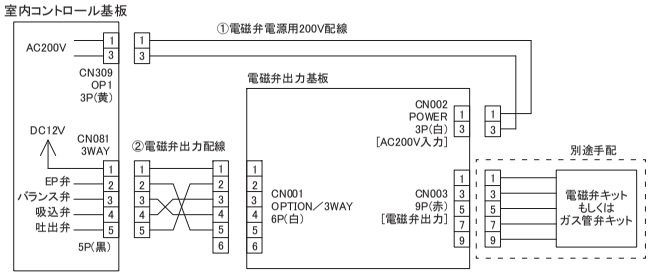
❗ ● **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

2.付属部品

電磁弁出力基板 CR-SV80A-N (1個) +スペーサー (4個)	オプション基板ボックス 本体 + カバー (各1個)	①電磁弁電源用200V配線 3P黄 — 3P白	配線固定具
		②電磁弁出力配線 5P黒 — 6P白	結束バンド (3個)
取り付けネジ トラスタッピン 4×6 (2種溝なし) (2個) (オプション基板ボックスのカバー用) トラスタッピン 4×10 (2種溝なし) (2個) (オプション基板ボックス取り付け用)			

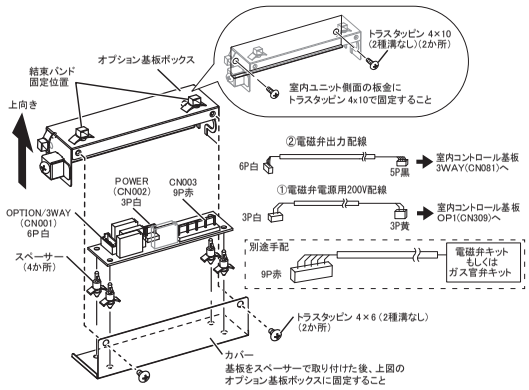
3.配線図

・室内コントロール基板と電磁弁出力基板は、付属部品の①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。



4.取り付け方法

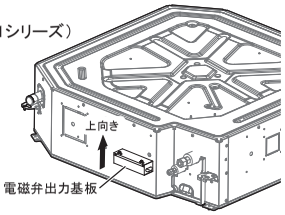
1. オプション基板ボックスを付属のトラスタッピン(4×10)で室内ユニットに取り付けます。
注)このとき、オプション基板ボックスの向きに注意してください。
(取付位置参照)
2. 電磁弁出力基板のスペーサーをオプション基板ボックスのカバーの穴に取り付けます。
3. 下記手順で配線します。
・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)に接続します。
・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY(CN001)に接続します。
・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY(CN081)に接続します。
・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ(9P赤)を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ(CN003)に接続します。
4. 配線をオプション基板ボックスの穴に通しながら付属のトラスタッピン(4×6)でオプション基板ボックスのカバーを固定します。
注)このとき、オプション基板ボックスのカバーで配線をかみ込まないようにご注意ください。
5. ①電磁弁電源用200V配線、②電磁弁出力配線をオプション基板のボックスに付属の結束バンドで2か所固定します。
6. 配線作業が終わりましたら、配線のかみ込みのないことを確認し、結束バンドのあまりを切断してください。



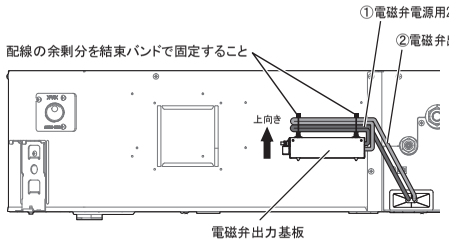
信号出力基板と併用する場合

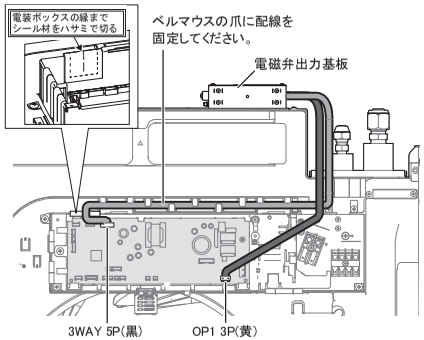
・別途手配の信号出力基板と併用する場合は、信号出力基板の据付工事説明書を参照してください。
また、AC200V有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード:CV6231932943)が必要になります。

● 4方向天井カセット形
(VRF3シリーズ／GHP US1シリーズ)
取付位置

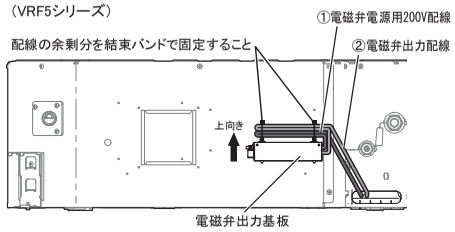


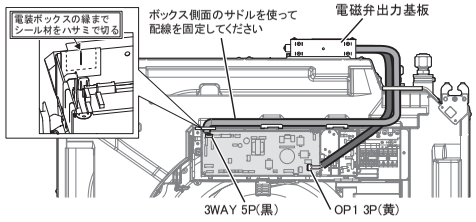
● 4方向天井カセット形(VRF4シリーズ)
取付位置





●4方向天井カセット形
(VRF5シリーズ)





Printed in Japan
W1022-10823
ACXF60-18892
85464369256003

信号出力基板／ ACC-SG-E…別売品　施工

Panasonic

据付(電気)工事説明書

信号出力基板

品番 **ACC-SG-E**

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「1.安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

もくじ　　ページ

●安全上のご注意……1
●付属部品……1
●配置図……2
●取り付け方法……2
●信号の取り出しかた……2
●室内ユニットへの取り付け(代表例)……3〜6
●送信信号の取り出しかた……6,7

1.安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容(禁止事項)です。	❗ 実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**(感電、火災の原因)
  - **・電気設備に関する技術基準**
  - **・内線規程**
  - **・据付(電気)工事説明書**

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器(ブレーカー)を切ってから行う**(感電の原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)

❗
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

⃠
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - **・結露するところ**
  - **・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **・有機溶剤の飛沫するところ**
  - **・電圧変動の多いところ**
  - **・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
- **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

2.付属部品

信号出力基板　基板(1個)　スペーサー(4個)

基板ボックス　本体 + 蓋(各1個)

配線固定具　SL-7N (1個)　SL-14N (1個)

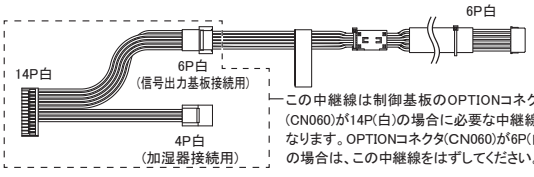
取り付けネジ
- ナベネジ　M4×4 (1個)(基板ボックスの蓋用)
- トラスタッピン 4×10 (2種溝なし) (2個)(基板ボックス取り付け用)

①有電圧出力用200V配線　3P黄　1300mm　3P白

③無電圧出力用短絡コネクタ　3P白

用途によってどちらかを使用します。

②信号出力配線



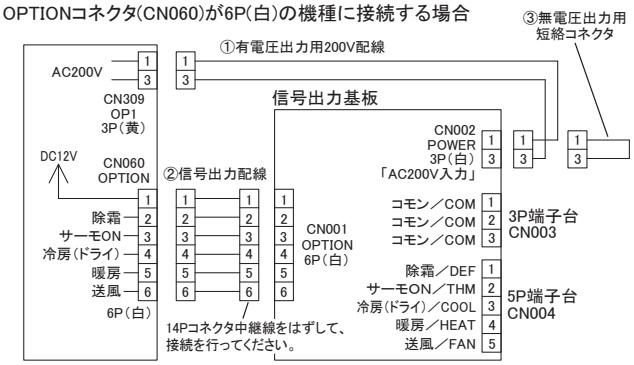
この中継線は制御基板のOPTIONコネクタ(CN060)が14P(白)の場合に必要な中継線となります。OPTIONコネクタ(CN060)が6P(白)の場合は、この中継線をはずしてください。

信号出力基板／ ACC-SG-E…別売品　施工

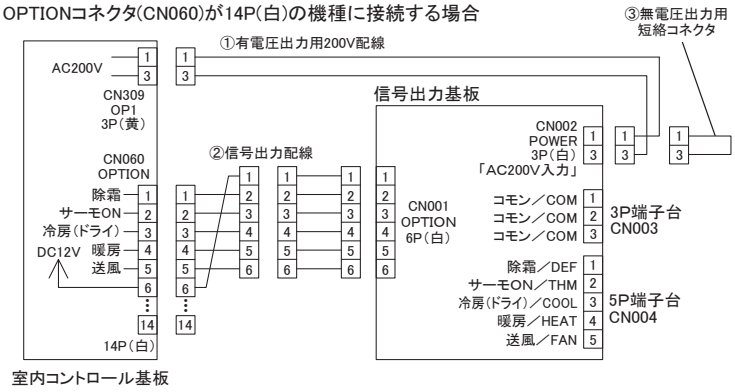
3.配線図

・室内コントロール基板とは、付属部品の②信号出力配線で接続します。
・有電圧200V出力を使用する場合は、室内コントロール基板と信号出力基板を①有電圧出力用200V配線で接続します。(この場合、③無電圧出力用短絡コネクタは使用しません)
・無電圧出力を使用する場合は、信号出力基板に③無電圧出力用短絡コネクタを接続します。(この場合、①有電圧出力用200V配線は使用しません)
・接続に関しては、「5. 信号の取り出しかた」をご参照ください。
※電磁弁出力基板を併用する場合は、P.5をご覧ください。

OPTIONコネクタ(CN060)が6P(白)の機種に接続する場合



OPTIONコネクタ(CN060)が14P(白)の機種に接続する場合

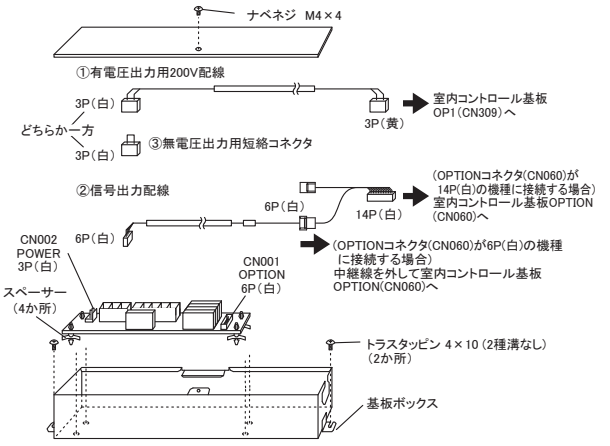


4.取り付け方法

人が容易に触れないところに取り付けてください。

1. 基板ボックスへの信号出力基板取り付け手順
   ・信号出力基板のスペーサーを基板ボックスの底の穴に取り付けます。
   注)信号出力基板の向きに注意してください。(右図参照)
   ・基板ボックスを付属のトラスタッピン(4×10)で室内ユニットに取り付けます。
   「6. 室内ユニットへの取り付け(代表例)」を参照してください。
2. 下記手順で配線します。
   ・「3.配線図」と「6.室内ユニットへの取り付け(代表例)」を参考に、②信号出力配線の6P白または14P白コネクタを、信号出力基板のOPTION(CN001)と室内コントロール基板のOPTION(CN060)に接続します。
   ・無電圧信号を使用する場合、③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
   ・有電圧200V信号を使用する場合、①有電圧出力用200V配線の3P白コネクタを信号出力基板のPOWER(CN002)に、3P黄色コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)にそれぞれ接続します。
3. 配線が完了したら付属のナベネジ(M4×4)で基板ボックスの蓋を固定します。
   注)基板ボックスの蓋で配線をかみ込まないように注意してください。

・③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のCN002以外に接続しないでください。
・室内コントロール基板の空きコネクタの中にAC200V出力しているものがあり、間違って接続すると基板を破壊する恐れがあります。

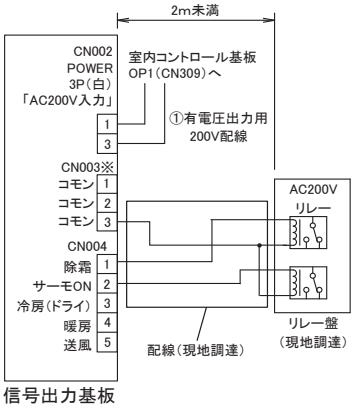


5.信号の取り出しかた

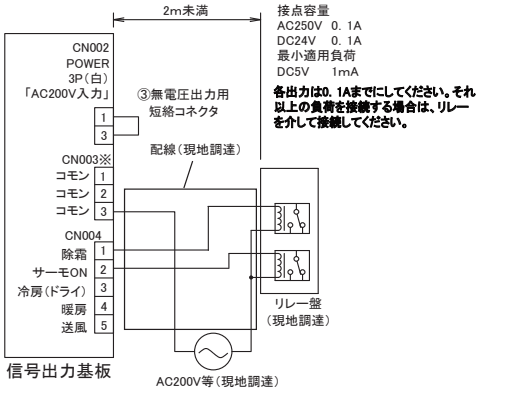
・取り出せる信号は、除霜／サーモON／冷房(ドライ)／暖房／送風の5種類です。
注)各信号は室内ユニットの運転時に出力されます。
・5P端子台とリレー盤(現地調達)等を配線で接続してください。

・誤配線のないように注意してください。
・信号出力基板とリレー盤の距離は2m未満にしてください。

接続例(有電圧200V出力)
・除霜、サーモON信号を使用



接続例(無電圧出力)[または、電磁弁出力基板併用時]
・除霜、サーモON信号を使用



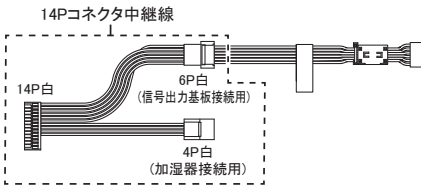
※3P端子台(CN003)の1, 2, 3は、基板内でつながっていますので　どこに接続しても構いません。

信号出力基板／ ACC-SG-E…別売品　施工

6.室内ユニットへの取り付け（代表例）

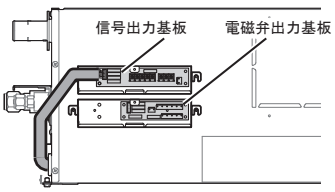
・4方向天井カセット形以外の機種において、信号出力基板と電磁弁出力基板を併用する場合、取り付け場所は下記に合わせてください。
・下記に記載のない場合は、各室内ユニットに同梱の据付工事説明書をご確認ください。これらに取り付け方法の記載がない場合は、本体の運転に支障がないよう室内ユニット本体の近傍に配置してください。

・OPTIONコネクタ(CN060)が14P(白)の機種以外に接続する場合、14Pコネクタ中継線をはずして室内ユニットに取り付けてください。

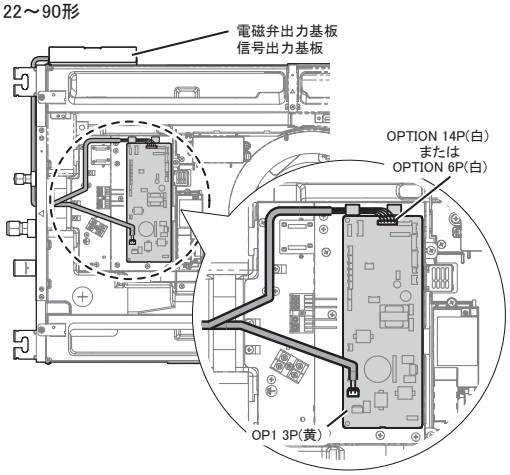


●2方向天井カセット形

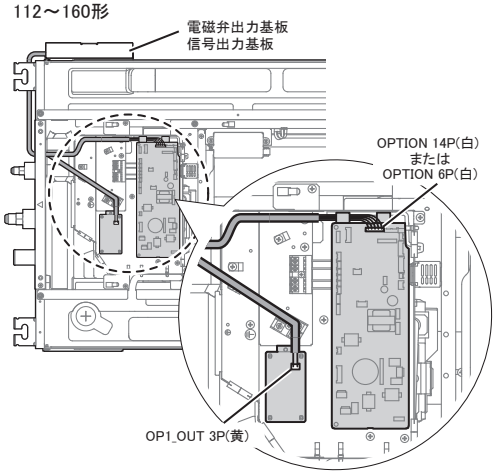
ユニット側面



22～90形

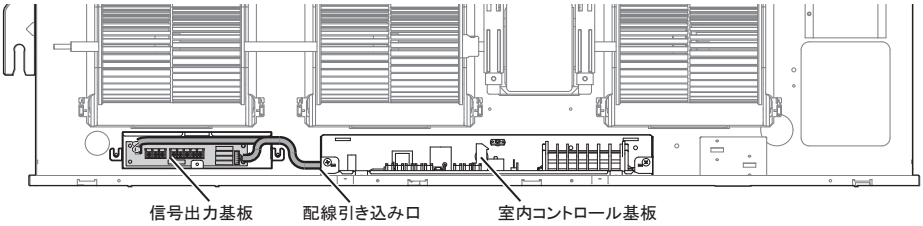


112～160形

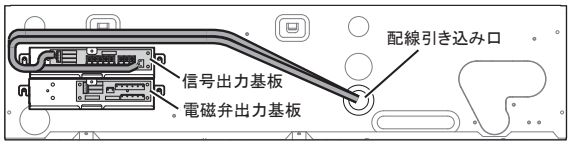


●天井吊形
（VRF3シリーズ/GHP TS1シリーズ）

71～160形ユニット天面
（右図は80形の例）



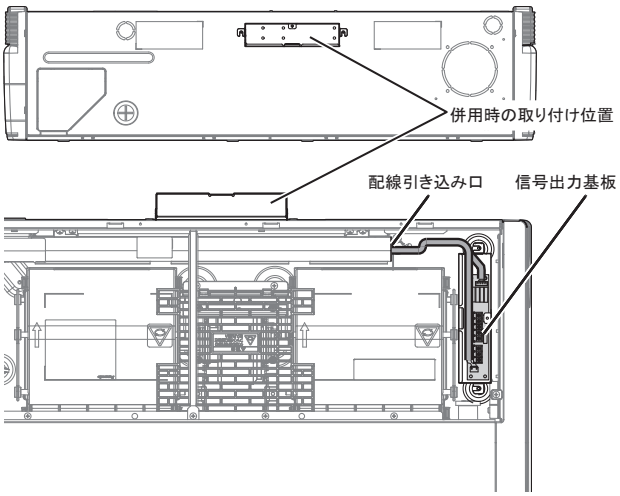
36～56形ユニット側面



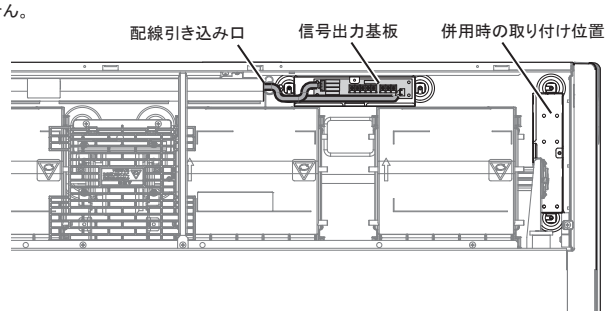
●天井吊形(PAC/VRF4シリーズ/GHP TT1シリーズ)

・電磁弁出力基板等と併用するため取り付け穴は2か所あります。
・36～56形の室内ユニットの背面を壁際へ取り付けた場合、電磁弁出力基板等と併用することはできません。

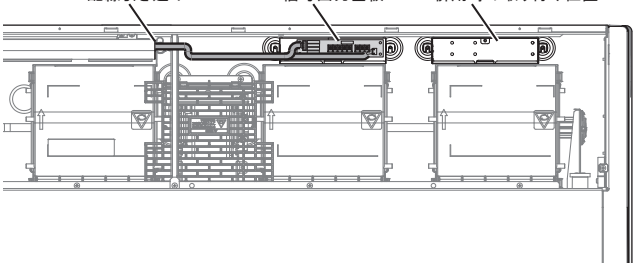
・36～56形



・63～90形



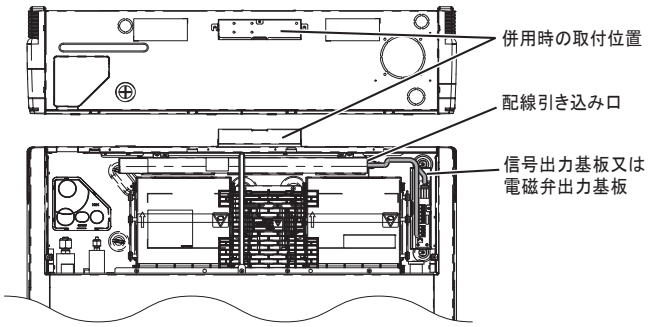
・112～160形



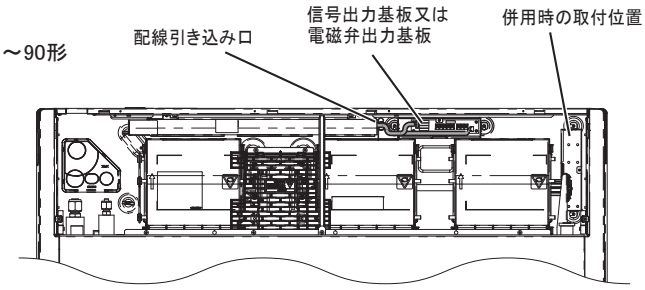
信号出力基板／ ACC-SG-E…別売品　施工

●天井吊形 (VRF 5, 6シリーズ / GHP TU1シリーズ)

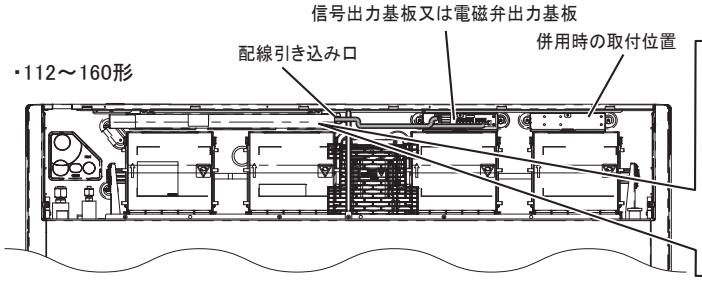
・56形まで

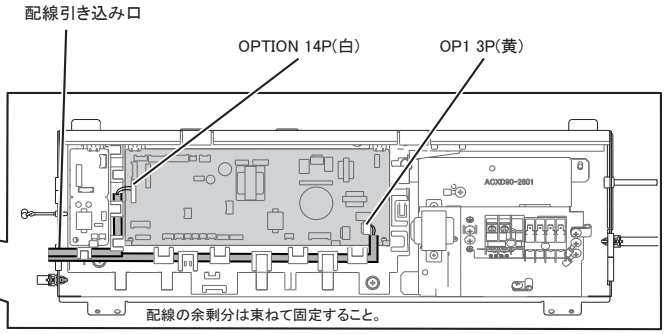


・71～90形

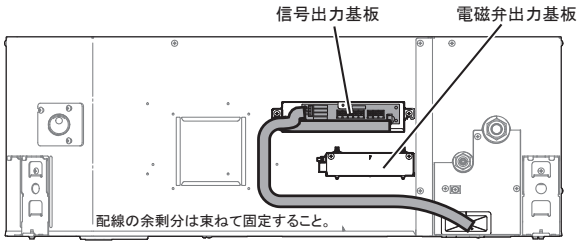


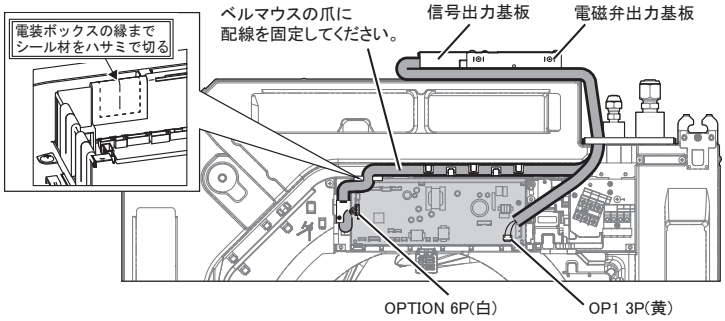
・112～160形



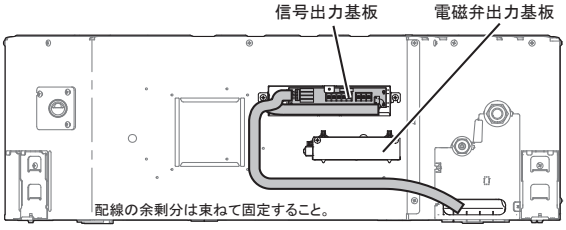


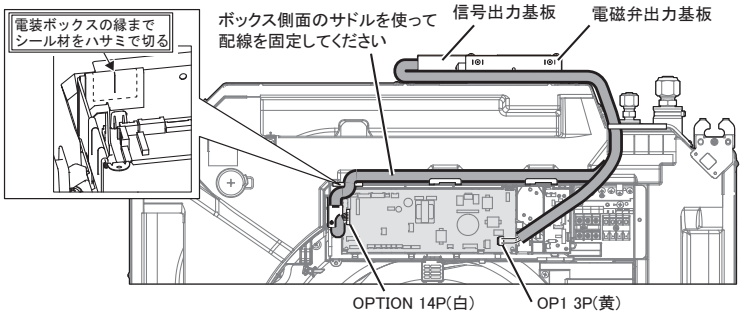
●4方向天井カセット形
(PAC4～6シリーズ/VRF4シリーズ/GHP UT1シリーズ)



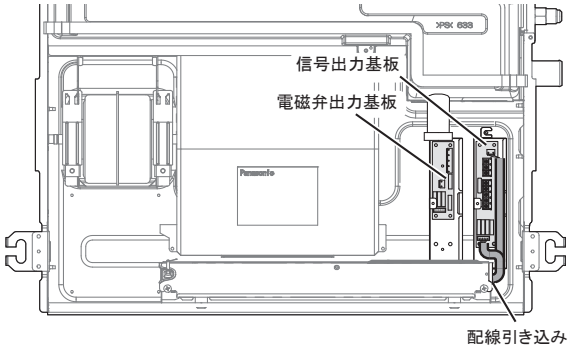


●4方向天井カセット形
(PAC7シリーズ/VRF5シリーズ/GHP UU1シリーズ)

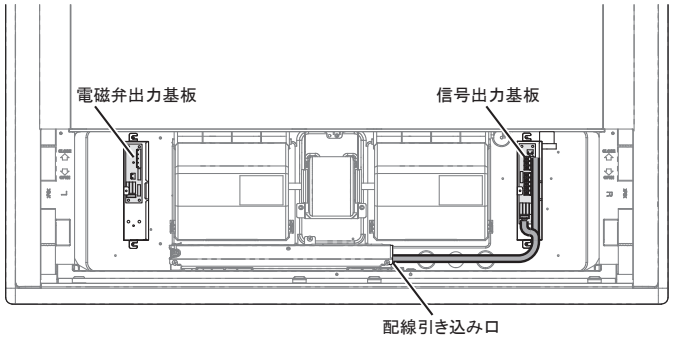




●1方向天井カセット形
(PAC 4～7シリーズ / VRF 3シリーズ / GHP MS1シリーズ)



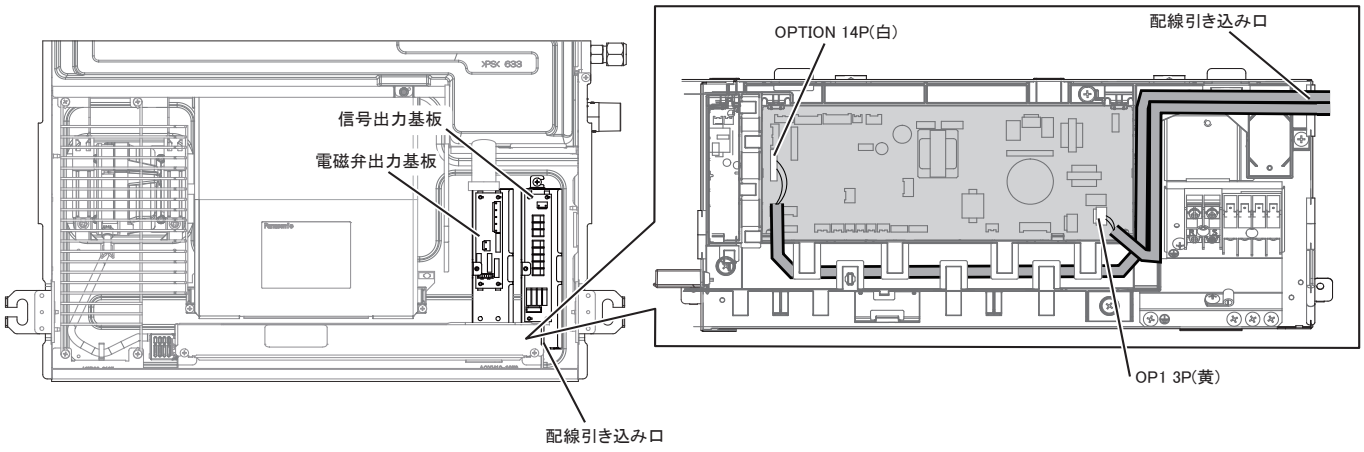
●高天井1方向カセット形



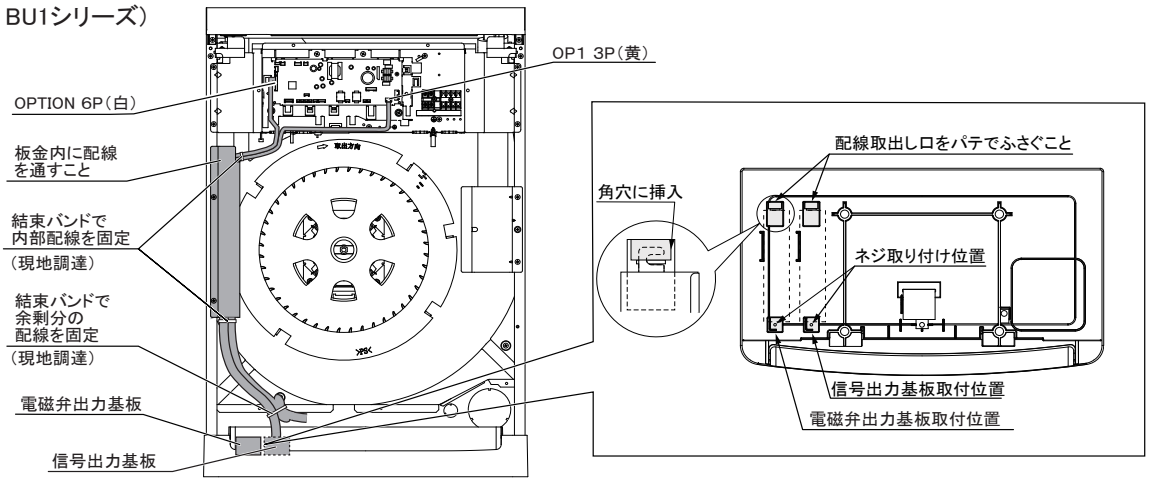
4

信号出力基板／ ACC-SG-E…別売品　施工

●1方向天井カセット形(VRF 5シリーズ / GHP MU1シリーズ)



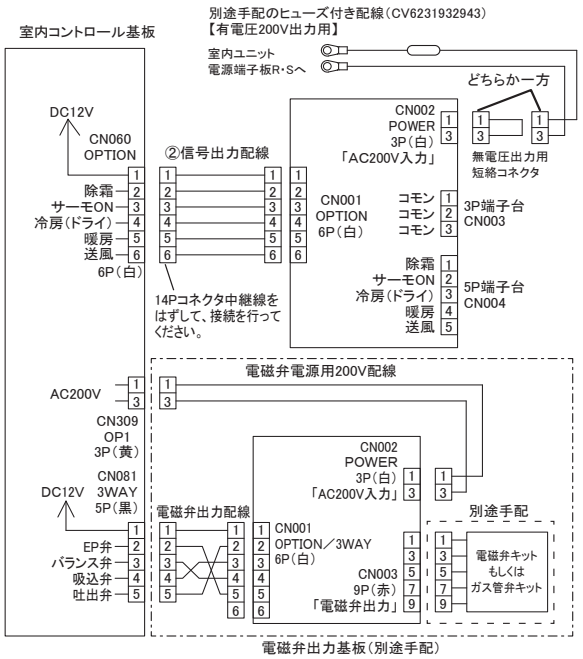
●床置スリム形 (GHP BU1シリーズ)



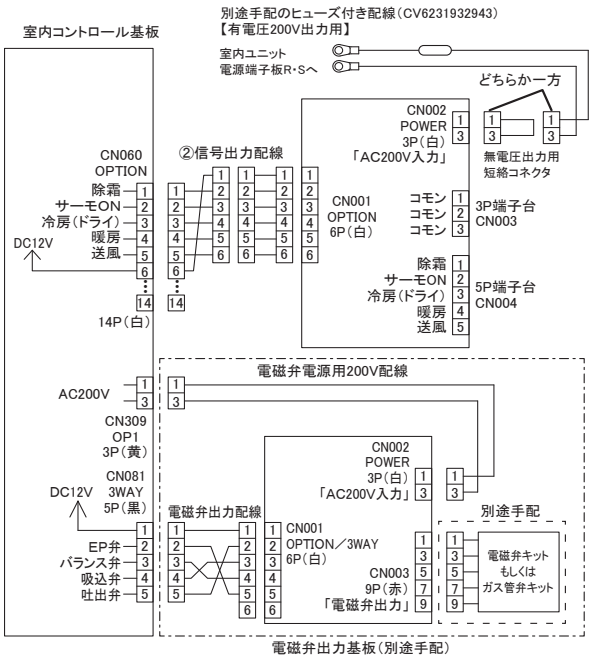
●電磁弁出力基板と併用する場合

・別途手配の電磁弁出力基板と併用する場合は、下図のとおり接続します。
・AC200V有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード:CV6231932943)を接続します。

OPTIONコネクタ(CN060)が6P(白)の機種に接続する場合



OPTIONコネクタ(CN060)が14P(白)の機種に接続する場合



OPTIONコネクタ(CN060)が14P(白)の機種以外に接続する場合、14Pコネクタ中継線をはずして室内ユニットに取り付けてください。

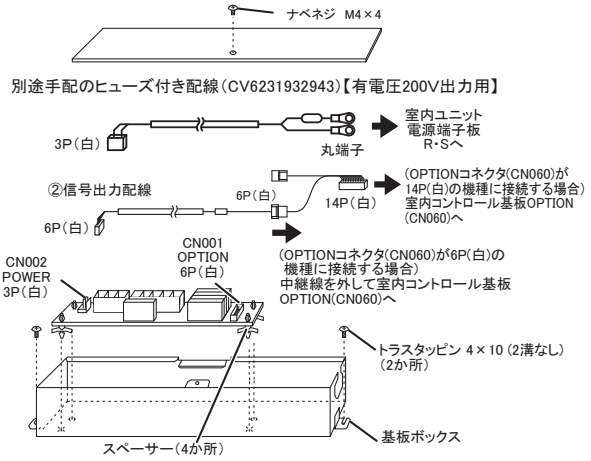
5

信号出力基板／ ACC-SG-E…別売品　施工

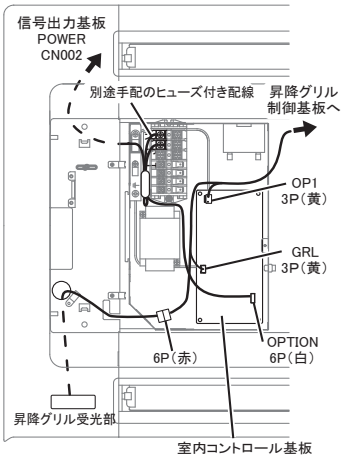
●AC200V有電圧出力と2方向室内ユニット用昇降グリルを併用する場合

昇降グリルは室内コントロール基板の電源コネクタ(OP1：3P黄色)を使用しますので、信号出力基板の配線を
①有電圧出力用200V配線を別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード：CV6231932943)に交換してください。

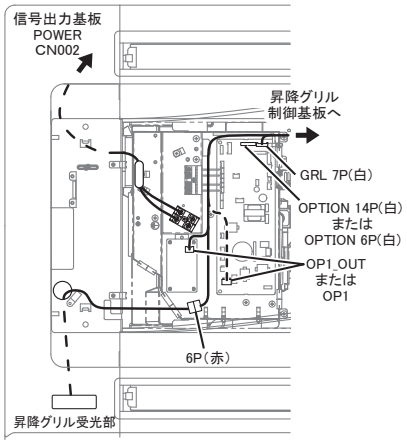
・信号出力基板の取り付け



・(参考)PAC6シリーズ/VRF3シリーズ/
GHP LS1シリーズ



・(参考)PAC6A、6B、7シリーズ/VRF4シリーズ/
GHP LU1シリーズ



7. 送風信号の取り出しかた

・送風信号の取り出し方が選択できます。
以下の方法でご確認の上、設定を行ってください。
※機種によっては本機能がないもの(一部機能が制限されるもの)があります。

●ワイヤードリモコン CZ-10RT5シリーズ をご使用のとき



ご使用の用途に応じた設定データを表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ∧ / ∨ ボタンでページが切り替わります。
「詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
「詳細設定画面」が表示されます。
∧ / ∨ ボタンで変更するユニットNo.を変更してください。
このとき、選択された室内ユニットから送風します。
③ ＜ / ＞ ボタンで項目コードを選択してください。
∧ ボタンで項目コードを「00003D」に変更してください。
＜ / ＞ ボタンで設定データを選択してください。
∧ / ∨ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
④ 戻る ボタンを押してください。「詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。

①メンテナンス機能画面



②詳細設定画面



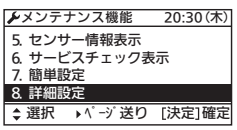
ユニットNo.　項目コード　設定データ

●ワイヤードリモコン CZ-10RT4シリーズ をご使用のとき



ご使用の用途に応じた設定データを表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
「詳細設定画面」が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNo.を変更してください。
このとき、選択された室内ユニットから送風します。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「3D」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNo.を選択後、戻る ボタンを押してください。
「詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。

①メンテナンス機能画面



②詳細設定画面



ユニットNo.　項目コード　設定データ

6

信号出力基板／ ACC-SG-E…別売品　施工

●ワイヤードリモコン CZ-10RT3 をご使用のとき

ご使用の用途に応じた設定データを表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 点検 + セット + 取消 ボタンを同時に4秒間以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択された室内ユニットから送風します。
③ 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「3d」を指定します。
④ 時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。
⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば設定完了です）
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

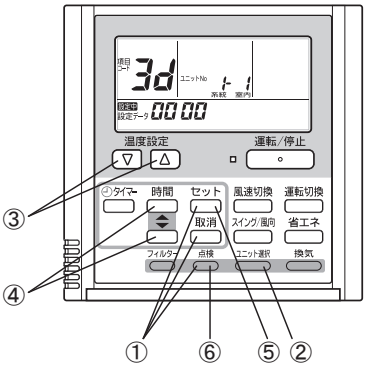


表1　項目コード00003D/3D/3d「送風出力切替」

室内機状態毎の出力一覧	端子台	運転						停止	
		送風運転	冷房、自動冷房、ドライ		暖房、自動暖房			内部乾燥・内部クリーニング	完全停止
			サーモON	サーモOFF	サーモON	サーモOFF	除霜		
除霜	1-COM						○		
サーモON	2-COM		○		○				
冷房/ドライ	3-COM		○						
暖房	4-COM				○				
ファン連動出力：出荷時	5-COM	○	○	○	○※1	○※1		○	
（DN:3D=0000）									
送風モード運転出力	5-COM	○							
（DN:3D=0001）									
ファン連動出力2 ※2	5-COM	○	○	○	○※1	○※1			
（DN:3D=0002）									

※1 熱交温度が低いときやサーモOFF時に無風になる場合は除きます。
※2 対応している機種のみとなります。

Printed in Japan
H0320-40624
WEB-ACXF60-29405-00
85464369251006

BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品

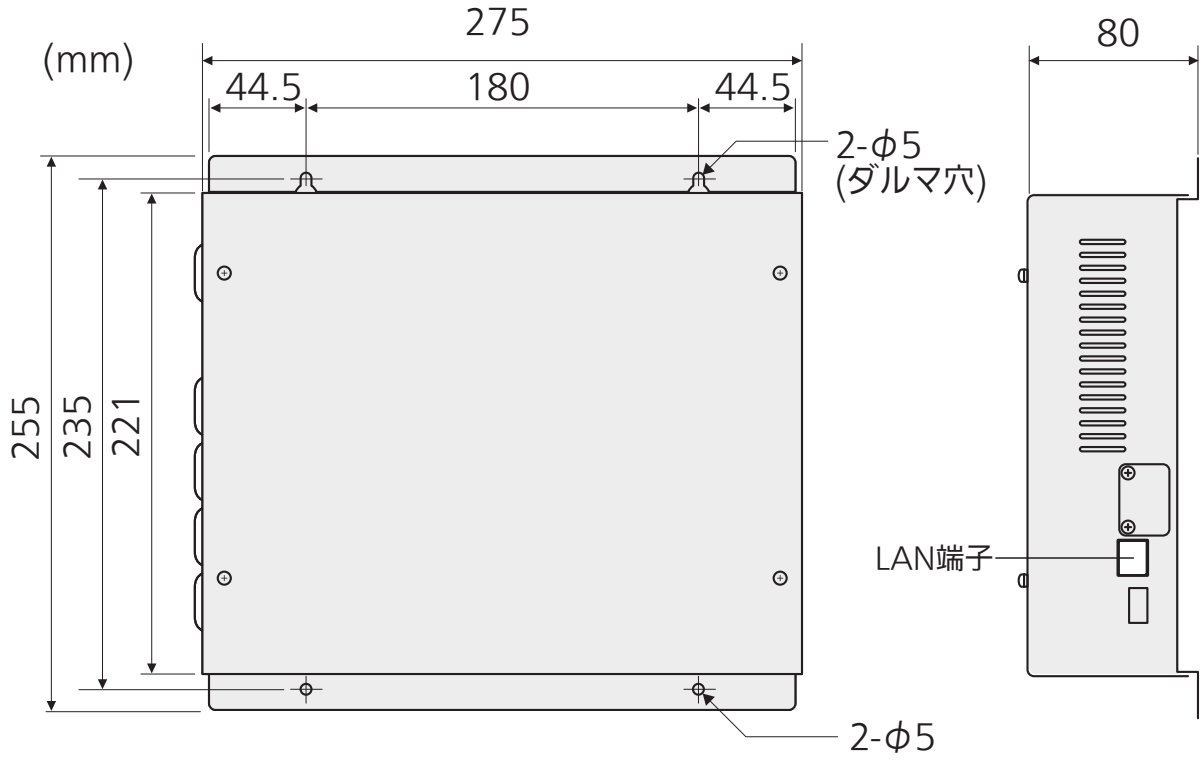
■仕様書

品番		CZ-10ESB4
外形寸法		(高さ)255 mm× (幅)275 mm× (奥行き)80 mm
質量		1.9 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～ 40 ℃・20%～ 80% (結露なきこと)
定格電圧・周波数		単相AC100 ～ 240 V・50/60 Hz
消費電力		最大15 W
時計	月差	±30 秒/月 (常温25 ℃) ※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日 (常温25 ℃　満充電時) ※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数*1		下記の合計台数が100台まで 室内ユニット：64台まで *2 室外ユニット：30台まで 集中制御機器：10台まで
遠隔操作時のパソコン環境	ブラウザ	Internet Explorer 11以降またはGoogle ChromeまたはMicrosoft Edge
	画面解像度	1280×1024 (推奨)
使用可能なUSBメモリー		スタンダードタイプ(USB2.0) 容量：4 GB以上 <使用上のご注意> • 上記仕様の製品であっても、動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。 • 暗号化(セキュリティソフト付き)などはご使用できません。 • データ消失について当社では一切の責任を負わないものとします。

*1：最大接続可能台数は次の通りです。(最大2リンク接続可能)
　• 室内ユニット128台、室外ユニット60台

*2：熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。
　※接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

■外形寸法図

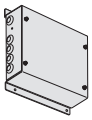


BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品　施工

据付(電気)工事説明書

BACnet アダプター

品番 CZ-10ESB4



- 据付（電気）工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」、付属のDVDは、お客様で保管いただくよう依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 据付（電気）工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

- ❗ **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準・内線規程
  - 据付（電気）工事説明書（感電、火災の原因）
- ❗ **漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける**（故障や漏電時に感電、火災の原因）
- ❗ **電源は、必ず専用回路を使用する**（感電、火災の原因）
- ❗ **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**（感電、挟み込み、巻き込みの原因）
- ⏚ **アース工事（D種接地工事）を行う**
  - ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しない（感電の原因）

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- ⃠ **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- ⃠ **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- ⃠ **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**（発熱、火災の原因）
- ❗ **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、本機や室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- ❗ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**（製品の落下、感電、火災などの原因）

本体を据え付けるときに

- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- ❗ **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
- ❗ **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**（感電、故障の原因）

⚠注意

据付（電気）工事をする前に

- ⃠ **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ
  - ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所（感電、火災などの原因）
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

本体を据え付けるときに

- ⃠ **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）

もくじ

	ページ
● 安全上のご注意	1
● 据え付け時のご注意	2
● 外形寸法図（各部の名前）	2
● 据え付ける	2
● 制御盤に据え付ける	2
● 配線の準備をする	3
● 配線する	3
● 各部のなまえ	5
● BACnetアダプターシステム概要図	5
● 初期設定について	6
● 初期設定の準備をする	7
● 日時を設定する	8
● システムの構成を確定する	9
● 室内ユニットの基本設定を行う	10
● 室外ユニットの基本設定を行う	12
● ネットワーク設定を行う	15
● Webユーザー設定を行う	16
● BACnet通信を再起動する	17
● IPアドレスを設定する	18
● 基本機能を設定する	19
● 火災連動設定を設定する	21
● 停電連動設定を設定する	23
● トレンド設定を設定する	25
● メンテナンス設定を設定する	26
● イベント連動ポイントを設定する	27
● 空調機を連動的に制御する	29
● 仕様	裏表紙

付属品　< >：個数

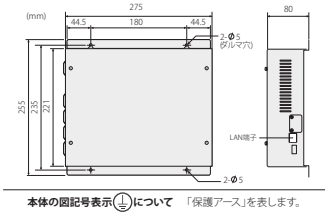
据付(電気) 工事説明書 <1>	ライセンスリスト・ソースコード(DVD) <1>
	

※ケーブルは現地調達のため、付属していません。

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所
  - 過度な衝撃や振動のある場所（本機の取り付けネジが緩み、落下の原因）
  - 熱源の近くなど
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波が発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避けてください。（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離してください。（映像の乱れ、雑音の原因）
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）を据え付ける。
- 配線は、地中に埋設しない。
- 配線が通っている制御盤の穴をパテなど（現地調達）でふさぐ。
- 絶縁物の厚み（シース部を含む）が1 mm以上のケーブルを使う。
- 監視盤の中など、不特定多数の手が届かない場所に設置する。

外形寸法図（各部の名前）

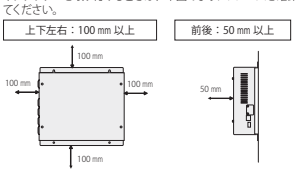


本体の図記号表示⏚について　「保護アース」を表します。

据え付ける

■ **取付場所など**

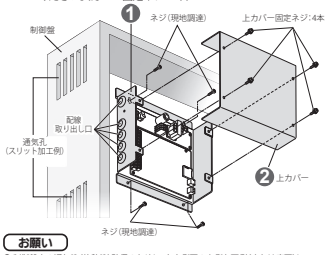
本アダプターを取り付けるときは、下図のようにスペースを確保してください。



制御盤に据え付ける

❶ **BACnetアダプターを制御盤に据え付ける**
（ネジ（現地調達）：4本）
- 左側からケーブルを引き出せるように、本機を制御盤に据え付けてください。（下図参照）

❷ **上カバーを外す**
- 配線（P.3～4）が完了した後は、上カバーを取り付けてください。（カバー固定ネジ：4本）



お願い
- 制御盤内の通気性（放熱性）確保のために、左右側面の上側と下側（または底面）に通気孔（スリットなど）を入れてください。
  - 制御盤内の温度が40 ℃を超えないようにする。
  - 据え付け時に上記の通気孔をふさがないように注意する。

配線の準備をする

お願い
- ノイズの影響を受けるおそれのある場所で、室内外操作線と外部機器接続線を使うときは、シールド線（片側アース）を使ってください。

■ **電源線**
- ケーブルの種類
  - 使用基準：600 Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（現地調達）
  - 柔軟性のある2 mm²のケーブル（推奨）
- 電源端子ネジ　：M4
- 締め付けトルク：0.6～0.8 N・m（規定値）
  - 締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）
- アース端子ネジ：M4
- 締め付けトルク：0.6～0.8 N・m（規定値）
  - 締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）

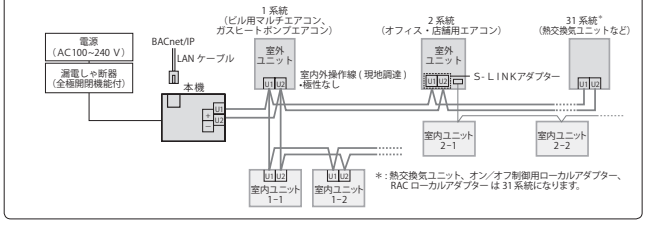
■ **室内外操作線**
- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある2芯の0.5～2 mm²のケーブル
  - 推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- 総配線長：1000 m以内
- 端子ネジ：M3
- 締め付けトルク：0.4～0.5 N・m（規定値）
  - 締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）

■ **外部機器接続線**
（外部機器を接続するとき）
- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある0.5～2 mm²のケーブル
  - 推奨品：VCT/VCTF
- 配線長　：20 m以内
- 端子ネジ：M3
- 締め付けトルク：0.4～0.5 N・m（規定値）
  - 締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）

■ **LANケーブル**
- ケーブルの種類
  - カテゴリー5以上のストレートケーブル
- 配線長：100 m 以内

■基本配線図

- S-LINK アダプター、熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RAC ローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付（電気）工事説明書」をあわせてご覧ください。

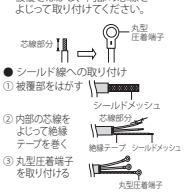


配線する

お願い
- 電源線とその他の通信線は、同一線管内に通さないでください。
  また、ノイズの影響を軽減させるために、できるだけ離して配線してください。

1 漏電しゃ断器を切る
- 安全のため、配線を行う前には、必ず漏電しゃ断器を切ってください。

2 丸型圧着端子を取り付ける
- 電源線への取り付け
  被覆をはがし、内部の芯線をよじって取り付けてください。



- シールド線への取り付け
  ① 被覆部をはがす
  ② 内部の芯線をよじって絶縁テープを巻く
  ③ 丸型圧着端子を取り付ける

3 電源線を接続する
- 電源線は電源端子台に、アース線はアース端子台（板金ケース上*1）に接続してください。
  *1：保護アース

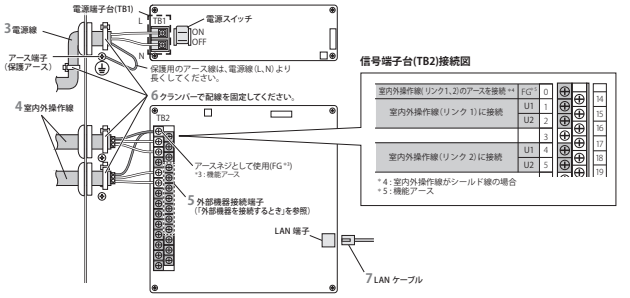
4 室内外操作線を接続する
- シールド線の場合は、アース線を信号端子台の0番（FG*2）に接続してください。
  *2：機能アース
- 極性はありません。
- 接続可能台数（→裏表紙「仕様」）
- 接続可能な熱交換気ユニット（→裏表紙「仕様」）

5 外部機器を接続する
- 外部機器を接続するときは、「外部機器を接続するとき」(P.4)を参照してください。

6 電源線とその他の通信線は、結束クランパーでしっかり固定する
- 端子接続部に張力が加わらないようにしてください。

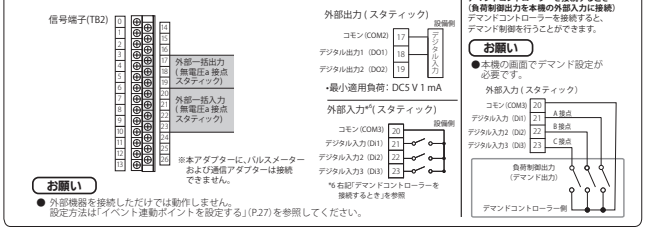
7 LANケーブルを接続する
- BACnet/IP上のネットワークに接続してください。
- 直接パソコンで設定を行う場合は、パソコンに接続してください。

8 電源線の接続が正しいことを確認して漏電しゃ断機を入れる
- 誤って電源線を信号端子台に接続して入れると、本機または接続機器が故障することがあります。



■外部機器を接続するとき

- 信号形式：無電圧 a 接点
- 各信号入力の配線長：20 m以内（超えるときは、リレーを使う）
- 入力端子検出のため、接点に DC5 V（約 10 m A）の電圧がかかります。
- 入力端子には、外部から電圧を印加しないでください。
- 出力端子の接点許容電圧、および電流は、最大 DC30 V、0.5 A です。

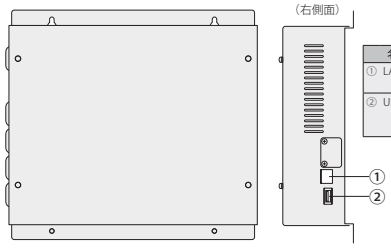


お願い
- 外部機器を接続しただけでは動作しません。
  設定方法は「イベント連動ポイントを設定する」(P.27)を参照してください。

お願い
- 配線後の各設定方法は、次ページ以降を参照してください。

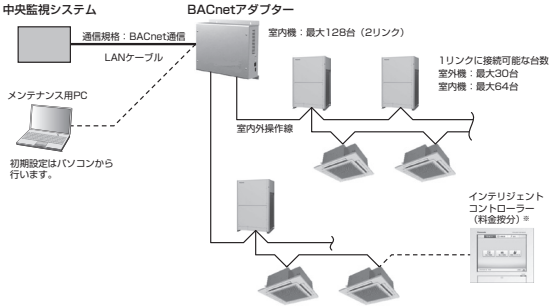
BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品　施工

各部のなまえ



名前	説明
① LAN端子	ケーブルでネットワークに接続します。
② USB端子	本機の設定データをバックアップするためにUSBメモリーを抜き差しします。

BACnetアダプター システム概要図



お願い

- BACnetアダプターに通信アダプターは、接続できません。

※料金按分を中央監視システムで行わない場合、インテリジェントコントローラーを使用することで料金按分が可能になります。

初期設定について

基本設定フロー

1 初期設定の準備をします
→ 初期設定の準備をする　P.7

2 本機の日付、時間を設定します
→ 日時を設定する（[日時設定]）　P.8

3 空調システムの構成を確定します
→ システムの構成を確定する（[構成の確認]）　P.9

設定完了

運用別設定フロー

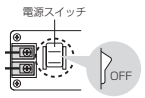
○：設定が必要です。　△：場合によっては設定が必要です。

手順	カテゴリステップ	設定	画面メニュー名	要否
1	日時設定	現在日時の設定	日時設定	○
2	構成読み込み	接続構成の確定	構成の確認	○
3	ユニット関連	集中アドレス※1	室内ユニット設定	○
		ユニット名	室内ユニット設定	○
		操作対象外、管理対象外	室内ユニット設定	△
		室外ユニット名	室外ユニット設定	△
		リモコン禁止	空調機との通信設定	△
4	ネットワーク関連	IP アドレス、ネットマスク など	ネットワーク設定	○
		ユーザー ID、パスワード	Web ユーザー設定	○
5	BACnet 関連	BACnet IP アドレス	アドレス設定	○
		BACnet 機能／通知方法	基本機能設定	○
		BACnet バージョン	基本機能設定	○
		BACnet デバイス ID	基本機能設定	○
		BACnet イベント入力／出力ポイント	基本機能設定	△
		BACnet 確認ありイベント機能	基本機能設定	△
		BACnet 火災連動機能	火災連動設定	△
		BACnet 停電連動機能	停電連動設定	△
		BACnet トレンド機能	トレンド設定	△
		BACnet メンテナンス機能	メンテナンス設定	△
		BACnet イベント連動ポイント	イベント設定	△
6	イベント制御	入力ポイント（名称と条件）※2	イベント制御	△
		出力ポイント（名称と動作）※3	イベント制御	△
7	BACnet アダプター関連	自動ログアウト時間	初期化	△

※1 システムコントローラーやマルチコントローラーなどと併用する場合の管理区分に注意する必要があります。
※2 外部一括運転/停止入力/BACnet入力などを設定します。
※3 外部一括警報出力/BACnet出力などを設定します。

初期設定の準備をする

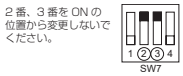
1 電源スイッチを切っていることを確認する



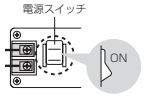
2 メンテナンス用のPCを、直接LANケーブルでBACnetアダプターに接続する



3 BACnetアダプターの動作モードのDIPスイッチを設定モードにする



4 電源スイッチを入れる



お願い

- 電源投入後、15分以内に電源を切らないでください。内部のデータが破損する恐れがあります。

5 PCを起動し、ネットワーク設定を以下のように設定する

IPアドレス	192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 254

6 WebブラウザにURL「https://192.168.1.101/bacad/login.php」を入力して、BACnetアダプターにアクセスする

推奨Webブラウザの仕様
- Internet Explorer 11以降またはGoogle Chrome またはMicrosoft Edge
- ログイン画面が表示されます。



- ログイン画面が表示されないときPCのLANポートのLEDが点滅しているか確認してください。

点滅していない
→LANケーブルを正しく接続してください。

点滅している
→手順5の設定を確認してください。

7 下記のユーザー名とパスワードを入力する

- user：bac_user
- password：KYJN2019bac

8 [LOGIN]をクリックする



お願い

- 30分操作しない時間が続くと、次回操作時にログイン画面が表示されます。

9 新しいユーザIDと新しいパスワードを入力する

- 実際に使用するパスワードに変更してください。



10 [Change]をクリックする

- 取り消すときは[Cancel]を選択してください。

日時を設定する

日時を手動で設定します。

1 「設定」の[本体メンテナンス]をクリックする

- 「本体メンテナンス」画面が表示されます。



2 [日時設定]をクリックする

- 「日時設定」画面が表示されます。



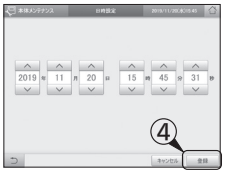
3 日時を設定する



項目	説明
年 月 日	年月日を設定します。 △▽で「年」「月」「日」をそれぞれ設定します。
時 分 秒	時間を設定します。 △▽で「時」「分」「秒」をそれぞれ設定します。

4 [登録]をクリックする

- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



お願い

- 手動で時間を30分以上戻さないでください。室内ユニットの基本設定でエラーが出る場合があります。

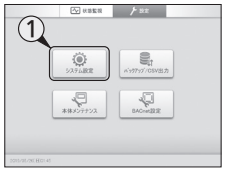
BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品　施工

システムの構成を確定する

現在の空調システムの構成を確定します。

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [構成の確認]をクリックする

●「構成確認」画面が表示されます。



3 [構成の確認]をクリックする

●構成確認を開始します。
●「構成が変化しています。構成確定を実施しますか？」というメッセージが表示されます。
●「構成変化はありませんでした」というメッセージが表示されたらユニットが見つからない状態です。配線やユニットの電源が入っているかなどの確認が必要です。



4 [構成確定開始]をクリックする

●現在のシステム状態を再確認し、その結果を最終的に確定します。
●構成確定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



室内ユニットの基本設定を行う

室内ユニット（室内ユニットアドレスなど）を登録する

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [室内ユニット設定]をクリックする

●「室内ユニット設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●複数選ぶこともできます。



4 [編集]をクリックする

●「ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	室内ユニットの名称を変更します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 全角で8文字（英数半角で16文字）まで入力できます。
集中アドレス	集中アドレス（1～64）を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 **お願い** • 集中アドレスは他の集中コントローラー（システムコントローラー、マルチコントローラーなど）で共通して使用されるアドレスです。不必要に変更しないようにしてください。 • 重複したアドレスを設定すると、エラーメッセージが表示されます。 • 複数の室内ユニットを選択している場合は設定できません。

項目	説明
能力固定	室内ユニットの能力固定値を設定します。（ローカルアダプター設置時） テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
室外機アドレス	∧ ∨ で設定したい室外ユニットアドレス（1～31）を選択します。（'31'は熱交換気ユニットまたはローカルアダプターを設定します）
室内機アドレス	∧ ∨ で設定したい室内ユニットアドレス（1～64）を選択します。
表示順	∧ ∨ で、一覧で表示されるときの順番（0～128）を設定します。
操作対象外	操作の対象外にする場合は「○」、対象とする場合は「×」を選びます。
管理対象外	本機の管理から対象外にする場合は「○」、対象とする場合は「×」を選びます。

6 [登録]をクリックする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



7 [登録]欄にチェックを入れる

●管理対象とする室内ユニットにチェックを入れます。
●集中アドレスの自動設定を行っている場合は、この操作は不要です。
（→「集中アドレスを自動設定する」）



8 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



集中アドレスを自動設定する

1 「登録」欄にチェックを入れる

●管理対象とする室内ユニットにチェックを入れます。



2 [集中アドレス自動]をクリックする



お願い

• 集中アドレスは他の集中コントローラー（システムコントローラー、マルチコントローラーなど）で共通して使用されるアドレスです。不必要に変更しないようにしてください。
• 「ユニット設定編集」ダイアログで集中アドレスを設定したあとで[集中アドレス自動]を行うと、集中アドレスは上書きされます。

室外ユニットの基本設定を行う

室外ユニット（室外ユニットアドレスなど）を登録します。名称などの設定を変更することもできます。

室外ユニット（室外ユニットアドレスなど）を登録する

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [室外ユニット設定]をクリックする

●「室外ユニット設定」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する



4 [登録]欄にチェックを入れる

●管理対象とする室外ユニットにチェックを入れます。



5 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品　施工

「室外ユニット設定」画面

A：室外ユニットが接続されているリンク系統を選びます。

B：クリックする（設定オン）と、「登録」欄にチェックを入れた室外ユニットのみ一覧表示されます。再度クリックすると、すべての室外ユニットが一覧表示されます。（設定オフ）



C：各室外ユニットの詳細設定を一覧表示します。

項目	説明
[選択]	設定を編集する室外ユニットにチェックを入れます。
No.	連番を示します。
名称	室外ユニットの名前を表示します。
アドレス	室外ユニットアドレスを表示します。
冷暖フリー	室外ユニットが冷房・暖房兼用タイプの場合は「○」、専用タイプの場合は「×」と表示されます。
登録	本機の管理対象とする場合はチェックを入れます。
表示順	表示順を示します。
製品種別	製品種別（PAC、GHP）を表示します。

D：クリックすると、「選択」欄にチェックを入れた室外ユニットの「室外ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。

室外ユニットの基本設定を行う

設定を編集する

1 「選択」欄にチェックを入れる

●複数選ぶこともできます。



2 [編集]をクリックする

●「室外ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
名称	室外ユニットの名前を変更します。全角で8文字（英数半角で16文字）まで入力できます。
系統アドレス	∧ ∨ で、設定したい室外ユニット系統アドレス（1～30）を選択します。
系統内番号（子機番号）	∧ ∨ で、設定したい系統内の個別番号（0～3）を選択します。親機は「0」を設定します。
表示順	∧ ∨ で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

4 [登録]をクリックする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



5 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



ネットワーク設定を行う

BACnet通信で使用するアドレスを、BACnetアダプターに設定します。

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [ネットワーク設定]をクリックする

●「ネットワーク設定」画面が表示されます。



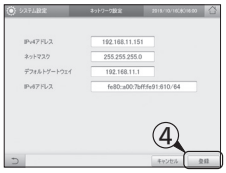
3 各設定を行う



項目	説明
IPv4アドレス	本機のIPv4アドレスを設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」および「255.255.255.255」には設定できません。
ネットマスク	本機のネットマスクを設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
デフォルトゲートウェイ	必要に応じて、本機のデフォルトゲートウェイを設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
IPv6アドレス	本機のIPv6アドレスを設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

4 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



お願い

• 接続中のアドレスを変更した場合は、パソコンから再度、変更後のアドレスで接続してください。

Webユーザー設定を行う

ネットワーク経由で本機にアクセスできるユーザーID、パスワードを登録します。

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [Webユーザー設定]をクリックする

●「Webユーザー設定」画面が表示されます。



3 ユーザーIDを入力する

●テキストボックスをクリックすると、入力ダイアログが表示されます。
●任意のユーザーIDを入力してください。



4 パスワードを入力する

●テキストボックスをクリックすると、入力ダイアログが表示されます。
●パスワードは8文字以上（必ず半角英数字を含むこと）で入力してください。



5 [登録]をクリックする

●設定が登録され、「Webユーザー設定」ダイアログが閉じられます。



お願い

• ユーザーID、パスワードは、第三者に漏洩しないよう管理してください。

BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品　施工

BACnet通信を再起動する

[BACnet設定]変更後の動作確認などの際に使用します。
[BACnet設定]を変更した場合、本機能による再起動、もしくは本体の電源再起動を行ってください。

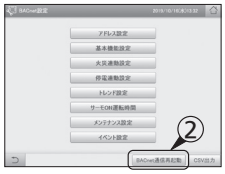
1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [BACnet通信再起動]をクリックする

●「確認メッセージ」ダイアログが表示されます。



3 「確認メッセージ」ダイアログが表示されます。

●「はい」をクリックします。



4 BACnetが再起動される

●「OK」をクリックします。



お願い

- BACnet再起動後は、通信が開始されるまで最大15分程度かかります。

IPアドレスを設定する

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [アドレス設定]をクリックする

●「アドレス設定」ダイアログが表示されます。



3 IPアドレスを入力する。

●各種IPアドレスを入力します。



項目	説明
自ノードIPアドレス	自身(BACnetアダプター)のIPアドレスを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
ブロードキャストアドレス	各種通告を行うブロードキャストアドレスを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
通知先のIPアドレス	確認あり通告を通知する先のIPアドレスを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

4 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



基本機能を設定する

機能／通知方法

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [基本機能設定]をクリックする

●「基本機能設定」ダイアログが表示されます。



3 「基本機能設定(2/2)」の画面が表示される

●運転時に使用する機能／通知方法を選択します。



項目	説明
COV通告	状態が変化した際に、COVによる通知を行います。
イベント通告	状態が変化した際に、イベントによる通知を行います。
イベント確認有	イベントによる通知を、確認有りで行います。「警報」機能のみ設定可能です。

4 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



5 [次ページ]をクリックする

●次ページへ画面が切り替わります。



次ページに続く

6 「基本機能設定(2/2)」の画面が表示される

●項目のテキストボックスをクリックすると入力ダイアログが表示されますので、登録する数値などを入力してください。



7 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



項目	説明
BACnetバージョン	現在の本機のバージョンを表示します。
デバイスID	本機のデバイスID(0～4194303)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
スケジュールオブジェクト数	スケジュールオブジェクト数(0～255)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
カレンダーオブジェクト数	カレンダーオブジェクト数(0～255)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
イベント入力BV数	イベント入力BV数(0～32)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
イベント出力BI(COV)数	イベント出力BI(COV)数(0～32)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
確認有りイベント通知リトライ回数	確認有りイベント通知リトライ回数(0～2)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品　施工

火災連動設定を設定する

火災入力の選択と停止したい室内機の選択などを行います。

1 「設定」の［BACnet設定］をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 ［火災連動設定］をクリックする

●「火災連動設定」ダイアログが表示されます。



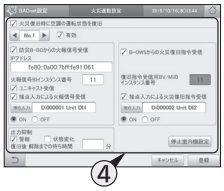
3 No.を選択する

●◀ ▶でNo.を選択します。
「有効」にチェックを入れると、現在表示しているNo.の設定が有効になります。
No.20（20種類）まで設定できます。



4 各種設定を行う

●設定する項目のチェックボックスをクリック、またはテキストボックスをクリックすると入力ダイアログが表示されますので、登録する数値などを入力してください。（次ページ参照）



5 「停止室内機設定」をクリックする

●「停止室内機設定」ダイアログが表示されます。



6 停止する室内機をクリックする

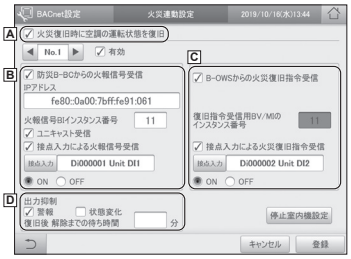
●火災発生時に運転停止する室内機を選択します。



次ページに続く

火災連動設定を設定する

「火災連動設定」画面



A：火災復旧時に空調の運転状態を復旧。

項目	説明
火災復旧時に空調の運転状態を復旧	チェックを入れると、火災復旧時に空調の運転状態が復旧されるようになります。

B：火災発生時の設定

項目	説明
防災B-BCからの火報信号受信	チェックを入れると、防災B-BCからの信号により火災を検知することができるようになります。
IPアドレス	防災B-BCのIPアドレスを設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
火報信号BIインスタンス番号	火報信号となるBIオブジェクトのインスタンス番号を設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
ユニキャスト受信	チェックを入れると、ユニキャストでの受信に対応します。
接点入力による火報信号受信	チェックを入れると、アダプターの接点信号により火災を検知することができるようになります。
接点入力	火災を検知する接点を選択します。クリックすると接点を選択するダイアログが表示されます。
ON/OFF	接点がONになった場合に火災とするか、OFFになった場合に火災とするか選択します。

C：火災復旧時の設定

項目	説明
B-OWSからの火災復旧指令受信	チェックを入れると、B-OWS（中央監視）からの火災復旧指令により火災復旧することができるようになります。
復旧指令受信用BV/MIのインスタンス番号	復旧指令受信用のBV/MIオブジェクトのインスタンス番号を表示します。設定変更はできません。
接点入力による火災復旧指令受信	チェックを入れると、アダプターの接点信号により火災を復旧することができるようになります。
接点入力	火災復旧を検知する接点を選択します。クリックすると接点を選択するダイアログが表示されます。
ON/OFF	接点がONになった場合に火災復旧とするか、OFFになった場合に火災復旧とするか選択します。

D：出力抑制

項目	説明
警報	チェックを入れると、火災発生中に警報出力を抑制します。
状態変化	チェックを入れると、火災発生中に状態変化出力を抑制します。
復旧後　解除までの待ち時間	火災復旧後、出力抑制解除までの待ち時間を設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

7 ［登録］をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



8 ［登録］をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



停電連動設定を設定する

1 「設定」の［BACnet設定］をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



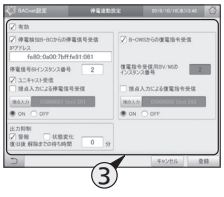
2 ［停電連動設定］をクリックする

●「停電連動設定」ダイアログが表示されます。



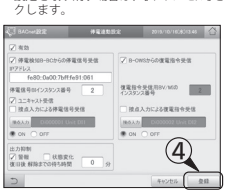
3 各種設定を行う

●設定する項目のチェックボックスをクリック、またはテキストボックスをクリックすると入力ダイアログが表示されますので、登録する数値などを入力してください。（次ページ参照）



4 ［登録］をクリックする

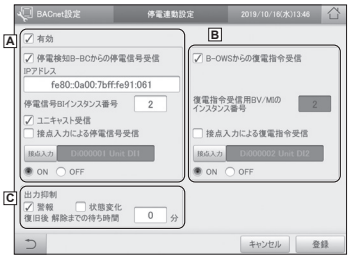
●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



次ページに続く

停電連動設定を設定する

「停電連動設定」画面



A：停電発生時の設定

項目	説明
有効	チェックを入れると、停電連動が有効になります。
停電検知B-BCからの火報信号受信	チェックを入れると、停電検知B-BCからの信号により停電を検知することができるようになります。
IPアドレス	停電検知B-BCのIPアドレスを設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
停電信号BIインスタンス番号	停電信号となるBIオブジェクトのインスタンス番号を設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
ユニキャスト受信	チェックを入れると、ユニキャストでの受信に対応します。
接点入力による復電信号受信	チェックを入れると、アダプターの接点信号により停電を検知することができるようになります。
接点入力	停電を検知する接点を選択します。クリックすると接点を選択するダイアログが表示されます。
ON/OFF	接点がONになった場合に停電とするか、OFFになった場合に停電とするか選択します。

B：停電時の設定

項目	説明
B-OWSからの復電指令受信	チェックを入れると、B-OWS（中央監視）からの復電指令により復旧することができるようになります。
復電指令受信用BV/MIのインスタンス番号	復旧指令受信用のBV/MIオブジェクトのインスタンス番号を表示します。設定変更はできません。
接点入力による復電指令受信	チェックを入れると、アダプターの接点信号により停電を復旧することができるようになります。
接点入力	復電を検知する接点を選択します。クリックすると接点を選択するダイアログが表示されます。
ON/OFF	接点がONになった場合に復電とするか、OFFになった場合に復電とするか選択します。

C：出力抑制

項目	説明
警報	チェックを入れると、停電中に警報出力を抑制します。
状態変化	チェックを入れると、停電中に状態変化出力を抑制します。
復旧後　解除までの待ち時間	復電後、出力抑制解除までの待ち時間を設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品　施工

トレンド設定を設定する

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



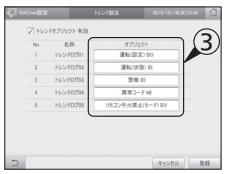
2 [トレンド設定]をクリックする

●「トレンド設定」ダイアログが表示されます。



3 設定するオブジェクト欄をクリックする

●「有効」にチェックを入れると、トレンド機能が有効になります。
●設定するオブジェクト欄をクリックすると、「オブジェクト」ダイアログが表示されます。
●トレンド毎に登録することができます。



4 設定する内容をクリックする

●各トレンドに登録するオブジェクトをクリックします。(1つのトレンドに対し1つの設定となります。)
●一部の機能は「基本機能設定」画面で「使用」にチェックしていないと選択できません。



5 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



25

メンテナンス設定を設定する

メンテナンス状態に設定すると、警報などの出力を抑制することができます。

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [メンテナンス設定]をクリックする

●「メンテナンス設定」ダイアログが表示されます。



3 「メンテナンス」にチェックを入れる

●複数にチェックを入れることもできます。



4 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



26

イベント連動ポイントを設定する

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [イベント設定]をクリックする

●「イベント設定」ダイアログが表示されます。



3 「選択」にチェックを入れる

●複数にチェックを入れることもできます。



4 [編集]をクリックする

●[イベント設定編集]ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	室外ユニットの名前を変更します。全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。
IPアドレス	連動信号の出力元 IP アドレスを入力します。
インスタンス番号	連動信号のインスタンス番号を入力します。
オブジェクト種別	＜＞で、連動信号のオブジェクト種別を選択します。
通知種別	連動信号の通知種別を選択します。

次ページに続く

27

イベント連動ポイントを設定する

6 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



7 [有効]にチェックを入れる

●設定を有効にするNo.のチェックボックスをクリックし、チェックを入れてください。



8 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



28

BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品　施工

空調機を連動的に制御する

入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定することで、空調機（室内ユニット、室外ユニット）の連動的な制御を行います。
たとえば、火災警報が発令される（入力ポイント）と、室内ユニットの運転を一斉に停止する（出力ポイント）ような設定をすることができます。

入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定する

1 「設定」の［システム設定］をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 ［イベント制御］をクリックする

●「イベント制御」画面が表示されます。



3 イベント名を選ぶ

●◀ ▶でイベントを登録するイベント名を選びます。
●イベント名は変更できます。（→「イベント名を変更する」(P.34)）



4 入力ポイント枠を選び（4-1）、［設定］をクリック（4-2）する

●「入力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



5 一覧から入力対象を選ぶ

●入力対象には、空調機警報一括、一括状態入力、デジタル入力機器、BACnet信号入力、室内ユニットがあります。



次ページに続く

6 入力条件を設定する

●選んだ入力対象によって設定できる条件が異なります。



●空調機警報一括を選んだとき

項目	説明
警報一括	「発生」「復旧」のいずれかを選びます。 • 「発生」は、異常警報が発信されたときを示します。 • 「復旧」は、異常から復旧したときを示します。

●一括状態入力を選んだとき

一括状態入力	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、いずれか1台以上の室内ユニットが運転を開始したときを示します。 • 「停止」は、すべての室内ユニットが運転を停止したときを示します。

●BACnet信号入力/デジタル入出力機器を選んだとき

デジタル入力	「ON」「OFF」のいずれかを選びます。 • 「ON」は、デジタル入力信号がオンになったときを示します。 • 「OFF」は、デジタル入力信号がオフになったときを示します。

●室内ユニットを選んだとき

室内機※	運転	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、室内ユニットが運転を開始したときを示します。 • 「停止」は、室内ユニットが運転を停止したときを示します。
	警報	「発生」「復旧」のいずれかを選びます。 • 「発生」は、異常警報が発信されたときを示します。 • 「復旧」は、異常から復旧したときを示します。
	室温	室温を設定します。テキストボックスをタッチすると、ソフトテンキーが表示されます。 「以上」「以下」のいずれかを選びます。 • 「以上」は、設定した室温以上になったときを示します。 • 「以下」は、設定した室温以下になったときを示します。

※右のうちの一つを条件項目として設定します

7 ［登録］をクリックする

●「入力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



8 出力ポイント枠を選び（8-1）、［設定］をクリック（8-2）する

●「出力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



9 一覧から出力対象を選ぶ

●出力対象には、デジタル出力機器、BACnet信号出力、室内ユニット（一斉、個別）、室外ユニットがあります。



10 出力条件を設定する

●選んだ出力対象によって設定できる条件が異なります。



●室内機一斉を選んだとき

項目	説明
室内機一斉	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、すべての室内ユニットの運転を開始することを示します。 • 「停止」は、すべての室内ユニットの運転を停止することを示します。

●デジタル入出力機器を選んだとき

デジタル出力	「ON」「OFF」のいずれかを選びます。 • 「ON」は、デジタル出力信号をオンにすることを示します。 • 「OFF」は、デジタル出力信号をオフにすることを示します。

●室内ユニットを選んだとき

室内機※	運転	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、室内ユニットの運転を開始することを示します。 • 「停止」は、室内ユニットが運転を停止することを示します。
	モード	切り換える運転モードを選びます。 （→「運転モードを設定する」(P.34)）
	設定温度	設定温度を設定します。
	省エネ	「有効」「無効」のいずれかを選びます。

●室外ユニットを選んだとき

室外機デマンド	デマンド運転範囲を設定します。

※右のうちの一つを出力として設定します。

11 ［登録］をクリックする

●「出力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



12 「判定条件」を選ぶ

●［AND］［OR］のいずれかを選びます。
（→「イベント制御」画面」(P.33)）



次ページに続く

13 出力遅延時間を設定する

① ［出力遅延時間］をクリックする

●「出力遅延時間」設定ダイアログが表示されます。



② 出力遅延時間を選ぶ

●入力ポイント条件を満たしたときの出力ポイントの発動時間を設定します。



14 「有効」にチェックを入れる

●チェックを入れると、設定したイベント制御が動作するようになります。



15 ［登録］をクリックする

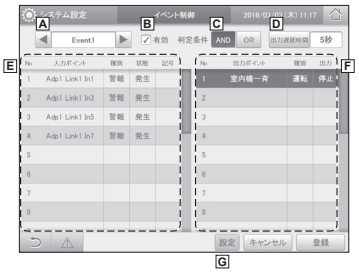
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



お願い
- イベント制御は最大50件登録できます。
- 1イベントあたり入力ポイントおよび出力ポイントの条件はともに最大32件登録できます。

BACnet アダプター／ CZ-10ESB4…別売品　施工

「イベント制御」画面



A：◀ ▶でイベント名を設定します。イベント名は変更することもできます。
（→「イベント名を変更する」(P.34)）

B：チェックを入れると、選んでいるイベント名の設定が有効になります。

C：判定条件を選びます。

AND	入力ポイントに設定した条件がすべて一致したときに出力ポイントのイベントを実行します。
OR	入力ポイントに設定した条件のうち、1つでも一致したときに出力ポイントのイベントを実行します。

D：出力ポイントのイベントを実行するタイミング（時間）を設定します。
クリックすると、「出力遅延時間」設定ダイアログが表示されます。設定値は「0秒」「1秒」「3秒」「5秒」「10秒」「30秒」「1分」「3分」「5分」「10分」です。

E：設定した入力ポイント一覧を表示します。

入力ポイント	条件項目が設定された入力対象を表示します。
種別	入力対象の種別を表示します。
状態	入力対象の状態を表示します。
記号	室内ユニットの室温を条件項目に設定している場合に記号を表示します。表示される記号の種類は以下のとおりです。 ↑：室温を「以上」に設定している場合 ↓：室温を「以下」に設定している場合

F：設定した出力ポイント一覧を表示します。

出力ポイント	条件項目が設定された出力対象を表示します。
種別	出力対象の種別を表示します。
出力	出力対象の状態を表示します。

G：入力ポイント枠あるいは出力ポイント枠を選んでクリックすると、それぞれの設定ダイアログが表示されます。

次ページに続く

空調機を連動的に制御する

イベント名を変更する

1　テキストボックスをクリックする

●入力ダイアログが表示されます。



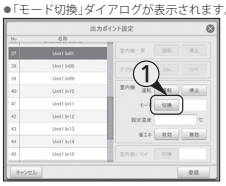
2　文字列を入力する

●半角英数字で入力します。
（最大16文字まで入力できます。）

運転モードを設定する

1　「出力ポイント設定」ダイアログで、［切替］をクリックする

●「モード切換」ダイアログが表示されます。



2　切り替えるモードを選ぶ

●設定が登録され、「運転モード」ダイアログが閉じられます。



入力/出力ポイントの設定を削除する

1　削除する入力/出力ポイントを選び（1-1）、［設定］をクリック（1-2）する

●設定ダイアログが表示されます。



2　空白の入力/出力対象(No.1)をクリックする

●設定が解除されます。



3　［登録］をクリックする

●設定ダイアログが閉じられ、選んだ入力/出力ポイントが一覧から削除されます。



デマンド制御の設定を変更する

1　「出力ポイント設定」ダイアログで［切換］をクリックする

●「デマンド運転範囲」ダイアログが表示されます。



2　デマンド運転範囲を設定する



［設定無し］	デマンド運転の設定を解除します。
［強制停止］	デマンド運転を強制的に停止します。
［運転XX%］（デマンド値）	＜ ＞で選んでいる室外ユニットで設定可能なデマンド値を選びます。

3　［登録］をクリックする

●設定が変更され、「デマンド運転範囲」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



仕様

品番		CZ-10ESB4
外形寸法		（高さ）255 mm×（幅）275 mm×（奥行き）80 mm
質量		1.9 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～ 40 ℃・20%～ 80%（結露なきこと）
定格電圧・周波数		単相AC100 ～ 240 V・50/60 Hz
消費電力		最大15 W
時計	月差	±30 秒/月（常温25 ℃） ※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日（常温25 ℃　満充電時） ※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数*1		下記の合計台数が100台まで 室内ユニット：64台まで*2 室外ユニット：30台まで 集中制御機器：10台まで
遠隔操作時のパソコン環境	ブラウザ	Internet Explorer 11以降またはGoogle ChromeまたはMicrosoft Edge
	画面解像度	1280×1024（推奨）
使用可能なUSBメモリー		スタンダードタイプ（USB2.0） 容量：4 GB以上 ＜使用上のご注意＞ • 上記仕様の製品であっても、動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。 • 暗号化（セキュリティソフト付き）などはご使用できません。 • データ消失について当社では一切の責任を負わないものとします。

＊1：**最大接続可能台数は次の通りです。（最大2リンク接続可能）**
• 室内ユニット128台、室外ユニット60台

＊2：**熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。**
※接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

お願い

• Internet Explorer、Microsoft Edge は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
• Google Chrome は Google Inc. が所有する商標または登録商標です。
• BACnet は、米国 ASHRAE の登録商標です。

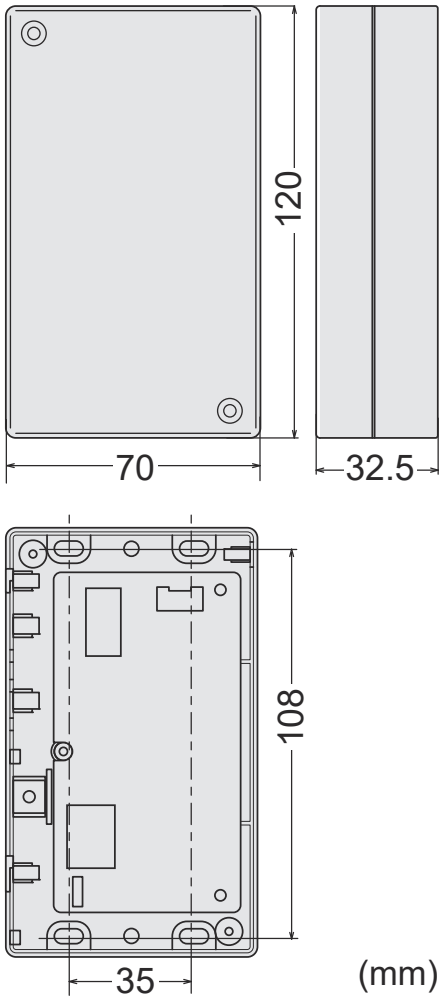
Printed in Japan
WD420-30823
ACXF60-40093

RAC ローカルアダプター／ CZ-CAPR1…別売部品　仕様

仕様

品番	CZ-CAPR1
外形寸法	（高さ）120 mm×（幅）70 mm×（奥行き）32.5 mm
質量	100 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（結露なきこと） 屋内設置専用
電源	DC 5 V（ルームエアコンより供給）

●外形寸法図



RAC ローカルアダプター／ CZ-CAPR1…別売部品　機能と操作

取扱説明書

RAC ローカル アダプター

品番 CZ-CAPR1



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書は RAC ローカル アダプターの取扱説明書です。
  集中制御機器とルームエアコンの取扱説明書をあわせてお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、集中制御機器とルームエアコンの取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

必ず守る

●異常・故障時には直ちに使用を中止し、ルームエアコンの電源プラグを抜く
（発煙・発火、感電のおそれがあります）
異常・故障例
- こげ臭いにおいがする。
- 内部に水や異物が入った。
  ⇒すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。

Printed in Japan
H0716-30423
ACXF55-12513
85464609357010

⚠ 警告

必ず守る

●据え付けは、必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼する
（感電、発火の原因になります）

●ルームエアコンが見えない位置からのご利用時は、集中制御機器などで、こまめに設定内容や運転状況を確認する
（急激な外気温・室温の変化などにより、体調悪化の原因になります）
- 対人専用冷暖房装置として、使用してください。
- 食品・動植物・精密機器・美術品等の保存等の特殊用途には使用できません。
- 人などが死亡、重傷を負ったり、財産の損害が発生したりするおそれがあります。

●ルームエアコンの電源プラグが確実に差し込まれていること、またプラグにほこりがたまっていないことを定期的に確認する
（接触不良や絶縁不良によるプラグからの発熱や発火、火災の原因になります）

●事前に、他の人が設定したタイマー予約など、設定状況を十分把握する
（思わぬ運転や停止により、体調悪化の原因。動植物に悪影響をおよぼす原因になります）

●ルームエアコンは異常がないこと、部屋は風の変化があっても悪影響がでないこと（飛びやすい物がないなど）を事前に確認する
（風により物が落下し、火災やけが、家財汚損の原因になります）

●ルームエアコンの周辺に人がいることが分かっているときは、事前に見えない位置から運転や停止することを知らせる
（台などに乗っていた場合、突然の運転（停止）に驚いて落下・転倒の原因になります。また、急激な外気温・室温の変化などにより、体調悪化の原因になります）
- 温度調節や停止は、ルームエアコンのリモコンでも操作することができます。
- お子様（乳幼児）や身体の不自由な方・高齢者などご自身で温度調節などができない方が在室している場合は、ご利用にならないでください。

禁止

●分解・改造をしない
（感電、発火の原因になります）
⇒修理は必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

●水につけたり、水をかけたりしない
（感電のおそれがあります）

誤動作や故障、けがの原因となるため、次のことをお守りください。
- 停電自動復帰機能をお使いの場合、ルームエアコンの電源プラグをコンセントに差し込むとすぐに運転を開始することがあるのでご注意ください。
  （台などに乗っていた場合、突然の運転に驚いて落下・転倒の原因。）
- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。
  また本製品に強い圧力をかけないでください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
- お手入れは、ルームエアコンの電源プラグを抜いてから、柔らかい布でからぶきしてください。
  ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

仕様

使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（屋内設置専用）

使用上のご確認

本アダプターは、インテリジェントコントローラーなどの集中制御機器とルームエアコンを接続するときに必要となるインターフェースです。
本アダプターにより、集中制御機器からルームエアコンの操作や監視を行うことができます。
また、外部接続のON/OFF接点を用いてルームエアコンの運転/停止、リモコン操作の禁止/許可、カードキー連動、緊急停止、強制サーモOFFを行えます。

集中制御機器から設定可能なルームエアコンの機能

○：集中制御機器から設定可
－：集中制御機器から設定不可
（ルームエアコンのリモコンでは設定可能ですが、機種により設定できない機能があります。）

ルームエアコンの機能			使用可否
停止/運転			○
運転モード	暖房		○
	冷房		○
	除湿	快適除湿	－
		冷房除湿	○
		衣類乾燥	－
		除湿弱	－
	送風		○
	自動 （快適おまかせ）		○
温度設定			○
風量			○
風向	風向設定（上下）		○
	風向設定（左右）		－
エコナビ			○
センサー機能（風あて、風よけ、オートオフ など）			－
快適機能（パワフル、もっと、しずか、ロング、室温みはり など）			－
ナノイー			－
フィルターおそうじ運転			－
タイマー機能（切タイマー、入タイマー、おやすみ切タイマー など）			－

- 集中制御機器の操作により、ルームエアコン特有の機能（快適除湿、衣類乾燥、除湿弱、パワフルなど）を解除することがあります。
- 本アダプターを接続した場合、スマートフォンやHEMSによるルームエアコンの遠隔操作は、できません。

お知らせ

一時的に本アダプターとルームエアコンの接続を切断したいとき
ルームエアコンに付属しているリモコンで遠隔操作を「なし」に設定してください。
（設定方法はルームエアコンの取扱説明書を参照してください）
※切断時は、集中制御機器の画面にＣ１５警報が表示されます。

ルームエアコンに対してご使用いただける集中制御機器の機能

○：ルームエアコンに対して使用可　－：ルームエアコンに対して使用不可

集中制御機器の機能		使用可否
設定/表示	運転／停止	○
	運転モード	○
	温度設定	○
	風速設定	○
	風向設定	○
	リモコン手元操作禁止※	○
	省エネモード	－
	換気	－
	フィルターサインリセット	－
	エコナビ	○
	試運転	○
	室外静音設定	－
	デマンド	－
	設定温度自動リターン	○
	設定温度範囲制限	○

集中制御機器の機能		使用可否
設定/表示	消し忘れ防止	○
	運転自動停止	○
	ウィークリータイマー	○
表示	警報表示	○
	警報履歴表示	－
	室外故障データ表示	－
	フィルターサイン	－
	フィルター清掃時期確認	－
	暖房準備中	－
	除霜中	－
	室内温度	－
	運転積算時間	○
	サーモＯＮ積算時間	○
	発停回数	－
その他	グループ制御	－

※リモコン手元操作禁止設定時は、リモコンによる操作ができなくなります。ご使用いただく環境をご考慮のうえ集中制御機器から設定をしてください。

故障かな？

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

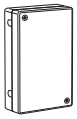
症状	原因・対処
集中制御機器の画面にＣ１４警報が表示される	ルームエアコンの警報が発生しています。 ・運転を停止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
集中制御機器の画面にＣ１５警報が表示される	本アダプターとルームエアコンとの間で通信異常が発生しています。 ・ルームエアコンに付属しているリモコンで遠隔操作を「あり」に設定してください。 （設定方法はルームエアコンの取扱説明書を参照してください） ・上記でも状況が改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
集中制御機器の画面に上記以外の警報が表示される	・お買い上げの販売店にご相談ください。

RAC ローカルアダプター／ CZ-CAPR1…別売部品　施工

据付（電気）工事説明書

RACローカルアダプター

品番 **CZ-CAPR1**



●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●「据付（電気）工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくように依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。（お客様による施工は行わないでください。）
●ルームエアコンが本アダプターに対応しているか、必ずご確認のうえ、施工をしてください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

❗ ● **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
● **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
・電気設備に関する技術基準　・内線規程
・据付（電気）工事説明書　（感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠ ● **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
● **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
● **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）
❗ ● **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
● **本アダプターの接続を行う前にルームエアコン本体の電源プラグを抜く**（感電の原因）
● **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**（製品の落下による、けがの原因）
● **付属品は当社指定の部品を使用する**（製品の落下、感電、火災などの原因）
● **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
● **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
● **異常、故障時には直ちに使用を中止し、ルームエアコン本体の電源プラグを抜く**（感電、火災の原因）

⚠注意

⃠ ● **次のような場所で使わない**
・結露するところ
・可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・有機溶剤の飛沫するところ
・電磁波が出る機械のあるところ
・電圧変動の多いところ
（感電、火災などの原因）
● **水洗いしない**（感電の原因）
❗ ● **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

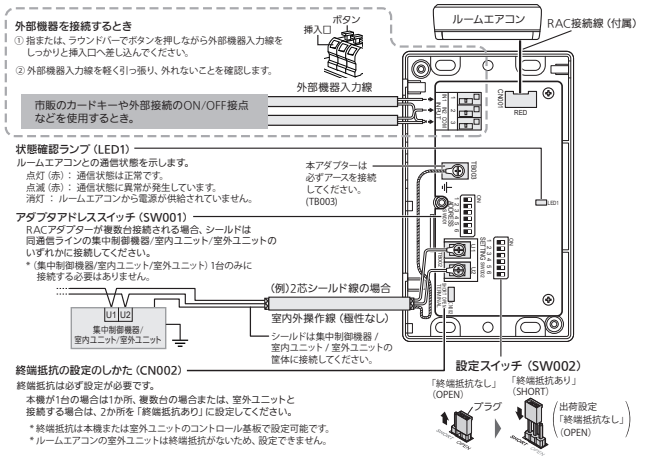
● 次のような場所に据え付けない。
・直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
・過度な衝撃や振動のある場所（本機の取り付けネジが緩み、落下の原因）　・熱源の近くなど
● 床面に対して垂直または水平に据え付ける。
● 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
● 高周波が発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。
（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
● テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。
（映像の乱れ、雑音の原因）
● 配線は、地中に埋設しない。
● 絶縁物の厚み（シース部を含む）が1 mm 以上のケーブルを使う。
● 天井裏や壁の中に本アダプターを据え付ける場合
・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所に設置しない。
・メンテナンス、およびサービスができるように設置する。

Printed in Japan
W0917-40823
ACXF60-19444
85464369890012

ルームエアコンの対応機種

本アダプターは、CN-NET コネクタを持つ 2017 年度モデル以降の当社製住宅設備用ルームエアコンに対応しています。

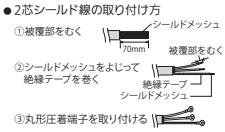
基本配線図



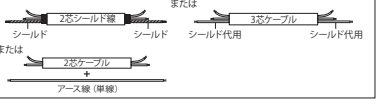
配線の準備をする

■ 室内外操作線

● ケーブルの種類
・柔軟性のある0.5 ～ 2 mm²の2芯シールド線、または3芯ケーブル、または2芯ケーブル+アース線
・推奨品：VCT / VCTF
・アース線：600Vビニール電線を使用基準とする
柔軟性のある0.75mm²の単線（推奨）
● 総配線長：1000 m 以内
● 圧着端子の取り付け方
・圧着端子は丸型をご使用ください。（現地手配）
・端子台 TB002
端子ネジ：M3
締め付けトルク：0.4 ～ 0.5N・m（推奨値）
・端子台 TB003
端子ネジ：M4
締め付けトルク：0.6 ～ 0.8N・m（推奨値）
● 2芯シールド線の取り付け方



注意
シールド線、またはアース線は必ず接地してください。



■ 外部機器入力線

● ケーブルの種類
・柔軟性のある0.5 ～ 0.75 mm²のケーブル
・推奨品：VCT/VCTF
● 総配線長：20 m 以内
（超えるときは、リレーを使う）

お願い
・単線かストレートケーブルのみ使用。
・ケーブルの被覆を剥く。



	本機		外部機器側		
	条件	端子名	切分端子	回路例	条件
制御入力	無電圧a接点 スタティック または パルス ・接点許容電圧：DC5 V ± 10% ・接点許容電流：最大 10 mA	入力1（IN 1） 入力2（IN 2） コモン（COM）	1 2 3	COM	・パルス幅：300 msec 以上

配線する

(例)2芯シールド線を使用した場合

❶ **RAC 接続線（付属）をルームエアコンに接続する**
コネクタの接続位置、プリント基板の位置、配線の引きまわしはルームエアコンの「据付工事説明書」を参照してください。
① ルームエアコンのCN-NETコネクタにRAC接続線を接続します。
② 本機の据え付け位置を決め、配線の引きまわし方法を決めます。

❷ **上ケースをはずす**
（ケースネジ：2）

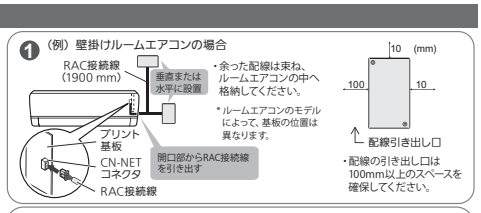
❸ **下ケースを壁に取り付ける**
（ネジ（付属）：4）

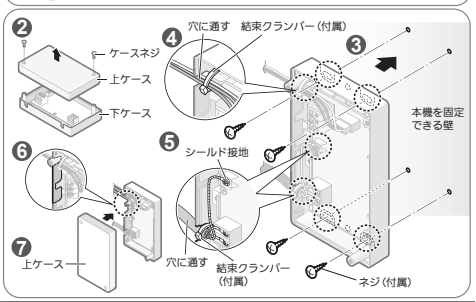
❹ **RAC 接続線（付属）を接続する**
・ケースの穴に通して配線してください。
・結束クランパー（付属）で配線を固定する。

❺ **室内外操作線を接続する**
・ケースの穴に通して配線してください。
・結束クランパー（付属）で配線を固定する。
・極性はありません
・シールド線は必ずTB003に接続してください。
もう片側は集中制御機器/室内ユニット/室外ユニットの筐体に接続してください。

❻ **外部機器を接続するとき**
外部機器入力線を接続する
・ニッパ等で切り取り、やすり等でバリをとる。
・手順❹や❺のように結束クランパー（付属）で、配線を固定する。

❼ **上ケースを取り付ける**
・下記の「RACローカルアダプターの設定をする」を参照して設定を完了後、上ケースを取り付けてください。





RACローカルアダプターの設定をする

必ず電源を OFF にして設定してください。

1 アダプタアドレスの設定のしかた（SW001）

右の表を参照し、アダプタアドレスを設定してください
・ローカルアダプターが同じ系統内に複数あるときは、アダプタアドレスが重複しないようにしてください。
・集中制御アドレスをアダプタアドレス設定スイッチで設定する場合は、室内ユニットの集中制御アドレスを重複しないように設定してください。

2 設定スイッチについて（SW002）　*：出荷設定

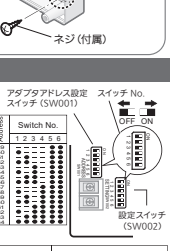
● **[SW1] 集中制御アドレス設定方法の切換**
OFF*：集中制御機器から設定
ON　：本機のアダプタアドレス設定スイッチ（SW001）を使用して設定
・集中制御アドレスがアダプタアドレスと兼用されます。
・集中制御アドレスはアダプタアドレススイッチによって固定になります。
・集中制御アドレスは「アダプタアドレスの設定のしかた」で設定します。
・集中制御機器から設定する場合は集中制御機器の「据付（電気）工事説明書」を参照してください。

● **[SW2] リモコン操作を禁止する方法の切換**
OFF*：リモコン操作が禁止されます。
ON　：リモコン操作は許可されますが、アダプターが設定を元の状態に戻します。

● **[SW3] 停電自動復帰**
OFF*：-（ルームエアコンの設定に依存します。）
ON　：停電前の状態で復帰

● **[SW4]ルームエアコンのブザー音の切換**
OFF*：集合制御機器から操作したとき、ルームエアコンのブザーを鳴らします。
ON　：集合制御機器から操作したとき、ルームエアコンのブザーを鳴らしません。

● **[SW5/6]接点入力信号切換（右の表を参照）**



Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6	Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6	Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6	Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6
0	OFF OFF OFF OFF OFF OFF	16	ON OFF OFF OFF OFF OFF	32	OFF ON OFF OFF OFF OFF	48	ON ON OFF OFF OFF OFF
1	ON OFF OFF OFF OFF OFF	17	OFF ON OFF OFF OFF OFF	33	ON ON OFF OFF OFF OFF	49	OFF OFF ON OFF OFF OFF
2	OFF ON OFF OFF OFF OFF	18	ON ON OFF OFF OFF OFF	34	OFF OFF ON OFF OFF OFF	50	ON OFF ON OFF OFF OFF
3	ON ON OFF OFF OFF OFF	19	OFF OFF ON OFF OFF OFF	35	ON OFF ON OFF OFF OFF	51	OFF ON ON OFF OFF OFF
4	OFF OFF ON OFF OFF OFF	20	ON OFF ON OFF OFF OFF	36	OFF ON ON OFF OFF OFF	52	ON ON ON OFF OFF OFF
5	ON OFF ON OFF OFF OFF	21	OFF ON ON OFF OFF OFF	37	ON ON ON OFF OFF OFF	53	OFF OFF OFF ON OFF OFF
6	OFF ON ON OFF OFF OFF	22	ON ON ON OFF OFF OFF	38	OFF OFF OFF ON OFF OFF	54	ON OFF OFF ON OFF OFF
7	ON ON ON OFF OFF OFF	23	OFF OFF OFF ON OFF OFF	39	ON OFF OFF ON OFF OFF	55	OFF ON OFF ON OFF OFF
8	OFF OFF OFF ON OFF OFF	24	ON OFF OFF ON OFF OFF	40	OFF ON OFF ON OFF OFF	56	ON ON OFF ON OFF OFF
9	ON OFF OFF ON OFF OFF	25	OFF ON OFF ON OFF OFF	41	ON ON OFF ON OFF OFF	57	OFF OFF ON ON OFF OFF
10	OFF ON OFF ON OFF OFF	26	ON ON OFF ON OFF OFF	42	OFF OFF ON ON OFF OFF	58	ON OFF ON ON OFF OFF
11	ON ON OFF ON OFF OFF	27	OFF OFF ON ON OFF OFF	43	ON OFF ON ON OFF OFF	59	OFF ON ON ON OFF OFF
12	OFF OFF ON ON OFF OFF	28	ON OFF ON ON OFF OFF	44	OFF ON ON ON OFF OFF	60	ON ON ON ON OFF OFF
13	ON OFF ON ON OFF OFF	29	OFF ON ON ON OFF OFF	45	ON ON ON ON OFF OFF	61	OFF OFF OFF OFF ON OFF
14	OFF ON ON ON OFF OFF	30	ON ON ON ON OFF OFF	46	OFF OFF OFF OFF ON OFF	62	ON OFF OFF OFF ON OFF
15	ON ON ON ON OFF OFF	31	OFF OFF OFF OFF ON OFF	47	ON OFF OFF OFF ON OFF	63	OFF ON OFF OFF ON OFF

● :ON　- :OFF

状態 SW5	状態 SW6	接点入力 詳細	外部機器操作の詳細
OFF*	OFF*	入力1：運転/停止 信号（スタティック）	SHORT：運転 OPEN：停止
		入力2：信号（スタティック）リモコン禁止	SHORT： ・リモコン操作禁止
			OPEN： ・リモコン操作許可
OFF	ON	入力1：運転/停止 信号（パルス）	OPEN → SHORT（300 ms 以上）→OPENで運転/停止状態が反転（運転 ⇔ 停止）
		入力2：信号（スタティック）リモコン禁止	SHORT： ・リモコン操作禁止
			OPEN： ・リモコン操作許可

状態 SW5	状態 SW6	接点入力 詳細	外部機器操作の詳細
ON	OFF	入力1：カードキー信号	SHORT： ・リモコン操作許可 OPEN： ・ルームエアコン停止、リモコン操作禁止 （集中制御機器からの操作は許可）
		入力2：緊急停止	SHORT： ・ルームエアコン停止、リモコン操作禁止 （集中制御機器からの操作も禁止） OPEN： ・リモコン操作許可 ※緊急停止のみ使用時は、入力1をSHORTにすること
ON	ON	入力1：強制サーモOFF	SHORT： ・ルームエアコンサーモOFF OPEN： ・ルームエアコンサーモOFF解除
		入力2：未使用	-

ルームエアコンの設定を変更する

本アダプターを接続して、遠隔操作するためには、ルームエアコンに付属のリモコンでルームエアコン本体の設定が必要です。
①接続アダプターの種類を設定　②遠隔操作の許可を設定
詳しくは、ルームエアコンの「据付工事説明書」を参照してください。

集中制御機器側の能力設定について

集中制御機器で按分率の計算をする場合、集中制御機器側でルームエアコンの能力を設定する必要があります。
（設定方法は集中制御機器の「取扱説明書」を参照してください）

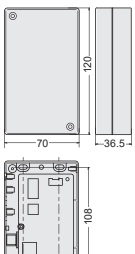
警告表示

本アダプタより異常を検出した場合、集中制御機器に以下の警報が表示されます。
・C14：ルームエアコンで警報が発生しています。
警報内容の確認はルームエアコンの「取扱説明書」に従って確認してください。
・C15：本アダプターとルームエアコンとの間で通信異常が発生しています。
本紙「ルームエアコンの設定を変更する」の内容および、本アダプターとルームエアコンとの間の配線を確認してください。
・C19：アダプタアドレスが重複しています。
アダプタアドレスが重複しないようにアドレススイッチを設定してください。

仕様

品番	CZ-CAPR1
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 70 mm × (奥行き) 36.5 mm
質量	100 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 % ～ 80 %（結露なきこと）屋内設置専用
電源	DC 5 V （ルームエアコンより供給）

外形寸法図



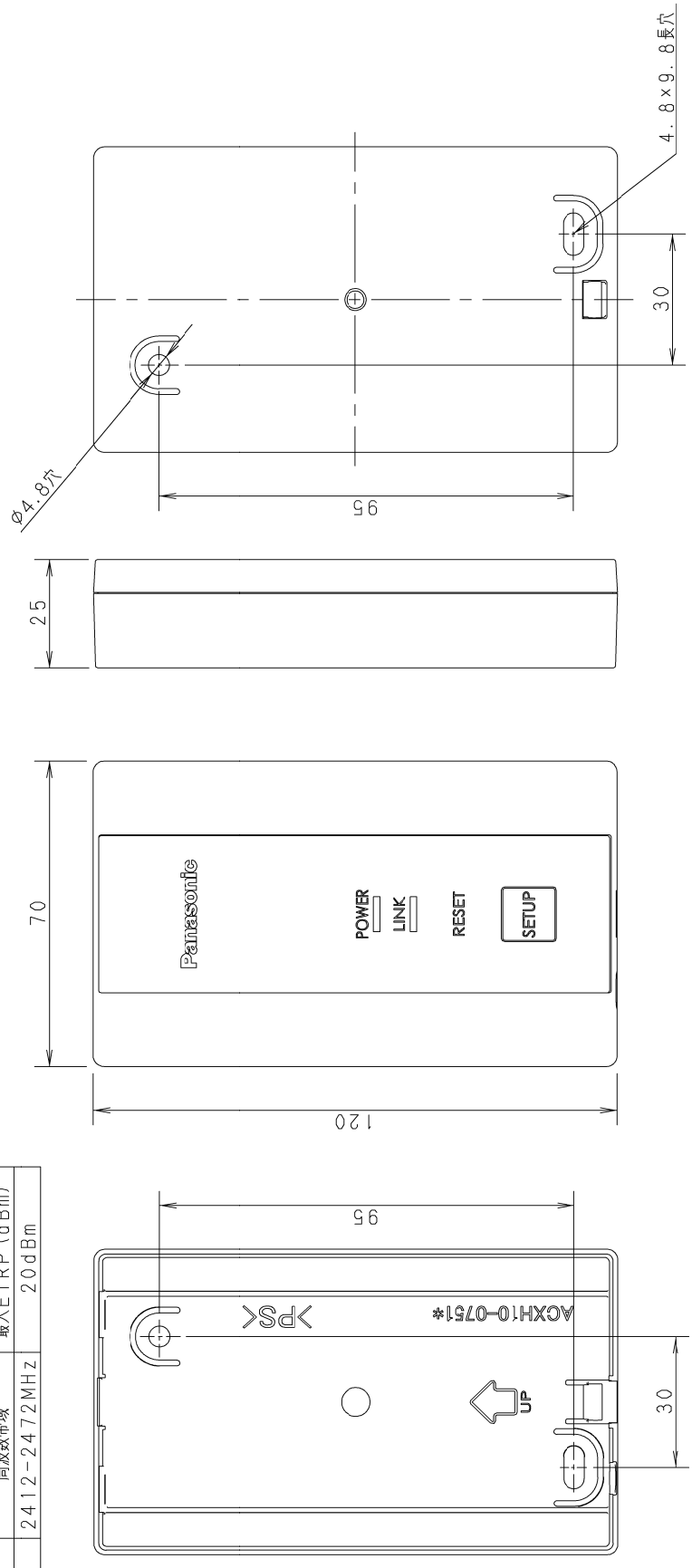
付属品	<>：個数
RAC 接続線 <1> 4P白　4P赤 長さ：1900mm	ネジ <4> (M3.8 × 16)
クランパー類 ネジ止め<1>　結束用<4>	据付（電気）工事説明書 <1> 取扱説明書 <1>

※RAC接続線以外のケーブルは現地調達のため付属していません。

施工後の確認 点検内容

□ 接続コードの挟み込みはないか
⇒ルームエアコン室内ユニット内部の引きまわし時の挟み込みがないか
□ 接続コネクタ、接続コードに負荷がかかっていないか
⇒接続コネクタが強く引っ張られたままの状態になっていないか
□ 接続コードが据付工事説明書通りに引きまわしができているか
⇒ルームエアコンの「据付工事説明書」通りかどうか
□ 接続コードを収納できているか
⇒ルームエアコン室内ユニット背面に浮きなく収納できているか
□ ルームエアコン室内ユニット本体のネジの締め忘れ、電源カバーの閉じ忘れはないか
⇒ネジの余りや、電源カバーの固定ツメのかけ忘れがないか
□ 本アダプターが落下しないように確実に固定されているか
⇒壁へのネジ固定は確実か
□ アース接続されているか
⇒シールド線またはアース線は据付工事説明書通りに接続ができているか
（アース接続がされていない場合、通信ができない場合があります。）

WLAN アダプター／CZ-10APWF1…別売品　仕様



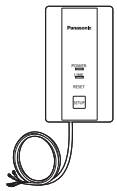
仕様

品番	CZ-10APWF1
電源	DC12V（室内ユニットのT10コネクタより供給）
消費電力	最大：2.4W
外形寸法	（高さ）120mm×（幅）70mm×（奥行）25mm
質量	190g
インターフェース	無線LAN
無線RAN対応規格	IEEE 802.11b/g/n
周波数範囲	2.4 GHz帯
暗号化方式	WPA2-PSK（TKIP/AES）
使用温度・湿度範囲	0℃～55℃/20%～80% （結露しないこと） ※屋内設置専用

●周波数帯で送信される最大周波電力

ワイヤレスの種類	周波数帯域	最大EIRP（dBm）
無線LAN	2412-2472MHz	20dBm

WLAN アダプター／ CZ-10APWF1…別売品　機能と操作



取扱説明書

据付 (電気) 工事説明付き

WLANアダプター

品番 **CZ-10APWF1**

アプリの設定、使用方法の詳細は、
下記 URL からご確認ください

https://datanavi.ac.smartcloud.panasonic.com/

ページ

本機を使用するお客様

●安全上のご注意 …… 2
●使用上のお願い …… 3
●システム構成図 …… 3
●各部の名前 …… 4
●アプリを使う …… 5
　• 初期設定をする …… 5
●無線 LAN 使用上の注意とお願い …… 6
●Q&A …… 7

取り扱い編

工事担当の方

●安全上のご注意 …… 8
●据え付け時のご注意 …… 9
●システム構成図 …… 10
●付属品 …… 10
●外形寸法 …… 10
●各部の名前 …… 11
●配線する …… 12
　• 基本配線図 …… 12
●据え付ける …… 13
　• 据え付け例 …… 13

据付(電気)工事編

●著作権など …… 15
●仕様 …… 27
●ご相談窓口 …… 裏表紙

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● 取扱説明書は室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
● 本書は WLAN アダプターの取扱説明書です。室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
● ご使用前に「安全上のご注意」(P.2 ～ 3、P.8 ～ 9) を必ずお読みください。
● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

Printed in Japan
W1222-10823
ACXF60-48771

● 本機を使用するお客様 →「取り扱い編」(P.2 ～ 7) をご確認ください。
● 工事担当の方 →「据付 (電気) 工事編」(P.8 ～ 14) をご確認ください。

取り扱い編

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● ご使用前に「安全上のご注意」(P.2 ～ 3) を必ずお読みください。
● 移設、修理の場合は本書を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容 (禁止事項) です。	❗ 実行しなければならない内容 (強制事項) です。

⚠警告

❗ **●据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する**
(水漏れや感電・火災の原因)
●水洗いしない(感電・火災の原因)
●当社指定のエアコンと接続して使う(水漏れや感電・火災の原因)
●異常・故障時には直ちに使用を中止し、配線用しゃ断器(ブレーカー)を切る(感電や火災の原因)
異常・故障例
・スイッチを入れても運転しない
・運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする
・ブレーカーがたびたび切れる
・本体が変形したり、異常に熱い
すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください
●本機を分解しない(感電や故障の原因)

アプリ利用時

❗ **●室内ユニットが設置された部屋の外からのご利用時は、スマートフォンなどで、こまめに設定内容や運転状況を確認する**
(急激な外気温・室温の変化等により、体調をくずす原因。動植物に悪影響を及ぼす原因)
・エラーコードが表示されたときは、運転を停止し、お買い上げの販売店にご相談ください。アプリに表示されるメイン画面で停止していることを再確認してください。
●事前に他の人が設定したタイマー予約などをスマートフォンで確認し、設定状況を十分に把握する
(思わぬ運転や停止により、体調をくずす原因。動植物に悪影響をおよぼす原因)

⚠警告

アプリ利用時

❗ **●遠隔操作ができなくても、人や財産などに悪影響がでないことを確認する**
(運転や停止ができず、体調をくずす原因。動植物に悪影響を及ぼす原因)

無線LAN 使用時

❗ **●本機に医療機器や自動制御機器(自動ドア、火災警報器など)を近づけない**
(本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)

⃠ **●心臓ペースメーカーを装着している方は、装着部を本機から15 cm以上離す**
(本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)

⚠注意

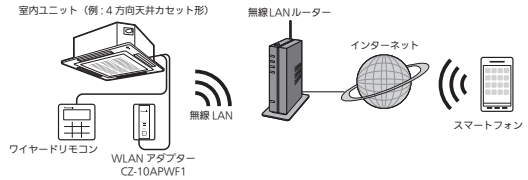
❗ **●高所作業をするときは足場に気を付ける**
(転倒によるけがの原因)

⃠ **●ぬれた手で操作しない** (感電や故障の原因)

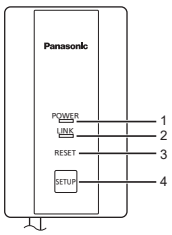
使用上のお願い

● スプレーを吹きかけない(誤動作や故障の原因)
　• 液体(洗剤、アルコール、有機溶剤など)がかからないようにしてください。
● アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない
(液晶画面のくもり・変色や故障の原因)
　• ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

システム構成図



各部の名前



No.	表示・操作部	概要
1	POWER LED (緑)	WLAN アダプターに電源が供給されていることを示します。 On　：点灯 Off　：消灯
2	LINK LED (緑)	WLAN アダプターと無線 LAN ルーターの通信状態を表示します。 消灯　：無線 LAN ルーターに接続されていない 点滅　：無線 LAN ルーターと接続中 点灯　：無線 LAN ルーターに接続されている WLAN アダプターが無線 LAN ルーターと接続できない場合は、LINK LED は点灯しません。 以下は、特殊な設定を行う場合の LED 表示です。 • 長押し時間 SETUP ボタンを長押しし続けると、5 秒ごとに LED が点滅します。 LED の点滅回数が経過時間を示しています。 長押し 5 秒後　1 回点滅 10 秒後　2 回点滅 15 秒後　3 回点滅 20 秒後　4 回点滅 25 秒後　5 回点滅 30 秒後　6 回点滅 35 秒後　常時点灯 • WPS モードで接続中 1.0 秒間隔で LED が点滅します　1.0 秒間隔 • AP モードで接続中 0.5 秒間隔で LED が点滅します　0.5 秒間隔
3	RESET ボタン※	ハードウェアのリセット WLAN アダプター を再起動するときに使用します。
4	SETUP ボタン※	ネットワークの設定を行うときに使用します。

※ WLAN アダプターの初期化
SETUP ボタンを長押し (30 ～ 35 秒) します。その後、5 秒以内に RESET ボタンを押すと、初期化されます。

WLAN アダプター／ CZ-10APWF1…別売品　機能と操作

アプリを使う

初期設定をする

初めてアプリをお使いになるときは、エアコンと無線 LAN ルーターの接続、機器の登録などの初期設定が必要です。

詳細は下記 Web サイトからご確認ください。

https://datanavi.ac.smartcloud.panasonic.com/

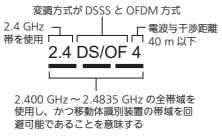
無線LAN 使用上の注意とお願い

■使用周波数帯
本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

無線 LAN 機器使用上の注意事項
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止したうえ下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック株式会社
商品相談窓口　空調 110 番（裏表紙）

■周波数表示の見方
周波数表示は、本体銘板に記載しています。



■機器認定
本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を内蔵しているので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為は電波法で禁止されています。
- 無線装置を分解 / 改造する。
- 本体銘板をはがす。
- 本体銘板に記載している適合表示を消す。

■使用制限
使用に当たり、以下の制限がありますので、あらかじめご了承ください。
制限をお守りいただけなかった場合、および本機の使用または使用不能から生じる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID ※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
  ※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能となります。
- 本機は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、必ず無線 LAN ルーター等を経由し接続してください。
- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなったりすることがあります。
  - 電子レンジ、デジタルコードレス電話機
  - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（Bluetooth 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  - 電波が反射しやすい金属物などの近く

■セキュリティ対策
- 無線 LAN は電波を使ってデータを送受信するため、不正なアクセスを受けるおそれがあります。データの安全を確保するため無線 LAN ルーターは、セキュリティ対策を行ってください。セキュリティ対策を実施せず問題が発生した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 無線 LAN ルーターのパスワード（暗号化キー）は、8 文字以上、63 文字以下に設定することをおすすめします。（文字数の制限は無線 LAN ルーターの取扱説明書をご確認ください）
  パスワード（暗号化キー）を変更したときは、無線 LAN ルーターを交換する時と同様の手順を行ってください。(詳細は Web マニュアル (表紙に記載の URL) をご確認ください。)

■ファームウェアについて
- 本機は、インターネットを通じて当社のファームウェアアップデートサーバーに接続し、自身のファームウェアを自動で最新版に更新する機能を持っています。更新中は、無線通信が一時中断されるため、通信が途切れたり、速度が遅くなったりすることがあります。
- ファームウェアの解析、改造は行わないでください。

取り扱い編

5　6

Q&A

初期設定

内容	対処方法
WLAN アダプターと無線 LAN ルーターの接続ができない	●POWER LED が点灯していることをご確認ください。 ●LINK LED が点灯していることをご確認ください。点灯していない場合、以下をご確認ください。 • スマートフォンと無線 LAN ルーターが接続できること →スマートフォンの説明書をご確認ください。 • 無線 LAN ルーターが 2.4GHz 帯に対応していること * • 無線 LAN ルーターが WPA2-PSK (TKIP/AES) に対応していること * * 無線 LAN ルーターにより接続方法やセキュリティの設定方法が異なります。 →無線 LAN ルーターの取扱説明書をご確認ください。 • 無線 LAN ルーターの電波が WLAN アダプターに届いていること

ワイヤレス接続

内容	対処方法
エアコン（WLAN アダプター）に不正アクセスの疑いがある。	●WLAN アダプターの初期化（下記「WLAN アダプターを廃棄または譲渡するとき」の①～③の操作）をし、初期設定を再度行ってください。（初期設定の詳細は Web マニュアル (表紙に記載の URL) をご確認ください。）

その他

内容	対処方法
WLAN アダプターを廃棄または譲渡するとき	●WLAN アダプターの初期化（①～③）とスマートフォンの登録削除（④）が必要です。 ① WLAN アダプターの「SETUP」ボタンを 30 秒以上長押しする。 ② WLAN アダプターの「SETUP」ボタンを離した後、WLAN アダプターの「RESET」ボタンを押す。 ③ LINK LED が消灯する。（初期化完了） ④ アプリ上で廃棄または譲渡する WLAN アダプターの登録を削除する。 （詳細は Web マニュアル (表紙に記載の URL) をご確認ください。）
WLAN アダプターを交換するとき	●お買い上げの販売店にご相談ください。 ●手順については、Web マニュアル（表紙に記載の URL）をご確認ください。

※アプリに関する Q & A は Web サイト (表紙に記載の URL) をご確認ください。

取り扱い編

据付(電気)工事編

- 本書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
- 本書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

❗ ●**据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
●**電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**（感電、火災の原因）
・電気設備に関する技術基準
・内線規程
・取扱説明書

本体を据え付けるときに

⃠ ●**分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
●**水洗いしない**（感電、故障の原因）
●**配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子に接続しない**（感電、故障の原因）
●**医療機器や自動制御機器（自動ドア、火災警報器など）の近くには据え付けない**
（本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）

据付(電気)工事編

7　8

WLAN アダプター／ CZ-10APWF1…別売品　機能と操作

⚠ 警告

本体を据え付けるときに

- **据付工事は、「取扱説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

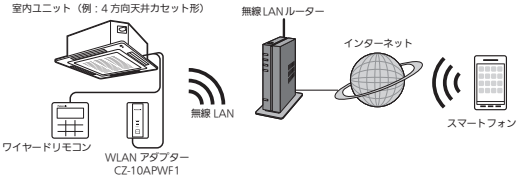
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - **・結露するところ**
  - **・可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **・水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ**
  - **・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **・有機溶剤の飛沫するところ**
  - **・電磁波が出る機械のあるところ**
  - **・電圧変動の多いところ**
  - **・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）
- **高所作業をするときは足場に気を付ける**（転倒によるけがの原因）
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

● 次のような場所に据え付けない。
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
- 据付面に凹凸があるところ
- 過度な衝撃や振動のあるところ
- 熱源の近くなど
- 本機と無線LANルーターとの間に、金属などの電波をさえぎる障害物があるところ

● WLANアダプターを床面に対して垂直または水平に据え付ける。
● 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。(「仕様」(P.27)参照)
● 高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
● テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から 1 m以上離す。(映像の乱れ、雑音の原因)
● 配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
● 配線は、地中に埋設しない。(落雷などにより、感電や火災、故障の原因)
● WLANアダプターを据え付ける際には、「設定情報」(P.27)に機種情報などを記載する。

システム構成図

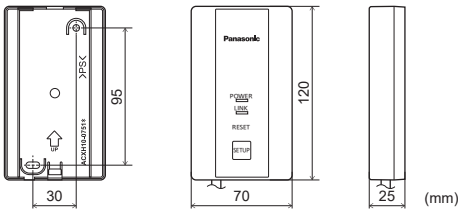


付属品

< > 個数

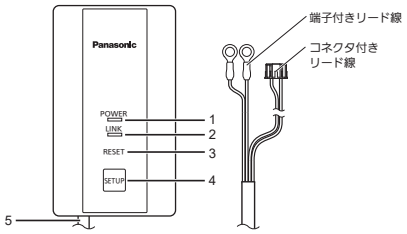
WLANアダプター (CZ-10APWF1) < 1 > 	ネジ < 2 > (M3.8 x 16) 
結束バンド < 3 > 	取扱説明書 (本書) < 1 > 

外形寸法



据付(電気)工事編

各部の名前



No.	表示・操作部	概要
1	POWER LED (緑)	WLAN アダプターに電源が供給されていることを示します。 On　：点灯 Off　：消灯
2	LINK LED (緑)	WLAN アダプターと無線 LAN ルーターの通信状態を表示します。 消灯　：無線 LAN ルーターに接続されていない 点滅　：無線 LAN ルーターと接続中 点灯　：無線 LAN ルーターに接続されている WLAN アダプターが無線 LAN ルーターと接続できない場合は、LINK LED は点灯しません。 以下は、特殊な設定を行う場合の LED 表示です。 • 長押し時間 SETUP ボタンを長押しし続けると、5 秒ごとに LED が点滅します。 LED の点滅回数が経過時間を示しています。 長押し 5 秒後　1 回点滅 10 秒後　2 回点滅 15 秒後　3 回点滅 20 秒後　4 回点滅 25 秒後　5 回点滅 30 秒後　6 回点滅 35 秒後　常時点灯 • WPS モードで接続中 1.0 秒間隔で LED が点滅します　1.0 秒間隔 • AP モードで接続中 0.5 秒間隔で LED が点滅します　0.5 秒間隔
3	RESET ボタン※	ハードウェアのリセット WLAN アダプター を再起動するときに使用します。
4	SETUP ボタン※	ネットワークの設定を行うときに使用します。
5	通信線 (L=1.9 m)	室内ユニットと WLAN アダプターを接続する通信線です。 詳しくは、「据え付ける」(P.13) を参照してください。

※ WLAN アダプターの初期化
SETUP ボタンを長押し（30 ～ 35 秒）します。その後、5 秒以内に RESET ボタンを押すと、初期化されます。

配線する

基本配線図

室内ユニットの台数にかかわらず、WLAN アダプターはリモコンとセットで使用する必要があります。
リモコンを接続し、親・子リモコンの設定でリモコン側を「親リモコン」に設定する必要があります。

●リモコンの親・子設定の方法は、リモコンの据付(電気)工事説明書を参照してください。

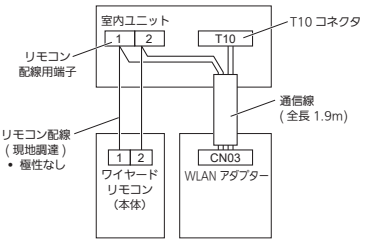
お知らせ

●リモコン配線の総配線長：500 m以内
(室内ユニット間のリモコン配線は200m以内)
●接続可能台数
- 室内ユニット　：8台まで (熱交換ユニットの台数を含む)
- WLANアダプター　：1個
- ワイヤードリモコン：1個

接続可能な熱交換ユニット (マイコンタイプ)
・天井埋込形　MZD 9 / 10 シリーズ
・天吊カセット形 MZB 9 / 10 シリーズ
※ 熱交換ユニットは、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続してください。
※ 室内ユニットが 1 台以上必要です。

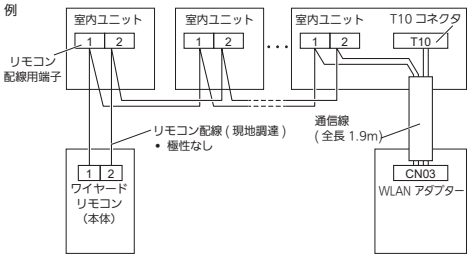
■ 室内ユニット 1 台の場合

例



■ 室内ユニットが複数台の場合

例



● どの室内ユニットに WLAN アダプターやリモコンを接続しても、動作します。

据付(電気)工事編

WLAN アダプター／CZ-10APWF1…別売品　機能と操作

据え付ける

据え付け時のご注意

● 次のような場所に据え付けない。
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
- 据付面に凹凸があるところ
- 過度な衝撃や振動のあるところ
- 熱源の近くなど
- 本機と無線LANルーターとの間に、金属などの電波をさえぎる障害物があるところ

● 据え付けは、重量に十分耐える天井面、壁面に確実に行う。

据え付け例

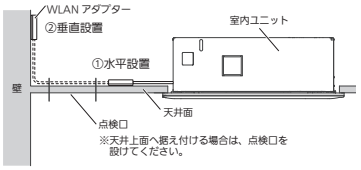
室内ユニット : 4 方向天井カセット形の例

※据え付け例以外のタイプの室内ユニットへの配線の接続方法は、VA ソリューションカタログ (裏表紙) に掲載の施工説明書をご確認ください。

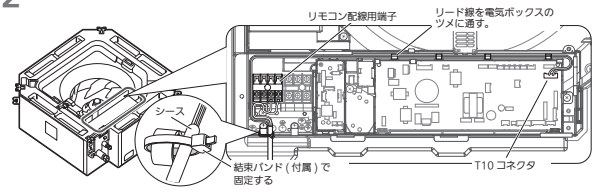
1　据え付け場所を選定する

①天井面に水平に設置
- 天井面に据え付ける場合は、15mm 程度の木材などの板 (現地調達) を天井面に固定し、板の上に本機をネジで固定してください。

②壁面に垂直に設置



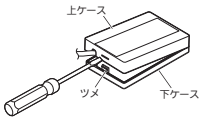
2　通信線を室内ユニットに接続する



● 端子付きリード線はリモコン配線用端子に接続します。(極性はありません)
● コネクタ付きリード線は T10 コネクタに接続します。
● 通信線は結束バンド (付属) で固定してください。結束バンドは適合線のシース部を固定してください。
● 室内ユニットの種類によっては、リード線が余ることがあります。余ったリード線は結束バンド (付属) で固定してください。

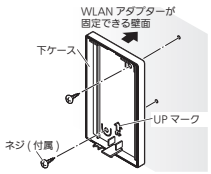
3　上ケースをはずす

マイナスドライバーなどを使って、下ケースのツメを押し込んで、上ケースを取りはずします。ドライバーで押し込むときに、ツメを破損させないように注意してください。



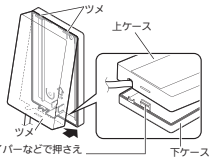
4　下ケースを壁に取り付ける (壁面設置の場合)

下ケースは、UP マークが上になるように壁に取り付けてください。
ネジ (付属) は下ケースにあたるまでしっかり締めてください。ネジを締めすぎると、ケースが破損することがあります。ネジが壁内の金属部分に接触しないように注意してください。



5　上ケースを取り付ける

上ケースの上部のツメをはめてから下ケースのツメをはめてください。
ケース内の通信線を挟まないように注意してください。



下ケースのツメをはめるときは、マイナスドライバーなどで押さえた後、上ケースをはめ込んでください。
※ マイナスドライバーに力を入れすぎると、ツメが破損することがありますのでご注意ください。

著作権など

● App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
● iPhone は、米国および他の国々で登録された AppleInc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
● Android および Google Play は Google LLC の商標または登録商標です。
●その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは一部記載していません。

■ソフトウェアについて

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社 (以下パナソニック) により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0(GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(4) GPL V2.0 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) (4) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
パナソニックは、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0 またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械語取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 :
oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com
また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
https://panasonic.net/cns/oss/ap/
最新の情報は、パナソニックのウェブサイトの取扱説明書をご確認ください。

lwIP

lwIP is licenced under the BSD licence:
Copyright (c) 2001-2004 Swedish Institute of Computer Science.
All rights reserved.
Copyright (c) 2001-2003 Swedish Institute of Computer Science.
All rights reserved.
Copyright (c) 2002 CITEL Technologies Ltd. All rights reserved.
Copyright (c) 2007 Dominik Spies <kontakt@dspies.de> All rights reserved.
Copyright (c) 2002-2003, Adam Dunkels. All rights reserved.
Copyright (c) 2001-2003 Swedish Institute of Computer Science.
Copyright (c) 2003-2004 Leon Woestenberg <leon.woestenberg@axon.tv>
Copyright (c) 2003-2004 Axon Digital Design B.V., The Netherlands.All rights reserved.
Copyright (c) 2001-2004 Leon Woestenberg <leon.woestenberg@gmx.net>
Copyright (c) 2001-2004 Axon Digital Design B.V., The Netherlands.All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

mbedTLS

Copyright (C) 2006-2015, ARM Limited, All Rights Reserved
Copyright (C) 2006-2016, ARM Limited, All Rights Reserved
Apache License
Version 2.0, January 2004
http://www.apache.org/licenses/
TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.
"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.
"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.
"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.
"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.
"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.
"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).
"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.
"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner.
For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."
"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.
You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.
5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.
Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.
END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

==========

Copyright (c) 2003-2016, Jouni Malinen <j@w1.fi > and contributors All Rights Reserved.
This program is licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).
If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

WLAN アダプター／CZ-10APWF1…別売品　機能と操作

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specifi c prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Free RTOS
The FreeRTOS source code is licensed by a "modified" GNU General Public License (GPL). The modification is provided in the form of an exception.
NOTE: The modification to the GPL is included to allow you to distribute a combined work that includes FreeRTOS without being obliged to provide the source code for proprietary components outside of the FreeRTOS kernel.

The FreeRTOS GPL Exception Text:
Any FreeRTOS source code, whether modified or in it's original release form, or whether in whole or in part, can only be distributed by you under the terms of the GNU General Public License plus this exception. An independent module is a module which is not derived from or based on FreeRTOS.

Clause 1:

Linking FreeRTOS statically or dynamically with other modules is making a combined work based on FreeRTOS. Thus, the terms and conditions of the GNU General Public License cover the whole combination.

As a special exception, the copyright holder of FreeRTOS gives you permission to link FreeRTOS with independent modules that communicate with FreeRTOS solely through the FreeRTOS API interface, regardless of the license terms of these independent modules, and to copy and distribute the resulting combined work under terms of your choice, provided that

+ Every copy of the combined work is accompanied by a written statement that details to the recipient the version of FreeRTOS used and an offer by yourself to provide the FreeRTOS source code (including any modifications you may have made) should the recipient request it.

+ The combined work is not itself an RTOS, scheduler, kernel or related product.

+ The independent modules add significant and primary functionality to FreeRTOS and do not merely extend the existing functionality already present in FreeRTOS.

Clause 2:

FreeRTOS may not be used for any competitive or comparative purpose, including the publication of any form of run time or compile time metric, without the express permission of Real Time Engineers Ltd. (this is the norm within the industry and is intended to ensure information accuracy).

The standard GPL exception text:

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The “Program”, below, refers to any such program or work, and a “work based on the Program” means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.) Each licensee is addressed as “you”.
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients’ exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.
END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs
If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.
To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.
<one line to give the program’s name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License** as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111- 1307 USA
Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.
The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice
This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

newlib
The newlib subdirectory is a collection of software from several sources.

Each file may have its own copyright/license that is embedded in the source file.
Unless otherwise noted in the body of the source file(s), the following copyright notices will apply to the contents of the newlib subdirectory:

(1) Red Hat Incorporated

Copyright (c) 1994-2009 Red Hat, Inc. All rights reserved.

This copyrighted material is made available to anyone wishing to use, modify, copy, or redistribute it subject to the terms and conditions of the BSD License.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY expressed or implied, including the implied warranties of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
A copy of this license is available at http://www.opensource.org/licenses.
Any Red Hat trademarks that are incorporated in the source code or documentation are not subject to the BSD License and may only be used or replicated with the express permission of Red Hat, Inc.

(2) University of California, Berkeley

Copyright (c) 1981-2000 The Regents of the University of alifornia. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING,
BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT,
INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,
EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(3) David M. Gay (AT&T 1991, Lucent 1998)

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991 by AT&T.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR AT&T MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (C) 1998-2001 by Lucent Technologies
All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that the copyright notice and this permission notice and warranty disclaimer appear in supporting documentation, and that the name of Lucent or any of its entities not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

LUCENT DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE,
INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.
IN NO EVENT SHALL LUCENT OR ANY OF ITS ENTITIES BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION,
ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

(4) Advanced Micro Devices

Copyright 1989, 1990 Advanced Micro Devices, Inc.

This software is the property of Advanced Micro Devices, Inc (AMD) which specifically grants the user the right to modify, use and distribute this software provided this notice is not removed or altered. All other rights are reserved by AMD.

AMD MAKES NO WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, WITH REGARD TO THIS SOFTWARE.
IN NO EVENT SHALL AMD BE LIABLE FOR INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES IN CONNECTION WITH OR ARISING FROM THE FURNISHING, PERFORMANCE, OR USE OF THIS SOFTWARE.

So that all may benefit from your experience, please report any problems
or suggestions about this software to the 29K Technical Support Center at
800-29-29-AMD (800-292-9263) in the USA, or 0800-89-1131 in the UK, or
0031-11-1129 in Japan, toll free. The direct dial number is 512-

WLAN アダプター／CZ-10APWF1…別売品　機能と操作

462-4118.

Advanced Micro Devices, Inc.
29K Support Products
Mail Stop 573
5900 E. Ben White Blvd.
Austin, TX 78741
800-292-9263

(7) Sun Microsystems

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this
software is freely granted, provided that this notice is preserved.

(8) Hewlett Packard

(c) Copyright 1986 HEWLETT-PACKARD COMPANY

To anyone who acknowledges that this file is provided "AS IS"
without any express or implied warranty:
permission to use, copy, modify, and distribute this file
for any purpose is hereby granted without fee, provided that
the above copyright notice and this notice appears in all
copies, and that the name of Hewlett-Packard Company not be
used in advertising or publicity pertaining to distribution
of the software without specific, written prior permission.
Hewlett-Packard Company makes no representations about the
suitability of this software for any purpose.

(9) Hans-Peter Nilsson

Copyright (C) 2001 Hans-Peter Nilsson

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is
freely granted, provided that the above copyright notice, this notice
and the following disclaimer are preserved with no changes.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY
EXPRESS OR
IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION,
THE IMPLIED
WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
PARTICULAR
PURPOSE.

(11) Christopher G. Demetriou

Copyright (c) 2001 Christopher G. Demetriou
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote
products
   derived from this software without specific prior written
permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR
IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
THE IMPLIED WARRANTIES
OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY
DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE,
DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY
THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT
(INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY
WAY OUT OF THE USE OF
THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(12) SuperH, Inc.

Copyright 2002 SuperH, Inc. All rights reserved

This software is the property of SuperH, Inc (SuperH) which
specifically
grants the user the right to modify, use and distribute this software
provided this notice is not removed or altered. All other rights are
reserved by SuperH.

SUPERH MAKES NO WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR
IMPLIED, WITH REGARD TO
THIS SOFTWARE. IN NO EVENT SHALL SUPERH BE LIABLE
FOR INDIRECT, SPECIAL,
INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES IN CONNECTION
WITH OR ARISING FROM
THE FURNISHING, PERFORMANCE, OR USE OF THIS
SOFTWARE.

So that all may benefit from your experience, please report any
problems
or suggestions about this software to the SuperH Support Center
via
e-mail at softwaresupport@superh.com .

SuperH, Inc.
405 River Oaks Parkway
San Jose
CA 95134
USA

(13) Royal Institute of Technology

Copyright (c) 1999 Kungliga Tekniska Högskolan
(Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.

3. Neither the name of KTH nor the names of its contributors may
be
   used to endorse or promote products derived from this software
without
   specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY KTH AND ITS
CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY
EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR
PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL KTH OR
ITS CONTRIBUTORS BE
LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR
CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED
TO, PROCUREMENT OF
SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
(INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
SOFTWARE, EVEN IF
ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(14) Alexey Zelkin

Copyright (c) 2000, 2001 Alexey Zelkin <phantom@FreeBSD.org>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND
CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(15) Andrey A. Chernov

Copyright (C) 1997 by Andrey A. Chernov, Moscow, Russia.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(16) FreeBSD

Copyright (c) 1997-2002 FreeBSD Project.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND
CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)

21　22

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(17) S. L. Moshier

Author: S. L. Moshier.

Copyright (c) 1984,2000 S.L. Moshier

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for
any
purpose without fee is hereby granted, provided that this entire
notice
is included in all copies of any software which is or includes a copy
or modification of this software and in all copies of the supporting
documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY
EXPRESS OR IMPLIED
WARRANTY. IN PARTICULAR, THE AUTHOR MAKES NO
REPRESENTATION
OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE
MERCHANTABILITY OF THIS
SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR
PURPOSE.

(18) Citrus Project

Copyright (c)1999 Citrus Project,
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND
CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(19) Todd C. Miller

Copyright (c) 1998 Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote
products
   derived from this software without specific prior written
permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND ANY EXPRESS
OR IMPLIED WARRANTIES,
INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL
THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING,
BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON
ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
(INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
SOFTWARE, EVEN IF
ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(20) DJ Delorie (i386)
Copyright (C) 1991 DJ Delorie
All rights reserved.

Redistribution, modification, and use in source and binary forms is
permitted
provided that the above copyright notice and following paragraph
are
duplicated in all such forms.

This file is distributed WITHOUT ANY WARRANTY; without even
the implied
warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE.

(23) Intel (i960)

Copyright (c) 1993 Intel Corporation

Intel hereby grants you permission to copy, modify, and distribute
this
software and its documentation. Intel grants this permission
provided
that the above copyright notice appears in all copies and that both
the
copyright notice and this permission notice appear in supporting
documentation. In addition, Intel grants this permission provided
that
you prominently mark as "not part of the original" any modifications
made to this software or documentation, and that the name of Intel
Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to
distribution of the software or the documentation without specific,
written prior permission.

Intel Corporation provides this AS IS, WITHOUT ANY WARRANTY,
EXPRESS OR
IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY
OF MERCHANTABILITY
OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Intel makes no
guarantee or
representations regarding the use of, or the results of the use of,
the software and documentation in terms of correctness, accuracy,
reliability, currentness, or otherwise; and you rely on the software,
documentation and results solely at your own risk.

IN NO EVENT SHALL INTEL BE LIABLE FOR ANY LOSS OF
USE, LOSS OF BUSINESS,
LOSS OF PROFITS, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL OR
CONSEQUENTIAL DAMAGES
OF ANY KIND. IN NO EVENT SHALL INTEL'S TOTAL LIABILITY
EXCEED THE SUM
PAID TO INTEL FOR THE PRODUCT LICENSED HEREUNDER.

(26) Mike Barcroft

Copyright (c) 2001 Mike Barcroft <mike@FreeBSD.org>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND
CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(27) Konstantin Chuguev (--enable-newlib-iconv)

Copyright (c) 1999, 2000
  Konstantin Chuguev. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND
CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

  iconv (Charset Conversion Library) v2.0

(28) Artem Bityuckiy (--enable-newlib-iconv)

Copyright (c) 2003, Artem B. Bityuckiy, SoftMine Corporation.
Rights transferred to Franklin Electronic Publishers.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND
CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT

23　24

WLAN アダプター／ CZ-10APWF1…別売品　機能と操作

LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(30) - Alex Tatmanjants (targets using libc/posix)

Copyright (c) 1995 Alex Tatmanjants <alex@elvisti.kiev.ua>
at Electronni Visti IA, Kiev, Ukraine.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS"
AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE
LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(31) - M. Warner Losh (targets using libc/posix)

Copyright (c) 1998, M. Warner Losh <imp@freebsd.org>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND
CONTRIBUTORS ``AS IS" AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(32) - Andrey A. Chernov (targets using libc/posix)

Copyright (C) 1996 by Andrey A. Chernov, Moscow, Russia.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS"
AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(33) - Daniel Eischen (targets using libc/posix)

Copyright (c) 2001 Daniel Eischen <deischen@FreeBSD.org>.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND
CONTRIBUTORS ``AS IS" AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(35) - ARM Ltd (arm and thumb variant targets only)

Copyright (c) 2009 ARM Ltd
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the
distribution.
3. The name of the company may not be used to endorse or
promote
products derived from this software without specific prior written
permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ARM LTD ``AS IS" AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED
WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL ARM LTD BE LIABLE FOR ANY DIRECT,
INDIRECT, INCIDENTAL,
SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
(INCLUDING, BUT NOT LIMITED
TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER
CAUSED AND ON ANY THEORY OF
LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
TORT (INCLUDING
NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF
THE USE OF THIS
SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

(41) Ed Schouten - Free BSD

Copyright (c) 2008 Ed Schouten <ed@FreeBSD.org>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright notice, this list of conditions and the following
disclaimer in the documentation and/or other materials provided
with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND
CONTRIBUTORS ``AS IS" AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

25　26

仕様

品番	CZ-10APWF1
電源	DC12 V（室内ユニットの T10 コネクタより供給）
消費電力	最大 : 2.4 W
外形寸法	(高さ) 120 mm ×（幅）70 mm ×（奥行）25 mm
質量	190g（通信線含む）
インターフェース	無線 LAN
無線 LAN 対応規格	IEEE 802.11 b/g/n
周波数範囲	2.4 GHz 帯
暗号化方式	WPA2-PSK（TKIP/AES）
使用温度・湿度範囲	0 ˚C ～ 55 ˚C / 20 % ～ 80 %（結露しないこと） ※ 屋内設置専用

●周波数帯で送信される最大周波電力

ワイヤレスの種類	周波数帯域	最大 EIRP (dBm)
無線 LAN	2412-2472 MHz	20 dBm

●設定情報

WLAN アダプターのシリアル番号（ID）	
室内ユニットのモデル名	
室内ユニットの製造番号	
室外ユニットのモデル名	
室外ユニットの製造番号	
システム試運転日	
WLAN アダプター据え付け日	

ご相談窓口

● 機器に関する使い方・お手入れなどのご相談・お問い合わせは…

商品相談窓口　空調110 番

0570-087-911（有料）
上記番号がご利用いただけない場合は 0276-20-0645
※お電話をいただく際には、番号を十分にお確かめの上、おかけまちがいのないようにお願いいたします。

＜営業時間＞ 24 時間365 日受付
＜対応事務＞ 機器に関するご相談・お問い合わせ

FAX 050-3606-7370

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

●工事担当者連絡先

名前	
電話番号	

● 取扱説明書・施工説明書をダウンロードできます。

VA ソリューションカタログ

VA ソリューションカタログ　検索　https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01

「品番・品名・キーワード」の入力欄から「CZ-10APWF1」と入力し、検索してください。
WLAN アダプターの取扱説明書・施工説明書がダウンロードできます。

●スマートフォンからもダウンロードできます。
右記 QR コードから取扱説明書・施工説明書をダウンロードしてください。

取扱説明書　施工説明書

・QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Printed in Japan
W1222-10823
ACXF60-48771

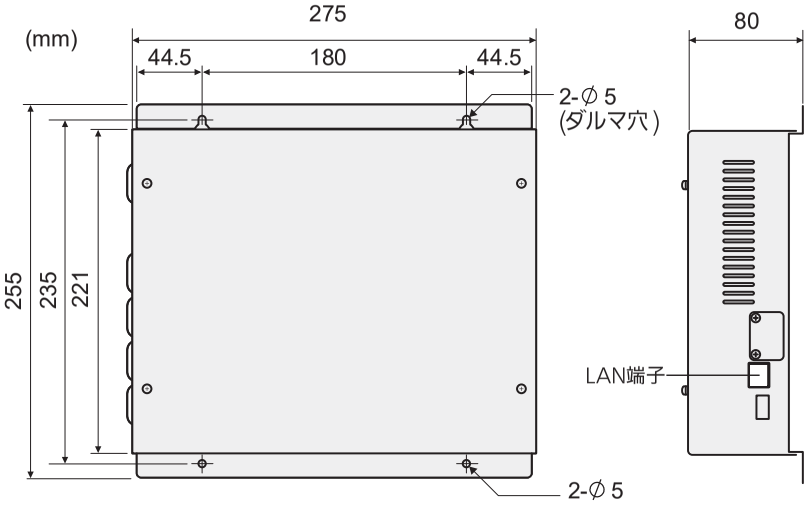
27

■ 仕様

品番	CZ-10FUSCQ1
外形寸法	（高さ）255 mm ×（幅）275 mm ×（奥行き）80 mm
質量	1.9 kg
使用温度・湿度範囲	0℃～ 40 ℃・20%～ 80%（結露なきこと）
定格電圧・周波数	単相 AC100 ～ 240 V・50/60Hz
消費電力	最大 15 W
1リンクあたりの接続可能台数 *1	下記の合計台数が 100 台まで 室内ユニット：64 台まで *2 室外ユニット：30 台まで 集中制御機器：10 台まで

＊1：最大接続可能台数は次の通りです。（最大 2 リンク接続可能）
室内ユニット 128 台、室外ユニット 60 台
＊2：オン／オフ制御用ローカルアダプター、RAC ローカルアダプターの台数を含む。

■ 外形寸法図



■ 電源線

- ケーブルの種類
  - ・使用基準：600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（現地調達）
  - ・柔軟性のある2 mm²のケーブル(推奨)
- 電源端子ネジ：M4
- 締め付けトルク：0.6～0.8N・m(規定値)
  - ・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)
- アース端子ネジ：M4
- 締め付けトルク：0.6～0.8N・m(規定値)
  - ・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)

■ 室内外操作線

- ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある2芯の0.5～2mm²のケーブルを必ず使用してください。
  - ・推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- 総配線長：1000m以内
- 端子ネジ：M3
- 締め付けトルク：0.4～0.5N・m(規定値)
  - ・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)

■ 外部機器接続線

（外部機器を接続するとき）

- ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある0.5～2 mm²のケーブル
  - ・推奨品 ： VCT / VCTF
- 配線長 ：20m以内
- 端子ネジ ： M3
- 締め付けトルク：0.4～0.5N・m(規定値)
  - ・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)

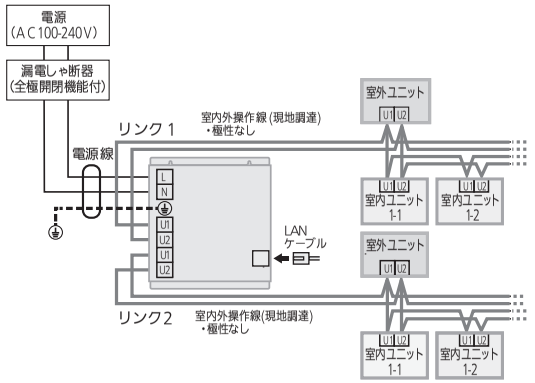
■ LANケーブル

- ケーブルの種類
  - ・カテゴリー5以上のストレートケーブル
- 配線長：100 m 以内

基本配線図

- S-LINKアダプター、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付（電気）工事説明書」をあわせてご覧ください。

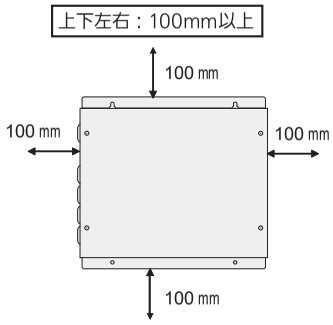
＊：オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプター は31系統になります。

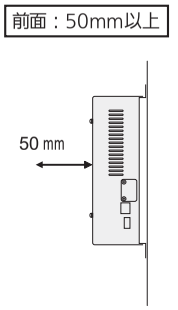


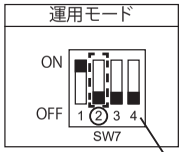
※ケーブルは現地調達のため、付属していません。

■ 据付

本アダプターを取り付けるときは、下図のようにスペースを確保してください。







EHP/GHPを使用する場合、ディップスイッチSW7の4番はOFFの位置に変更してください。

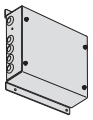
HVAC クラウドアダプター／CZ-10FUSCQ1…別売品　機能と操作

Panasonic

据付(電気)工事説明書

HVACクラウドアダプター

品番 CZ-10FUSCQ1



- 「据付 (電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」、付属のDVDは、お客様で保管いただくように依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

- ❗ **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - **電気設備に関する技術基準**
  - **内線規程**
  - **据付(電気)工事説明書**
  (感電、火災の原因)
- **漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**(故障や漏電時に感電、火災の原因)
- **電源は、必ず専用回路を使用する**(感電、火災の原因)
- **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**(感電、挟み込み、巻き込みの原因)
- ⏚ **アース工事(D種接地工事)を行う**
  ・ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しない(感電の原因)

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**(発熱、火災の原因)
- ❗ **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、本機や室内・室外ユニット、吸収式冷凍機などの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)

本体を据え付けるときに

- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線を挟まないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**(感電、故障の原因)

⚠注意

据付(電気)工事をする前に

- ⃠ **次のような場所で使わない**
  - **結露するところ**
  - **可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **酸性やアルカリ性の溶液、特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **有機溶剤の飛沫のあるところ**
  - **電磁波が出る機械のあるところ**
  - **電圧変動の多いところ**
  - **ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
  (感電、火災などの原因)
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

本体を据え付けるときに

- ⃠ **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

もくじ

	ページ
●安全上のご注意	1
●施工される方へ	2
●ネットワーク接続時のご注意	2
●据え付け時のご注意	2
●外形寸法図(各部の名前)	2
●据え付ける	2
●制御盤に据え付ける	3
電気ヒートポンプエアコン(EHP)／ガスヒートポンプエアコン(GHP)編	
配線の準備をする	3
配線する	4
設定について	5
簡易設定する	6
簡易設定(固定IPアドレスの場合)	6
簡易設定(DHCPの場合)	8
詳細設定する	9
設定の準備をする	9
ファームウェア更新	10
ネットワーク設定	11
アダプタ設定	12
空調機の設定	13
空調試運転	13
運用開始準備	14
クラウドサーバーに接続する	14
吸収式冷凍機(ABS)編	
配線の準備をする	15
配線する	16
設定について	17
簡易設定する	18
簡易設定(固定IPアドレスの場合)	18
簡易設定(DHCPの場合)	20
詳細設定する	21
設定の準備をする	21
ファームウェア更新	22
ネットワーク設定	23
アダプタ設定	24
空調機一覧	25
運用開始準備	25
クラウドサーバーに接続する	26
●自己診断機能表と検出内容	27
●仕様	裏表紙

付属品

<: >: 個数

据付(電気)工事説明書 <1>	ライセンスリスト・ソースコード(DVD) <1>
	

ケーブルは現地調達のため、付属していません。

施工される方へ

「据付(電気)工事説明書」では電気ヒートポンプエアコンをEHP[*1]、ガスヒートポンプエアコンをGHP[*2]、吸収式冷凍機をABS[*3]と略記します。
EHP/GHPを使用される場合は「電気ヒートポンプエアコン(EHP)/ガスヒートポンプエアコン(GHP)編」をお読みください。
ABSを使用される場合は「吸収式冷凍機(ABS)編」をお読みください。

*1: EHP = Electric Heat Pump
*2: GHP = Gas engine driven Heat Pump
*3: ABS = Absorption chiller

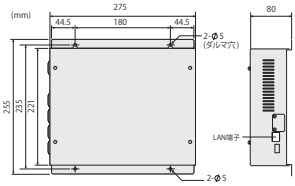
ネットワーク接続時のご注意

インターネットに接続する場合は、外部からの不正アクセスなどから保護するために、セキュリティ対策をしてください。
(詳細な接続・設定方法については、ネットワーク管理者にご相談ください)

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所
  - 過度な衝撃や振動のある場所
  (本機の取り付けネジが緩み、落下の原因)
  - 熱源の近くなど
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波が発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
  (本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与えたりする場合があります)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1 m以上離す。
  (映像の乱れ、雑音の原因)
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)を据え付ける。
- 配線は、地中に埋設しない。
- 配線が通っている制御盤の穴をパテなど(現地調達)でふさぐ。
- 絶縁物の厚み(シース部を含む)が1 mm以上のケーブルを使う。
- 制御盤の中など、不特定多数の手が届かない場所に設置する。
- 電源投入後、すぐに電源を切らないでください。内部のデータが破損する恐れがあります。

外形寸法図(各部の名前)

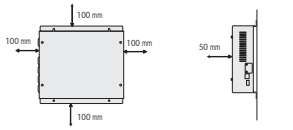


本体の図記号表示⏚について　「保護アース」を表します。

据え付ける

■ **取付場所など**
HVACクラウドアダプターを取り付けるときは、下図のようにスペースを確保してください。

上下左右：100 mm 以上	前面：50 mm 以上



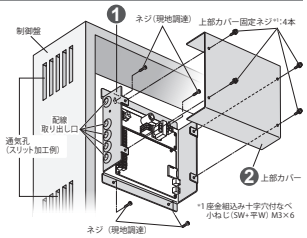
制御盤に据え付ける

❶ **HVACクラウドアダプターを制御盤に据え付ける**
(ネジ(現地調達):4本)
- 左側からケーブルを引き出せるように、本機を制御盤に据え付けてください。(右図参照)

❷ **上部カバーを外す**
- 配線および設定を完了後、上部カバーを取り付けてください。
(カバー固定ネジ:4本)

お願い

- 制御盤内の通気性(放熱性)確保のために、左右側面の上側と下側(または底面)に通気孔(スリットなど)を設けてください。
- 制御盤内の温度が40 ℃を超えないようにしてください。
- 据え付け時に上記の通気孔をふさがないように注意してください。



電気ヒートポンプエアコン(EHP)／ガスヒートポンプエアコン(GHP)編

配線の準備をする

お願い

- ノイズの影響を受けるおそれのある場所で、室内外操作線と外部機器接続線を使うときは、シールド線(片側アース)を使ってください。

■ **電源線**
- ケーブルの種類
  - 使用基準:600 Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(現地調達)
  - 柔軟性のある2 mm²のケーブル(推奨)
- 電源端子ネジ　:M4
- 締め付けトルク:0.6 ～ 0.8 N·m(規定値)
  - 締め付けすぎないでください。
  (ネジ損傷の原因)
- アース端子ネジ:M4
- 締め付けトルク:0.6 ～ 0.8 N·m(規定値)
  - 締め付けすぎないでください。
  (ネジ損傷の原因)

■ **室内外操作線**
- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある2芯の0.5～2 mm²のケーブルを必ず使用してください。
  - 推奨品:VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- 総配線長:1000 m以内
- 端子ネジ:M3
- 締め付けトルク:0.4 ～ 0.5 N·m(規定値)
  - 締め付けすぎないでください。
  (ネジ損傷の原因)

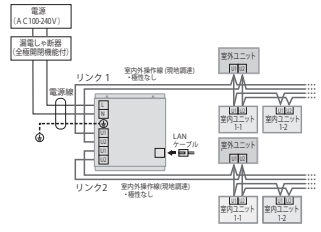
■ **外部機器接続線**
(外部機器を接続するとき)
- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある0.5~2 mm²のケーブル
  - 推奨品:VCT / VCTF
- 配線長　:20 m以内
- 端子ネジ:M3
- 締め付けトルク:0.4~0.5 N·m(規定値)
  - 締め付けすぎないでください。
  (ネジ損傷の原因)

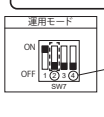
■ **LANケーブル**
- ケーブルの種類
  - カテゴリー5以上のストレートケーブル
- 配線長:100 m以内

基本配線図

- S-LINKアダプター、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付(電気)工事説明書」をあわせてご覧ください。

＊オン／オフ制御用ローカルアダプター、RAC ローカルアダプター は 31 系統になります。





EHP/GHP を使用する場合、ディップスイッチ SW7 の 4 番は OFF の位置に変更してください。

電気ヒートポンプエアコン(EHP)／ガスヒートポンプエアコン(GHP)編

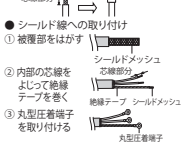
配線する

お願い

- 電源線とその他の通信線は、同一線管内に通さないでください。
また、ノイズの影響を軽減させるために、できるだけ離して配線してください。

1 漏電しゃ断器を切る
- 安全のため、配線を行う前には、必ず漏電しゃ断器を切ってください。

2 丸型圧着端子を取り付ける
- 電源線への取り付け
被覆をはがし、内部の芯線をよじって取り付けてください。



- シールド線への取り付け
① 被覆部をはがす
② 内部の芯線をよじって絶縁テープを巻く
③ 丸型圧着端子を取り付ける

3 電源線を接続する
- 電源線は電源端子台に、アース線はアース端子台(板金ケース上[*1])に接続してください。
*1:保護アース

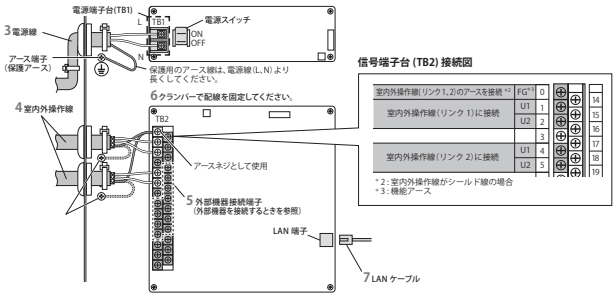
4 室内外操作線を接続する
- 極性はありません。
- 接続可能台数→「仕様」(裏表紙)を参照してください。
- シールド線の場合は、アース線を信号端子台の0 番または板金ケース上の端子に接続してください。

5 外部機器を接続する
- 外部機器を接続するときは、「外部機器を接続するとき」(P.5)を参照してください。

6 電源線とその他の通信線は、結束クランパーでしっかり固定する
- 端子接続部に張力が加わらないようにしてください。

7 LAN ケーブルを接続する
- 直接パソコンで設定を行う場合は、パソコンに接続してください。

8 電源線の接続が正しいことを確認して漏電しゃ断器を入れる
- 誤って電源線を信号端子台に接続すると、本機または接続機器が故障することがあります。



信号端子台 (TB2) 接続図

室内外操作線(リンク1,2)のアースを接続*2	FG*	0	14
室内外操作線(リンク 1)に接続	U1	1	15
	U2	2	16
		3	17
室内外操作線(リンク 2)に接続	U1	4	18
	U2	5	19

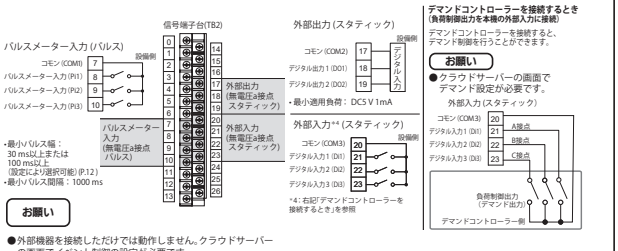
*2 : 室内外操作線がシールド線の場合
*3 : 機能アース

HVAC クラウドアダプター／CZ-10FUSCQ1…別売品　機能と操作

電気ヒートポンプエアコン（EHP）／ガスヒートポンプエアコン（GHP）編

外部機器を接続するとき

- 信号形式：無電圧a接点
- 各信号入力の配線長：20 m以内（超えるときは、リレーを使う）
- 入力端子検出のため、接点にDC5 V（約10 mA）の電圧がかかります。
- 入力端子には、外部から電圧を印加しないでください。
- 出力端子の接点許容電圧、および電流は、最大DC30 V、0.5 Aです。
- デジタル入力信号（イベント制御、デマンド制御用）およびデジタル出力信号（イベント制御用）を信号端子台に接続します。現場の用途に合った入出力信号の配線を接続してください。

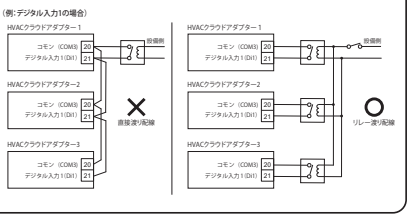


お願い

- 外部機器を接続しただけでは動作しません。クラウドサーバーの画面でイベント制御の設定が必要です。

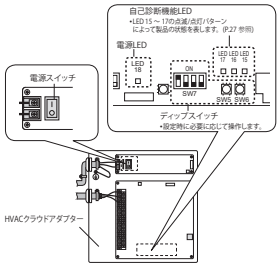
（例：デジタル入力1の場合）

- 複数のHVACクラウドアダプターの入力端子（外部入力、パルスメーター入力）に信号線を接続する場合、直接渡り配線を行わないでください。（誤動作の原因）
  この場合、右図○印のようにリレー渡り配線としてください。



設定について

- HVAC クラウドアダプターの設定には簡易設定と詳細設定があります。
- 下記を確認し、目的に合った設定方法を選んでください。
- 設定で使用するスイッチ等は、右図を参照してください。
  - 簡易設定：
    本製品起動時、製品内部のスイッチSW6を押すことで、「アダプタ設定」（P.12）と「空調機の設定」（P.13）が自動で設定されます。
    簡易設定は、本製品を接続するネットワークのIPアドレス取得方法により、手順が異なります。
    ネットワークのIPアドレス取得方法はネットワーク管理者にご確認ください。
    a）固定 IP アドレスを使用する場合
    → P.6 から実施します。
    b）DHCP から取得する場合
    → P.8 から実施します。
  - 詳細設定：
    本機につないだパソコンでブラウザを起動し、全ての設定をパソコンから行います。（P.9）
- 設置するネットワークのファイアウォールにおいて、下記のポートが許可されている事を確認します。
  ネットワーク管理者にご確認ください。
  TCP：443
  UDP：53, 123



電気ヒートポンプエアコン（EHP）／ガスヒートポンプエアコン（GHP）編

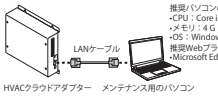
簡易設定する

簡易設定（固定IPアドレスの場合）

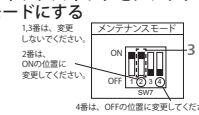
1 電源スイッチを切っていることを確認する



2 メンテナンス用のパソコンを、LAN ケーブルで HVAC クラウドアダプターに直接接続する

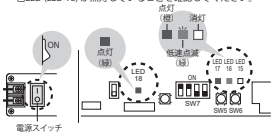


3 ディップスイッチをメンテナンスモードにする



4 電源スイッチを入れる

- 橙色LED（LED 17）が点灯、緑色LED（LED 16）が低速点滅し、緑色LED（LED 18）が点灯していることを確認してください。



- 橙色のLED（LED 17）が点灯せず、緑色のLED（LED 16）が低速点滅しない場合、「自己診断機能表と検出内容」(P.27)を参照してください。

5 パソコンを起動し、ネットワーク設定を以下のように設定する

IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254

6 Web ブラウザに URL「http://192.168.1.1/」を入力して、HVAC クラウドアダプターにアクセスする

- ログイン画面が表示されます。

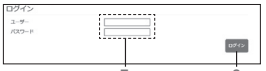


- ログイン画面が表示されないとき
  パソコンのLANポートのLEDが点滅しているか確認してください。
  点滅していない
  →LANケーブルを正しく接続してください。
  点滅している
  →手順［5］のネットワーク設定を確認してください。

7 ユーザー名とパスワードを入力する

工場出荷時のユーザー名およびパスワードは下記の通りです。

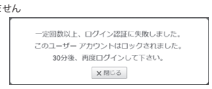
- user: ca_user
- password: KYJN2015ca



8 ログイン を選択する

お知らせ

- 連続10回ログインに失敗すると、30分間ログイン操作ができません



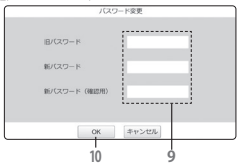
- 30分間操作しない時間が続くと、セッションタイムアウトになります。[OK]を押すとログイン画面が表示されます。



電気ヒートポンプエアコン（EHP）／ガスヒートポンプエアコン（GHP）編

9 現在（旧）のパスワードと新しいパスワード（2 回）を入力する

- 実際に使用するパスワードに変更してください。
  パスワードは8文字以上の半角英数字記号を入力してください。
  なお入力可能な記号は
  _（アンダースコア）、.（ドット）、-（ハイフン）のみとなります。



10 OK を選択する

- 取り消すときは キャンセル を選択してください。

11 設定モード選択メニューの 簡易設定 を選択する

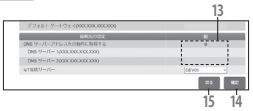


12 [DHCP 有効] のチェックマークを外し、設置するネットワークで指定された IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力する



13 [DNS サーバーアドレスを自動的に取得する] のチェックマークを外し、DNS サーバー 1 と DNS サーバー 2 の IP アドレスを入力する

■ キャンセルするには 戻る を選択する



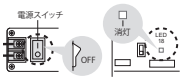
14 確定 を選択する

- 確認画面で「はい」を押すと設定項目が保存されます。
  「いいえ」を押すとキャンセルされ、ネットワーク設定画面に戻ります。

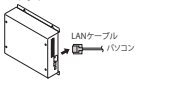
15 戻る を選択する

- 設定モード選択メニューが表示されます。

16 電源スイッチを切る



17 HVAC クラウドアダプターからパソコンを取り外す



以上で固定 IP アドレスの設定は完了です。

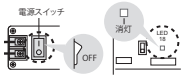
以降は、P.8 簡易設定（DHCP の場合）の手順に従って HVAC クラウドアダプターをネットワークに接続して起動してください。

電気ヒートポンプエアコン（EHP）／ガスヒートポンプエアコン（GHP）編

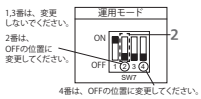
簡易設定する（つづき）

簡易設定（DHCPの場合）

1 電源スイッチを切っていることを確認する



2 ディップスイッチが運用モードになっていることを確認する

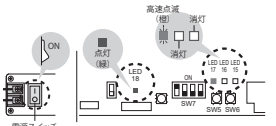


3 HVAC クラウドアダプターをネットワークに接続する



4 電源スイッチを入れる

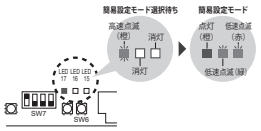
- 緑色LED（LED 18）が点灯し、しばらくして、橙色LED（LED 17）が高速点滅することを確認します。



- しばらくしても、橙色LED（LED 17）が高速点滅しない場合、「自己診断機能表と検出内容」(P.27)を参照してください。

5 簡易設定モードで起動する

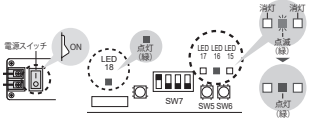
- 橙色LED（LED17）が高速点滅中は簡易設定モード選択待ちの状態ですので、10秒以内にSW6スイッチを 1 秒以上押し続けてください。
  LEDが簡易設定モードに変化したらスイッチを離してください。
  （簡易設定モード：橙色LED（LED 17）が点灯し、緑色LED（LED 16）と赤色LED（LED 15）が低速点滅します。）
- 10秒以内にSW6スイッチを押さないと簡易設定は行われずに運用モードで起動するので、手順［1］からやり直してください。



- 簡易設定が途中で失敗すると、LEDにエラー状態を表示して設定を中止します。
  「自己診断機能表と検出内容」(P.27)を参照して、エラーを確認してください。
- 簡易設定が正常に終了すると自動で運用モードで再起動し、クラウドサーバーへの接続を行います。

6 クラウドサーバーに HVAC クラウドアダプターを登録する

- クラウドサーバーの画面でHVACクラウドアダプターの登録作業を行ってください。
- 緑色LED（LED16）が、点滅から点灯に変わったら設定は完了です。



7 上部カバーを HVAC クラウドアダプターに取り付ける (P.3)

HVAC クラウドアダプター／CZ-10FUSCQ1…別売品　機能と操作

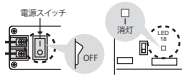
電気ヒートポンプエアコン（EHP）／ガスヒートポンプエアコン（GHP）編

詳細設定する

■通常は「詳細設定」を行う必要はありません。必要な場合のみ行ってください。

設定の準備をする

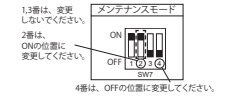
1 電源スイッチを切っていることを確認する



2 メンテナンス用のパソコンを、直接 LAN ケーブルで HVAC クラウドアダプターに接続する

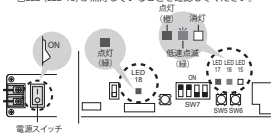


3 ディップスイッチをメンテナンスモードにする



4 電源スイッチを入れる

● 橙色LED (LED 17) が点灯、緑色LED (LED 16) が低速点滅し、緑色LED (LED 18) が点灯していることを確認してください。



● 橙色LED (LED 17) が点灯しない、および緑色LED (LED 16) が低速点滅しない場合「自己診断機能表と検出内容」(P.27) を参照してください。

5 パソコンを起動し、ネットワーク設定を以下のように設定する

IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254

6 Web ブラウザに URL「http://192.168.1.1/」を入力して、HVAC クラウドアダプターにアクセスする

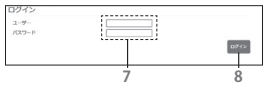
● ログイン画面が表示されます。



● ログイン画面が表示されないとき
パソコンのLANポートのLEDが点滅しているか確認してください。
点滅していない
→LANケーブルを正しく接続してください。
点滅している
→手順 [5] の設定を確認してください。

7 ユーザー名とパスワードを入力する

工場出荷時のユーザー名およびパスワードは下記の通りです。
● user: ca_user
● password: KYJN2015ca



8 ログイン を選択する

お知らせ

● 連続10回ログインに失敗すると、30分間ログイン操作ができません。



● 30分間操作しない時間が続くと、セッションタイムアウトになります。[OK]を押すとログイン画面が表示されます。

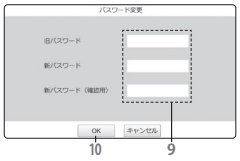


電気ヒートポンプエアコン（EHP）／ガスヒートポンプエアコン（GHP）編

詳細設定する（つづき）

9 現在（旧）のパスワードと新しいパスワード（2 回）を入力する

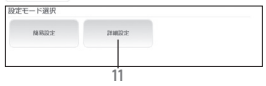
● 実際に使用するパスワードに変更してください。
パスワードは8文字以上の半角英数字記号を入力してください。
なお入力可能な記号は
_（アンダースコア）、.（ドット）、-（ハイフン）のみとなります。



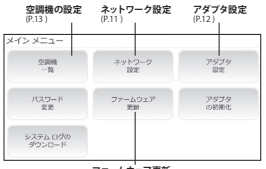
10 OK を選択する

● 取り消すときは キャンセル を選択してください。

11 設定モード選択メニューの 詳細設定 を選択する



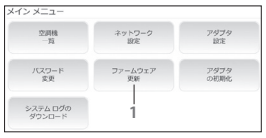
● P.10 ～ 14 に記載の設定内容は、メインメニューで設定できます。



ファームウェア更新

HVAC クラウドアダプターの最新ファームウェアが利用可能であれば、メンテナンス用パソコンにファームウェアファイルを保存し、HVAC クラウドアダプターを更新してください。

1 ファームウェア 更新 を選択する



2 選択 を選択する

● ファイル選択ダイアログからパソコン上のファームウェアファイルを選択してください。
ファームウェアファイルはテキストボックスに表示されます。



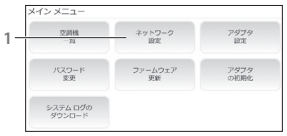
3 更新 を選択する

● HVACクラウドアダプターのアップデートが始まります。
● アップデートの途中で取り消す場合は、進行中の画面で、[キャンセル]を選択してください。
● アップデート完了後2分経過すると、ログイン画面が自動で表示されます。次の手順に移るには、再度ログインしてください。

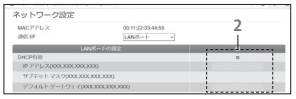
電気ヒートポンプエアコン（EHP）／ガスヒートポンプエアコン（GHP）編

ネットワーク設定

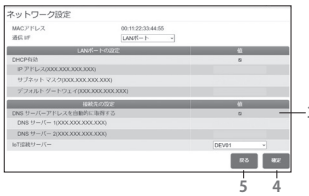
1 ネットワーク 設定 を選択する



2 ■ ネットワーク環境がDHCPのとき
[DHCP 有効] にチェックマークを入れる
■ 上記以外のとき
[DHCP 有効] のチェックを外し、HVAC クラウドアダプターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力する



3 ■ DNSサーバー情報を自動取得できる環境のとき
[DNS サーバーアドレスを自動的に取得する] にチェックマークを入れる
■ 上記以外のとき
[DNS サーバーアドレスを自動的に取得する] のチェックを外し、DNS サーバー 1 と DNS サーバー 2 の IP アドレスを入力する
● [DHCP有効]のチェックマークを外した場合、[DNSサーバーアドレスを自動的に取得する]にチェックマークを入れることはできません。
● [IoT接続サーバー]の設定は変更しないでください。



4 確定 を選択する

● 設定項目が保存されます。

5 戻る を選択する

● メインメニューが表示されます。

電気ヒートポンプエアコン（EHP）／ガスヒートポンプエアコン（GHP）編

詳細設定する（つづき）

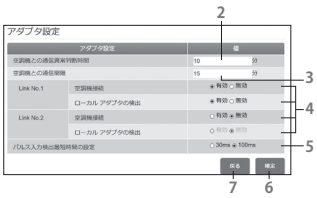
アダプタ設定

1 アダプタ 設定 を選択する



2 [空調機との通信異常判断時間] を入力する
（入力可能範囲：10 ～ 99 分間）

3 [空調機との通信間隔] を入力する
（入力可能範囲：10 ～ 99 分間）



4 [Link No.1] および [Link No.2] のそれぞれの項目に、[有効] または [無効] を選択する
[Link No.1] - [空調機接続]
- [ローカルアダプタの検出]
[Link No.2] - [空調機接続]
- [ローカルアダプタの検出]

5 [パルス入力検出最短時間の設定] を選択する
（30 ms または 100 ms）

6 確定 を選択する

● 設定項目が保存されます。

7 戻る を選択する

● メインメニューが表示されます。

HVAC クラウドアダプター／CZ-10FUSCQ1…別売品　機能と操作

電気ヒートポンプエアコン(EHP)／ガスヒートポンプエアコン(GHP)編

空調機の設定

1 空調機一覧 を選択する

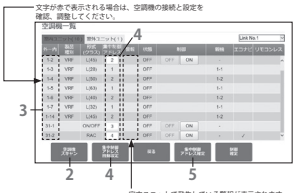
[初期化中… しばらくお待ちください。] と表示されたら、空調機一覧が表示されるまでお待ちください。



2 スキャン を選択する

- HVACクラウドアダプターに接続されている空調機が検出され、空調機の一覧表が更新されます。
- 空調機に異常が見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。メッセージを確認し、[閉じる]を選択してください。
- 異常を解消した後、再び空調機をスキャンしてください。

表示メッセージ	状態・対処
集中制御アドレス重複	集中制御アドレスが重複しています。室内機に、空いている別の集中制御アドレスを設定してください。
スキャン タイムアウト エラー	空調機の室内外操作線に問題がないか確認してください。



3 接続している全室内ユニットが表示されていること、および接続されている室外ユニットの台数と検出台数が一致していることを確認する

- 表示されない室内ユニットがある/想定外の室内ユニットが表示される場合は、配線・空調機のアドレス設定が正しいか確認してください。
  →修正後、手順 [2] からやり直してください。

4 集中制御アドレスを入力する

- 手動で割り当てるときは、[空調機一覧]の画面で、室内ユニットの集中制御アドレステキストボックスを選択し、入力してください。
- 自動で割り当てるときは、集中制御アドレス設定 を選択してください。
  (空欄に、同一リンク番号内で未使用の値が昇順で入力されます。)

5 集中制御アドレス設定 を選択する

- 入力した集中制御アドレスが、全室内ユニットに反映されます。
- テキストボックスに空欄があったり、室内ユニットの親機同士で重複があれば、警告が表示されます。

お願い

●HVACクラウドアダプターで制御・監視するためには、室内ユニットに必ず集中制御アドレスを設定してください。

空調試運転

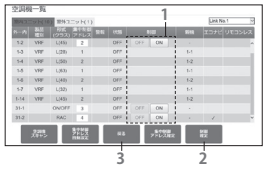
1 ON と OFF が正常に動作することを確認する

2 動作確認 を選択する

- 該当する室内ユニットの制御欄のON/OFF 表示と、実際の室内ユニットのON/OFF が切り替わることを確認してください。
- 全室内ユニットが正常に動作するか確認してください。
- パソコン を操作する人と連絡を取りながら、状況を確認してください。

3 戻る を選択する

- メインメニューが表示されます。
- 集中制御アドレスの変更後に[集中制御アドレス確定]ボタンを選択していない場合は、確認画面が表示されます。
  [はい]を選ぶと、変更内容は破棄されます。

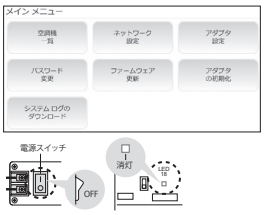


電気ヒートポンプエアコン(EHP)／ガスヒートポンプエアコン(GHP)編

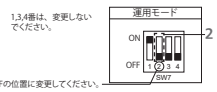
詳細設定する(つづき)

運用開始準備

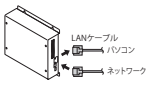
1 メインメニューが表示された状態で、電源スイッチを切る



2 ディップスイッチが、運用モードになっていることを確認する



3 HVAC クラウドアダプターからパソコンを取り外し、ネットワークに接続する

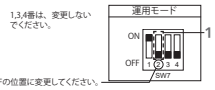


クラウドサーバーに接続する

お願い

●あらかじめクラウドサーバーの画面でHVACクラウドアダプターの登録作業を行ってください。

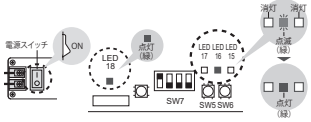
1 ディップスイッチが、運用モードになっていることを確認する



2 電源スイッチを入れる

- 電源スイッチを切ってから30 秒以上経過したことを確認してください。そのあと、電源スイッチを入れてください。

緑色 LED (LED16) が、点滅から点灯に変わったら**設定は完了です。**



3 上部カバーを HVAC クラウドアダプターに取り付ける (P.3)

吸収式冷凍機(ABS)編

配線の準備をする

お願い

●ノイズの影響を受けるおそれのある場所で、外部機器接続線を使うときは、シールド線(片側アース)を使ってください。

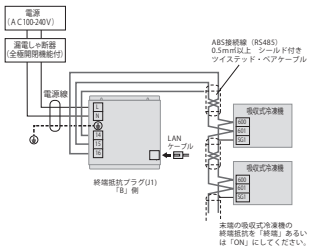
■ 電源線
- ケーブルの種類
  ・使用基準 ：600 Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(現地調達)
  ・柔軟性のある2 mm²のケーブル(推奨)
- 電源端子ネジ ：M4
- 締め付けトルク ：0.6 ～ 0.8 N･m(規定値)
  ・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)
- アース端子ネジ：M4
- 締め付けトルク ：0.6 ～ 0.8 N･m(規定値)
  ・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)

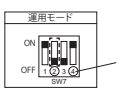
■ ABS接続線
- ケーブルの種類
  ・使用基準：シールド付きツイステッド・ペアケーブル
  ・柔軟性のある2芯の0.5～2 mm²のケーブル
  ・推奨品 ：サンライトSX (太陽ケーブルテック製)
- 配線長 ：1000 m以内
- 端子ネジ：M3
- 締め付けトルク :0.4～0.5 N･m(規定値)
  ・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)

■ 外部機器接続線
(外部機器を接続するとき)
- ケーブルの種類
  ・柔軟性のある0.5～2 mm²のケーブル
  ・推奨品：VCT / VCTF
- 配線長 ：20 m以内
- 端子ネジ：M3
- 締め付けトルク :0.4～0.5 N･m(規定値)
  ・締め付けすぎないでください。(ネジ損傷の原因)

■ LANケーブル
- ケーブルの種類
  ・カテゴリー5以上のストレートケーブル
- 配線長:100 m 以内
- 付属のLTEルータまたはお客様にご準備いただいたインターネット回線に接続ください。

基本配線図





ABS を使用する場合、ディップスイッチ SW7 の 4 番は ON の位置に変更してください。

吸収式冷凍機(ABS)編

配線する

お願い

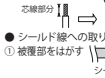
●電源線とその他の通信線は、同一線管内に通さないでください。また、ノイズの影響を軽減させるために、できるだけ離して配線してください。

1 漏電しゃ断器を切る

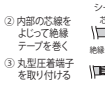
●安全のため、配線を行う前には、必ず漏電しゃ断器を切ってください。

2 丸型圧着端子を取り付ける

●電源線への取り付け
被覆をはがし、内部の芯線をよじって取り付けてください。



●シールド線への取り付け



3 電源線を接続する

●電源線は電源端子台に、アース線はアース端子（板金ケース上[*1]）に接続してください。
*1：保護アース

4 ABS 接続線を接続する

●接続可能台数 →「仕様」(裏表紙)を参照してください。
●アース線を信号端子台の14 番に接続してください。
●極性がありますので注意してください。
●ループを作らず、" 一筆書き " ができるように接続してください。
(分岐させないでください。)

5 外部機器を接続する

●外部機器を接続するときは、「外部機器を接続するとき」(P.17) を参照してください。

6 電源線とその他の通信線は、結束クランパーでしっかり固定する

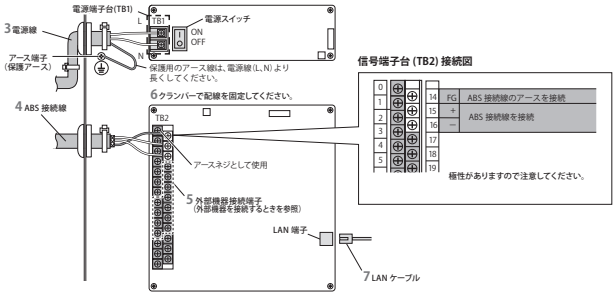
●端子接続部に張力が加わらないようにしてください。

7 LAN ケーブルを接続する

●直接パソコンで設定を行う場合は、パソコンに接続してください。

8 電源線の接続が正しいことを確認して漏電しゃ断器を入れる

●誤って電源線を信号端子台に接続すると、本機または接続機器が故障することがあります。

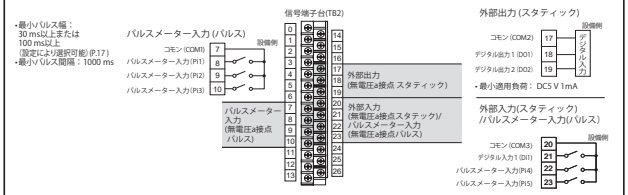


HVAC クラウドアダプター／CZ-10FUSCQ1…別売品　機能と操作

吸収式冷凍機（ABS）編

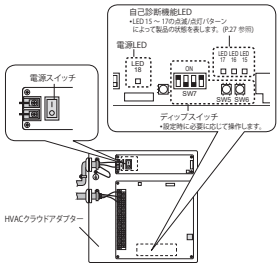
外部機器を接続するとき

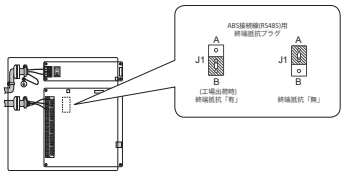
- 信号形式：無電圧a接点
- 各信号入力の配線長：20 m以内（超えるときは、リレーを使う）
- 入力端子検出のため、接点にDC5 V（約10 mA）の電圧がかかります。
- 入力端子には、外部から電圧を印加しないでください。
- 出力端子の接点許容電圧、および電流は、最大DC30 V、0.5 Aです。



設定について

- HVAC クラウドアダプターの設定には簡易設定と詳細設定があります。
- 下記を確認し、目的に合った設定方法を選んでください。
- 設定で使用するスイッチ等は、右図を参照してください。
  - 簡易設定：
    本製品起動時、製品内部のスイッチSW6を押すことで、「アダプタ設定」（P.24 ）と「空調機一覧」（P.25 ）が自動で設定されます。
    簡易設定は、本製品を接続するネットワークのIPアドレス取得方法により、手順が異なります。
    ネットワークのIPアドレス取得方法はネットワーク管理者にご確認ください。
    a）固定 IP アドレスを使用する場合
    → P.18 から実施します。
    b）DHCP から取得する場合
    → P.20 から実施します。
  - 詳細設定：
    本機につないだパソコンでブラウザを起動し、全ての設定をパソコンから行います。（P.21 ）
- 設置するネットワークのファイアウォールにおいて、下記のポートが許可されている事を確認します。
  ネットワーク管理者にご確認ください。
  TCP：443
  UDP：53, 123
- 終端抵抗
  ABS接続線の末端になる機器2台は「終端抵抗」を「有り」にしてください。
  終端抵抗は基板上のプラグJ1で切り替えることができます。
  「B」側(終端抵抗有り)で出荷しています。



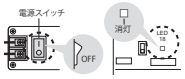


吸収式冷凍機（ABS）編

簡易設定する

簡易設定（固定IPアドレスの場合）

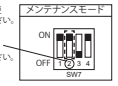
1 電源スイッチを切っていることを確認する



2 メンテナンス用のパソコンを、LAN ケーブルで HVAC クラウドアダプターに直接接続する

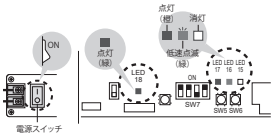


3 ディップスイッチをメンテナンスモードにする



4 電源スイッチを入れる

- 橙色LED（LED 17）が点灯、緑色LED（LED 16）が低速点滅し、緑色LED（LED 18）が点灯していることを確認してください。



- 橙色のLED（LED 17）が点灯せず、緑色のLED（LED 16）が低速点滅しない場合、「自己診断機能表と検出内容」（P.27 ）を参照してください。

5 パソコンを起動し、ネットワーク設定を以下のように設定する

IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254

6 Web ブラウザに URL「http://192.168.1.1/」を入力して、HVAC クラウドアダプターにアクセスする

- ログイン画面が表示されます。

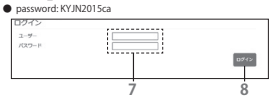


- ログイン画面が表示されないとき
  パソコンのLANポートのLEDが点滅しているか確認してください。
  点滅していない
  →LANケーブルを正しく接続してください。
  点滅している
  →手順［5］のネットワーク設定を確認してください。

7 ユーザー名とパスワードを入力する

工場出荷時のユーザー名およびパスワードは下記の通りです。

- user: ca_user
- password: KYJN2015ca



8 ログイン を選択する

お知らせ

- 連続10回ログインに失敗すると、30分間ログイン操作ができません。



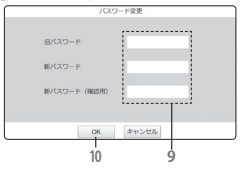
- 30分間操作しない時間が続くと、セッションタイムアウトになります。[OK]を押すとログイン画面が表示されます。



吸収式冷凍機（ABS）編

9 現在（旧）のパスワードと新しいパスワード（2 回）を入力する

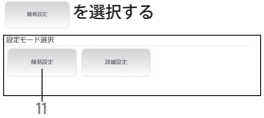
- 実際に使用するパスワードに変更してください。
  パスワードは8文字以上の半角英数字記号を入力してください。
  なお入力可能な記号は
  _(アンダースコア)、.(ドット)、-(ハイフン)のみとなります。



10 OK を選択する

- 取り消すときは キャンセル を選択してください。

11 設定モード選択メニューの 簡易設定 を選択する

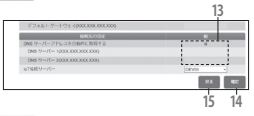


12 [DHCP 有効] のチェックマークを外し、設置するネットワークで指定された IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力する



13 [DNS サーバーアドレスを自動的に取得する] のチェックマークを外し、DNS サーバー 1 と DNS サーバー 2 の IP アドレスを入力する

■ キャンセルするには
戻る を選択する



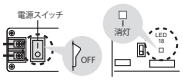
14 確定 を選択する

- 確認画面で「はい」を押すと設定項目が保存されます。
  「いいえ」を押すとキャンセルされ、ネットワーク設定画面に戻ります。

15 戻る を選択する

- 設定モード選択メニューが表示されます。

16 電源スイッチを切る



17 HVAC クラウドアダプターからパソコンを取り外す



以上で固定 IP アドレスの設定は完了です。

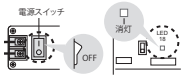
以降は、P.20 簡易設定（DHCP の場合）の手順に従って HVAC クラウドアダプターをネットワークに接続して起動してください。

吸収式冷凍機（ABS）編

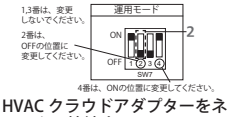
簡易設定する（つづき）

簡易設定（DHCPの場合）

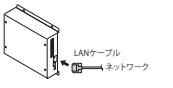
1 電源スイッチを切っていることを確認する



2 ディップスイッチが運用モードになっていることを確認する

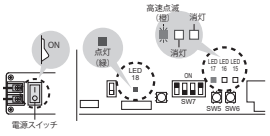


3 HVAC クラウドアダプターをネットワークに接続する



4 電源スイッチを入れる

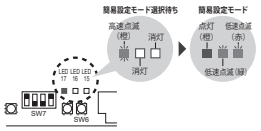
- 緑色LED（LED 18）が点灯し、しばらくして、橙色LED（LED 17）が高速点滅することを確認します。



- しばらくしても橙色LED（LED 17）が高速点滅しない場合、「自己診断機能表と検出内容」（P.27 ）を参照してください。

5 簡易設定モードで起動する

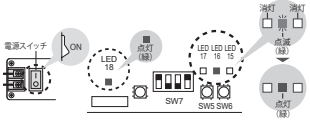
- 橙色LED（LED17）が高速点滅中は簡易設定モード選択待ちの状態ですので、10秒以内にSW6スイッチを 1 秒以上押し続けてください。
  LEDが簡易設定モードに変化したらスイッチを離してください。
  （簡易設定モード：
  橙色LED（LED 17）が点灯し、緑色LED（LED 16）と赤色LED（LED 15）が低速点滅します。）
- 10秒以内にSW6スイッチを押さないと簡易設定は行われずに運用モードで起動するので、手順［1］からやり直してください。



- 簡易設定が途中で失敗すると、LEDにエラー状態を表示して設定を中止します。
  「自己診断機能表と検出内容」（P.27 ）を参照して、エラーを確認してください。
- 簡易設定が正常に終了すると自動で運用モードで再起動し、クラウドサーバーへの接続を行います。

6 クラウドサーバーに HVAC クラウドアダプターを登録する

- クラウドサーバーの画面でHVACクラウドアダプターの登録作業を行ってください。
- 緑色LED（LED16）が、点滅から点灯に変わったら設定は完了です。



7 上部カバーを HVAC クラウドアダプターに取り付ける (P.3)

HVAC クラウドアダプター／ CZ-10FUSCQ1…別売品　機能と操作

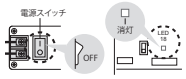
吸収式冷凍機（ABS）編

詳細設定する

■ 通常は「詳細設定」を行う必要はありません。必要な場合のみ行ってください。

設定の準備をする

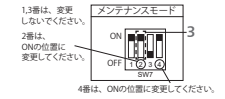
1 電源スイッチを切っていることを確認する



2 メンテナンス用のパソコンを、直接 LAN ケーブルで HVAC クラウドアダプターに接続する

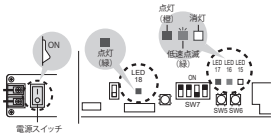


3 ディップスイッチをメンテナンスモードにする



4 電源スイッチを入れる

● 橙色LED (LED 17) が点灯、緑色LED (LED 16) が低速点滅し、緑色LED (LED 18) が点灯していることを確認してください。



● 橙色LED (LED 17) が点灯しない、および緑色LED (LED 16) が低速点滅しない場合「自己診断機能表と検出内容」(P.27) を参照してください。

5 パソコンを起動し、ネットワーク設定を以下のように設定する

IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254

6 Web ブラウザに URL「http://192.168.1.1/」を入力して、HVAC クラウドアダプターにアクセスする

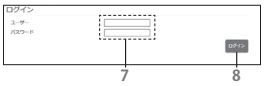
● ログイン画面が表示されます。



● ログイン画面が表示されないとき
パソコンのLANポートのLEDが点滅しているか確認してください。
点滅していない
→LANケーブルを正しく接続してください。
点滅している
→手順［5］の設定を確認してください。

7 ユーザー名とパスワードを入力する

工場出荷時のユーザー名およびパスワードは下記の通りです。
● user: ca_user
● password: KYJN2015ca



8 ログイン を選択する

お知らせ

● 連続10回ログインに失敗すると、30分間ログイン操作ができません。



● 30分間操作しない時間が続くと、セッションタイムアウトになります。[OK]を押すとログイン画面が表示されます。

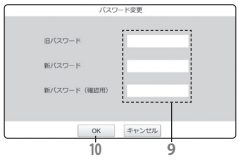


吸収式冷凍機（ABS）編

詳細設定する（つづき）

9 現在（旧）のパスワードと新しいパスワード（2 回）を入力する

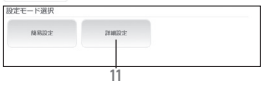
● 実際に使用するパスワードに変更してください。
パスワードは8文字以上の半角英数字記号を入力してください。
なお入力可能な記号は
_（アンダースコア）、.（ドット）、-（ハイフン）のみとなります。



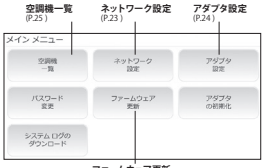
10 OK を選択する

● 取り消すときは キャンセル を選択してください。

11 設定モード選択メニューの 詳細設定 を選択する



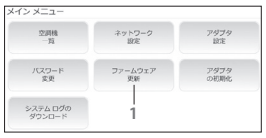
● P. 22 ～ 25 に記載の設定内容は、メインメニューで設定できます。



ファームウェア更新

HVAC クラウドアダプターの最新ファームウェアが利用可能であれば、メンテナンス用パソコンにファームウェアファイルを保存し、HVAC クラウドアダプターを更新してください。

1 ファームウェア更新 を選択する



2 選択 を選択する

● ファイル選択ダイアログからパソコン上のファームウェアファイルを選択してください。
ファームウェアファイルはテキストボックスに表示されます。



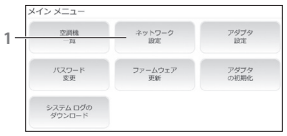
3 更新 を選択する

● HVACクラウドアダプターのアップデートが始まります。
● アップデートの途中で取り消す場合は、進行中の画面で、［キャンセル］を選択してください。
● アップデート完了後2分経過すると、ログイン画面が自動で表示されます。次の手順に移るには、再度ログインしてください。

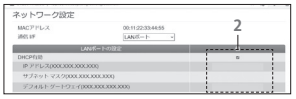
吸収式冷凍機（ABS）編

ネットワーク設定

1 ネットワーク設定 を選択する

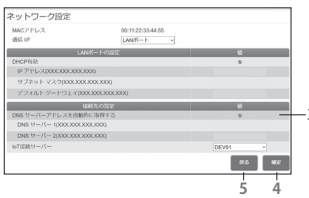


2 **■ ネットワーク環境がDHCPのとき**
[DHCP 有効] にチェックマークを入れる
■ 上記以外のとき
[DHCP 有効] のチェックを外し、HVACクラウドアダプターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力する



3 **■ DNSサーバー情報を自動取得できる環境のとき**
[DNS サーバーアドレスを自動的に取得する] にチェックマークを入れる
■ 上記以外のとき
[DNS サーバーアドレスを自動的に取得する] のチェックを外し、DNS サーバー 1 と DNS サーバー 2 の IP アドレスを入力する

● [DHCP有効]のチェックマークを外した場合、[DNSサーバーアドレスを自動的に取得する]にチェックマークを入れることはできません。
● [IoT接続サーバー]の設定は変更しないでください。



4 確定 を選択する

● 設定項目が保存されます。

5 戻る を選択する

● メインメニューが表示されます。

吸収式冷凍機（ABS）編

詳細設定する（つづき）

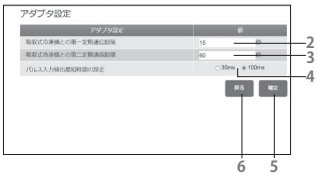
アダプタ設定

1 アダプタ設定 を選択する



2 [吸収式冷凍機との第一定期通信間隔] を入力する
（入力可能範囲：10 ～ 150 秒間）

3 [吸収式冷凍機との第二定期通信間隔] を入力する
（入力可能範囲：10 ～ 150 秒間）



4 [パルス入力検出最短時間の設定] を選択する
（30 ms または 100 ms）

5 確定 を選択する

● 設定項目が保存されます。

6 戻る を選択する

● メインメニューが表示されます。

HVAC クラウドアダプター／CZ-10FUSCQ1…別売品　機能と操作

吸収式冷凍機（ABS）編

「空調機一覧」は簡易設定モードで起動した後でないと一覧が表示されません。

空調機一覧

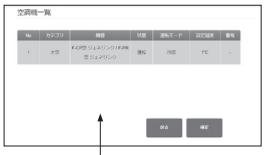
1 空調機一覧 を選択する

[初期化中… しばらくお待ちください。] と表示されたら、空調機一覧が表示されるまでお待ちください。

2 接続している全空調機が過不足なく表示されていることを確認する

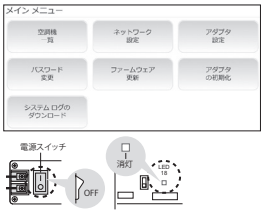
● 表示されない空調機がある/想定外の空調機が表示される場合は、配線・空調機のA85アドレス設定が正しいか確認してください。
→修正後、P.20 の簡易設定からやり直してください。



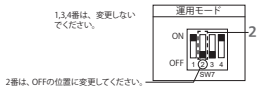


運用開始準備

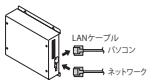
1 メインメニューが表示された状態で、電源スイッチを切る



2 ディップスイッチが、運用モードになっていることを確認する



3 HVAC クラウドアダプターからパソコンを取り外し、ネットワークに接続する



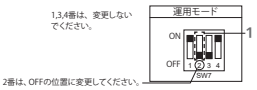
吸収式冷凍機（ABS）編

クラウドサーバーに接続する

お願い

●あらかじめクラウドサーバーの画面でHVACクラウドアダプターの登録作業を行ってください。

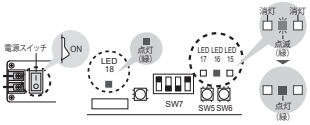
1 ディップスイッチが、運用モードになっていることを確認する



2 電源スイッチを入れる

● 電源スイッチを切ってから30 秒以上経過したことを確認してください。そのあと、電源スイッチを入れてください。

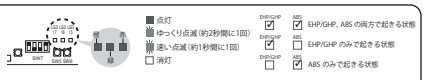
緑色 LED (LED16) が、点滅から点灯に変わったら **設定は完了です。**



3 上部カバーを HVAC クラウドアダプターに取り付ける (P.3)

自己診断機能表と検出内容

● 点滅/点灯パターン表 (LED 15~17)
下記の表とサービスマニュアルで確認してください。



■簡易設定中

LED	状態・対処	対象 EHP/GHP	対象 ABS
■ □ □	**簡易設定モード選択待ち** →10秒以内にSW6スイッチを1秒以上押すと簡易設定モードになります。	☑	☑
■ ▒ ▒	**簡易設定モード実行中** →実行完了後、運用モードで再起動します。	☑	☑
□ ▒ ■	**ネットワークに接続されていません** →ネットワーク設定およびLANケーブルの接続を確認してください。	☑	☑

LED	状態・対処	対象 EHP/GHP	対象 ABS
■ ▒ ■	**ファイアウォール通過失敗** →ファイアウォールで許可されているポートを確認してください。(P.5)	☑	☑
■ ▒ ▒	**サポート台数超過** →空調機が11台以上接続されています。	☐	☑
▒ ▒ ■	**構成異常** →空調機との接続を確認してください。空調機の集中制御アドレスが重複していないか確認してください。	☑	☐
□ ■ □	**内部異常** →HVACクラウドアダプターの電源を切り、当社の販売／サービス店または認定ディーラーにお問い合わせください。	☑	☑

■運用モード中

LED	状態・対処	対象 EHP/GHP	対象 ABS
■ ▒ □	**HVACクラウドアダプターがメンテナンスモードになっています** →メンテナンス後は運用モードに変更してください。	☑	☑
□ ▒ □	**HVACクラウドアダプターが起動中です** →起動が完了するまでお待ちください。ネットワークに接続後、40分経過しても起動が完了しない場合は、当社の販売／サービス店または認定ディーラーにお問い合わせください。	☑	☑
□ ■ □	**サーバーに接続しました**	☑	☑
□ ▒ ▒	**サーバーと認証中、またはサーバーに接続できない状態です** →30分以上続く場合には、HVACクラウドアダプターをメンテナンスモードで再起動し、ネットワーク設定に誤りがないか確認してください。(P.23) 設定に誤りがない場合は当社の販売／サービス店または認定ディーラーにお問い合わせください。	☑	☑
▒ ■ □	**クラウドサーバーから遠隔構成スキャンを実行中** →緑色LEDだけが点灯に変わったら、遠隔構成スキャンは終了です。	☑	☐

LED	状態・対処	対象 EHP/GHP	対象 ABS
▒ ▒ ■	**認証情報取得失敗** →クラウドサーバーからの認証情報取得に失敗しました。 当社の販売／サービス店または認定ディーラーにお問い合わせください。	☑	☑
□ ▒ ▒	**通信異常** →空調機とHVACクラウドアダプター間のABS接続線に異常がないか確認してください。	☐	☑
▒ ▒ ▒	**通信異常** (Link1・2両方) →空調機とHVACクラウドアダプター間の室内外操作線に異常がないか確認してください。(Link1・2両方)	☑	☐
□ ■ ▒	**通信異常** (Link1のみ) →空調機とHVACクラウドアダプター間の室内外操作線に異常がないか確認してください。(Link1のみ)	☑	☐
■ ▒ ▒	**通信異常** (Link2のみ) →空調機とHVACクラウドアダプター間の室内外操作線に異常がないか確認してください。(Link2のみ)	☑	☐
□ □ ■	**内部異常** →HVACクラウドアダプターの電源を切り、当社の販売／サービス店または認定ディーラーにお問い合わせください。	☑	☑
■ □ ■	**メモリーカード異常** →HVACクラウドアダプターの電源を切り、当社の販売／サービス店または認定ディーラーにお問い合わせください。	☑	☑
▒ ▒ ■	**緊急停止装置作動** →緊急停止信号が入力されました。 当社の販売／サービス店または認定ディーラーにお問い合わせください。	☐	☑
□ ▒ ▒	**構成情報不一致** →サーバーの構成情報と一致しません。 HVACクラウドアダプターの電源を切り、当社の販売／サービス店または認定ディーラーにお問い合わせください。	☑	☑

仕様

品番	CZ-10FUSCQ1
外形寸法	（高さ）255 mm ×（幅）275 mm ×（奥行き）80 mm
質量	1.9 kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20% ～ 80%（結露なきこと）
定格電圧・周波数	単相 AC100 ～ 240 V・50/60 Hz
消費電力	最大 15 W
EHP/GHP の場合 1 リンクあたりの 接続可能台数 *1 *3	下記の合計台数が 100 台まで 室内ユニット：64 台まで *2 室外ユニット：30 台まで 集中制御機器：10 台まで
ABS の場合 接続可能台数 *3	吸収式冷凍機：10 台まで (ガス流量計を使用する場合は 5 台まで)

＊1：最大接続可能台数は次の通りです。（最大 2 リンク接続可能）
　室内ユニット 128 台、室外ユニット 60 台
＊2：オン／オフ制御用ローカルアダプター、RAC ローカルアダプターの台数を含む。
＊3：HVAC クラウドアダプターには EHP/GHP と ABS を同時に接続できません。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3)GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(4)GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5)GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ～ (5) に分類されるソフトウェアは、それら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、付属の DVD-ROM に含まれるライセンス条件をご参照ください。

また、その DVD-ROM には、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードと著作権者の情報が収録されています。

Printed in Japan
DC0922-31024
ACXF60-48243

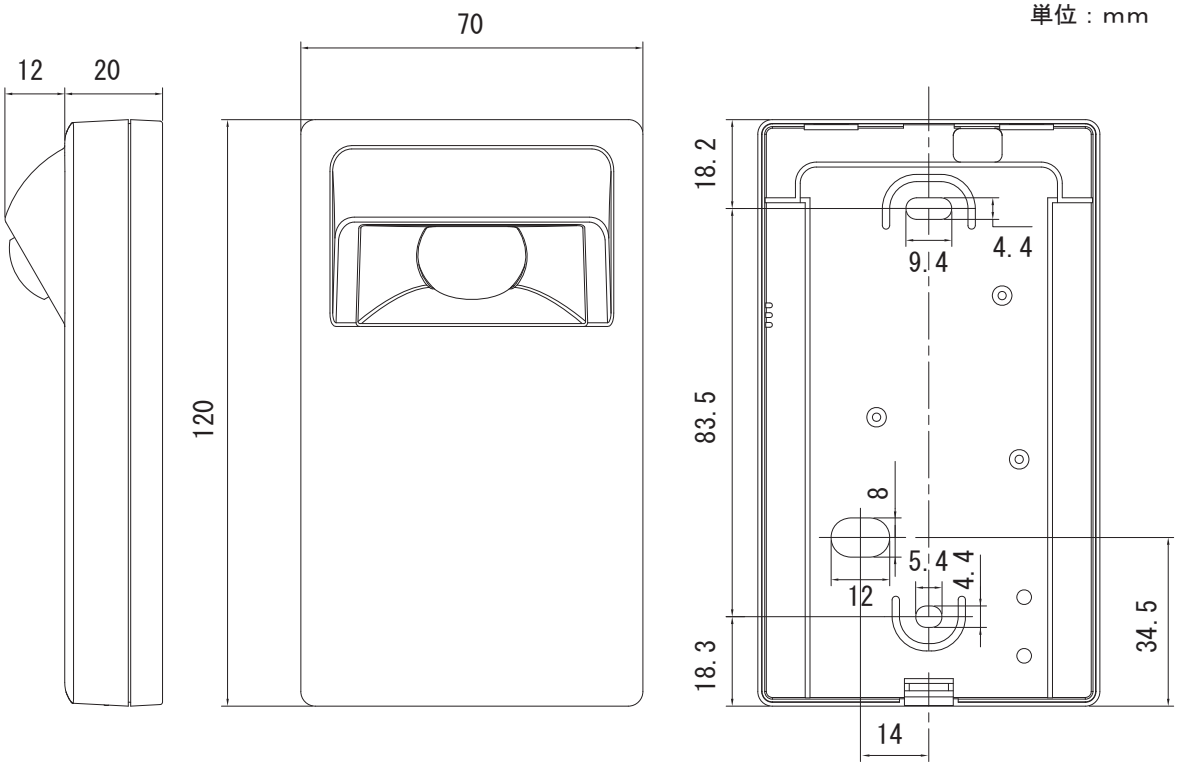
エコナビセンサー（壁設置形）／ CZ-CSEN1…別売品　仕様

仕様

品番	CZ-CSEN1
外形寸法	（高さ）120 mm ×　（幅）70 mm ×　（奥行き）20 ＋ 12 mm
質量	75 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続台数	ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー 1 台

●外形寸法図

単位：mm



エコナビセンサー（壁設置形）／ CZ-CSEN1…別売品　機能と操作

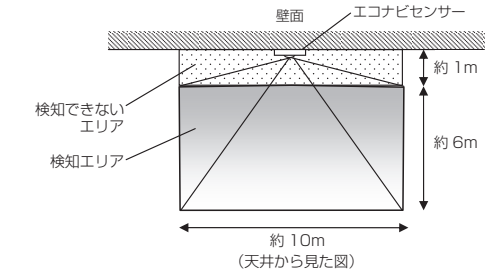
各部の名前

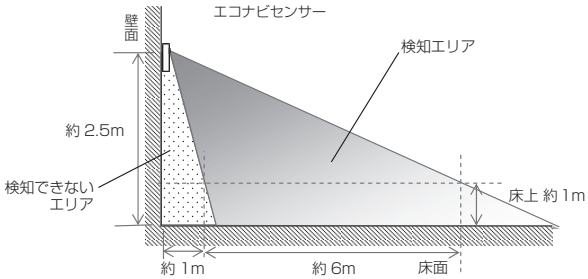


お知らせ
- 人感センサーは熱の移動を検知するため、人だけでなく高温の動く物体も検知します。（例えば、動物の移動、赤外線ヒーターの首振り運転など）
- 人感センサーは以下のような場合に人を検知できないことがあります。
  - 人の動きが小さい場合
  - 肌の露出が少ない場合
  - 室温が３０℃以上になる場合
  - 人感センサーに油汚れやすす、ほこり、傷などが付着している場合

エコナビセンサーの検知エリア（目安）

設置した壁面から約 1m 以内にいる人物は検知できません。





お知らせ
- エコナビセンサーから遠ざかるほど、人を検出するには大きな動作が必要になります。
- エコナビセンサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。

3　4

操作のしかた（各機能の設定方法）

お使いのリモコンの取扱説明書をご確認ください。

お知らせ
- お使いのリモコンの取扱説明書にエコナビ機能 / 風あて風よけ機能 / 外部機器連動機能の各説明の記載がない場合、お使いのリモコンはその機能に対応していません。
- 本エコナビセンサーはサーキュレート機能には対応していません。

エコナビ機能の概要

エコナビセンサーで人の活動量を計り、人の活動量に応じて機器が省エネ運転を行います。

人の活動量が多い場合



- **冷房・ドライ時**
  設定温度で運転します
- **暖房時**
  設定温度より温度を低くして運転します。

人の活動量が少ない場合



- **冷房・ドライ時**
  設定温度より温度を高くして運転します。
- **暖房時**
  設定温度で運転します

人が不在の場合



※ 不在運転モード中に人を検知した場合、人の活動量に応じた運転状態に戻ります。

<u>不在が約 20 分継続した時</u>
- **冷房・ドライ時**
  人の在室時より、更に温度を高くして運転します。
- **暖房時**
  人の在室時より、更に温度を低くして運転します。

<u>不在が約 1 時間継続した時</u>
- 指定した不在運転モードで運転します。出荷設定は、設定温度を抑制した省エネ運転のまま継続します。
  （不在運転モードについては、お知らせ（P.7）をご覧ください）

⚠ 警告　必ず守る

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

5　6

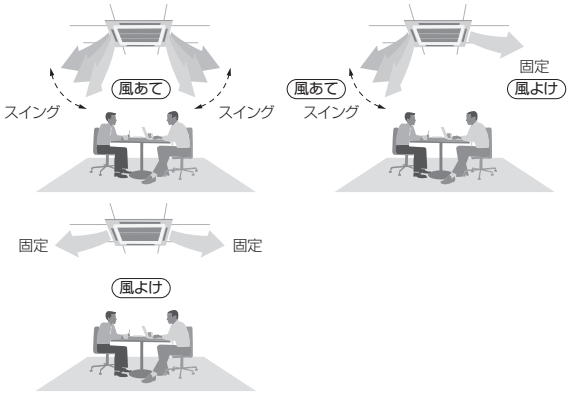
エコナビセンサー（壁設置形）／ CZ-CSEN1…別売品　機能と操作

「風あて」「風よけ」機能の概要

エコナビセンサーで人を検知し、人がいる時に人に風をあてる制御「風あて」または人に風をあてない制御「風よけ」を行います。

●風あて
人がいる場合　：冷房 / ドライ / 暖房時に、人がいる周辺に風を上下にスイングさせます。
人がいない場合：設定風向に従い動きます。

●風よけ
人がいる場合　：フラップを水平方向にして、人に風があたらないようにします。
人がいない場合：設定風向に従い動きます。



お知らせ
●風あて / 風よけ機能の設定を行うには、風あて / 風よけ機能に対応したリモコンが必要です。
●エコナビ機能がオンの場合のみ、風あて / 風よけ機能が動作します。
●風あて / 風よけ機能は、室内ユニットのフラップごとにリモコンで設定可能です。（エコナビ対応の風あて･風よけ機能のある室内ユニットのみ）
●本機能は、空調機からの風が人にあたること / あたらないことを保証するものではありません。
●風あて / 風よけ機能の設定方法については、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

お知らせ
●エコナビ機能の設定を行うには、エコナビ機能に対応したリモコンが必要です。
●エコナビ機能のオン / オフはリモコンで設定可能です。
●エコナビセンサーが不在を検知してから不在運転を開始するまでの時間（出荷設定:1 時間､30 分間隔で 30 分～ 180 分に変更可能）はリモコンで設定可能です。
●不在運転モードはリモコンで以下の4つから選択可能です。
①設定なし……設定温度を抑制した省エネ運転を継続します。人を検知すると人の活動量に応じた運転に戻ります。＜出荷設定＞
②スタンバイモード……冷房・ドライ / 暖房運転を休止し、送風（微風）のみの運転を行います。人を検知すると人の活動量に応じた運転に戻ります。
③停止モード（再運転しない）‥運転を停止します。停止後は人を検知しても運転を再開しません。
④停止モード（再運転する）‥‥運転を停止します。停止後も人を検知すると運転を再開し、人の活動量に応じた運転に戻ります。
●エコナビ機能によって目標温度が変更されても、リモコンに表示される設定温度は変化しません。
●不在運転（スタンバイモード）により送風運転に切り換わっても、リモコンに表示される運転モードは変化しません。
●室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。
●エコナビ機能の設定方法については、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

7　8

外部機器連動機能の概要

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容
●人感センサー出力に連動 (警報とは連動しません)
人の在→不在の変化を検知時 ： 外部機器の運転をオフします。「不在検知時間設定」の時間を変更することで、運転オフのタイミングを変更することができます。
人の不在→在の変化を検知時 ： 外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動(エアコン連動)
室内ユニットが運転時 ： 外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時 ： 外部機器の運転をオフします。

●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ： 外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時 ： 外部機器の運転をオフします。

お知らせ
●外部機器連動の設定方法についてはリモコンの取扱説明書をご確認ください。
●外部機器連動機能の有効 / 無効はリモコンで設定可能です。
●不在を検知してから外部機器の運転をオフするまでの時間（出荷設定：0 分）は、リモコンで設定可能です。（0 分～ 60 分、1 分間隔）
●外部機器連動の設定を行うには、外部機器連動機能に対応したリモコンが必要です。

お願い
●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。
●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

9　10

お手入れのしかた

人感センサーが汚れた場合は乾いた柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、布に水で薄めた中性洗剤を含ませ、よく絞ってから拭いてください。その後、乾いた柔らかい布で拭いてください。

お願い
●ベンジンやシンナー、化学雑巾などで拭かないでください。(変色や変形の原因)
●40℃以上のお湯で水拭きしないでください。(変色や変形の原因)

エコナビセンサー（壁設置形）／ CZ-CSEN1…別売品　機能と操作

故障かな？

症状	原因・対応
人を検知できない	●人感センサーの前に物がありませんか？ ・検知の妨げにならない位置に物を移動させてください。
	●熱の動きや温度変化を検知して人がいると判断しています。下記の場合には人がいないと判断することがあります。 ・人の温度と室内温度の差が小さい。 ・人感センサーから離れている。 ・肌の露出が少ない。
	●人感センサーが汚れていませんか？ ・人感センサーをきれいな柔らかい布で拭いてください。
リモコン画面に「**エコナビ点検**」が点滅表示される	●エコナビセンサーが故障しているか、もしくは正しく設置されていません。 ・リモコンでエコナビ機能をオフにし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
リモコン画面に ECONAVI が表示されない	●室内ユニットが停止していませんか？ ・一時的に室内ユニットを運転状態にして表示をご確認ください。
	●運転モードが送風になっていませんか？ ・一時的に送風以外の運転モードにして、表示をご確認ください。
	●エコナビ機能がオフになっていませんか？ ・リモコンでエコナビ機能をオンにしてください。
	●リモコンがエコナビ機能に対応していない可能性があります。 ・リモコンの取扱説明書にエコナビ機能の記載がなければ、そのリモコンはエコナビ機能に対応していません。お買い上げの販売店にご連絡ください。
	●室内ユニットがエコナビ機能に対応していない可能性があります。 ・リモコンを操作しても症状が変わらない場合は、室内ユニットがエコナビ機能に対応していません。お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？

症状	原因・対応
「風あて」設定後も風があたらない	●人感センサーが人を検知していない可能性があります。 ・症状「人を検知できない」の項目をご確認ください。
	●個別風向固定設定により「風あて」が無効化されている可能性があります。 ・リモコンで個別風向固定設定を解除してください。
	●場所によって風があたらない場合があります。（本機能は風があたることを保証するものではありません。） ・この場合は、フラップ位置を風のあたる方向に固定することをお勧めします。
「風よけ」設定後も風があたる	●人感センサーが人を検知していない可能性があります。 ・症状「人を検知できない」の項目をご確認ください。
	●個別風向固定設定により「風よけ」が無効化されている可能性があります。 ・リモコンで個別風向固定設定を解除してください。
	●場所によって風があたる場合があります。（本機能は風があたらないことを保証するものではありません。） ・この場合は、フラップ位置を風のあたらない方向に固定することをお勧めします。
外部機器連動設定後も外部機器が人感センサーに連動しない	●人感センサーが人を検知していない可能性があります。 ・症状「人を検知できない」の項目をご確認ください。
	●外部機器連動のモードがエアコン連動に設定されている可能性があります。 ・リモコンでセンサー連動モードに変更してください。（リモコンの取扱説明書 参照）
	●人がいなくなってから人感センサーが不在判定するまでに2～5分かかります。
	●人感センサーが不在判定してから外部機器の運転がオフするまでの時間が長く設定されている可能性があります。 ・上記時間をリモコンで 0 分に設定してください。（リモコンの取扱説明書 参照）0 分に設定しても、人感センサーが不在判定するまでの時間（2～5分）はかかります。

仕様

品番	CZ-CSEN1
外形寸法	(高さ) 120mm × (幅) 70mm × (奥行き) 20+12mm
質量	75g
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80%（屋内設置専用）
電源	DC16V（室内ユニットより供給）
接続台数	ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー 1 台

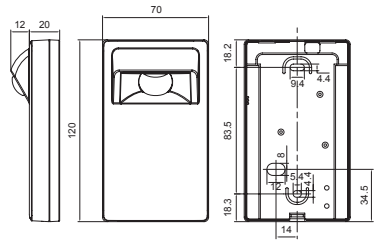
Printed in China
DC0515-40423
ACXF55-17983

エコナビセンサー（壁設置形）／ CZ-CSEN1…別売品　施工

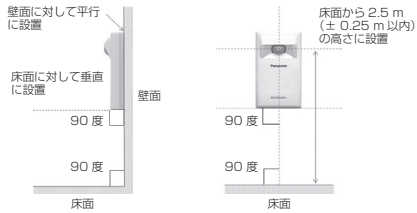
設置上のご注意

外形寸法

単位：mm



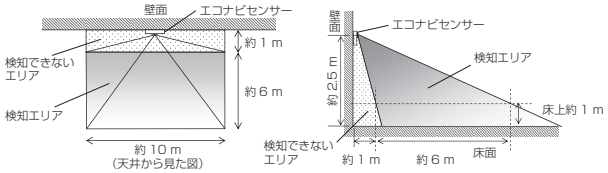
設置場所など



エコナビセンサーは、コントロールする空調機の気流が届く範囲に設置することを推奨します。

検知エリアの目安

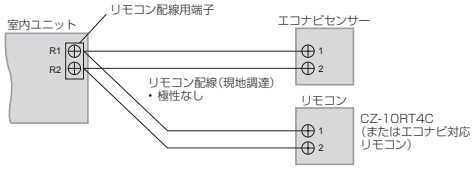
設置した壁面から約 1 m 以内にいる人物は検知できません。



設置上のご注意（続き）

リモコン配線（エコナビセンサーの配線の仕方）

■配線図



■配線の種類

- ●柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm^2 のケーブルを使う。
- ●単線は使わない。
- ●シース部含む絶縁物の厚みが 1 mm 以上ある配線を使う。
- ●推奨品※（　）内：エコ電線
  - ・VCTF（EM-ECTF）
  - ・VCT（ECO120）

※エコ電線について：　紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

■総配線長

500 m 以内（エコナビセンサー配線とリモコン配線の総配線長）
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m 以内）

■室内グループ接続可能台数

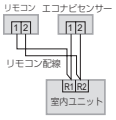
エコナビセンサー：1 個
リモコン　CZ-10RT4C（またはエコナビ対応リモコン）：1 個
室内ユニット：最多 8 台

エコナビセンサーは、CZ-10RT4C（またはエコナビ対応リモコン）と併用する必要があります。
CZ-10RT4C（またはエコナビ対応リモコン）の接続は、CZ-10RT4C（またはエコナビ対応リモコン）に付属の据付工事説明書を参照ください。

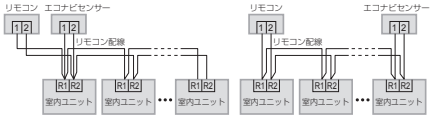
お願い

- ●誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- ●電源配線などと一緒により合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）

■室内ユニットが 1 台のとき



■室内ユニットが複数台のとき

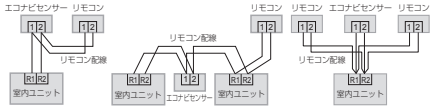


お知らせ

- ●どの室内ユニットにリモコンやエコナビセンサーを接続しても、動作します。

■以下のような構成では接続できません。

- ・リモコンやエコナビセンサーでわたる配線は禁止です。
- ・ひとつの室内グループにエコナビセンサーとリモコンは 1 台ずつしか接続できません。

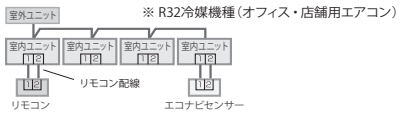


グループ制御（リモコンわたり配線）について

- ●R32 冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- ●冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- ●R410A 冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。

※ 6 シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

■同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

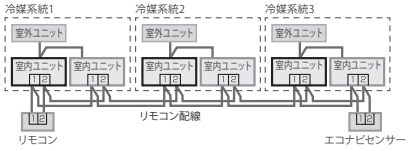


お知らせ

- ●どの室内ユニットにリモコンやエコナビセンサーを接続しても、動作します。

設置上のご注意（続き）

■複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



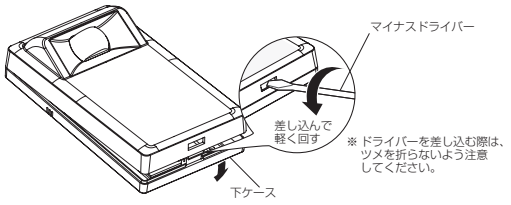
お願い

- ●どの室内ユニットにリモコンやエコナビセンサーを接続しても、動作します。

エコナビセンサー（壁設置形）／ CZ-CSEN1…別売品　施工

取り付ける

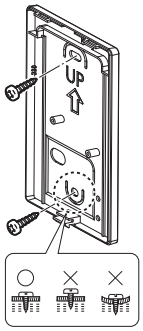
1 **下ケースをはずす**



（お願い）

下ケースを取り付けるとき（P.8 ❶参照）
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。
  （上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
  （下ケースの変形による、落下の原因）

リモコン配線を接続するとき
- 余分な配線をケースに収納しないでください。
  （配線はさみ込みによる故障の原因）
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
  （配線はさみ込みによる故障の原因）



取り付ける（続き）

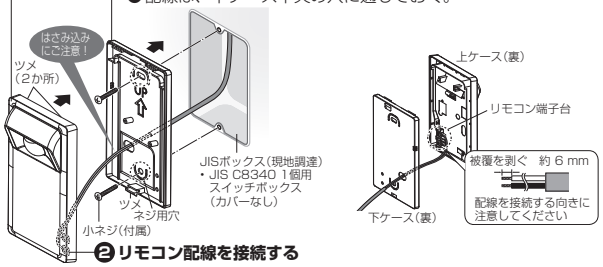
2 **壁に取り付ける**

埋込型の場合

- あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示す JIS ボックス（現地調達）に取り付けてください。

❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースを JIS ボックスに取り付ける
- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。



❷ リモコン配線を接続する

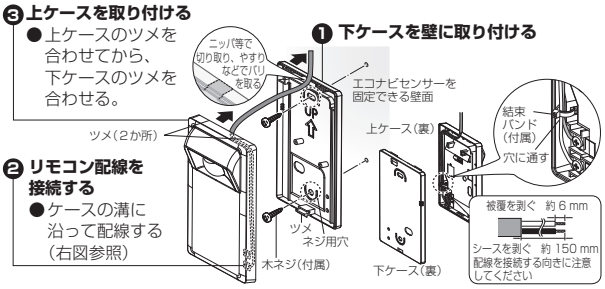
露出型の場合

- エコナビセンサーが固定できる壁面に取り付けてください。

❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースを壁に取り付ける

❷ リモコン配線を接続する
- ケースの溝に沿って配線する（右図参照）



設定する（CZ-10RT4C の場合）

エコナビシステム設定

エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
※エコナビ機能を使用するには、室内ユニットの親機がエコナビ機能に対応している必要があります。

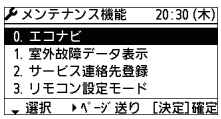
1 **3つのボタンを押す**

戻る +決定+▶ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。



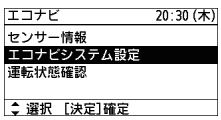
2 **「0. エコナビ」を選ぶ**

▲ / ▼ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定ボタンを押してください。



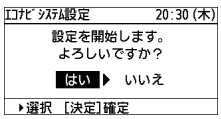
3 **「エコナビシステム設定」を選ぶ**

▲ / ▼ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、決定ボタンを押してください。



4 **設定を開始する**

◀ / ▶ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押してください。



5 **設定完了後、システムが自動的に再起動します**

設定する（CZ-10RT4C の場合）（続き）

6 **エコナビが設定されたか確認する**

右図のように ECONAVI が表示されます。
- ※運転中の画面になっていない場合は、運転 / 停止ボタンを押して、運転状態にしてください。
- ※運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。送風以外の運転モードにしてください。

エコナビ設定中です。



（お知らせ）

- 手順 **2**（P.9）の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説明
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「0. エコナビ」を選択してください。約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、自動アドレスを行った後「0. エコナビ」を選択してください。

- 手順 **3**（P.9）の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説明
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

エコナビセンサー（壁設置形）／ CZ-CSEN1…別売品　施工

試運転する(CZ-10RT4C の場合)

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器(電源)を入れてください。
電源投入後の約 90 秒間は、エコナビセンサーは初期設定中のため、人の検出を行いません。

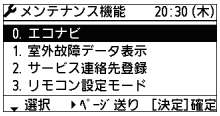
1　3つのボタンを押す

戻る+決定+▶ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。



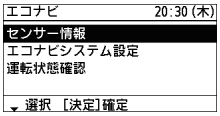
2　「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定ボタンを押してください。



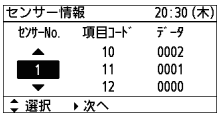
3　「センサー情報」を選ぶ

▲ / ▼ボタンで「センサー情報」を選択し、決定ボタンを押してください。



4　センサー No.1 の項目コード 11 と 12 のデータを確認する

① ▲ / ▼ボタンでセンサー No.1 を選択してください。
② ◀ / ▶ボタンで項目コードを選択してください。
③ ▲ / ▼ボタンで項目コード 11 と 12 を選択してください。



試運転する(CZ-10RT4C の場合)（続き）

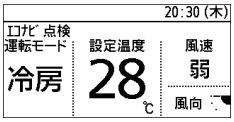
項目コード	説　明
11	・データはエコナビセンサーの状態を表します。 0000：エコナビセンサーが接続されていません。 0001：人を検出できる状態です。 0002：初期設定中です。(人を検出できません。) 電源投入から約 90 秒で初期設定が完了します。 0003：複数台のエコナビセンサーが接続されています。 ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー 1 台のみ接続可能です。 0004：人感センサーが故障しています。 ・データは 30 秒ごとに自動で更新されます。
12	・データは 30 秒間に人を検出した回数を表します。 ・データは 30 秒ごとに自動で更新されます。

＜人感センサーの動作確認＞

手順 1　項目コード 11 のデータが 0001 になっていることを確認する。
手順 2　人感センサーに人を検知させる。
・人感センサーの前で 10 秒程度手をふる。
手順 3　手順 2 から 30 秒以内に項目コード 12 のデータが 1 以上になることを確認する。
手順 4　人感センサーに人を検知させない。
・人感センサーをエコナビセンサーの梱包箱で覆う。
・梱包箱で覆うことが困難な場合は、人感センサーの検知エリアから人、動物など(検知対象となるもの)を除外する。
※ エコナビセンサーの検知エリア内にリモコンがある場合、検査者は体等を動かさないようにして、リモコン表示を確認すること。
手順 5　しばらくして、項目コード 12 のデータが 0 になることを確認する。
(待ち時間の目安：30 秒～2分)

自己診断(CZ-10RT4C の場合)

リモコン画面に「エコナビ点検」が表示されたら、エコナビセンサーを再起動してください。
(漏電しゃ断器(電源)を切り、エコナビセンサーの配線をリモコン配線用端子からはずして再接続します。)
再度、「エコナビ点検」が表示されたら、以下の点をご確認ください。



症　　状	原因・対応
「エコナビ点検」の表示が消えた場合	●エコナビセンサーをそのままお使いいただけます。
「エコナビ点検」の表示がしばらく消えるが、また再点灯する場合	●室内ユニットとエコナビセンサー間の配線が断線している、または故障している可能性があります。 ・リモコンでエコナビ機能をオフにし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
「エコナビ点検」の表示が消えない(継続する)場合	

外部機器連動機能(CZ-10RT4C の場合)

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれかひとつを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動 (警報とは連動しません)
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「不在検知時間設定」(P.15)の遅延が可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。
●運転信号出力に連動(エアコン連動)
室内ユニットが運転時 ： 外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時 ： 外部機器の運転をオフします。
●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ： 外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時： 外部機器の運転をオフします。

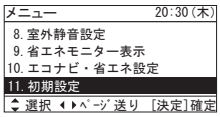
1　メニュー画面を出す

メニューボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。



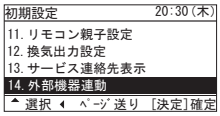
2　「初期設定」を選ぶ

▲ / ▼ボタンで「初期設定」を選択し、決定ボタンを押してください。



3　「外部機器連動」を選ぶ

▲ / ▼ボタンで「外部機器連動」を選択し、決定ボタンを押してください。



4　パスワードを入力する(パスワード設定時)

▲ / ▼ボタンで数字を選択し、▶ボタンで次の桁に移行します。(繰り返す)
入力が完了したら決定ボタンを押してください。
※パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が表示されたら決定ボタンを押してください。



エコナビセンサー（壁設置形）／ CZ-CSEN1…別売品　施工

5 **「外部機器連動設定」が「無効」の場合**

決定ボタンを押してください。
▲ / ▼ボタンで「有効」を選択し、
決定ボタンを押してください。



「外部機器連動設定」が「有効」の場合

外部機器連動機能が有効のとき、「モード」「不在検知時間設定」を表示します。

6 **設定・確認する**

「モード」の設定・確認する場合

▲ / ▼ボタンで「モード」を選択し、決定ボタンを押してください。

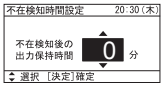


▲/▼ボタンで選択し、決定 ボタンを押してください。

- 人感センサー連動モード　エコナビセンサーの在・不在出力に連動します。
- エアコン連動モード　エアコンの運転 / 停止出力に連動します。
- サーモON連動モード　エアコンのサーモ ON/OFF 出力に連動します。

「不在検知時間設定」の設定・確認する場合

▲ / ▼ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、決定ボタンを押してください。



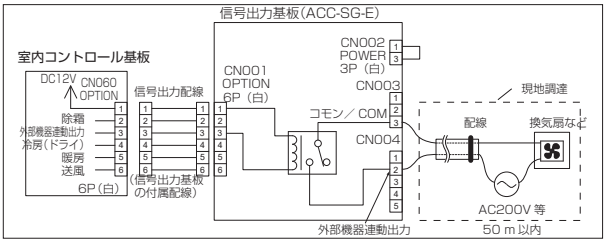
運転オフのタイミングを変更することができます。
▲/▼ボタンで0~60分の間で1分刻みに設定可能です。
設定後、決定 ボタンを押してください。

メニュー ボタンを 2 回押して終了してください。

外部機器連動機能（CZ-10RT4C の場合）（続き）

■配線例

信号出力基板（(ACC-SG-E)、別売品) を使用した連動システム例
※室内ユニットにより接続方法が異なるため、信号出力基板（ACC-SG-E) の据付工事説明書を参照下さい。



お願い

- 空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。
- 空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
  停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

品番	CZ-CSEN1
外形寸法	（高さ）120 mm × （幅）70 mm × （奥行き）20 + 12 mm
質量	75 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続台数	ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー 1 台

Printed in China
DC0419-20723
ACXF60-36982
F616845

遠隔操作（T10 端子）

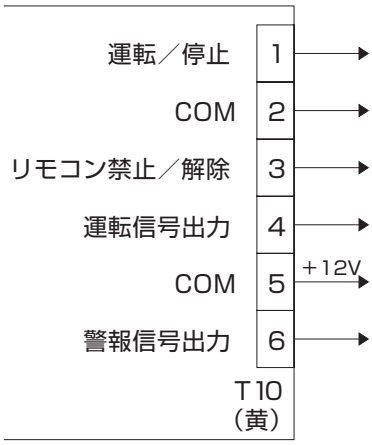
■ 遠隔操作（室内ユニットと遠隔監視とのインターフェイスケーブル）

●フレキ制御の場合、いずれの室内ユニットに接続しても動作します。

（1）制御項目

①運転／停止入力……ユニットの運転停止
②集中／個別切換……集中（リモコン禁止）、個別（リモコン許可）の選択
③運転信号……運転中の出力（警報時は出力しません）
④警報信号……警報（シリアル通信異常、室内外保護装置）動作中の出力

（2）制御内容



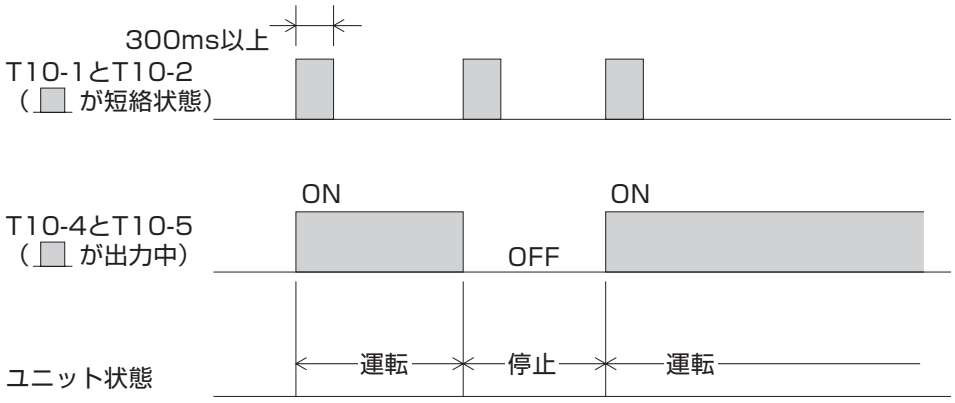
◎T10-1とT10-2…瞬時短絡（300ms以上）しますと、短絡時毎に現在の状態が反転します。
（リレー回路を組まれる場合は500ms以上を基本としてください。）

◎T10-2とT10-3…短絡時リモコンでの運転／停止の禁止
オープン時リモコンでの運転／停止許可

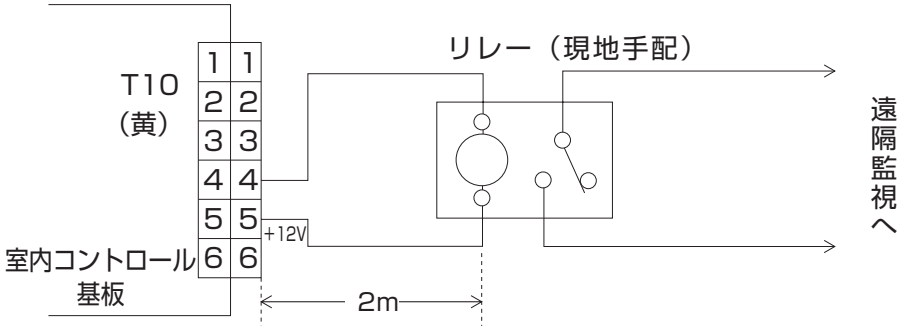
◎T10-4とT10-5…運転信号の出力

◎T10-5とT10-6…警報信号の出力

●T10端子は1つのため、他の接続機器との併用はできません。



（3）配線例（運転信号を遠隔監視で使用）



注1）本品は、室内コントロール基板とリレーまでの配線となります。配線長は、2mです。
　　6Pプラグ付きリード線（サービスパーツ扱い：部品コード ／ CV 623 182 1650）
注2）ダイオード内蔵形リレーを使用しないでください。

遠隔操作（切り忘れ防止・デマンドコントロール）

■ 切り忘れ防止制御

〔機能〕

●室内ユニットを個別に制御する方法です。室内ユニットのコントロール基板に配線接続します。
●グループ制御の場合、室内ユニット（コントロール基板）に配線接続し、接続した室内ユニットに項目コード２Eを設定します。
●外部からの運転操作が不要で、停止操作が必要な場合に使用できます。
●カードスイッチボックス、カード錠等を使用すると室内ユニットの切り忘れを防止できます。
・カードを入れると、手元リモコンで発停操作を許可します。
・カードを抜くと、室内ユニットが運転している場合には停止し、手元リモコンの発停操作を禁止します。
・室内コントロール基板上のジャンパーJP1（JP001）をカットしてはいけません。

（1）制御項目

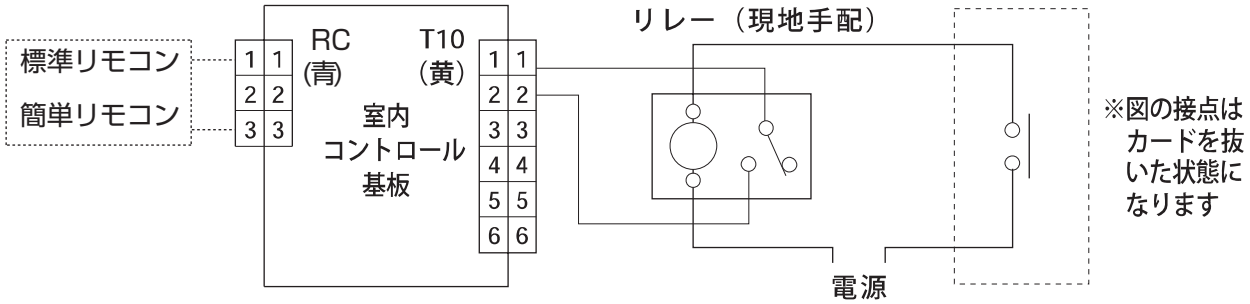
①外部接点が　ON：手元リモコンからの発停操作を許可
（カードスイッチボックスにカードを入れた状態）
②外部接点が　OFF：室内ユニットが運転している場合は強制停止（手元リモコン発停禁止）
（カードスイッチボックスからカードを取り出した状態）
※上記の接点動作にならないカードスイッチボックスの場合には、ｂ接点つきのリレーで変換してください。

（2）操作

ワイヤードリモコンスイッチを次の手順で操作してください。※停止中に行なってください。

❶ 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを４秒間以上押します。
↓
❷ 温度設定 △／▽ ボタンで項目コード2Eを指定します。
↓
❸ タイマー時間 ▲／▼ ボタンで設定データを0001にします。
↓
❹ セット ボタンを押します。
↓
❺ 点検 ボタンを押します。（通常の停止状態になります）

（3）配線



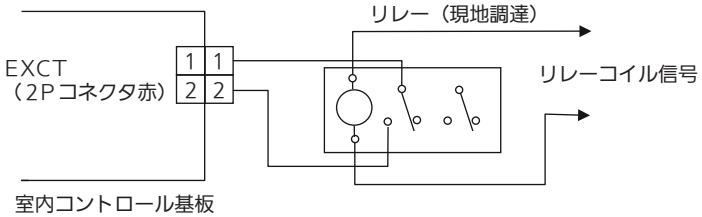
外部接点（カードスイッチボックス等：現地手配）

注） 室内コントロール基板とリレーまでの配線長は2m以内にしてください。
６Ｐプラグ付きリード線（サービスパーツ扱い：部品コード／ CV 623 176 6814）

■ デマンドコントロール

●配線例

室内ユニット

EXC Tコネクタ（EXC T）	２Ｐコネクタ（赤）／デマンドコントロールに利用できます。 入力があると強制的にサーモOFFします。 ●配線例　※２Ｐソケット付リード線（サービスパーツ扱い：部品コード／CV6231744263）  注）室内コントロール基板とリレーまでの配線長は２m未満にしてください。

遠隔操作（換気扇・JEMA）

■ リモコンからの換気扇操作

〔機能〕

●システム内に全熱交換器や換気扇をつけ、ワイヤードリモコンで運転、停止ができます。
●室内ユニットを運転しない場合でも、換気扇の運転が可能です。
●無電圧Ａ接点を外部入力信号として受けられる換気扇を使用してください。
●グループ制御の場合は、一括での操作になり、個別には操作できません。

（1）操作

ワイヤードリモコンスイッチを次の手順で操作してください。※停止中に行なってください。
※必ず親機に設定してください。（グループ制御時も同じ）
※グループ制御の場合は親機に設定しますと、親機子機共同時に操作可能になります。

❶ 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを４秒以上同時に押します。
最初に表示される、ユニットNo.はグループ制御の親機の室内ユニットアドレスです。
⬇ この時、選択されている室内ユニットのFANがONします。

❷ ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNo.を順次表示します。
この時、選択されている室内ユニットのみFANがONします。
⬇

❸ 温度設定△／▽ボタンで項目コード「3」を指定します。
⬇

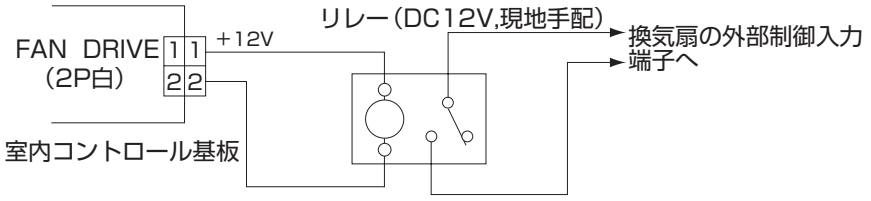
❹ タイマー時間▲／▼ボタンで設定データを選択します。
（出荷時：0000になっています）設定データは次のようになっています。
⬇

設定データ	全熱交換器もしくは換気扇の運転操作
0000	使用出来ない「連動」（出荷時）
0001	使用出来る

❺ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればOK）
・選択している室内ユニットを変更したい場合は❷へ
⬇ ・設定する項目を変更したい場合は❸へ

❻ 点検 ボタンを押すと通常の停止状態になります。

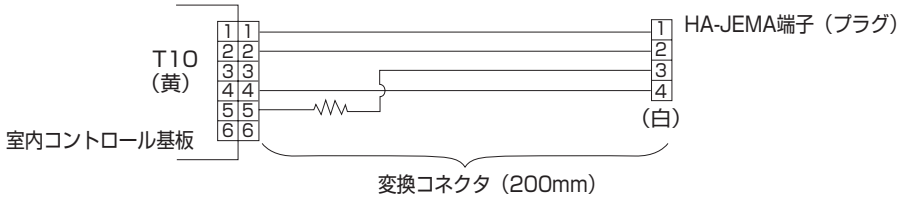
（2）配線



注1）室内コントロール基板とリレーまでの配線長は２m以内にしてください。
※2Pプラグ付きリード線（サービスパーツ扱い：部品コード／ CV 623 162 4435）
注2）ダイオード内蔵形リレーを使用しないでください。

■ JEMA（日本電機工業会）標準HA端子－A

HA端子を使用する場合は別売の変換コネクタが必要になります。
変換コネクタは片側のコネクタを室内コントロール基板上のT10端子に接続して使用します。



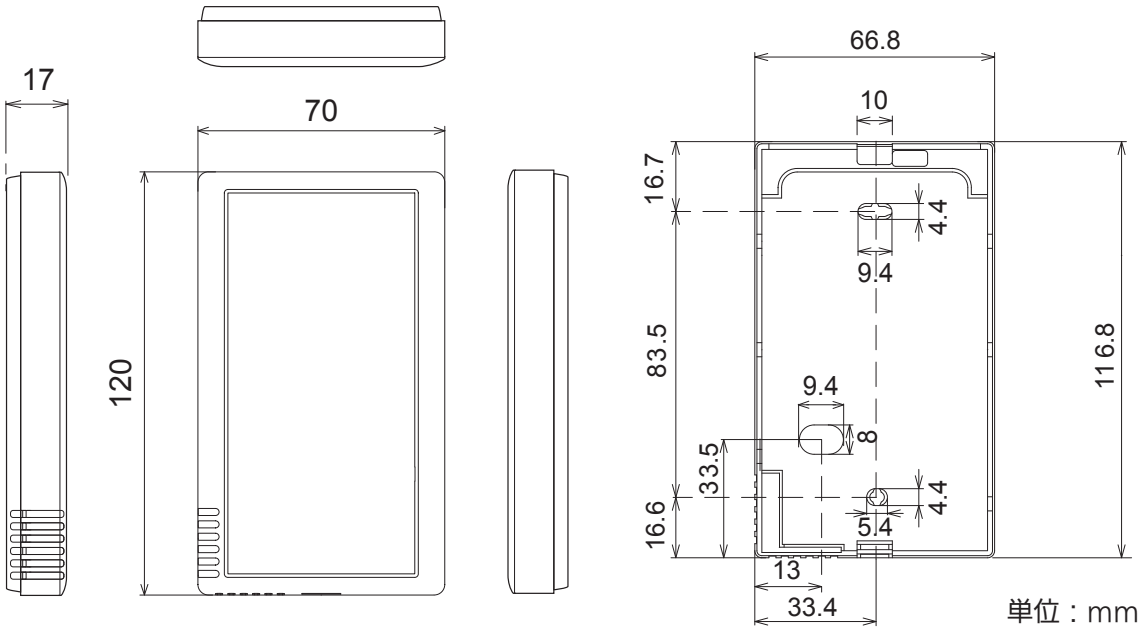
変換コネクタ（サービスパーツ扱い：部品コード／ CV 623 173 1287）

リモートセンサー／ CZ-RSB4・ART-K43K…別売品　仕様

仕様

品　　番	CZ-RSB4
外 形 寸 法	(高さ)120 mm ×(幅)70 mm ×(奥行)17 mm
質　　量	70g
使用温度・湿度範囲	0℃ ～ 40℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
電　　源	DC16 V (室内ユニットより供給)
接 続 台 数	室内ユニット　最多8台

●外形寸法図

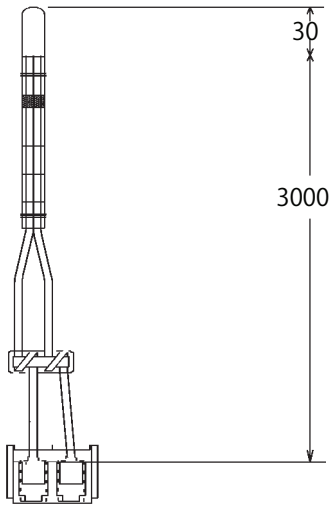


●仕様

品　　番	ART-K43K
全　　長	3000mm
接 続 方 法	室内基板の「TA」コネクタ
備　　考	フェライトコア巻き付け

・出荷時に付いている室温センサーの位置を室内機近傍で移動する場合に使用してください。
付いているセンサーをコントロール基板から外して付け替えしてください。

●外形寸法図



リモートセンサー／ CZ-RSB4…別売品　施工

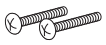
据付(電気)工事説明書

リモートセンサー

品番 **CZ-RSB4**

●据付 (電気) 工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、「据付 (電気) 工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
　移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●据付 (電気) 工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
　また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●室内ユニットなどに付属の据付説明書も合わせてご覧ください。

付属品

小ネジ M4 × 25(2本)	木ネジ M3.8 × 16(2本)	結束バンド(1個)
 （埋込型 JISボックス用）	 （露出型 壁面用）	

※リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意	⃠	❗
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の 損害が発生するおそれがある内容」です。	してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

⃠ 分解や改造は行わない
（感電・火災の原因）

❗ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
（感電・火災等の原因）

❗ 据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う
（感電・火災等の原因）

❗ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付（電気）工事説明書

（感電・火災の原因）

❗ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災等の原因）

❗ 据付は、リモコンの重さに十分耐える所に設置する
- 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。

（落下の原因）

❗ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてから行う
（感電の原因）

⚠ 注意

⃠ 次のような場所で使わない
- 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 腐食性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
- 電圧変動の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレー等を頻繁に使うところ
- 結露するところ

（感電・火災等の原因）

⃠ ぬれた手で操作しない
（感電の原因）

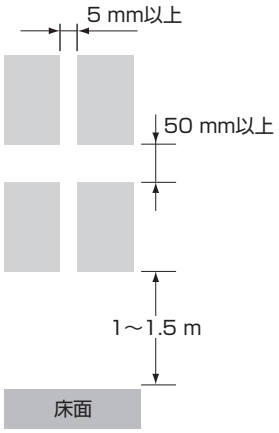
⃠ 水洗いしない
（感電・火災の原因）

Printed in China
DC0515-40723
ACXF60-29573
85464369809021

リモートセンサー／ CZ-RSB4…別売品　施工

設置上のご注意

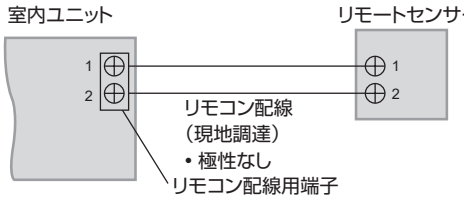
設置場所など



- 床面から1～1.5 mの高さに設置する（室内の平均的温度を感じる場所）
- 床面に対して垂直に設置する
- リモコンと並べて設置するときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す
- 次のような場所に設置しない
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際等
  - 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側等
  - 結露するところ（防湿･防滴仕様ではないため）
  - 近くに熱源があるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
- テレビ･ラジオ･パソコンから1m以上離す。（映像の乱れ･雑音の原因）

リモコン配線

■ **配線図**



■ **総配線長：**500 m以内
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）

■ **接続可能台数**
リモコン：最多2個（リモートセンサー含む）
室内ユニット：最多8台

■ **配線の種類**

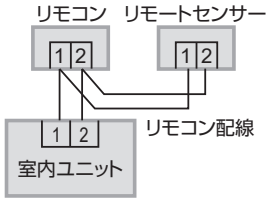
- 柔軟性のある、0.5～1.25 mm²のケーブルを使う。
- 単線は使わない。
- シース部含む絶縁物の厚みが1 mm以上ある配線を使う。
- 推奨品※（　）内：エコ電線
  - VCTF（EM-ECTF）
  - VCT（ECO120）

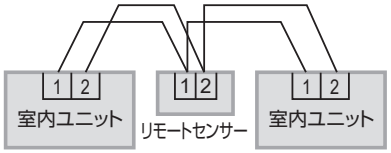
※エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

お願い

- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）
- ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。

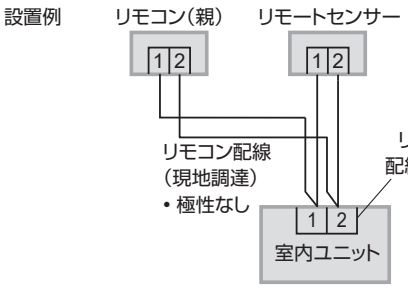
※以下のような渡り配線は禁止です。



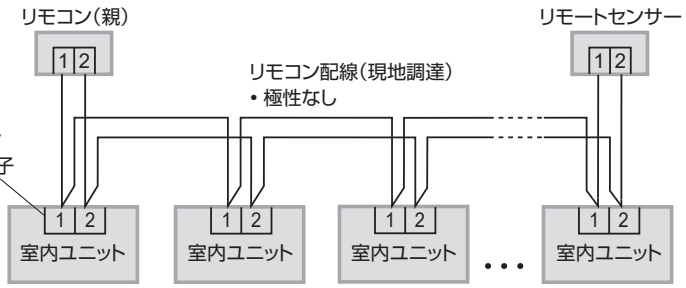


リモコンと併用される場合

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



リモコンは「親リモコン」としてください。

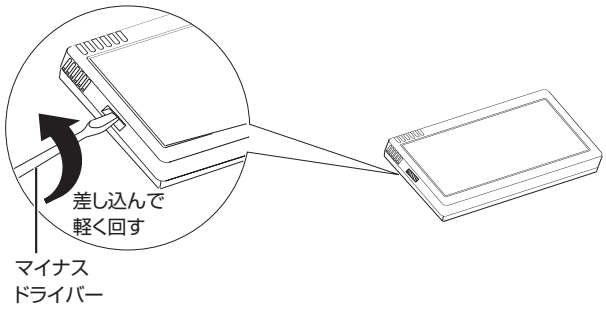
お知らせ

- どの室内ユニットにリモコンやリモートセンサーを接続しても、動作します。

リモートセンサー／ CZ-RSB4…別売品　施工

取り付ける

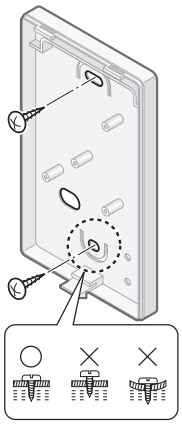
1 下ケースをはずす



お願い

下ケースを取り付けるとき
- ネジは、下ケースにあたるまで締めてください。
  （上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
  （下ケースの変形による、落下の原因）
- ドライバーを差し込む際は、ツメを折らないよう注意してください。

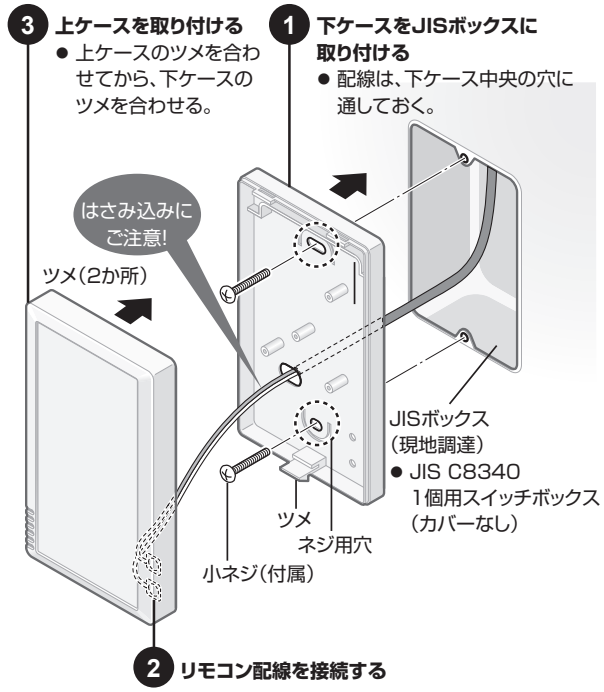
上ケースを取り付けるとき
- 手順2 ❷の図の経路で配線し、余分な配線をケースに収納しないでください。
  (配線はさみ込みによる基板破壊の原因)
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
  (配線はさみ込みによる基板破壊の原因)



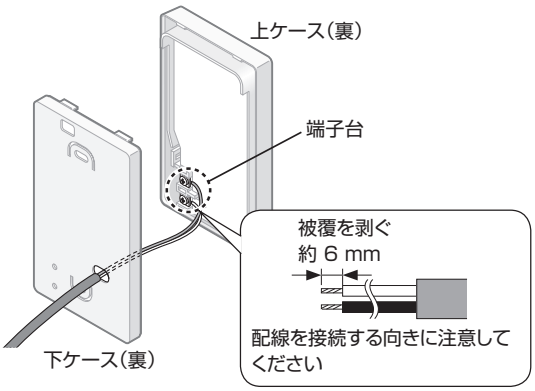
2 壁に取り付ける

埋込型の場合

- あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス（現地調達）に取り付けてください。

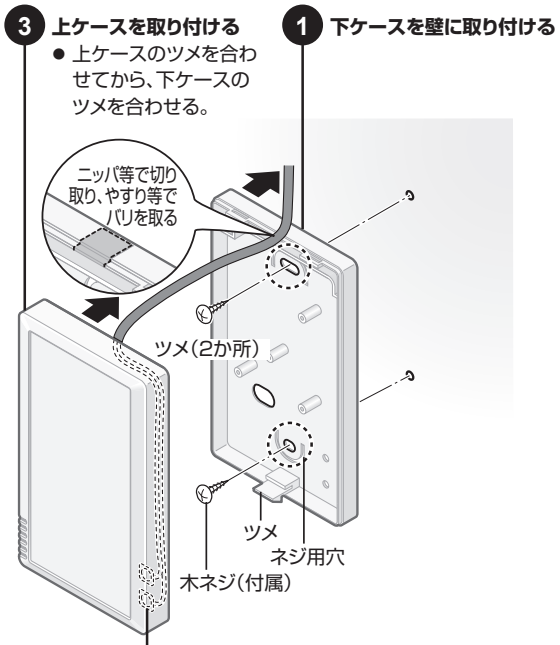


2 リモコン配線を接続する

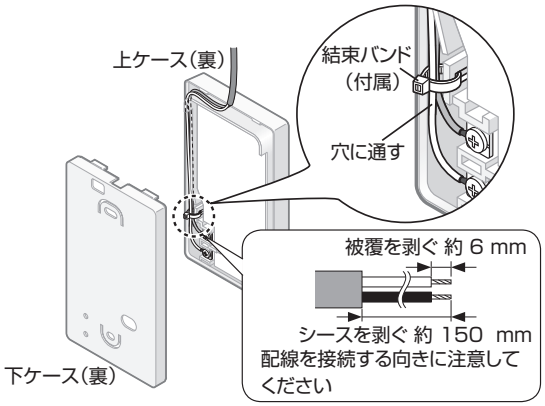


露出型の場合

- リモートセンサーが固定できる壁面に取り付けてください。



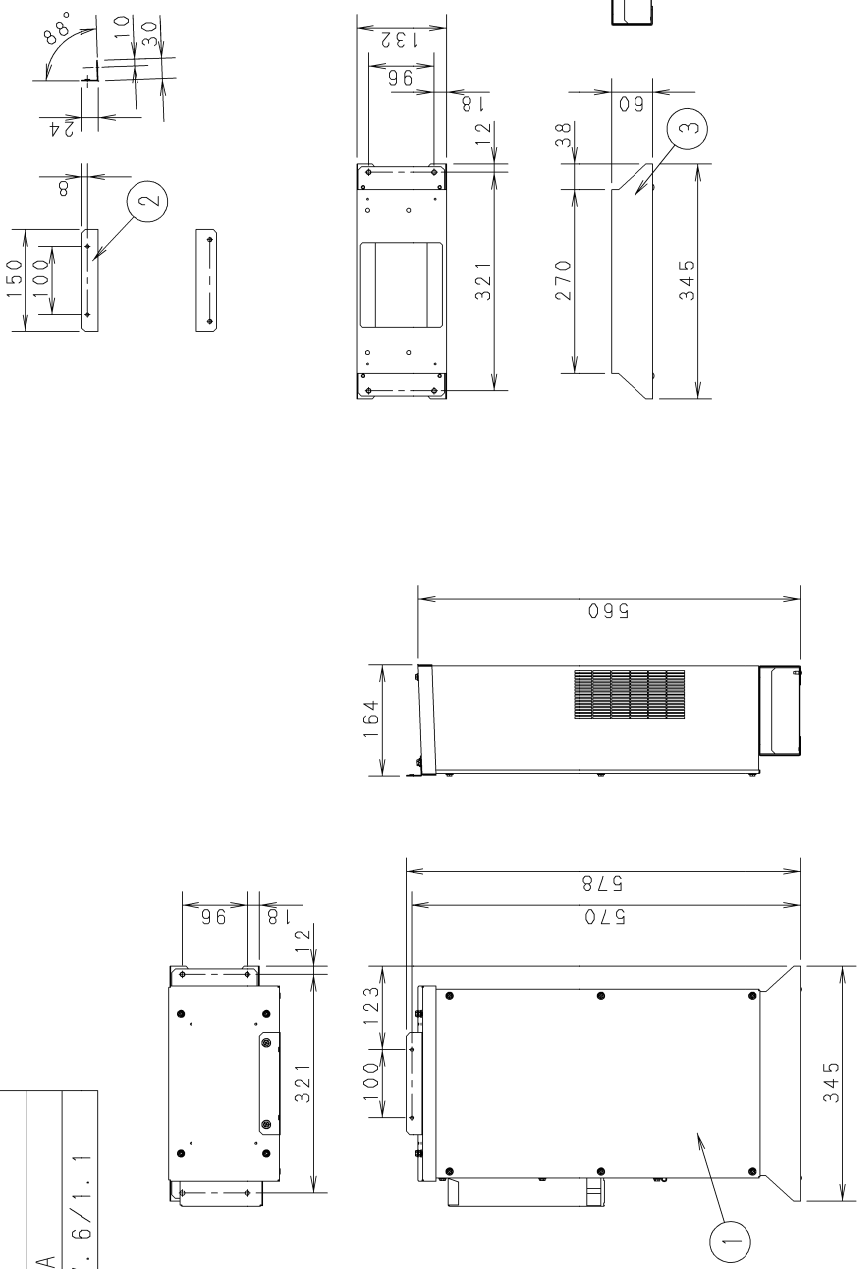
2 リモコン配線を接続する
- ケースの溝に沿って配線する



高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

●外形寸法図

	同梱部品	個数	質量（kg）	仕様
①	高調波抑制フィルター	1	11.8	−
②	L字金具	1	1.0	板厚 1.2mm
③	取付金具	1		板厚 1.2mm
④	電気配線A	1	−	AWG10（5.5mm²）
⑤	電気配線B	1		AWG10（5.5mm²）
⑥	電気配線C	1		AWG14（2.0mm²）



＜高調波抑制フィルター＞
組立　分解図

圖仕様

品名		高調波抑制フィルター
品番	非塗装	CZ-450AF5
	塗装	CZ-450AF5J
設置環境		室外ユニット組み込み
定格電圧		200V（±10%）
定格周波数		50／60Hz
相数		三相
用途		高調波抑制
方式	冷却	強制空冷
	インバーター	電圧形
定格補償容量		5.0kVA
塗装色（塗装品）		マンセル 2.6Y 7.6／1.1

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

据付工事説明書　高調波抑制フィルター

品番

CZ-450AF5（標準仕様）
CZ-450AF5J（耐重塩害仕様）

取り付け工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

この据付工事説明書は必ず最終使用の保守担当者のお手元に届くようご配慮お願いします。

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

目　　次

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1. 装置概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

1-1. 付属部品 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

1-2. 外形寸法図 ・・・・・・・・・・・・・・・ 6

1-3. 結線図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

1-4. 部品配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・ 8

2. 取り付け手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

2-1.金具取り付け ・・・・・・・・・・・・・・ 9

2-2.電気配線の取り付け ・・・・・・・・・・・10

2-3.室外ユニットへ取り付け ・・・・・・・・・11

3. 試運転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

4. 故障時の対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・18

5. 廃棄時の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・19

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
■ 配線は途中接続しない
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電火災の原因）
■ 製品の改造は絶対にしない
（修理はお買い上げの販売店にご相談ください。故障や感電、火災の原因）
■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱、火災の原因）

❗
■ 据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼し工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下水漏れ、感電や火災の原因）
■ 付属品および別売品は当社指定部品を使用する
（指定部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れ、感電、火災などの原因）
■ 配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
（故障や発熱、火災の原因）
■ 電気部品に触れる前に電源を遮断する
（感電の原因）
■ 電気工事（アース工事を含む）は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する
（感電、火災の原因）
■ 配線をはさまないように、カバーは元どおりに確実に取り付ける
（感電、火災の原因）

⚠注意

⃠
■ 室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない
（ケガの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

1. 装置概要

（a）使用環境

項 目	内 容
電 源	定格 三相200Ｖ （50／60Ｈｚ）
周囲温度	（1）使用周囲温度： 室外ユニットの周囲温度による （2）保存温度（電源非接続）： －25℃～60℃（結露なきこと）

（b）仕様

項　目	仕　様　値	備　考
定 量 容 償 補 格	5 kVA	
高調波残留率	5次：3.0%　　7次：1.8% 11次：1.8%　13次：1.3% 17次：1.6%　19次：1.2% 23次：1.4%　25次：1.1%	K33 相当の回路で（c）の定格負荷時 電源環境により変動あり
損失	約250W 電源環境により変動あり	定格負荷時
塗装仕様	CZ-450AF5 （標準機）　：塗装なし CZ-450AF5J（耐重塩害仕様）：ポリエステル粉体塗装 塗装色　：マンセル２．６Ｙ７．６／１．１（近似色） 膜厚　：120μm以上	
外形寸法（本体＋金具）	345W × 578H × 164D mm	6ページに外形寸法図
製品（本体＋金具）質量	12.8kg	

（c）適用負荷

「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」における回路分類K33を意味する。
１３ｋW、力率０.９程度の負荷とする。
１３ｋWを超える負荷では高調波抑制率が低下します。

（d）適用機種

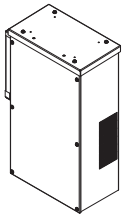
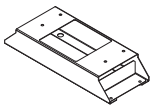
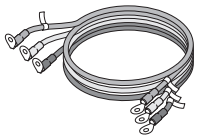
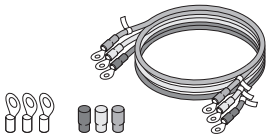
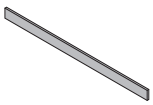
高調波抑制フィルター	適用室外ユニット
CZ-450AF5	CU-P224/280/335/400/450UXR5 CU-P224/280/335/400/450UXPR5R CU-P160/224/280UXPR5YR CU-P224/280/335UXKR5
CZ-450AF5J （耐重塩害仕様）	CU-P224/280/335/400/450UXR5E/J CU-P224/280/335/400/450UXPR5RJ CU-P160/224/280UXPR5YRJ CU-P224/280/335UXKR5J

必ず室外ユニット１台に対し、高調波抑制フィルター１台を接続してください。
本機は室外ユニット内蔵専用です。外付けはできません。
品番末尾J付は耐重塩害仕様を示します。耐重塩害仕様機にはCZ-450AF5Jをご使用ください。

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

1-1. 付属部品

室外ユニットに取り付けるために使用します。

名　称	形　状	個数	名　称	形　状	個数
高調波抑制フィルター		1	歯付ワッシャ		1
			配線固定具 SL-3N		1
			結束バンド T30R		6
取付金具		1	電気配線 A		1
L 字金具		1	電気配線 B セット内容 ※ ・端子・絶縁キャップ		1
パッキン		2			
			電気配線 C		1
ネジ　M5×10		6			
ネジ　M4×10		2	–	–	–

※ 電気配線 B は使用機種に応じて端子加工が発生するケースがあります。
　端子加工が必要な機種は、端子板側の端子を同梱の端子（5.5-8）に打ち換えてください。
※ 電気配線 B の端子の加工方法は P.13 の説明を参照してください。

■配線区分情報

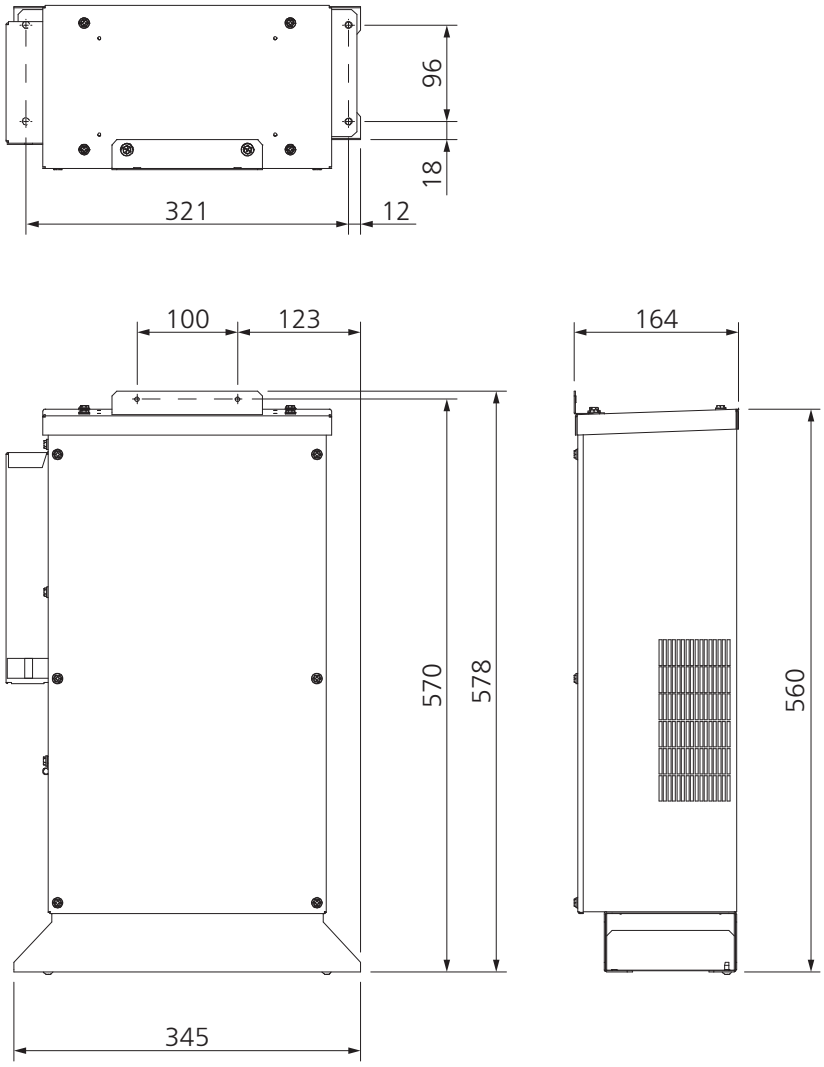
	色	端子		使用機種
		高調波抑制フィルター側	室外ユニット　基板側	
電気配線 A	赤 白 黒	5.5-5	L5.5-5	CU-P***UXR5*　全機種 CU-P***UXPR5R* CU-P***UXPR5YR* CU-P***UXKR5*

	色	端子		使用機種
		高調波抑制フィルター側	室外ユニット　端子板側	
電気配線 B	赤 白 黒	5.5-5	5.5-6	CU-P400/450UXR5* CU-P400/450UXPR5R* CU-P280UXPR5YR* CU-P***UXKR5* ※上記機種使用時に端子板側の端子加工は不要 （CU-P224/280/335UXR5* CU-P224/280/335UXPR5R* CU-P160/224UXPR5YR* ※上記機種使用時に端子板側の端子加工が必要）

	色	端子		使用機種
		高調波抑制フィルター側	室外ユニット　板金側	
電気配線 C	緑	2-5	2-4	CU-P***UXR5*　全機種 CU-P***UXPR5R* CU-P***UXPR5YR* CU-P***UXKR5*

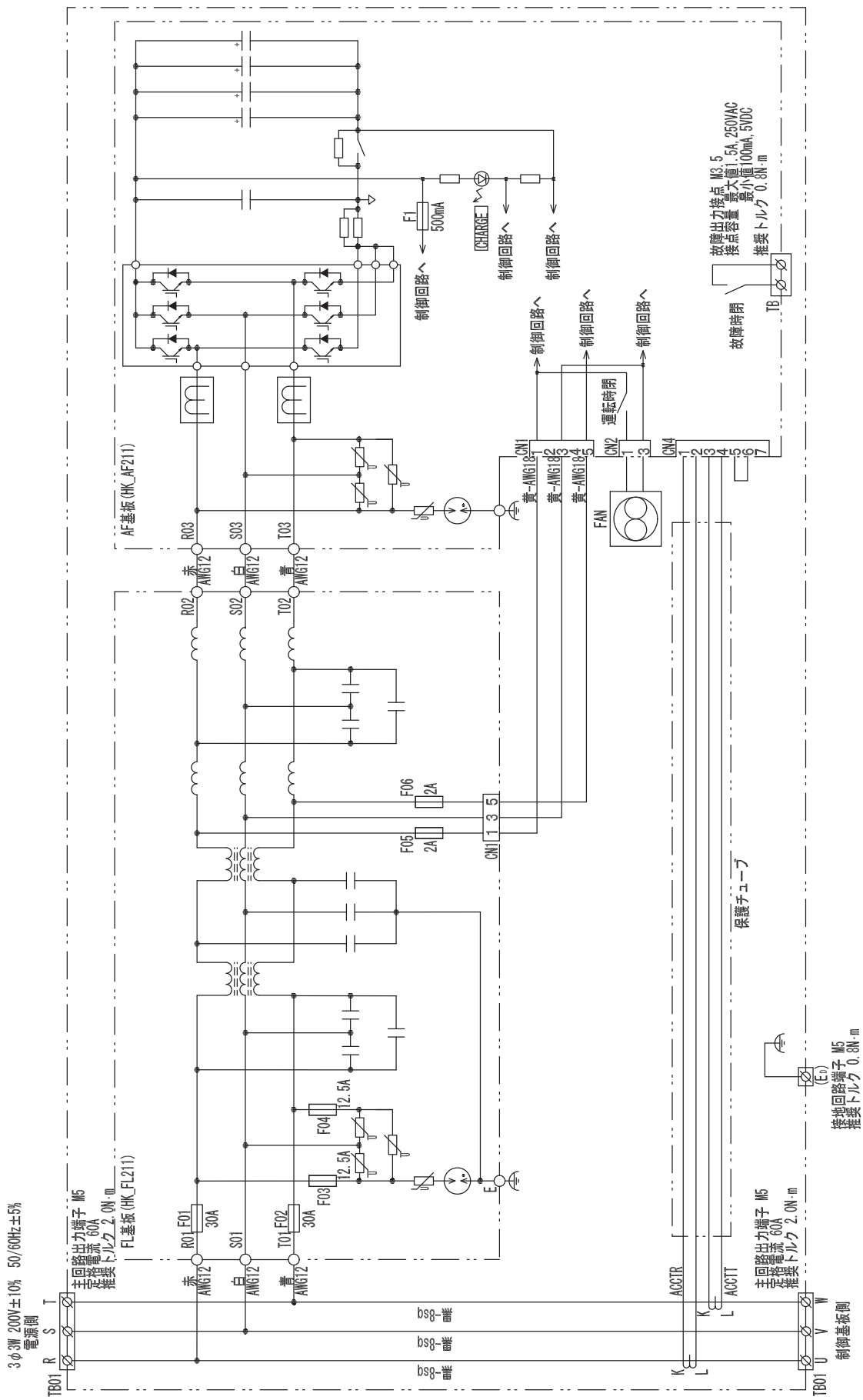
高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

1-2. 外形寸法図



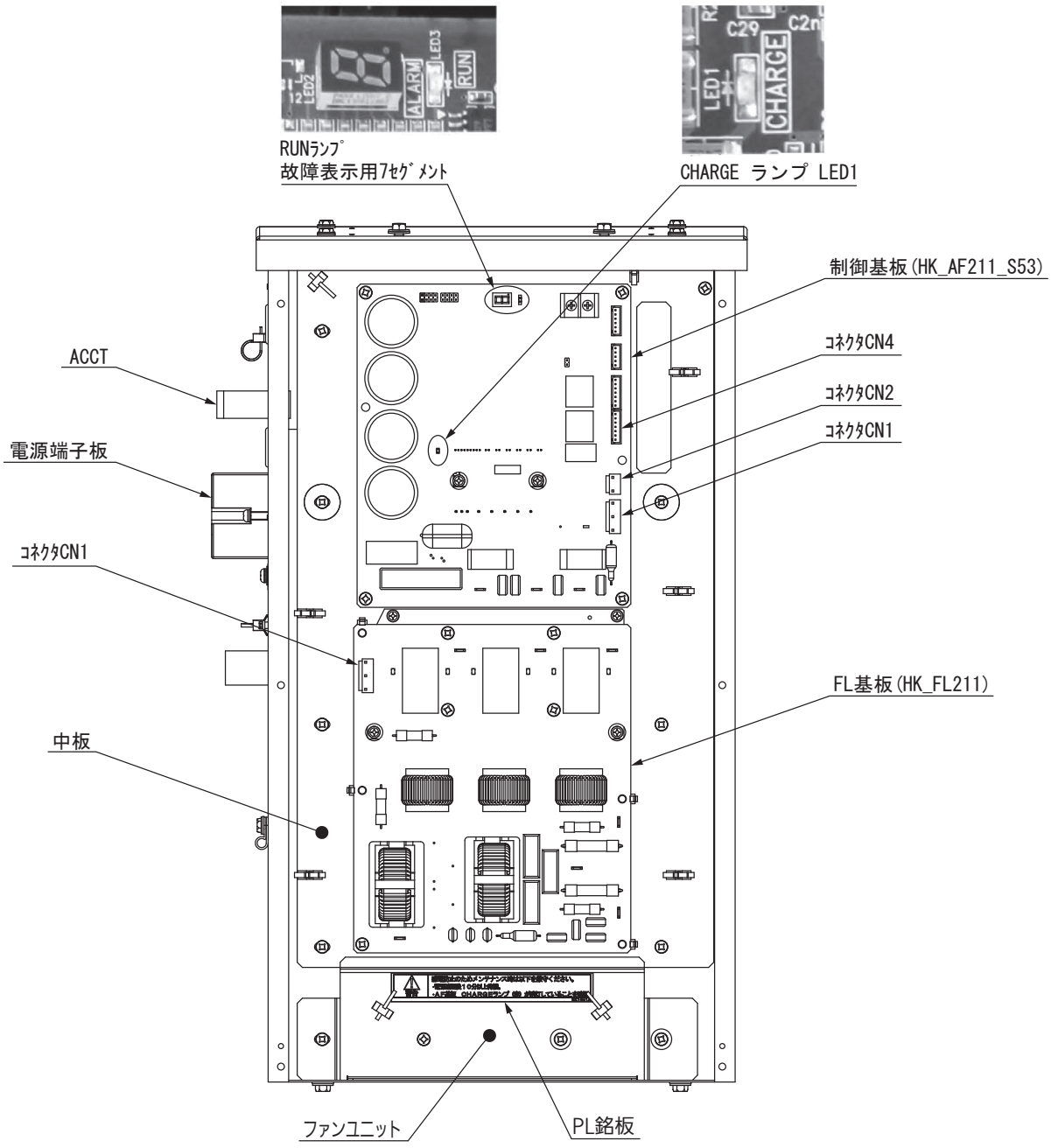
高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

1-3. 結線図



高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

1-4. 部品配置図

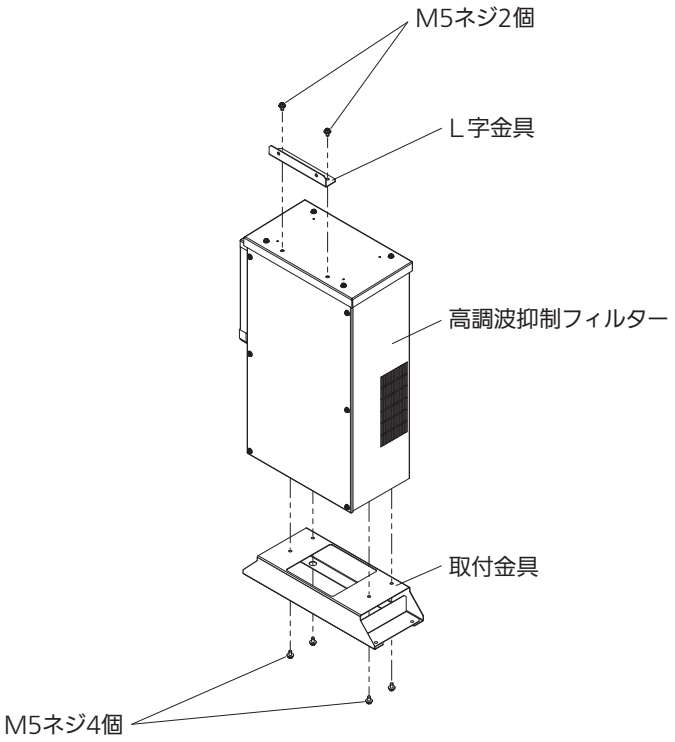


高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

2. 取り付け手順

2-1. 金具取り付け

金具を高調波抑制フィルターに取り付ける。
ネジは高調波抑制フィルターについているネジ（M5）を外して、それを利用して金具を止める。



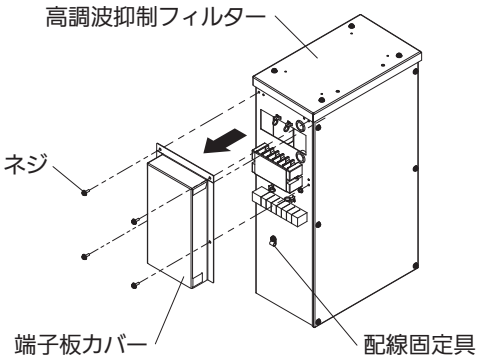
締付トルク	2.9±0.2N･m

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

2-2. 電気配線の取り付け

⚠ 注意　室外ユニットに取り付ける前に作業してください。

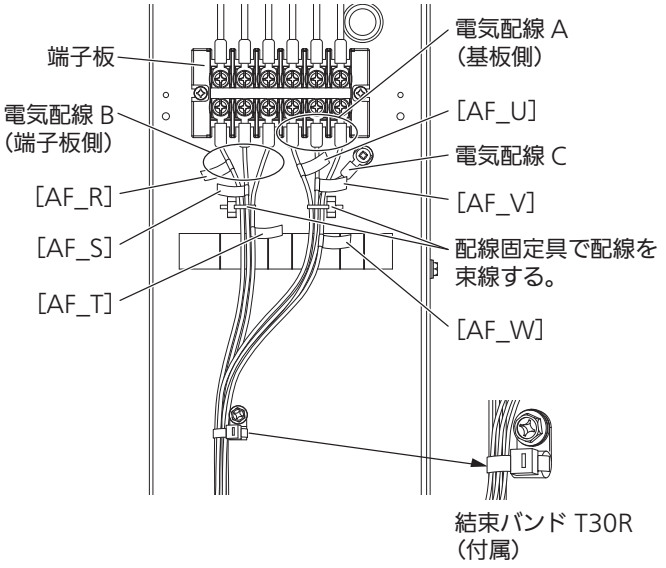
1. 4本のネジ（M4）を外し高調波抑制フィルターの端子板カバーを外します。

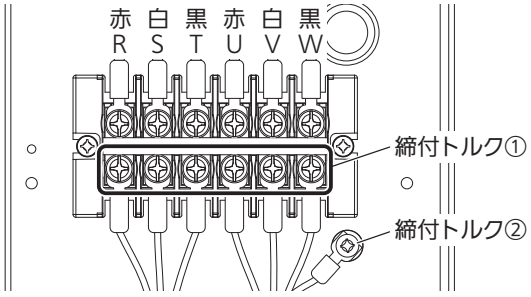


2. 端子板に電気配線Aと電気配線Bを接続します。室外ユニットの能力に合わせ、電気配線Bの打ち換えが必要なケースがあります。詳細はP.5の電線区分情報を確認してください。

⚠ 注意　高調波抑制フィルター側は加工しないでください。

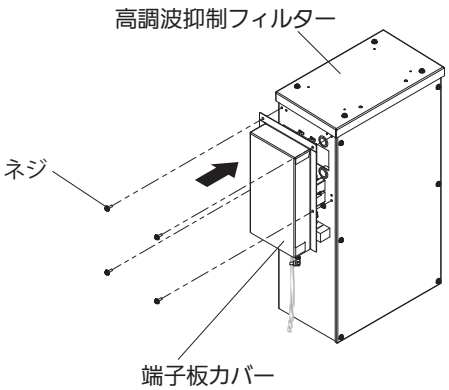
電気配線Cを端子板の下のネジ（M5）に接続します。
図のように既存の配線固定具に結束バンドを通し、配線を固定します。





締付トルク①	2.2±0.2N･m
締付トルク②	1.9±0.2N･m

3. 高調波抑制フィルターの端子板カバーを 4 本のネジ（M4）で取り付けます。

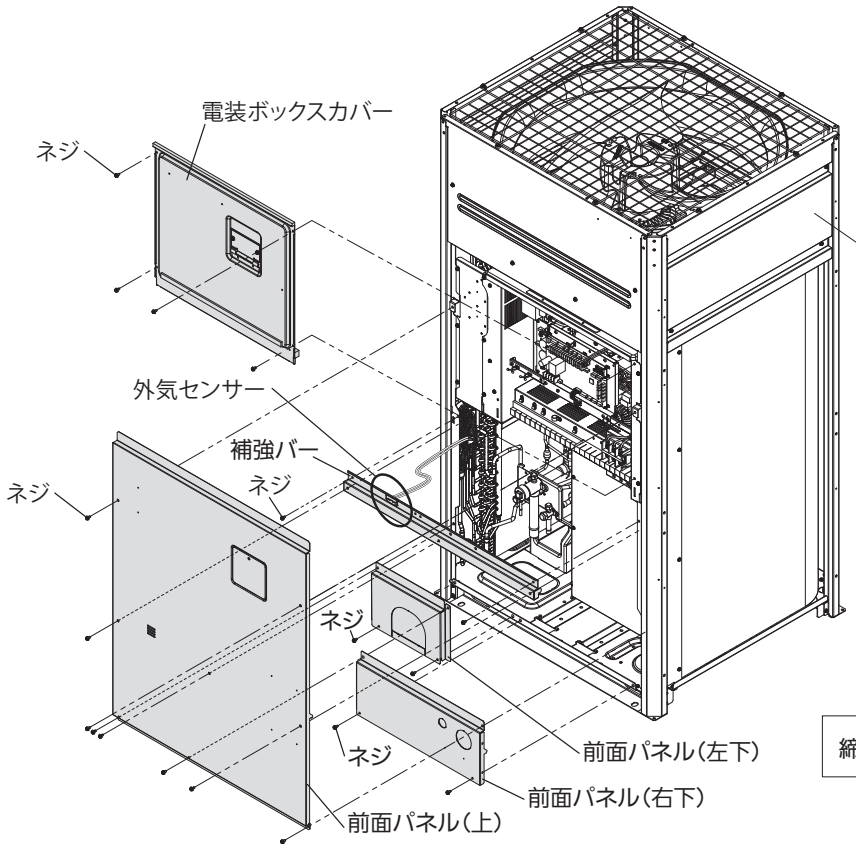


締付トルク	0.8±0.1N･m

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

2-3. 室外ユニットへの取り付け

1. 室外ユニットの前面パネルを下図を参考に取り外してください。
（前面パネル（上）、前面パネル（右下）、前面パネル（左下）、電装ボックスカバー、補強バーの5点）

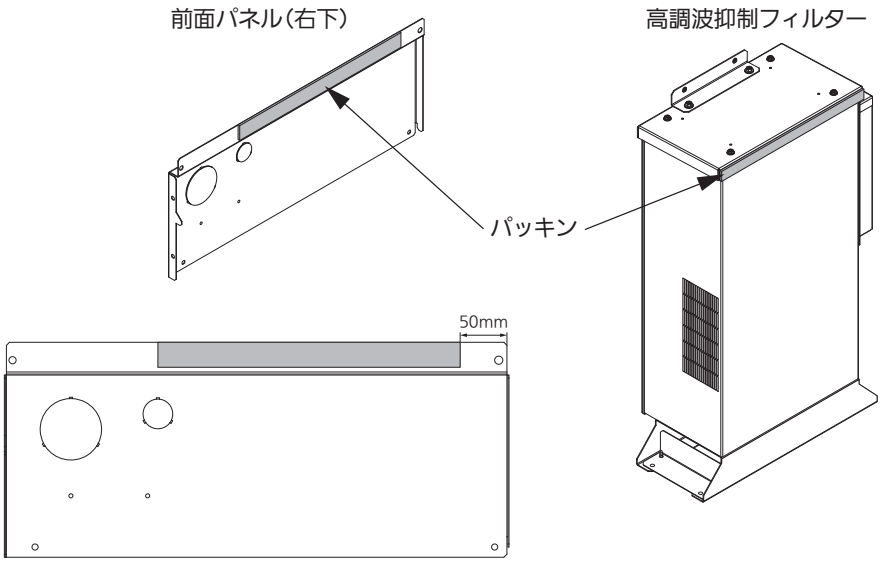


CU-P400/450UXPR5R*
CU-P280UXPR5YR*
CU-P335UXKR5*については
正面右側のパネルを取り外してください。
取り付け方法は全て共通です。

締付トルク	4.11 $^{+0.82}_{-0.41}$ N•m

補強バーには外気センサーが取り付けられています。（外気センサーは取り外さない）
外気センサーを断線させないように注意して補強バーを室外ユニットの左側に立てかけてください。

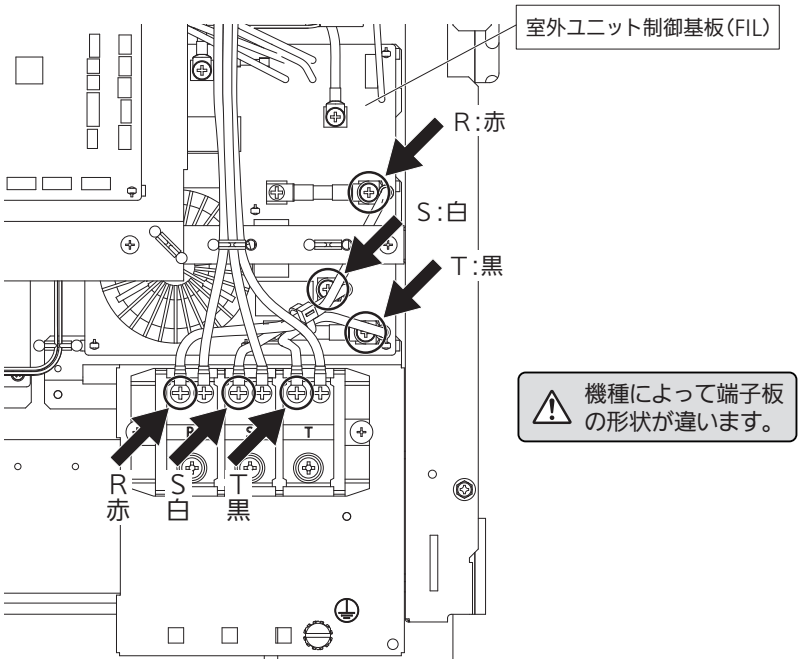
2. 取り外した室外ユニットの前面パネル（右下）と、高調波抑制フィルターにパッキン（付属）を貼り付けてください。



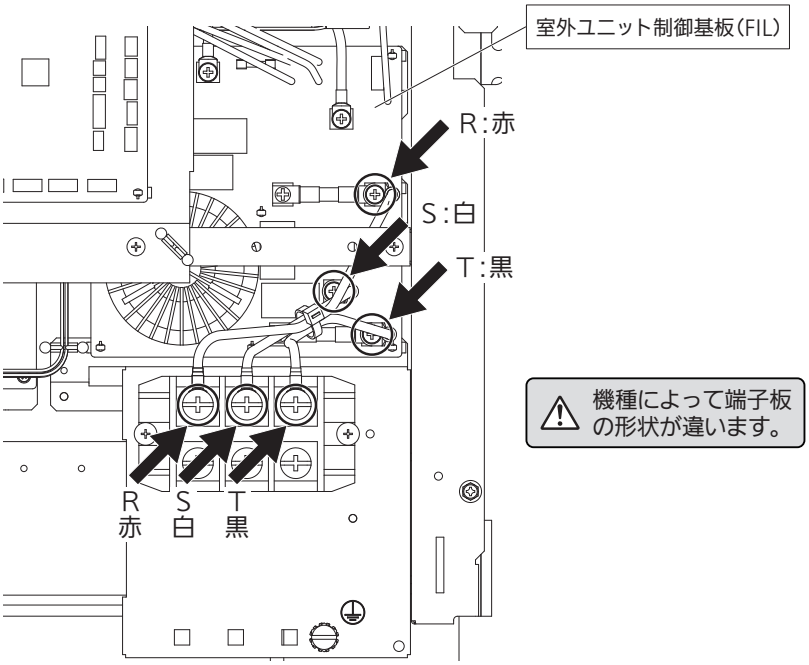
パッキン貼り付け位置

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

3. 室外ユニットの端子板から室外ユニット制御基板（FIL）への赤、白、黒の3本の電気配線を取り外してください。



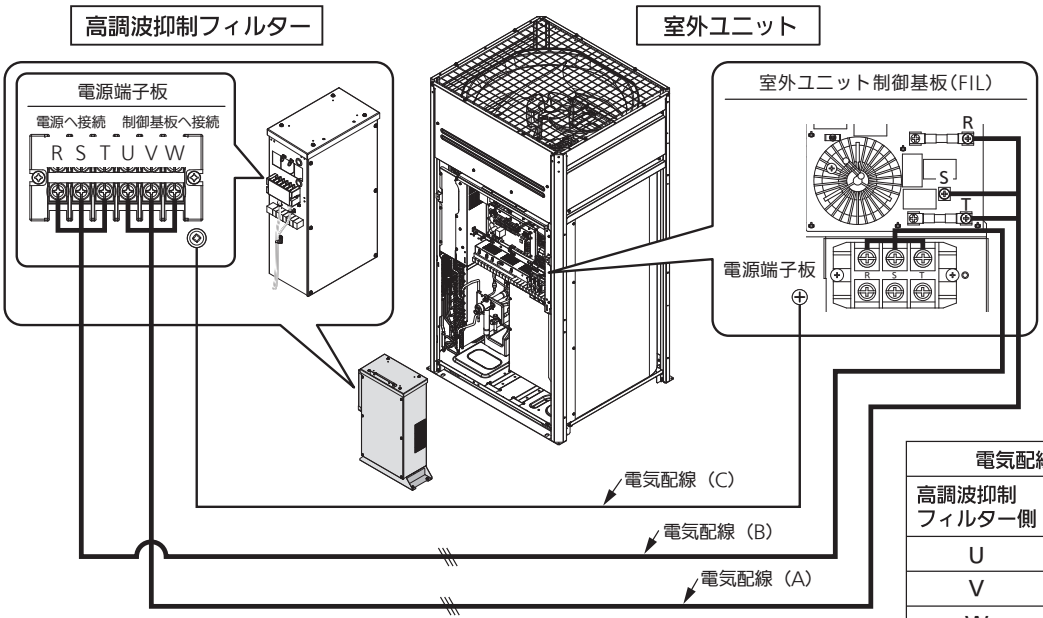
CU-P400/450UXR5*
CU-P400/450UXPR5R*
CU-P280UXPR5YR*
CU-P224/280/335UXKR5*



CU-P224/280/335UXR5*
CU-P224/280/335UXPR5R*
CU-P160/224UXPR5YR*

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

4. 高調波抑制フィルターからの電気配線を、室外ユニット制御基板（FIL）、端子板にそれぞれ取り付けてください。



電気配線A　接続先	
高調波抑制フィルター側	室外ユニット制御基板（FIL）側
U	R
V	S
W	T

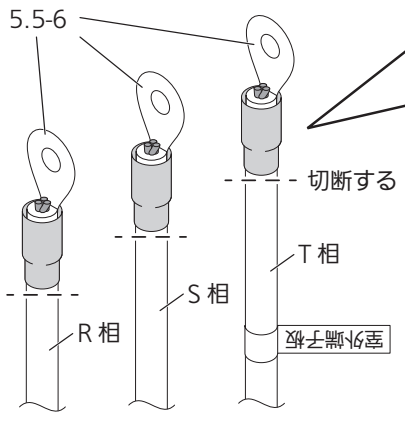
配線 B の加工方法（「5.5-6」から「5.5-8」へ打ち換える方法）

CU-P224UX(R)(PR)5R*、CU-P280UX(R)(PR)5R*、CU-P335UX(R)(PR)5R*、CU-P160/224UXPR5YR*と接続する際に、既存の配線Bの「5.5-6」の端子を切断し、付属の「5.5-8」端子に打ち換え、絶縁キャップを取り付けてください。

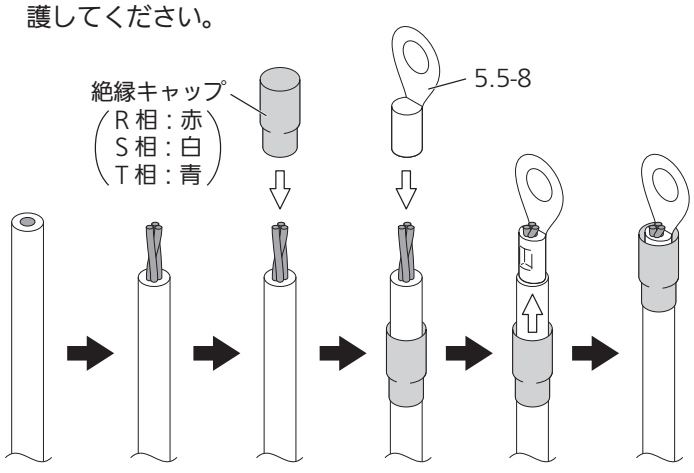
■加工手順

（1）既存の「5.5-6」側の配線をチューブの根元から切断してください。

⚠注意	反対側の「5.5-5」を切断しないでください。

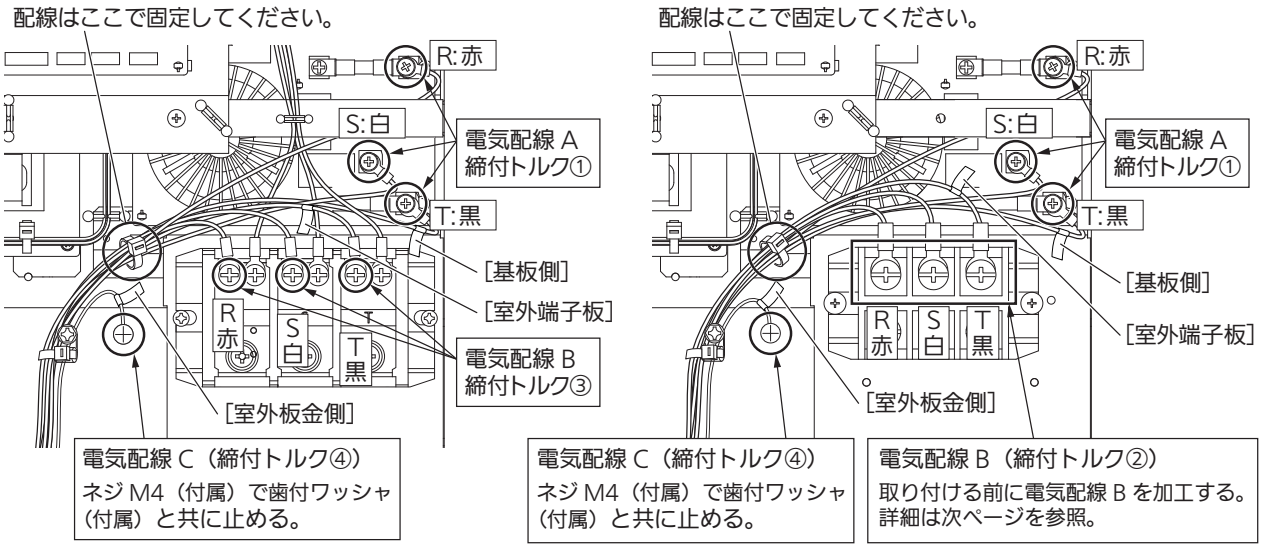


（2）配線の被膜を 10㎜ むいてください。
（3）絶縁キャップを通し、丸端子圧着器（「5.5-8」を圧着可能なツール）で、付属端子「5.5-8」を取り付けてください。
※作業完了後に圧着されたことを確認してください。
（4）絶縁キャップをスライドして、端子「5.5-8」の加工部を保護してください。



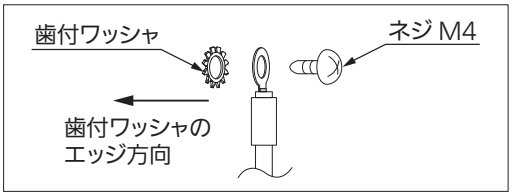
高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

⚠ 注意　配線は、所定のケーブルを使用し規定の締付トルクで確実に接続、固定してください。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。



CU-P400/450UXR5*
CU-P400/450UXPR5R*
CU-P280UXPR5YR*
CU-P224/280/335UXKR5*

CU-P224/280/335UXR5*
CU-P224/280/335UXPR5R*
CU-P160/224UXPR5YR*

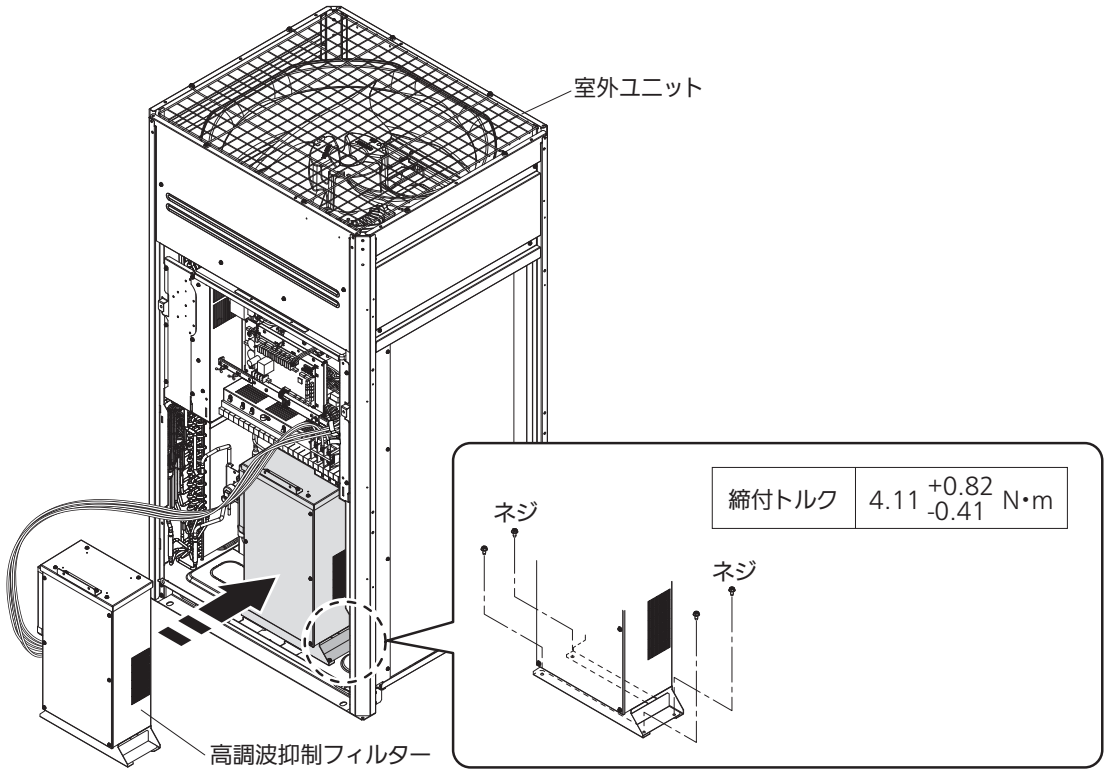


電気配線 C　取付詳細

締付トルク①	1.8±0.2N・m
締付トルク②	6.2±0.2N・m
締付トルク③	2.7±0.2N・m
締付トルク④	1.4±0.2N・m

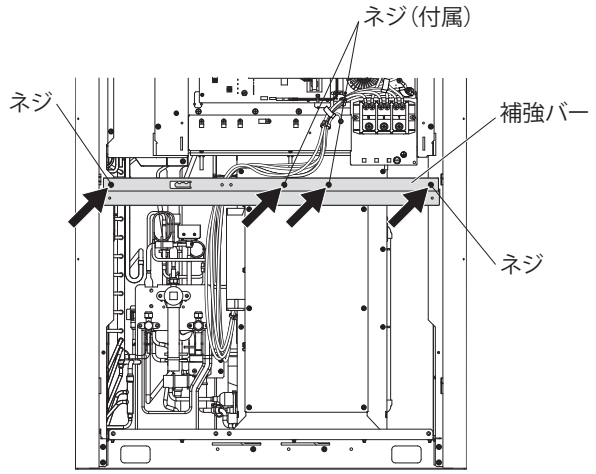
⚠ 機種によって端子板の形状が違います。

5. 高調波抑制フィルターを室外ユニットに付属のネジ（M5）4個で確実に固定してください。



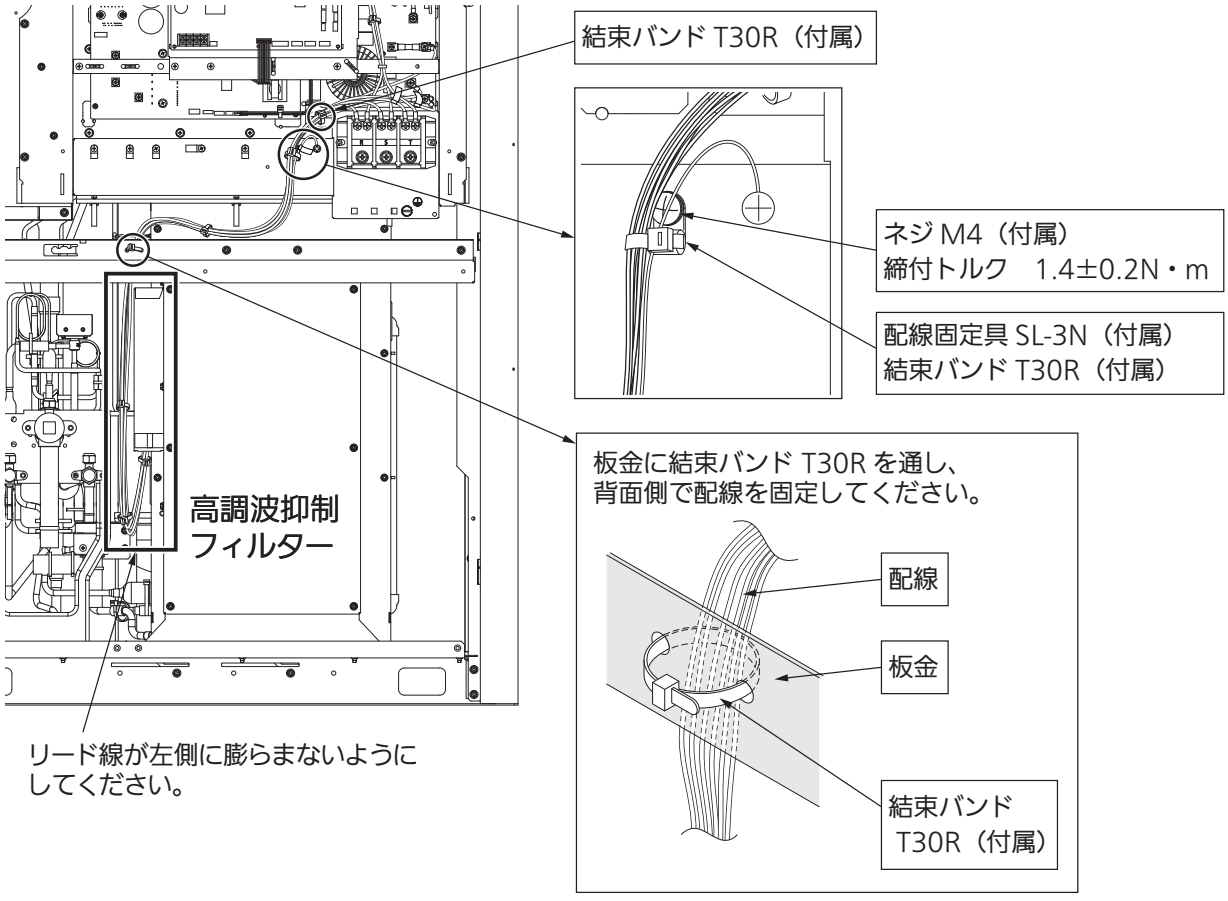
高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

6. 補強バーを取り付けネジ 2 個で固定してください。高調波抑制フィルター上部の金具にも付属のネジ（M5）2 個で固定してください。



締付トルク	4.11 $^{+0.82}_{-0.41}$ N•m

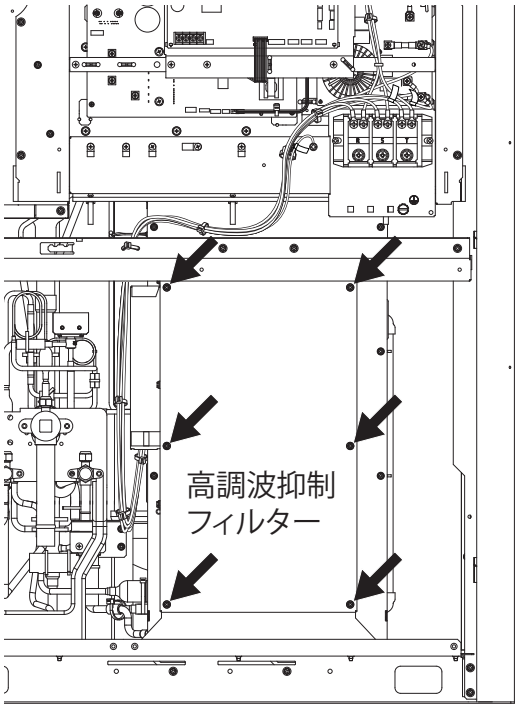
7. 高調波抑制フィルターからの電気配線を、下図を参考にして付属の結束バンドで結束してください。



高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

3. 試運転

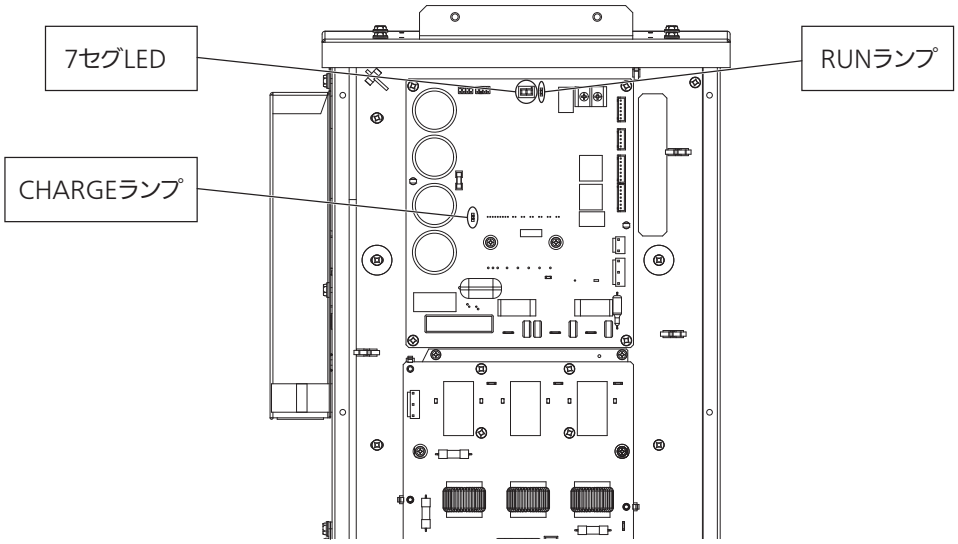
1. 高調波抑制フィルターの前面パネルを取り外す。



締付トルク	0.8±0.1N・m

⚠注意	配線接続のゆるみ、極性間違い等がないか今一度確認ください。 電源端子と、アース端子間を 500V メガーで測って、1MΩ以下の場合は運転しないでください。

2. 室外ユニットの試運転を開始し、高調波抑制フィルターの基板上の CHARGE ランプ、RUN ランプが点灯し、7 セグ LED に何も表示されなければ終了。



高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

高調波抑制フィルターはインバーターの電流が 5A 以上になると、自動的に運転を開始し、2A 以下になると停止します。
高調波抑制フィルター運転中は、制御基板上のRUN（LED3）が点灯します。

基本的な動作状態は、以下のようになります。

	状態		高調波抑制フィルターの表示		
	元電源	ＩＮＶ状態	CHARGEランプ	RUNランプ	７セグLED
停電	OFF	―	×(注1)	×	×
正常運転中	ON	停止	○	×(注2)	×
	ON	運転	○	○	×
異常リトライ中	ON	運転	○	○	異常　No.表示（注3）
異常	ON	運転	○	×	異常　No.表示（注3）

×：消灯　○：点灯
(注 1)元電源が OFF しても数分間は消灯しません。
(注 2)室外ユニットを停止しても RUN ランプが消灯しない場合は、配線間違いの可能性があります。
　　配線を確認してください。
(注 3)エラー内容と番号は下表参照。

LED表示	エラー内容
0	ＡＣＣＴコネクターはずれ
1	電源過電圧（250V以上）
2	電源不足電圧（160V以下）
3	直流母線過電圧（390V以上）
4	直流母線過電圧（420V以上）
5	直流母線不足電圧（201V以下）
7	ＩＰＭエラー
8	起動直後の過電流
A	瞬時停電
C	過電流
F	周波数（同期エラー）

推定原因、調査方法、調査ＮＧ時対応は、「6. 故障時の対応」を参照してください。

3. 試運転終了後は、高調波抑制フィルター前面パネル、室外ユニット前面パネル(左下)、室外ユニット前面パネル(右下)、室外ユニット電装ボックスカバー、室外ユニット前面パネル(上)の順で取り付けてください。

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

4. 故障時の対応

⚠警告

装置内を点検するときは、電源を切ってから 10 分以上待って、CHARGE（LED1）が消灯していることを確認してから行ってください。

異常現象	ＬＥＤ表示	推定原因	調査方法	調査ＮＧ時対応
故障表示あり	0	コネクター抜け・接触	CN4接続確認	不具合部補修
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
	1,2,3,4,5	電源環境不良	電源電圧、瞬停確認	―
		配線はずれ	機器内の配線接続確認	不具合部補修
		突入電流防止抵抗不良	―	制御基板交換
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
	7	制御基板不良	再運転	制御基板交換
		冷却ファン不良	コネクターはずれ確認	不具合部補修
		風路閉鎖	冷却ファン風路確認	不具合部補修
		駆動回路不良	運転時CN2-1P,3P間電圧なし	制御基板交換
		誤検知・他	再運転	制御基板交換
	8	電源環境不良	電源電圧、瞬停確認	―
		配線はずれ	機器内の配線接続確認	不具合部補修
		電源配線の欠相	配線接続確認	不具合部補修
		主回路ヒューズ切れ	ヒューズ切れ確認	「主回路ヒューズ切れ」の項へ
		ＦＬ基板ヒューズ切れ	ヒューズ切れ確認	「ＦＬ基板ヒューズ切れ」の項へ
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
	A	電源環境不良	瞬停発生確認	―
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
	C	制御基板不良	再運転	制御基板交換
		主リアクトル不良	3つの抵抗値比較 地絡確認	ＦＬ基板交換
		ＡＣＣＴ不良	抵抗値確認	ＡＣＣＴ交換
		誤検知・誤動作・他	再運転	制御基板交換
	F	電源環境不良	電源周波数確認 定格±5%以内	―
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
故障表示なし	LED1表示：なし	電源配線の欠相	配線接続確認	不具合部補修
		主回路ヒューズ切れ	ヒューズ切れ確認	「主回路ヒューズ切れ」の項へ
		ＦＬ基板ヒューズ切れ	ヒューズ切れ確認	「ＦＬ基板ヒューズ切れ」の項へ
		制御基板不良・他	再運転	制御基板交換
	主回路ヒューズ切れ（ＦＬ基板：F01,F02）	地絡	対地間抵抗＞1MΩ	不具合部修正
		ＦＬ基板不良	ＦＬ基板上Ｃ膨らみ	ＦＬ基板交換
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
	ＦＬ基板ヒューズ切れ（F05,F06）	冷却ファン不良	冷却ファン配線地絡確認	冷却ファン交換
		電源回路不良	―	ＦＬ基板交換
	制御基板ヒューズ切れ（F1）	電源回路不良	―	制御基板交換
	上位ブレーカー遮断	地絡	対地間抵抗＞1MΩ	不具合部補修
	騒音（ビビリ音）（高周波音）	ネジ緩み	各部締め付け確認	不具合部補修
		ＦＬ基板不良	ＦＬ基板上Ｃ膨らみ	ＦＬ基板交換
		電源インピーダンス	電源電圧波形確認	個別対応（電源）

高調波抑制フィルター
（UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／ CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

5. 廃棄時の注意

⚠ 注意	本装置を廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。

高調波抑制フィルター （UXPR5R，UXPR5YR，UXR5，UXKR5 用）本体／CZ-450AF5、CZ-450AF5J…別売品

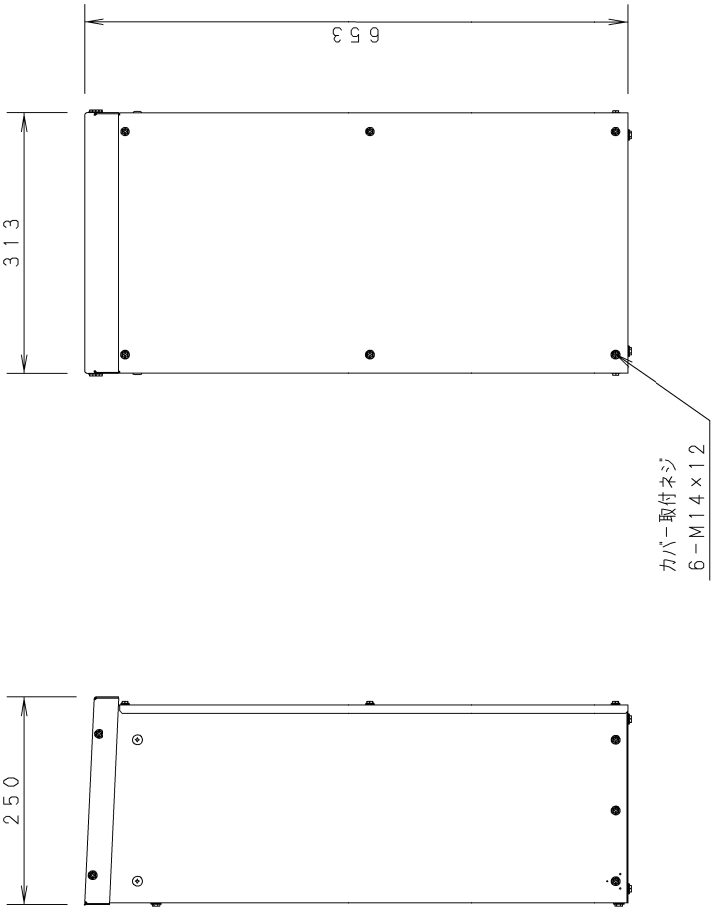
高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4,　AF4J…別売品

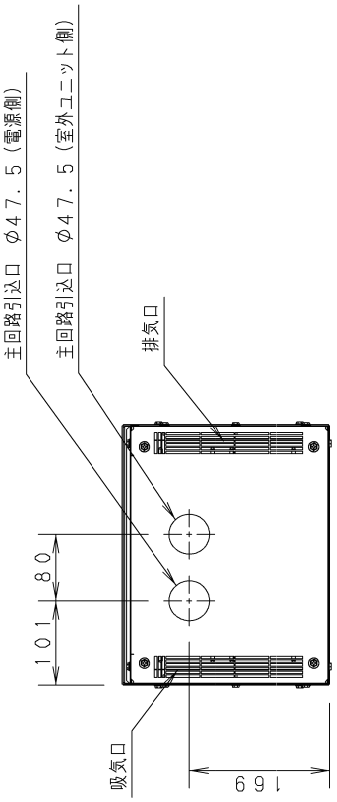
●外形寸法図

高調波抑制フィルター（汎用）本体　仕様

品　名	ＣＺ－ＡＦ４，ＡＦ４Ｊ
使用箇所	屋外
定格電圧	２００Ｖ（±１０％）
定格周波数	５０／６０Ｈｚ
相　数	三相
用　途	高調波抑制
冷却方式	強制空冷式
使用温度範囲	－２５℃～＋４６℃※
塗装色 （マンセル記号）	アイボリー （2.6Y　7.6／1.1）
重量	２０ｋｇ

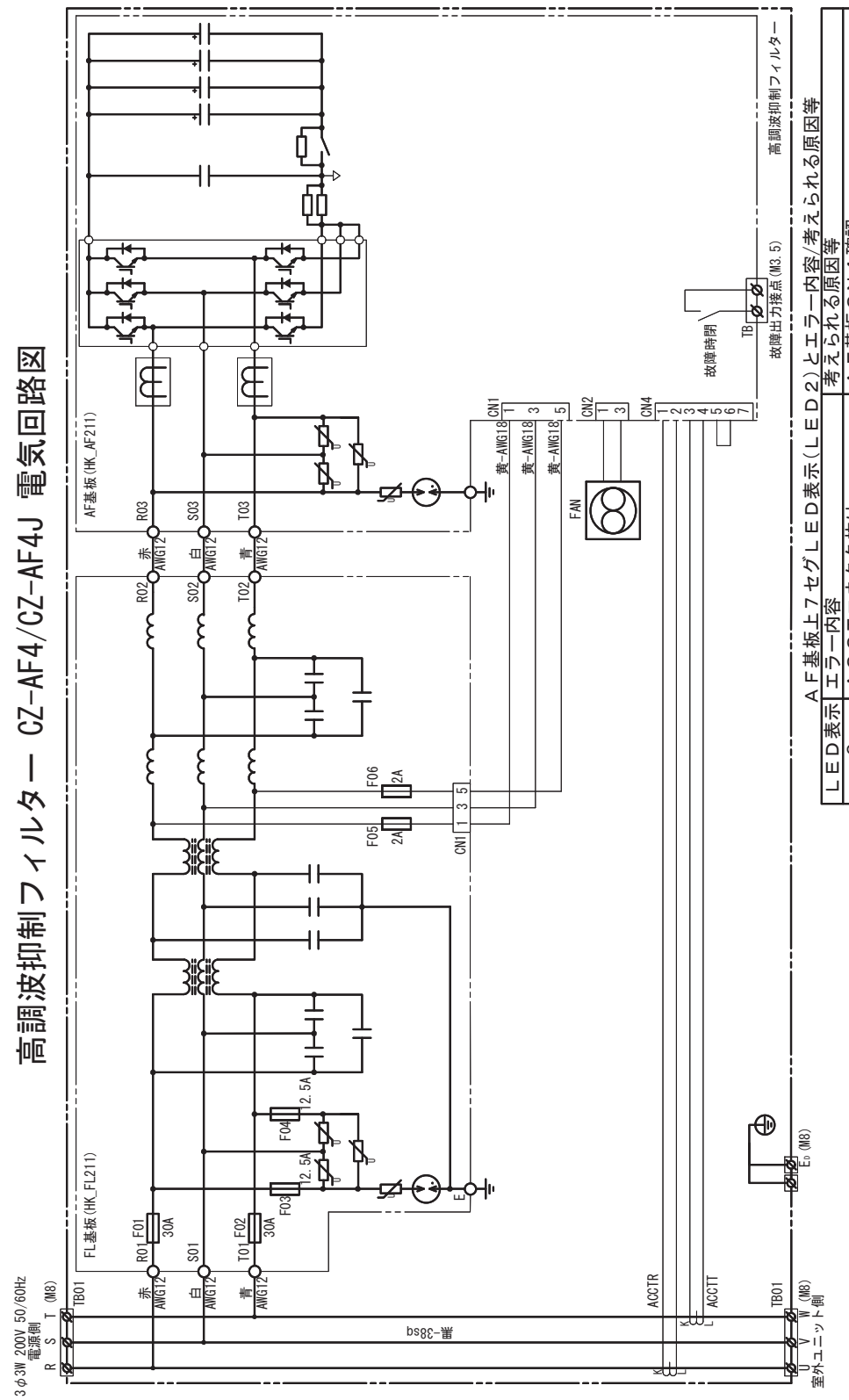
※オフィス・店舗エアコンULR5形は50℃まで使用可能です。





高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品

●電気回路図



NX1608A

AF基板上7セグLED表示（LED2）とエラー内容/考えられる原因等

LED表示	エラー内容	考えられる原因等
0	ACCTコネクタ抜け	AF基板CN4確認
1	電源過電圧（250V以上）	電源電圧上昇、制御基板異常等
2	電源不足電圧（160V以下）	電源電圧低下、制御基板異常等
3	直流母線過電圧（390V以上）	電源・負荷の急変、制御基板異常等
4	直流母線過電圧（420V以上）	電源・負荷の急変、制御基板異常等
5	直流母線不足電圧（201V以下）	制御基板異常等
7	IPMエラー	電源異常、冷却ファン異常、制御基板異常等
8	起動直後の家電流	電源逆相、配線異常等
A	瞬時停電	瞬時停電等
C	過電流	電源・負荷の急変、制御基板異常等
F	周波数(同期エラー)	周波数異常、周波数急変等

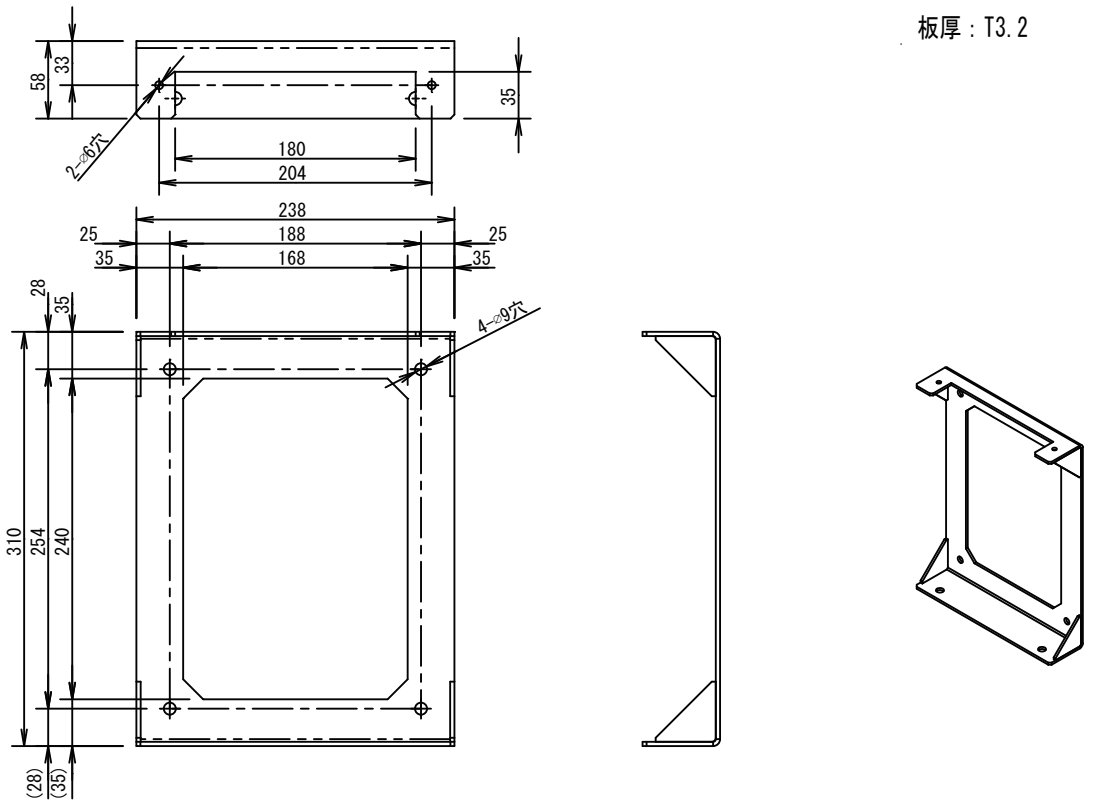
注1.感電防止のためメンテナンス時には以下を厳守してください
・電源遮断後10分以上待機
・AF基板上CHARGEランプ（赤）が消灯していることを確認
注2.製品内には多数の高温部がありますので、電源遮断後も
十分注意してください

高調波抑制フィルター（汎用）自立金具／ CZ-AFX4AJ…別売品

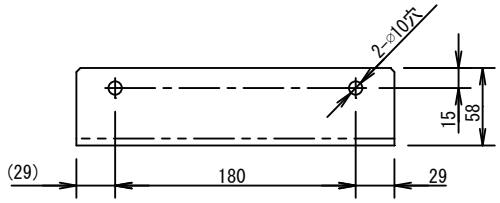
●外形寸法図

金具A

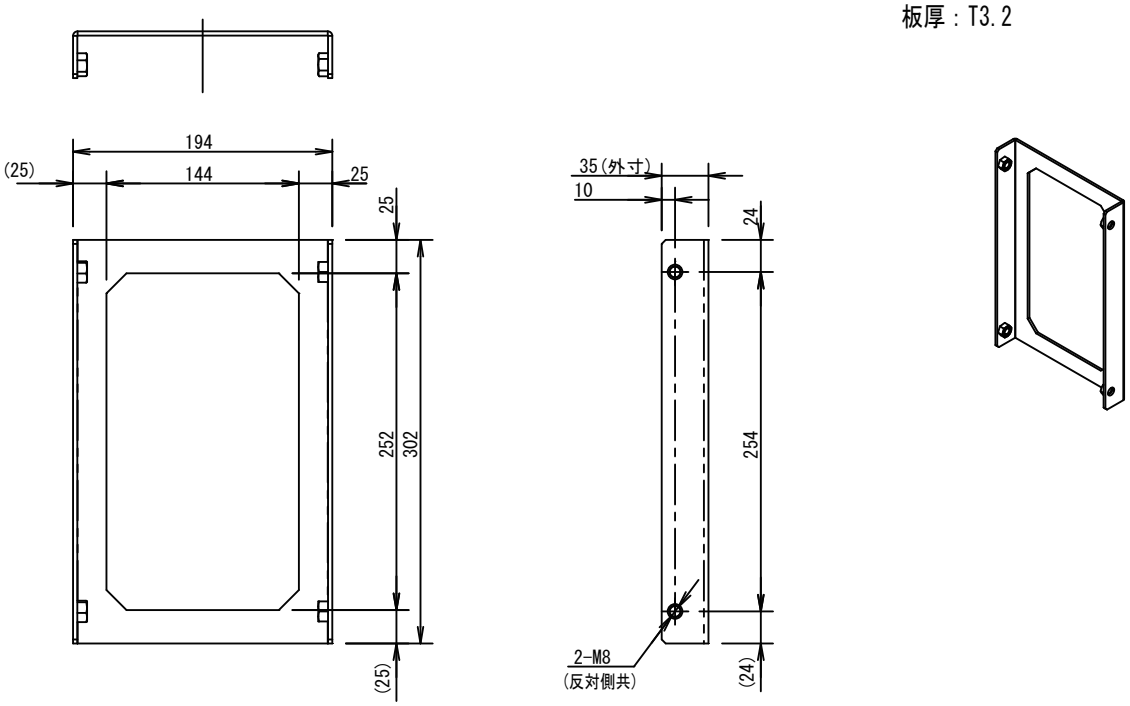
板厚：T3.2



金具B



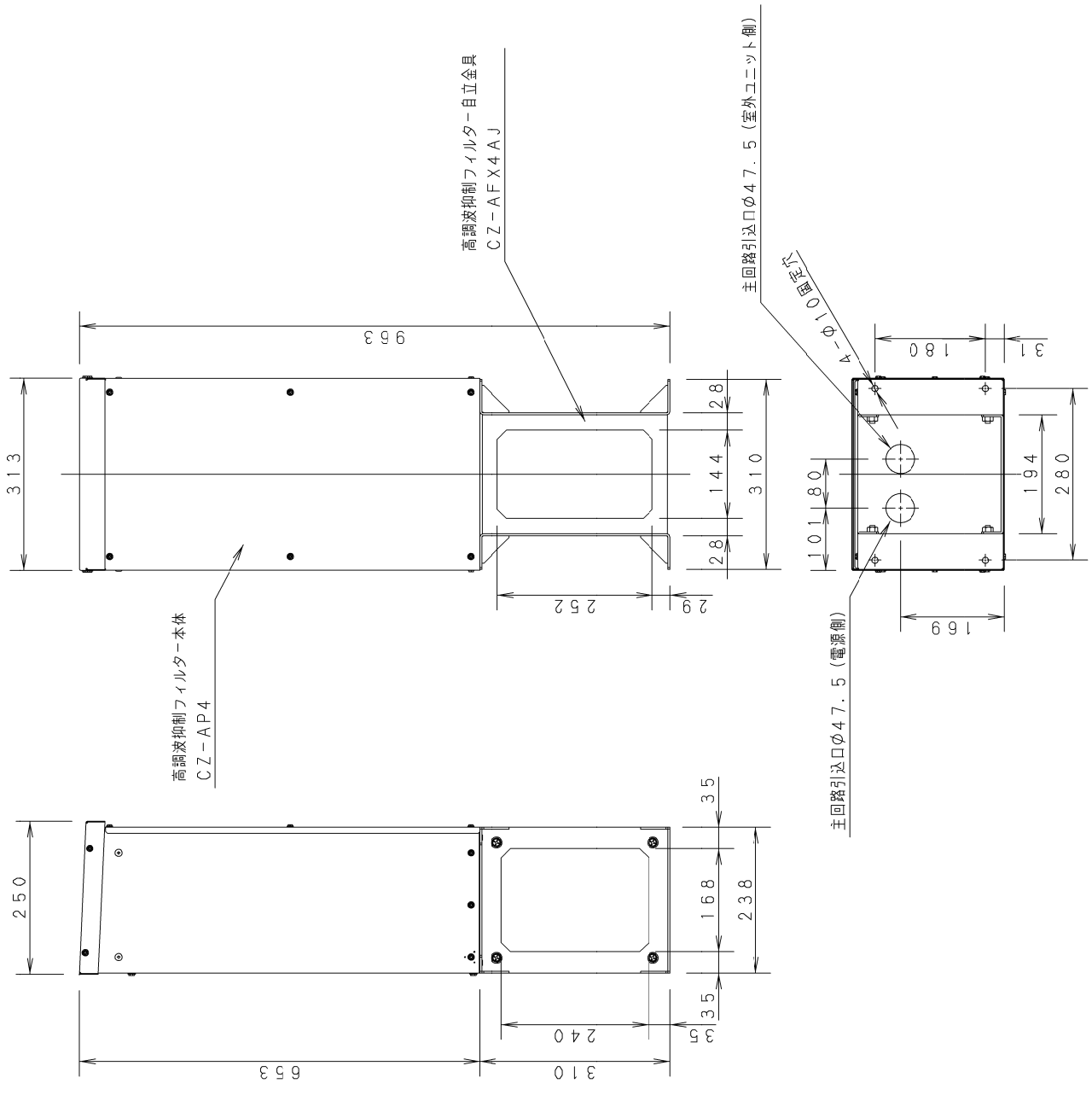
板厚：T3.2



高調波抑制フィルター（汎用）自立金具／ CZ-AF4，AF4J…別売品

●部品取付図

本体重量	20kg
取付金具重量	5kg



高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

据付工事説明書　高調波抑制フィルター　汎用

品番

CZ-AF4（標準仕様）

CZ-AF4J（重塩害仕様）

取り付け工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

この据付工事説明書は必ず最終使用の保守担当者のお手元に届くようご配慮お願いします。

高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ ⏚ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
■製品の上に乗ったり物を載せたりしない。（転落、落下など事故の原因）
■電源配線をバンドなどで束ねて収納しない。（発火、火災の原因）
■配線は途中接続しない。
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
■製品の改造は絶対にしない。
（修理はお買い上げの販売店にご相談ください。故障や感電、火災の原因）

❗
■据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う。（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
■電気部品に触れる前に電源を遮断する。
■配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。（故障や発熱、火災の原因）
■漏電しゃ断器（全極開閉機能付、高調波対応品）を取り付ける。
（故障や漏電時に、発熱、火災などの原因）
■付属品および別売品は当社指定部品を使用する。
（指定部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災などの原因）
■電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する。（感電、火災の原因）
■電源は、必ず専用回路を使用する。（感電、火災のおそれ）
■台風などの強風、地震などに備え所定の据付工事を行う。（転倒などにより、けがの原因）
■据え付けは、重量に十分耐えるところに確実に行う。（ユニットの落下による、けがの原因）
■配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける。（感電、火災の原因）

⏚
■アース工事（D 種接地工事）を行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない。（感電の原因）
アース線は、ベランダの手すりにとらない。（感電の原因）

⚠注意

⃠
■室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない。（けがの原因）
■可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない。
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）
■漏れた冷媒が滞留するおそれがある場所に設置しない。
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損傷が生じたときには、当社では責任を負えません。またその据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

1. 装置概要

（a）使用環境

項　目	内　容
電　源	定格　三相 200Ｖ　（50／60Ｈｚ）
周囲温度	（1）使用周囲温度：　−25℃〜46℃ ※オフィス・店舗エアコンG6B,G7(B),H7(B)(Z)(ZB),ULR5R形は50℃まで使用可能です。 （2）保存温度（電源非接続）：　−25℃〜60℃（結露なきこと）

（b）仕様

項　目	仕　様　値	備　考
定格補償容量	５ｋＶＡ	
高調波残留率	５次：3.0%　　７次：1.8% 11次：1.8%　13次：1.3% 17次：1.6%　19次：1.2% 23次：1.4%　25次：1.1%	K33 相当の回路で(ｃ)の定格負荷時 電源環境により変動あり
損失	約 250W 電源環境により変動あり	定格負荷時
外形寸法（本体）	３１３W×６５３H×２５０D　mm	
製品質量（本体）	２０kg	

（c）適用負荷

「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」における回路分類 K33 を意味する。
１３ｋW、力率０.９程度の負荷とする。
１３ｋWを超える負荷では高調波抑制率が低下します。

（d）高調波残留率シミュレーション結果【参考】（オフィス・店舗エアコン）

オフィス・店舗エアコン ULR5R形

エアコン組合		DCL 付空調機	P280形
高調波次数	5	30.0%	0.51%
	7	13.0%	0.68%
	11	8.4%	0.62%
	13	5.0%	0.53%
	17	4.7%	1.05%
	19	3.2%	0.57%
	23	3.0%	0.65%
	25	2.2%	0.91%

（注）本表は、電源インピーダンス =0 または 0.2mH、電源周波数 =50/60Hz の場合の計算結果から各次数の最大値をとったものです。
・エアコンは定格運転状態（H7(B)(Z)(ZB)224 形 6.8ｋVA、280 形 8.6ｋVA、ULR5R 280形 8.9ｋVA）としています。
・高調波残留率は、オフィス・店舗エアコン以外は、機種によって異なるため、別途お問い合わせください。

高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

1-1. 別売品

■CZ-280PFX4J（本体取付金具　小筐体用）

名　　称	個数
取付金具（A）	4
取付金具（B）	2
中継端子板	1
付属ネジ（6×12）	30
付属ネジ（5×16）	2

■CZ-450PFX4J（本体取付金具　中筐体用）

名　　称	個数
取付金具（A）	4
取付金具（C）	2
中継端子板	1
付属ネジ（6×12）	30
付属ネジ（5×16）	2

■CZ-AFX4AJ（自立金具）

名　　称	個数
自立金具（A）	2
自立金具（B）	2
付属ネジ（8×20）	8

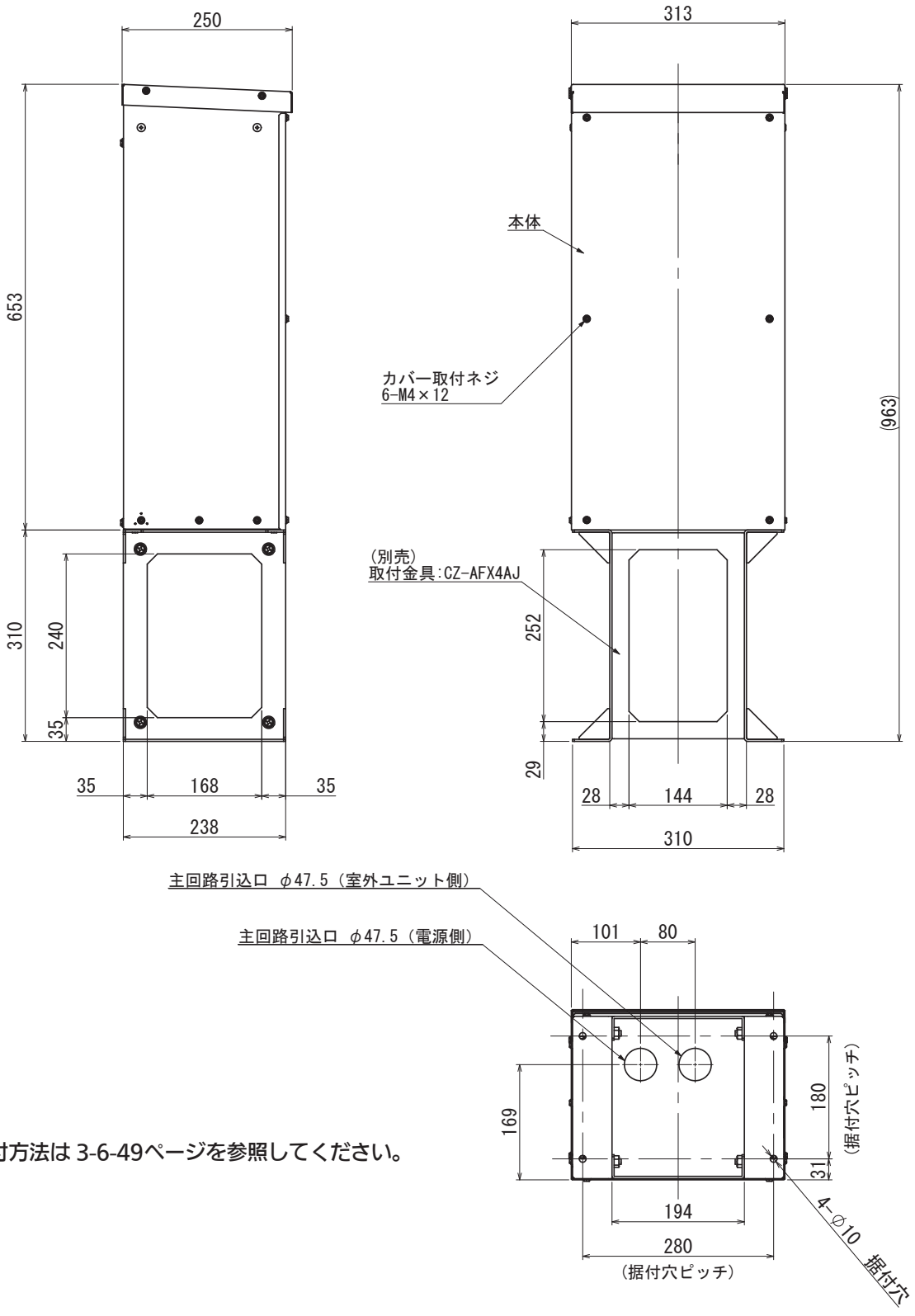
■CZ-AFX4BJ（取付金具）

名　　称	個数
取付金具（D）	1
取付金具（E）	1
補強板	2

高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

1-2. 外形図

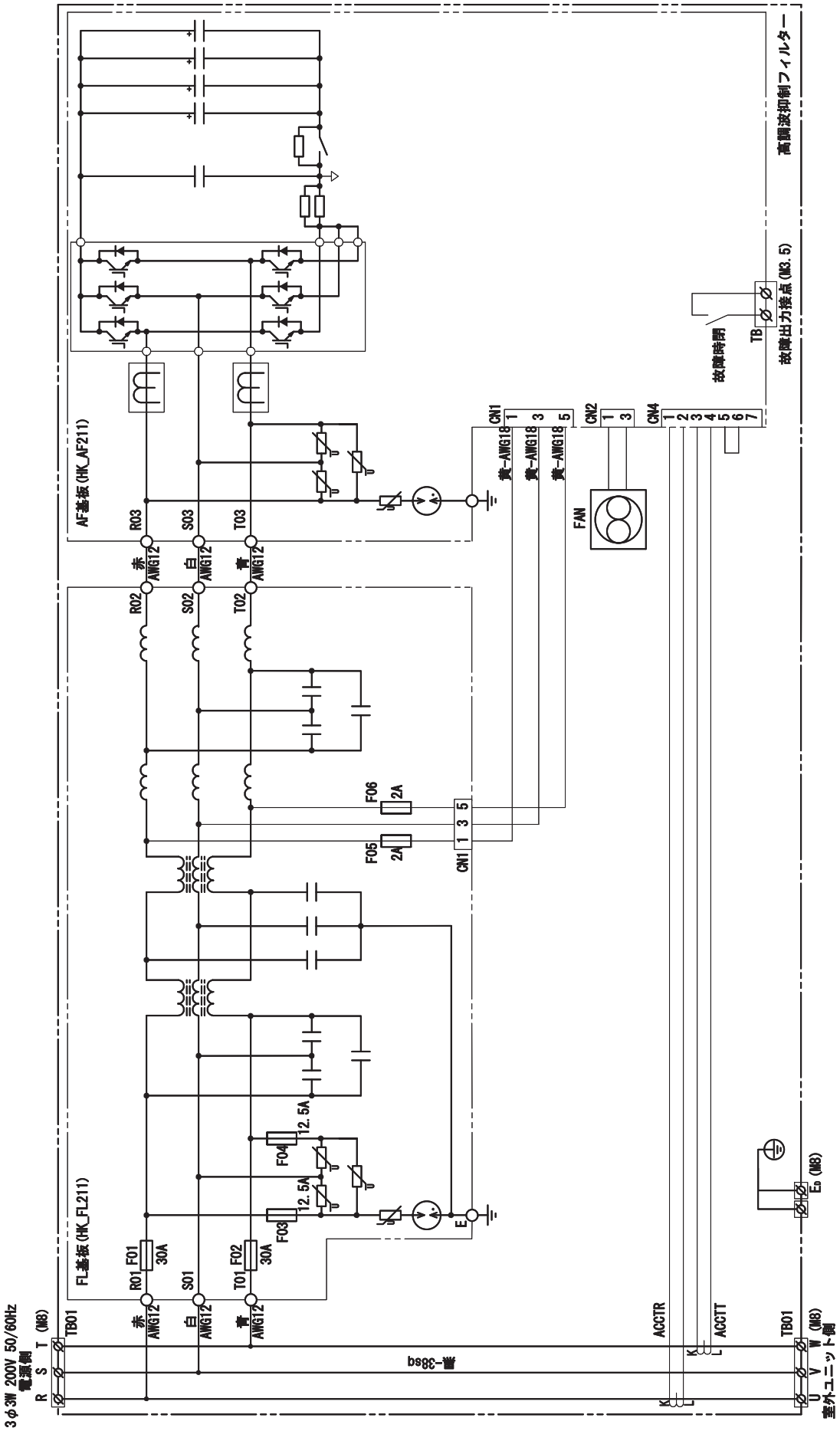
■ CZ-AFX4AJ(自立金具)組付時



取付方法は 3-6-49ページを参照してください。

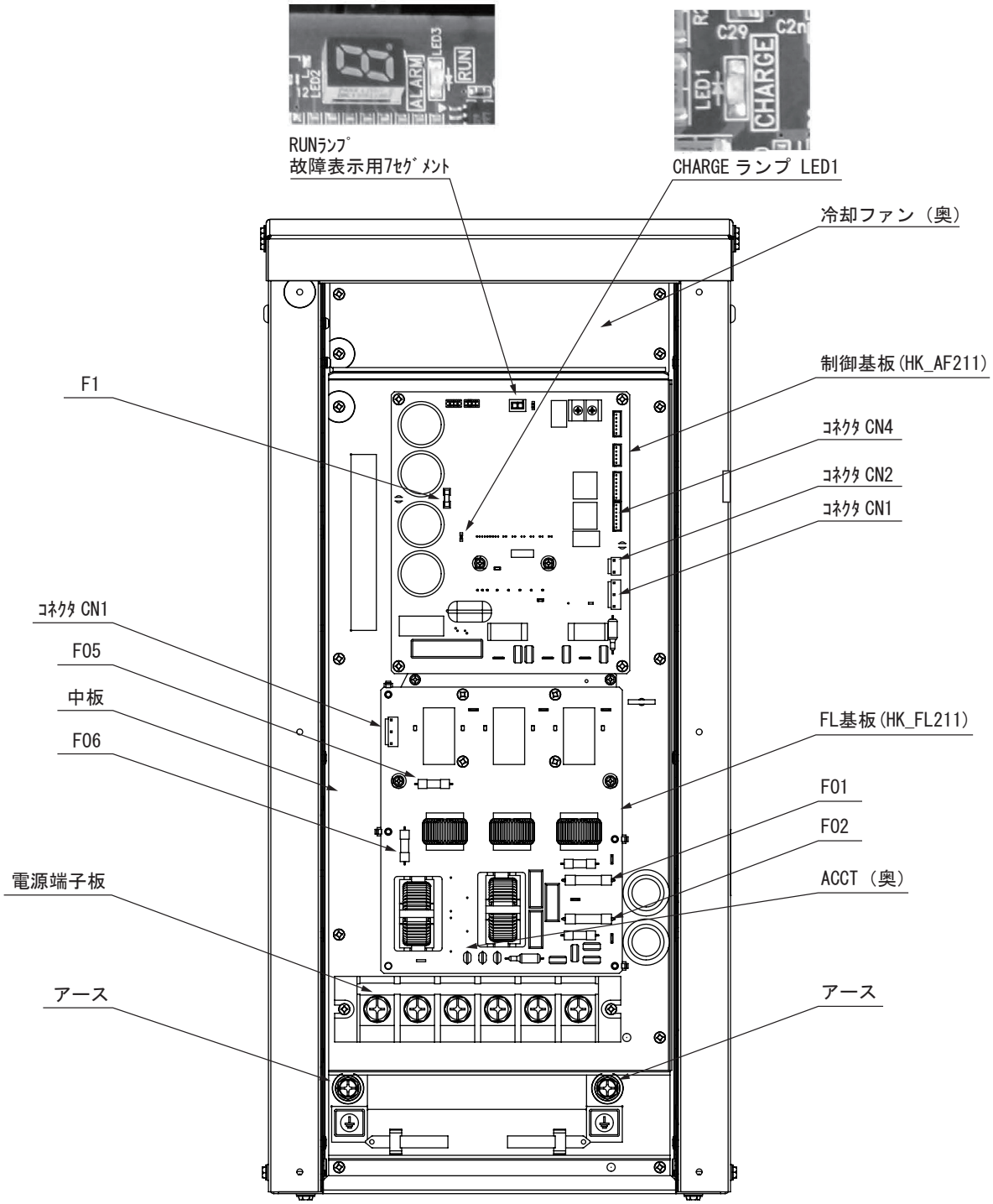
高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

1-3. 結線図



高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4, AF4J…別売品　施工

1-4. 部品配置図



高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

2. 据付方法

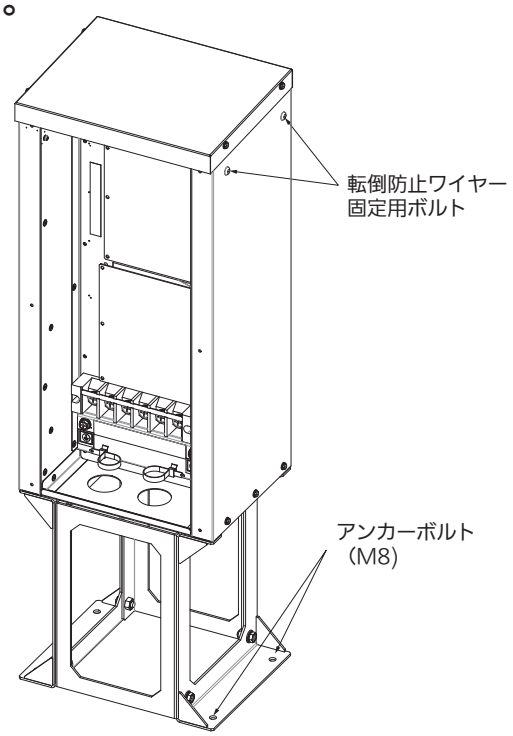
高調波抑制フィルターは、組み合わせる室外ユニットと設置方法により据え付け手順および、別途ご用意いただく別売部品が異なります。
該当する **据付方法と、別途ご用意いただく別売部品** を、下記表よりお選びください。

室外ユニット		高調波抑制フィルターの据付方法		接続配線こう長	現地調達部品
		自立する据付方法	室外ユニットへ取り付ける据付方法		
オフィス・店舗エアコン	CU−P280ULR5R（＊）	※自立金具（CZ-AFX4AJ）を別途ご用意ください。	取り付け不可	電気配線の太さは8mm²(6mまで) ※6mを超える場合は、別途ご相談ください。	①電源線 電気配線(A)、(B)、(C)、アース線 ②防水チューブ 推奨品：NEOFLEX 社製 RF-36 ③接続コネクタ 推奨品：NEOFLEX 社製 RQG-PG36

高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

2-1. 高調波抑制フィルターを自立する据付方法

■自立金具（付属ネジ含）は別売品になります。



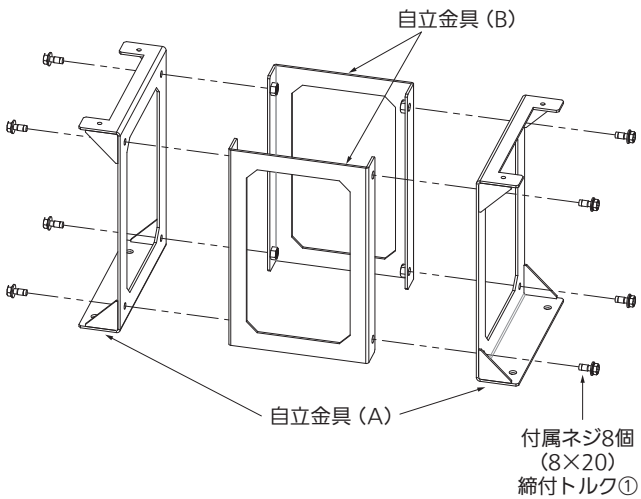
■ユニットの設置

- ●基礎はコンクリート等で作り、水はけを良くしてください。
- ●高調波抑制フィルターはアンカーボルト（M8　4か所 現地調達）で必ず固定してください。また、上部から固定用ワッシャー（現地調達）を使用してください。
- ●コンクリートブロックを使用する際には、強風などでコンクリートブロックが動かないように固定してください。
- ●屋上など、周りに防風物がなく台風などの強風が当たる可能性がある場所に設置する場合には、転倒防止ワイヤー（現地調達）などで固定してください。
- ●設置寸法は、室外ユニットの熱交換器を塞がないように室外ユニットから200mm以上離してください。
- ●メンテナンススペースとして、前面側は700mm以上確保してください。
- ●風通しのよい水平な場所に設置してください。
- ●吸気口、排気口を塞がないでください。また、降雪地帯では積雪に注意してください。
- ●右側面、左側面100mmは他の機器および壁面と離してください。なお、高調波抑制フィルターを併設する場合は200mm以上の間隔を離して設置してください。
- ●他の機器の排熱の影響を受けない場所に設置してください。

■自立金具（CZ-AFX4AJ）の取り付けかた

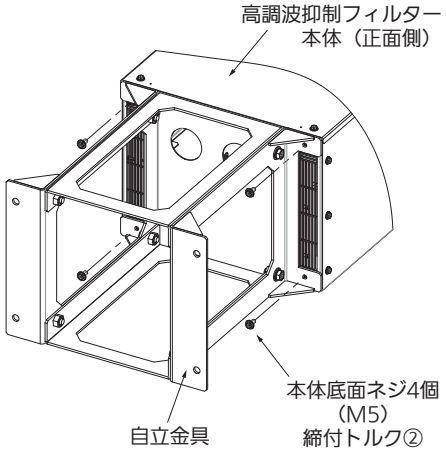
- ●付属のネジ（8×20）を仮締めし、自立金具（A）が水平になるよう調整します。調整後、指定のトルク値で本締めします。

  ※取り付け方向に注意してください。



- ●高調波抑制フィルター本体底面のネジM5（4個）をはずし、そのネジで本体に自立金具を取り付けます。

  ※取り付け時は、レンチやプラスドライバー（全長300mm以下）などをご使用ください。



締付トルク①	11.0±1.0N･m
締付トルク②	2.9±0.2N･m

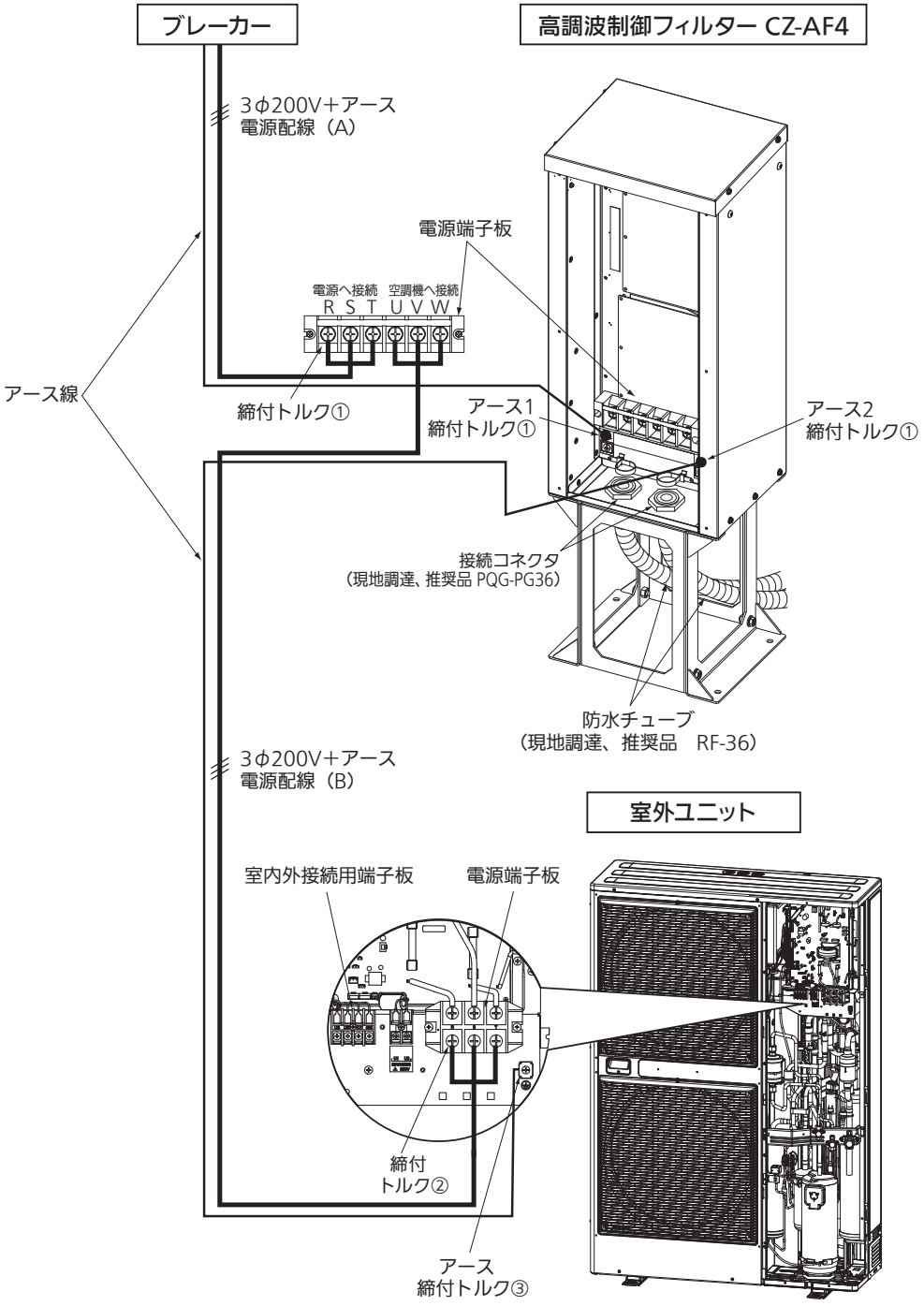
高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

3. 配線の接続方法

■CU-P280ULR5R室外ユニット1台に、高調波抑制フィルターを接続する場合

1. ブレーカーから高調波抑制フィルターへの電源配線（A）を電源端子板（電源へ接続）に接続する。アース線はアース1に接続する。
2. 高調波抑制フィルターの電源端子板（空調機へ接続）から室外ユニットに電源配線（B）を接続する。アース線はアース2および室外ユニットのアースに接続する。
3. 高調波抑制フィルターの本体内に水の浸入がないよう配線は防水チューブ（現地調達）を通してください。

締付トルク①	6.0 ±0.5 N·m
締付トルク②	6.2 ±0.2 N·m
締付トルク③	2.25±0.25N·m



高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4, AF4J…別売品　施工

4. 試運転

⚠注意	配線接続のゆるみ、極性間違い等がないか今一度確認ください。 電源端子と、アース端子間を 500V メガーで測って、1MΩ以下の場合は運転しないでください。

高調波抑制フィルターはインバーターの電流が５A以上になると、自動的に運転を開始し、２A以下になると停止します。
高調波抑制フィルター運転中は、制御基板上のＲＵＮ（LED3）が点灯します。

基本的な動作状態は、以下のようになります。

	状態		高調波抑制フィルターの表示		
	元電源	ＩＮＶ状態	CHARGEランプ	RUNランプ	7セグLED
停電	ＯＦＦ	―	× (注1)	×	×
正常運転中	ＯＮ	停止	○	×	×
	ＯＮ	運転	○	○	×
異常リトライ中	ＯＮ	運転	○	○	異常 No.表示 (注 2)
異常	ＯＮ	運転	○	×	異常 No.表示 (注 2)

×：消灯　○：点灯
(注 1)元電源がＯＦＦしても数分間は消灯しません。
(注 2)異常内容と番号は下表参照

ＬＥＤ表示	エラー内容	考えられる原因等
0	ＡＣＣＴコネクターはずれ	制御基板CN4抜け確認
1	電源過電圧（250V以上）	電源電圧上昇、制御基板異常等
2	電源不足電圧（160V以下）	電源電圧低下、制御基板異常等
3	直流母線過電圧（390V以上）	電源･負荷の急変、制御基板異常等
4	直流母線過電圧（420V以上）	電源･負荷の急変、制御基板異常等
5	直流母線不足電圧（201V以下）	制御基板異常等
7	ＩＰＭエラー	電源異常、冷却ファン異常、制御基板異常等
8	起動直後の過電流	電源逆相、欠相、配線異常等
A	瞬時停電	瞬時停電等
C	過電流	電源・負荷の急変、制御基板異常等
F	周波数（同期エラー）	周波数異常、周波数急変等

高調波抑制フィルター（汎用）本体／ CZ-AF4，AF4J…別売品　施工

5. 故障時の対応

装置内を点検するときは、電源を切ってから数分以上待って、ＣＨＡＲＧＥ（LED1）が消灯していることを確認すると共に、テスター等で主コンデンサーが放電していることを確認してから行ってください。

異常現象	ＬＥＤ表示	推定原因	調査方法	調査ＮＧ時対応
故障表示あり	0	コネクター抜け・接触	ＣＮ4接続確認	不具合部補修
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
	1,2,3,4,5	電源環境不良	電源電圧、瞬停確認	－
		配線はずれ	機器内の配線接続確認	不具合部補修
		突入電流防止抵抗不良	－	制御基板交換
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
	7	制御基板不良	再運転	制御基板交換
		冷却ファン不良	コネクターはずれ確認	不具合部補修
		風路閉鎖	冷却ファン風路確認	不具合部補修
		駆動回路不良	運転時CN2-1P,3P間電圧なし	制御基板交換
		誤検知・他	再運転	制御基板交換
	A	電源環境不良	瞬停発生確認	－
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
	C	制御基板不良	再運転	制御基板交換
		主リアクトル不良	3つの抵抗値比較 地絡確認	ＦＬ基板交換
		ＡＣＣＴ不良	抵抗値確認	ＡＣＣＴ交換
		誤検知・誤動作・他	再運転	制御基板交換
	F	電源環境不良	電源周波数確認 定格±5%以内	－
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
故障表示なし	LED 1 表示：なし	電源配線の欠相	配線接続確認	不具合部補修
		主回路ヒューズ切れ	ヒューズ切れ確認	「主回路ヒューズ切れ」の項へ
		ＦＬ基板ヒューズ切れ	ヒューズ切れ確認	「ＦＬ基板ヒューズ切れ」の項へ
		制御基板不良・他	再運転	制御基板交換
	主回路ヒューズ切れ（FL基板：F01,F02）	地絡	対地間抵抗＞1MΩ	不具合部修正
		ＦＬ基板不良	ＦＬ基板上Ｃ膨らみ	ＦＬ基板交換
		制御基板不良	再運転	制御基板交換
	ＦＬ基板ヒューズ切れ（F05,F06）	冷却ファン不良	冷却ファン配線地絡確認	冷却ファン交換
		電源回路不良	－	ＦＬ基板交換
	制御基板ヒューズ切れ（F1）	電源回路不良	－	制御基板交換
	上位ブレーカー遮断	地絡	対地間抵抗＞1MΩ	不具合部補修
	騒音（ビビリ音）（高周波音）	ネジ緩み	各部締め付け確認	不具合部補修
		ＦＬ基板不良	ＦＬ基板上Ｃ膨らみ	ＦＬ基板交換
		電源インピーダンス	電源電圧波形確認	個別対応（電源）

6. 廃棄時の注意

⚠注意	本装置を廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。